



モルモン書

家庭学習セミナー生徒用学習ガイド

モルモン書

家庭学習セミナー生徒用学習ガイド

発行

末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティー

ご意見やご提案をお待ちしています。以下にお送りください。
Seminaries and Institutes of Religion Curriculum Services
50 East North Temple Street
Salt Lake City, UT 84150-0008
USA
Email: ces-manuals@ldschurch.org

あなたのお名前, 住所, ワード名とステーク名をご記入ください。
手引き名を書き, その後, あなたのコメントをお書きください。

© 2014 Intellectual Reserve, Inc.

All rights reserved.

印刷: 日本

英語版承認: 2009 年 10 月

翻訳承認: 2009 年 10 月

原題: *Book of Mormon Study Guide for Home-Study Seminary Students*

Language Japanese

09410 300

目次

はじめに 家庭学習セミナープログラム	v	単元 8	
このガイドをデイリーセミナープログラムで使用する	v	第 1 日 2 ニーファイ 26 - 27 章	70
家庭学習生徒用ガイドを使用する	vi	第 2 日 2 ニーファイ 28 章	74
モルモン書読書進度表	viii	第 3 日 2 ニーファイ 29 - 30 章	76
モルモン書へようこそ	ix	第 4 日 2 ニーファイ 31 章	78
モルモン書年表	x	単元 9	
モルモン書の地理	xi	第 1 日 2 ニーファイ 32 章	81
単元 1		第 2 日 2 ニーファイ 33 章	84
第 1 日 聖文を研究する	1	はじめに ヤコブ書	87
第 2 日 救いの計画	3	第 3 日 ヤコブ 1 - 2 章	87
第 3 日 タイトルページ、序文、証人の証 ^{あかし}	6	第 4 日 ヤコブ 3 - 4 章	90
第 4 日 モルモン書の概観	9	単元 10	
単元 2		第 1 日 ヤコブ 5 - 6 章	92
はじめに ニーファイ第一書	12	第 2 日 ヤコブ 7 章	95
第 1 日 1 ニーファイ 1 章	12	はじめに エノス書	98
第 2 日 1 ニーファイ 2 章	14	第 3 日 エノス	98
第 3 日 1 ニーファイ 3 - 4 章	17	はじめに ジェロム書	101
第 4 日 1 ニーファイ 5 - 6 章; 9 章	20	はじめに オムナイ書	101
単元 3		第 4 日 ジェロム書とオムナイ書	101
第 1 日 1 ニーファイ 7 章	22	単元 11	
第 2 日 1 ニーファイ 8 章	24	はじめに モルモンの言葉	104
第 3 日 1 ニーファイ 10 - 11 章	26	はじめに モーサヤ書	104
第 4 日 1 ニーファイ 12 - 14 章	29	第 1 日 モルモンの言葉-モーサヤ 2 章	105
単元 4		第 2 日 モーサヤ 3 章	109
第 1 日 1 ニーファイ 15 章	31	第 3 日 モーサヤ 4 章	111
第 2 日 1 ニーファイ 16 章	34	第 4 日 モーサヤ 5 - 6 章	113
第 3 日 1 ニーファイ 17 章	36	単元 12	
第 4 日 1 ニーファイ 18 - 19 章	38	第 1 日 モーサヤ 7 - 8 章	115
単元 5		第 2 日 モーサヤ 9 - 10 章	118
第 1 日 1 ニーファイ 20 - 22 章	41	第 3 日 モーサヤ 11 - 14 章	121
はじめに ニーファイ第二書	44	第 4 日 モーサヤ 15 - 17 章	123
第 2 日 2 ニーファイ 1 章	44	単元 13	
第 3 日 2 ニーファイ 2 章	46	第 1 日 モーサヤ 18 章	127
第 4 日 2 ニーファイ 3 章	48	第 2 日 モーサヤ 19 - 20 章	129
単元 6		第 3 日 モーサヤ 21 - 24 章	131
第 1 日 2 ニーファイ 4 - 5 章	50	第 4 日 モーサヤ 25 章	133
第 2 日 2 ニーファイ 6 - 8 章	53	単元 14	
第 3 日 2 ニーファイ 9 章	55	第 1 日 モーサヤ 26 章	136
第 4 日 2 ニーファイ 9 - 10 章	58	第 2 日 モーサヤ 27 章	138
単元 7		第 3 日 モーサヤ 28 - 29 章	141
第 1 日 2 ニーファイ 11 - 16 章	60	はじめに アルマ書	144
第 2 日 2 ニーファイ 17 - 20 章	62	第 4 日 アルマ 1 - 4 章	144
第 3 日 2 ニーファイ 21 - 24 章	66	単元 15	
第 4 日 2 ニーファイ 25 章	68	第 1 日 アルマ 5:1 - 36	147

第2日	アルマ5:37-62	149
第3日	アルマ6-7章	152
第4日	アルマ8-10章	154
単元16		
第1日	アルマ11章	157
第2日	アルマ12章	159
第3日	アルマ13章	161
第4日	アルマ14-16章	164
単元17		
第1日	アルマ17-18章	167
第2日	アルマ19-20章	169
第3日	アルマ21-22章	171
第4日	アルマ23-24章	173
単元18		
第1日	アルマ25-29章	176
第2日	アルマ30章	178
第3日	アルマ31章	181
第4日	アルマ32章	183
単元19		
第1日	アルマ33-35章	185
第2日	アルマ36章	188
第3日	アルマ37章	192
第4日	アルマ38章	194
単元20		
第1日	アルマ39章	197
第2日	アルマ40-41章	199
第3日	アルマ42章	202
第4日	アルマ43-44章	205
単元21		
第1日	アルマ45-49章	207
第2日	アルマ50-52章; 54-55章	210
第3日	アルマ53章, 56-58章	212
第4日	アルマ59-63章	215
単元22		
はじめに	ヒラマン書	217
第1日	ヒラマン1-2章	217
第2日	ヒラマン3-4章	219
第3日	ヒラマン5章	220
第4日	ヒラマン6-9章	223
単元23		
第1日	ヒラマン10章	225
第2日	ヒラマン11-12章	228
第3日	ヒラマン13-14章	231
第4日	ヒラマン15-16章	235
単元24		
はじめに	第三ニーファイ	238
第1日	3ニーファイ1章	238
第2日	3ニーファイ2-5章	241
第3日	3ニーファイ6-10章	243
第4日	3ニーファイ11:1-17	246
単元25		
第1日	3ニーファイ11:18-12:48	249

第2日	3ニーファイ13章	252
第3日	3ニーファイ14章	255
第4日	3ニーファイ15-16章	257
単元26		
第1日	3ニーファイ17章	259
第2日	3ニーファイ18章	261
第3日	3ニーファイ19章	264
第4日	3ニーファイ20-22章	266
単元27		
第1日	3ニーファイ23章	269
第2日	3ニーファイ24-26章	271
第3日	3ニーファイ27章	273
第4日	3ニーファイ28-30章	275
単元28		
はじめに	第四ニーファイ	278
第1日	4ニーファイ	278
はじめに	モルモン書	281
第2日	モルモン1-2章	281
第3日	モルモン3-6章	284
第4日	モルモン7:1-8:11	286
単元29		
第1日	モルモン8:12-41	289
第2日	モルモン9章	291
はじめに	エテル書	294
第3日	エテル1-2章	294
第4日	エテル3章	297
単元30		
第1日	エテル4-5章	300
第2日	エテル6章	302
第3日	エテル7-11章	303
第4日	エテル12章	306
単元31		
第1日	エテル13-15章	308
はじめに	モロナイ書	311
第2日	モロナイ1-5章	311
第3日	モロナイ6章	314
第4日	モロナイ7:1-19	316
単元32		
第1日	モロナイ7:20-48	318
第2日	モロナイ8-9章	321
第3日	モロナイ10:1-7, 27-29	324
第4日	モロナイ10:8-26, 30-34	327

はじめに

家庭学習セミナリープログラム

家庭学習セミナリープログラムは、聖文の研究を通して、イエス・キリストの福音を理解し、その教えを日々の生活に応用できるように皆さんを助けるために用意されています。今年の研究は、まず今年のコースの聖典であるモルモン書の読書課題を完読し、それから、一つ一つのレッスンを完了することです。毎週1度セミナリーの教師に会い、課題を提出し、週に一度のレッスンに参加してください。

セミナリーは、毎日の宗教教育プログラムです。よく祈って聖文を研究することを、毎日の習慣としてください。学校のある日は毎日セミナリーの課題を行う必要があります。これはセミナリーのクラスに毎日出席しない場合でもそうです。このコース期間に完了しなければならない単元が32あります。viiiページの読書進度表は、それぞれの単元で研究する場所が示されています。それぞれの単元の締め切りを教師に確認してください。この学習ガイドの一つのレッスンを研究するためには、およそ30分必要です。それ以外に毎日の聖文研究のために時間を取る必要があります。

聖典学習帳（またはノート）を2冊用意してください。これは、個人的な日記とは別のものです。この聖典学習帳に、学習

ガイドの課題を書いていきます。毎週教師に会うときに聖典学習帳を提出してください。その週に完了した学習ガイドの課題を書いた学習帳を提出します。教師は、あなたが行った課題を読んで、コメントを書いて、次の週にその学習帳をあなたに返します。または、ルーズリーフバインダーを使って、その週の課題を行ったページを提出してもよいでしょう。その場合は、提出したページが教師から返ってきたときに、そのページをルーズリーフバインダーに戻しておきましょう。

このガイドをデイリーセミナリープログラムで使用する

デイリーセミナリープログラムの教師や生徒は、この学習ガイドをレッスンや補講のために利用することができます。しかし、この学習ガイドはデイリーセミナリープログラムの全ての生徒に与えるためのものではありません。教師は、単位取得ために補講が必要な生徒に、家庭学習レッスンの中から欠席した内容に該当する部分を行うように割り当ててもよいでしょう。

家庭学習生徒用ガイドを使用する

マスター聖句

モルモン書に含まれている25のマスター聖句すべてが、その聖句が含まれているレッスンの中で取りあげられています。このセクションを使って、マスター聖句にさらに精通することができます。

はじめに 聖典本文の紹介

「はじめに」のセクションには、レッスンで研究する聖句の背景や要約が書いてあります。

節のかたまりとその要約

節のかたまりは、場面やテーマが変化する自然な切れ目です。かたまりの場所を示し、出来事や教義を短くまとめた言葉が続いています。

学習ガイドに 答えを書き込む

ところどころで線の上や表の中などの空所に答えを記入するように指示されています。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

月 日、1 ニーファイ2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元2—第3日

1 ニーファイ 3—4 章

はじめに

主は、息子たちをエルサレムに帰してラバンのもとから真鍮の版を持ってこさせるようリーハイにお命じになりました。どうしたらこの命令が果たせるのか、レーマンとレムエルには分かりませんでした。ニーファイには、主が求められることを行うためには主が道を用意してくださるという信仰がありました。ニーファイは何度も困難に遭いながらも、主がお求めになったことを忠実に果たそうとしました。その結果、彼は聖霊に導かれて、版を手に入れることができました。このニーファイの経験から、辛抱強く従えば、難しい状況でも主の助けが受けられるようになることが分かります。

1 ニーファイ3：1—9, 19—20

リーハイの息子たち、エルサレムに戻る

難しい状況に陥って、どう解決したらよいかと悩んだことはありませんか。今日のレッスンを学ぶと、従順になろうという信仰と決意をさらに強固なものにすることができるでしょう。まず1 ニーファイ3：1—6を読み、主がリーハイを通して息子たちにお与えになった命令の箇所を見つけ、自分の聖典にマーカーで印を付けましょう。主の命令に対してレーマンとレムエルが示した態度と、ニーファイが示した態度の違いにも注目してください。

主が命じられたことがどれほど大変なことだったかを理解するために、エルサレムから紅海（アカバ湾）までの距離は180マイル（約288km）あり、しかも、盗賊がはびこる暑い不毛の地を通って行かなければならなかったことを知っておくといえでしょう。リーハイと家族はすでに3日間旅しており（1 ニーファイ2：5—6 参照）、主はこの期に及んで息子たちをエルサレムへ帰すよう命じられたのです。1 ニーファイ3：7—8を読んで、ニーファイが主の命令に従おうと思った理由を見つけてみましょう。

ニーファイは、「主の命令を行うなら、主はそれを成し遂げる道を用意してくださる」という原則について証しました。1 ニーファイ3 章を研究しながら、ニーファイが示した勇気と決断力を模範にして、さらに主に従順になり、主に對してさらに大きな信仰を示すために何ができるかを考えましょう。特に、ニーファイが困難な状況にどのように対処したかに注目してください。ニーファイは兄たちと一緒に真鍮の版を取りに行き、ひどい目に遭いましたが、つぶやこうとはしませんでした（1 ニーファイ3：6 参照）。

真鍮の版には「ユダヤ人の記録」（1 ニーファイ3：3）、つまりユダヤ人の聖典が含まれていました。このユダヤ人の聖典には、現在旧約聖書に記されている記録や情報の一部と、預言者が記したその他の記録が入っていました。1 ニーファイ3：19—20を読み、真鍮の版に載っている事柄でリーハイの家族と子孫にとって非常に大切だったものに線を引きましょう。

マスター聖句—1 ニーファイ3：7

1 ニーファイ3：7を3回読みましょう（声に出したり、心の中で読んだりなど、読み方をいろいろと変えてみるとよいでしょう。）聖典を閉じて、聖句を見ないで次の質問に答えてみましょう。

- ニーファイはだれと話していましたか。 _____
- ニーファイは何をしようと決意しましたか。 _____
- ニーファイは主が何をしてくださることを承知していましたか。 _____

聖典を開き、1 ニーファイ3：7をもう一度読んで、答えを合わせましょう。

預言者ジョセフ・スミスは「わたしは主が命じられたら行くと決めています」と言っています（*History of the Church*, 第2巻, 170 から抜粋）。自分の聖典の1 ニーファイ3：7の横にこの言葉を書き込んでもよいでしょう。

1 ニーファイ3：10—31

ラバン、リーハイの財産を奪い、ニーファイと兄たちを殺そうとする

神の戒めを守ると、神は様々な方法でわたしたちを祝福してくれます。ニーファイは真鍮の版を手に入れる経験を通して、神がその子供たちのために、神の命令を成し遂げる道を確かに備えてくださることに對する証を、さらに強くなりました（1 ニーファイ3：7 参照）。次の表を使って、真鍮の版を手に入れるためにリーハイの息子たちが行った2度の試みについて調べましょう。質問の答えを表の該当する欄に書き入れてください。または、聖典学習帳にこの表を描いて課題を行ってもよいでしょう。

……両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。」(『リアホナ』2010年11月号、129)

1 ニーファイ7:3-5を読み、リーハイの息子たちが主の命令を果たせるように、主が彼らにどのような助けを与えられたか調べましょう。荒れ野にいるリーハイの家族と同行することをイシマエルとその家族が承諾するよう、主はどのような助けを与えられたのでしょうか。

 1. あなたの両親、教会の指導者、または教師に、結婚と「主のために」子供を育てるための準備として、今日の若人に行えることを3つ提案してもらってください。その提案を聖典学習帳に記録しましょう。

1 ニーファイ7:6-15

ニーファイ、荒れ野の旅を続けるよう兄たちを説得する

1 ニーファイ7:6-7を読み、レーマンとレムエル、それにイシマエルの家族の何人かが荒れ野の旅の途中で背いた理由を見つけましょう。この状況で自分がニーファイだったらどうしたか想像してみましょう。あなたなら、レーマンとレムエル、イシマエルの家族にどんなことを言って、約束の地への旅を続けるよう説得するでしょうか。

1 ニーファイ7:8-12を読み、エルサレムへ戻らないように兄たちを説得するためにニーファイが尋ねた質問を見つけましょう。ニーファイは兄たちが忘れていた事実を3つ指摘しましたが、その3つとは何ですか。

次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

 2. レーマンとレムエルにとって、もしもこの3つの事実を覚えてたとしたら、主に忠実であるためにどのように役に立っていたでしょうか。

 3. あなたが主から受けた祝福を4つか5つ挙げましょう。主が自分にしてくださったことを思い出すと、忠実に主に従おうという気持ちになるのはなぜでしょうか。

1 ニーファイ7:13-15を読んでください。レーマン、レムエル、そしてイシマエルの反抗的な家族に対して、彼らがいずれエルサレムに戻ったらどうなるとニーファイが言ったか調べましょう。

 4. 主が自分のためにしてくださったことを思い出し、主の導きに従うことがなぜ大切なのかを聖典学習帳に書きましょう。

1 ニーファイ7:16-22

主、ニーファイを救い出される

1 ニーファイ7:16を読み、ニーファイの立場だったらどんな気持ちになるか想像してみましょう。あなたならどうしますか。

ニーファイは祈りました。その祈りを1 ニーファイ7:17-18で読み、ニーファイが何を祈り求めたか調べましょう。

ニーファイは「わたしの信仰により」救い出してほしいと求めました。この節から学ぶ教訓の一つは、「神はわたしたちの信仰に応じて祈りにこたえてくださる」ということです。信仰をもって祈るとは、主を信頼して祈るという意味であり、喜んで行動しようとする気持ちが必ず伴います。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が1 ニーファイ7:17にあるニーファイの祈りと、人の心を変える贖いの力について語った次の言葉を研究しましょう。信仰をもって祈る際には喜んで働く気持ちが大切なのはなぜかを説明している箇所に下線を引いてください。



「もしわたしが自分の兄弟たちに縛られていたとしたら、何を祈り求めていたかわかりますか。わたしはきっと、兄たちに何か悪いことが起きるように願ひ求め、最後に『兄たちの手からわたしをお救いください』、つまり『この窮地から今すぐ救い出してください!』と祈っていたことでしょう。ニーファイはわたしのように自分の置かれた状況を変えてくださるよう祈らなかったことにわたしは特別な興味を覚えます。ニーファイは状況を変えるための力を求めて祈りました。このように祈ったのは、まさしく救い主の贖いの持つ特別な力を知り、理解し、経験していたからです。……

兄弟姉妹の皆さん、この話がわたしたち一人一人に何を言わんとしているかは明快です。贖罪には人に能力を授ける力があることを理解し、その力を自分の生活で用いるようになるならば、皆さんもわたしも、状況が変わるよう祈るのではなく、状況を変える力を祈り求めるようになるでしょう。『作用されるもの』ではなく、『作用するもの』になるのです(2 ニーファイ2:14参照)。(“In the Strength of the Lord” (Words of Mormon 1:14; Mosiah 9:17; Mosiah 10:10; Alma 20:4), “Brigham Young University 2001-2002 Speeches” (2002年), 124)

聖典学習帳を使う課題

聖典学習帳を使う課題は、あなたが自分の言葉で書くものです。あなたはそれを毎週教師に提出し、教師はコメントを書いて返します。深く考えながら答えを書くことにより、聖典の真理を学び応用する際に意義深い経験ができるでしょう。

教義と原則

聖典の中からは福音の教義や原則が自然に浮かび上がってきます。そのような教義や原則を見つけることができるように、レッスンの中では太文字で書いています。

研究のヒント

研究のヒントでは、あなたが聖句を研究し理解するのに役立つように、洞察を与えたり、課題を解説したりしています。

モルモン書読書進度表

単元	今週わたしが読む読書課程	聖典を読む日						
1	タイトルページ 序文 三人の証人の証 八人の証人の証 預言者ジョセフ・スミスの証 『モルモン書』についての概説	日	月	火	水	木	金	土
2	1 ニーファイ 1 2 3 4 5 6 9	日	月	火	水	木	金	土
3	1 ニーファイ 7 8 10 11 12 13 14	日	月	火	水	木	金	土
4	1 ニーファイ 15 16 17 18 19	日	月	火	水	木	金	土
5	1 ニーファイ 20 21 22 2 ニーファイ 1 2 3	日	月	火	水	木	金	土
6	2 ニーファイ 4 5 6 7 8 9 10	日	月	火	水	木	金	土
7	2 ニーファイ 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25	日	月	火	水	木	金	土
8	2 ニーファイ 26 27 28 29 30 31	日	月	火	水	木	金	土
9	2 ニーファイ 32 33 ヤコブ 1 2 3 4	日	月	火	水	木	金	土
10	ヤコブ 5 6 7 エノス 1 ジェロム 1 オムナイ 1	日	月	火	水	木	金	土
11	モルモンの言葉 1 モーサヤ 1 2 3 4 5 6	日	月	火	水	木	金	土
12	モーサヤ 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	日	月	火	水	木	金	土
13	モーサヤ 18 19 20 21 22 23 24 25	日	月	火	水	木	金	土
14	モーサヤ 26 27 28 29 アルマ 1 2 3 4	日	月	火	水	木	金	土
15	アルマ 5 6 7 8 9 10	日	月	火	水	木	金	土
16	アルマ 11 12 13 14 15 16	日	月	火	水	木	金	土
17	アルマ 17 18 19 20 21 22 23 24	日	月	火	水	木	金	土
18	アルマ 25 26 27 28 29 30 31 32	日	月	火	水	木	金	土
19	アルマ 33 34 35 36 37 38	日	月	火	水	木	金	土
20	アルマ 39 40 41 42 43 44	日	月	火	水	木	金	土
21	アルマ 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63	日	月	火	水	木	金	土
22	ヒラマン 1 2 3 4 5 6 7 8 9	日	月	火	水	木	金	土
23	ヒラマン 10 11 12 13 14 15 16	日	月	火	水	木	金	土
24	3 ニーファイ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 1 - 17	日	月	火	水	木	金	土
25	3 ニーファイ 11 : 18 - 41 12 13 14 15 16	日	月	火	水	木	金	土
26	3 ニーファイ 17 18 19 20 21 22	日	月	火	水	木	金	土
27	3 ニーファイ 23 24 25 26 27 28 29 30	日	月	火	水	木	金	土
28	4 ニーファイ 1 モルモン 1 2 3 4 5 6 7 8 1 - 11	日	月	火	水	木	金	土
29	モルモン 8 : 12 - 41 9 エテル 1 2 3	日	月	火	水	木	金	土
30	エテル 4 5 6 7 8 9 10 11 12	日	月	火	水	木	金	土
31	エテル 13 14 15 モロナイ 1 2 3 4 5 6 7 1 - 19	日	月	火	水	木	金	土
32	モロナイ 7 : 20 - 48 8 9 10	日	月	火	水	木	金	土

ようこそモルモン書へ

モルモン書とは何か

モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証^{あかし}です。モルモン書には古代の預言者たちの記録が含まれています。それは、神がアメリカ大陸においてイスラエルの家の一つの枝に対して行われた事柄についての記録です。末日聖徒にとって、モルモン書は、聖書、教義と聖約、高価な真珠と並び立つ聖典です。モルモン書は、古代アメリカの偉大な文明の記録です。

モルモン書は1830年に初めて英語で出版されて以来、多くの言語に翻訳されてきました。これまでに印刷されたモルモン書の本数は総計1億5千万冊以上になります。神の預言者たちは、モルモン書は末日聖徒イエス・キリスト教会の「かなめ石」とであると述べています。

モルモン書を研究することは、 わたしにとってなぜ大切なのか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、誠実な心でモルモン書を研究する人は、神に近づくという祝福を受けることができると教えています。

「わたしたちには、神に近づきたい、日々の行いの中で神のようになりたい、絶えず神の存在を感じたいと願う気持ちが心の奥深くにあるのではないのでしょうか。そうだとするならば、モルモン書はほかのどの書物よりもその助けとなるものです。

モルモン書は確かに真理を教えています、それだけではありません。モルモン書は確かにキリストを証していますが、それだけでもありません。それ以上のものがあるのです。モルモン書には力があって、真剣に読み始めるやいなやその力は読む者の人生に流れ込み、誘惑に打ち勝つ力となります。またそれは欺きを避ける力となり、細くて狭い道にとどまる力となります。聖文は「命の言葉」と呼ばれていますが（教義と聖約84：85参照）、モルモン書ほどその言葉にふさわしいものではありません。命の言葉に飢え渇くようになればなるほど、ますます豊かに命を見いだすのです。」（「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」『リアホナ』2011年10月号、56－57）

モルモン書は今日^{こんにち}の世の人々のために書かれました。モルモン書の名前の由来となった古代の預言者モルモンとその息子モロナイは、金版を編さんしていたときに数百年分の歴史を短くまとめました。モルモン書はその金版からジョセフ・スミスが翻訳したものです。神は、はじめから終わりまでを御存じです。ですから神は、御自分の預言者が記録を短くまとめるときに、今日必要となる事柄を記録に含むように預言者に靈感を与えられました。モルモン書に最後に記録した預言者であるモロナイは、今の時代を予見してこう言いました。「見よ、わたしはあなたがたがここにいるかのように語っているが、あなたがたはまだこの世にいない。しかし見よ、イエス・キリストがわ

たしにあなたがたを見せてくださったので、わたしはあなたがたが行うことを知っている。」（モルモン8：35）

ベンソン大管長は、モルモン書を研究することにより、善と悪を見分けることができるようになることを教えています。

「モルモン書は二つの方法をもって人々をキリストのもとに導いています。その一つは、キリストとその福音について率直に告げる方法です。モルモン書はイエス・キリストが神であり、わたしたちには贖い主が必要であり、また主に信頼を置くことも必要であることを証しています。さらにモルモン書は、墮落と贖罪と福音の第一原則についても証しています。その中には、打ち砕かれた心と悔いる霊を持つことと、御霊によって生まれることの必要性も説かれています。また、わたしたちは正義を守って終わりまで堪え忍び、聖徒として徳高い生活を送らなければならないと、モルモン書は告げています。

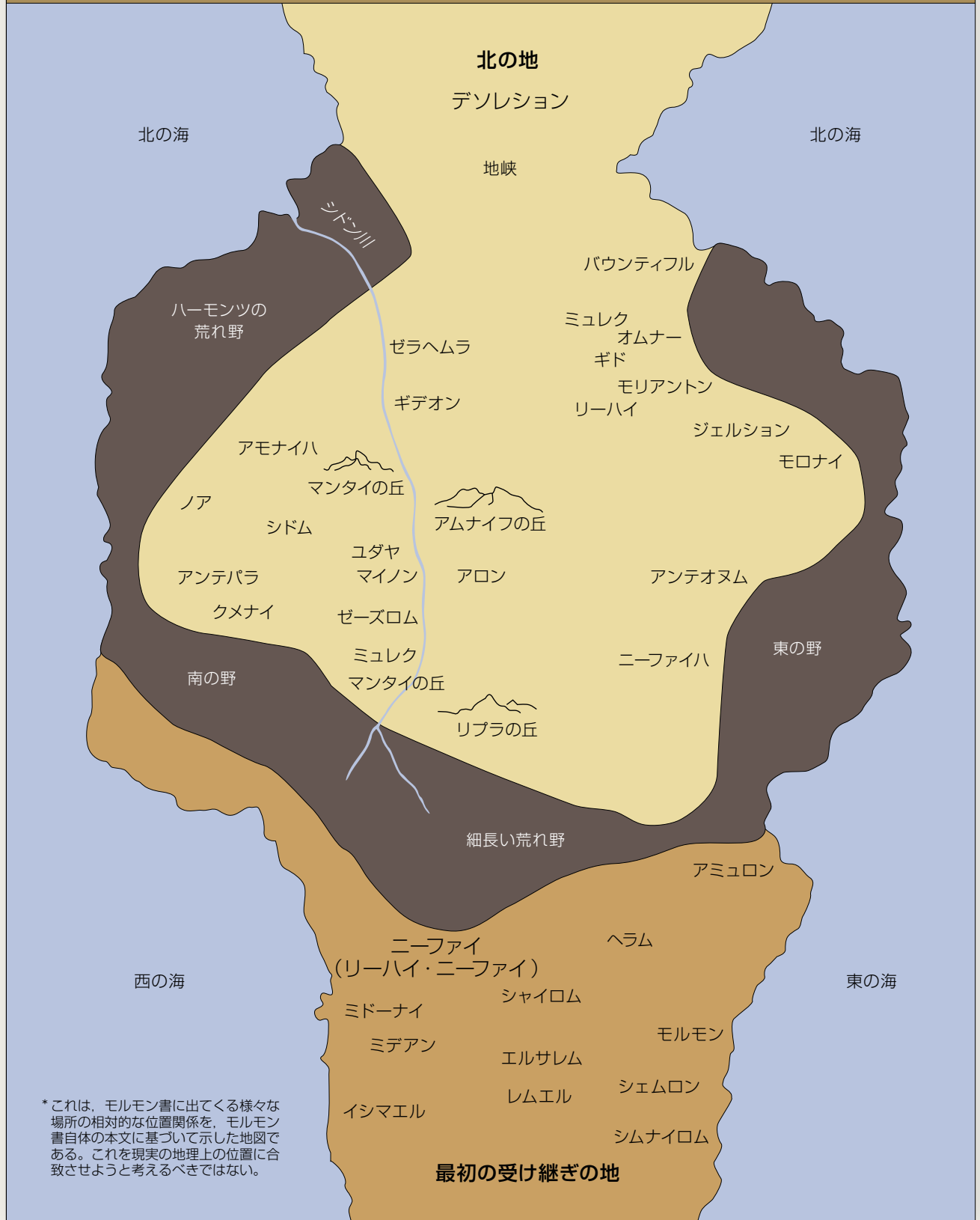
第二に、モルモン書はキリストの敵がだれかを、明らかにします。モルモン書は、偽りの教義を打ち破り、争いを鎮めます（2ニーファイ3：12参照）。またそれは、謙遜にキリストに従う者たちが、今日の悪魔の企てや戦略、その教えに頑強に対抗できるよう力を与えるものです。モルモン書の中の背教者のタイプは、今日のそれによく似ています。わたしたちが誤りを見抜き、今日の誤った教育や政治、宗教、哲学の概念といかに戦ったらよいかその方法を知ることができるように、神は実に無限の先見の明をもってモルモン書を備えられたのです。」（「モルモン経は神のみ言葉」『聖徒の道』1975年8月号、366－367参照）

モルモン書について

モルモン書は15の書からできています。それらのうちの8つの書は預言者ジョセフ・スミスが翻訳した金版に最初から記されていた前書きで始まっています。それらの書は、1ニーファイ、2ニーファイ、ヤコブ、アルマ、ヒラマン、3ニーファイ、4ニーファイ、エテルです。モルモン書の幾つかの章も、金版に最初から記されていた前書きで始まっています（「次の何章から何章がそれに相当する」という部分は除く）。モーサヤ9章、モーサヤ23章、アルマ5章、アルマ7章、アルマ9章、アルマ17章、アルマ21章、アルマ36章、アルマ38章、アルマ39章、アルマ45章、ヒラマン7章、ヒラマン13章、3ニーファイ11章、モロナイ9章

モルモン書の各章の最初には、章の短い要約が小さい文字で記されています。この章の要約は、大管長会の指示の下で書き加えられたものであり、金版から翻訳された最初のモルモン書の文章には含まれていませんでした。

推定：モルモン書の地理（互いの位置関係による）*



*これは、モルモン書に出てくる様々な場所の相対的な位置関係を、モルモン書自体の本文に基づいて示した地図である。これを現実の地理上の位置に合致させようとするべきではない。



聖文を研究する

はじめに

このレッスンの目的は、聖文を研究する方法と、それをするとき聖霊を招いて靈感と教えを受ける方法をあなたが学べるように助けることです。また、このレッスンでは、聖文について理解を深め、その教えを生活に取り入れるのに役立つ技術も教えられています。このレッスンを学びながら、あなたの福音研究に聖霊を招き入れる方法を探してください。

研究と信仰によって学ぶ

あなたがもっと健康な体になりたいと思い、友達に自分の代わりに運動をするように頼んだとします。友達が運動すると、あなたの健康状態はどのくらい変わるでしょうか。この例を霊的な成長と結び付けてみましょう。ある人がほかの人の代わりに運動できないのと同じように、ある人がほかの人の代わりに福音を学ぶことはできません。わたしたちはそれぞれ自分自身の福音学習と霊的な成長に対して責任を負っているのです。

教義と聖約 88 : 118 で、主はどのように福音を学ぶべきかを述べておられます。この聖句を読みながら、福音を学ぶために行う必要のあることを見つけ、次の言葉を完成させてください。「_____によって、また_____によって学問を求めなさい。」

研究と信仰によって学ぶには個人の努力が求められます。祈りをもって福音を研究しようと努力するとき、あなたは学習の過程に聖霊を招き入れることになるでしょう。今年、福音を研究するときにはできる努力として、理解できるように祈る、セミナーの課題を達成する、証や福音を實踐して経験したことをほかの人に伝える、学んだことを生活に取り入れる、などがあります。

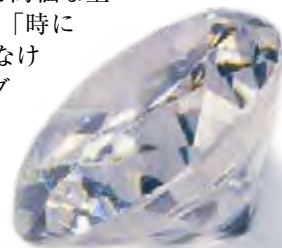
聖霊を招き、聖霊とともに霊的な学習を行うためにできる最も重要な努力の一つは、聖文を毎日研究することです。毎日個人で聖文を学ぶことは、あなたに語りかけられる主の声を聞く助けとなります（教義と聖約 18 : 34 - 36 参照）。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように約束しています。「神から話しかけてもらいたいときには、聖文を読むことができます。なぜなら神の御言葉は神の預言者を通して語られるからです。そして、聖霊の促しに耳を傾けると、教えを授けていただけるのです。」（「聖文 — 救いを得させる神の力」『リアホナ』2006 年 11 月号, 26）

聖文を読み、聖文の研究に聖霊を招き入れるとき、あなたは霊的にさらに成長し、神に近づき、生活の中でさらに大いなる啓示を受け、誘惑を退ける強さを増し加えられ、イエス・キリストの福音についてより大きな証を得るという祝福を受けるでしょう。

聖文の研究

マリオン・G・ロムニー管長は、聖文の主要な目的の一つを挙げて、次のように述べています。「聖文はわたしたちのために原則を書き残すという目的で記されてきました。」（“Records of Great Worth,” *Ensign*, 1980 年 9 月号, 4）聖文を研究しながら、わたしたちは福音の原則と教義を学びます。これらの原則と教義は、生活に取り入れるときにわたしたちの導き手となってくれます。

聖文に含まれているかけがえのない原則と教義を見つけるには努力と練習が必要です。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、聖文の研究を高価な宝石を採掘する作業にたとえています。「時に〔聖文〕のページから注意深く採掘しなければならぬことのある、真理というダイヤモンドを見つけてください。」（“Four Fundamentals for Those Who Teach and Inspire Youth,” in *Old Testament Symposium Speeches*, 1987 [1988 年], 1）聖文を研究する、つまり「採掘」する過程は 3 つの重要な部分から成っています。（1）聖句の背景や場面を理解すること、（2）教えられている原則や教義を見つけること、そして（3）それらの真理を自分自身の生活に取り入れることです。



1. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書いてください。「ダイヤモンドを探す採掘師と、福音の原則を探して聖文を調べ、見つけた原則を自分の生活に取り入れる人は、どのような点で似ているでしょうか。」

聖句の背景や場面を理解する

聖句の背景や場面を理解することは、そこに含まれている福音のメッセージに気づく備えとなります。トーマス・S・モンソン大管長は次のように勧めています。「聖文の中で説かれている教訓に慣れ親しんでください。……背景や場面を学んでください。それらを、あたかも自分に話されているかのように研究してください。実際、わたしたちに語られているからです。」（「最高の自分になる」『リアホナ』2009 年 5 月号, 67 - 68）

聖文を読むとき、次のような質問をすると役立ちます。「この節はだれが書いたのだろうか。」「だれに向けて書かれたのだろうか。」「この話では何が起きているのだろうか。」「著者がこの節を書いたのはなぜだろうか。」章の書き（各章の始めにあるゴシック体で書かれた要約）には、その章に記されているおもな出来事が簡単に述べられていて、これらの質問の答えが見つかることがよくあります。

難しい言葉やなじみのない言葉を辞書で調べることも役立ちます。聖句の一節や語句がよく分からないときは、そこにある脚注を参照すると理解を深める助けとなります。

これらを利用する練習として、3 ニーファイ 17 : 1 - 10 を読み、次の質問に対する答えを探してください。「だれが話

しているのだろうか。」「だれに向かって話しているのだろうか。」「何が起きているのだろうか。」章の中で起きている出来事を簡単に把握するために前書きを見るのを忘れないでください。



2. 3 ニーファイ 17:1 の脚注を使って、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書いてください。イエスは「わたしの時は近づいた」と言われましたが、それはどういう意味でしょうか。



3. 救い主が群衆のもとを離れる準備をしておられたときに起こったことを、聖典学習帳に自分自身の言葉で書いてください。なぜ主はとどまられたのでしょうか。主は民のためにどのようなことをされたのでしょうか。

教義や原則を見つける

教義や原則とは、永遠の、変わることはない福音の真理であり、それらはわたしたちの人生の進むべき方向を示してくれます。聖文に記録されている出来事や物語、説教を通して、昔の預言者たちはそのような真理をわたしたちに教えてくれています。

聖句の背景と場面を理解したなら、その聖句が教えている教義や原則を見つける準備ができています。リチャード・G・スコット長老は、原則を理解するうえで助けとなる方法について次のように述べています。「原則は真理を凝縮したものであり、異なった状況に広く適応できるものです。真の原則は、最も混乱した、またどうしようもない状況においても決定を明確なものにしてくれます。集めた真理を組み立てて簡潔な原則を生み出そうと努めるのは、有意義なことです。」「(霊的な知識を得る)『聖徒の道』1994年1月号, 97)

福音の原則の中には、「このことから分かるように」や「にもかわらず」などの表現を用いることで明確になるものもあります。しかし、ほとんどの原則は直接的に述べられてはいません。その代わりに、聖文に登場する人々の生き方によって示されています。そのような教義や原則は、次のように自問することによって見つけることができます。「この話の教訓や要点は何だろうか。」「なぜ記録者はこの話や出来事を載せたのだろうか。」「著者はわたしたちに何を学ばせようとしたのだろうか。」「この聖句ではどのような真理が教えられているだろうか。」



4. 3 ニーファイ 17:1–10 で教えられている原則や教義を見つける練習として、活動 a または b のどちらかについて、答えを聖典学習帳に書いてください。章の内容を簡単に把握するために前書きを見るのを忘れないでください。

a. これらの節で語っているのはだれですか。だれに向かって話していますか。3 ニーファイ 17:1–10 の教訓や要点は何でしょうか。

b. 1, 5–6, 9–10 節の記録者は、この話からわたしたちにどのようなことを学んでもらいたいと思ったのでしょうか。あなたがこれらの節から学んだ重要な真理には、どのようなものがありますか。

これらの節から、あなたは次のような福音の真理を見つけたことでしょうか。「主に近づきたいというわたしたちの心からの望みに主はこたえてくださる。」

教義や原則を実践する

福音の教義や原則が見つかったら、今度は「行動し」、「実践する」番です。学んだことに従って行動するとき、その原則が真実であるという聖なる御霊の証を感じることでしょう(モロナイ 10:4–5 参照)。家庭やセミナー、教会でのレッスン、「神への務め」の活動や「成長するわたし」の中で経験することはすべて、わたしたちが教えられたことに従って行動できるように助けることを目標としています。



トーマス・S・モンソン大管長は次のように言っています。「福音を教える目的は……クラスの生徒の心に『情報を注ぎ込む』ことではありません。……その目的は、考え、感じ、それから福音の原則に従って生活することについて何かを行うように人を励ますことです。」

(Conference Report, 1970 年 10 月, 107)

学んだ原則を実践できるように、次のように自問してください。「主はわたしにこのことを踏まえて何をするように望んでおられるだろうか。」「自分を改善できるように、御霊からどのような促しを受けただろうか。」「この原則によってわたしの生活はどのように変わるだろうか。」「この真理に従って生活するために、今、何を始めることができるだろうか。または、何をやめることができるだろうか。」「この聖句が教えていることを実行するなら、わたしの生活はどのように向上するだろうか。」



5. 聖典学習帳に、3 ニーファイ 17:1–10 から学んだ原則や教義をどのように実践できるかを短い文章にまとめてください。

聖文研究の技術と方法

次に紹介する研究の技術と方法は、聖句の背景を理解し、その中で教えられている教義や原則を見つけ、実践するうえで助けとなるでしょう。これらの方法については、このガイドの至る所で述べられています。それぞれの技術について読み、あなたの個人の聖文研究でもっと頻繁に用いる必要があると感じるものを一つか二つ選んでください。

原因と結果。「__ならば__であろう」や「__なので__である」という関係を探します。例–2 ニーファイ 13:16–26; アルマ 34:33。

相互参照。意味を明確にし、理解を深めるために、関連のある聖句を集めたり、結び付けたりします。例えば、モーサヤ 11:2–6, 14 と申命 17:14–20 を比較してください。また、脚注を使って相互参照する聖句を見つけることもできます。例えば、3 ニーファイ 12:28–29 では、28 節の脚注①に参照箇所として教義と聖約 42:23 が挙げられています。

背景を確認する。聖文で述べられている出来事について「だれが」「何を」「いつ」「どこで」を明らかにします。例えば、アルマ 31:1, 6 - 11; 32:1 - 6 には、アルマ 32:21 - 43 がどのような背景で述べられた言葉であるかが説明されています。

キーワード。「にもかかわらず」や「このことから分かるように」などの言葉は、今書いたことに関する説明を見つけるように読者に注意を促す言葉です。例 —アルマ 30:60; ヒラマン 6:35 - 36; 3 ニーファイ 18:30 - 32。

聖典に印を付ける。聖句の中で特別な意味を持つ重要な語句に色を塗ったり、丸を付けたり、線を引いたりします。また、思ったことや感じたこと、分かったことや、見つけた原則を余白に短く書き込みます。こうすることで、自分にとってどうしてその聖句が重要なのかを思い起こすことができます。

名前の置き換え。聖句に出てくる名前の代わりに自分の名前を入れます。例えば、1 ニーファイ 3:7 でニーファイの名前の代わりに自分の名前を入れてみてください。

深く考える。深く考えるとは、何かについてじっくりと思い巡らすという意味です。深く考えることには、問いかけることと、自分が知っていること、学んだことを見極めることが含まれます。深く考えることによって、原則を自分の生活でどのように実践すればよいか分かることがよくあります。

繰り返されている言葉。繰り返されている語句は、読者が注意を払うべき重要な言葉かもしれません。記録者が重要だと感じていたことを知る手がかりになります。例—2 ニーファイ 9:10, 19, 26 - 27, 39, 46 - 47 の「恐ろしい」、ヒラマン 5:6 - 14 の「覚えておきなさい」。

聖文の中で対比されているもの。時々、預言者は聖文の中で異なる人々や考え、出来事を並べて述べていることがあります。二つのものを対比することで、教えられている重要な福音の原則を見つけやすくなり、理解しやすくなります。一つの節、複数の聖句、または章の中で対比されているものを探してください。例—2 ニーファイ 2:27; アルマ 47 - 48 章。

聖句のリスト。聖句のリストを見つけることで、主とその預言者が教えていることについて理解を深めることができます。リストを見つけたら、それぞれに番号を付けるとよいでしょう。例えば、ヒラマン 4:11 - 13 にはニーファイ人の中にあつた邪悪な行いがリストアップされています。

聖文の中で用いられている象徴。「__のように」や「__にたとえられる」などの言葉は、象徴を見つけるのに役立ちます。その象徴が何を表しているかを判断してみてください。脚注や『聖句ガイド』は象徴の意味を知るのに役立ちます。例えば、モルモン書ヤコブ 5:3, 75 - 77 を同 6:1 - 7 と比較してください。

視覚化。読みながら、起こっていることを思い描きます。その出来事について自分で質問を考えたり、自分がその場にいたと想像したりしてみます。例えば、エノス 1:1 - 8 の場面を視覚化してみてください。

言葉の定義。聖文では、わたしたちにとってなじみのない言葉がしばしば用いられます。よく知らない言葉が出てきたら、『聖句ガイド』や脚注、または一般の辞書を使って意味を調べてください。



6. 上にある「聖文研究の技術と方法」の項から技術の一つを選び、使ってください。聖典学習帳に、その技術が個人の聖文研究でどのように役立ったかを書いてください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、「聖文を研究する」のレッスンを研究し、終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 1 — 第 2 日

救いの計画

はじめに

天の御父は御自分の子供であるわたしたち全員を永遠の幸福と昇栄に導くために、一つの計画を用意してくださいました。その計画の中心を成すのが、イエス・キリストの贖罪です。贖罪は堕落の影響に打ち勝ち、わたしたちが悔い改めて罪から清められるのを可能にしてくれます。それによって、わたしたちはこの世においても永遠にわたっても喜びを得ることができるのです。

このレッスンでは、天の御父の救いの計画の概要を学びます。今年学ぶ福音の真理が、互いにどのように関連しているか、またあなたが地上にいる目的にどのように関連して



いるかを理解する助けとなるでしょう。救いの計画について理解が深まるにつれて、神とその御子イエス・キリストを信じる信仰が増し、この計画の中で自分が果たすべき事柄を達成する能力も増すでしょう。救いの計画は「人の不死不滅と永遠の命をもたらすために定められたイエス・キリストの完全な福音」であり、「その中には、創造や堕落、贖罪、ならびに神から与えられたすべての律法と儀式と教義が含まれ〔ます〕。この計画によってすべての人が昇栄し、永遠に神とともに住むことができるようにな〔りました〕。」(『聖句ガイド』『贖いの計画』scriptures.lds.org)

救いの計画は、わたしたちが現世にいる目的を理解できるように助けてくれる

天の御父の救いの計画は、ほとんどの人が人生のどこかで考えたことのある多くの質問に答えてくれます。あなたは次のような質問について深く考えたことがありますか。「わたしはどこから来たのだろう。」「なぜここにいるのだろう。」「この世を去った後にどこへ行くのだろう。」

地上に生まれて来る前、わたしたちは天の御父の霊の子供として御父の御前に住んでいました。わたしたちは文字通り御父の子供であり、御父はわたしたちを愛しておられます。御父の救いの計画は、わたしたち一人一人が御父のようになり、御父の祝福のすべてを受けるための方法です。わたしたちは地上にやって来る前に、御父の計画を理解し、受け入れました。

モルモン書は、わたしたちが救いの計画を理解するうえで中心的な役割を果たします。モルモン書の預言者たちは、この計画について述べるときに様々な表現を使っています。

 1. 次の聖句を読み、それぞれの節で天の御父の計画に対して用いられている名前を見つけてください。聖典学習帳の、参照聖句の隣に名前を書いてください。最初の聖句についてはすでに名前が書かれています。

- a. 2 ニーファイ 9 : 6 「大いなる創造主の^{あわ}憐れみに満ちた計画」
- b. 2 ニーファイ 11 : 5 _____
- c. アルマ 12 : 25 _____
- d. アルマ 24 : 14 _____
- e. アルマ 42 : 8 _____
- f. アルマ 42 : 15 _____

憐れみに満ちた、解放する、救い、幸福、贖いなどの言葉は、「天の御父の計画は、御父の子供たちに永遠の救いと幸福をもたらすために作られたものである」という教義を強調しています。

 2. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書いてください。あなたが幸福と昇栄を得られるように天の御父が計画を用意してくださっていることを知っていることで、あなたの生活にどのような違いが生じるでしょうか。

救いの計画における選択の自由とアダムとエバの堕落の役割

アダムとエバは最初にこの地上にやって来た天の御父の子供たちでした。御父は二人をエデンの園に置き、彼らに選択の自由、すなわち「自分自身で選び、行動する能力と特権」をお与えになりました(『聖句ガイド』『選択の自由』の項、scriptures.lds.org)。また、御父は二人に善悪を知る木の実を食べてはならないとお命じになりました。この命令に従うとき、二人は園にとどまることができませんが、その一方で、死すべき状態で反対のものを経験することによって進歩することはできませんでした。悲しみや苦痛を経験できないので、喜びを知ることができなかったのです。

2 ニーファイ 2 : 17 - 20 を読み、神の命令に従わないことを選んだ後にアダムとエバに何が起こったかを探してください。用意されている欄に、アダムとエバが選んだ行いと、一般的に「堕落」と呼ばれるその選びが彼らにもたらした二つの結果について説明してください。

2 ニーファイ 2 : 22 - 26 を読み、アダムとエバの選びがもたらしたそのほかの結果を見つけてください。堕落の影響についてあなたがさらに学んだ真理に印を付けてください。

 3. 聖典学習帳に、アダムとエバの堕落によってあなた個人が受けている影響について、次のように書き始めて、短い文章にまとめてください。「選び」「選択の自由」「肉体」「死」「子供」「罪」について触れるようにしてください。

「アダムとエバの背きのゆえに、わたしもまた堕落した状態にあり、__。」

聖典学習帳

あなたは家庭学習を行いながら、質問に対する答えや教師に伝えたい自分の考えを聖典学習帳に書く機会があります。思ったことや受けた印象を記録し、学習ガイドにある質問への答えを書くことを通して、啓示を招き、特定の聖句について理解を深めることができます。学んだことについて話し合い、やり終えた課題を教師に見せられるように、毎週の家庭学習クラスに聖典学習帳を持参してください。

救いの計画におけるイエス・キリストの贖罪の役割

罪と死によってわたしたちは天の御父の御前から絶たれます。天からの助けがなければ、わたしたちは神の御前に戻ることはできません。イエス・キリストを信じる信仰を持ち、天の御父の計画に従うことができるように、わたしたちは救いの計画におけるイエス・キリストと贖罪の役割を理解しなければなりません。モーサヤ 3:17-19 を研究し、イエス・キリストの贖罪が、どのようにして堕落の影響に打ち勝ち、わたしたちが幸福を得て天の御父のもとに戻るように助けてくれるかについて述べている語句を探してください。この聖句をあなた自身の言葉で要約してください。

次の原則を学ぶことができます。「イエス・キリストは救いの計画の中心となる御方であり、神のすべての子供のた

めにその計画が有効となるのはイエス・キリストの贖罪があるからである。」



4. 次の聖句を読んでください。2 ニーファイ 2:8; モーサヤ 3:7-11; 16:4-8; アルマ 34:9, 15-16; モルモン 9:13-14。聖典学習帳に、救いの計画においてイエス・キリストの贖罪が中心的な役割をはたしていることについてこれらの聖句が教えていることを短い文章にまとめてください。自分にとって意義深い語句に線を引いてもよいでしょう。

救いの計画におけるわたしたちの役割

天の御父はわたしたちが御父や愛する人たちと一緒に永遠の幸福と昇栄にあずかるための完全な計画を用意してくださいました。イエス・キリストはその計画における御自分の役割を果たし、死に打ち勝ち、わたしたちが罪に打ち勝って天の御父のみもとに戻って再び生活するのを可能に



してくださいました。しかし、それによってこの計画におけるわたしたちの責任が取り除かれるわけではありません。

 5. 聖典学習帳に、「救いの計画におけるわたしの責任」と書き、贖罪の力をわたしたちの生活に招き入れ、救いの計画の祝福に十分にあずかるためにわたしたち自身が果たすべき責任について、次のそれぞれの聖句が教えていることを挙げてください。

- a. 2 ニーファイ 2 : 25 - 27
- b. モーサヤ 3 : 12 - 13
- c. アルマ 12 : 24 - 25, 32 - 34
- d. 3 ニーファイ 27 : 13 - 14, 20 - 22, 27

これらの聖句は、わたしたちが次のことを理解できるように助けてくれます。「わたしたちはイエス・キリストの福音に従って生活し、神の計画に従うときに、救い主の贖罪によって永遠の命を得る備えができる。」

 6. 救いの計画について教会で話をするように頼まれたとします。上の課題で調べた聖句から学んだことを用いて、天の御父の計画におけるわたしたちの個人の責任について、あなたならどのようなことを話すかを聖典学習帳に書いてください。

天の御父の計画における自分の責任をもっとよく果たすために、また、救い主の力を自分自身の生活に招くために、どのようなことができるか深く考えてください。あなたが思うことを、親、きょうだい、または親しい友人に伝えるとよいでしょう。

救いの計画は答えと進むべき方向を示してくれる

救いの計画を理解することによって、決断を下すときや、自分やほかの人が直面する疑問への答えを探すときに導きを得ることができます。

 7. 聖典学習帳に、次の質問のうちの一つに対する答えを書いてください。その際、救いの計画を理解することからどのような形で導きや答えが得られるかについて述べてください。

- a. 自分が文字通り神の息子または娘であることを知っていることは、自分自身の価値についてのあなたの気持ちにどのような影響を及ぼしていますか。
- b. 「自分の人生だから、自分のやりたいことをやる」と言う人に、あなたなら何と言いますか。
- c. 救いの計画について理解すると、人生とは楽しく過ごすためにあり、楽しみたいという自分自身の欲求を満たすためにあるのだという気持ちに打ち勝つうえでどのような助けとなるでしょうか。
- d. 試練を受けていて、これは神が自分を愛しておられないからだ、と感じている人を助けるために、救いの計画についての知識をどのように用いることができるでしょうか。

救いの計画を理解することは、あなたが神の戒めに従えるように助けてくれます。それは、なぜ戒めに従うべきなのかを救いの計画が説明してくれるからです（アルマ 12 : 32 参照）。

 8. 2 ニーファイ 2 : 25 を読んでください。それから、救いの計画の目的を要約するために、聖典学習帳に次の質問に対する答えを書いてください。「救いの計画はあなたとあなたの家族にどのような形で喜びをもたらしていますか。」

 9. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、「救いの計画」のレッスンを研究し、終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 1 — 第 3 日

タイトルページ、 序文、証人の証

はじめに

すでに聖書があるのに、なぜ末日聖徒イエス・キリスト教会の会員はモルモン書を必要とするのかと友達に尋ねられたとします。（もしかすると、あなたはすでにそのような経験をしたことがあるかもしれません。）そのようなとき、あなたなら友達に何と言いますか。

モルモン書の巻頭には、この神聖な書物の目的を説明するタイトルページと序文があります。そこには、モルモン書がわたしたちの証に与える影響、また、この書物がわたしたちと神との関係に与える影響が述べられています。モルモン書の巻頭には、また、翻訳されたモルモン書の原典である金版を見て、モルモン書の神聖な起源について証した証人たちの証も載っています。

このレッスンを終えるときに、今年のモルモン書の研究を最大限に有意義なものとするにはどうすればよいか考えてください。また、救い主イエス・キリストと回復された主の福音についての証を強めるために、モルモン書からどのような助けが得られるか考えてください。

タイトルページ

預言者ジョセフ・スミスは、モルモン書のタイトルページは昔の預言者モロナイによって金版に収められたことを説明しています。「モルモン書のタイトルページは、本のようにとじられたあの版の、最後の 1 枚の左側にあった文章を



一語一語そのまま翻訳したものです。その版にはこれまで翻訳されてきたこの記録が載せてあ[り]ました。そして、このタイトルページは、現代に書かれたものでは決してなく、わたしが書いたのでも、この時代にこれまでに生きた、あるいは今生きているだれかが書いたものでもありません。」(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』60 - 61)

タイトルページの最初の段落を読みながら、モルモン書が世に出る過程に主が関与されたことを証するために、モロナイが用いている語句を探してください。



1. 聖典学習帳に、モルモン書が書き記された過程、また、翻訳された過程に、主がどのように関与されたかを知ることが、あなたにとってなぜ重要であるかを書いてください。

タイトルページの第2段落を読みながら、モルモン書が書き記されたおもな目的としてモロナイが挙げている3つのことを探してください。(聖典に印を付けるとよいでしょう。)
「イスラエルの家」とはヤコブの子孫と、聖約を交わし主の教会の会員となった人々を指します(『聖句ガイド』「イスラエル」の項参照)。さらに、「ユダヤ人と異邦人」には、天の御父のすべての子供たちが含まれます。第2段落にある「イスラエルの家の残りの者」と「ユダヤ人と異邦人」を自分の名前に置き換えて、タイトルページのメッセージを自分自身に向けられたものとして読んでください。



2. 聖典学習帳に、モルモン書のこれらの目的を知ることが、モルモン書の重要性を理解するうえでどのような助けとなるかを書いてください。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、モルモン書の「おもな目的」について次のように述べています。

「モルモン書のおもな目的は、そのタイトルページに書かれているように、『ユダヤ人と異邦人に、イエスがキリストであり、永遠の神であり、すべての国民に御自身を現されることを確信させるもの』です。

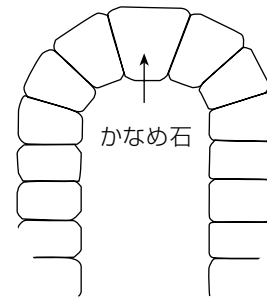
誠心誠意で真理を求める人は、靈感あふれるモルモン書の言葉について祈りながら深く考えるなら、イエスはキリストであられるとの証を得ることができます。

モルモン書の聖句のうち半分以上は主について述べたものです。キリストに対する様々な呼び名の中には、新約聖書よりモルモン書に頻繁に出てくるものもあります。」(「キリストのみもとに来て」『聖徒の道』1988年1月号、90参照)

タイトルページで宣言されているように、「モルモン書はイエスがキリストであられることを証するものです。」今年、モルモン書を研究しながら、イエス・キリストについて自分がどのようなことを学んでいるかに注意を向け、学んでいる事柄について聖霊の力によって確認を受けられるように天の御父に祈り求めてください。

モルモン書の序文

橋や建物のアーチが下に何の支えもないのに崩れないのはどうしてだろうと不思議に思ったことはありませんか。アーチを建設するときには、支えを用いながら両側を築き上げていきます。その後、アーチの頂点の空いている部分を注意深く測り、そこにぴったりと収まるように「かなめ石」と呼ばれる石を削ります。かなめ石が設置されると、アーチは外部の支えなしで立つことができます。かなめ石を取り除いたらアーチがどうなるか想像してみてください。



モルモン書の序文を開き、第6段落(「この記録について……」で始まる段落)を読んでください。この段落を読みながら、モルモン書について預言者ジョセフ・スミスが教えている重要な原則を3つ探してください。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、モルモン書がどのような点でわたしたちの宗教のかなめ石の役割を果たすかについてさらに説明しています。引用を読みながら、モルモン書がわたしたちの宗教において果たす中心的な役割について、だれかに説明するときに役立つかもしれない語句や文に下線を引いてください。

「モルモン書は3つの点でわたしたちの宗教のかなめ石です。それはキリストに対する証のかなめ石であり、わたしたちの教義のかなめ石であり、証のかなめ石です。

モルモン書はイエス・キリストに対するわたしたちの証のかなめ石であり、キリスト御自身はわたしたちが行うすべてのことの隅石となる御方です。モルモン書は力強く、しかも明快にイエスが実在の御方であることを証しています。.....

モルモン書に『イエス・キリストの完全な福音』が載っていると言われたのは主御自身です（教義と聖約 20：9）。それはすべての教え、これまでに明らかにされたすべての教義が載っているということではありません。そうではなく、モルモン書には救いに必要な完全な教義が収められているということなのです。そして、その教義は分かりやすく簡単に、子供でさえも救いと昇栄の道を学ぶことができます。.....

最後に、モルモン書は証のかなめ石です。かなめ石を取り外したらアーチが崩れ落ちるように、この教会のすべては、モルモン書が真実かどうかにかかっています。教会の敵はそれをよく知っています。彼らがこのモルモン書の誤りを立証しようとあらゆることをするのはそのためであり、もしモルモン書の信ぴょう性を揺るがすことができれば、預言者ジョセフ・スミスとともに倒れるからです。神権の鍵や啓示、また回復された教会についてのわたしたちの主張もそうです。しかし逆に、もしこのモルモン書が真実であるならば（事実、これが真実だという御霊の証を受けたと証する人は何百万人にも上ります）、回復やそれに伴うすべてのことを受け入れなければならなくなります。」（「モルモン書－わたしたちの宗教のかなめ石」『リアホナ』2011年10月号、54－55）

 **3.** モルモン書の序文の第8段落（「わたしたちはあらゆる地に住むすべての人に」で始まる段落）を読み、モルモン書が真実であることを知る方法を見つけてください。この段落を読んだ後、聖典学習帳に次の文の続きを書いてください。「わたしたちが読み、深く考え、祈るとき、聖霊が__。」

かなめ石がアーチのほかの石を支えるように、モルモン書についての証は福音のほかの重要な原則についてのわたしたちの証を強めてくれます。序文の第9段落（「聖なる御霊を通じて」で始まる段落）を読み、第8段落の勧めに従うことによって証が得られる3つの真理に線を引いてください。「わたしたちがモルモン書を読み、それについて深く考え、祈るとき、聖霊は、モルモン書が真実であること、イエスがキリストであられること、ジョセフ・スミスが神の預言者であったこと、末日聖徒イエス・キリスト教会が地上における主の王国であることを証してくださる」のです。

 **4.** 聖典学習帳に、なぜモルモン書がわたしたちの宗教のかなめ石と呼ばれているのかについて書いてください。

証人の証^{あかし}

あなたは裁判官で、二人の人の間で争われている問題について何が起こったのか真実を見極めようとしているとします。何が起こったかを知っている証人が一人いたら、その証言にはどれほどの価値があるでしょうか。多くの証人がいたら、さらにどれほどの価値があるでしょうか。



オリバー・カウドリ マーティン・ハリス デビッド・ホイットマー

主は、モルモン書の原典である金版（ジョセフ・スミスはその金版から翻訳した）を数名の証人にお見せになりました。「三人の証人の証」を読み、版とモルモン書の出現について証するために証人たちが用いている幾つかの表現に印を付けてください。次に、「八人の証人の証」を読んでください。下の表に示されている、両者の経験の相違点に注目してください。

三人の証人	八人の証人
1. 天使が「版」「ウリムとトンミム」「胸当て」「リアホナ」「ラバンの剣」を見せた。	1. ジョセフ・スミスが版を見せた。
2. その記録が神聖なものであることを宣言する神の声が聞こえた。	2. 金版を手で持ち上げた。

 **5.** 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書いてください。ジョセフ・スミスのほかに金版についての証人がいることは、なぜ重要なのでしょう。

 **6.** 聖典学習帳に、モルモン書とジョセフ・スミス、回復されたイエス・キリストの福音に関するあなた自身の証を書いてください。まだ自分自身の証がないと感じる場合は、今年モルモン書についての証をはぐくむために行うことを書いてください。証を強めるために、書いたことについてあなたが感じていることを、親か家族のほかのだれか、または友達に伝えてください。

 **7.** 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、「モルモン書の巻頭にある文書」のレッスンを研究し、終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

モルモン書の概観

はじめに

預言者ジョセフ・スミスは、モルモン書の出現にまつわる出来事について述べています。ジョセフの記録を研究することによって、あなたは、ジョセフの預言者としての召し

証をはぐくむ

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、ほかの人に証することによって証がはぐくまれると教えています。

「証は実際に証を述べる中で見いだすものです。……

本を読み、人の話を聞いて証を得ることにはそれなりの意義があります。それは最初の段階として必要なことです。しかしそれは、自分が証してきたことが真実であるという御霊の確認を受けることとはまったく別の事柄です。」(『主のともしび』『聖徒の道』1983年10月号, 42)

「預言者ジョセフ・スミスの証」

「あなたの教会はどのようにしてモルモン書を入手したのですか」と尋ねられたら、あなたならどのように答えますか。

モルモン書の巻頭にある「預言者ジョセフ・スミスの証」には、高価な真珠に収められている「ジョセフ・スミスー歴史」からの抜粋が載っています。「預言者ジョセフ・スミスの証」には、モルモン書が世に出たいきさつが、預言者自身の言葉で述べられています。あなたの毎日の聖文研究の時間に、この話の全体を「ジョセフ・スミスー歴史」から読むとよいでしょう。

「預言者ジョセフ・スミスの証」には節の番号が振られていないので、このレッスンでは読むように指示される箇所を見つけやすいように「ジョセフ・スミスー歴史」を参照します。預言者ジョセフの証を研究しながら、「モルモン書

が神の力によって世に出された」ことを示す証拠を探してください。

ジョセフ・スミスー歴史 1:29 – 35, 42 – 43 を読み、モロナイがジョセフ・スミスを訪れたときのことをだれかに説明するとしたら、伝えたいと思う箇所一つ一つに線を引いてください。ジョセフ・スミスー歴史 1:34 に記されているモロナイの言葉によると、金版には何が載っていますか。



1. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書いてください。「ジョセフ・スミスー歴史 1:29 – 35, 42 – 43 の話をだれかに伝えるとしたら、その中であなたが強調したいと思うことを一つ挙げてください。そのことがあなたにとって重要なのはなぜですか。」



2. ジョセフ・スミスー歴史 1:51 – 54 を読み、次の質問についてあなたの考えを聖典学習帳に記録してください。「ジョセフ・スミスは、毎年天使モロナイの訪れを受けながら何を学んだのでしょうか。版を手に入れて翻訳する前に4年にもわたる指導を受けることがジョセフにとって重要だったのはなぜだと思いますか。」

準備の期間、または、指導を受ける期間が終わった後、1827年にジョセフ・スミスは版を授かり、神の賜物と力によって翻訳する責任を受けました。ジョセフ・スミスー歴史 1:59 – 60 を読み、金版に関してジョセフに与えられた責任を見つけてください。

『モルモン書』についての概説

モルモン書がどのような構成になっているかを理解するために、「預言者ジョセフ・スミスの証」の次にある『モルモン書』についての概説を読んでください。読んだ内容を、このレッスンの最後に載っている図と比べてください。この図では、様々な版がどのように組み合わせられてモルモン書を構成しているかが説明されています。

リーハイから始まって、1,000年以上後の預言者であり歴史家であるモルモンとその息子のモロナイに至るまで、ニーファイ人とレーマン人の歴史の中で多くの人物が記録者を務めました。モルモンは、これらの昔の預言者たちが書いたものと1,000年にわたる民の歴史を短くまとめるように主から指示を受けました。モルモンが短くまとめたものは、金版としても知られているモルモンの版に記録されました。モルモンの死後、息子のモロナイが記録を完成させ、版は預言者ジョセフ・スミスに渡されるまで隠されました。

モルモンはニーファイ人の記録を短くまとめたものを作ることにについて幾つかの箇所で述べています。ヒラマン 3:13 – 15 もその一つがです。この聖句を読んで、モルモンとモロナイが金版に載せることのできたものよりもずっと多くの記録があったことに注目してください。

モルモンの言葉 1:9 とモルモン 8:34 – 35 を読んでください。モルモンとモロナイがモルモン書の記録を編纂したときに主がどのように二人を助け、導かれたかについて述べている語句に印を付けてください。



3. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書いてください。もしあなたがモルモンまたはモロナイで、預言者たちが残した膨大な量の書き物を一つの記録に短くまとめる責任を受けたとしたら、何を掲載するかをどのようにして決めますか。

これらの聖句から、「モルモン書の記録者たちはわたしたちの時代を見て、わたしたちにとって大きな助けとなる事柄を書いた」ということが分かります。このことを、聖典のモルモン 8:35 のそばに書き込んでおくとよいでしょう。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、モルモン書が「わたしたちのために書かれたものである」ことを証し、このことを知ることがモルモン書を研究するときにどのような助けとなるかを説明しています。

「ニーファイ人にも、古代のレーマン人にもモルモン書はありませんでした。まさにわたしたちのためのものなのです。モルモンはニーファイ人の文明の末期にこれを書き記しました。すべてを初めから見ておられる神の靈感の下に、モルモンはわたしたちのためになる物語、話、出来事を選んで、何世紀にもわたる記録を短くまとめたのでした。……

彼らがわたしたちの時代を見、わたしたちのためになることを選んでくれたとしたならば、なおさらモルモン書を研究する必要があるのではないのでしょうか。『これを記録するように主がモルモン（モロナイあるいはアルマ）に靈感をお与えになったのはなぜだろうか、現代の生活への教訓として何を学べるのだろうか』と絶えず自問する必要があります。（『モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石』『リアホナ』2011年10月号、55 – 56）

このように自問しながら学習するとき、あなたの生活にとって最も助けになると主が知っておられた原則と教義を見いだすことができるでしょう。

今のあなたの生活について考えてください。抱えている疑問や直面している状況で、神から導きを受けたいと思うものについて思い巡らしてください。その中の一つか二つを個人の日記（教師に見せる聖典学習帳ではありません）に書いてください。毎日モルモン書を研究するとき、これらの状況に関する導きや助言を与えてくれる原則を探してください。



毎日の聖文研究について、ゴードン・B・ヒンクレイ大管長は次のように述べています。「忙しすぎると思うかもしれませんが、しかし、1日に10分でも15分でも聖典、特にモルモン書を読むことができれば、偉大な永遠の真理について、驚くほど理解が深まるに違いありません。この真理の教えは、全能の神の力によって神の子供たちに祝福をもたらすために保存されてきたものだからです。……読むにつれて、わたしたちの救い主であられる御方をもっと身近に感じることでしょう。」（『あなたの内なる神の賜を伸ばしなさい』『聖徒の道』1990年1月号、98）



4. 今年モルモン書を読むことを実り豊かな経験とするためにどのような目標を設定できるか深く考えてください。目標を聖典学習帳に記録してください。定期的に進み具合を評価する時間を設けるとよいでしょう。

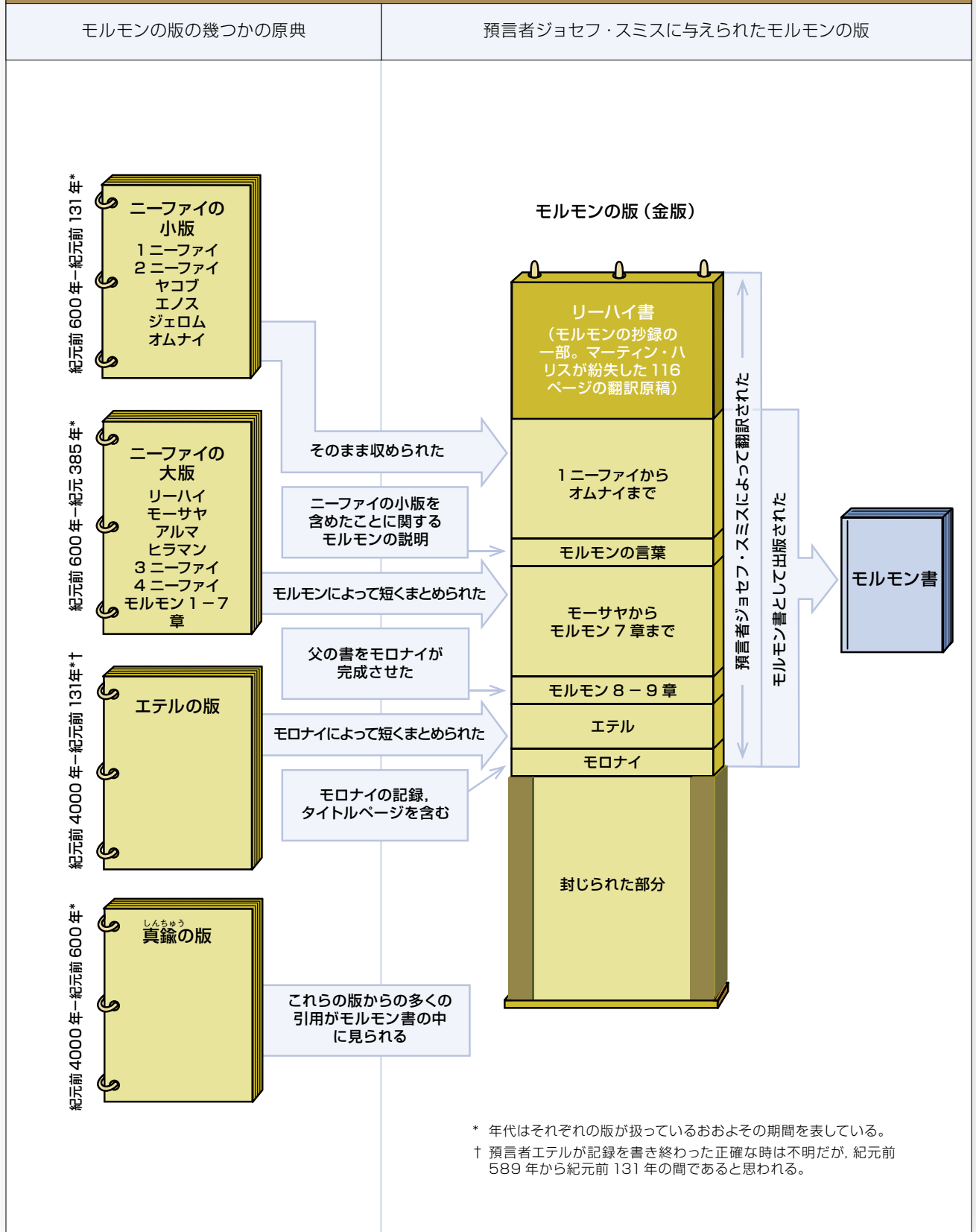


5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、「モルモン書の概観」のレッスンを研究し、終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

版と出版されたモルモン書との関係



はじめに

ニーファイ第一書

なぜこの書を研究するのか

ニーファイ第一書を研究すると、「主の深い憐れみは、信仰があるために主から選ばれたすべての者のうえに及び、この人たちを強く〔する〕」ということが分かるでしょう（1 ニーファイ 1：20）。例えば、あなたは次のことが分かるでしょう。「神はどのようにしてニーファイに真鍮の版を得させて、家族が聖典を携えられるようにされたか。」「神はどのようにしてニーファイを命の危険から救い出されたか。」「神はどのようにしてリーハイとその一行を荒野での飢えや海上での命の危険から守り、約束の地まで無事に導かれたか。」

リーハイとその民は、戒めを守ることによって神の憐れみと助けを受けました。リーハイとニーファイが神に導きを求めると、聖典や夢、示現、羅針盤を通して神の憐れみと助けが与えられました。ニーファイは地球の歴史に関する示現を受け、その示現を通して神が全知全能であることを知り、それを記録しました。ニーファイは数々の示現を通して、イエス・キリストが将来バプテスマを受け、教導の業を行い、十字架につけられることを知りました。

この書を通してニーファイとリーハイの経験を研究すると、生活の中で天の祝福を求めて受ける方法が分かるようになります。

だれがこの書を書いたのか

この書は、リーハイの息子ニーファイが、民の記録を書くようにという主の命令に従って書きました。ニーファイはエルサレムの町またはその付近で生まれたと思われます。ニーファイは預言者エレミヤやゼデキヤ王の時代にエルサレムに住んでいました。

エルサレムが滅亡するという父親の言葉はほんとうなのか、家族はほんとうに出て行かなければならないのか、ニーファイは自分で確信を得たいと思いました。主の勧告を求めて、主の勧告に従い続けることにより、ニーファイは神の御手に使われる者となりました。ニーファイは兄弟とともにエルサレムに2度戻りました。初めは真鍮の版を得るため、次は、イシマエルの家族を説得して荒野にいるリーハイの家族と行動を共にしてもらうためです。ニーファイは主の助けを受けて、一行が約束の地へ行くための船を造りました。リーハイが亡くなると、ニーファイが民の指導者になりました。

いつ、どこで書かれたか

ニーファイが後にニーファイ第一書となる記録を書いたのは、紀元前約570年、すなわち、家族とともにエルサレムを出てから30年後のことでした（2 ニーファイ 5：28）。ニーファイはこの記録を、ニーファイの地にいるときに書きました。

単元2—第1日

1 ニーファイ 1 章

はじめに

モルモン書の冒頭で、ニーファイは父リーハイについて記述しています。リーハイは預言者として、また家族の神権指導者として、その務めを忠実に果たしました。リーハイの務めを理解すると、今日の預言者の役割がさらによく分かるでしょう。リーハイは「民に向かい、悔い改めなければ〔ならないと〕……預言した」多くの預言者の一人でした（1 ニーファイ 1：4）。リーハイが神に従順に従ってエルサレムの滅亡を預言したので、人々は彼をあざけり、殺そうとしました。しかしリーハイは、主が憐れみと救う力を持っておられることに喜びを覚えました。1 ニーファイ 1 章を研究し、自分がこれまで神の憐れみと助けをどのように受けてきたかを考えてください。

1 ニーファイ 1：1－3

ニーファイ、記録を始める

1 ニーファイ 1：1を読んで、ニーファイがどのような人生を歩んでいたかを説明するキーワードや文章を見つけてください。



1. 1 節で読んだことを踏まえて、聖典学習帳に、あなたの人生とニーファイの人生との共通点を少なくとも1つ書きましょう。



2. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。「どうしてニーファイは『多くの艱難に遭った』のに『生まれてこのかた主の厚い恵みを受け〔た〕』のでしょうか。」

1 ニーファイ 1：4－20

リーハイ、示現を受け、エルサレムが滅ぼされることを民に警告する

何か危険なことについて両親や教会の指導者から警告されたときのことを思い浮かべてください。彼らはどのような動機からあなたに警告したのでしょうか。

天の御父はわたしたちを愛しておられ、わたしたちが罪に陥らないよう望んでおられます。罪は有害だからです。神が御自身の子供たちを警告する経路の一つは預言者です。「預言者は罪

聖文研究の祝福

今年、あなたには、セミナリー生徒としてモルモン書を読む機会があります。聖文を読むと、主との関係が強くなります。スペンサー・W・キンボール大管長は次のように教えています。「わたしは自分と神との関係が密接でなくなったと感じるとき、また神が耳を傾けず、声を発しておられないように感じるとき、神から遠く離れていることが分かります。そのようなとき、もし熱心に聖文を読むならば、その距離は縮まり、霊性が戻ってきます。」（『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』66－67）

について警告し、イエス・キリストによる救いについて教えます。」1 ニーファイ 1 章を研究しながら、この原則が実証されている箇所を探しましょう。ニーファイの記録は、多くの預言者が教えを説き、悔い改めなければどのようなことが起きるかを警告した話から始まります (1 ニーファイ 1:4 参照)。1 ニーファイ 1:5 - 7 を読み、リーハイがどのように祈ったか、何について祈ったかが書かれている箇所を見つけて、自分の聖典に印を付けましょう。主にささげた祈りを見ると、リーハイが預言者の言葉を信じていたことが分かります。

1 ニーファイ 1:8 - 10 を読んで、リーハイが示現の中で見たものにすべて丸を付けましょう。

神	天使
イエス・キリスト	十二人の人

1 ニーファイ 1:11 - 12 を読み、渡された書物を読んでリーハイがどうなったかに注目してください。主はこの示現を通して、エルサレムの民に教えるためにリーハイをさらに備えられました。1 ニーファイ 1:13 を読み、エルサレムについてリーハイがどんなことを教えられたかに注目しましょう。読みながら、もし自分の家や町でそのようなことが起きると主から言われたらどんな気持ちになるか、リーハイの立場に立って想像してみてください。



自分の民や住んでいる町が減ぼされると警告されたことは、リーハイにとって

非常に辛いことだったにちがひありません。1 ニーファイ 1:14 - 15 を読んで、エルサレムが減ぼされる光景を目にしたにも関わらず、リーハイが喜んだ理由を見つけてください。

 3. 次の質問に対するあなたの考えを聖典学習帳に書きましょう。「1 ニーファイ 1:5 - 15 の経験を通して、リーハイの『民に教え、悔い改めを勧めたい』という望みはどのような影響を受けたでしょうか。」

エルサレムが減びるという警告を受けたリーハイは、そのことをエルサレムの人々に伝えました。悔い改めなければ減ぼされると警告したのです。1 ニーファイ 1:18 - 20 を読んで、エルサレムの民がどのような態度を取ったか調べましょう。あなたが新聞社の編集長で、1 ニーファイ 1:18 - 20 に見出しを付けなければならないとしたら、どんな見出しにしますか。_____

次の文章について考えてください。

「古代の^{あかし}預言者と同様、現代の預言者もイエス・キリストについて証し、イエス・キリストの福音を教えます。預言者は神の^{みことば}御心と真の属性を知らせます。預言者は大胆かつ



明確に語り、罪を非難し、罪のもたらす結果について警告します。時には、わたしたちのために将来の出来事について預言するように靈感を受けることもあります。」(『真理を守る — 福音の参考資料』189)

 4. 反対勢力があったとしても果たさなければならぬ預言者の責任とは何か、あなた自身の言葉で一つの文にまとめ、聖典学習帳に書きましょう。

ニーファイは父親がエルサレムで経験したことを書き、読者に向けたメッセージを添えました。それは、1 ニーファイ 1:20 の中の「しかし見よ、主の深い憐れみは、信仰があるために……」で始まる言葉です。この節では、ニーファイが自身の記録で一貫して強調したテーマが紹介されています。1 ニーファイ 1:20 でこのテーマの箇所に線を引いてから、同じテーマについて書いてある箇所をモロナイ 10:3 で探してください。(モロナイはモルモン書の最後の預言者です。ニーファイとモロナイでは、時代が千年違います。)

モルモン書の最初の章で、ニーファイが自分の記録の中で「主の深い憐れみ」を示すと宣言していることに注目してください (1 ニーファイ 1:20)。モルモン書の最後の章では、モロナイが「主が……どれほど憐れみをかけてこられたか」を思い出すように言っています (モロナイ 10:3)。



ニーファイがその記録の初めからわたしたちに理解してほしいのは「主の深い憐れみは主を信じる信仰を働かせる人々に及ぼされる」ということでした。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、主の深い憐れみはわたしたちの生活の中でどのように表されているかについて説明しています。ベドナー長老の説明を読み、「主の深い憐れみ」とは何かを伝えるためにベドナー長老が使っている言葉を丸で囲みましょう。

「主の憐れみはきわめて個人的です。それは主イエス・キリストから、主を通じて、一人一人の必要に応じた祝福、強さ、守り、確信、導き、愛と思いやり、慰め、支え、そして霊的な賜物として注がれます。……

主の深い憐れみは、無作為に注がれるものでも、偶然に示されるものでもありません。忠実さと従順さによってこの重要な賜物を受けることができ、多くの場合、主の御心になかったときに、それらに気づき、その価値を認識することができるのです。』（「主の深い憐れみ」『リアホナ』2005年5月号、99－100 参照）

 5. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。「あなた自身の生活や知人の生活の中で、どのようなときに主の深い憐れみが及ぶのを見てきましたか。」

主の深い憐れみが自分に及んだことがあるか考えてみてください。そのような経験がある人は、これからもその憐れみを感じることができるよう心がけてください。憐れみに気づいたら日記に記録しましょう。このようにすると、神がどのような祝福をあなたに下さったのかが、さらによく分かるようになります。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ1章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元2—第2日

1 ニーファイ2章

はじめに

神からの啓示に対してどんな態度を取るかは、人により様々です。主は夢の中でリーハイに、家族を連れて荒れ野へ行くように命じられました。レーマンとレムエルは神の命令に対してつぶやきましたが、ニーファイは確信を得たいと望みました。この異なる態度を比較すると、主から指示が与えられたときに選択の自由をどう働かせたらよいかを理解できるようになるでしょう。

1 ニーファイ2：1－7

神、リーハイに荒れ野へ出て行くよう命じられる

自分がリーハイだったと仮定してみてください。主はあなたと家族に、家とすべての財産を置いて行くよう命じられます。何日も歩かなければなりませんし、持って行けるのは家族に必要な食糧のみです。あなただったら、そのような命令にどう答えるか考えてみましょう。

1 ニーファイ2：1－6を読み、リーハイとその家族が荒れ野へ出て行かざるを得なくなった状況を調べましょう。



なぜ人々は「〔リーハイ〕の命を奪おうとして〔いた〕」のでしょうか（1 ニーファイ2：1 参照）。_____

主はリーハイに何をしよう命じられましたか（1 ニーファイ2：2 参照）。_____

リーハイは、「わたしたちが忠実であり、従順であるならば、試練を受けるときに主が助けてくださる」という福音の原則を示す模範です。

 1. 聖典学習帳に1 ニーファイ2：4に関する次の質問の答えを書きましょう。「何を持っていき、何を置いていくかを決めたリーハイの判断基準からどのようなことが学べますか。」

リーハイの旅路を地理的にもっとよく理解するため、レッスンの最後にある地図を参照してください。

1 ニーファイ2：7を読み、家族を連れて荒れ野の旅に出たリーハイが最初に行ったことに注目してください。ここから分かるリーハイの大切な特徴を説明するために、どのような言葉を使うことができるでしょうか。_____

1 ニーファイ2：8－14

レーマンとレムエル、父親に対してつぶやく

リーハイの4人の息子は皆同じ旅をしたものの、神の戒めに対して取った態度はそれぞれ異なっていました。

1 ニーファイ2：8－10を研究し、「川」と「谷」という言葉を丸で囲みましょう。

 2. 聖典学習帳に、次の質問の答えを書きましょう。「リーハイはレーマンとレムエルを川や谷と比較することによって彼らに何を教えようとしていたのでしょうか。」

1 ニーファイ2：11－14を読み、レーマンとレムエルが父親に対してつぶやいた理由を見つけましょう。（注 — 「強情」とは高慢あるいは頑固という意味です。）

サタンがつぶやくようそそのかす理由の一つは、人々が生ける預言者や靈感を受けた指導者、両親に従わないよう仕向けるためです。七十人のH・ロス・ワークマン長老は、つぶやくことについてこのように述べています。「つぶやきには3つの段階があります。各段階は、不従順へ続く道の次の段階へとつながっています。」



まず、人はつぶやくとき、自分の判断で生ける預言者の教えを疑い始めます。「彼らはまず自分の心の内に疑問を抱き、そしてその疑問をほかの人の心にも植え〔る〕のです。」

次に、つぶやく人は「正当化して、行うように指示されたことから免れようとし始めま〔す〕。……不従順に対する言い逃れをするので〔す〕。

主の戒めへの従順を怠るという3つ目の段階が、当然のごとく待ちかまえています。〔教義と聖約 58：29 参照〕……

わたしは、皆さんが生ける預言者の戒めの中でも最も厄介に思っているものに目を向けるようお勧めします。その戒めが自分に当てはまるかどうか疑問を持っていないでしょうか。その戒めに今従えない都合のいい『言い逃れ』を用意していないでしょうか。その戒めを思い出させてくれる人に対して、不満やいらだちを感じていないでしょうか。そして守ることを怠っていないでしょうか。サタンの欺きに気をつけてください。つぶやきに注意してください。」「(つぶやきに注意する)『リアホナ』2002年1月号、98－100 参照)



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「戒めや教会の標準に対してつぶやいている(不平を言っている)自分に気づいたら、あなたはどのようなか。」



1 ニーファイ 2：16－19

ニーファイ、理解する力を主に求める

1 ニーファイ 2：16－19 を読み、ニーファイが望んだことと、父親を通して与えられた主の命令を受け入れるために行ったことに印を付けましょう。ニーファイはつぶやきませんでしたが、主がニーファイの心を和らげられたことを考えると、やはりエルサレムを離れるのがつらかったのかもしれませんが。彼が1 ニーファイ 2：16 で書いている事柄についてよく考えましょう。



4. 聖典学習帳に、ニーファイのように天の御父に叫び求めて御霊によって心が和らげられた経験や、主が語られた言葉に対する証を得たときのことを書きましょう。

ニーファイの経験は、次の福音の原則を教えています。「神に願い求めるとき、神は神の言葉を信じるようわたしたちの心を和らげてくださる。」

1 ニーファイ 2：17－18 を読み、主が心を和らげてくださった後にニーファイが何を望み、どんな行動をしたか調べましょう。ニーファイ、サム、レーマン、レムエルはそれぞれ異なる態度を示しましたが、このことから何を学べるか考えましょう。この真理は大切です。「聖霊を通して学んだことを伝えと、ほかの人にもわたしたちの言葉を信じる可能性がある。」



5. サムがニーファイの言葉を信じたように、だれかの言葉のおかげで神の言葉を信じるようになったときのことを聖典学習帳に書きましょう。

御霊によって学び、真実だと感じたことを伝えるとしたら、だれに伝えることができるか考えましょう。友達かもしれませんがし、家族や教会の指導者、教師かもしれません。今週、時間を取ってその人にその証を伝えてください。

1 ニーファイ 2：20－24

主、ニーファイにあなたは従順なので栄えると約束される

1 ニーファイ 2：20－21 に書かれている約束を見つけ、印を付けましょう。この約束はモルモン書全体で34回登場します。モルモン書を研究していくと、ニーファイに語られた主の言葉はすべて成就したことが分かります。今日のレッスンの締めくくりに1 ニーファイ 2：22－24 を読みましょう。

神は従順で忠実な人々を祝福されます。神の戒めに対して自分がどのくらい従順か考えてください。さらに従順になれる方法の一つ見つけてください。御霊を通して受けた気持ちに従いましょう。





6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元2—第3日

1 ニーファイ 3－4 章

はじめに

主は、息子たちをエルサレムに帰してラバンのもとから真鍮の版を持ってこさせるようリーハイにお命じになりました。どうしたらこの命令が果たせるのか、レーマンとレムエルには分かりませんでした。ニーファイには、主が求められることを行うためには主が道を用意してくださるという信仰がありました。ニーファイは何度も困難に遭いながらも、主がお求めになったことを忠実に果たそうとしました。その結果、彼は聖霊に導かれて、版を手に入れることができたのです。このニーファイの経験から、辛抱強く従えば、難しい状況でも主の助けが受けられるようになることが分かります。

1 ニーファイ3：1－9，19－20

リーハイの息子たち、エルサレムに戻る

難しい状況に陥って、どう解決したらよいかと悩んだことはありませんか。今日のレッスンを学ぶと、従順になるという信仰と決意をさらに強固なものにすることができるよう。まず1 ニーファイ3：1－6を読み、主がリーハイを通して息子たちにお与えになった命令の箇所を見つけて、自分の聖典にマーカーで印を付けましょう。主の命令に対してレーマンとレムエルが示した態度と、ニーファイが示した態度の違いにも注目してください。

主が命じられたことがどれほど大変なことだったかを理解するために、エルサレムから紅海（アカバ湾）までの距離は180 マイル（約288km）あり、しかも、盗賊がはびこる暑い不毛の地を通して行かなければならなかったことを知っておくといよいでしょう。リーハイと家族はすでに3日間旅しており（1 ニーファイ2：5－6 参照）、主はこの期に及んで息子たちをエルサレムへ帰すよう命じられたのです。1 ニーファイ3：7－8を読んで、ニーファイが主の命令に従おうと思った理由を見つけましょう。

ニーファイは、「主の命令を行うなら、主はそれを成し遂げる道を用意してくださる」という原則について証しました。1 ニーファイ3 章を研究しながら、ニーファイが示した勇気と決断力を模範にして、さらに主に従順になり、主に対してさらに大きな信仰を示すために何ができるか考えましょう。特に、ニーファイが困難な状況にどのように対処したかに注目してください。ニーファイは兄たちと一緒に真鍮の版を取りに行き、ひどい目に遭いましたが、つぶやこうとはしませんでした（1 ニーファイ3：6 参照）。

真鍮の版には「ユダヤ人の記録」（1 ニーファイ3：3）、つまりユダヤ人の聖典が含まれていました。このユダヤ人の聖典には、現在旧約聖書に記されている記録や情報の一部と、預言者が記したその他の記録が入っていました。1 ニーファイ3：19－20を読み、真鍮の版に載っている事柄でリーハイの家族と子孫にとって非常に大切だったものに線を引きましょう。

📖 マスター聖句—1 ニーファイ3：7

1 ニーファイ3：7を3回読みましょう（声に出したり、心の中で読んだりなど、読み方をいろいろと変えてみるとよいでしょう。）聖典を閉じて、聖句を見ないで次の質問に答えてみましょう。

- ニーファイはだれと話していましたか。 _____
- ニーファイは何をしようと決意しましたか。 _____
- ニーファイは主が何をしてくださることを承知していましたか。 _____

聖典を開き、1 ニーファイ3：7をもう一度読んで、答え合わせをしましょう。

預言者ジョセフ・スミスは「わたしは主が命じられたら行うと決めています」と言っています（*History of the Church*, 第2巻, 170 から抜粋）。自分の聖典の1 ニーファイ3：7の横にこの言葉を書き込んでもよいでしょう。

1 ニーファイ3：10－31

ラバン、リーハイの財産を奪い、ニーファイと兄たちを殺そうとする

神の戒めを守ると、神は様々な方法でわたしたちを祝福してくれます。ニーファイは真鍮の版を手に入れる経験を通して、神がその子供たちのために、神の命令を成し遂げる道を確かに備えてくださることに對する証を、さらに強くしました（1 ニーファイ3：7 参照）。次の表を使って、真鍮の版を手に入れるためにリーハイの息子たちが行った2度の試みについて調べましょう。質問の答えを表の該当する欄に書き入れてください。または、聖典学習帳にこの表を描いて課題を行ってもよいでしょう。

注 — ニーファイの時代、くじ引き（1 ニーファイ 3：11 参照）は何かを選ぶ際によく使われる方法でした。くじを引くことによって、ニーファイとその兄たちは真鍮の版を手に入れるという命令を果たせるよう主の導きを求めたのです（箴言 16：33 参照。『聖句ガイド』「くじ」も参照）

質問	最初の試み (1 ニーファイ 3： 10 – 18)	2 回目の試み (1 ニーファイ 3： 21 – 31)
1. だれが行きましたか？		
2. 何を行いましたか？		
3. 失敗した後で、兄たちはどのような態度を取りましたか？		

 1. 真鍮の版を手に入れるための最初の試みが失敗に終わったとき、ニーファイと兄たちは「大いに悲嘆に暮れ」ました（1 ニーファイ 3：14）。1 ニーファイ 3：15 – 16 をもう一度読んで、最初の試みが失敗に終わったことに対するニーファイの態度が兄たちの態度とどのように違っていたかを、聖典学習帳に書きましょう。

 2. 2 回目の試み（1 ニーファイ 3：21 – 31）についてよく考えてから、次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「怒りやつぶやき、不信仰が、神の声を聞く妨げとなるのはなぜでしょうか。」

1 ニーファイ 4：1 – 26

ニーファイ、真鍮の版を手に入れる

1 ニーファイ 3：31 でレーマンとレムエルが尋ねた質問を見つけましょう。あなたがニーファイだったら、彼らの質問にどう答えますか。1 ニーファイ 4：1 – 3 を読み、兄の質問に対するニーファイの答えを見つけてください。ニーファイがモーセと紅海の例を使ってその質問に答えたのはなぜでしょうか。ニーファイが兄たちの質問に答えて言った言葉の中から、自分にとって励みとなる言葉を書き留めましょう。

モーセも不可能と思える務めを命じられました。イスラエルの民をエジプトから連れ出すよう言われたのです。モーセが何度説得を試みても、パロはイスラエルの民を解放しませんでした。それでもモーセは、主が命じられたことを断固としてやり通そうとしました。そこで主は、イスラエルの民を解放する方法をモーセにお与えになったのです。

ニーファイはモーセの事例を自分の状況に当てはめました。そして、真鍮の版を手に入れることができるよう、神は自分にも道を備えてくださると確信したのです。ニーファイの話の続きを研究して、ニーファイが最初の失敗に屈せず、粘り強く、断固とした決意で努力した結果、何が起きたかを調べましょう。

何かしなければならぬと感じたり、何かをするよう靈感を受けたりはしたものの、それはなぜなのか、いつ、どのように行えばいいのかすぐに分からなかったことはないでしょうか。ハロルド・B・リー大管長は、このような難しい状況に置かれると、わたしたちはとにかく主の指示に従う前に「初めから結末を見たい」と思ってしまうのだと述べ、次のように勧めました。「光が照らしていないところまで歩いて行き、暗闇の中に数歩足を踏み入れることを学ばなければなりません。すると光が表れて、皆さんの前方を照らしてくれるでしょう。」（ボイド・K・パッカー，“The Edge of the Light” *BYU Today*, 1991 年 3 月号, 23 で引用）

1 ニーファイ 4：4 – 7 を読み、ニーファイがどのように信仰をもって暗闇（未知の領域）に足を踏み入れたか調べましょう。

「にも関わらず、そのようにして進ん [だ]」ことが大切なのはなぜでしょうか（1 ニーファイ 4：7）。_____

 3. 若い男性または女性が、前もって結末が分からないまま何かをするように聖なる御霊によって命じられたり、導きを受けたりする事例を聖典学習帳に書きましょう。おそらくあなたは、神がどのような方法でいつ助けてくださるか前もって分からないまま信仰をもって進んだ経験があるでしょう。そのような経験があれば、それを日記に書きましょう。その経験をクラスで紹介してもよいでしょう。

真鍮の版を手に入れるという命令が達成できるように、主がなぜ、いつ、どのような方法で助けてくださるのかを



ニーファイが知ったのは、聖霊の導きを受け入れた後であり、信仰をもって前進しようと決意した後でした。真鍮の版を手に入れられるよう主がどのようにして助けられたかに注目しながら1ニーファイ4:8-26を読みましょう。

 4. 御霊はラバンを殺すべき理由をニーファイに告げました。その理由を、聖典学習帳に箇条書きにしてください(1ニーファイ4:8-13)。

 5. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「真鍮の版を手に入れるためにニーファイが最後に行った方法から学んだことの中で、あなたが現在直面している問題や将来直面する問題を乗り越えるのに役立つのはどのようなことですか。」

人生の中で、なぜ、いつ、どのようにすればよいか分からない場面に遭遇したら、ニーファイの経験から分かる、次の原則を思い出しましょう。「神を信じる信仰を働かせ、神が求めておられることを実行しようと努めるときに、たとえ結果が分からなくても、神は聖霊の力によってわたしたちを導いてくださる。」



注釈と背景情報

ラバンを殺すようにという命令

預言者ジョセフ・スミスは、善と悪の基準を定められるのは主であると教えています。「神は『あなたは殺してはならない』と言われ〔出エジプト20:13〕、また別の時に、『あなたは全く滅ぼさなければならぬ』と言われました〔申命20:17〕。これは天の政体をつかさどる原則です。すなわち啓示は王国の子供たちが置かれている状況に応じて与えられるのです。神が求められることは何でも、何事であろうとも、人がその理由を知るまでどれだけ長くかかろうとも、それは正しいのです。わたしたちがまず神の王国を求めれば、すべての善いものは添えて与えられるでしょう。」(History of the Church, 5巻135で引用)

主がラバンを殺すようニーファイに命じられた理由を理解するために、次のことを考えてみてください。主はラバンに、真鍮の版を自主的に引き渡す機会を少なくとも2回お与えになりましたが、「ラバン〔は〕主の命令に聞き従〔い

ません〕」でした(1ニーファイ4:11)。ラバンは偽り者であり略奪者であり、レーマンを殺そうとしましたし、リーハイの4人の息子全員を殺させようともしました。それはモーセの律法では死刑に値する行為でした(出エジプト21:14)。主は、たとえそのために「一人の人が滅び」ても、リーハイとその子孫が霊的な記録を持つことは絶対に必要だということを御存じでした(1ニーファイ4:13)

真鍮の版はモルモン書の時代の人々や国々を祝福しました。それだけでなく、真鍮の版に刻まれていた記録の一部が、モルモン書の原本となった金版に書き写されたため(例えば、イザヤの引用やゼノスのたとえなど)、真鍮の版は古代の預言者の教えを保存し現代のわたしたちに伝えるという役割も果たしたのです。真鍮の版に刻まれていた教えは、モルモン書を通して何百万もの人々や全世界の国々に祝福を与えてきましたし、これからも与え続けるでしょう。突き詰めて言えば、これらすべては、ニーファイがラバンのそばに立ったときに、御霊の声に従うかどうかにかかっていたのです。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、困難な状況にあっても欺かれないようにするための「3つの短いテスト」を提案しました。



「1. そのことについて標準聖典は何と言っているでしょうか。ただ律法と証にと求めよ。まことに彼らはこの言葉によって語らなければ、それは彼らのうちに光がないからであると、イザヤは語りました(イザヤ8:20) ……………

わたしたちは熱心に聖文を研究しなければなりません。わたしたちにとって特に大切なのはモルモン書と教義と聖約です。……

2. 第2の指針はこれです。そのことについて末日の教会の大管長たち、特に現在の大管長は何と言っているでしょうか。……

現在地上で教会に対して語る人はただ一人しかいません(教義と聖約132:7; 21:4 参照)。それは大管長です。大管長は、今日のわたしたちに神の言葉を授けているのですから、彼の言葉は亡くなった預言者たちの言葉よりも、いっそう直接的な重みを持っています。聖霊の影響力の下に語るとき、彼の言葉は聖文となるのです(教義と聖約68:4 参照)。……

大管長は聖徒に必要なだと感じたのであれば、どのようなテーマについても話すことができます。……

第3の、そして最後のテストは聖霊すなわち御霊のテストです。この御霊によってわたしたちは『すべてのことの真理を知る』のです(モロナイ10:5)。このテストは、神との間の交流経路が清く、徳高く、罪によって汚されていない場合にのみ完全な効力を発揮します。」(Conference Report, 1963年10月, 16-17)



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 3 - 4 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 2 — 第 4 日

1 ニーファイ 5 - 6 章 ; 9 章

はじめに

預言者リーハイの妻サライアは、息子たちがエルサレムから帰って来ないのではないかと恐れていました。リーハイは主を信じる信仰を表して妻を慰めました。息子たちが真鍮の版を持って無事帰って来たとき、サライアは、神が家族を導き守ってくださっているという証がさらに強くなりました。リーハイは真鍮の版を調べ、「御霊に満たされ、自分の子孫について預言し始め」ました（1 ニーファイ 5:17）。このレッスンを研究しながら、自分の聖文個人学習について考え、神の言葉の研究から力を得るために何ができるかを考えましょう。

1 ニーファイ 5:1 - 9

リーハイの息子たち、荒れ野の家族のもとへ無事に帰還する

ニーファイと兄たちは、エルサレムまで行って帰って来るにおそらく数週間かかったことでしょう。兄弟姉妹や親、知人が伝道や大学、軍役などで長期間家を離れていたときのことを思い出してください。愛する人と長い期間離れていて、どのような心配や不安を感じましたか（または、親はどのような心配をしていたと思いますか）。1 ニーファイ 5:1 - 3 を読み、息子たちがエルサレムに行っている間、サライアがどのような心配事をリーハイに言っていたか調べてください。

1 ニーファイ 5:4 - 6 を読み、サライアから心配事を言われたときにリーハイがどのように対応したか調べましょう。



1. 聖典学習帳に、リーハイが妻に返した言葉をあなた自身の言葉で書いてください。

次の質問について考えましょう。

- 心配するサライアに対するリーハイの対応のどのような点に、あなたは感心しましたか。
- 神の啓示からリーハイが信仰と勇気を得たことは、リーハイのどの言葉から分かりますか。

1 ニーファイ 5:6 には、リーハイの証はサライアにどのような影響を与えたか書いてありますか。_____

リーハイとサライアのこの話から「主の靈感に従うと、主から祝福として安心感を頂ける」という真理と、「神を信じる信仰を表すことによって他の人を慰め、力づけることができる」という真理を学ぶことができます。



2. 聖典学習帳に、つらいときに神の慰めを感じた経験や他の人を慰め力づけるために証を述べた経験、ほかの人の信仰あふれる言葉を聞いて慰められ、力づけられた経験について書きましょう。

1 ニーファイ 5:7 - 9 を読み、この経験がサライアの信仰に与えた影響を調べましょう。

- サライアはこの経験から何を学びましたか。_____



3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。「1 ニーファイ 5:8 のサライアの証は、どのような点で 1 ニーファイ 3:7 のニーファイの証に似ていますか。」

自分の言葉で言い直す

聖文を理解するための一つの方法は、自分の言葉で言い直すことです。書いても、口に出して言ってもよいでしょう。読んだ内容を言い直すことによって、聖文に書かれている真理をさらによく理解できるようになります。またそうすることによって、主の御霊が真理を証されるのを感じることができます。

1 ニーファイ 5:10-22

リーハイ、真鍮の版を調べる

ニーファイと兄たちは命をかけ、家族の財産を犠牲にして、遠い所まで行き、旅の間に神の守りを頂いて、真鍮の版を手に入れました。もしあなたがリーハイの家族の一員だったとしたら、このように犠牲を払って手に入れた真鍮の版を、どんな態度で調べるだろうと思いますか。

息子たちが無事に帰ると、リーハイは真鍮の版の内容を調べ始めました。1 ニーファイ 5:11-14 を読み、真鍮の版に載っていた事柄に線を引きましょう。

1 ニーファイ 5:17-20 を読み、真鍮の版を読んでリーハイはどのような影響を受けたか調べましょう。この節から分かることを基にして、原則を表す次の文の空欄を埋めてください (1 ニーファイ 5:17 参照)。「わたしたちは聖文を調べるとき _____

_____ ことができる。」

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、次の真理について証しました。

「神に話しかけたいときには、祈り、神から話しかけてもらいたいときには、聖文を読むことができます。なぜなら神の御言葉は神の預言者を通して語られるからです。そして、聖霊の促しに耳を傾けると、教えを授けていただけるのです。」

最近、神の声を聞いていない人は、聖文を新鮮な気持ちで読み、その言葉に耳を傾けてください。聖文はわたしたちの霊的な命綱です。」「(聖文——救いを得させる神の力)『リアホナ』2006年11月号、26)

 4. 聖典学習帳に、聖文を調べ、主の御霊を感じた経験について書きましょう。

1 ニーファイ 5:21-22 を読み、この版がリーハイと家族にとって「大きな価値のあるもの」だった理由を見つけてみましょう。

賛美歌の「われみ言葉読む」(『賛美歌』177 番)を開き、聖文を調べることによって得られる祝福を見つけてみましょう。自分の毎日の聖典学習を振り返ってみてください。自分の聖文研究の仕方を改善するとしたら、どの様な点を変えればよいでしょうか。 _____

わたしたちにとっての荒れ野、すなわち現世を歩む中で、聖文研究から知恵を得ることができます。真鍮の版を手に入れるために信仰と犠牲が必要だったことと、真鍮の版がなければリーハイとその家族は旅の間に必要な祝福を受けられなかったことを思い起こしてください (1 ニーファイ 5:22 参照)。聖文を調べることによって主の御霊に満たされ、戒めを守るための強さと信仰を得ることができます。



1 ニーファイ 6:1-6

ニーファイ、イエス・キリストのもとへ来るようすべての人に説き勧めるために記す

あなたの家にある本を1冊選ぶか、またはよく知っている本について考えてみましょう。著者はどのような目的でこの本を執筆したのでしょうか。著者の目的が分かっていると、本を読むときにどんな利点がありますか。

1 ニーファイ 6:3-6 を読み、記録を書いたニーファイの目的に線を引きましょう。「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」(4 節)はエホバ、すなわちイエス・キリストのことを指しています。ニーファイの目的は、モルモン書に記録を残したすべての人々に受け継がれました。「モルモン書の一つの目的は、すべての人がイエス・キリストのもとへ来るよう説き勧めることです。」

 5. 聖典学習帳に、ニーファイが記録を書いた目的を理解すると、モルモン書の学び方がどのように変わるか書きましょう。

1 ニーファイ 9 章

ニーファイ、2 種類の版を作る

1 ニーファイ 9 章 (6 章も参照) で、ニーファイは、2 種類の記録を作るように命じられたことを説明しています。この二つの版は、ニーファイの小版と大版として知られている記録です。小版には民の神聖な歴史、すなわち預言者の教えや主の啓示を、大版には民の世俗的な歴史を載せることになっていました (1 ニーファイ 9:2-4 参照)。ニーファイは主が作るように命じられた 2 種類の版を「この版」と「ほかの版」と呼んでいます。自分の聖典で 1 ニーファイ 9 章のそばの余白に、ニーファイがどちらの版について言っているのか思い出せるよう、次のようなメモを書きましょう。「この版」=小版(神聖)；「ほかの版」=大版(民の歴史)。

モルモン書を学んでいくと、なぜニーファイが2種類の版を作ったのかが理解できるようになります。ニーファイは小版に父親の記録の抄本、つまり短くまとめた記録を作るように靈感を受けました(1ニーファイ1-8章参照)。1,000年近くたってから、預言者モルモンはニーファイの小版を金版に入れるよう主から命じられました(モルモンの言葉1:7参照)。ニーファイもモルモンも、なぜそうするのかは分かりませんでしたが(1ニーファイ9:5参照)、主の命令に従いました。

 6. 個人の研究で1ニーファイ9章を読み、理由が完全に分からなくても主に従うということがどうして大切なのか考え、聖典学習帳に記録しましょう。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1ニーファイ5-6章と9章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元3—第1日

1 ニーファイ7章

はじめに

ニーファイが心から主に献身していたことは、1ニーファイ7章を読むと分かります。ニーファイは兄たちとともにエルサレムに戻ってイシマエルとその家族を荒れ野に連れて来るという主の命令に従いました。荒れ野の中を父のもとに戻る途中、レーマンとレムエル、それにイシマエルの家族の何人かがニーファイに背き、エルサレムへ戻りたいと言いました。彼らに縛られ、殺されそうになったとき、ニーファイが信仰をもって祈ると、主によって救い出されました。そしてニーファイは、自分を迫害した人々を心から赦したのです。このレッスンを研究しながら、どのようにすれば、自分もニーファイのように戒めを忠実に守り、困難に立ち向かうことができようになるかよく考えましょう。



イシマエルの家族に話すニーファイと兄たち

1 ニーファイ7:1-5

主、リーハイの息子たちに、エルサレムへ戻り、イシマエルとその家族を連れてくるよう命じられる

あなたの家族について考え、なぜ神の計画の中で家族が大切かよく考えましょう。

1ニーファイ7:1-2を読んで、主はリーハイを通じて息子たちに何をしよう命じられたか、なぜそれを命じられたかを調べましょう。(1ニーファイ7:1の「子孫」という言葉は子供や孫などを指すことを知っておくとよいでしょう。)

この節から分かる真理の一つは、「主は結婚して主のために子供を育てようわたしたちに命じておられる」ということです。1ニーファイ7章を研究しながら、主がニーファイと兄たちに荒れ野を何日も旅してエルサレムに戻ることを命じられるほど、結婚と家族が大切なのはなぜか考えてみましょう。

『家族—世界への宣言』の次の言葉を読み、現代の預言者が結婚の大切さについてどのようなことを言っているか調べましょう。「わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。」(『リアホナ』2010年11月号、129)

1ニーファイ7:1の「主のために」という言葉に丸を付けるとよいでしょう。その言葉にはどのような意味があるでしょうか。

『家族—世界への宣言』の次の教えを読みながら、主のために子供を育てることについてほかにどんなことが言われているか考えましょう。

「わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。……

……両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。」(『リアホナ』2010年11月号, 129)

1 ニーファイ 7:3-5 を読み、リーハイの息子たちが主の命令を果たせるように、主が彼らにどのような助けを与えられたか調べましょう。荒れ野にいるリーハイの家族と同行することをイシマエルとその家族が承諾するよう、主はどのような助けを与えられたのでしょうか。

 1. あなたの両親、教会の指導者、または教師に、結婚と「主のために」子供を育てるための準備として、今日の若人にできることを3つ提案してもらってください。その提案を聖典学習帳に記録しましょう。

1 ニーファイ 7:6-15

ニーファイ、荒れ野の旅を続けるよう兄たちを説得する

1 ニーファイ 7:6-7 を読み、レマンとレムエル、それにイシマエルの家族の何人かが荒れ野の旅の途中で背いた理由を見つけましょう。この状況で自分がニーファイだったらどうしたか想像してみましょう。あなたなら、レマンとレムエル、イシマエルの家族にどんなことを言って、約束の地への旅を続けるよう説得するのでしょうか。

1 ニーファイ 7:8-12 を読み、エルサレムへ戻らないように兄たちを説得するためにニーファイが尋ねた質問を見つけましょう。ニーファイは兄たちが忘れている事実を3つ指摘しましたが、その3つとは何ですか。

次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

 2. レマンとレムエルにとって、もしもこの3つの事実を覚えてたとしたら、主に忠実であるためにどのように役に立っていたのでしょうか。

 3. あなたが主から受けた祝福を4つか5つ挙げましょう。主が自分にしてくださったことを思い出すと、忠実に主に従おうという気持ちになるのはなぜでしょうか。

1 ニーファイ 7:13-15 を読んでください。レマン、レムエル、そしてイシマエルの反抗的な家族に対して、彼らがもしもエルサレムに戻ったらどうなるとニーファイが言ったか調べましょう。

 4. 主が自分のためにしてくださったことを思い出し、主の導きに従うことがなぜ大切なのかを聖典学習帳に書きましょう。

1 ニーファイ 7:16-22

主、ニーファイを救い出される

1 ニーファイ 7:16 を読み、ニーファイの立場だったらどんな気持ちになるか想像してみましょう。あなたならどうしますか。

ニーファイは祈りました。その祈りを1 ニーファイ 7:17-18 で読み、ニーファイが何を祈り求めたか調べましょう。

ニーファイは「わたしの信仰により」救い出してほしいと求めました。この節から学ぶ教訓の一つは、「神はわたしたちの信仰に応じて祈りにこたえてくださる」ということです。信仰をもって祈るとは、主を信頼して祈るという意味であり、喜んで行動しようとする気持ちが必ず伴います。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が1 ニーファイ 7:17にあるニーファイの祈りと、人の心を変える贖いの力について語った次の言葉を研究しましょう。信仰をもって祈る際には喜んで働く気持ちが大切なのはなぜかを説明している箇所を下線を引いてください。



「もしわたしが自分の兄弟たちに縛られていたとしたら、何を祈り求めていたか分かりますか。わたしはきっと、兄たちに何か悪いことが起きるように願い求め、最後に『兄たちの手からわたしをお救いください』、つまり『この窮地から今すぐ救い出してください!』と祈っていたことでしょう。ニーファイはわたしのように自分の置かれた状況を変えてくださるよう祈らなかったことにわたしは特別な興味を覚えます。ニーファイは状況を変えるための力を求めて祈りました。このように祈ったのは、まさしく救い主の贖いの持つ特別な力を知り、理解し、経験していたからでした。……

兄弟姉妹の皆さん、この話がわたしたち一人一人に何を言わんとしているかは明快です。贖罪には人に能力を授ける力があることを理解し、その力を自分の生活で用いるようになるならば、皆さんもわたしも、状況が変わるようになるのではなく、状況を変える力を祈り求めるようになるでしょう。『作用されるもの』ではなく、『作用するもの』になるのです(2 ニーファイ 2:14 参照)。(“In the Strength of the Lord” (Words of Mormon 1:14; Mosiah 9:17; Mosiah 10:10; Alma 20:4),” Brigham Young University 2001-2002 Speeches [2002年], 124)



5. 次の質問から一つを選び、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- これまでどのようなときに信仰をもって祈りましたか。またそのとき、祈りに対する主の答えに気づきましたか。
- 状況を変えてもらうために祈るのではなく、状況を変える力を祈り求めたニーファイの模範に従えるようにするには、どうしたらよいでしょうか。

ニーファイが縄から自由になった後、兄たちは再びニーファイに暴力を振るおうとしました。1ニーファイ7:19-21を読み、ニーファイが取った態度のうちすばらしいと思うものを挙げましょう。自分の家族の中で赦しが必要になった場面を思い浮かべてください。家族が進んで赦し合うことが大切なのはなぜなのか考えてみましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1ニーファイ7章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

1ニーファイ8:1-18

リーハイ、命の木の実を食べ、家族に同じようにすることを勧める

生活の中で主が自分を個人的に愛しておられると感じたときのことを思い起こしましょう。自分が何を選ぶかによって主との距離や主の愛を感じる力がどう変わってくるか考えてください。1ニーファイ8章を研究しながら、さらに主に近づき、生活の中で主の愛をさらに力強く感じるために行うべきこと、避けるべきについてこの章から何が学べるか考えましょう。

1ニーファイ8:2を読み、リーハイが荒れ野にいる間に経験したことを見つけましょう。1ニーファイ8:5-12を読み、リーハイの夢の中心となるイメージまたは事柄は何か考えましょう。

中心となるイメージが何か分かったら、リーハイが1ニーファイ8:10-11で木の実の説明をするのに用いた語句を列挙しましょう。_____

単元3—第2日

1ニーファイ8章

はじめに

1ニーファイ8章には命の木に関するリーハイの示現について書かれています。リーハイは木の実を食べて大きな喜びを感じました。この木の実は贖いの祝福を表しています。次にリーハイは、木とその実に対して異なる反応を示す、様々な集団を見ます。このレッスンの準備として、「鉄の棒」（『賛美歌』176番）を歌うか、歌詞を読むとよいでしょう。この章を研究しながら、贖いが自分にいかに大きな喜びをもたらしているか、贖いのすべての祝福を受けるために現在と将来にわたって自分は何を行わなければならないかを考えましょう。

そのような祝福を得るためにどんな障害を乗り越えなければならないのか、考えてください。

研究に音楽を取り入れる

大管長会は「賛美歌は主の御霊を招き、敬虔な雰囲気をかもし出〔す〕』と教えています（『賛美歌』9）。賛美歌を歌ったり、賛美歌の演奏に耳を傾けたりするのが困難な場所で研究している人は、賛美歌の歌詞を読んだり、心の中で歌ったりしても効果があります。



主は時々、わたしたちになじみのある物を象徴として用いて、永遠の真理が理解できるよう助けてくださいます。リーハイの夢に出てくる木と実が何を表しているのかを知るために、十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老の次の言葉を読みましょう。「命の木は神の愛です（1ニーファイ11:25参照）。神の愛が最も深く表れているのは、イエスを贖い主として送ってくださったことです。『神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった』（ヨハネ3:16参照）。神の愛にあずかるとは、イエスの贖いと、それがもたらす解放と喜びにあずかることです。』（「レーマンとレムエルから得られる教訓」『リアホナ』2000年1月号、7）

1 ニーファイ 8:10 - 12 に描かれている福音の原則がよく分かるよう、自分の聖典の 1 ニーファイ 8:11 で、リーハイが木の実をどう扱ったかが書いてある箇所に線を引き、1 ニーファイ 8:12 で、その結果どうなったかが書いてある箇所に線を引きましょう。リーハイが木の実を「味わった」ように自分も贖いを「味わう」ことができるようになるためにはどうしたらよいか考えましょう。

リーハイの経験から、「イエス・キリストのみもとへ来て主の贖いにあずかることは幸福と喜びをもたらす」ことが分かります。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。
「救い主の贖いがあなたの生活に幸福と喜びをもたらしたのはどんなときですか。」

リーハイと同様にわたしたちも、自分が贖いの祝福を経験したら家族や友達にも味わってほしいと思うはずです。それはなぜでしょうか。よく考えてください。1 ニーファイ 8:3 - 4, 13 - 18 を読み、命の木の実を食べようリーハイが勧めたときにリーハイの家族がどんな態度を示したか、調べましょう。

他の人が神の愛を味わおうとするかどうかは、わたしたちには決めることができません。しかし、リーハイのように、人々にそれを勧め、働きかけることはできます。キリストのもとに来て贖いの祝福にあずかるよう、知っている人に勧め、働きかけるためにどのようなことができるか考えましょう。

1 ニーファイ 8:19 - 35

リーハイ、命の木に向かって進む人の中に、木の実を食べる人と食べない人がいるのを見る

ニーファイ第 1 書を読み進むと、ニーファイにも命の木の示現が示されたことが分かります。ニーファイは示現に出てくる様々な象徴や概念が何を意味するのかを記録しました。次の表を使って、それぞれの象徴とその意味を確認しましょう。聖文を調べて、次の表を完成させてください。最初の 2 つの象徴の解き明かしは、すでに学んで分かっています。

リーハイの夢に出てくる象徴	ニーファイに示された解き明かし
木 (1 ニーファイ 8:10 参照; 1 ニーファイ 15:22 では命の木と呼ばれている)	神の愛 (1 ニーファイ 11:25 参照)
木の実 (1 ニーファイ 8:10 - 12 参照)	神の賜物の中で最も大きいなるもの — イエス・キリストの贖いの祝福 (1 ニーファイ 15:36 参照)

リーハイの夢に出てくる象徴	ニーファイに示された解き明かし
(汚れた) 水の流れている川 (1 ニーファイ 8:13 参照)	 (1 ニーファイ 12:16; 15:27 参照)
鉄の棒 (1 ニーファイ 8:19 参照)	 (1 ニーファイ 11:25; 15:23 - 24 参照)
暗黒の霧 (1 ニーファイ 8:23 参照)	 (1 ニーファイ 12:17 参照)
大きく広々とした建物 (1 ニーファイ 8:26 参照)	 (1 ニーファイ 11:36; 12:18 参照)

自分の聖典を使って、それぞれの象徴が出ている節 (上の表の 1 列目の節) の隣に、その象徴の解き明かし (上の表の 2 列目に書いた答え) を書き込んでおくとう便利です。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉を読み、リーハイの夢を研究することがなぜ大切なかを述べている箇所を下線を引きましょう。

「リーハイの夢、すなわち示現は、皆さんにとって何ら特別な意味はないと思われるかもしれませんが、しかし、そうではありません。その示現は皆さんに、そしてすべての人に当てはまるのです。……

聖典に印を付ける

自分の聖典に書き込んだメモは、日記や他の紙に書いたものよりも情報が参照しやすいものです。象徴の解き明かしや相互参照聖句その他の情報を自分の聖典に書いておくと、後で読んだときにその聖句が理解しやすくなりますし、その聖句を使って教えるのが楽になります。

鉄の棒についてのリーハイの夢、すなわち示現には、末日聖徒が人生の試しを理解するために必要なことがすべて含まれています。」「(リーハイの夢に自分の姿を見いだす)」『リ・アホナ』2010 年 8 月号, 28)

1 ニーファイ 8 章の残りを学び、そこで学んでいることを「人生の試しについて理解する」ためにどう役立てることができるかを考えてみましょう。1 ニーファイ 8:21 - 33 を読み、リーハイの夢に登場する人々にとって川や暗黒の霧、大きく広々とした建物が、命の木の実を食べたり味わったりすることに対してどのような妨げになったと書いてあるか調べましょう。自分の聖典を使って、妨げとなるものと、それが人々に及ぼした影響について述べている重要な語句や言葉を見つけ、その言葉に印を付けてもよいかもしれません。

リーハイが見た妨げとなるものは、現代のわたしたちの生活では何に該当するでしょうか。以下に挙げるものが妨げとなっており、救い主のもとに来て喜びを味わうことができなくなっている人を見たことはありませんか。もしあれば、その人にとって妨げとなっていたものに下線を引きましょう。ポルノグラフィ、人から認められたり称賛されたりすることを求める傾向、依存症、わがまま、貪欲、人をうらやむこと、祈りや聖文研究を怠ること、ゲーム機器を使い過ぎること、何かの活動やスポーツにのめり込み過ぎること、不正直、皆がやっていることに合わせようとする。リーハイが見た妨げを現代に置き換えた例が他にもないか、考えてみましょう。

次の福音の原則は、1 ニーファイ 8:21 - 33 の妨げについて学んだ結果、分かる事柄のまとめです。「高慢、世俗的な事柄への関心、誘惑に負けることは、わたしたちを贖いの祝福から遠ざける。」

 2. 聖典学習帳に、上に書かれた福音の原則を書き、それが確かだという思いと、それを生活で実践できる方法を書きましょう。

世の汚れやサタンの誘惑、世の誉れはあなたの霊的な成長をどんな点で阻んだり、遅らせたりするか、よく考えてください。

1 ニーファイ 8:21 - 33 をもう一度調べましょう。今度は以下の質問の答えを探してください。

- 無事に木の实を食べた人にとって、鉄の棒（神の言葉－聖典、預言者や教会の他の指導者が靈感を受けて語る言葉、個人の啓示も含む）はどのような点で不可欠だったのでしょうか。
- 1 ニーファイ 8:30 の中で、神の御言葉によって命の木のところまで無事に導かれるためにわたしたちが行わなければならないことを説明しているのはどの言葉でしょうか。

 3. 聖典学習帳に、神の御言葉を研究するとなぜ導きを受けられるようになり、誘惑から守られるようになるのかを書きましょう。

この節では、次の福音の原則を教えています。「神の言葉にしっかりとすがっているならば、誘惑や世俗的な影響に打ち勝つための助けが得られる。」「神の言葉にしっかりとすがっているならば、主に近づき、贖いの祝福を受けるための助けが得られる。」

 4. この原則を裏付けるようなことを自分の生活の中から見つけられるように、次の質問のどちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. あなたはどのようなときに、誘惑に陥らないよう、高慢になったりこの世的になったりしないように、神の御言葉に導かれて守られたでしょうか。
- b. 神の御言葉のおかげであなたが救い主に近づくことができたのはどんなときでしたか。

リーハイは家族に対し、「優しい親の情を込めて、父の言葉に聞き従うように……勧め」ました（1 ニーファイ 8:

37）。家族にも、自分と同じようにイエス・キリストの贖いがもたらす喜びと祝福を味わってほしかったのです。

 5. 聖典学習帳に、神の御言葉を研究する方法を改善するための目標を書きましょう。

神の御言葉に従い、神の言葉にしっかりつかまるなら、贖いの祝福にあずかり、真の喜びを味わうことを妨げるものに打ち勝つことができます。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 8 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 3 — 第 3 日

1 ニーファイ 10 - 11 章

はじめに

リーハイが命の木の教えやユダヤ人に関する預言を語るのを聞いて、父親が見たものを自分で見聞きして知りたいというニーファイの願いは強くなりました。父が語った事柄について深く考えていると、ニーファイは「主の御霊に捕らえられて」（1 ニーファイ 11:1）、自分も命の木の示現を見ました。示現の中でニーファイは、救い主の生涯も見ました。教え導き、亡くなられる様子を見たのです。ニーファイは、わたしたちに対する救い主の愛を目の当たりにしました。このレッスンを研究しながら、個人の啓示を求めることについてニーファイの模範から何が学べるか考えましょう。また、救い主の生涯と使命、わたしたちすべての者に対する救い主の偉大な愛についてもよく考えましょう。

1 ニーファイ 10:1 - 16

リーハイ、預言する

リーハイは命の木の示現の話をしてから、将来起きる事柄について預言しました。その預言は 1 ニーファイ 10:1 - 16 に記されています。1 ニーファイ 10:4 - 6 を読み、次の質問の答えを聖文から見つけて、自分の聖典に印を付けましょう。

- リーハイはメシヤ、つまり救い主がいつ来られると預言しましたか。
- リーハイは、「この贖い主に頼らない」人はどうなると言いましたか。

1 ニーファイ 10:17-11:6

ニーファイ、父親と同じ真理を見聞きし、知ることを求める

次の話を読み、同じ経験をしているのに人によって受け止め方が異なるのはなぜか考えましょう。3人の若者が同じ教会の集会に出席しました。そのうちの一人は、集会はつまらなくて時間の無駄だと思いました。別の一人はいい集会だと思いましたが、何も学びませんでした。3人目の若人は聖霊によって高められ、集会で教えられたことに加えてさらに個人的な靈感と導きを受けました。

1 ニーファイ 10:17-11:6 に出てくるニーファイの経験について研究しながら、ニーファイが父親の教えに加えてさらに靈感を受けたのは何を「行った」ためだったかに注目してください。

1 ニーファイ 10:17 を読み、ニーファイがリーハイの示現について聞いた後に感じた気持ちを表している箇所に線を引いてください。

1 ニーファイ 10:19 を読み、どうしたら神の奥義が明らかになるのかが分かる箇所を見つけましょう。

1 ニーファイ 10:19 には、熱心に求める人は神の奥義を受けると書いてあります。「熱心に求める」とはどのような意味だと思いますか。あなたの考えを書いてください。

1 ニーファイ 10:17-19 と 11:1-6 を読み、下の表に挙げられている3つのテーマ（望み、信念、深く考えること）のうち二つを選んでください。表の該当する質問に、自分の答えを書きましょう。

望み	ニーファイは何を知りたいと望みましたか。_____ わたしたちが何を望むかによって、啓示を受ける能力はどう変わってくるでしょうか。_____ あなたは主に何を教えてほしいと思いますか。_____
信念	ニーファイが信じていたものの中で、啓示を受けるために必要だったのは何ですか。_____ こんにち今日のわたしたちがこのような信仰を持っていたとしたら、啓示を受ける能力はどう変わってくるでしょうか。_____ 主があなたに明らかにしてくださった事柄を信じていますか。_____

深く考える
(何かについて深く考えること。聖霊に思いと心を開くこと)

ニーファイが座って深く考えていると、何が起きましたか。(1 ニーファイ 11:1 参照) _____

深く考えると啓示を受けられるようになるのはなぜでしょうか。_____

生活の中で福音についてさらに深く考えるために、あなたにはどんなことができますか。_____

次の文章の空欄を埋めて、ニーファイの経験から学んだ福音の原則を要約してください。「神は _____ (する) すべての人に真理を明らかにされる。」



1. 次のどちらか一方または両方の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 主の助けや導きを切実に求めていたときのことを思い出してください。どのようなときに神が祈りに答えてくださったと感じましたか。または、どのようなときに御霊の促しを感じたでしょうか。

b. さらに熱心に主の靈感を求めるために、自分にできることを一つ挙げてください。

1 ニーファイ 11:7-36

ニーファイ、イエス・キリストが自らを低くされる様子を見る

ニーファイは示現を受けている間も深く考え、天の導きを求め続けました。十二使徒定員会のボイド・K・バックカー会長の次の言葉を読み、ニーファイの示現の中心となるメッセージは何であると言っているかを見つけましょう。

「メシヤに関する預言は旧約聖書にも出てきます。しかし、モルモン書には、旧約聖書には見られない示現が書かれています。

リーハイの民が〔エルサレムを出発してから〕、リーハイは命の木の示現を受けました。息子のニーファイはその意味を知りたいと祈り求め、キリストに関してすばらしい示現を受けました。

彼がその示現の中で見たのは以下のことなどです。

- 一人の幼児を抱くおとめ
- 道を備えるはずの預言者、すなわちバプテスマのヨハネ
- 神の御子が教え導く様子
- メシヤに従う十二人の人
- 天が開け、天使たちが人間の間に降り、恵みを施す様子
- 多くの人が祝福され、癒される様子
- キリストが十字架につけられる様子
- 神の業に敵対する世の人々の知恵と高慢 (1 ニーファイ 11:14-36 参照)。

この示現はモルモン書の中でも特に大切なメッセージです。」「(わたしの心のこと)『聖徒の道』1986年7月号、60参照)

天使はニーファイに命の木の解き明かしを伝えてから、次のように尋ねました。「あなたは父が見た木の意味を知っているか。」(1ニーファイ11:21) 1ニーファイ11:21-24でニーファイと天使が木について説明するのに使った言葉に線を引いて、木の意味をもう一度確認しましょう。

1ニーファイ11:16を読み、前に天使がニーファイに尋ねた質問に線を引きましょう。「御自身を低くされる」とは、高い身分の人が自ら進んで自分の身分を落として、人々を助けたり、祝福したりすることであると、自分の聖典に書いておくとよいでしょう。

難しい言葉を定義する

聖文を研究しながら難しい言葉の定義を調べるのは大切なことです。定義を調べておくと、聖文がさらによく理解できるようになります。分からない語句が出てきたら、聖句の脚注を見たり、辞書を引いたり、両親や家族、教師に相談したりしてください。意味が分かったら、それを自分の聖典に書き込んでおくとよいでしょう。

1ニーファイ11:17で、天使の質問に対してニーファイがどう答えているか、調べてください。ニーファイが知っていたこと、知らなかったことは、それぞれどんなことだったのでしょうか。ニーファイが答えた後、天使は、「イエス・キリストが御自身を低くされることはわたしたちに対する神の愛を表わしている」ことをニーファイに教えました。

「自分を低くすること」の意味が分かったら1ニーファイ11:13-21

を読み、次に、ジェラルド・N・ランド長老の以下の言葉を読みましょう。ランド長老は当時七十人の一員でした。救い主の降誕はどのような点で主が御自身を低くされたことを示し、わたしたちを愛しておられることを表しているのか、よく考えましょう。「神会の一員であり、御父の長子、創造主、旧約のエホバであるイエスはここで、神の聖なる位を離れ、あらゆる栄光と尊厳を脱ぎ捨て、小さな幼子の体に入られたのです。無力で、御自身の母と地上の父にまったく依存されたのです。宝石に囲まれたこの世の最高の宮殿に来るのではなく、粗末な馬小屋に來られたことは驚きに値します。天使がニーファイに『神が御自身を低くされる様子を眺めてみなさい』と言ったことには何の不思議もありません。』(Jesus Christ, Key to the Plan of Salvation [1991年] 16)

2. 聖典学習帳に、イエス・キリストが「み座を降り」(「主イエスの愛に」『賛美歌』109番)、前世での栄光ある身分を捨てて小さな赤ん坊としてお生まれになったことは、あなたにとってどのような意味があるか書きましよう。

1ニーファイ11:27を読み、どのような点で、救い主のバプテスマも御自身を低くされたことを表しているのか考えましよう。主は罪がありませんでしたが、神の律法への従順を示すためにバプテスマをお受けになりました。また、従うべき模範を示すことによって、わたしたちへの愛も表してくださいました。



1ニーファイ11:28-31を読み、イエス・キリストの奉仕の生涯が、どのような点で御自身を低くされたことを示しているのか考えましよう。主がどのような人を教え、癒されたかに注目してください。



3. 聖典学習帳に、1ニーファイ11:28-31で読んだ事柄がどのような点で救い主が人々を愛しておられることを表しているか書きましよう。これは今の時代を生きるあなたを主が愛してくださっていることとどのような関係があるのでしょうか。

1ニーファイ11:32-33を読み、イエス・キリストが十字架につけられたことがどのような点で御自身を低くされたことを表しているのかよく考えましよう。以前七十人会長会で奉仕していたアール・C・ティンギー長老の次の言葉を読んで、救い主の贖いが愛を示す行為であり、あなたにとって

祝福となっていることについて述べている箇所を見つけましょう。

「贖罪の要求を満たすために選ばれた者として、イエス・キリストは自らを低くして地上に来て、……自らを低くして誘惑や試しを受け、あざけられ、裁かれ、十字架につけられました。そのような行為を避ける力も権威もお持ちであったにもかかわらず、受けられたのです。」



ジョン・テラー大管長はキリストが自らを低くされたことを次のような美しい言葉で描写しています。『人を万物の上に引き上げるためには、主が万物の下に身を落とされることが必要でした。……』〔*The Mediation and Atonement* (1882 年) 144〕

ゲツセマネの園におけるキリストの苦しみは、キリストの最も高尚な属性である主の完全な愛の縮図です。ここに、すべての人に対する主のまことの愛を見ることができます。……

贖罪のおかげでわたしたちは神と和解することができます。……家族に置き換えるならば、神と御子イエス・キリストとともに、そして家族が互いに再び一つになることです。つまり、別れによる悲しみが、再会による幸福に代わるのです。」「(『偉大な幸福の計画』『リアホナ』2006 年 5 月号, 73 - 74)

イエス・キリストの贖罪は、主が御自身を低くされることの中心をなすものであり、人類への主の愛の偉大な現れでした。



4. イエス・キリストが御自身を低くされたことを知って、主に対して抱く気持ちや主を愛する気持ちがどう変わったかを、聖典学習帳に書きましょう。

賛美歌「主イエスの愛に」(『賛美歌』109 番) を歌うか、聞か、歌詞を読むかして今日の研究を終わしましょう。今日学んだことを証する言葉に注目してください。なぜイエス・キリストの贖罪の祝福が「どんなものよりも好まし〔く〕」「最も喜ばしい」のかよく考えましょう(1 ニーファイ 11: 22 - 23 参照)。ニーファイのように啓示を通して理解しようと熱心に努めるなら、主に近づき、生活の中で主の犠牲の力と、それがもたらす喜びを感じるようになるでしょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 10 - 11 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 3 — 第 4 日

1 ニーファイ 12 - 14 章

はじめに

1 ニーファイ 11 章から始まるニーファイの示現の記述は、1 ニーファイ 12 - 14 章へと続きます。示現の中でニーファイは、自分の子孫が最終的には滅ぼされることなど、悲惨な出来事を見ました。邪悪な人々が聖書から分かりやすくて貴い真理を取り去ったために多くの人々が霊的につまづくことになるのを見たのです。しかしこの示現からニーファイは、将来に対する大きな希望も得ました。ニーファイはコロンプスを見、人々がアメリカに入植する様子も見ただけです。福音を回復するために、主が道を備えられるのを見ました(これには、失われた多くの分かりやすくて貴い真理が回復されることも含まれます)。主が末日に義にかなった生活をする人々を助け、守られる様子も見ました。1 ニーファイ 12 - 14 章を研究しながら、モルモン書やその他の末日の聖典の中で教えられている分かりやすくて貴い真理が自分の人生にとってどれほど大切なものであるかよく考えましょう。義にかなった生活をしようと努め、神と交わした聖約を守るなら、あなたも悪に打ち勝つことができるのです。

1 ニーファイ 12 章

ニーファイ、ニーファイ人とレーマン人の将来を見る

1 ニーファイ 12 章で、ニーファイは自分の子孫の将来について見たことと、子孫が暗黒の霧や大きな広々とした建物に象徴される力から影響を受ける様子について見たことを描写しています。ニーファイは未来の世代を「子孫」と呼んでいます。

ニーファイは、子孫の一部が贖罪のすべての祝福を受け入れるのを見ました。しかし、自分の子孫がやがてレーマン人に滅ぼされるのを見ました。1 ニーファイ 12: 19 を読み、ニーファイ人が滅ぼされた理由が書いてある箇所に線を引きましょう。どうしたら高慢にならないよう自分を守り、悪魔の誘惑を避けることができるか考えましょう。

1 ニーファイ 13: 1 - 9

ニーファイ、大きな忌まわしい教会を見る

以下に挙げるスポーツのうち、観戦したり、実際にやったことのあるものを丸で囲みましょう。また、観戦したり、実際にやったことのあるスポーツが他にあれば、書き加えてください。

サッカー	テニス
クリケット	ラグビー
バスケットボール	アイスホッケー
野球	バレーボール
卓球	アメリカンフットボール

プロスポーツではよく、対戦前に相手の過去の試合や戦術を研究します。敵の目的や方法、戦術を理解しておく、敵の攻撃から自分を守る準備をするうえで役立ちます。

1 ニーファイ 13 章で、ニーファイは末日に神の教会に敵対する人々を見たことについて説明しています。1 ニーファイ 13:1-6 を読み、ニーファイが異邦人の間で何が設立されるのを見たか、それについて天使が何と言ったか調べましょう。



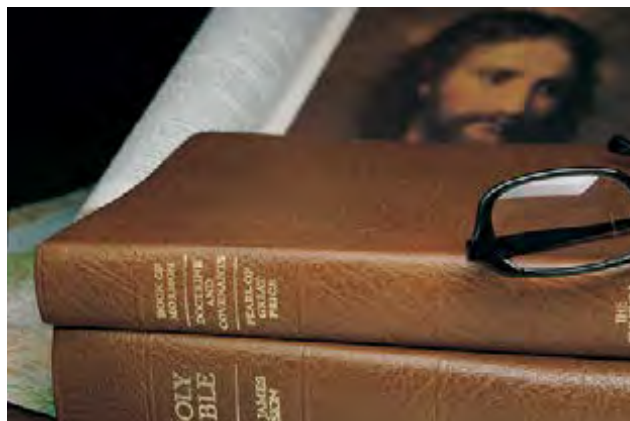
ニーファイが見たこの「大きな忌まわしい教会」は特定の団体、教派、教会を指しているわけではありません。十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、「神と神の律法から、また神の王国における救いから人々を引きずり降ろし、道を踏み誤らせるために建てられる教会や組織は、その名称や内容が何であろうと、……すべて」この「大きな忌まわしい教会」であると定義しています (*Mormon Doctrine*, 第2版 [1966年] 137-138)。1 ニーファイ 13:4-6 の横に、このマッコンキー長老の定義を書いておくといでしょう。

1 ニーファイ 13:8-9 を読み、大きな忌まわしい教会の望みと動機を見つけましょう。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「サタンが自分の軍勢を組織してわたしたちを神と神の律法から引き離そうとしていることを知っておくことが大切なのはなぜでしょうか。」

1 ニーファイ 13 章をさらに学んでいくと、大きな忌まわしい教会が救い主を求める人々を妨害するために、ある方法を用いたことが分かってくるでしょう。



1 ニーファイ 13:10-42

ニーファイ、異邦人が将来、聖書、モルモン書、その他の末日の聖典を手にするのを見る

大きな忌まわしい教会の勢力と戦うために、主は福音を回復する道を備えられました。1 ニーファイ 13 章で、ニーファイは「神の御霊が降って……〔彼らに〕働きかけ〔た〕」おかげで、コロンブスや最初の移住者たちが約束の地に來ることなどを予見しました (1 ニーファイ 13:12-13 参

照)。また、「囚われの身から逃れて來た異邦人」が「彼らと戦うために……集ま〔って〕」「母国の異邦人」と戦ったアメリカ独立戦争も予見しました。この異邦人たちは「神の力によって、ほかのすべての国民の手から救い出され」たのです (1 ニーファイ 13:16-19 参照)。

1 ニーファイ 13:20-23 を読み、ニーファイが目にした、約束の地の初期の入植者たちの間で広まった書物は何であったか考えましょう。

自分の聖典の 1 ニーファイ 13:20 のそばに「聖書」と書きましょう。ニーファイはわたしたちにとって聖書が「大いに価値のあるもの」であり (1 ニーファイ 13:23)、それが書かれた当初は「主の完全な福音が載っていた」と説明しています (1 ニーファイ 13:24)。1 ニーファイ 13:26-27, 29 を見ながら、次の文の空欄を埋めましょう。

大きな忌まわしい教会は聖書から「_____で大変 _____ 多くの部分を……取り去り、また主の多くの _____ も取り去って」しました (1 ニーファイ 13:26)。彼らがこれをしたのは、「主の正しい道を _____ 人の子らの目を _____, その心を _____ にするため」でした (1 ニーファイ 13:27)。これらが失われたために、「非常に多くの人が _____ ました。」 (1 ニーファイ 13:29)

空欄を埋めたら、文章を読み直しましょう。

大きな忌まわしい教会の目的の一つは、分かりやすくて貴い真理を取り去って「主の正しい道を曲げ〔る〕」ことです (1 ニーファイ 13:27)。「曲げる」とは、正しいことからそれさせたり、離れたさせることです。「主の正しい道」からそれたり、離れたりするとどんな結果に陥ることになるか考えてください。

聖典を使って次の質問に答えましょう。

- 1 ニーファイ 13:34 には、主は憐れみの心をもって何をされたと書いてあるでしょうか。(「小羊」という呼称が救い主イエス・キリストを指すことを覚えておくといでしょう。) _____
- 救い主は 1 ニーファイ 13:35-36 の中で、一度隠された後で、異邦人にもたらされるものは何だと言っておられますか。 _____
- 天使は 1 ニーファイ 13:36 で、隠された記録、すなわちモルモン書には何が書かれていると言っていますか。 _____
- 1 ニーファイ 13:39 で述べられている「幾つかの書物」とは、モルモン書のほかにどのような書物を指していると考えられるでしょうか。 _____

1 ニーファイ 13:40 - 41 を読み、モルモン書や「幾つかの書物」がすべての人に知らせる事柄に線を引きましょう。「小羊の口によって立証される御言葉（聖文）に従って」わたしたちは救い主のもとに來なければならないことを認識しておくことは大切です（1 ニーファイ 13:41）。

ニーファイの示現のこの部分から、「モルモン書と末日の聖典は、分かりやすくて貴い真理を回復し、イエス・キリストが神の御子であることを教え、神のもとへ行く方法を知らせてくれる」ことを学び取ることができます。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. モルモン書や他の末日の聖典に書かれている分かりやすくて貴い真理は、イエス・キリストに対するあなたの証にどのような影響を与えてきましたか。

b. 分かりやすくて貴い真理は、主の福音を理解し、従うためにどのように役立ってきましたか。

聖文研究によってあなたは救い主に近づいているでしょうか。時間を取って、自分の聖文研究の仕方を評価してみましょう。

1 ニーファイ 14:1-17

ニーファイ、大きな忌まわしい教会と神の小羊の教会が戦うのを見る

1 ニーファイ 14 章には、大きな忌まわしい教会と神の小羊の教会の間の戦いについて書いてあります。1 ニーファイ 14:10 - 13 を読み、どちらの方が人数が多いか調べましょう。1 ニーファイ 14:12 を読むときに、小羊の教会を支持する人の数が少ない理由と、大きな忌まわしい教会が大勢の人を集めることができた理由に注目してください。

人数では到底かなわない敵と戦争しているとしたら、あなたはどう感じるでしょうか。1 ニーファイ 14:14 を読み、「小羊の教会の聖徒たち」や「主の聖約の民」が悪と戦うときにどんな助けを受けるかについて書かれている箇所を線を引いてください。

1 ニーファイ 14:1 - 17 で教えられている福音の大切な原則は、「もしわたしたちが義にかなった生活をして聖約を守るならば、悪に打ち勝つように神の力によって助けられる」ということです。

聖文に対する考えを書く

聖文に対する考えを書くときは、必ず十分に時間を取りましょう。課題を終らせようと努力している場合でも、質問をじっくりと考えましょう。納得のいく答えにたどり着くには時間をかけてよく考えなければならない質問もあります。書くときには聖霊の導きを求めましょう。



3. あなたを神から引き離し、神の律法に背かせようとする誘惑に打ち勝つために、「主の聖約の民」の一人して「義……をもって……武装」する（義にかなった生活をする）ことが、あなたにとってどのように助けになってきたかを説明する短い段落の文を、聖典学習帳に書きましょう。

ニーファイは、末日に大きな忌まわしい教会を支持する人々が「ことごとく滅び[る]」のを見ました（1 ニーファイ 14:3）。あなたは末日に神の王国が勝利を収めることを心から信じることができますのです。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 12 - 14 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 4 — 第 1 日

1 ニーファイ 15 章

はじめに

1 ニーファイ 15 章では、個人の啓示を受けるために熱心に努力するニーファイと、信仰によらずに理解を得ようとする兄たちとの違いを見ていきます。この章を研究しながら、主から答えや導きを受けるためにあなたはどのような努力をしているか、よく考えましょう。

1 ニーファイ 15:1-11

ニーファイの兄たち、リーハイの示現を理解できないことに不平を言う

多くの事柄において、成果を上げるためにはまずわたしたちの側で努力することが必要です。学校の勉強や楽器の演奏、スポーツなど、自分が行っていることを思い浮かべ、努力とその結果にはどのような関係があるか考えましょう。1 ニーファイ 15 章を研究しながら、同じようなパターンを探しましょう。努力することと、霊的な真理を学んで主から啓示を受けることにはどのような関係があるかに注目してください。

ニーファイは、父親の示現や教えを理解しようと熱心に求め、自分自身で啓示を受けた後、父の天幕に帰りました。すると、兄たちが言い争っていました。1 ニーファイ 15:1 - 3 を調べ、彼らが何を話していたと書いてあるか見つけてください。

1 ニーファイ 15:6-7 で、ニーファイの兄たちを悩ませ、言い争いの種となっていた事柄に線を引きましょう。1 ニーファイ 15:3 には、兄たちがリーハイの教えを理解するのが難しかったのはなぜだと書いてありますか。_____

1 ニーファイ 15:8 を読み、ニーファイが兄たちに尋ねた質問に線を引きましょう。このように尋ねるのは、霊的な経験をしたばかりのニーファイにとっては当然のことでした。それはなぜでしょうか。

1 ニーファイ 15:9 に書かれている兄たちの反応に線を引きましょう。ニーファイの兄たちは「主はわれわれに語られないので、尋ねていない」と説明したのです。



1. 主が答えてくださらないと思い込んでいるために主に導きを求めない友達がいるとします。1 ニーファイ 15:11 を研究し、主から答えを受けることについてニーファイが兄たちに勧めた事柄についてよく考えましょう。そして、信仰を持って神に尋ねるようにその友達に勧める手紙を聖典学習帳に書いてください。手紙の中で、ニーファイの勧めや祈りに対する自分の気持ちを伝えましょう。

ニーファイと兄たちの行動や経験から学べる福音の原則の一つは、「信仰をもって主に尋ね、主の戒めを守るならば、主から啓示と導きを受ける備えができる」ということです。



2. 次の質問の中から一つ選び、聖典学習帳に答えを書きましょう。

a. 主から教えと導きを受けるためには行わなければならないことを、新会員が理解できるように助けるために、あなたならどんなことを言いますか。

b. 霊的な真理を学び、主の導きを求めるためにこれまで努力してきたことによって、あなたの「御霊を感じる力や福音を理解する力」は、どのように変化してきましたか。

明日、時間を見つけて、親や家族、教会の指導者、教師に、上記の課題の答えを話しましょう。その際に、あなたの話を聞いてくれた人にも、天の御父の助けと導きを求めて努力し、信仰を働かせたときのことを、話してもらってください。

1 ニーファイ 15:12-20

ニーファイ、イスラエルの散乱と集合について説明する

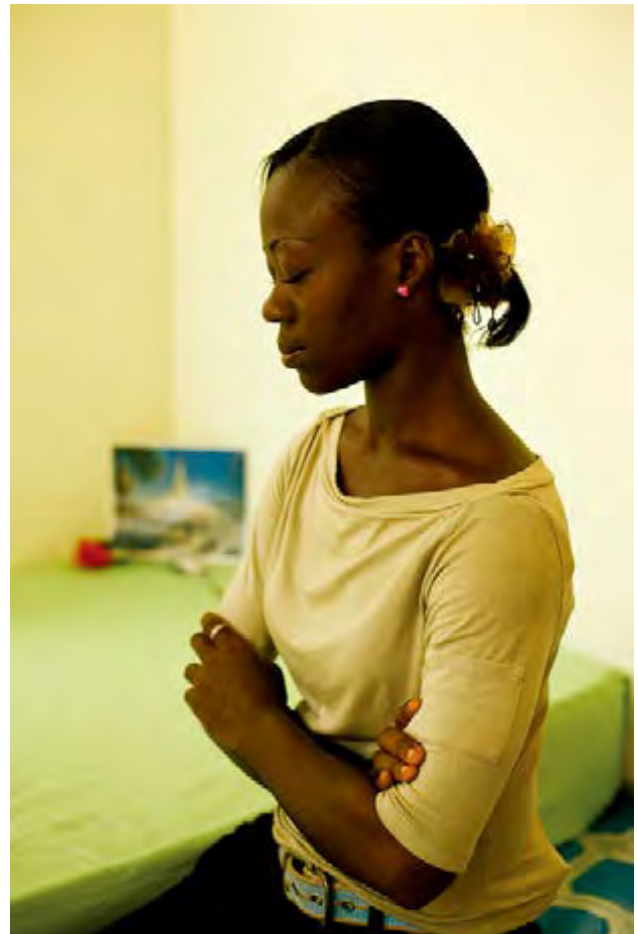
ニーファイの兄たちは、リーハイの預言やオリーブの木や異邦人についての教えがよく理解できていませんでした(1 ニーファイ 15:7 参照。1 ニーファイ 10:12-15 も参照)。オリーブの木の元の自然の枝が散らされるとは、イスラエルの家(神の聖約の民)が不従順のために物理的にも霊的にも散らされることを表していると、ニーファイは説明しました。イスラエルの家は、散らされたために、イスラエルの家に属するという身分だけでなく、福音の知識も失いました。末日におけるイスラエルの家の集合の一環として、世界中の人々が回復された福音を受け入れ、自分が主の聖

約の民であることを知るようになります(1 ニーファイ 15:14-15 参照)。

1 ニーファイ 15:14 を読み、散らされたイスラエルの民が末日に理解することに印を付けましょう。

ニーファイは、教会に入る人々は「まことのオリーブの木に接ぎ戻される」のに似ていると教えました(1 ニーファイ 15:16)。また、イスラエルの家が散らされたように、この接ぎ木、すなわち集合は「異邦人を通して」起きるとも言いました(1 ニーファイ 15:17)。次の事柄を理解しておくといよいでしょう。「聖典で用いられている異邦人という言葉には幾つかの意味がある。あるときはイスラエルの血統に属さない人々を指し、あるときはユダヤ人の血統以外の人々を指す。あるいは、イスラエルの血が幾分入っていても、福音を持っていない民を指す場合もある。この最後の用法は、『モルモン書』……に特に顕著である。」(『聖句ガイド』「異邦人」の項, scriptures.lds.org)

主は約束を守られますし、御自身の子供たちと交わした聖約を覚えておられます。そして、すべての子供たちが永遠の福音の祝福を受けることを望んでおられます(1 ニーファイ 15:18 参照)。友達や家族に福音を伝える努力をすること、また伝道に出て立派に奉仕しようと決意することによって、あなたはリーハイの預言の成就に貢献しているのです。



1 ニーファイ 15:21 - 36

ニーファイ、自分の見た示現を基にして、リーハイの示現に対する兄たちの質問に答える

1 ニーファイ 15 章の残りの部分には、ニーファイの兄たちがリーハイの夢について尋ねた質問について記されています。彼らは「あの木の所に通じている、父が見た鉄の棒は何を意味するのか」と尋ねました (1 ニーファイ 15:23)。1 ニーファイ 15:24 - 25 にあるニーファイの答えを読み、神の御言葉に熱心に聞き従う人々に約束されている祝福は何か見つけてください。神の御言葉についてエズラ・タフト・ベンソン大管長が語った次の言葉を読み、ニーファイが教えたことと似ている箇所を線で引きましょう。

- 「神の言葉はただすべてに勝る祝福へとわたしたちを導くだけではありません。わたしたちは神の言葉の中に、また神の言葉を通して、誘惑に打ち勝つ力、すなわちサタンとその使いの業を覆す力を見いだすのです。」
- 「神の言葉には、聖徒を強め、御霊で守る力があります。その結果、聖徒たちは悪に立ち向かい、善を固く守って、人生に喜びを見いだすことができるのです。」
- 「正義にかなった成功、まやかしを避け誘惑に打ち勝つ力、日々の生活における導き、心の癒し—これらは主の言葉を守る者に与えられた約束のほんの一部にしかすぎません。……どんなに一生懸命にほかのことを行っても、聖典の中にしか見いだせない祝福があります。主の御言葉を守る、それをしっかりとつかんで離さなければ、暗黒の霧の中を進み、命の木に到達することができるでしょう。」(『聖徒の道』1986年7月号, 80, 82)

聖文を研究し、祈り、靈感を受けた指導者の言葉に耳を傾けることによって神の御言葉にしっかりつかまることが非常に大切です。

 3. 聖典学習帳に、神の御言葉を宣伝するチラシを描きましょう。チラシには、神の御言葉にしっかりつかまる人々にニーファイが約束した祝福を必ず書いてください。また、神の御言葉はどこに書いてあるか、だから聞くことができるかも書いておくとよいでしょう。

自分の聖典の1 ニーファイ 15:24 - 25 のそばに、この原則を書いてもよいでしょう。「日々神の言葉を研究してそれに従うことにより、サタンの誘惑に打ち勝つ強さが得られる。」

 4. この原則に対するあなたの証が強くなるよう、次の質問のどちらか一方または両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. この原則のとおり、個人の聖典研究をしてきたおかげでサタンに対抗する力が身についたと感じるような経験をしたことがありますか。それはどのような経験でしたか。
- b. この原則が正しいと実感するために、あなたにはどんなことができるでしょうか。

リーハイの夢の中で、鉄の棒にしっかりつかまっていた人々は暗黒の霧の中を無事に進んで、命の木に到達するこ



とことができました。1 ニーファイ 15:26 で、ニーファイの兄たちは命の木のそばにあった川の意味を説明してほしいと言っています。1 ニーファイ 15:27 - 29 を調べ、川が何を表していたか見つけましょう。

1 ニーファイ 15:32 - 36 を読んでください。なぜニーファイの兄たちはこの教えについて悩んだのでしょうか。

 5. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。
a. リーハイの夢とニーファイによるその解き明かしの中で、神がニーファイの兄たちを愛し、心配しておられることが分かる箇所はどこですか。

b. 1 ニーファイ 15 章の中で、神があなたを愛し、心配しておられることについては何と書いてあるでしょうか。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 15 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。



単元4—第2日

1 ニーファイ 16 章

はじめに

兄たちはニーファイの言葉に力を感じて、主の前にへりくだりました。一家が荒野の中を旅するに当たり、主はリアホナを与えてその旅路を導かれました。一家は旅の中で多くの苦難を経験します。例えば、兄たちの弓は弾力がなくなり、ニーファイの弓は折れてしまって食糧を得る道が閉ざされてしまったことがありました。このことで家族の多くがつぶやきましたが、ニーファイは新しい弓を作り、どこに狩りに行けばよいか主の助言を求めたのです。1 ニーファイ 16 章を学ぶことは、懲らしめにや苦難に対処する方法を考える機会になります。苦難に遭っているリーハイの家族を主が導かれたように、謙遜に主の勧告を求めてその勧告に従うならば、あなたが人生のチャレンジに遭うときにも、主は導いてくださるでしょう。

1 ニーファイ 16:1-6

ニーファイ、兄たちのつぶやきに対処する

良くない行動をしたために懲らしめられたり、非難されたりしている人を見たことがありますか。それに対してその人はどのような態度を取ったでしょうか。

悪人は拒まれて、命の木の実を食べることができないとニーファイが教えたところ、レーマンとレムエルはニーファイから非難されたと感じました(1 ニーファイ 15:36-16:1 参照)。1 ニーファイ 16:1-2 を読み、真理に従った生活をしていない人が真理を聞いた場合に取り態度についてニーファイが言っている事柄に線を引きましょう。

「胸の底まで刺し貫く」という言葉は、その人が罪の意識を痛切に感じるという意味です。「罪のある者は……真理を厳しいものと思う」とはどういう意味でしょうか。_____

 1. 聖典学習帳に、たとえ真理が厳しく感じられ、真理によって「胸の底まで刺し貫」かれるように感じたとしても、真理に従うために実行できることを、2つか3つ書いてください(1 ニーファイ 16:2)。青少年の中に、従いにくい真理があると感じている人がいるのはなぜでしょうか。自分が書いたことを、1 ニーファイ 16:3-4 でニーファイがレーマンとレムエルに伝えたことと比べてみましょう。

1 ニーファイ 16:5 には、レーマンとレムエルがニーファイの言葉を聞いてどのような態度を取ることにしたと書いてあります。この節の中で、真理が胸の底まで刺し貫くときに行うべきことを示している言葉はどれでしょうか。この質問の答えとなる言葉を見つけて、自分の聖典に印を付けましょう。

1 ニーファイ 16:7-33

リーハイの家族、リアホナに導かれる

次の文章が正しければ「正」に、間違っていれば「誤」に、丸を付けましょう。

- 正 誤 ニーファイはイシマエルの長女と結婚した。
- 正 誤 リーハイはリアホナと呼ばれる羅針盤のような球を与えられた。
- 正 誤 丸い球には4本の指針があり、リーハイとその家族に進むべき方向を示した。
- 正 誤 この球が与えられてから、荒野を進むリーハイの家族の旅は楽になった。

1 ニーファイ 16:7-10 とこの章のまとめを学習しながら、最初の3つの質問の答えを確認しましょう(アルマ 37:38 も参照)。1 ニーファイ 16:17-19 を読み、4つ目の質問の答え合わせをしましょう。「解答」はこのレッスンの最後にあります。

わたしたちは、従順であっても試練を経験することがあります。試練が降りかかるのは多くの場合、間違ったことを選んだ結果ではありません。むしろ試練はこの世の常としてやって来るもので、この世の旅路の中でわたしたちが学び成長する機会を与えてくれるものなのです。救い主がそのように学び、成長されたのと同じように同じです(教義と聖約 122:7-8 参照)。わたしたちの人生の試しの一つは、こうした試練にどう対処するかです。

ニーファイは1 ニーファイ 16:10 でこの球の説明をしました。その説明によれば、この贈り物はリーハイとその家族が約束の地へ旅する道中、どれほど役立つと思いますか。リーハイの家族にとってリアホナがどのような助けになったかが書いてある箇所を、1 ニーファイ 16:16 の中から見つけて印を付けましょう。

1 ニーファイ 16:20-22 を調べ、ニーファイの弓が折れたときにリーハイの家族の何人かが取った態度を描写している箇所を見つけてみましょう。1 ニーファイ 16:23-25, 30-32 を研究し、この試練に対してニーファイが取った態度を調べましょう。ニーファイのこの態度は家族にどのような影響を与えたのでしょうか。

 2. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。「同じ試練に対してニーファイと彼の家族が取った態度は異なっていました。両者を比較することによって、あなたはどのようなことを学びましたか。」

ニーファイはつぶやくのではなく、新しい弓を作り、どこに行っても食糧を探せばよいか分かるよう導きを求めました。ニーファイの模範から、「できることをすべて行い、主の導きを求めるなら、主はわたしたちが困難を乗り越えられるよう助けてくださる」ことが分かります。

これらの出来事の間、主はリアホナの働きをリーハイに説明しました。リアホナを通してリーハイの一家を導くために主は何を求めておられたのでしょうか。1 ニーファイ 16:26-29 の中から見つけましょう。

 3. あなたは今、幼い子供にリアホナについて教えているとしましょう。聖典学習帳に、リアホナがどのようにしてリーハイの家族を導いたか、そしてそのような導きを常に受けるためには何をしなければならなかったかを簡単な言葉で説明してください。

 4. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。「リアホナはどのような意味で『主は小さな手段によって大いなることを成し遂げられる』ことを示しているでしょうか。(1 ニーファイ 16:29)」

リーハイの民のように、主はあなたが個人的な導きを受けられるように様々な賜物をお与えになっています。これらの賜物に関する以下の3人の言葉を読み、主から与えられるそれぞれの賜物がどのような点でリアホナに似ているか、よく考えましょう。

祝福師の祝福

トーマス・S・モンソン大管長は、祝福師の祝福は個人に与えられるリアホナであると言っています。



「リーハイに羅針盤をお与えになったその主は、今も、わたしたちの進むべき方向を示すために一つの珍しい、価値ある賜物を用意してくださっています。それはわたしたちの安全のために危険を示し、道すなわち安全な道を目に見えるように示して、わたしたちを約束の地ならぬ天の家へと導いてくれるものです。その賜物とは、皆さんが受けている祝福師の祝福です。ふさわしい教会員ならだれでも、このお金では買えない、貴重な自分だけの宝を受けることができます。……

祝福文はきれいにたたんでしまっておくべきものでも、額に入れて飾ったり、公表したりすべきものでもありません。むしろ読み親しんで、従っていくべきものです。祝福師の祝福は、あなたが真つ暗闇の中にいるときに光となり、人生の危機にあるときに道しるべとなってくれるでしょう。……祝福師の祝福は、あなたの取るべき進路を示し、道案内をしてくれる個人的な羅針盤なのです。」(「祝福師の祝福は光の羅針盤」『聖徒の道』1987年1月号, 69 参照)

聖文と預言者の言葉



当時七十人の一員として奉仕していた W・ロルフ・カー長老は、キリストとその僕たちの言葉は霊の羅針盤であると言っています。「キリストの御言葉は一人一人に道を示す個人のリアホナとなります。方法が容易だからということで怠けないようにしましょう。神聖な聖文に記録されたままに、生ける預言者、聖見者、啓示者から語られたままに、信仰をもって、キリストの御言葉を思いと心に刻みましょう。信仰をもって熱心にキリストの御言葉を味わいましょう。キリストの御言葉は、なすべきことをすべて告げる霊のリアホナとなるからです。」(「キリストの御言葉—わたしたちの霊のリアホナ」『リアホナ』2004年5月号, 37 参照)

聖霊



十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、聖霊とリアホナを比較して次のように述べています。「態度と行いを義にかなったものとするように努めるとき、聖霊は今日のわたしたちにとって、リーハイと家族にとってのリアホナようになってくださいます。リーハイのためにリアホナを働かせたのとまさに同じ要因が、聖霊をわたしたちの生活に招くことになります。そして昔リアホナの働きを止めたのとまさに同じ要因が、今日わたしたちが聖霊から身を引く原因となるのです。」(「いつも主の御霊を受けられるように」『リアホナ』2006年5月号, 30 参照)



5. 聖典学習帳に、祝福師の祝福や聖典や預言者の言葉、聖霊のどこがリアホナに似ているかを2つか3つ書いてください。



6. 聖典学習帳に、上に挙げた3つの中のどれか一つに従うことによって主の導きを受けたときのことを書きましょう。

1 ニーファイ 16:34 – 39

イシマエルの娘たち、父の死を悲しみ、レーマンはリーハイとニーファイを殺すことを企てる

1 ニーファイ 16:34 – 38 では、荒れ野を何日も旅した後、イシマエルが亡くなったことが分かります。イシマエルの娘たちは父親を亡くしたことを非常に嘆き悲しみ、イシマエルの家族の中からはリーハイとニーファイに向かってつぶやき、エルサレムに帰りたいたいと言い出す者が出てきました。レーマンはニーファイとリーハイを殺す計画まで立てました。ニーファイの兄たちは主の御心を求めなかったために、自分たちの弱さと不信仰を再び露呈しまったのです。彼らは聖霊を拒み、頂けるはずだった主の助けを拒みしました。

1 ニーファイ 16:39 を読み、主がこの状況の中で何をなされたかを見つけましょう。この節から学べることから考

えると、主がわたしたちを懲らしめられるのはなぜなのでしょうか。

主はわたしたちのために思って導き懲らしめられるのです。主から受けた導きと懲らしめに従って行動するなら、主はわたしたちを祝福してくださいます。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 16 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

正誤クイズの解答：(1) 誤、(2) 正、(3) 誤、(4) 誤

単元 4 — 第 3 日

1 ニーファイ 17 章

はじめに

8 年間荒れ野で旅をした後、リーハイの家族は海岸沿いの場所に到着しました。彼らはそこをバウンティフルと名づけます。ニーファイは船を造るようという主の命令に従いました。また、罪惡のせいで主から靈感を受けることができないでいる兄たちを叱責しました。1 ニーファイ 17 章とニーファイの模範について学んでいくと、神から命じられたことはすべて、従順であれば成し遂げられることが分かるようになります。また、主が語りかける静かな細い声も、さらによく聞こえるようになることでしょう。

1 ニーファイ 17:1 – 51

リーハイの家族、バウンティフルへ旅をする。ニーファイ、バウンティフルに到着した後で船を造るよう命じられる

あなたの生活は楽だと言えますか。それとも大変ですか。それはなぜでしょうか。自分の聖典で1 ニーファイ 17:1, 4 – 6 を読み、ニーファイと家族が荒れ野で過ごした期間が楽だったか、大変だったかを表している言葉を丸で囲みましょう。

1 ニーファイ 17:3 を読み、ニーファイは自分の家族が困難な時期に祝福を受けた理由について何と言っているか調べましょう。もしという言葉で始まる文です。自分の聖典で、この原則が書かれている箇所印を付けましょう。

福音の原則は聖典の中でよく「もし……ならば(その結果)……」という形式で述べられています。この「もし……ならば……」という形式は家族や国家について述べる場合

原則や教義の 見つけ方を学ぶ

聖典を学ぶとき、「このことから」「それゆえ」「したがって」「見よ」「もし～ならば……」などの言葉を探しましょう。これらの言葉の後には、教義や福音の原則が来ることが多いのです。

だけでなく、人の人生の進む方向について言う場合にも使われます。「もし」という言葉はわたしたちの行動を指し、「ならば」の後には、その行動に伴って起こる結果や受ける祝福を表します。1 ニーファイ 17:3 には「ならば」という言葉が含まれていて、ある行動とそれに伴う祝福が述べられています。ニーファイが証している原則を自分の言葉で述べるとしたらどう言いますか。もしならば、(その結果)_____。

この原則が1 ニーファイ 17:2, 12-13 でどのように描写されているかに注目してください。ニーファイとその家族は、戒めを守ったときに主から強められ、祝福されました。この節を読んで、どのように強められ、どのように祝福されたかが書かれている箇所印を付けましょう。その他にも、この原則が真実であることを示す箇所を探しながら、引き続きニーファイの経験について学んでいきましょう。

 1. 時間を取って次の質問の答えをよく考え、聖典学習帳に書きましょう。この課題を行うことを通して、ニーファイが1 ニーファイ 17:3 で述べた原則に従っていたことが分かるでしょう。家族の中でもニーファイ以外は原則に従うことができませんでした。この原則があなたの生活にどのように当てはまるかを考えながら課題に取り組んでください。

- 主はニーファイに何をしよう命じられましたか。(1 ニーファイ 17:7-8 参照) この戒めに従うのは、どのような点で難しかったと思いますか。
- この戒めに対するニーファイの態度から、あなたはどんな印象を受けますか(1 ニーファイ 17:9-11, 15-16 参照)。ニーファイの兄たちはどのような態度を取ったでしょう(1 ニーファイ 17:17-21 参照)。
- ニーファイはモーセの経験を引き合いに出して兄たちに答えました。主は、モーセが命じられた業を成し遂げられるよう、モーセをどのように助けられましたか(1 ニーファイ 17:23-29 参照)。ニーファイの兄たちはどのような点でイスラエルの民と似ているでしょうか(1 ニーファイ 17:30, 42 参照)。
- あなたには、守るのが難しい戒めがありますか。神から難しい役割や命令が与えられたとき、どうすればニーファイやモーセのような態度を取ることができるでしょうか。

上記の課題が終わったら、1 ニーファイ 17:50 に記されている信仰あふれるニーファイの言葉を読みましょう。

1 ニーファイ 17:51 を読み、この節を自分に当てはめるために、「わたし」の後にあなたの名前を入れ、「一隻の船を造る」の代わりに上記の質問 d であなたが書いた戒めを入れましょう。

 2. 聖典学習帳に、神に忠実であれば、神からの命令は何でも成し遂げられるよう神が助けてくださる、ということ学んだ経験(自分の経験でも知人の経験でもよい)を書きましょう。

ニーファイが1 ニーファイ 17 章の中で模範を示し、生涯に渡って模範を示し続けた原則は、「戒めを守るならば、その結果、わたしたちは強められ、主が命じられたことを成し遂げる手段が与えられる」ということです。

1 ニーファイ 17:45-55

ニーファイ、罪惡のために兄たちを叱責する

1 ニーファイ 17:48, 53-54 を読み、ニーファイがなぜ「手を……兄たちに向けて伸ば〔した〕」か調べましょう。

1 ニーファイ 17:53 によると、主はニーファイの兄たちに何をされましたか。なぜそうされたのでしょうか。_____

ニーファイの兄たちを震えさせたのは、主が彼らに御心を伝えるために取られた多くの方法の一つです。1 ニーファイ 17:45 を読み、主がほかにどのような方法で彼らに御心を伝えようとしてこられたかを調べてください。





十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉についてよく考えましょう。「聖霊の声は聞くというより感じるものです。それは『静かな細い声』と表現されています（教義と聖約 85：6）。そして、わたしたちが御霊のささやきに『耳を傾ける』ことについて語るとき、その霊的な促しを指して『わたしは……と感じました』と言うことが多いようです。」（「個人の啓示—賜物、試し、約束」『聖徒の道』1995年1月号、65）

1 ニーファイ 17：45 に印を付け、その隣に次の原則を書くといえましょう。「聖霊は静かな細い声で語る。それは聞くというより感じるものである。」



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 主が静かな細い声で語られるのをあなたが「感じた」のは、どのようなときですか。

b. 静かな細い声を感じ、それを認識するために、あなたにはどのようなことができますか。

1 ニーファイ 17：45 の次の言葉に印を付けましょう。「天使は静かな細い声で語りかけましたが、あなたがたは心が鈍っていたので、その言葉を感じるできませんでした。」1 ニーファイ 17：45 の最初の文にまた戻って、ニーファイの兄たちの「心が鈍っていた」理由を一つ見つけましょう。

罪はなぜ聖霊を感じる妨げとなるのでしょうか。聖霊を感じる妨げになるものは、他に何かあるでしょうか。_____

ジェームズ・E・ファウスト管長はたとえを用いて、罪を犯すと聖霊が感じられにくくなる理由を幾つか挙げています。



「現在、携帯電話が多くのコミュニケーションに使用されています。しかし、時折、携帯電話への信号が受けられないデッドスポットがあります。携帯電話の利用者がトンネルや溪谷にいますとき、あるいはそのほかの妨害があるとき、このことが起こります。」

神聖なコミュニケーションについても同様です。……わたしたちは、霊的なデッドスポット、すなわち神聖なメッセージを受けられない場所や状況に身を置くことがしばしばあります。このようなデッドスポットとして、怒り、ボルノグラフィー、神への背き、自己本位、ならびに御霊に背くその他の状況などがあります。」（「正しいメッセージを受け取りましたか」『リアホナ』2004年5月号、67）



4. 最近、主があなたに伝えようとしてされているメッセージにどの程度耳を傾けてきたか、よく考えてください。聖典学習帳に「霊的なデッドスポット」すなわち静かな細い声を受信するのを妨げる状況や場所はどこか、それを避けるために何をしようと思っているかを書きましょう。

穏やかな促しを受けるにふさわしくなり、その促しに注意を向けようと努力するなら、静かな細い声を通して主のメッセージを受けることができます。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 17 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 4 — 第 4 日

1 ニーファイ 18 – 19 章

はじめに

ニーファイとその家族は主の指示に従って船を造り上げ、約束の地に向けて出航しました。航海の間、船上の多くがレーマンとレムエルに扇動されて反抗しました。その結果、リアホナが動けなくなり、激しい嵐に襲われて、船に載っている全員が命の危険にさらされました。背いた人たちが悔い改めたのでニーファイが信仰をもって祈ると、リアホナは再び動き始め、主は嵐を鎮め、前のように旅の行く先を示してくださいました。約束の地に到着するとニーファイは、救い主を思い出すよう、聖文を自分たちに当てはめるよう、家族に勧めました。1 ニーファイ 18 – 19 章を研究しながら、試練に立ち向かったニーファイの経験を、自分が試練に立ち向かう場合と比べてみましょう。ニーファイの模範に従うよう努力しましょう。

1 ニーファイ 18：1 – 8

リーハイの家族、約束の地へ向かう航海の準備をする

熱心に働くことと主の導きを求めることが、どちらも大切なのはなぜでしょうか。ニーファイが船を造る様子には、この両方の特質がどのように表れているでしょうか。1 ニーファイ 18：1 – 8 を読みましょう。

 1. 聖典学習帳に、1 ニーファイ 18:1-8 の中で
ニーファイと彼の家族がどんな努力を払ったかを示す
言葉をすべて書き出してください。次に、主が彼らをどのよ
うに導かれ、助けられたかを示す言葉をすべて書き出しま
しょう。ニーファイの努力と、主から受けた助けの間にはど
のような関係がありますか。

ニーファイの経験から、「主が命じられることを成し遂げ
るために、主の助けを求めるのと同時に、自分でも努力す
る必要がある」ことが分かります。

 2. 今のあなたには、どのような点で神の助けが必要
なのか考えてみましょう。聖典学習帳に、主の導きを
求めるために何ができるか、自分にはどのような努力が必要
かを書きましょう。

1 ニーファイ 18:8-25

レーマンとレムエル、反抗するよう家族を扇動し、約
束の地へ向かう航海を妨害する

人生で試練や苦難を経験すると、なぜ自分がそのような
つらい目に遭うのかと疑問に思うものです。あなたや周囲
の人々も、苦しい立場にあるときに「なぜ」と疑問に思った
ことがあるでしょう。



七十人会長会のL・ホイットニー・クレートン長老は、わ
たしたちが経験する苦難には3つの源があると述べまし
た。次の言葉を読みながら、長老が挙げている源に下線を
引きましょう。



「一般的に、苦難の原因は3つあります。
わたしたちが住むこの世界が自然に生み出す
苦難があります。病気、身体障害、ハリ
ケーン、地震などは、わたしたちに落ち度がな
くても時折やって来ます。……

ほかに、他人の悪い行いによる苦難があります。虐待
や依存症は、罪のない家族にとって家庭を地上の天国とは
程遠いものにしてしまいます。罪、誤った風習、抑圧、犯罪
は、人生のいたる所で犠牲者に重荷を負わせます。うわさ
話や不親切などの比較的軽度の悪事も、相手に大きな苦し
みを与えます。

問題の多くは、わたしたち自身の過ちと欠点のために生
じ、自分の肩に重くのしかかります。自分自身の首を絞め
る最も厄介な重荷は、罪の重荷です。わたしたちは皆、戒
めを守らないときに必ず生じる深い後悔の念と苦痛を知っ
ています。」(「重荷を軽くしてくださるように」『リアホナ』
2009年11月号、12-13 参照)

ニーファイとその家族は、約束の地に向けて出航してから多
くの苦難を味わいました。1 ニーファイ 18 章を研究しなが
ら、クレートン長老が述べたいろいろな種類の苦難を探し
ましょう。1 ニーファイ 18:9-11 を読み、船に乗っていた
人々の誤った行動の例を見つけましょう。

踊ったり、音楽を聴いたり、楽しんだりすることは悪いこ
とではありませんが、1 ニーファイ 18:9 には、彼らが「非
常に下品になってしまった」とあります。「下品」という言葉
には、耳ざわりな、卑わいな、みだらなという意味がありま
す。サタンは踊りや音楽、あるいは言葉遣い^{（ぶんりき）}を利用して、わ
たしたちの心と意思を腐敗させ、聖霊を伴侶とする権利を
失わせようとするのです。

1 ニーファイ 18:10 によれば、ニーファイは、反抗してい
る人々が悔い改めなければ何が起こることを心配していま
したか。

そのことについて、ニーファイは何をしましたか。親または教会の指導者から、別の音楽を聴き、踊り方を変え、言葉遣いを改めるよう注意されたらあなたはどうしますか。聞く耳を持って、言われたとおりにするでしょうか。

1 ニーファイ 18:12, 14, 17-19 を読み、彼らの反抗の結果、何が起きたと書いてあるか探しましょう。ニーファイや他の家族は、他の人の行動のためにどのような苦しみを味わいましたか。一部の人の反抗的な言動が、グループ全体の神の導きを受ける能力にどのような影響を及ぼしたかに、注目しましょう。

反抗した人々の言動から「罪は自分自身だけでなく、ほかの人々も苦しめる」ことが分かります。

 3. 今日、10代の若者が一般に直面する誘惑には、親や教師に対して不敬な態度を取ること、学校でカンニングをすること、うわさ話をする、慎みのない服装をすること、純潔の律法を破ること、知恵の言葉を破ること（喫煙、飲酒、薬物の乱用）、ポルノグラフィーを見ることがあります。これらの誘惑の中から二つ以上を選び、その誘惑に負けると、その家族や友達にどのような影響を及ぼすかを、聖典学習帳に書きましょう。



1 ニーファイ 18 章の残りの部分は、苦難に遭ったとき、それに対処する方法を教えています。間違った選択をしたために苦難を招いた場合でも、自分に落ち度がないのに災難が降りかかって来た場合でも対応できる方法です。1 ニーファイ 18:15-16, 20-23 を読み、どちらの場合であっても行うべきことを教えている箇所印を付けましょう。

これらの節には、教義と原則が含まれています。次の各文に含まれている真理は、1 ニーファイ 18:15-16, 20-23 のどの節に含まれているでしょうか。各文の後ろに該当する節の番号を書きましょう。

- 「試練のときも、神に頼り、忠実であり続けることができる。」_____
- 「試練のときも、祈りは平安を見いだす助けとなる。」_____

 4. 一つ前の問題で読んだ節の中から、あなたにとって特に深い意味を持つ節の一つを選び、その節が好きな理由を聖典学習帳に書きましょう。その節から学んだことと、苦難に対処する方法としてその節から学べる事柄を書いてください。その節が教えていることを自分や他の人が実践している場合には、それについても書きましょう。

様々な苦難に遭いながらも、ニーファイとその家族はようやく約束の地に着きました。あなたも主の導きを求め、導きに従おうと熱心に努力するなら、あなたを地上に送り出した主が用意してくださった道を最後まで歩むことができるでしょう。

L・ホイットニー・クレートン長老は次のように証しています。

「自然、他人の悪事、あるいは自分の過ちや欠点が原因で、人生でどのような重荷を負うことになろうとも、わたしたちは皆、慈しみ深い天の御父の子どもです。天の御父はわたしたちの成長と進歩のために永遠の計画を備え、その計画に添ってわたしたちを地上へ送られました。わたしたちは、それぞれに与えられる経験を通して、御父のみもとに戻る備えをすることができます。わたしたちが経験する逆境や苦難は、たとえそれがどんなに耐え難いものであっても、天から見れば『つかの間』にすぎません。『その後、[わたしたち]がそれをよく堪え忍ぶならば、神は[わたしたち]を高い所に上げ[てくださるでしょう]。』（教義と聖約 121:7-8）重荷を背負うその『つかの間』がどれだけ長く続こうとも、わたしたちは、『よく』堪え忍ぶためにできる限りのことを行わなければなりません。……

神の戒めや聖約を守るならば、御父はわたしたちが重荷を負えるよう助けてくださることを知っています。御父はわたしたちを強めてくださいます。わたしたちが悔い改めるなら、わたしたちを赦し、良心の平安と喜びを与えて祝福してくださいます。（「重荷を軽くしてくださるように」、13-14）

1 ニーファイ 19 章

ニーファイ、主を覚えるよう説き勧めるためにイエス・キリストに関する預言を記する

約束の地に到着した後、ニーファイは救い主の来臨と、主がその民にどのように迎えられるかについて預言しました。1 ニーファイ 19:8-10 を読み、イエス・キリストの属性と特質について教えている語句を見つけましょう。

 5. 聖典学習帳に、1 ニーファイ 19:8-10 であなたが学んだ事柄は、救い主に対するあなたの愛をどのように深めてくれるかを記録しましょう。

今日のレッスンの終わりに 1 ニーファイ 19:18-19, 23 を読み、ニーファイが自分の民とモルモン書を読むすべての人に説得したかったことに線を引いてください。今日機会を見つけて、救い主について友達や家族に証^{あかし}しましょう。または教会で証を述べましょう。そうすると、あなたの証を聞いた人たちが贖^{あがな}い主を思い起こし、贖い主を信じるようになるかもしれません。

 6. 聖典学習帳に、どうしたら生活の中でニーファイの模範に従うことができるかを書きましょう。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1 ニーファイ 18-19 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 5 — 第 1 日

1 ニーファイ 20 - 22 章

はじめに

1 ニーファイ 20-21 章では、ニーファイが旧約聖書の預言者イザヤの預言を引用しています。イザヤの言葉は、ニーファイと兄たちがエルサレムに戻ってラバンから手に入れた真鍮の版に載っていました。イザヤは、古代のイスラエルの民が聖約を守らなかったときでも主が彼らを愛し続け、悔い改めて御自身のもとへ来るよう招いておられたと教えています。これらの章を研究するときに、イエス・キリストについてイザヤが教えた事柄に注目し、キリストが民を贖^{あがな}うことを熱望しておられることについて学びましょう。



1 ニーファイ 20 章

主、イスラエルを懲らしめ、御自身のもとへ戻るよう招かれる

あなたは、主と交わした聖約や教会の標準にそぐわない行動をしたことがありますか。そのようなことを選択したことについて、どのような気持ちがありましたか。1 ニーファイ 20:1-2 を読みましょう（2 節の「とどまる」とは、頼るという意味である）。イザヤはだれに語っていますか。「ヤコブの家」とはだれのことですか。

旧約聖書で、ヤコブはイサクの息子であり、アブラハムの孫でした。ヤコブは主からイスラエルという名前を頂きました（創世 32:28 参照）。「イスラエルの家」とはヤコブの子孫のことであり、「ヤコブの家」とも呼ばれます。さらに、イエス・キリストのまことの信者を意味することもあります（『聖句ガイド』『イスラエル』の項参照）。古代と同様に、今日神と聖約（バプテスマなど）を交わす人々も、聖約においてイスラエルの家に属していると見なされます。

1 ニーファイ 20:3-4, 8-18 を調べ、イスラエルの家が主に忠実でなかったことを示している語句に線を引きましょう。「あなたの首が鉄の筋であり、あなたの額が真鍮である」という言葉は、聖典で繰り返し述べられている「かたくな」な状態を象徴的に表しています（1 ニーファイ 20:4）。この表現が使われるようになったのは、一つには牛やろばなどの家畜が主人の指示に従いたくないときに首を固くすることからだろうという説があります。そのほか、頭を下げる気持ちのない人々は首を固くするからだという説もあ

ります。同様に、イスラエルの家は高慢と罪悪によって首を固くし、主に導かれることを拒みました。

これらの節をさらによく理解して今日のわたしたちに当てはめるため、イスラエルの家を説明するこの言葉が、どのような意味で現代人の行動を描写しているか考えましょう。

1 ニーファイ 20:9-14, 16 を読み、これらの節が主にについて何を教えているか、主がどのような御方であると教えているか、よく考えましょう。



1. 次の質問に対して、短い答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 民が過去に反抗的であったにもかかわらず、主はどのような対応をされましたか。それはなぜでしょうか。(1 ニーファイ 20:9-11, 14 参照)

b. 主は聖約の民に何をしてほしいと望んでおられましたか。(1 ニーファイ 20:12, 16 参照)

深く考える

ヘンリー・B・アイリング管長は次のように教えています。「読むことと、研究すること、深く考えることは同じではありません。読めば何かに気づき、研究すれば聖文中のパターンと関連性を見いだすでしょう。しかし、深く考えるときに、御霊の啓示を招くのです。わたしの場合深く考えるとは、聖文を入念に読み、研究した後を考え、祈ることを意味しています。」(「御霊とともに奉仕する」『リアホナ』2010年11月号, 60)

還不能点』ではないという確信を与えてくれます。人を救うための神の計画に従うなら、無事に戻ることができるのです。」(「帰還可能点」『リアホナ』2007年5月号, 99)

これらの節から、「主は不従順な人々に悔い改めて主のみもとへ戻るように招いておられる」ことが分かります。データー・F・ワークトドルフ管長の次の言葉を読み、この真理について述べている箇所に線を引きましょう。

「サタンはわたしたちがもはや赦されないと感じるように望んでい……ます(黙示 12:10 参照)。わたしたちが罪を犯すと、『帰還不能点』を過ぎてしまい、進路を変えるにはもう遅いと考えさせたいのです。……」

キリストはわたしたちを救うために来られました。道を間違っても、イエス・キリストの贖いは、罪が『帰

1 ニーファイ 21:1-17

イザヤ、メシヤは聖約の民をお忘れにならないと預言する

1 ニーファイ 21:1-13 で、ニーファイはメシヤとなられるイエス・キリストについて述べたイザヤの預言を記しました。キリスト(ギリシャ語)とメシヤ(ヘブライ語)はどちらも「油注がれた者」または「選ばれた者」という意味です。イエス・キリストはイスラエルと異邦人の両方の贖い主として選ばれました。

1 ニーファイ 21:6-13 を読みながら、イエス・キリストを表す語句とキリストがイスラエルの贖い主としてなさることを表す語句を見つけ、自分の聖典に印を付けましょう。

イスラエルの子らは罪を犯したために主から離れてしまい、自分たちは主に忘れられ、捨てられたと感じていました(1 ニーファイ 21:14 参照)。1 ニーファイ 21:14-16 を読んで、イスラエルの子らがたとえ捨てられたと感じても「主はわたしたちを愛しておられ、わたしたちを決して忘れない」ことの証拠を探しましょう。この節の中で、あなたにとって特に大切な語句に印を付けるとよいでしょう。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、十字架にかけられたときの傷が救い主に残っているのは、わたしたちを決してお忘れになることはないことを示すためであると説明しています。「キリストは御自分が贖われた子供たちを忘れることはありませんし、シオンでの救いのために彼らと交わした聖約を忘れることもなさいません。主が見守っておられることと聖約が交わされていることを思い出させてくれるのは、主の手の平に刻まれたローマのくぎの跡なのです。」(Christ and the New Covenant [1997年] 84)



2. 次の質問に対して、短い答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. なぜ人は時々「主は自分をお忘れになっている」と感じるのでしょうか。

b. 救い主の手の平に刻まれるとはどんな意味だと思いますか。救い主の手の傷について考えると、主が十字架で苦しまれたことへの感謝が深まるのはなぜでしょうか。

c. 主があなたを忘れておられないことが分かるような経験をしたことがありますか。それはどのような経験でしたか。



3. 過去に罪を犯しているから自分は教会に行くのにふさわしくないとやっている友達がいたとします。1 ニーファイ 20-21 章と、本書の1 ニーファイ 20 章のセクションで読んだワークトドルフ管長の言葉から学んだ事柄を用いて、その友達を励ます短い手紙を聖典学習帳に書きましょう。

1 ニーファイ 21:18-22; 22

ニーファイ、イスラエルの散乱と集合についてのイザヤの預言を説明する

ニーファイはイスラエルの集合に関するイザヤの預言を一つ自分の記録の中に記しました。それは1 ニーファイ



21:18 – 26 に書かれています。ニーファイは1ニーファイ22章に、イザヤの預言に対する説明と意見を記しました。1ニーファイ22:4 – 12を読みながら、イスラエルが末日にどのように集められるかについてニーファイが説明している言葉を探しましょう。

モルモン書では、「異邦人」という言葉がユダの子孫でない人々を指す場合がしばしばあります。「驚くべき業」という言葉は、末日に福音が回復されることを指します。ニーファイが何度も「聖約」と言っている点にも注目してください。「異邦人」と「驚くべき業」という言葉を見つけて、自分の聖典に印を付けるとよいでしょう。

「主は末日に福音を回復し、イスラエルを集められると約束されました。」1ニーファイ22:17, 19 – 22, 25 – 28を研究しながら、人々の義のためにサタンに何が起こるか

が書かれている箇所を見つけて、自分の聖典に印を付けましょう。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、1ニーファイ20 – 22章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

はじめに

ニーファイ第二書

なぜこの書を研究するのか

ニーファイ第二書は、アダムとエバの墮落やイエス・キリストの贖罪、選択の自由など、基本的な福音の教義を理解するのに役立ちます。さらに、この書は救い主の特別な証人だったニーファイやヤコブ、イザヤの預言で満ちています。彼らは末日における福音の回復、神の聖約の民の集合、イエス・キリストの再臨、福千年について預言しました。またニーファイ第二書にはキリストの教義についてのニーファイの説明も載っていて、救い主についてのニーファイの証で結ばれています。

だれがこの書を書いたのか

ニーファイ第二書はリーハイの息子ニーファイによって書かれました。ニーファイは預言者であり、ニーファイの民の最初の偉大な指導者でした。ニーファイが書いた記録は、ニーファイが主の贖いの力を体験したこと（2 ニーファイ 4：15－35；33：6 参照）、自分の民に救いをもたらすことを心から望んでいたことを明らかにしています（2 ニーファイ 33：3－4 参照）。この目的を達成するために、ニーファイは神殿を設け、民にイエス・キリストを信じるように教えました。

いつ、どこで書かれたか

ニーファイが後にニーファイ第二書となる記録を書き始めたのは、紀元前 570 年ごろ、すなわち、ニーファイとその家族がエルサレムを去ってから 30 年後のことでした（2 ニーファイ 5：28－31 参照）。ニーファイはこの記録を、ニーファイの地にいるときに書きました（2 ニーファイ 5：8、28－34 参照）。

者であるニーファイの指導に従うように勧めました。この章を研究しながら、主の戒めに対してあなた自身がどれほど従順であるかを評価してください。あなたは教会の指導者の勧告にどのくらいよく従っているでしょうか。

2 ニーファイ 1：1－23

リーハイ、正しく生きようと民に熱心に勧める

突然、家族のもとを離れなければならなくなり、もう二度と家族に会うことができないと想像してください。最後に一度、家族と話をする機会があるとします。あなたなら家族にどんなことを言いますか。

2 ニーファイ 1－4 章で、ニーファイは父親が家族に与えた最後の勧告を記しています。これらの章を研究しながら、記録に残っているリーハイの最後の教えが自分にどのように当てはまるかを考えてください。

2 ニーファイ 1：1－4 を読み、主がリーハイの家族のためにどのような「大いなることをなさった」かを調べましょう。



1. 次の質問に対して、短い答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 主はどのような方法でリーハイの家族に憐れみをお示しになったのでしょうか。

b. 主は、あなたとあなたの家族のためにどのような「大いなること」をしてこられたのでしょうか。主があなたとあなたの家族に対してどれほど憐れみを示してこられたか考えると、どのような気持ちになりますか。

神の戒めを守るという選択をすることによって、生活の中でこれからも「大いなること」と「神の憐れみ」を受け続けるかどうかが決まると、リーハイは家族に教えました。



2. 「主の戒めを守るときに主は祝福され、主の戒めを守らないときに主は祝福を差し控えられる」ということを理解するために、聖典学習帳に次のような表を作りましょう。2 ニーファイ 1：7－11 を読み、ある行い（「もし……ならば」）が、特定の結果（「……であろう」）をもたらすとリーハイが言っている箇所を見つけてください。見つけたものを、聖典学習帳の表の該当する欄に書きましょう。

教義と原則を見つける

聖文の中で教えられている教義と原則を見つける方法を習得するには、思慮深い努力と練習が必要です。聖文の中に見つけた真理を「もし……ならば、……であろう」という形式で書くと、原則を理解し、生活に取り入れるのに役立ちます。

単元 5—第 2 日

2 ニーファイ 1 章

はじめに

2 ニーファイ 1 章を研究するとき、そこには死を迎えようとしていた愛にあふれた親であり神権指導者である人物の言葉が記されていることに注目してください。父リーハイは自分の家族に、神の戒めに従うように訴えました（2 ニーファイ 1：16 参照）。もし神の戒めに従うならば、約束の地で栄えるだろうと預言しました。また自分の子供たちと、自分たちと一緒にエルサレムからやって来た人々に、預言

もし……ならば（行い）	……であろう（結果）



リーハイは特にレーマンとレムエルの霊的な状態について心配し、彼らが悔い改める必要があることを理解していました。二人に説き勧めの中で、リーハイは彼らが罪と悔い改めについて理解できるように幾つかの象徴を用いました。2 ニーファイ 1:13 - 14 を調べて、リーハイが息子たちに悔い改めを勧めるために用いた象徴を探し、答えを次の空欄に書きましょう。

「深い _____ から _____」
 「恐ろしい _____ を _____」
 「_____ から立ち _____」

 3. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。「悔い改めることは、上の問題で書いたそれぞれの言葉とどのように似ているでしょうか。」

2 ニーファイ 1:15 を読み、神の戒めに従ったことによって受けた祝福を述べるためにリーハイが用いた3つの言葉に印を付けましょう。これらの祝福を、神の戒めを守らない人々が受ける悪い結果 (2 ニーファイ 1:17 - 18, 22 参照) と比べてください。

2 ニーファイ 1:23 に記されているリーハイの勧告に印を付け、この章でリーハイが語っている祝福を受けられるように「目を覚まし」「振り払い」「立ち上が[る]」ために、自分が生活の中で行う必要のあることについて深く考えてください。

2 ニーファイ 1:24 - 32

リーハイ、ニーファイの「預言者としての指導」に従うよう息子たちに勧める

リーハイは次に、生活の中で義にかなった決断ができるように与えられたもう一つの「導きと靈感の源」について、家族やほかの人々に思い起こさせました。2 ニーファイ 1:24 を読み、その源を見つけてください。

2 ニーファイ 1:24 - 27 を読み、ニーファイに従うようリーハイが民に勧めた様子を調べましょう。次の質問について考えてください。

- リーハイが強調したニーファイの特質の中で、あなたが彼を指導者として信頼するために大切な特質は何ですか。
- そのような特質を持った指導者をあなたが信頼するのはなぜでしょうか。
- あなたはこれまでどのようなときに、今日の教会の指導者がそのような特質を示すのを見てきたでしょうか。

2 ニーファイ 1:28 - 32 を読み、ニーファイの指導に従う人々にリーハイが与えた約束に印を付けましょう。これらの約束は「神が指導者として召された人々に従うときに、わたしたちは霊的な繁栄と安全を祝福される」ということを示しています。靈感された勧告に従うことが霊的な繁栄と安全をもたらすことについて、最近教会の指導者から教わったことを深く考えてください。



ウィルフォード・ウッドラフ大管長の次の言葉を読み、主の僕の勧告に従う人にウッドラフ大管長が約束したことに線を引きましょう。「主の僕によってわたしたちのために敷かれている道を皆が進むことができるように願っています。そのようにするならば、この世において安全であり、来るべき世において幸福と昇栄を手に入れることになる、確信しているからです。……もしわたしたちが忠実であるならば、主の僕たちは命の道に導いてくれるでしょう。そして彼らの教えを信じる信仰と、彼らによって与えられる聖なる御霊の教えを信じる信仰があるかぎり、わたしたちは常に安全な道にいて、自分たちの報いを確信するでしょう。」(『歴代大管長の教え-ウィルフォード・ウッドラフ』199)

-  4. 聖典学習帳に、主の戒めと主の僕の勧告に従うことが生涯を通じて大切だと思う理由を書きましょう。
-  5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 1 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。



単元5—第3日

2 ニーファイ 2 章

はじめに

2 ニーファイ 2 章では、リーハイが息子ヤコブに、天の御父が御自分の子供たちを苦難や悲しみ、罪、死が存在する世に置かれた理由を教えています。死すべき世の目的をヤコブが理解できるように助けるため、リーハイは選択の自由やアダムの墮落、イエス・キリストの贖罪を含む、贖いの計画の基本的な教義を説明しました。2 ニーファイ 2 章で教えられている真理を研究することによって、イエス・キリストの贖罪のおかげでどのようにして墮落の影響が克服され、わたしたち一人一人が永遠の命へとつながる選択をすることが可能になるかを、さらによく理解することができるでしょう。

2 ニーファイ 2：1－25

リーハイ、アダムの墮落とイエス・キリストの贖罪について教える

最近直面した幾つかの困難について考えてください。どうして人生にはそのような困難があるのだらうと思ったこと

はありませんか。2 ニーファイ 2：1を読み、リーハイがヤコブの若いころについて述べた語句に印を付けましょう。次に、2 ニーファイ 2：2を読み、それらの苦難がヤコブにもたらすものとしてリーハイが約束していることに印を付けましょう。聖別するという言葉には、奉献する、あるいは聖いものにするという意味があります。リーハイはヤコブに、主がヤコブの試練を聖いものとし、ヤコブがこの上ない恵みを得られるようにしてくださると約束しているようです。

リーハイはヤコブに、天の御父の計画におけるアダムの墮落の必要性と、イエス・キリストの贖罪がわたしたちにとって必要であることについて教えました。墮落と贖罪によって、わたしたちは選択の自由を使い、永遠の命に向かって成長し、進歩することが可能となることを、リーハイはヤコブに知ってほしいと思いました。2 ニーファイ 2：15－18を読み、次の質問に対して、短い答えを書きましょう。

- アダムとエバが選択の自由を使うことができるように、神はエデンの園で彼らのために何を用意されたのでしょうか。（2 ニーファイ 2：15－16 参照。）

- エデンの園でサタンは何を達成しようとしていたのでしょうか。（2 ニーファイ 2：17－18 参照。）今日、サタンが同じ目的を成し遂げようとしているのをどのようなときに目にしますか。

 1. 聖典学習帳に次の表を書きましょう。2 ニーファイ 2：19－25 を調べ、アダムとエバが禁断の実を食べて墮落していなかったらどうなっていたか、また、墮落によって生じた結果は何かを挙げましょう。

もしアダムとエバが墮落していなかったなら (2 ニーファイ 2：22－23)	アダムとエバが墮落したので (2 ニーファイ 2：19－20, 25)

表を完成させた後、「アダムとエバの墮落は天の御父の幸福の計画に欠かせない要素である」のはなぜかを考えましょう。

 2. ある友達があなたに、アダムとエバは禁断の実を食べることによって過ちを犯したと言ったとします。2 ニーファイ 2：19－25 で学んだことを用いて、天の御父がわたしたちの救いのために用意された計画にとって、墮落が不可欠なものであったのはなぜかを聖典学習帳に書きましょう。

福音の真理を説明する練習

あなたは、宣教師として、教会の召しにおいて、あるいは家族や友達や知人に対して、生涯にわたって、自分の信条や福音の教えを説明するように求められることでしょう。文章で福音を説明する練習をするとき、特定の人に向けて書いていると想像するとよいでしょう。そうすることで、福音のメッセージをその人に合ったものとするのに意識を集中することができます。

は、わたしたちがアダムとエバの子孫として受け継ぐ地上での死すべき状態を指しています。これらの律法のゆえに、わたしたちは物理的に神の御前から離れていて、悲しみや苦痛、苦難、肉体の死を経験します。「霊にかかわる律法」によって「絶たれ〔る〕」とは、わたしたちの罪のゆえに神の御前から離れていることを指します。

アダムとエバの墮落によってわたしたちが進歩する道が開かれた一方で、ほかに生じた結果がありました。墮落の前には、アダムとエバはエデンの園で神の御前にいました。しかし禁断の実を食べた後、彼らは神の御前を去らなければなりませんでした。

2 ニーファイ 2：5 を読み、墮落後にアダムとエバが神と離れたことを示している語句を見つけましょう。「現世にかかわる律法」とは、墮落の結果として効力を生じるようになった物理的な法則です。したがって、「現世にかかわる律法」によって「絶たれ〔る〕」と

次の質問について思い巡らすことによって、これまでに述べた結果をあなた自身がどのように経験してきたかについて深く考えてください。

- あなたはこの世での生活で、どのような苦難や苦痛、悲しみを経験してきたでしょうか。
- 亡くなった知人にどのような人がいますか。その人の死はあなたにどのような影響を与えているのでしょうか。
- あなたはこれまでどのようなときに、自分が神から霊的に離れていると感じてきたでしょうか。

2 ニーファイ 2：6－10 を読み、「贖罪を通じて、イエス・キリストは墮落の影響からわたしたちを贖い、罪からの贖いを受けるようにわたしたちを招いてくださっている」ことを示している重要な語句に印を付けるとよいでしょう。2 ニーファイ 2：9－10 にある救済成しという言葉は、ほかの人のために行動することを意味します。

マスター聖句－2 ニーファイ 2：25

リーハイはアダムの墮落と、死すべき世で経験する反対のものについてヤコブに教えたとき、墮落が全人類にもたらした好ましい結果を強調しました。

-  3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。
- a. 墮落について学んだことから考えて、墮落はどのような形で人類に喜びをもたらすのでしょうか。
 - b. あなたはこれまでどのようなときに、墮落の好ましい結果を通して喜びを得てきたでしょうか。

2 ニーファイ 2：11－18, 26－30

リーハイ、選択の自由と選択の結果について教える

あなたが最近行う必要のあった重要な選択と、その選択がどのような長期的な影響を及ぼす可能性があるかについて考えてください。リーハイは自分の民に、天の御父の救いの計画において選択の自由が根本的に重要であることを教えました。「自由と永遠の命を選ぶか、束縛と死を選ぶかは、わたしたちの自由である」ことを理解するために (2 ニーファイ 2：27 参照)、次の活動を行いましょう。

-  4. 『若人の強さのために』(小冊子、2－3)にある次の言葉を聖典学習帳に書いてください。次に、2 ニーファイ 2：11－18, 26－29 を一節ずつ読み、その節が支持していると思う文章の後ろにその節の番号を書きましょう。すべての節の番号を、いずれかの文章の後ろに書くようにします。一つの文章が複数の節に当てはまるかもしれませんが、一つの節が複数の文章に関連しているかもしれません。例として、最初の文章について節が一つ書き込まれています。すなわち、リーハイが 2 ニーファイ 2：16 で教えている真理の一つは、わたしたちには思いのままに行動する能力が与えられているということです。

a. 「天の御父は、選択の自由という、善悪を選び、望むままに行動する能力を与えてくださいました。」 2 ニーファイ 2：16

b.「あなたはこの地上にいる間、戒めを守ることによって神への愛を示すために、自分の選択の自由を正しく使うかどうか試されています。」

c.「どのような行動を取るか自由に選ぶことはできますが、その行動の結果を自由に選ぶことはできません。」

d.「罪深い……行為はあなたの進歩を遅らせ、心の痛みと不幸をもたらします。」

e.「義になかった選択は、いつまでも続く幸福と永遠の命をもたらします。」

2 ニーファイ 2:26 - 27 を読みましょう。あなたは何を自由に選ぶことができますでしょうか。2 ニーファイ 2:28 を読み、あなたが「永遠の命を選[べる]」ように、ほかに神があなたに与えてくださっているものに印を付けましょう。あなたがこれまでに自分自身の人生の中で行ってきた選択で、あなたが永遠の命を選んできたことを示しているものについて深く考えてください。

📖 マスター聖句 - 2 ニーファイ 2:27

マスター聖句である 2 ニーファイ 2:27 を暗記しましょう。この聖句を何度か読み、次に聖典を閉じて、下に並んでいるこの節の文節ごとの最初の文字を使いながら、自分自身や家族の人に向かって聖句を暗唱してみましょう。しっかりできると感じるまでこの練習を繰り返しましょう。

そ、ひ お、じ、ひ た、ひ も す あ。そ、ひ、
す ひ い、ち、つ、じ え、い え、あ あ そ、ち
お そ し え、じ。あ、す ひ、じ よ み な も。

 5. 上に挙げられている 2 ニーファイ 2:27 のそれぞれの文節ごとの最初の文字だけを使って、このマスター聖句を聖典学習帳に書きましょう。答えを見てはいけません！

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 5 - 第 4 日

2 ニーファイ 3 章

はじめに

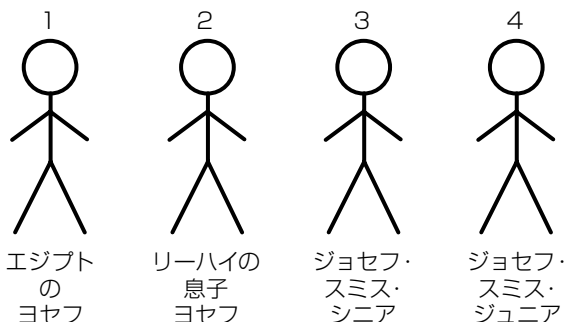
2 ニーファイ 3 章では、リーハイが末の息子ヨセフに勧告と祝福の言葉を授けています。その中でリーハイは、モルモン書を世に現す、えり抜きの聖見者ジョセフ・スミス・ジュニアの役割に関するエジプトのヨセフの預言について詳しく述べています。このレッスンでは、預言者ジョセフ・

スミスについての理解を深め、神が定められた福音の回復におけるジョセフの役割についての証^{あかし}を強める機会を得ることでしょう。

2 ニーファイ 3:1 - 25

リーハイ、預言者ジョセフ・スミスに関するエジプトのヨセフの預言について述べる

リーハイは家族への最後の勧告を続け、息子のヨセフに向けて、同じヨセフ（ジョセフ）という名前の 3 人の人物について語りました。2 ニーファイ 3 章の参照聖句と、その節で学ぶことのできるヨセフ（ジョセフ）を線で結びましょう。



2 ニーファイ 3:3 2 ニーファイ 3:4 2 ニーファイ 3:14 2 ニーファイ 3:15

このレッスンでは、預言者ジョセフ・スミスについてエジプトのヨセフが語った預言について学びます。ジョセフ・スミスが生まれる 3,000 年以上も前に語られた預言です！

 1. 聖典学習帳に、預言者ジョセフ・スミスと福音の回復におけるジョセフの役割について考えるときに思い浮かぶ出来事や教えのリストを作りましょう。このレッスンの全体を通じて、さらに多くのことを学びながらこのリストに追加していくので、余白を残しておいてください。

2 ニーファイ 3:6 - 8 を読み、エジプトのヨセフが預言者ジョセフ・スミスについて、また、ジョセフ・スミスが将来成し遂げる業について述べた語句を調べましょう。それらの語句の中で重要だと感じるものを、聖典学習帳の中の預言者についてのリストに追加しましょう。この聖句の中でエジプトのヨセフは、「主は預言者ジョセフ・スミスを立てて、福音を回復する助けをさせられた」と証しています。引き続き 2 ニーファイ 3 章を研究しながら、預言者ジョセフ・スミスに関

リストを作る

リスト作りは聖文や預言者から学んだ事柄を整理するのに役立ち、リストを作ることによって、それらの事柄を覚えておき、自分が知っていることをいつでもほかの人々に伝えられるようにすることができます。リストを作るときには、分かりやすいタイトルをつけ、十分な情報を書いておくようにしましょう。そうすれば後で見たときにそれが何のリストであるかを思い出すことができます。

する真理で、ジョセフの神聖な使命についての証を強めてくれるものをさらに探し、リストに追加してください。

エジプトのヨセフの預言について理解を深めるために、2ニーファイ3:6-7, 11, 14に聖見者という言葉がどれくらい頻繁に出てくるかに注目しましょう。これらの節の近くの余白に、聖見者とは過去や現在や将来のことを知ることができる人であると書き込んでおくといよいでしょう(モーサヤ8:13-17参照)。



2ニーファイ3:7で、エジプトのヨセフは、ジョセフ・スミスはヨセフの子孫にとって「大いに価値のある」業を行うことになる、と主から告げられたと言っています。2ニーファイ3:11-15, 19-21を調べ、主が預言者ジョセフによってどのような「大いに価値のある」業を成し遂げようとしておられたかを調べましょう。利用できる学習参考資料(章の前書き、脚注、『聖句ガイド』など)を使うと、エジプトのヨセフが述べている事柄について詳しく理解するのに役立つでしょう。預言者ジョセフ・スミスの役割について新しいことが分かったら、聖典学習帳のリストに追加しましょう。

聖文で「[だれかの]腰から出た者」と言われているとき、それはその人の子孫を指しています。エジプトのヨセフは、自分の子孫の一人である預言者ジョセフ・スミスは末日にモルモン書を世に現すであろうと預言しました。

2ニーファイ3:12にある「あなたの腰から出た者〔つまりエジプトのヨセフの子孫〕は書き記す」という言葉は、ヨセフの子孫によって書き記された聖文の記録、すなわちモルモン書について述べています(2ニーファイ3:4参照)。モルモン書は、聖書(「ユダの腰から出た者」によって書き記される神聖な記録)と「一つに合わされ〔る〕」と預言されました。2ニーファイ3:12を調べ、モルモン書と聖書が一つに合わされるときにこれらの書物が世に及ぼす影響について述べている言葉を探しましょう。

エジプトのヨセフはまた、預言者ジョセフ・スミスは「わたしの民を救いに至らせる」ための天の御父の計画においても重要な役割を果たすと預言しました(2ニーファイ3:15)。

 2. 天の御父の救いの計画におけるジョセフ・スミスの役割についてさらに理解を広げることができるように、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 預言者ジョセフ・スミスによって回復された聖約や権能や儀式で、人々に救いをもたらすものをいくつか挙げてください。

b. これらの祝福は、あなたの生活にどのような影響を及ぼしてきましたでしょうか。

2ニーファイ3:24の中で預言者ジョセフ・スミスについて述べている語句を探し、聖典学習帳のリストに追加しましょう。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を読み、預言者ジョセフ・スミスが確かに「神の御手に使われる者」であったことを示す教えをリストに追加しましょう。

「わたしたちの教会の教義や礼拝の仕方の中には、ほかのあらゆる教会と明らかに異なるものがたくさんあり、それらはすべて若き預言者ジョセフを通して神から啓示されました。その中の幾つかについて話します。……

最初の偉大な事柄といえばやはり、神御自身と、その愛する御子であり復活した主イエス・キリストが御姿を現されたことでしょう。……

神に関するこの知識は、何世紀にもわたって世の人々から隠されていました。これこそ、神が御自身の選ばれた僕に啓示された、最初の偉大な事柄だったのです。……

モルモン書は神の賜物と力によりもたらされました。……

〔預言者ジョセフ・スミスの〕もう一つ〔の貢献〕は回復された神権です。……

預言者ジョセフに与えられた、この教会独自のもう一つの偉大な啓示は、家族が永遠の命を受けるための計画に関するものでした。……

幼い子供たちには罪がないということも、神が預言者ジョセフという器を通して与えられたもう一つの啓示です。……

……死者の救いに関する偉大な教義は、この教会独特のものでした。……



人の持つ永遠の性質も啓示によって明らかにされています。……

……もう一つ話しておかなければならないことがあります。それは、現代の啓示に関する原則です。……

……38年半という短い生涯の中で、たぐいまれな知識と賜物と教義が、「預言者ジョセフ・スミス」を通して豊かに注がれました。」(『リアホナ』2005年5月号, 80-83)

預言者ジョセフ・スミスの殉教後、ジョン・テラー大管長は、後に教義と聖約135章となる文書を書きました。教義と聖約135:3を読み、福音を回復するための天の御父

の計画におけるジョセフ・スミスの役割に関してこのレッスンで学んだことについて深く考えてください。



3. 次の質問のどれか一つについて、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- a. 今日、2 ニーファイ 3 章を研究しながら、預言者ジョセフ・スミスについての証を強めてくれるどのようなことを学んだり、感じたりしましたか。
- b. ジョセフ・スミスが行ったことや教えたこと、回復したことで、「大いに価値〔が〕ある」とあなたが感じることはどれですか(2 ニーファイ 3:7)。

あなたの友達や家族が、ジョセフによって回復された大いに価値のある多くのことを認められるように助けるために、彼らに預言者ジョセフ・スミスについての証を伝える方法を、よく祈りながら求めてください。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 3 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元6—第1日

2 ニーファイ 4-5 章

はじめに

2 ニーファイ 4 章では、リーハイが世を去る前に子孫を呼び集めて最後の勧告と祝福を与えたときのことについて読みます。リーハイの死後、レーマンとレムエルはニーファイが「主の勧告」を説いたためにニーファイに腹を立てました(2 ニーファイ 4:13-14 参照)。兄たちの態度と行動、さらに自分自身の弱さと罪に悩んで、ニーファイは自分の気持ちを詩的な言葉で表現豊かに記録しました(2 ニーファイ 4:15-35 参照)。2 ニーファイ 5 章に記録されているように、主はニーファイとニーファイを支持する人々に、レーマンとレムエル、イシマエルの息子たちから逃れるように警告されました。こうして別れた後、ニーファイ人は義になった幸福な生活を送り、一方でレーマンとレムエルとともにとどまった人々は、自らを霊的に主から絶ってしまいました。ニーファイは主に献身することによって、罪や失望に打ち勝つ強さを得ました。その後、ニーファイは自分と自分の民が「幸福に暮らした」様子を記録しました(2 ニーファイ 5:27)

2 ニーファイ 4:3-11

リーハイ、家族に勧告と祝福を与える

母親や父親、または指導者から勧告や助言を受けたときのことを思い浮かべてください。あなたはその助言に従いましたか。従った、あるいは、従わなかったのは、なぜでしょうか。後悔する気持ちがありますか。2 ニーファイ 4:1-11 で、ニーファイはリーハイが家族に与えた最後の勧告と祝福を記録しています。2 ニーファイ 4:4-5 を読み、リーハイが子供たちに与えた勧告であなたも実践できるものを見つけましょう。両親や家族、指導者から似たような勧告を受けたことがありますか。



 1. 聖典学習帳に、あなたを気にかけてくれる人々の勧告に耳を傾けたことによってもたらされた祝福のリストを作りましょう。主の戒めに従順であることによってどのような祝福を受けてきましたか。

2 ニーファイ 4:12-35

ニーファイ、主への信頼を表し、自分の弱さを認める

2 ニーファイ 4:12-35 で、ニーファイは「[自分] 自身のこと」について書いています (2 ニーファイ 4:15)。2 ニーファイ 4:15-16 を読み、ニーファイがどのようなことに喜びを感じていたかを調べましょう。

あなたに大きな喜びをもたらしてくれる健全なことにについて考えてください。幾つかのことを挙げて、次の言葉を完成させましょう。「わたしは_____」

_____に喜びを感じます。」

 2. 聖典学習帳に、主に関することに喜びを感じるとはどういう意味だかを書きましょう。

ニーファイは聖文について「心に深く考え[る]」と言っています (2 ニーファイ 4:15)。深く考えるとは、聖句について思い巡らし、じっくりと考えるだけでなく、啓示と理解を得られるように心を開くことも意味します。

ニーファイは人生において大きな喜びの時を経験しましたが、苦難の時にも遭遇しました。2 ニーファイ 4:12-13 を参照し、当時ニーファイが生活の中で直面していた試練を幾つか見つけましょう。

2 ニーファイ 4:17-18 を読み、ニーファイがほかにどのようなことに悲しみを覚えていたかを見つめましょう。読むときに、次の定義を心に留めておきましょう。惨めなとは、哀れな、価値のない、という意味です。肉とは、死すべき状態における弱さを指しています。まわりつくとは、四方を囲み、のしかかってきて、悩ませ、苦しめることを意味します。ニーファイは自分の罪のゆえに悲しみを覚えていましたが、何か重大な背きを犯していたという意味だと誤解しないようにしましょう。

人生の中で、ニーファイの気持ちに通じるような気持ちを覚えたときのことに考えてください (例えば、愛する人を亡くしたときや、主に従ったためにほかの人に腹を立てられたとき、苦難や失望に直面したとき、自分の罪や弱さ、誘惑のために悲しみを覚えたとき、など)。2 ニーファイ 4:19 を読み、ニーファイが悲しみの中にあっても希望を抱いていたことを表している言葉を見つめましょう。ニーファイは次の言葉をどういう意味で言ったのだと思いますか。「わたしは、これまでに自分がだれに頼ってきたかを知っている。」どうすれば神によりいっそうの信頼を寄せることができるでしょうか。

聖句の語句について 深く考える

聖句の語句が何を意味しているかについて深く考えることには大きな価値があります。深く考える練習をし、その後、聖句の言葉が意味していると思うことを自分自身の言葉で言い直してみるときに、その真理について理解が深まることでしょう。

研究を続けながら、「神は御自分に信頼を寄せる人々を支えてくださる」という福音の原則を裏付けている証拠を見つけましょう。



3. 聖典学習帳に、次の表にある質問に対する答えを書きましょう。

参照聖句	ニーファイに どのように 当てはまったか	あなたに どのように 当てはまるか
2 ニーファイ 4 : 20 – 25	a. 主に頼ったことによって、ニーファイは主からどのような祝福を受けてきたでしょうか。	b. 主に頼ったときに、あなたは主からどのような祝福を受けてきたでしょうか。
2 ニーファイ 4 : 26 – 30	c. 祝福を思い起こすことは、義になつた者になりたいというニーファイの望みにどのような影響を及ぼしたでしょうか。	d. 主の祝福は、義になつた者になりたいというあなたの望みにどのような影響を及ぼしてきたでしょうか。
2 ニーファイ 4 : 31 – 33	e. ニーファイは何を祈り求めたでしょうか。	f. この聖句をあなたの祈りにどのように応用できるでしょうか。

2 ニーファイ 4 : 34 – 35 を読み、主に対するニーファイの確信を示している言葉に印を付けましょう。



4. 聖典学習帳に 2 ニーファイ 4 : 17 – 35 を研究して学んだことを書いてください。また、主への信頼をどのような方法で増したいと思うかを書いてください。

2 ニーファイ 5 : 1 – 8

主、ニーファイ人とレーマン人を分けられる

2 ニーファイ 5 章を研究するときに、自分が経験している、またはこれまでに経験してきた問題や決断について考えてください。この章で、ニーファイは兄たちが「わたしの命を奪おうとした」と説明しています (2 ニーファイ 5 : 2)。この問題の解決法を見いだすために 2 ニーファイ 5 : 1 でニーファイが行ったことに注目してください。次に、2 ニーファイ 5 : 5 で主がニーファイを助けるために行われたことに印を付けましょう。

この警告を受けて、ニーファイと「神の警告と啓示を信じる〔すべての〕者たち」(2 ニーファイ 5 : 6) は、彼らの最初の受け継ぎの地を去りました。彼らは「幾日も」旅し (2 ニーファイ 5 : 7)、彼らがニーファイと呼んだ地に定住しまし



た。この経験は「神の啓示に従うことによって、安全がもたらされる」ことを示しています。

七十人のポール・V・ジョンソン長老の次の証^{あかし}を読みましょう。「驚くには当たりませんが、恐ろしい悪と誘惑の中でわたしたちが歩むべき道を見いだすのを、主は放っておかれません。実際、わたしたちが耳を傾けるなら、十分すぎるほどの導きを一人一人に与えてくださっています。皆さんは指示と靈感を与える聖霊の賜物を受けています。そして聖典、両親、教会の指導者や教師が与えられています。またこの時代に生ける預言者、聖見者、啓示者の言葉も受けています。実に多くの導きと指示が与えられており、受ける導きを意識的に無視しないかぎり、大きな過ちなど犯しようがないのです。」(『リアホナ』2005 年 11 月号, 50)



5. 聖典学習帳に、主や主の預言者、そのほかの教会指導者から受けた警告を一つ書いてください。その警告に従うために、あなたはどのようなことを行っていますか。その警告に従うことによって生活の中でどのような助けを受けてきたでしょうか。将来、どのような助けを受けることになるでしょうか。

2 ニーファイ 5 : 9 – 18, 26 – 27

ニーファイ人、幸福に暮らす

リーハイの家族の分裂をもたらした状況について述べた後、ニーファイは「ニーファイの民」(2 ニーファイ 5 : 9) の中で暮らしがどのようなものであったかを描写しています。2 ニーファイ 5 : 27 を読み、ニーファイ人がどのように暮らしていたかを示している言葉に印を付けましょう。「幸福に暮ら〔す〕」とはどういう意味だと思いますか。



6. 2 ニーファイ 5 : 10 – 18, 26 を注意深く読み、ニーファイ人が持っていたものや行ったことで彼らが幸福を得る原因となったものに印を付けましょう。その一つを選び、その行いや態度があなたが幸福を得るうえでどのように役立ってきたかを聖典学習帳に書いてください。例えば、ニーファイ人は神殿を建てたということを選んだとすれば (2 ニーファイ 5 : 16 参照)、神殿がどのようにしてあ

なたやあなたの家族に幸福をもたらしてきたかについて書くことができます。

あなたが挙げた行いや態度は、イエス・キリストの福音に従った生活の一部です。聖典の2ニーファイ5:27のそばに次の原則を書き込むとよいでしょう。「イエス・キリストの福音が自分の生き方になると、幸福が増す。」この原則は、ニーファイ人がたいへんな困難の中にあったときでさえも真実でした。あなたの生活を振り返り、さらに幸福に暮らすために何を行うか決めてください。それを聖典学習帳か聖典に書き留めておきましょう。今日学んだ原則は幸福をもたらしてくれます。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2ニーファイ4-5章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元6—第2日

2 ニーファイ 6-8 章

はじめに

2ニーファイ6-8章には、ニーファイの弟ヤコブが教えた説教の前半がニーファイによって記録されています。(ヤコブの説教の後半は2ニーファイ9-10章に載っています。)ヤコブは、「リーハイがエルサレムを去った時以降、ユダヤ人はその悪事のために捕らえられ、散らされたが、主は憐れみをもってユダヤ人を集めてエルサレムに戻されるであろう」と預言しました。ヤコブはまた、「ユダヤ人は救い主の現世での務めの間に救い主を拒んだ後に再び散らされるが、主は再び憐れみを示して、終わりの時に彼らが救い主について知るようになると、彼らを集められるであろう」と預言しました。さらにヤコブはイザヤの預言を引用して、救い主が御自分の聖約の民に対して誠実であり、憐れみに満ちておられること、また、忠実な者に対して偉大な約束をしておられることを示しました。

2 ニーファイ6章

ヤコブ、イスラエルの散乱と集合について預言する

もし愛する人々から冷たい扱いを受けたとしたら、あなたはどのように振る舞うでしょうか。あなたとの関係はもう大切ではないと、行動や態度によって示されたとしたらどうしますか。自分が主に対してそのような振る舞いをしたこ

とがないかどうか深く考えてください。2ニーファイ6-8章で、ヤコブは、態度や行いによって主から離れ去った人々に主がどのように応じられたかを教えています。

2ニーファイ6:3-5:9:1, 3を読み、ヤコブがこの説教を行った理由を調べましょう。

今日、研究しながら、あなたが「神の御名を覚えてあがめ」るために(2ニーファイ6:4)、あなたが主と交わした聖約の理解を深めるために(2ニーファイ9:1参照)、あなたが「喜びを味わい、とこしえに頭を上げていられるように」するために(2ニーファイ9:3)、ヤコブの教えがどのように助けとなるか見てみましょう。



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ヤコブは説教の冒頭で、リーハイがエルサレムを去った後にユダヤ人に起こったことを預言しました。それは彼らが主を拒んだために起こったことでした。2ニーファイ6:8で、ヤコブはそのことについてどのように述べているでしょうか。

b. この滅亡については、リーハイやエレミヤ、そのほかの預言者たちが預言しています。紀元前約587年にバビロニア人がユダヤ人を征服したとき、大勢が殺され、ほかの者たちは捕らえられてバビロンに連れて行かれました。最終的にユダヤ人は主に対して心を和らげました。2ニーファイ6:9の最初の文によれば、ヤコブはユダヤ人に将来何が起ると預言しましたか。

c. ヤコブは、将来ユダヤ人が囚われの身から帰って来た後で、救い主がユダヤ人の中でこの世の生涯を送られることを預言しました。2ニーファイ6:9-10によれば、ユダヤ人は救い主に対してどのような行動を取り、どのような感情を抱くと預言されましたか。

d. 2ニーファイ6:10-11によれば、救い主を拒んだユダヤ人にどのようなことが起ると預言されましたか。

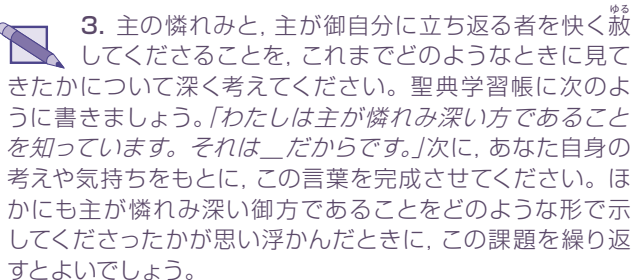
2ニーファイ6:11, 14を読み、主が御自分を拒んだイスラエルの家に対してどのように感じておられるかを述べている言葉を探しましょう。聖典の「彼らに憐れみをかけられる」と「彼らを再び元に戻す」という言葉を丸で囲むとよいでしょう。

著者の意図を探す

聖文中の話者や記録者が、あることを教えた理由を示している聖句や言葉によく注意を向けると役に立ちます。例えば、「わたしは、あなたがたが神の御名を覚えてあがめるように……これを話す」(2ニーファイ6:4; 強調付加)や「イスラエルの家に属するすべての者と交わされた主の聖約について、あなたがたに知らせるためである」(2ニーファイ9:1; 強調付加)などの言葉は、ヤコブの意図を理解する助けとなります。このような表現が助けとなり、聖句の主要な概念や原則について理解を深め、注目することができます。



- ヤコブはその節の中で、ユダヤ人がこれらの祝福を主から授かるために行わなければならないことを教えています。2 ニーファイ 6:11, 14 をもう一度読み、「……するようになるとき」や「……する日が来ると」という表現を見つけてください。これらの表現を使って述べられている言葉に印を付けましょう。これらの聖句によれば、イスラエルはどのようにして主の憐れみを受けるのにふさわしい者となるのでしょうか。これらの聖句は、「主はみもとに来る人に憐れみ深い」という原則を教えています。



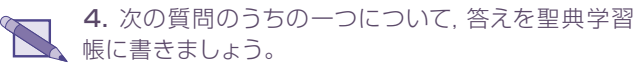
「力の神が_____。」(2 ニーファイ
6:17)

「すべての者は _____ ことを知るよ
うになる。」(2 ニーファイ 6:18)

ヤコブ、聖約の民に対する救い主の誠実さと、人を^{あがな}贖う救い主の力についてのイザヤの預言を引用する

次のことを理解しておくで役立つでしょう。影響力があり印象に残る方法で教えるために、主は離婚や奴隷の状態、および当時の人々がよく知っている社会習慣に関連した象徴的な言葉を用いられました。「あなたを去らせた」「あなたの母の離縁状」「あなたを売り渡した」という言葉は、聖約を破る、あるいは解消するという概念を表しています。これらの問いは次のように言い換えることができます。「わたしはあなたに背を向けただろうか。わたしたちの交

2 ニーファイ 7:1 の最後の部分で、イスラエルが神から引き離され、囚われの状態で苦しむ理由について主が説明しておられる箇所を線を引きましょう。



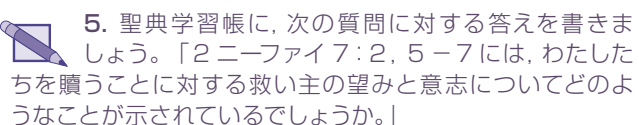
- a. わたしたちの思い、決断、行動が、わたしたちを神から引き離すことがあります。それを理解しておくことが重要なのはなぜでしょうか。
- b. たとえわたしたちが主を忘れて捨てることがあっても、主は決してわたしたちを忘れたり捨てたりされません。それがあなたにとって大切な知識であるのはなぜでしょうか。

主は「わたしの手が短くて贖うことができないのか」と問いかけられたとき、どのような意味でおっしゃったのだと思いますか。このことを視覚化できるように、自分が助けの必要な人に手を差し伸べようとして、手を伸ばしているところを想像してみましょう。手を遠くまで伸ばすことは、助けの必要な人のために何をしようと努力していることを意味するでしょうか。反対に、手を短くする、つまり引込めるなら、その人を助けたいというあなたの望みについてどのようなことが分かるでしょうか。この比喩を考えると、主のイスラエルへの問いかけを次のような表現で言うこともできるでしょう。「わたしはためらって、あなたを贖うために手を差し伸べないでいるのだろうか。」

「わたしには救う力がないのか」という言葉は、イスラエルの民に自分たちの信仰（つまり、主は自分たちを罪の苦しみから救い出す力を持っておられるという信仰）について深く考えるよう招くものでした。

2 ニーファイ7-8章の残りの部分では、聖約の民を贖いたいという救い主の望みと、民を贖う主の力について、イザヤが幾つかの例を挙げています。

2 ニーファイ 7:5-7 を読み、この預言の中で、わたしたちを贖うために贖いの犠牲としてメシヤが行われることや経験されることについて告げている語句を探しましょう。2 ニーファイ 7:6、脚注①には、この預言の成就について説明し、示している相互参照聖句が挙げられています。脚注のマタイ 27:26 に印を付けるとよいでしょう。その後、マタイ 27:26-31 を読み、イザヤの預言がどのように成就したかを調べましょう。



イザヤの預言の残りの部分から、主の憐れみと力を示す証拠をさらに見つけましょう。次の原則について教会で話をするように頼まれたと想像してみてください。「救い主は聖約の民を贖いたいと望み、実際に贖う力をお持ちである。」話を準備するために、2 ニーファイ 8:3, 11–13, 16, 22 を読み、主が確かにわたしたちを贖いたいと望み、贖う力を持っておられることを断言していると感じる言葉を選んでください。



6. 次の活動を通して、あなたの話の概要を聖典学習帳に書きましょう。

- あなたにとって特に印象的な言葉を 2 つか 3 つ挙げ、それぞれの言葉がどのような点で、わたしたちを贖いたいという救い主の望みや贖う力を示す例であるかを説明します。
- それらの言葉のうちの一つを選び、その祝福を自分の生活でどのようにして経験してきたか、または経験したいと思うかを述べます。

このレッスンを終えるに当たって、あなたが今日研究した真理をヤコブが教えた理由は、「あなたがたが神の御名を覚えてあがめるように」するためであり（2 ニーファイ 6:4）、「主の聖約について、あなたがたに知らせるため」であり（2 ニーファイ 9:1）、また、「あなたがたが喜びを味わい、とこしえに頭を上げていられるようにするため」（2 ニーファイ 9:3）であったことを思い起こしましょう。主に対する感謝と、主があなたを愛してくださっていることに対する感謝を、今日だれかに伝える機会を探してください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 6–8 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 6—第 3 日

2 ニーファイ 9 章

はじめに

2 ニーファイ 9 章では、2 ニーファイ 6–8 章から始まったヤコブの説教の研究が続きます。2 ニーファイ 6–8 章では、失われ散らされた状態からイスラエルの家を救い出す際に現わされた、救い主の憐れみと力に関するヤコブの教えを研究しました。9 章では、肉体と霊の死や罪の結果など、墮落の影響から人を解放する、救い主の贖罪の力についてのヤコブの証を研究します。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。2 ニーファイ 9 章は「かつて贖罪について行われた説教の中で最も啓発的なものの一つです。……救いを求めるだれもが注

意深く読むべきです。」（*Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編、全 5 巻 [1957–1966 年]、第 4 巻、57）

2 ニーファイ 9:1–9

ヤコブ、墮落が全人類に肉体および霊の死をもたらしたことを教える

「怪物」という言葉について考えるとき、どのようなことが思い浮かびますか。

「怪物」という言葉は通常、何か恐ろしいものや、大きな危害を加える能力を持ったものを指します。怪物について考えるとき、多くの人は想像上の生き物だけを思い浮かべますが、実際にあなたに対して永続的な害を与える力を持つ、ほんとうに恐ろしいものが存在しないかどうか考えてみましょう。ヤコブは怪物という比喩的表現を用いて、わたしたち全員が死すべき世で直面する恐ろしい状態を表しました。2 ニーファイ 9:10 を読み、ヤコブが述べた怪物の二つの要素を見つけましょう。次に、以下の表の空欄を埋めましょう。

恐ろしい怪物	
_____	地 _____
「_____」の _____	「_____」の _____

次のことを理解しておく必要があります。「霊の死」について教えたとき、ヤコブが述べたのはわたしたちの霊が文字どおり死ぬということではなく、わたしたちは霊的に神の御前から引き離される、すなわち絶たれるということです（2 ニーファイ 9:6 参照）。この分離は、聖文ではよく霊の死と呼ばれています。2 ニーファイ 9:10 にある「霊の死」という言葉のそばの余白に、「神の御前から絶たれる」と書き込んでおくといでしょう。

2 ニーファイ 9:6 を読み、ヤコブが肉体の死の話から始めて、神の御前から絶たれることについての話で終わっていることに注目してください。この節を注意深く調べましょう。人類に肉体の死と霊の死の両方をもたらしたのはどのような出来事だったのでしょうか。_____

2 ニーファイ 9:7–9 を読み、もし贖罪がなく、肉体および霊の死が永遠に続いたならば、わたしたちの肉体と霊に何が起これとヤコブが教えているかを調べましょう。読む前に、7 節でヤコブが使っている次の言葉の意味を知っておくといでしょう。「人に下った最初の裁き」（2 ニーファイ 9:7）とは、アダムとエバの墮落がもたらした結果を指しています。「朽ちるもの」とは、死すべき体を指しています。不完全で、やがて死ぬからです。「朽ちないもの」とは、復活した体を指していて、それは永遠に生き続けます。



1. 聖典学習帳に、2 ニーファイ 9:7-9 で見つけた言葉の中で、もし贖罪がなかったならわたしたちの肉体と霊に何が起こるかを述べた言葉を幾つか書き出しましょう。

十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を読みましょう。クリストファーソン長老は、イエス・キリストの贖罪がなければわたしたちはどのような運命をたどるかを明らかにしています。「神からの分離と肉体の死が永遠に続くものだとしたら、選択の自由は全く意味をなさないものとなります。そうです、自由に選択することができるかもしれませんが、それが何だというのでしょうか。行動に関係なく、最終的な結果が同じということに

なるのです。死後に復活する望みもなく、天へ戻る望みもないのです。わたしたちの選びが正しかったか間違っていたかに関係なく、わたしたちは皆『悪魔の使い』で終わるということになってしまうのです。』(“Moral Agency,” *Ensign*, 2009 年 6 月号, 50)



2. 聖典学習帳に、わたしたちの墮落した状態についてクリストファーソン長老が言っていることを自分の言葉で説明しましょう。ヤコブが肉体の死と神から引き離された状態を「恐ろしい怪物」になぞらえたのはなぜだと思うか、短い説明を付け加えてください。

2 ニーファイ 9:10 - 27

ヤコブ、救い主の苦しみがどのようにしてわたしたちを
墮落の影響と罪の結果から解放するかを教える

神はわたしたちが「あの恐ろしい怪物、すなわち死と地獄」の影響をことごとく受けて苦しむままに放っておかれませんでした。2 ニーファイ 9:10 を読み、神がわたしたちのために備えてくださったものに印を付けましょう。

わたしたちに救い主が必要なことを説明した、ジョセフ・フィールドینگ・スミス大管長の次のたとえを読みましょう。

「一人の人が道を歩いていて、穴に落ち込んだ。あまりにも深くまた暗いため、道に這い上がることができないでいる。彼はどうすればこの窮地から脱出することができるだろうか。自分ではどうしても脱出することができない。穴の中には脱出する手立てがまったくないからである。そこでこの人は助けを求めた。すると親切な心の持ち主が助けを求めるこの人の叫びを聞いて、駆けつけた。そしてはしごを下ろして、この人が再び地表に這い上がるため手立てを提供した。

アダムが禁断の実を食べたためアダムと子孫が陥った状態はまさにこうだった状態であった。一人残らず穴の中にいたので、だれも地表に上がって仲間を救い出すことができなかった。穴は主の前から追放されたことであり、肉体の死であり、体がちりに帰してしまうことであった。またすべての人が死を受けるため、脱出の手立てを提供できなかった。

そこで、限りない憐れみに満ちた御父は、子らの叫びを聞いて、死の支配も罪の支配も受けない独り子を遣わして、脱出の手段を提供された。御子は無限の贖いと永遠の福音によってこれを実行されたのである。」(Doctrines of Salvation, ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻[1954 - 1956年], 第1巻, 126 - 127)

9章に記されているヤコブのメッセージの大部分は、わたしたちが肉体の死と霊の死から逃れるために主が備えてくださった道についてであり、わたしたちは救い出してもらうことができると断言されています。



3. 2 ニーファイ 9:5, 19 - 21 を読み、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a.2 ニーファイ 9:5, 21 によれば、わたしたちが死と地獄から救い出してもらえるように、救い主はどのようなことを経験されたでしょうか。

b.2 ニーファイ 9:21 によれば、救い主はだれのために苦しまれたでしょうか。

「アダムの家族に属する」人がどれくらいいるかについて考えてみましょう(2 ニーファイ 9:21)。これには、かつて地上に生を受けた人、現在生きている人、そしてこれから生まれて来る人のすべてが含まれ、あなたも含まれます。救い主があなたのために払われた犠牲を思い起こすために、2 ニーファイ 9:21 のそばにあなたの名前を書いておくといいでしょう。



ヤコブは、救い主が受けられる苦しみを通して、わたしたちは恐ろしい怪物、すなわち肉体の死と、とこしえに神の御前から絶たれることから逃れることができると教えています。2 ニーファイ 9:22 を読み、わたしたちは肉体の死に打ち勝つことができることと、再び神の御前に行くことができることを示している言葉を見つけましょう。見つけたものを、次の文に書きましょう。

聖句に自分の名前を挿入する

聖句に自分自身の名前を用いることによって、その教えをよりいっそう自分に向けたものとすることができます。自分に応用できると思う聖句を読んだ後、あなたの名前を挿入することで、そのメッセージを自分の生活に当てはめることができますように。

墮落のゆえに、わたしたちの肉体は死ぬが、キリストの苦しみのおかげで、わたしたちの肉体は_____

する。

墮落のゆえに、わたしたちは神の御前から絶たれるが、キリストの苦しみのおかげで、すべての人が再び_____

立つ。

ヤコブの教えから、次の教義を学ぶことができます。「イエス・キリストの贖罪によって、全人類は墮落によって引き起こされた肉体の死と霊の死から解放される。」

この希望のメッセージに加えて、ヤコブは、救い主の苦しみはわたしたちを自分自身の罪により生じる霊の死からも救い出してくれると教えました。2 ニーファイ 9:27 を読み、背く者、罪を犯す者の状態についてヤコブがどのように述べているかを見つけましょう。2 ニーファイ 9:15 - 16 を読み、もし悔い改めないならば罪のゆえに受けることになる霊的な苦しみや苦痛に印を付けましょう。

この苦しみに加えて、2 ニーファイ 9:16 の「これらの者は……に入る」という言葉に注目しましょう。贖罪のゆえに、全人類は裁きを受けるために再び神の御前に戻ります。しかし、もし自分の罪を悔い改めていなかったなら、わたしたちは再び神の御前から引き離されることになります。墮落からの救いは全人類に与えられる贈り物ですが、個人の罪がもたらす結果からの救いはわたしたちの望みと行いにかかっているのです。2 ニーファイ 9:21, 23-24 を読みましょう。贖罪のおかげで、わたしたちは自分の罪がもたらす永遠の結果から救われるために何を行うことができるでしょうか。

ヤコブの言葉を読んだ後、次の原則を完成させましょう。「イエス・キリストの贖罪を通じて、人は自分の罪の結果に打ち勝つことができる。ただしその条件として、わたしたちは_____。」

少し時間を取って、救い主の贖罪が持つ清めの力をさらによく感じるためにどのようなことができるかについて思い巡らしてください。主があなたに悔い改めを望んでおられることはないでしょうか。どうすればそれらのことを悔い改められるかについて深く考えてください。どうすれば主の声に、よりいっそう聞き従うことができるでしょうか。



4. 救い主があなたのために払われた贖いの犠牲についてどのように感じるかを、聖典学習帳に短くまとめましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 9 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 6 — 第 4 日

2 ニーファイ 9 - 10 章

はじめに

前のレッスンでは、イエス・キリストが贖罪を通してわたしたちのために行ってくださいることについてのヤコブの証を研究しました。このレッスンでは、2 ニーファイ 9 章とヤコブの第 1 日目の説教の研究を完了し、贖罪の祝福を受けるためにわたしたちが行わなければならないことを学びます。ヤコブは神から引き離された状態に至るような決断を下さないように警告し、キリストのもとに来て救われるようすべ



ての人に勧めました。また、2 ニーファイ 10 章を読み、翌日にヤコブが民に語ったことを研究します。イスラエルは罪のゆえに散らされるが、主は彼らと交わした聖約を思い起こし、彼らが悔い改めて主に立ち返るときに彼らを集められると、ヤコブは再度教えました。「彼らのほかには、自分たちの神を十字架につけるような国民は、地上のどこにもいない」とヤコブは言いました（2 ニーファイ 10:3）。アメリカは自由の地となり、すべての国民に対して防ぎ固められ、この地で王となる者は一人もいないと預言しました。そして、人は神の御心に従わなければならない、神の恵みによってのみ救われることを覚えていなければならないとヤコブは証しました。

2 ニーファイ 9:28 - 54

ヤコブ、わたしたちを神から引き離す行いや態度について警告し、キリストのもとに来ようすべての人を招く

墮落のために、そして自分自身の罪のために、わたしたちは一人一人が救い主を必要としています。ヤコブは、贖罪によってわたしたちは墮落の影響から解放されており、自分の罪に打ち勝って永遠の命を受けることができると証しました。ヤコブは門と道を比喩的に用いてこのことを説明しました。2 ニーファイ 9:41 を読み、永遠の命を得るためにわたしたちが歩まなければならない道について、ヤコブがどのように述べているかを調べましょう。次の質問について深く考えてください。「主のみもとに来[る]」とはどういう意味だと思いますか。（自分を救い主に近づけてくれる道を歩んでいるかどうか考えてください。）「[救い主のもとに行く] 道は狭いが……まっすぐであ[る]」とは、あなたにとってどういう意味を持つでしょうか。

ヤコブはまた、救い主は「門を守る者」とであると言っています。これはわたしたちを裁く者としての救い主の役割を象徴しています。わたしたちの態度と行いに基づいてわたしたちに主の贖罪の祝福を与えてくださるのは主なのです。ヤコブはさらに、わたしたちの態度や行いが救い主のもとに行くわたしたちの能力にどのように影響するかについて、より具体的に教えています。



 1. わたしたちを救い主のもとへと導いてくれる態度や思い、行いを特定できるように、聖典学習帳で次の活動を行いましょう。

a. 聖典学習帳のページ全体の真ん中に縦に線を引き、片側に「キリストから遠ざかる」と書き、反対側に「キリストのもとに来る」と書きましょう。

b.2 ニーファイ 9：27－39 を読み、わたしたちを救い主から遠ざける恐れがあるとヤコブが警告している行いや態度を見つけましょう。見つけたものをもとに、聖典学習帳の「キリストから遠ざかる」の欄に当てはまるもののリストを作ってください。見つけたものについて、聖典に印を付けるとよいでしょう。（2 ニーファイ 9：28－29 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。）

c. 見つけた行いや態度のうちの一つを選び、聖典学習帳の別のページに、次の質問に対する答えを書きましょう。「この行いまたは態度は、わたしたちがキリストのもとに来て、主の贖罪の祝福をすべて受けるのをどのように妨げる恐れがあるでしょうか。」

d. ヤコブは、わたしたちを主から遠ざける行いや態度について警告するだけでなく、わたしたちがイエス・キリストのもとに来る助けとなる行いや態度についても教えています。2 ニーファイ 9：23, 42, 45－46, 49－52 を読み、わたしたちを主のもとに導くとヤコブが教えているものを見つけましょう。見つけたものを表の「キリストのもとに来る」の欄に書きましょう。



2 ニーファイ 9:28-54 の研究を通して、あなたは次の原則を学びました。「主のみもとに来てその御心に従って生活すれば、贖罪の完全な祝福にあずかることができる。」



 2. 学んだことを実践できるように、次の課題のうちの二つ以上について、質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a.2 ニーファイ 9:23 で、主はわたしたちに悔い改めてバプテスマを受けるように命じておられます。あなたはすでにバプテスマを受けているかもしれませんが、^{聖餐}によってバプテスマの聖約を更新することは、主のみもとに来て、主の贖罪の祝福を受けるうえでどのような助けとなるでしょうか。

b. 「イスラエルの聖者に対して完全な信仰を抱く」とはどういう意味だと思いますか（2 ニーファイ 9：23）。今、あなたは主を信じる信仰をどのような方法で示しているでしょうか。

c. 「罪を捨て[る]」とはどういう意味でしょうか(2 ニーファイ9:45)。あなたが罪を捨てられるように助けてくれるものとして、どのようなものがあるでしょうか。

d.「価値のないものに」お金を使うことや、「満足を得られないものに」労力を費やすことの例として、どのようなものがあるでしょうか（2 ニーファイ 9：51）。悪事や取るに足りないことを追い求めないようにすることは、主のみもとに来るうえでどのような助けとなるでしょうか。学校の活動や勉強、教会、娯楽、人との付き合いなど、様々な活動への時間の使い方のバランスをよりうまく取るには、どうすればよいでしょうか。

e. 「朽ちること〔の〕ないものを食べ〔る〕」方法として、どのようなことがあるでしょうか（2 ニーファイ 9:51）

f. ヤコブは「感謝し、心を喜ばせ〔る〕」ように民に勧めました（2 ニーファイ 9：52）。救い主のみもとに行こうと努力するときに、この勧告に従うことが重要なのはなぜだと思いませんか。



 **3. 聖典学習帳に、これまで研究してきた一つ以上の行いや態度について、それを通してあなたがどのようにして救い主に近づいてきたかを書きましょう。**

 マスター聖句ー 2 ニーファイ 9:28 - 29

現在得ている教育の機会を最大限に生かすために、あなたはどのようなことをしていますか。教育について、今後の計画をどのように立てているでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を読み、学園によってもたらされる祝福に線を引きましょう。「皆さんの前途には大きなチャレンジが横たわっています。皆さんは激しい競争の世界に足を踏み入れようとしています。できるかぎりあらゆる教育を受けてください。主は教育の大切さについて指示を与えられました。教育によってさらに大きな機会が開けます。将来、やりがいのある仕事に就く備えになります。大学に行くことを望むのであれば、ぜひそうしてください。大学に行きたいという気持ちがないのでし

たら、専門学校やビジネススクールに通って技術を磨き、能力を向上させてください。」(「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号, 60)

2 ニーファイ 9:28 を読み、ヤコブが述べている、間違っただけで学問を得ることの落とし穴に印を付けましょう。



4. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 「人は学識があると自分は賢いと思い」とはどういう意味だと思いますか。

b. 自分は親やビショップ、支部会長、預言者、または天の御父よりも賢いと思うことにはどのような危険が伴うでしょうか。

2 ニーファイ 9:29 を読み、教育を得ようと努力するとき、心に留める必要があることを見つけましょう。



5. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。「熱心に聖文を研究することは、2 ニーファイ 9:29 で述べられている原則に従って生活するうえでどのような助けとなるでしょうか。」

2 ニーファイ 10 章

ヤコブ、喜びを味わい主のみもとに来るように民に勧める

ヤコブは民を教えた第2日目に、人を罪の結果から解放する主の力について再び証しました。ヤコブはまた、贖罪という隣れみ深い賜物に対してどのようにこたえるべきかを民に教えました。2 ニーファイ 10:20, 23-25 を読み、救い主がわたしたちのために払ってくださった犠牲にこたえてわたしたちが行うべきこととして、ヤコブが教えていることを示している語句に印を付けましょう。



6. 次の質問のうちの一つ以上について、聖典学習帳に答えを書きましょう。

a. 救い主について学んできたことを考えるとき、あなたはどのような理由で、いつも「神を覚えて」いたいと思いますか(2 ニーファイ 10:20)。

b. 自分が行っている間違っただけを捨てる、すなわち悔い改めることが救い主への感謝と愛を示すことになるのはなぜだと思いますか。

c. 救い主について学んだどのようなことが、(落胆して「うなだれる」のではなく)希望を抱く助けとなるでしょうか。

この章に書かれている重要な言葉に、「神の御心と和解[する]」があります(2 ニーファイ 10:24)。これは、わたしたちは主の御心に従い、御心と一致した状態となって、主との親密な関係を再び築かなければならないという意味です。2 ニーファイ 9-10 章の中であなたが印を付けた聖句を読み返しましょう。神の御心と和解するために自分がすべきことを決めるために、聖なる御霊の導きを求めてください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 9-10 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元7—第1日

2 ニーファイ 11-16 章

はじめに

預言者イザヤはニーファイの時代の約100年前に生きていた人物です。(イザヤが預言を始めたのは紀元前740年よりも前のことで、紀元前701年に至るまで、40年以上にわたって預言を続けました。『聖句ガイド』「イザヤ」の項を参照。)多くの点で、ニーファイは今日わたしたちが預言者ジョセフ・スミスに対して抱いているのと同じ称賛と愛をイザヤに対して抱いていたかもしれません。ニーファイの書いたものから、ニーファイがイザヤの言葉に「喜びを感じて」いたことが分かります(2 ニーファイ 11:2 参照)。2 ニーファイ 12-16 章に記録されているように、ニーファイは真鍮の版に載っていたイザヤの書き物を引用しました。これらの書き物には、昔のイスラエルの高慢と悪事、そして彼らを待ち受けていた裁きについて述べられていました。イザヤはまた、自分が受けた主についての示現も詳しく述べていて、その示現の中でイザヤは自分の罪から清められています。

イザヤ書を研究する

モルモン書にはイザヤ書の言葉が記された章があります。それらの章を理解するのは難しいと感じるかもしれませんが、十二使徒定員会会長のボイド・K・バッカー会長は次のような励ましの言葉を与えています。「やめてはいけません。旧約聖書を理解するためにも、これに負けずに、進んでいくのです。あまりよく理解できないかもしれませんが、読み進めてください。よく理解できなくても、文字を追うだけでもよいです。とにかく続けましょう。」(「私の心のこと」『聖徒の道』1986年7月号, 60)

2 ニーファイ 11: 1-8

ニーファイ、イエス・キリストについてのイザヤの証に喜びを感じる

救い主についての証に胸を打たれたときのことにについて思い出してみましょう。2 ニーファイ 11:2-3 を読み、イエス・キリストについてニーファイとヤコブとイザヤがそれぞれどのような経験をしていたかを調べましょう。



主は御自分について証をする務めを与えるために預言者を召されます。イエス・キリストの証人たちの証を研究することによって、わたしたちはイエス・キリストを信じる信仰を深め、主にあって喜ぶことができます。

 1. 聖典学習帳に、イエス・キリストについて複数の預言者から証を聞くことはどうして大切だと思うか、あなたの考えを書きましょう。

2 ニーファイ 11:4 - 6 の中で、ニーファイは「喜び」「喜ぶ」などの表現を4度使っています。それらの箇所を見つけましょう。聖典に印を付けるとよいでしょう。

何かに「喜びを感じる」とは、それがその人にとって大きな楽しみであり、大きな喜びをもたらすものであることを示しています。

 2. 聖典学習帳に、福音の中であなたが喜びを感じることを表現するために、「わたしは……喜びを感じます／……を喜んでいます」という言葉を使った文章を3つ以上書きましょう。それぞれのことに喜びを覚える理由を説明してください。

2 ニーファイ 11:8 を読み、あなたがイザヤの言葉を研究することによって、どのような結果になることをニーファイが望んでいたかを書きましょう。 _____

2 ニーファイ 12:1 - 5

イザヤ、終わりの時に神殿が立つと預言する

大きな山を想像してみましょう。山と神殿の似ている点を、何か思いつきますか。

2 ニーファイ 12:2 - 3, 5 を読み、終わりの時に立つと神が約束しておられるものを探しましょう。「主の家の山」とは主の神殿を意味しています。この聖句によれば、終わりの時に主の家からどのような祝福がもたらされるのでしょうか。

聖典に次のように書き込むとよいでしょう。「神は御自分の道をわたしたちに教え、わたしたちがその道を歩めるように助けるため、神殿を立てられた。」(2 ニーファイ 12:3 参照)

 3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 神殿はわたしたちが主の道を歩むのをどのように助けてくれるでしょうか。
- b. 神殿に参入するために自分自身をどのように備えることができるでしょうか。

2 ニーファイ 12 - 15 章

このレッスンでは、2 ニーファイ 12 - 15 章を理解するための細かい助けは用意されていません。しかし、モルモン書の個人学習でこれらの章を読み、その内容について深く考えながら、高慢と罪の結果を探してください。次の注解(説明)も、読む際に役立つでしょう。

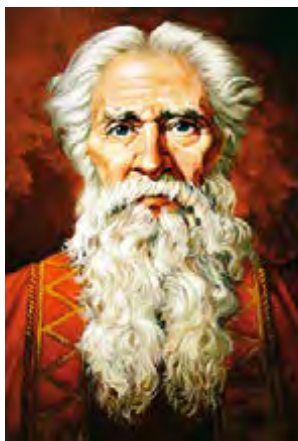
2 ニーファイ 12:6 - 18. 偶像礼拝に言及しているすべての箇所と、高慢を指している言葉や比喩的表現(例えば「高ぶる」「傲慢」「誇る」「思い上がる」「高い」など)に特に注目しましょう。このような厳しい裁きがこれらの人々を待ち受けていたのはなぜかを理解する助けとなるでしょう。

2 ニーファイ 12:9 - 11. 「地位の低い者」(9 節)とは普通の、一般の人を指しています。「地位の低い者」も「地位の高い者」も、もし高ぶっているならば、イエス・キリストの再臨のときに低くされるでしょう(11 節参照)。

2 ニーファイ 12:12-13。「主の日」とは裁きの時を指す言葉です。キリストの再臨は、悪人が滅ぼされる「主の日」となるでしょう。

2 ニーファイ 13-14 章。2 ニーファイ 13 章では、もしイスラエルの民がその悪事を続けるならばどのようなことが起こるかについて、イザヤが預言を続けています。イザヤはイスラエルの女性を「シオンの娘たち」(16 節)と呼んでおり、このことは彼女たちが聖約の子らであることを示しています。イザヤは彼女たちを、主からのろわれ、宝石やほかの装飾品が取り除かれる、高慢な女性にたとえました(2 ニーファイ 13:16-26 参照)。それとは対照的に、2 ニーファイ 14 章では、イザヤはもしシオンの娘たちがへりくだり、悔い改めて主に立ち返るならば何が起こるかを述べています。

2 ニーファイ 15:8-22。「災い」とは深い悲しみの状態です。イザヤはイスラエルの民の罪を挙げながら、これらの節でこの言葉を6度使っています。もしイスラエルの民が悔い改めなければ、彼らの罪の結果が深い悲しみをもたらすことになり、特に裁きの時にそうなるということを、イザヤは知っていました。もしイザヤが今日の預言者であったなら、イスラエルの民の中に見たのと同じ種類の罪を目にすることになるのでしょうか。



 4. 2 ニーファイ 15:20 を読みましょう。聖典学習帳に、今日の人々がどのように悪を善と呼んだり、善を悪と呼んだりしているかを書きましょう。

2 ニーファイ 16:1-8

イザヤ、預言者として働くように召される

イザヤの書き物には象徴がたくさん用いられています。象徴は主が福音の原則についてわたしたちに教える際に用いられる一つの方法です。2 ニーファイ 16 章に記録されているように、イザヤは自分が主にまみえたときの経験について述べています。2 ニーファイ 16 章を読むとき、次の象徴とその考えられる意味を心に留めておきましょう。

セラピム — 神の御前に住んでいる天使。預言者ジョセフ・スミスは、「神の天使には翼はない」と教えています(*History of the Church*, 第3巻, 392)。セラピムの翼は、この天使たちが持つ移動したり行動したりする力を象徴していました。

煙 — 主の臨在を示していると考えられます(黙示 15:8 参照)。

唇の清くない — ふさわしくないこと。

燃え盛る炭(火) — 聖霊の清めの力のように清めるもの。

祭壇 — 文字どおりの意味では、祭壇は犠牲がささげられる場所でした。ここではイエス・キリストがわたしたちのためにささげてくださった犠牲、すなわち贖罪を指していると考えることができます。



5. 2 ニーファイ 16:1-7 を読み、聖典学習帳に次の質問に対する答えを書きましょう。

- セラピムの一人は万軍の主について何と言ったでしょうか。
- イザヤは「わたしは災いだ。わたしは滅ぼされる。わたしは唇の清くない者[だから]である」と言いましたが、それはどういう意味だと思いますか。イザヤはどのように突然このように感じたのでしょうか。(3 ニーファイ 27:19 を参照するとよいでしょう。)
- ふさわしくないというイザヤの気持ちは、どのような出来事によって変わったでしょうか。
- この経験はイザヤにとって、人々の中に出て行って悔い改めを教えるうえでどのような備えとなったでしょうか。

イザヤが召されたときの話の中で教えられている偉大な真理の一つは、「イエス・キリストの贖罪により、人はふさわしくない状態から清められる」ということです。生活の中で贖罪の清めの力を感じたときのことについて深く考えてください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 11-16 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元7—第2日

2 ニーファイ 17-20 章

はじめに

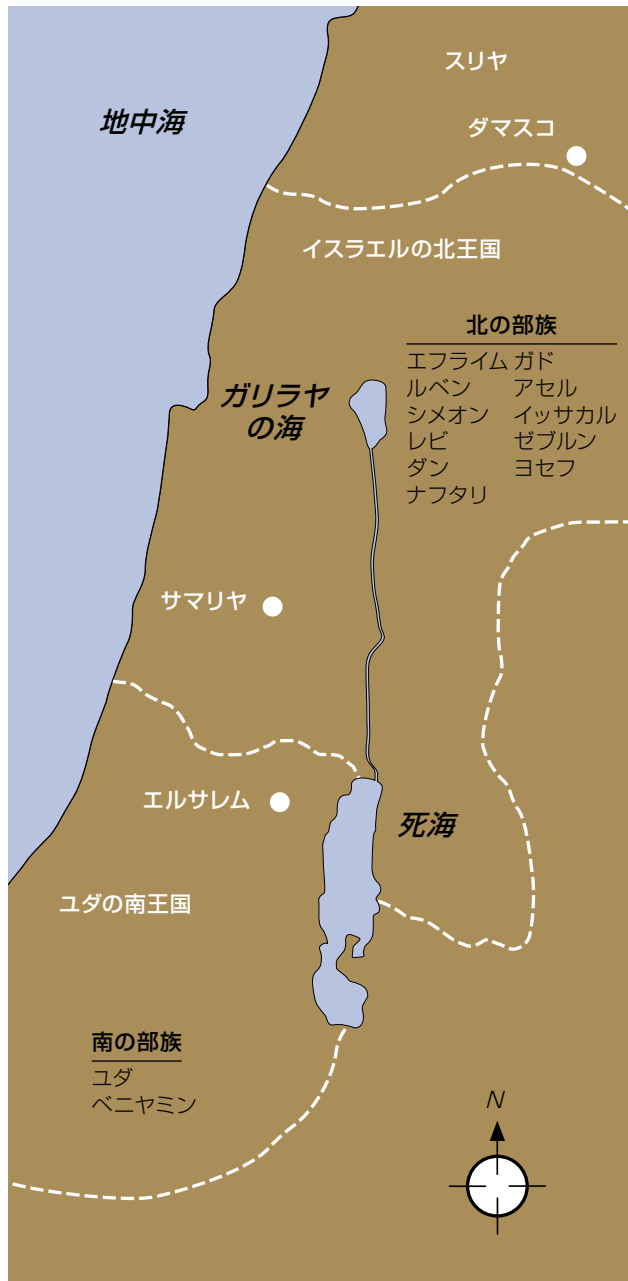
2 ニーファイ 17-20 章で、ニーファイは、イザヤがこの世的な同盟ではなく主を信頼するようにユダの王とその民を促そうと努めたことを記録しています。予型と影、すなわち偉大な真理を教え、証する象徴や表現を用いて、イザヤは自分自身の時代の出来事やイエス・キリストの降誕、そして主の再臨の時の悪人の滅亡について預言しました。

2 ニーファイ 17－18 章

ユダの王国はイエス・キリストに頼るときに祝福を受ける

今日のレッスンを学ぶ準備として、自分が恐ろしい状況に直面したときのことについて考えてみましょう。最初に自分がどのような反応を示したか覚えていますか。2 ニーファイ 17－18 章を研究しながら、困難な状況や恐ろしい状況に陥った人々に対するイザヤの勧告を見つけてみましょう。

2 ニーファイ 17－18 章を研究するためには、スリヤ、イスラエル、ユダという3つの小さな国と、これらの国々を征服しようとした巨大なアッシリヤ帝国について知る必要があります。次の地図と表を見てください。



国	スリヤ	イスラエル (エフライム)	ユダ
王	レゼン	ペカ	アハズ
首都	ダマスコ	サマリヤ	エルサレム

2 ニーファイ 17:1－2 を読み、地図を参照しましょう。「スリヤがエフライムと同盟をしている」とは、これらの二国が協定または協力関係を結んでいるという意味です。だれがだれを攻撃しようとしていたかを見つけてみましょう。2 節の「ダビデの家」とはアハズとユダの民を指していることに注意してください。

イスラエルとスリヤの王国は、ユダ王国を打ち破り、強力なアッシリヤ帝国に対抗して自分たちと同盟を結ばせたいと思っていました。アッシリヤは当時の世界の地域全体を征服しようとした脅威となっていました。イスラエルとスリヤは、ユダを征服することで、迫り来るアッシリヤと戦うためにより多くの人と資源を得ることができると考えました(2 ニーファイ 17:5－6 参照)。アハズ王は、イスラエルとスリヤと同盟を結ぶことを検討しました。

もし自分がアハズ王だったらどうするか考えてみましょう。一方ではアッシリヤが自分の民を攻撃しに来ようとしています。もう一方ではスリヤとイスラエルが、もしアッシリヤと戦うために自分たちと同盟を結ばなければ攻撃すると脅してきています。主はユダ王国に住んでいたイザヤをアハズのもとに遣わし、王にメッセージを伝えさせられました。もしあなたがアハズ王だったなら、預言者からのメッセージについてどのように感じると思いますか。

1. 2 ニーファイ 17:3－8 を読み、主が預言者イザヤを通してアハズとその民に与えられたメッセージに線を引きましょう。(4 節の「くすぶっているたいまつ」とは、燃え尽きたたいまつを指し、これら二つの王国が破れ、征服されようとしていることを象徴しています。) 次のように想像してみましょう。あなたはイザヤがアハズにこのことを告げるのを聞きました。後に、イザヤが何を言ったかを友達から尋ねられました。聖典学習帳に、友達にどのように答えるかを述べた 2, 3 の文を書きましょう。

イザヤは、王とその民が不安定な政治的同盟に頼るのではなく、主に頼って助けを得られるように助けようとししました。

2. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 助けが必要なときに、ほかの人の助けだけに頼るのではなく主に頼ることが大切なのはなぜでしょうか。
- 若い人々はどのようなときに、天の御父やイエス・キリストとの関係よりもほかの人たちとの関係を優先したいという気持ちになることがあるのでしょうか。

主は御自分がアハズとユダ王国を守り、彼らがこの世界的な同盟に頼る必要がない、ということを示すしるしを彼らに与えると言われました。2 ニーファイ 17:14 を読み、その



与えられました。2ニーファイ 17:14 を読み、そのしるしを見つけましょう。この節にある「インマヌエル」という言葉を丸で囲みましょう。この節のそばに、「マタイ 1:22 - 23」と書きましょう。マタイ 1:22 - 23 を読み、インマヌエルという称号の意味を見つけてください。

「神がわたしたちとともにおられる」という意味を持つしるしは、当時のアハズにとってどのような助けとなるものだったのでしょうか。またイザヤによるそうした預言は、何世紀も後に起こるイエス・キリストの降誕にどのように関連していたのでしょうか。



誕生する子供のしるしについて理解を深めるために、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の説明を読んで深く考えましょう。「イザヤの書き記した多くの書に見られるように、この預言には複数の、または類似した要素が含まれています。最も直接的な意味は、清く善良な女性であるイザヤの妻がほぼこの時期に息子を産んだことでしょう〔2ニーファイ 18:3 参照〕。その子供は、後に成就するもっと重要な預言の予型となり、影となりました。すなわち、イエス・キリストの降誕によって実現する預言のことです。」(Christ and the New Covenant [1997 年], 79)

その子が成長する前にアッシリヤはイスラエル(エフライム)とスリヤの両方を打ち破ると、イザヤは預言しました(2ニーファイ 17:15 - 25 参照)。「神はわたしたちとも

におられる」という意味を持つこのしるしは、「困難や恐れを感じるときでも、神に頼るなら、神がともにいてくださる」ことをアハズ王に再び確認することを目的としていました。この原則を聖典に書き込んでおくといよいでしょう。

2ニーファイ 18:6 - 8 を読み、「シロアの水」という言葉に線を引きましょう。シロアの水はイザヤにとって、穏やかに絶えず注がれる、民を支える神の影響と力を象徴し、それはこの国の政治に不可欠な要素でした(2ニーファイ 18:6 参照)。イザヤはシロアの水を対比として用いました。イスラエルの民とユダの民がメシヤを、すなわち穏やかに、ゆるやかに絶えず注がれる、自分たちを支える神の力である「シロアの水」を拒んだからです。そのためにスリヤとイスラエルは、イザヤが預言したように、「勢いと水量のある川の水」によって表されているアッシリヤの王とその侵略軍の恐ろしい影響と猛烈な力によって打ち破られたのでした。

イザヤは詩人のように、まったく異なる二つの水の流れを用いてユダに起こることを説明しました。その後、アッシリヤ軍は「国」という言葉で表されているユダを襲いました。しかし、「あふれみなぎって、首にまで達する」という言葉が表しているように、エルサレムは征服されませんでした。

2ニーファイ 18:9 - 12 を読み、スリヤとイスラエルと手を組まないように、主がユダに何度勧告しているかを調べましょう。2ニーファイ 18:13 の記録によれば、主はイザ

ヤを通して、どこに助けを求めるようにユダに勧告されたでしょうか。

アッシリヤがユダを侵略し、エルサレムを脅かしていたとき、ユダ王国には新しい王がいました。王の名前はヒゼキヤでした。ヒゼキヤは主と預言者イザヤに頼りました。最終的に18万5千人のアッシリヤの兵士が彼らの陣営で主の使いによって殺されました(列王下19:35; イザヤ37:36 参照)。

 3. 次の質問のうちの一つ以上について、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- a. 主よりも、この世のものや影響力に信頼を寄せることにはどのような危険が伴うでしょうか。(恐れに基づいた決断を下したくなるような状況について考えるとよいでしょう。)
- b. 最初はほかのものを頼りたいと思ったけれども主に頼って強さを得た経験として、どのようなものがありますか。その経験からどのようなことを学びましたか。
- c. ヒゼキヤ王のもとで、ユダの民は主から与えられたイザヤの勧告に従ったので滅亡から救われました。現代の預言者に従うことによって、あなたはどのようにして霊的な害から守られるでしょうか。

2 ニーファイ 19:1-7

イザヤ、メシヤについて述べる

長い間太陽を見なかったり、その暖かさを感じなかったりしたことがありますか。もしなければ、自分が絶えず陰に覆われていて、(ずっと暗い部屋にいるように)太陽の光や暖かさが受けられないと想像してみましょう。イザヤはそれに似た比喩的表現を用いて、イエス・キリストの光なしで生活する人々の霊的な状態を示しました。

2 ニーファイ 19:1-2 では、二つの地について述べられています。この聖句を読み、その二つの地の名前に印を付けましょう。

イザヤがこの聖句を書き記した時代よりも前に、聖地として知られる地域を支配しようと何世紀にもわたって数々の戦争が繰り返されていました。非常に多くの人々がこの地で戦いによって命を落としてきたことから、ある人々はこの地域を「死の陰の地」と呼びました。新約聖書の時代、ナザレ、カペナウム、ナイン、カナは正式にはゼブルンとナフタリの地として知られる地域にありました。これらの町は、500年以上後にイエス・キリストがその生涯の大半を過ごし、人々を教導された場所です。今日ではガリラヤ地域として知られています。

2 ニーファイ 19:2 の中で、この地域の人々がやがて見ることになるイザヤが言っているものに印を付けましょう。

「暗闇の中を歩いて……死の陰の地」に住んでいた者たちが「大きな光を見た」というイザヤの言葉は、イエス・キリストが世界のこの地域で果たされる現世での使命についての預言でした。ガリラヤ地域に住んでいた人々は霊的な暗闇の中を歩いていましたが、イエス・キリストが彼らの中

で暮らし、教導されたとき、彼らは「大きな光」を見たのでした。

 4. 2 ニーファイ 19:6-7 を読み、6 節に書かれている救い主の称号の中で、ユダ王国の状況から考えてユダの民にとって特に意義深いと思われるものはどれかを考えましょう。聖典学習帳に、これらの称号のうちの一つ以上について、それが救い主に対するあなたの気持ちをどのように表現しているかを書いてください。

2 ニーファイ 19-20 章

イザヤ、再臨の時の悪人の滅亡について述べる

2 ニーファイ 20 章に記録されている、アッシリヤの滅亡についてのイザヤの預言は、再臨の時の悪人の滅亡についての預言でもあります。この章を読むとき、ヒゼキヤが主から与えられたイザヤの勧告を信頼して祝福を受けたように、もし主に信頼を寄せるなら、再臨に先立って地に住む者に下される裁きを恐れる必要はないということを思い起こしましょう。

2 ニーファイ 19:12, 17, 21 と 2 ニーファイ 20:4 で繰り返されている文は何でしょうか。聖典のこの文に印を付けるとよいでしょう。この文を聖典学習帳に書き、「怒り」と「手」に線を引きましょう。「怒り」の下に「裁き」と書き、「手」の下に「憐れみ」と書きましょう。「裁き」と「憐れみ」という言葉を入れてこの文を声に出して読みましょう。(「それでも主の〔裁き〕は解かれず、主の〔憐れみ〕はなお伸ばされたままである。」)

 5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 上の課題に出てきた文では、主が御自分を拒む国民や家族や個人にどのように応じられるかがどう表現されているでしょうか。
- b. 次の真理は、あなたの生活の中でどのように応用することができでしょうか。「イエス・キリストは裁きと憐れみの神であり、主の憐れみは悔い改めて戒めを守る人々に注がれる。」

 6. 聖典学習帳に、特定の戒めに従順であったときに神の憐れみを感じた経験について書きましょう。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 17-20 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

2 ニーファイ 21—24 章

はじめに

モルモン書に収められているイザヤの預言の多くは終わりの時についてのものです。イザヤは福音の回復や預言者ジョセフ・スミス、再臨、悪人の滅亡について預言しました。イザヤは主が終わりの時に御自分の民を集めるために「もろもろの国民のために旗を掲げ〔られる〕」のを予見しました(2 ニーファイ 21:11–12 参照)。また、主がサタンに対して勝利され、平和と喜びの時代である福千年が訪れることを証しました。



2 ニーファイ 21:1–4, 10–12

イザヤ、末日におけるイエス・キリストの福音の回復を予見する

少し時間を取って、自分の前に光が現れ始めたと思像してみましょう。光はどんどん明るくなっていきます。そして突如として、神の御前から遣われた使者があなたの前に

立っています。その使者はあなたに、昔の預言が成就しようとしていて、あなたがその成就を手助けすることになると告げます。あなたは最初に、どのようなことを思い、何を考えますか。そしてどのような疑問を抱くでしょうか。

モロナイは最初にジョセフ・スミスに現れた 1823 年 9 月 21 日の夜、イザヤ 11 章を引用しました。この聖句は 2 ニーファイ 21 章にも記されています。モロナイはジョセフ・スミスに、その章に記されている預言者は「まさに成就しようとしている」と言いました(ジョセフ・スミス—歴史 1:40)。イザヤ書から、これらの預言を研究しながら、ニーファイがそれを小版に書き記したのはなぜか、そしてモロナイがジョセフ・スミスに向かってそれを引用したのはなぜかを深く考えましょう。

預言者ジョセフ・スミスは、2 ニーファイ 21 章に記録されている預言の意味を明らかにする啓示を受けました。学者たちは長い間、この章で用いられている象徴的表現の意味を理解しようとする取り組みに夢中になってきました。モルモン書と現代の預言者たちは、わたしたちがその意味について理解を深められるように助けを与えてくれています。例えば、イザヤは一本の木のたとえを用いました。2 ニーファイ 21:1, 10 を読み、イザヤが述べている木の特定の部分を見つけましょう。次に、これらの象徴が何を意味しているかを理解するために、教義と聖約 113:1–6 を読みましょう。これらの象徴の解き明かしを聖典に書き込んでおくといでしょう。

聖句を用いて 聖句を理解する

わたしたちが福音の真理や預言を理解できるように、わたしたちの聖典は一つとなって助けてくれます。例えば、このレッスンではイザヤの預言と教義の意味を明確にするために、教義と聖約 113 章を参照しています。ニーファイもまた、わたしたちがイザヤの言葉を理解できるように助けてくれています。十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、「モルモン書はイザヤ書の世界で最も優れた注解書である」と述べています。「イザヤ書を理解するための 10 の鍵」『聖徒の道』1975 年 7 月号, 302)

エッサイの株 — イエス・キリスト

エッサイの株から出る芽 — イエス・キリストの僕

エッサイの根 — 神権の鍵を持つ者

ブルース・R・マッコンキー長老の次の言葉について考えましょう。マッコンキー長老は、「エッサイの根」と「エッサイの株から出る芽」はどちらも預言者ジョセフ・スミスを指していると説明しています。「ここ〔教義と聖約 113:5–6〕で述べられている預言者はジョセフ・スミスを指すと述べて、何か不都合があるだろうか。神権は彼に授けられたのであり、神権の鍵は彼が受けたのであり、この神権時代における集合の旗は彼が掲げたのである。だとすれば、彼はまた『キリストの手の中の一人の僕であって、幾分はエフライムの子孫、すなわちヨセフの家の子孫であるだけでなく、幾分はエッサイの子孫でもあり、大きな力を授けられ

る者』でもあるのではないだろうか〔教義と聖約 113:3-4〕。〕(Millennial Messiah [1982 年], 339-340)

2 ニーファイ 21:10, 12 を読み、主が「エッサイの根」(ジョセフ・スミス)を通して行われるとイザヤが預言したことを調べましょう。「旗」とは、人々が集まってくるときに目印にする旗のことを指しています。

これらの節では次の真理が教えられています。「主は預言者ジョセフ・スミスを通じて福音と教会を回復され、現在、終わりの時の民を集めておられる。」

 1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「末日聖徒イエス・キリスト教会はどのような点で世界の人々への旗となっているのでしょうか。」

2 ニーファイ 21:6-9; 22:1-6

イザヤ、福千年の様子を記録する

クリスチャンの間で最も議論されるテーマの一つが、救い主の福千年の統治です。あなたはそのことについて深く考えたことがありますか。友達から、福千年についてどのようなことを信じているか尋ねられたと想像してみましょう。あなたならどのように答えますか。



救い主の再臨の後、地上には変化が起こり、それは千年間続くと、イザヤは預言しました。わたしたちはこの平和の期間を福千年と呼んでいます。2 ニーファイ 21:6-9 を読み、福千年の間、地上はどのような状態であるかを調べましょう。

2 ニーファイ 21:9 によれば、福千年についての一つの預言は、「主を知る知識が地に満ちる」ということです。この預言の成就が世界中の人々にどのような影響を及ぼすかについて深く考えてください。2 ニーファイ 22:1-6 を読み、福千年の間に人々が抱く礼拝の精神に注目しましょう。今日、わたしたちはどうすれば彼らと同じ態度を身につけることができるでしょうか。

これまで研究してきた箇所では、次の真理が教えられています。「福千年の間は主を知る知識が地に満ちるため、地球は平和な場所となる。」福千年が持つ特徴のうち、あなたが今、自分の生活の中で得たいと思うものはどれですか。少しの間、これらの祝福の一部を受けるために自分にどのようなことができるかについて深く考えてください。

2 ニーファイ 22 章の研究をいっそう充実したものとするために、「主は光」(『賛美歌』47 番)を歌うか、聞くか、読むとよいでしょう。

2 ニーファイ 23-24 章

イザヤ、バビロンの崩壊と悪人の滅亡、ルシフェルが落ちたことについて述べる

2 ニーファイ 23-24 章に記録されているように、イザヤはイスラエルの家の悪事を非難し、終わりの時の悪人の滅亡を昔のバビロンの滅亡になぞらえました。バビロンはイザヤの時代の非常に邪悪な国で、それ以降、この世の悪の象徴とされてきました(教義と聖約 133:14 参照)。

2 ニーファイ 23:1, 4-9, 11, 15, 19, 22 を読み、終わりの時に悪人にどのようなことが起こるとイザヤが預言したかを研究しましょう。

イザヤはまた、昔のバビロンの滅亡をルシフェル(サタン)が天から落ちたことになぞらえています。イザヤはルシフェルのことを、バビロンすなわち邪悪な世界全体の象徴的な王として語りました。そして前世でルシフェルが落ちたことを、悪人がどのようにして衰退するか例として用いました。2 ニーファイ 24:12-14 を研究し、サタンの尊大さと高慢さを浮き彫りにしている語句に印を付けましょう。

この聖句で「わたし」という言葉が使われていることに気づくでしょうか。聖典の中の「わたし」を丸で囲むとよいでしょう。大管長会の N・エルドン・タナー管長は、かつて次のように言っています。サタンは「結果よりも名声の方に関心がありました。栄光と誉れこそが目的だったので。」(『彼らは神のほまれよりも、人のほまれを好んだからである。』『聖徒の道』1976 年 2 月号, 109 参照)

2 ニーファイ 24:15-16 を調べ、サタンが最終的にどのようなか、また、人々はサタンのそのような状態を見る時にサタンについてどのように感じるかを見つけてみましょう。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読みましょう。「前世の会議において、あの『暁の子』ルシフェルが投げ落とされたのは、その高慢さのゆえでした(2 ニーファイ 24:12-15。教義と聖約 76:25-27; モーセ 4:3 も参照)。……ルシフェルは……イエス・キリストが擁護する御父の計画に反抗して、自分の考えを押し立てました(モーセ 4:1-3 参照)。彼の願いは、すべての人に勝る誉れを得ることでした(2 ニーファイ 24:13 参照)。要するに、ルシフェルは高慢にも神をその位から退けようとしたのです(教義と聖約 29:36; 76:28 参照)。」(「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989 年 7 月号, 4-5)

2 ニーファイ 23:22 から、あなたはもし義にかなっているならば慰めを見いだすことができることが分かります。神はあなたに憐れみを示されますが、悪人は滅びるでしょう。



2. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. もっと従順になるために、^{きょう}今日、生活の中で何を変えることができるでしょうか。

b. どうしたら従順でいようと決意することができるでしょうか。

2 ニーファイ 23 章で学んだ真理について証を述べる機会を祈り求めてください。



3. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 21-24 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 7—第 4 日

2 ニーファイ 25 章

はじめに

イザヤの預言を書き記した後(2 ニーファイ 12-24 章)、預言者ニーファイはこれらの預言の重要性を強調し、預言の霊を受ける者はイザヤの言葉を理解してその価値を認めるようになると説明しました(2 ニーファイ 25 章)。自分が書き記すのは、「子孫と同胞に、キリストを信じ、神と和解するように説き勧めするため」であると、ニーファイは説明しています(2 ニーファイ 25:23)。そしてイエス・キリストを信じるように、「勢力と意思と力を尽くし、全身全霊を

込めてキリストを拝[する]」ようにと、すべての人を招いています(2 ニーファイ 25:29)。

2 ニーファイ 25:1-8

ニーファイ、イザヤの言葉を理解するには預言の霊が必要であると教える

人々は貴重品を安全に守るために錠前を使うことがよくあります。錠前のたった一つの鍵を、自分で管理するかもしれませんし、信頼できる友達や家族に合鍵を渡すかもしれません。ニーファイは、イザヤの預言には「大いに価値[が]ある」ことを知っていて(2 ニーファイ 25:8)、その言葉をすべての人に理解してほしいと思いました。そこでニーファイは、だれでもイザヤの言葉の意味を解き明かしたいと思う人のために、鍵を用意しました。



2 ニーファイ 25:4 の最初の文を読み、イザヤの言葉を理解するための鍵を探しましょう。「預言の霊」を受けるとはどういう意味でしょうか。預言の霊は聖文について、特にイザヤの言葉について理解を深めるのをどのように助けしてくれると思いますか。

預言の霊は啓示の霊に関連しています。つまり、熱心に祈りをもって聖文を研究し、その意味を理解しようと努めるとき、あなたは啓示の霊を受けることができ、聖霊があなたの思いを照らし、理解力に光を注いでくださいます。また、聖文は「イエスのあかしは、すなわち預言の霊である」と教えています(黙示 19:10)。救い主についての理解と証^{あかし}が増すにつれて、イザヤの教えを含めて聖文についての理解が増し、それらの教えが自分にどのように関連しているかについて理解が深まります。

ニーファイはほかにもイザヤの言葉についての理解を深める方法を紹介しています。次の聖句を調べ、イザヤの言葉を理解するための鍵をさらに 3 つ見つけましょう。

- 2 ニーファイ 25:1 _____
- 2 ニーファイ 25:5-6 _____
- 2 ニーファイ 25:7-8 _____

昔のユダヤ人の預言では象徴や詩的な言葉がしばしば用いられていることを思い起こしましょう(2 ニーファイ 25:1 参照)。また、昔のイスラエルの文化や歴史、地理を研究することも、イザヤの言葉を理解するのに役立つでしょう(2 ニーファイ 25:5-6 参照)。終わりの日に生きて多くの預言が成就するのを見ることも、イザヤを理解する助けとなります(2 ニーファイ 25:7-8 参照)。

2 ニーファイ 25：9－19

ニーファイ、ユダヤ人について預言する

2 ニーファイ 25：9－19 に記録されているように、ニーファイはユダヤ人と、エルサレムとその周辺地域にある彼らの祖国について預言しました。ニーファイは、エルサレムが滅ぼされた後に捕えられてバビロンに連れて行かれていたユダヤ人が「彼らの受け継ぎの地」に戻って来ると言いました（2 ニーファイ 25：9－11 参照）。メシヤであるイエス・キリストが彼らの中に住まわれますが、多くの人が主を拒み、主を十字架につけます（2 ニーファイ 25：12－13 参照）。救い主の死と復活の後、エルサレムは再び滅ぼされ、ユダヤ人はほかの国民によって散らされ、苦しめ悩まれます（2 ニーファイ 25：14－15 参照）。やがて彼らはイエス・キリストと主の贖罪を信じるようになり、主は彼らを「迷い墮落した状態から」元の状態に戻されます（2 ニーファイ 25：16－19 参照）。

2 ニーファイ 25：20－30

ニーファイ、イエス・キリストについて証を述べる

末日聖徒はイエス・キリストを信じていないと主張する人に、あなたならどのように答えるかについて考えてください。2 ニーファイ 25 章の残りの箇所を研究しながら、そのような状況のときに紹介できる聖句を探しましょう。



2 ニーファイ 25：20－30 に目を通してください。「キリスト」という名前が出てくる度に印を付けるとよいでしょう。

 1. 2 ニーファイ 25：28－29 を読み、ニーファイは「正しい道」とは何であると言っているかを見つけましょう。2 ニーファイ 25：23－26 を調べ、イエス・キリストを信じるのが「正しい道」である理由を探してください。（2 ニーファイ 25：23、26 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくといよいでしょう。）あなたの答えを聖典学習帳に記録しましょう。

2 ニーファイ 25：23 にある「和解する」という言葉は、神と一致するという意味です。最終的に、神との和解は主の「恵み」によってもたらされます。主の恵みについて次の説明を読みましょう。

「聖文で用いられている『恵み』という言葉は、おもにわたしたちが主イエス・キリストの贖いを通じて受ける神聖な助けと力を指しています。……

……救い主の贖いの犠牲によって与えられる恵みを通して、すべての人が復活し、不死不滅を受けることができます。〔しかし、神の御前で永遠の命を受ける資格を得るには、主の恵みによって罪から清められなければなりません。〕

「自分の行えることをすべて行った後に」〔2 ニーファイ 25：23〕という言葉は、主の満ちみちる恵みを受け、神とともに住むふさわしさを得るためにわたしたちも努力する必要があるということを教えています。主はわたしたちに福音に従うようにと命じられました。この命令には主に対する信仰を持ち、罪を悔い改め、バプテスマを受け、聖霊の賜物を授かり、最後まで堪え忍ぶことが含まれます。……

最終的な救いを得るために恵みが必要なだけでなく、日々の生活の中でも救いを可能にする恵みの力が必要です。熱心に、謙遜に、また柔和な心で天の御父に近づこうとするときに、天の御父はその恵みを通してあなたを引き上げ、強めてくださいます。」（『真理を守る－福音の参考資料』180－181）

 2. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。

- 主の恵みと、福音に従って生活しようとするわたしたちの努力にはどのような関係があるでしょうか。
- 恵みによって救われることは、あなたにとってどのような意味があるでしょうか。
- 「できることをすべて行う」という言葉は、あなたにとって何を意味するでしょうか。

次の真理について深く考えてください。「イエス・キリストのおかげで、わたしたちはできることをすべて行ったあとで恵みによって救われる。」自分のできることをすべて行ったあとで、天の助けや力を受けたときのことについて考えてください。

ニーファイが教えたもう一つの真理（2 ニーファイ 25：26 参照）は、「救い主の贖罪により、わたしたちは罪の赦しを受けることができる」ということです。

イエス・キリストを信じるあなたの信仰について友達か家族に手紙を書くか、証会やその他の適切な場であなたの信仰について証するとよいでしょう。

 **3.** もう一度 2 ニーファイ 25：26 を読んだ後、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. あなたはどのような方法でイエス・キリストを礼拝し、あがめているでしょうか。あなたがイエス・キリストを信じ、礼拝していることをほかの人々に示す行動として、どのようなものがあるでしょうか。

b. さらに勢力と思いと力を尽くして救い主を礼拝するために、どのようなことができるでしょうか。

経験を 思い起こしましょう

主から助けを受けたときの経験を思い起こすことによって、困難の中にあるときに強められます。証したり、日記に書いたり、親しい人に伝えたりすることによってその経験を分かち合うなら、あなたにとって助けとなるだけでなく、困難な状況にあって支えを必要としている人を強め、神が実在してわたしたちを助ける力を持っておられることを彼らが信じられるように助けることもできます。



マスター聖句－ 2 ニーファイ 25：23, 26

次のような書き方を利用して、2 ニーファイ 25：26 を暗記しましょう。

「わたしたちはキリストのことを話し、
キリストのことを喜び、
キリストのことを教え、
キリストのことを預言し、
また、どこに罪の赦しを求めればよいかを、
わたしたちの子孫に知らせるために、
自分たちの預言したことを
書き記すのである。」

聖句を何度か繰り返した後、最初の行を手で隠してもう一度言ってみましょう。次にもう一行隠し、聖句を覚えたと感じるまで続けましょう。

 **4.** 2 ニーファイ 25：26 を家族の一人に向かって暗唱し、この聖句を覚えたとき聖典学習帳に書きましょう。

 **5.** 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 25 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 8 — 第 1 日

2 ニーファイ 26 – 27 章

はじめに

ニーファイは、イエス・キリストのアメリカ大陸への訪れと、後に自分の民に起こる滅亡を予見しました。また、終わりの時に生きる人々を予見し、高慢と秘密結社と偽善売教について彼らに警告しました。わたしたちが悪と背教の影響に打ち勝つ方法を主がどのように与えてくださるかを示すために、ニーファイは末日におけるイエス・キリストの福音の回復についてのイザヤの預言を載せました。

2 ニーファイ 26 章

ニーファイ、最後の日について預言し、キリストのもとに来るようにあらゆる人を招く

地震や激しい雷雨、そのほかの壊滅的な出来事を直接経験するか、そうした出来事の写真や映像を見たことがありますか。ニーファイは、末日に地に住む者が「雷や稲妻、地震、およびあらゆる破壊に見舞われる」のを見ました（2

ニーファイ 26:6)。「主の怒り」(2 ニーファイ 26:6) や「神の裁き」(2 ニーファイ 25:3) について読むとき、どのようなことが思い浮かびますか。神の裁きは、神の子供たちを祝福すること、つまり悪人を悔い改めに導き、善人を守ることを目的としています。2 ニーファイ 26:1-11 で、ニーファイはイエス・キリストのアメリカ大陸への訪れに先立って起こる滅亡と、自分の民がその悪事のゆえに経験する最終的な滅亡について預言しました。2 ニーファイ 26:8-9 を読み、ニーファイが自分の義にかなった子孫にもたらされると言っている祝福を探しましょう。その後、2 ニーファイ 26:12-13 を読み、わたしたちがイエス・キリストを信じる信仰を働かせるとき、わたしたちにどのようなことが約束されているかを調べましょう。

 1. イエス・キリストは、主を信じる信仰を働かせて義のうちに堪え忍ぶ人に御自身を現されます。次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. イエス・キリストは御自分を信じる信仰を働かせる人にどのようにして御自身を現されるでしょうか。(2 ニーファイ 26:13 参照)

b. イエス・キリストのこのような現れを、あなたはこれまでどのような形で目にしたり、経験したりしてきたでしょうか。

ニーファイは 2 ニーファイ 26:14-19 で、末日に、自分の民と兄たちの子孫が不信仰によって弱くなった後、モルモン書が世に出ると預言しました。2 ニーファイ 26:20-22 で、ニーファイは、末日にいかにも多くの人々が高慢に満ち、神の奇跡を拒み、自分自身の知恵と学問に頼るのか、その様子を述べています。ニーファイの預言が成就している例を、あなたはどのような形で目にしてきたでしょうか。

ニーファイはわたしたちに、悪魔は高慢や貪欲、隠れた業を用いてわたしたちに破滅や滅亡をもたらすと警告しました。聖典の 2 ニーファイ 26:22 で、サタンがどのようにしてわたしたちを縛ろうとするかに印を付けましょう。麻ひもは容易に切れる細い亜麻糸です。しかし、何本もの糸が一つに編まれると強い縄になります。2 ニーファイ 26:32 を読み、主がわたしたちに避けるように命じておられる「闇の業」の例に注目しましょう。2 ニーファイ 26:32 で、一本の糸がどのようにして「強い縄」となり得るかについて深く考えてください。

 2. あなたが悪魔(サタン)のわなをどのように避ければよいかを友達に教えていると想像しましょう。2 ニーファイ 26:20-22、32 を使って、悪魔がわたしたちを縛ろうとする過程を短い文章にまとめて聖典学習帳に書きましょう。特に、敵がどのようにして麻ひもを使ってつよい強い縄で犠牲者を縛るかについて 2 ニーファイ 26:22 で述べられている箇所注目し、例を挙げてください。

ニーファイは敵が引き起こす滅亡を見て、終わりの時におけるサタンのわなと影響力について警告しました。サタンの闇の業と対照を成すものとして、ニーファイは神の愛がすべての人に伸べられていることと、神の目的は御自分のもとに来るすべての人を救うことであるということを教えた

した。2 ニーファイ 26:23-24 を読み、神がどのようにして御自分の子供たちに対して働かれるかについて述べている語句に印を付けましょう。2 ニーファイ 26:24 によれば、神はすべてのことをどのような目的で行われるでしょうか。次の教義を教えている言葉に印を付けるとよいでしょう。「主がなさるすべてのことは世の益になること。」

 3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「主がなさるすべてのことは世の益になること」であると理解することは、天の御父を信じる信仰を増し、この世で平安と確信を得るうえでどのような助けとなるでしょうか。

2 ニーファイ 26:25-28、33 に目を通し、「すべての者」「すべての人」「だれか」「だれ一人いない」という言葉が出てくる度に印を付けましょう。次に、これらの言葉と「主はあらゆる人を愛しておられ、みもとに来て救いにあずかるようすべての人を招いておられる」ことをニーファイがどのようにに教えているかに注目しながら、この箇所を読み返しましょう。この原則を通して、戒めや標準、ほかの人々に対するあなたの見方にどのような影響を与えるかについて深く考えてください。

 4. 2 ニーファイ 26:29-31 を読みましょう。聖典学習帳に、29 節で挙げられている偽善売教の特徴を 2 つか 3 つ書き出し、次の質問に対する答えを書きましょう。

a. 偽善売教が教会を傷つけるのはなぜだと思いますか。

b. 2 ニーファイ 26:30 によれば、偽善売教はどのようにして防がれるでしょうか。



2 ニーファイ 27:1-23

ニーファイ、モルモン書の出現について預言する

 5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「モルモン書が神の言葉であると、あなたに分かるのはなぜですか(または、あなたが信じているのはなぜですか)。」

主はモルモン書の出現について預言者イザヤに詳しく示され、ニーファイはそれを2ニーファイ27章に記録しました。イザヤは終わりの時に多くの人々が罪惡に満ち、預言者たちを拒むと預言した後、神がある古代の書物を現されると教えました(2ニーファイ27:1-7参照)。2ニーファイ27:12-14を読み、終わりの時に出て来る書物が真実であることを立証するために主がどのようなことを行われると教えられているかを調べましょう。

モルモン書が真実の書物であることを立証するために主が取られる方法の一つは、ほかの人たちが金版の証人となるのを許すことでした。オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、マーティン・ハリスが三人の証人として選ばれました。彼らのことは2ニーファイ27:12で言及されています。(モルモン書の巻頭に収められている「三人の証人の証」参照。)

2ニーファイ27:13で述べられている「少数の者」には、八人の証人が含まれていました(モルモン書の巻頭に収められている「八人の証人の証」参照)。2ニーファイ27:14にある「適切であると見なされる人数の証人」という言葉に印を付けるとよいでしょう。モルモン書についての証を受け、自分の証を分かち合うとき、あなたもこの書物が真実であることについての証人になります。2ニーファイ27:14のそばに、モルモン書が真実であることを証するそのほかの証人の一人としてあなたの名前を書くといよいでしょう。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、モルモン書についてのホランド長老自身の証について次のように述べています。



「モルモン書が神聖な書物であることと、モルモン書が証する主イエス・キリストが神の御子であられることを心から受け入れないかぎり、この末日の業に十分な信仰を持つこと、そしてそれにより現代にあって完全な平安と慰めを得ることはできないと証します。

.....

今日、この話を通して、わたしがモルモン書とその内容について、誓いを込めて、また自分の神権の職に基づいて証したということが、地上の人々と天の天使たちによって記録されるよう願っています。……神の裁きの法廷に立つときにぜひとも明白であるよう望んでいることがあります。それは、モルモン書が真実であり、ジョセフが述べた方法で世に出され、この末日の苦しみの中で忠実である人に幸福と希望をもたらすために与えられたことを、自分の知り得るかぎり最も率直な言葉でわたしが世界に宣言したということです。」(『魂の安寧』『リアホナ』2009年11月号、89-90)

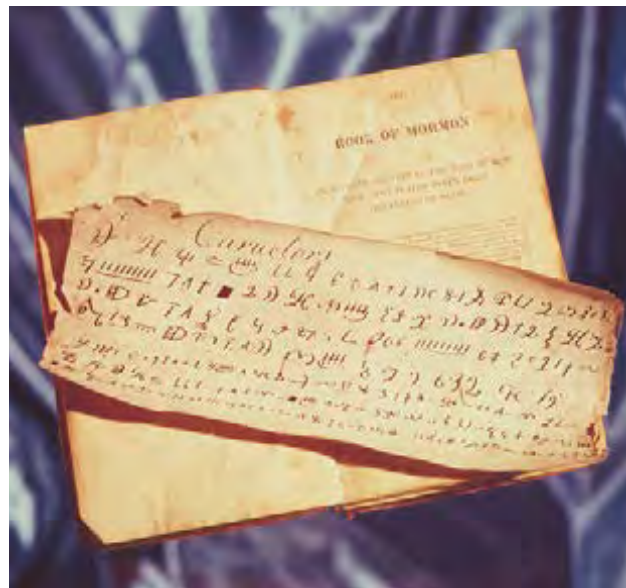
モルモン書が真実であることに対する確信を強めるためにできることについて深く考えてください。



6. 聖典学習帳に、モルモン書が真実であることについての証を強めるために今年どのようなことを行うかを書きましょう。

次の活動を行うためには、高価な真珠に収められているジョセフ・スミス―歴史を参照する必要があります。ジョセフ・スミス―歴史1:63-65を読み、この記録に出て来る人物を確認しましょう。次に、2ニーファイ27章の中からの表で指示されている箇所を読み、それぞれの聖句について当てはまる人物を選びましょう。

a. チャールズ・アンソン	_____ 学識のない者(2ニーファイ27:9, 15, 19-20参照)
b. ジョセフ・スミス	_____ 御言葉すなわち文字を学者のもとに携えて行く者(2ニーファイ27:15, 17参照)
c. マーティン・ハリス	_____ 学者(2ニーファイ27:15, 18参照)



ジョセフ・スミス ― 歴史1:63-65で述べられている「文字」とは、ジョセフ・スミスが金版から書き写して翻訳し、マーティン・ハリスがチャールズ・アンソン教授に見せた改良エジプト文字を指しています。チャールズ・アンソンはコロンビア大学の講師で、古代の言語についての知識があることで有名な人物でした。アンソン教授はジョセフ・スミスのこの文字の翻訳は正確であると述べ、そのことを証明する文書も書きましたが、版が奇跡的な方法で入手されたことを聞くと、翻訳についての証明書を破りました。そして自分が翻訳しようと申し出ました。版の一部が封じられていることをマーティン・ハリスが説明すると、アンソン教授は自分には封じられた書を読むことはできないと言いました。2ニーファイ27:16から、チャールズ・アンソンが版を翻訳したいと思った動機についてどのようなことが分かるでしょうか。

2 ニーファイ 27:20 – 23 を読み、20 節と 21 節で繰り返し返されている言葉に印を付けましょう。

 7. 聖典学習帳に、これまで 2 ニーファイ 27:1 – 23 で学んできたことから、神に御自分の業を行う能力が確かにあることがどのように分かるかを書きましょう。(モルモン書の出現についてさらに知りたい場合は、教義と聖約 20:8 – 12 を参照してください。)

聖典に次の真理を書き込むとよいでしょう。「モルモン書の出現は、神が末日において業を果たされることを示す一例である。」

 8. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「モルモン書についての昔の預言が成就したことは、この書物について、そして主の教会の回復におけるこの書物の役割について、あなたの証をどのように強めてくれるでしょうか。」

2 ニーファイ 27:24 – 35

ニーファイ、イエス・キリストの回復された福音の肯定的な影響について預言する

神は回復の預言者となって終わりの時に御自分の驚くべき業をもたらす者として、ジョセフ・スミスという名前の青年を選ばれました。聖文で述べられている「驚くべき業」とはイエス・キリストの福音の回復であり、それにはモルモン書の出現が含まれます。2 ニーファイ 27:25 – 26 を読み、「驚くべき業と不思議」という言葉に印を付け、主がこの驚くべき業を始められるときに見られる状態を幾つか見つけましょう。モルモン書と回復のおかげで、あなたがどのようにしてそのような状態を避けることができているかについて深く考えてください。

2 ニーファイ 27:29 – 30, 34 – 35 を読み、モルモン書の出現と福音の回復によって与えられる祝福に印を付けましょう。「モルモン書と回復された福音を学び受け入れる人々は、喜びと理解を得ることができる。」





9. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「モルモン書の出現を含めて、福音の回復はあなたの生活の中でどのような形で『驚くべき業』となってきたでしょうか。」



10. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 26－27 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 8—第 2 日

2 ニーファイ 28 章

はじめに

ニーファイは、将来設けられる偽りの教会の偽りの教えや高慢を含め、末日の困難な状態について預言しました。ニーファイは偽りの教義やこの世的な態度に気づく方法について教え、サタンがどのようにして人を義の生活からそらすようにするかを挙げています。

2 ニーファイ 28：1－19

ニーファイ、現代の偽りの教会と偽りの教えについて説く

ほとんどの文化圏には、道の前方に何らかの危険が存在するときに通行者に警告する交通標識があります。あなたの住んでいる国や町では、前方に待ち受けている危険を運転者に警告する交通標識はどのような形や色をしているでしょうか。同じように、毒物やそのほかの危険物は、通常包装や容器にマークや警告が表示されています。あなたの住んでいる場所ではこれらの物にどのような表示がされているでしょうか。

これらの物質的な警告の表示と同じように、モルモン書には霊にとって有害な影響力を避けるのに役立つ警告が載っています。エズラ・タフト・ベンソン大管長は、モルモン書がどのようにしてサタンの邪悪な企てをあなたに警告し、あなたを強めてくれるか、次のように述べています。「モルモン書はキリストの敵がだれか、明らかにします。モルモン書は、偽りの教義を打ち破り、争いを鎮めます（2 ニーファイ 3：12 参照）。またそれは、謙遜にキリストに従う者たちが、今日の悪魔の企てや戦略、その教えに頑強に対抗できるよう力を与えるものです。モルモン書の中の背教者のタイプは、今日のそれによく似ています。わたしたちが誤りを見抜き、今日の誤った教育や政治、宗教、哲学の概念といかに戦ったらよいかその方法を知ることができるように、神は実に無限の先見の明をもってモルモン書を備えられたのです。」（「モルモン経は神のみ言葉」『聖徒の道』1975 年 8 月号、366－367 参照）

「モルモン書は悪魔の偽りの教えを明らかにし、悪魔の邪悪な企てに対抗する力を与えてくれる」のです。2 ニーファイ 28 章に記録されているように、ニーファイはあらゆる時代に広く見られる悪魔の偽りの教えを幾つか指摘しました。2 ニーファイ 28：3－9 を調べ、ここで学べるサタンの偽りの教えや欺きに印を付けましょう。（2 ニーファイ 28：7－9 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくといよいでしょう。）



1. 聖典学習帳に、2 ニーファイ 28：3－9 から今日の青少年にとって最も害があると思う偽りの教えを一つ書き、その理由を説明しましょう。若人がその偽りの教えに心を奪われていく例も含めるようにしてください。

2 ニーファイ 28：12－14 を読み、多くの教会や人々に起こり、一部の「キリストに従う……謙遜な者たち」（14 節）の中にさえも見られるとニーファイが警告していることを探しましょう。これらのことは、2 ニーファイ 28：3－9 に書かれている高慢と偽りの教義によって引き起こされます。2 ニーファイ 28：15－16、19 を読み、これらの偽りの教えがもたらす結果を幾つか挙げましょう。2 ニーファイ 28：19 の中で、悔い改めない人々に対して悪魔が行うことを説明している言葉に印を付けるとよいでしょう。

📖 マスター聖句—2 ニーファイ 28：7－9



2. 2 ニーファイ 28：7－9 を声に出して読みましょう。少し時間を取って、2 ニーファイ 28：8 を暗記しましょう。何も見ないで記憶した聖句を聖典学習帳に書くか、家族か友達に暗唱するとよいでしょう。終わりの時には多くの人々が偽りのむなしい愚かな教義を教えます。聖典学習帳に、このような愚かな教義がどのようにして広められていくかを 2 つか 3 つ挙げ、どうすればこの世の愚かな教義に気づき、それらを避けることができるかを簡単に説明してください。

2 ニーファイ 28：20－32

ニーファイ、サタンのたくらみについて警告する

2 ニーファイ 28 章の残りの箇所を研究するための準備として、十二使徒定員会会長であるボイド・K・バックー会長の次の経験を読みましょう。これはバックー会長がアフリカでの割り当てを受けて野生動物保護地区を訪れたときの出来事です。

「わたしたちは水たまりの所で止まって、動物たちが水を飲みに来るのを見ていました。ちょうど乾期に当たり、水たまりには水がほとんどなく、ただのぬかるみとっていいほどでした。……



動物たちの中でも、アンテロープはきわめて神経質でした。泥の穴に近づいては来ますが、すぐにぎょっとして逃げ出すのです。辺りには、まったくライオンの姿が見えなかったため、わたしはガイドに、なぜアンテロープが飲みに来ないのかと尋ねてみました。彼の答

えは、そして、これがわたしの話の肝心なところなのですが、『ワニ』ということでした。

わたしは、彼が冗談を言っているに違いないと思ったので、今度は真面目に尋ねてみました。『何か問題があるのですか?』答えはまた同じでした。『ワニですよ。』

『そんなばかな。ワニなんかいないじゃないですか。だれが見たって分かりますよ。』……

わたしが彼の答えを信じていないことが分かると、彼はわたしに自ら学ぶようにと考えたようです。わたしたちはほかの場所まで車で行き、泥の穴を見下ろす堤に車を止めました。そして、彼はこう言ったのです。『そこです。自分でよく見てください。』

わたしには何も見えませんでした。ただ泥と少量の水と遠くに臆病な動物が見えるだけでした。しかし、突然、まったく突然、わたしの目に飛び込んできたものがあります。巨大なワニです。それが泥の中にじっとして、のどの渇いた動物が何も疑わずに水を飲みに来るのを待っているのです。

わたしは、突然、信じる者になってしまいました。彼はわたしがもっと聞きたがっている様子を見て取ると、続けて教えてくれたのです。『公園にはそこら中にワニがいるんですよ。川の中だけじゃありません。水があるところには、決まってその近くにワニがいるんです。これだけは覚えておいた方がいいですよ。』……

アフリカのほかの場所へ旅したとき、わたしはこの経験について別の公園の狩猟監視人と話し合うことができました。……

すると彼は、ある悲劇が起きた場所へ案内してくれました。イギリスから来た青年が、ホテルに季節雇いで働いていました。彼は何度も何度も警告されていましたが、あるとき、ロッジのへいをくぐり抜けて、浅瀬にどんなものがあるか調べてみようとしたのです。浅瀬といっても足首ほどもない深さでした。

監視人の話です。『水の中に2歩も入らないうちに、ワニに襲われてしまったのです。彼を救助する手立ては何もありませんでした。』(『霊の『ワニ』』『聖徒の道』1976年8月号、340-341)

ワニが見えないときにその存在を疑うことには、どのような危険が伴うでしょうか。パッカー会長とこの青年の経験は、2ニーファイ28:22でニーファイが述べていることとどのような点が似ているでしょうか。

パッカー会長は次のように説明しています。

「皆さんの先輩たちは、水たまりについて少し詳しく調べ、ワニがいると警告の声をあげています。皆さんを粉々に砕いてしまう、あの大きな灰色のワニではありません。うまく身を隠したあのアフリカのワニよりもはるかに危険で、はるかに容易に人を欺き、しかもずっと見えにくい『霊のワニ』が存在するのです。

この霊のワニは、皆さんの精神を破壊することも、ひどく傷つけることもできます。皆さんの心の平安や、愛する人々の心の平安を乱すこともできます。人々が警告するのはこういうワニに対してであり、この世の中には、こういうワニによって荒らされていない水飲み場は皆無に近いのです。」(『霊の『ワニ』』, 340)

下の記入欄に、次の質問に対する答えを書きましょう。
「アフリカのワニは、どのような点でサタン誘惑や策略と似ていますか。」

2ニーファイ28:20-21, 24-26を読み、サタンがどのようにしてわたしたちを滅ぼそうとするかを調べましょう。(2ニーファイ28:21にある「なだめ[る]」という言葉には、気持ちを落ち着かせ、眠りに就かせる、すなわち霊的に眠らせるという意味があることを知っておくと役立つかもしれません。)これらの聖句によれば、サタンはどのような方法を用いてわたしたちをなだめ、自分の力の下に連れ込もうとしますでしょうか。

これらの聖句で教えられている重要な原則に、次のものがあります。「サタンは人を支配しようとして、怒りをかき立てたり、なだめたり、あやしたり、へつらったりなど、多くの策略を使う。」

 3. 次の質問の1つ以上について、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- a. サタンは個人や家族や社会を欺いて滅ぼすために、怒りをどのように利用するでしょうか。
- b. サタンは人々をそそのかし、良いものに対して怒らせようとしています。そのような良いものの例として、どのようなものがあるでしょうか。
- c. サタンの危険に対して人々がどのようにしてなだめられ、盲目になってきたか、2つ以上の例を挙げて説明しましょう。



サタンがわたしたちをわなで捕えるために段階的なプロセスを用いることについて、管理ビジョプリックの顧問のリチャード・C・エッジリービジョップによる次の説明を読みましょう。「若いうちなら多少羽目を外したり、罪の縁をかじったりしてみてもいいと言うことはできません。罪に縁などありません。行いのすべてには、それが良いものであっても悪いものであっても、何らかの結果が伴います。良い行いはいつも、良い行いをする力を強め、罪や失敗に対していっそう確固たる態度で立ち向かわせてくれます。しかし罪はいつも、たとえどんなに小さな罪であっても、次にサタンから誘惑されるときに、サタンの影響を受けやすくさせます。サタンは少しずつわたしたちを連れ去るのです。いわゆる小さな罪の結果に対してわたしたちの目をくらませておき、しまいには大きな罪を犯させてわたしたちを捕えるのです。なだめすかし、へつらってわたしたちをいざなうサタンの手口を、ニーファイはこう

表現しています。『決して逃げられない恐ろしい鎖で〔わたしたちを〕縛ってしまう。』（2 ニーファイ 28：22。21 節も参照）」（「汝の自ら信ずること強くなりて」『聖徒の道』1995 年 1 月号, 46 参照）

サタンはこのような狡猾な策略を用いて、悪いことを考え、言い、行うようにわたしたちを促します。2 ニーファイ 28：27－29 を読み、そのほかの警告を調べましょう。

この章の終わり近くで、主はもう一つの警告と祝福を与えておられます。2 ニーファイ 28：30－32 を読み、次の質問について深く考えてください。「神がある人々を幸いであると言われるのはなぜでしょうか。神の勧告に耳を傾けることは、悪魔の策略に打ち勝つうえでどのような助けとなるでしょうか。」

 4. 聖典学習帳に、このレッスンで学んだ、サタンの策略に打ち勝つための助けとなることについて書きましょう。サタンの影響力にさらされないようにするために避けたい場所や活動、態度にどのようなものがあるでしょうか。

 5. このレッスンの冒頭で取り上げた警告の表示に関する考察について考えてください。聖典学習帳に、今日青少年が警告を受ける必要があると思う霊的な危険について、警告の表示を描きましょう。教師やクラスの生徒たちに見せられるように準備しておいてください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 28 章を研究し、このレッスンを終りました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 8 — 第 3 日

2 ニーファイ 29－30 章

はじめに

2 ニーファイ 29－30 章では、福音の回復の驚くべき業についてのニーファイのメッセージが続いています。ニーファイは、終わりの時にすべての聖典が一つとなって、主が御自分の子供たちを思い起こされることをすべての国民、部族、国語の民、民族に示すことを証しました。これらの記録は、イエス・キリストがわたしたちの救い主であられることの証です。ニーファイは、多くの人々がモルモン書を拒むが、信じる人々は集められて教会に入ると預言しました。



さらに、神の聖約の民とは悔い改めて神の御子を信じる人々であると教えました。

2 ニーファイ 29：1－14

主、終わりの時には多くの者がモルモン書を拒むと、ニーファイにお伝えになる

ニーファイは、末日に多くの人々が聖書こそ神の啓示による唯一の聖典だと信じ、モルモン書を拒むのを見ました。もし友達から「なぜモルモン教会にはほかの聖書があるの」と聞かれたら、あなたならどのように答えますか。

ニーファイはこの質問に対する幾つかの答えとして、主が「驚くべき業」（2 ニーファイ 29：1）と呼んだ末日における福音の回復の中でモルモン書が果たす役割について主が述べられたとおりに記録しています。2 ニーファイ 29：1－2 を読み、終わりの時に主の御言葉が果たす役割を見つけましょう。（主の御言葉は「出て」ニーファイの子孫に伝わる。そして「地の果てまで響き渡〔る〕。）」日本語で「響き渡る」と訳されている英語の“hiss”という言葉には「笛で合図する」という意味があり、集合の合図を連想させます。

2 ニーファイ 29：2 にある「旗」は、人々を集め、一致させるために使われるものを指しています。2 ニーファイ 29：2 によると、主の民を集めるために「地の果てまで」出て行く旗とは何でしょうか。（2 ニーファイ 29：2 のそばに、「モルモン書－ニーファイの子孫の言葉」と書いておくといいでしょう。）

 1. 聖典学習帳に、2 ニーファイ 29：1－2 をもとに、主がモルモン書のようにさらに聖典を与えられる目的は何かを書きましょう。



十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、モルモン書について次のような考えを述べています。「モルモン書は、この地上にいる神の子供たちに対する神の聖約と神の愛について述べた、優れた宣言書である。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon* [1997 年], 4）

2 ニーファイ 29 章に出てくる「異邦人」という言葉はイスラエルの家に属していない人々を指しています。「ユダヤ

人」という言葉は、リーハイの家族や子孫を含む、イスラエルの家に属する人々を指しています。2 ニーファイ 29:3-6 を読み、新しい聖文が加えられることについて異邦人がどのような反応をするか調べましょう。次の質問に対する答えを、下の記入欄に書きましょう。

新しい聖文に対して示される反応には、どのようなものがありますか。 _____

そのような反応を示す人々について、主は何と言っておられますか。 _____

ニーファイはモルモン書に対する人々の反応を預言しています。現代の人々もすでに聖書があるからという理由でモルモン書に対してしばしば拒否反応を示しています。2 ニーファイ 29:7-11 の中で、さらに聖典をお与えになる主の目的について述べている言葉に印を付けましょう。あなたならこれらの目的を、神からさらに啓示を受けることの必要性や価値を理解していない人にどのように説明するか考えてください。

 **2.** 2 ニーファイ 29:7-11 で印を付けた箇所を使って、このレッスンの冒頭で提示された「なぜモルモン教会にはほかの聖書があるの」という質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

「主は第二の証として、また人々を聖約のもとに集めるために、聖典を与えられます。」2 ニーファイ 29:13-14 を読み、聖典、すなわち「ニーファイ人の言葉」(モルモン書)、「ユダヤ人の言葉」(聖書)、「イスラエルの行方の知れない部族の言葉」を人々が得るときにもたらされる祝福を探しましょう。

2 ニーファイ 30:1-8

ニーファイ、終わりの時のモルモン書の役割について預言する

ニーファイは、神がイスラエルの家を忘れることはないことを教えた後で、自分たちが異邦人以上に義にかなっていると考えるはならないと警告しました。また、すべての人は神の聖約の民になることができるということを思い起こさせました。2 ニーファイ 30:2 を読み、主に聖約を交わしていたために、人々がまず行わなければならない2つのことを、下の記入欄に書きましょう。 _____

少し時間を取って、あなたやあなたの身近な人がモルモン書から受けてきた影響について深く考えてください。その後、2 ニーファイ 30:3-8 を読み、モルモン書がそれを受け入れる人に与える影響について述べた言葉を入れて表を完成させましょう。



民	モルモン書が与える影響
リーハイの子孫 (2 ニーファイ 30:3-6)	
ユダヤ人 (2 ニーファイ 30:7)	
異邦人、またはすべての国民 (2 ニーファイ 30:8)	

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を読み、モルモン書が強力な伝道の道具である理由に印を付けましょう。



「預言者ジョセフを通して福音が回復されて以来、モルモン書は伝道活動の中心となってきました。わたしたちは伝道活動の中でモルモン書を毎日用いています。モルモン書は伝道活動のあらゆる部分における力の鍵であり、このことに関する事実の一つとして次のことが挙げられます。すなわち、モルモン書はイエス・キリストについての証であるということです。タイトルページにそのことが述べられています。そこには、この書物の目的は、主が御自分の民のためにどのような偉大なことを行われたかを示し、主が御自分の民と交わされた聖約が今なお効力を持つことを彼らが知るように助け、すべての人にイエスがキリストであられることを確信させることであると書かれています。」(“Why the Book of Mormon?” *New Era*, 2008 年 5 月号, 6, 8)

2 ニーファイ 30:1-8 を研究することによって、「モルモン書のおかげで、すべての人はイエス・キリストを知り、主の福音に生きることができるようになる」ことが分かります。

 **3.** 次の質問のうちの1つを選び、答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. あなたは救い主を知るために、モルモン書からどのような助けを受けてきたでしょうか。

b. ほかの人が救い主を知るのを助けるために、モルモン書をどのように使おうと思いますか。

2 ニーファイ 30:9-18

ニーファイ、福千年の地球の状態について預言する

2 ニーファイ 30:9-10 を読み、福千年の前に人々にどのようなことが起こるかを調べましょう。福千年は救い主の再臨に続いて訪れる義と平和の千年間であり、その間、イエス・キリストが「自ら地上を統治」されます（信仰簡条 1:10）。あなたは義人を悪人から分ける「甚だしい分離」をどのような形で見てきたでしょうか（2 ニーファイ 30:10）。悪人は最終的にどうなるのでしょうか。

2 ニーファイ 30:12-18 を読み、福千年の間の生活がどのようなものであるかを調べましょう。



4. 聖典学習帳に、あなたが最も楽しみにしている福千年の状態について述べた新聞の見出し（数語で要約したもの）を書きましょう。見出しを書いた後、その見出しが福千年の間地上に満ちる平和をどのように表しているかを説明してください。

「サタンは福千年の間は人々の心を支配する力を持たず、義と平和が支配する。」そのときの状態がどのようなものであるかについて考えてみましょう。もし今日そのような状態が広がったなら、あなたの学校や地域社会にどのような違いが生じるかについて考えてください。



5. 聖典学習帳に、あなた自身とあなたの家族とほかの人々がこの平和と義の期間に備えられるように、あなたにできることを書きましょう。

注釈と背景情報

さらなる聖文の記録はどのようにして世に出るか



十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、2 ニーファイ 29:12-14 で語られている記録は「啓示者であり、翻訳者であり、神の王国の鍵を持つ末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長の指示によって、驚くべき方法で出て来る」と述べています（*The Millennial Messiah* [1982 年], 217）。わたしたちは救い主が復活してニーファイ人を訪れた後に、イスラエルの行方の知れない部族の一部を訪れたことと、彼らもまた主が復活後に自分たちの中で行われた務めについて書き記すことを知っています（3 ニーファイ 16:1-3; 17:4 参照）。

「ユダヤ人〔が〕キリストを信じ始め〔る〕」のはいつか

ブルース・R・マッコンキー長老はまた、預言されているユダヤ人の改宗について次のように述べています。

「『そして、散らされているユダヤ人もキリストを信じ始め、地の面に集まり始める。』（2 ニーファイ 30:7）キリストに対する昔のユダヤ人の反感の多くはすでに消えている。今

や多くの者が、神の御子とはいわないまでも、キリストを一人の偉大なラビとして受け入れている。少数の者がキリストを全面的に受け入れ、すでに集合しているエフライムとその同胞の残りの者とともにまことの教会に加わっている。

しかし、ユダヤ人の大いなる改宗、すなわちユダヤ人が一民族として真理に戻るのは、メシヤの再臨の後に起きると定められている。その日に耐えることのできる者は、その難局と悲嘆の中で、『あなたの両手と両足のこの傷は何ですか』と言うであろう。そのとき、彼らはわたしが主であることを知る。わたしは、「この傷は、わたしの友の家で負った傷である。わたしは上げられた者である。十字架につけられたイエスである。神の子である」と彼らに言うからである。』（教義と聖約 45:51-52; ゼカリヤ 12:8-14:13:6）（*Mormon Doctrine*, 第2版 [1966 年], 722-723）



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 29-30 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 8 — 第 4 日

2 ニーファイ 31 章

はじめに

ニーファイは、わたしたちはイエス・キリストを信じる信仰を働かせ、罪を悔い改め、バプテスマを受け、聖霊を受け、最後まで堪え忍ばなければならないという、キリストの教義を教えました。また、わたしたちがこれらの教義を実践するときに、神が聖霊を伴侶として授け、わたしたちを永遠の命に導いてくださることを証しました。

2 ニーファイ 31:1-21

ニーファイ、救い主がわたしたちのために完全な模範を示してくださると教える

イエスはバプテスマのヨハネのもとに行ってバプテスマを受けられました。何も罪を犯していなかったイエスがバプテスマを受けられたのはなぜだと思いますか。あなたがバプテスマを受けたのはなぜでしょうか。これらの質問について深く考えることで、このレッスンを学ぶ備えができるでしょう。



2 ニーファイ 31:2, 21 を読み、「キリストの教義」という言葉に印を付けましょう。2 節で、ニーファイが「キリストの教義については少し述べておかなければならない」と言っていることに注目してください。次に、21 節で、ニーファイは「キリストの教義」について語ったと言っています。2 ニーファイ 31:3 - 20 で、わたしたちはニーファイが「キリストの教義」と呼んだ真理について学ぶことができます。次の 2 つの真理が教えられています。「イエス・キリストは御父の戒めにすべて従うことにより、あらゆる義を成就された」と「イエス・キリストの模範に倣って、バプテスマと聖霊の賜物を受けなければならない」ということです。

 1. 聖典学習帳に、次の見出しを横に並べて書きましょう。「イエスがバプテスマを受けられた理由」と「わたしたちがバプテスマを受ける理由」。次に、2 ニーファイ 31:4 - 12 を読み、学んだことをそれぞれの見出しの下に書きましょう。

2 ニーファイ 31:11 によると、バプテスマに先立って必要なものは何でしょうか。

水によるバプテスマが必要なのはなぜかを説明するために、預言者ジョセフ・スミスの次の言葉を読みましょう。「バプテスマは、わたしたちが神の御心を行うということを示す、神と天使と天へのしるしです。人が神のもとに来て救いを得、神の王国に入れるように、神が人のために定められた方法は、イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、罪の赦しのためのバプテスマ以外には天の下になく、ほかのどんな道もむなしいものです。そして次に、皆さんには聖霊の賜物の約束があります。」(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』91)

 2. 教会員でない友達から、バプテスマがどうしてもそんなに大切なのか尋ねられたと想像してみましょう。あなたならどのように答えるかを聖典学習帳に書きましょう。

 3. バプテスマを受けることによってイエス・キリストの模範に従ったことが、あなたの生活にどのような影響を及ぼし、祝福をもたらしてきたかについて聖典学習帳に書きましょう。

バプテスマを受けた後、わたしたちにはさらになすべきことがあります。2 ニーファイ 31:13 を読み、救い主の模範に従うときに取るべき態度を述べている言葉に印を付けましょう。

2 ニーファイ 31:13 によると、わたしたちが十分に固い決意をもち、誠意をもって聖約を果たすときに、天の御父はその報いとしてわたしたちに何を約束してくださるでしょうか。(聖典に印を付けるとよいでしょう。) 2 ニーファイ 31:17 の最後の言葉を読み、わたしたちが聖霊を受けなければならない理由を見つけましょう。下の記入欄に、聖霊がわたしたちのためにしてくださることを説明した聖文に基づく教義か原則を書きましょう。

火は、金属などの物質を清めるのに用いられます。不純物を焼き尽くし、より純度の高い物質が残ります。このことは、わたしたちが聖霊の賜物を受けるときにわたしたちの霊に起こることに似ています。それは「火のバプテスマ」としても知られています(2 ニーファイ 31:13 参照)。「聖霊は御父と御子について証し、罪の赦しをもたらしてください」のです。大管長会のマリオン・G・ロムニー管長は次のように教えています。「この火と聖霊によるバプテスマは……人を清め、癒し、汚れのないものとする。」(*Learning for the Eternities*, ジョージ・J・ロムニー編[1977年], 133)

「キリストの教義」を構成するもう一つの要素を見つけるために、2 ニーファイ 31:15 - 16 を読み、見つけたものに印を付けましょう。2 ニーファイ 31:13 で見つけた言葉を、2 ニーファイ 31:15 - 16 で与えられている指示と結びつけ、どうすれば「誠意をもって」また「十分に固い決意をもって」最後まで堪え忍ぶことができるかについて考えてください。

 4. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 「十分に固い決意をもって」、「決して偽善……を行うことなく」、「誠意をもって」という表現を、毎日の聖文研究や教会への出席などの行いにどのように当てはめることができるでしょうか。

b. 「祈りをささげる」人と「十分に固い決意をもって」祈る人にはどのような違いがあるでしょうか。

c. 「聖餐を取る」人と「誠意をもって」聖餐を取る人にはどのような違いがあるでしょうか。

2 ニーファイ 31:18 を読み、悔い改めとバプテスマの門を通った後にわたしたちはどこにいることになるかを調べましょう。信仰を働かせ、悔い改め、バプテスマを受け、聖霊を受けるとき、わたしたちは「細くて狭い道」に入ります。「細い」とは狭く、厳密で、厳格で、それることが少しも許されないことを意味します。2 ニーファイ 31:18 によると、自分が細くて狭い道にいるかどうかはどのようにして分かるでしょうか。

聖霊の賜物を授かるとは、単に時々良い気持ちを感じるというだけのものではありません。聖霊を伴侶とすることは、わたしたちが永遠の命に続く道にいることを示す神からの証なのです。



5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 聖霊を伴侶とすることで、あなたは細くて狭い道にとどまるうえでどのような助けを受けてきたでしょうか。

b. 聖霊はほかにどのような方法で、あなたの生活に祝福をもたらしてきてくれたでしょうか。

リスト(列挙された事柄)に印を付ける

聖文の中にリスト(列挙されている事柄)を見つけたときには、印を付けておくと、主や主の預言者が教えていることを理解するのに役立つでしょう。それぞれの事柄に番号を振ると、本文の中で目に入りやすくなります。その事柄のリストに簡潔なタイトルを付け、それぞれの事柄に番号を振ることによって、一つ一つが見やすくなり、学んだことを思い起こすのに役立ちます。

2 ニーファイ 31:19 - 21 を読み、道にとどまるためにわたしたちが行うべきそのほかのことについて、聖文の中のリスト(列挙された事柄)に番号を振りましょう。(2 ニーファイ 31:19 - 20 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。)



6. 聖典学習帳に、「キリストを確固として信じ……て力強く進[む]」とはあなたにとってどういうことを一文で書きましょう(2 ニーファイ 31:20)。

次の記入欄に、2 ニーファイ 31:19 - 20 を要約して、一つの原則を含んだ文を書きましょう。

もし_____
ならば、_____。
(この言葉を聖典に書き込んでおくとよいでしょう。)

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、自分は細くて狭い道から迷い出てしまったと感じている人々に向けて、次のような希望に満ちた助言を与えています。「人生の旅路において、皆さんは多くの障害に遭い、間違いを犯すこともあります。しかし、聖文の導きに助けられて、誤りに気づき、必要な訂正をします。誤った方向に進むのをやめます。聖文という地図を注意深く研究してください。そうすれば、『永遠の命に至る細くて狭い道』を行くために必要な悔い改めと回復をもって前進できるのです〔2 ニーファイ 31:18〕。」「(聖文の導きに従って生活する)『リアホナ』2001年1月号、20)

この言葉と、今日学んだ聖句がどのようにしてあなたに「希望の輝き」を与えてくれるかについて深く考えてください(2 ニーファイ 31:20)。

マスター聖句— 2 ニーファイ 31:19 - 20



7. 5分間使って、2 ニーファイ 31:20 を暗記してください。家族または友達に聖句についての知識をテストしてもらうか、節を手で覆って、見ないで言ってみてもよいでしょう。聖典学習帳に、何も見ないでこの聖句を書いてみてください。



8. 2 ニーファイ 31:20 を参照して、正しい道にとどまるために行わなければならないことであなたがよくできていることを一つ選んでください。次に、あなたがそれをどのようにして行っているかを聖典学習帳に書きましょう。その後、自分が改善したいと思う分野を一つ選び、それをどのようにして実行するかを書きましょう。

注釈と背景情報

偽善を避けるにはどうすればよいか

2 ニーファイ 31:13 で、ニーファイは偽善について警告しています。「偽善」とは、ほかの人に見てもらうためにほんとうの自分とは異なる自分を演じるという意味です。十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老は、偽善を行うことなく行動することについて次のように述べています。



「わたしたちは真に福音に生きているでしょうか。それとも、表面的に義を装い、周囲から忠実だと思われるようにしているだけで、ほんとうの心や隠れた行いが主の教えに不忠実ということはないでしょうか。

わたしたちは神を敬うさまをしつつ、神の力を否定していないでしょうか〔ジョセフ・スミス—歴史1:19 参照〕。

わたしたちは真に義にかなっているでしょうか。それとも、見られているときだけ従順なふりをしているでしょうか。

主は外見に惑わされることはないとはっきり述べておられます。また、主や他の人々に対して偽ってはならないと警告しておられます。主は、偽りの外見をもって、見せかけの輝きでその闇の実体を隠す者に用心するように言っておられます。わたしたちは主が外の顔形ではなく、『心を見る』御方であられることを知っています〔サムエル上 16:7 参照〕。」「真理を守り」『聖徒の道』1997年7月号, 18)

わたしたちはどのようにして「最後まで堪え忍ぶ」か

「最後まで堪え忍ぶ」(2 ニーファイ 31:16)という言葉は、生涯を通じて辛抱強く困難を経験していく必要があることを示すためによく用いられます。ジョセフ・B・ワースリン長老は、最後まで堪え忍ぶとは人生の終わりに至るまでキリストに忠実であり続けるという意味でもあると説明しています。

「最後まで堪え忍ぶとは、信仰、悔い改め、バプテスマ、および聖霊を受けることによって永遠の命に至る道に入った人が、その道を歩み続けるという教義です。最後まで堪え忍ぶには心を尽くすことが求められます。……

最後まで堪え忍ぶとは、人生を福音の土壌にしっかりと植え付け、承認された教会の教義を守り、謙遜に同胞に仕え、キリストのような生活を送り、聖約を守ることを意味します。堪え忍ぶ人はバランスが取れていて、堅実で、謙遜であり、絶えず改善していて、偽りがありません。彼らの証はこの世的な根拠に基づくものではなく、真理、知識、経験、御霊に基づいています。」「(進み続ける)『リアホナ』2004年11月号, 101)



9. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、2 ニーファイ 31 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 9 — 第 1 日

2 ニーファイ 32 章

はじめに

「永遠の命に至る細くて狭い道」について教えた後(2 ニーファイ 31:18)、ニーファイは、自分の民が、その道を歩み始めてからどのようにすればよいのだろうかと深く考えている様子を見ました。その答えとして、ニーファイは彼らに「キリストの言葉をよく味わ[い]」、「常に祈[る]」ように勧めました(2 ニーファイ 32:3, 9)。もしこれらのことを行なうならば、なすべきことを知ることができるように聖霊が助けてくださるだろうと、ニーファイは民に約束しました。

2 ニーファイ 32:1-7

ニーファイ、イエス・キリストの御言葉に従って、神の導きを求めるように勧告する

ある場所から別の場所に行く道順をだれかに教えてもらったときのことについて考えてみましょう。その案内は分かりやすかったですか、それとも分かりにくかったですか。はっきりと教えてもらうことが大切なのはなぜでしょうか。

前のレッスンでは、ニーファイが民に与えた指示の一部を研究しました。これらの指示を伝えた後、ニーファイは「これが道である」と言いました(2 ニーファイ 31:21)。2 ニーファイ 31:17-18 を簡単に調べ、人がどのようにして永遠の命に至る道を歩み始めるかを確認しましょう。次に、2 ニーファイ 32:1 を読み、ニーファイが教えたことについて民が心に抱いていた質問を探しましょう。民の質問をあなた自身の言葉で述べてください。

2 ニーファイ 32:2-3 を読み、わたしたちは道に入ってから何を行う必要があるとニーファイが言っているかを調べましょう。次のことを知っておくと役立つでしょう。十二使徒定員会のボイド・K・バックー会長によると、天使の言葉で語るとは、「それは、単純に言うと、聖霊の力で語るという意味です。」「(聖霊の賜物—全会員が知っておくべきこと)『リアホナ』2006年8月号, 21)

2 ニーファイ 32:3 にある「キリストの言葉をよく味わう」という言葉に印を付けるとよいでしょう(この節はマスター聖句です)。聖霊による靈感を通して与えられた教えについて述べるために、ニーファイは「キリストの言葉」という表現を使っています。聖霊による靈感を通して与えられた教えをあなたが読んだり、聞いたり、受けたりすることのできる方法や場所をいくつか挙げてください。

キリストの言葉には聖文と現代の預言者の言葉が含まれます。「キリストの言葉をよく味わう」とはどういうことかを深く考えるための助けとして、次の言葉を読みましょう。



十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は次のように教えています。『「よく味わう」とは、単に味をみるのではなく、味を楽しむことを表します。そのためには、楽しく発見して誠実に従う精神をもって聖文を研究することです。キリストの言葉をよく味わうとき、それらは……わたしたちの人格に必要な部分になるのです。」「(聖文の導きに従って生活する)『リアホナ』2001年1月号, 21)

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように言っています。「キリストの御言葉をよく味わうには聖文を研究し、それらを深く考え、わたしたちのあらゆる思いと行いの一部とすることによって、主の御言葉を吸収しなければなりません。」「(霊と肉体の癒し)『リアホナ』1999年1月号, 16)



1. 聖典学習帳に、キリストの言葉をよく味わうとはどういう意味だと思ふかをあなた自身の言葉で書きましょう。

「よく味わう、軽く食べる」、「ほとんど食べない」という状態の違いについて深く考えましょう。キリストの言葉を研究するあまり効果的でない方法が、どのような点で軽く食べることやほとんど食べないことになぞらえることができるか、少しの間考えてください。

2 ニーファイ 32：3 をもとに、次の原則の残りの部分を埋めてください — わたしたちがキリストの言葉をよく味わうとき、キリストの言葉は _____。



2. 聖典学習帳に、キリストの言葉をよく味わうことによって人生で何をなすべきかを知ることができた時のことについて書くか、あなたが現在直面している、キリストの言葉をよく味わうことが助けとなるかもしれない状況について書きましょう。

下の空欄を埋めて、あなたがキリストの言葉をどれくらいよく味わっているか、そしてどのように改善できるかを評価しましょう。下のそれぞれの例について、「ごちそう」「軽食」「空腹」の中で、あなたがその状況でどれくらいキリストの言葉を知らうとしているかを最もよく表している言葉を書きましょう。例えば、あなたは個人の学習では聖文を「ごちそう」だけれども、総大会では「軽食」かもしれません。

個人の聖文研究 — _____

聖餐会 — _____

総大会 — _____

家族での聖文研究 — _____

セミナー — _____

家庭の夕べ — _____

アロン神権定員会の集会または若い女性のクラス — _____

日曜学校 — _____

個人の祈り — _____



3. 時間を取って、あなたが現在「軽食」または「空腹」と書いた項目の一つを選んでください。聖典学習帳に、その状況においてどのようにしてキリストの言葉をもっとよく味わおうと思うかを書きましょう。その後、書いたことをしっかり実践しましょう。

2 ニーファイ 32：4－7 を読み、次の質問に対する答えについて深く考えてください（課題 4 で、質問の一つに対する答えを書くことになります） —

- 4 節にある「求める」または「たたく」とはどういう意味だと思いますか。祈りはどのような点で求めることや門をたたくことの良い例だと言えるでしょうか。
- 同じく 4 節で、ニーファイは、求めたり〔門を〕たたいたりしない人は最後にどうなると言っていますか。
- 5 節で、わたしたちが聖霊を受けるとき、どのような祝福が与えられるとニーファイは約束していますか。
- 7 節で、ニーファイは民がどのような態度であるために悲しく思ったのですか。そのような態度のときに人々が「偉大な知識」を求め、理解しようとしなないのはなぜだと思いますか。



4. 聖典学習帳に、2 ニーファイ 32：4－7 で学んだ一つの真理について書き、この真理があなたの生活において重要である理由を説明しましょう。

マスター聖句— 2 ニーファイ 32：3



5. もし食事の度に暗唱すれば、2 ニーファイ 32：3 を覚えるのにどれくらいかかると思いますか。聖句をカードか小さな紙に書き、持ち歩きましょう。これから数日間、毎回食事の前後に 2 ニーファイ 32：3 を暗記しようとすることによって、キリストの言葉をよく味わいましょう。聖典学習帳に、何回目の食事でも聖句を覚えたかを記録してください。

2 ニーファイ 32：8－9

ニーファイ、わたしたちに常に祈るよう勧告する

罪を犯した後、天の御父に祈りたいと思わないと言う人が大勢います。その理由について少し考えてみましょう。とりわけあなたが罪を犯した後に、あなたがいつも祈らないように願うのはだれでしょうか。2 ニーファイ 32：8 を読み、聖霊が祈りに関してどうするようわたしたちに教えてくださるかを調べましょう。次の質問について深く考えてください。「主はあなたが祈ることを望んでおられます。それはなぜだと思いますか。サタンはあなたが祈らないことを望んでいます。それはなぜだと思いますか。」

2 ニーファイ 32：9 を読み、わたしたちはどのくらいの頻度で祈るべきか、また、祈るならば主がどのような祝福を約束してくださっているかを調べましょう。この聖句を読むとき、「神聖にする」とは「神に仕えるためにささげる」ことであると知っておくと役立つでしょう。

2 ニーファイ 32：9 から、次の原則を学ぶことができます。「常に祈るなら、わたしたちに幸いをもたらすた

生活を評価する

時間を取って、自分が特定の原則をどのくらいよく実践しているかを正直に評価するとき、自分がよくできていることが何で、どのように改善できるかを聖霊の助けによって知る機会となります。自分自身を評価するときには、聖なる御霊の導きを求め、完全に正直になりましょう。

めに主がわたしたちに行わせようとされるすべてのことを、わたしたちは行うことができる。」(2 ニーファイ 32:8-9 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。)

常に祈るとはどういう意味かについて深く考えてください。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を読み、「常に祈りなさい」という戒めを果たす方法の一つ以上に線を引きましょう。



「例えば、朝の祈りの中で、自分の性格、行動、霊的な成長に関して、天の御父に相談する必要があるかもしれません。まず祝福に対して十分に感謝します。その次に、自分の力だけではどうすることもできない事柄に対して、理解する力、導き、助けを請います。

.....

そして、一日中、助けと導きを求めて心の中で祈り続けます。.....

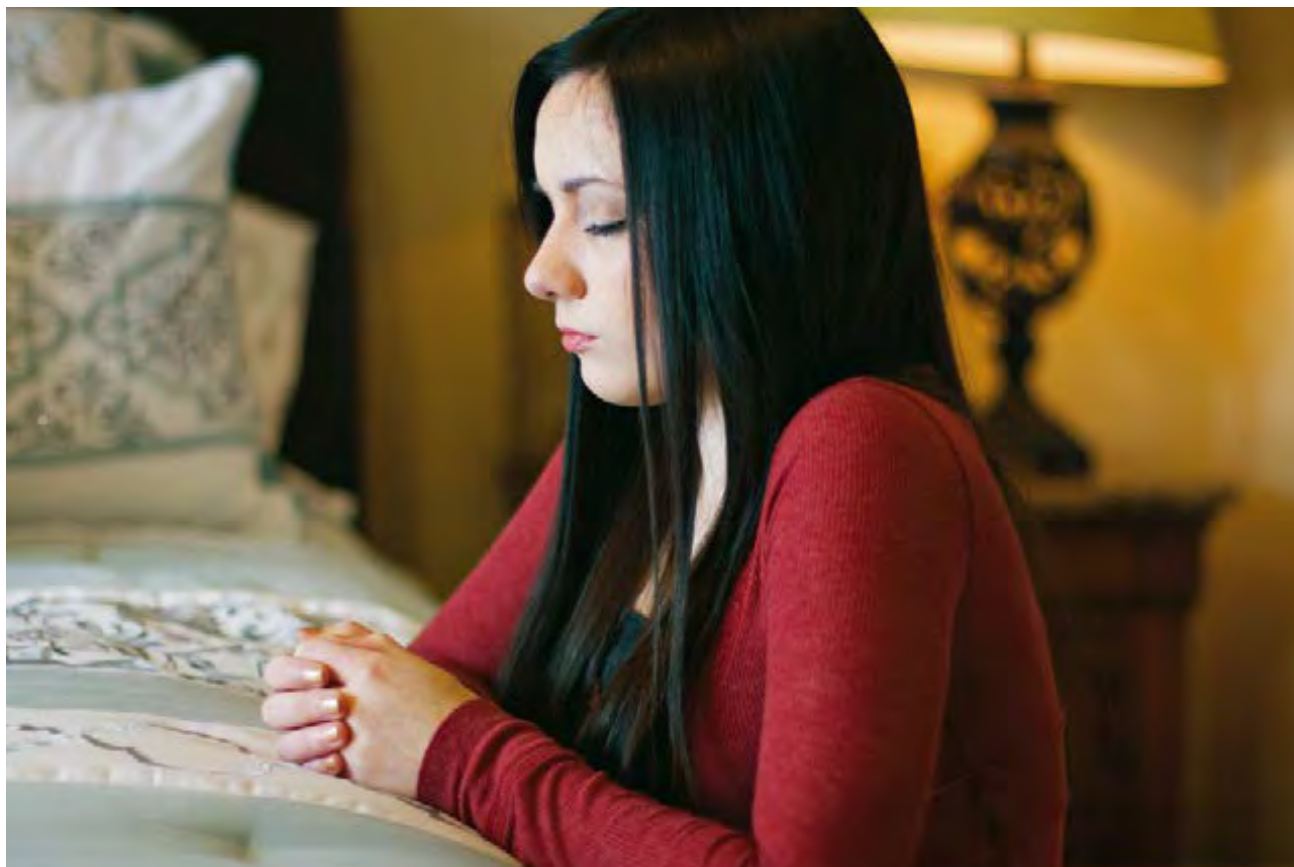
そのようにして一日を過ごすならば、とげとげしい言葉を使いたくなるような場面でもそうしない自分、怒りたくなるような場面でも怒らない自分に気づきます。天の助けと力に気づき、へりくだり、祈りがこたえられたことを認識します。そう認識している間でさえ、心の中で感謝の祈りをささげるのです。

一日の終わりに、再びひざまずいて御父に報告をします。その日の出来事を振り返り、受けた祝福や助けに心から感謝を述べます。悔い改め、翌日よりよい行動を取り、よりよい人になる方法を、主の御霊の助けを受けて見つけます。だからこそ、夜の祈りは朝の祈りを土台としたものであり、朝の祈りの続きなのです。また、夜の祈りは翌朝の意義深い祈りへの備えでもあります。

朝の祈りと夜の祈り、そしてその間の祈りは、それぞれ関係がないわけではありません。むしろ、一日、数日、数週間、数か月、数年にわたってつながっているのです。これはある意味で『常に祈りなさい』という聖文の勧告にこたえる方法なのです(ルカ 21:36; 3 ニーファイ 18:15, 18; 教義と聖約 31:12)。そのような意義深い祈りは、神が忠実な子供のために取っておられる最も崇高な祝福を獲得する手段なのです。(「常に祈りなさい」『リアホナ』2008年11月号, 41-42)



6. 「常に祈る」方法についてのベドナー長老の助言に従うことがあなたの生活においてどのような助けとなると思うか、聖典学習帳に書きましょう。



このレッスンのまとめに、当時七十人の会員として奉仕していたスペンサー・J・コンディー長老がキリストの言葉をよく味わうことについて述べた次の証を読みましょう。「皆さんは伝道、将来の職業、そして最終的には結婚についての決断に直面することでしょう。聖文を読んで導きを求めるとき、実際は紙の上に印刷された言葉で答えを受けるわけではないかもしれませんが、聖文を読んでいくなら、はっきりとした印象や促しを受け、約束されたように聖霊が『あなたがた〔の〕なすべきことをすべてあなたがたに示される』でしょう〔2 ニーファイ 32:5〕。」「〔同胞に大きな利益をもたらす〕『リアホナ』2002年7月号、50)

📖 マスター聖句－2 ニーファイ 32:8－9

📖 7. これからの24時間、「常に祈る」方法について学んだことを生活に取り入れてみましょう。次のレッスンの最初に、この経験について思ったことや感じたことを報告するように求められることでしょう。聖典学習帳に、「常に祈る」ように努めることであなたの祈りにどのような違いが生まれるかを書きましょう。

📖 8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。



__月__日、2 ニーファイ 32 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元9－第2日

2 ニーファイ 33 章

はじめに

ニーファイはその記録を終えるに当たって、自分が書き記した言葉はイエス・キリストについて証し、善を行い最後まで堪え忍ぶよう人々に説き勧めたものであると宣言しました。自分は「弱点がありながらも」書き記してきたが、そのメッセージは「大いに価値があ〔り〕」、その言葉は読む者にとって「力強いもの」となると、ニーファイは言っています（2 ニーファイ 33:3－4 参照）。また、自分の書いたものは「キリストの言葉」であり、それにどのように応じたかについて人々は神に責任を負うことになると証しています（2 ニーファイ 33:10－15 参照）。

📖 1. 前のレッスンで、あなたは24時間「常に祈る」ように勧められました。聖典学習帳に、その経験について思ったことや感じたことを書きましょう。

2 ニーファイ 33:1－15

ニーファイ、自分が書き記す目的を説明する

聖霊がメッセージを心の中に届けてくださることをあなたが望む理由を、少しの間考えてみましょう。

メッセージをだれかの心に伝えることと、メッセージが心に入ることに、どのような違いがあるのでしょうか。

伝える



2 ニーファイ 33:1を読み、聖霊がメッセージをわたしたちに届けてくださることについて述べる際に、ニーファイが伝えると入るのどちらの表現を使っているかを調べましょう。見つけたものに印を付けるとよいでしょう。

聖霊は真理をわたしたちの心に伝えるのであって、心に入れるわけではありません。このことが重要なのはなぜだと思いますか。 _____

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、2 ニーファイ 33:1について次のように述べています。「注目すべきは、御霊の力は教えを心に伝えるのですが、それが常

に心に入るとは限らないということです。教師は大いなる御霊の力を用いて効果的に説明し、論証し、説得し、証することができます。しかし、結局は生徒の側で心に取り込もうとしなければ、教えの内容も、聖霊による証も彼らの心にしみ込みません。信仰によって学ぶことによって、心の扉が開くのです。」(『信仰によって学ぶ望みを持つ』『リアホナ』2007年9月号, 17)



当時七十人の会員として奉仕していたジェラルド・N・ランド長老は、聖霊が言葉を心に入れるのではなく、伝えるのはなぜかを次のように説明しています。「なぜ『心に』[伝えるだけ]なのでしょう。個人の選択の自由は非常に神聖なものであるため、天の御父は無限の力を持っておられるにもかかわらず、人の心に強制することは決してなさらないのです。人はそうしようとする場合がありますが、神はなさいません。言い換えると、神はわたしたちが自分の心の守り手、あるいは門番になることを許しておられるのです。わたしたちは自分自身の自由意思により、御霊に心を開かなくてはなりません。なぜなら、聖霊はわたしたちに強制はなさらないからです。」(『心を開く』『リアホナ』2008年5月号, 33 参照)

人が御霊に心を開くには、どのようなことを行う必要があると思いますか。 _____

2 ニーファイ 33:2 を読み、人々が心をかたくなにするときにどのようなことが起こるかを見つけてください。



2. 心を開いている人は個人の聖文研究や家庭学習セナリ、聖餐会の間にどのような行動や態度を示すと思いますか。聖典学習帳に書きましょう。

2 ニーファイ 33:1-2 で、わたしたちは次の原則を学ぶことができます。「人が心を開くとき、聖霊のメッセージは人の心の中に入ることができる。」この原則を聖典に書き込んでおくとよいでしょう。



3. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。

a. 福音のメッセージが自分の心に入ったと感じた経験として、どのようなものがありますか。どのような状況でしたか。その結果、どのようなことがありましたか。

b. このことから、そのときのあなたの心についてどのようなことが分かるでしょうか。

2 ニーファイ 33:3-7 を読み、ニーファイが自分の言葉を読む人々に対してどのような希望を抱いていたかを調べましょう。その後、あなた自身の言葉かニーファイの言葉を使って次の文を完成させてください。複数の答え方ができるものもあるでしょう。

2 ニーファイ 33:3 — わたしは絶えず _____
のために祈っている。

2 ニーファイ 33:4 — わたしは _____
を知っている。

2 ニーファイ 33:6 — わたしは _____
に誇りを感じる。

2 ニーファイ 33:7 — わたしは _____
を抱いている。

2 ニーファイ 33 章の研究を終えるに当たって、これらの節は聖文に記録されているニーファイの最後の証であることを心に留めてください。2 ニーファイ 33:10-14 を読み、これらの言葉をニーファイ自身から聞いていると想像してみましょう。自分にとって意義深い言葉に線を引くとよいでしょう。



4. 聖典学習帳に、2 ニーファイ 33:10-14 で述べられている言葉の中であなたにとって意義深いものをいくつか書き出し、その理由を説明してください。また、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「キリストを信じる人々は、モルモン書についてどのように感じるでしょうか。」(2 ニーファイ 33:10 参照。)

2 ニーファイ 33:15 を読み、ニーファイの最後の言葉である「わたしは従わなければならない」という言葉について深く考えてください。2 ニーファイ 33:15 のそばに、相互参照として「1 ニーファイ 3:7」を書き込むとよいでしょう。1 ニーファイ 3:7 を読み、これらの二つの聖句がどのように関連しているかを調べましょう。



5. 時間を少し取り、1 ニーファイと2 ニーファイを復習して、ニーファイの従順さを示している例を見つけましょう。聖典学習帳に、見つけた例を書きましょう。また、ニーファイが述べているように、善を行うように、より善い人になるように、または救い主を信じるようにあなたに説き勧めてください。好きな聖句や意義深い聖句を探してください(2 ニーファイ 33:1 参照)。その聖句を聖典学習帳に書きましょう。

相互参照を利用する

相互参照は、研究しているテーマについて、より詳細な情報や深い理解をもたらしてくれる参照聖句です。研究の際、別の聖句や聖文のテーマを理解する助けとなる聖句を見つけたときに聖典に相互参照を書き込んでおくと、とても役に立ちます。

ニーファイの最後の証と、ニーファイの言葉を拒む人々に対する警告を聞くことで、わたしたちはモルモン書をどのように扱うかに対して、よりいっそうの責任を負うことになり

ます。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、わたしたち教会員にはモルモン書を研究する責任があると教えています。

「この教会の会員はだれでも、何度も繰り返してモルモン書を読み、十分に深く考え、それが確かに神の靈感によって書かれた記録であり、その歴史は真実であると証できるまでにならなければ、決して満足を得られないでしょう。……

……教会員で、モルモン書を真剣かつ慎重に読んだことのない人は、神の前において認められることは決してないでしょう。」(Conference Report, 1961年10月, 18)

あなたはニーファイの言葉とモルモン書をどのように扱うかを決める機会を得ています。

 6. モルモン書の研究についてあなたの取り組みを評価し、研究を改善する方法を一つ聖典学習帳に書きましょう。



このレッスンのまとめに、モルモン書を熱心に研究するすべての人に対するゴードン・B・ヒンクレー大管長の約束を読みましょう。「これまでに何度読んだかに関係なく、……皆さんの生活や家庭の中に、さらに豊かに主の御霊が注がれるようになるでしょう。そして、主の戒めに従って歩もうとする決意が強められ、神の御子が確かに生きておられることがさらにはっきりと分かるようになることでしょう。」(「力強い、真実の証」『リアホナ』2005年8月号, 6)



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日, 2 ニーファイ 33 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。



はじめに

ヤコブ書

なぜこの書を研究するのか

ヤコブ書を研究することにより、イエス・キリストに対して揺るぎない信仰を持っていた人から重要な教訓^{あかし}を学ぶことができます。ヤコブは救い主について繰り返し証し、自分の民や、この書を読む人々に悔い改めるよう勧めました。また、主から与えられる召しを勤勉に果たすことの重要性を教え、それを実行しました。ヤコブは民に、高慢、富を愛すること、不貞に陥ることのないように警告しました。さらに、オリーブの木に関するゼノスの比喻を引用し、説明しています。これは、神のすべての子供たちに救いをもたらすために救い主が絶えず努めておられることを述べたものです。ヤコブは反キリストのシーレムと出会ったとき、わたしたちの信仰を問題視し、批判する人々に義にかなって対応する方法を示しました。

だれがこの書を書いたのか

サライアとリーハイの五男であるヤコブがこの書を書きました。ヤコブは家族が約束の地を目指して荒れ野を旅している間に生まれました。そして幼いとき、「兄たちが乱暴なためにひどい苦難を味わい、つらい思い」をしました（2 ニーファイ 2：1）。しかし、リーハイは「神が〔ヤコブ〕の苦難を聖別して、〔彼〕の益としてくださる」こと、彼が「神に仕えて生涯を送る」ことをヤコブに約束しました（2 ニーファイ 2：2－3）。ヤコブは幼いときに救い主の栄光を見ました（2 ニーファイ 2：3－4 参照）。ニーファイはヤコブをニーファイ人の祭司と教師に任じ（2 ニーファイ 5：26 参照）、後にニーファイの小版をヤコブに託しました（ヤコブ 1：1－4 参照）。ヤコブは忠実な神権指導者および教師として、キリストを信じるよう民に熱心に説き勧めました（ヤコブ 1：7 参照）。ヤコブは救い主についての啓示を受け、天使の教えと導きを経験し、主の声を聞き（ヤコブ 7：5 参照）、贖い主を見ました（2 ニーファイ 11：2－3 参照）。ヤコブはエノスの父であり、世を去る前にエノスに版を託しました。

いつ、どこで書かれたか

ヤコブ書は紀元前約 544 年、ニーファイから小版を託されたときから始まり、そしてヤコブが生涯を終える頃、息子のエノスに版を託したときに終わっています。ヤコブはニーファイの地に住んでいたときにこの記録を書きました。

単元 9 — 第 3 日

ヤコブ 1－2 章

はじめに

ニーファイ人はニーファイの死後、新しい王の治世のもとで「多少悪習にふけるように」になりました（ヤコブ 1：15）。ニーファイの二人の弟であるヤコブとヨセフは、ニーファイから民の祭司と教師として聖任されていて、悔い改めてキリストのもとに来るよう民に説き勧めるために熱心に働きました。ヤコブはニーファイの命令に従って、神聖な教えや啓示や預言を小版に記録しました。神から与えられた責任を忠実に果たすため、ヤコブは民に悔い改めを呼びかけ、高慢、富への愛着、性的不道徳について警告し、民の中に広まっていたこれら三つの罪の危険性と結果について教えました。

ヤコブ 1：1－2：11

ヤコブ、民に彼らの悪事について警告する

次の状況であなたなら何と言うか考えてください。あなたの教会員の友達の一人在神権指導者に対して否定的な態度を示し、次のように言っています。「彼らは現実の世界と接していないんじゃないだろうか。大したことはない選ぴについて警告してばかりだよ。避ける必要のある悪いことを一つ残らず話すのに時間を使うのはやめてほしい。良いことについてだけ話すべきだよ。」

時々神権指導者が罪について警告するのはなぜか考えてみましょう。ヤコブは、ニーファイの死後（ヤコブ 1：9 参照）、民が特定の悪習にふけるようになったと記録しています。ヤコブ 1：15－16 を読み、ヤコブが懸念した民の行いを見つけてください。



ヤコブ1:15-16にある「ようになった」や「なり始めた」という言葉を丸で囲むとよいでしょう。わたしたちには問題が生じ始めたときや、さらにはその前から警告してくれる神権指導者がいます。そのことが祝福であるのはなぜでしょうか。

ヤコブ1:6-8を読み、ヤコブと同僚の指導者たちが、ニーファイの民に罪から離れるように勧告していたのは「なぜか」を見つけましょう。あなたの家族の神権指導者や、地方や中央の神権指導者が熱心に罪について警告し、福音を教えるのはなぜだと思いますか。ヤコブ1:7の中で、次の真理を教えている言葉に印を付けるとよいでしょう。「神権指導者は、わたしたちをキリストのもとに来るよう助けるために熱心に働く。」

ヤコブ1:17-19を読み、ヤコブと弟のヨセフが民を教えるために非常に熱心に働いていたそのほかの理由を探しましょう。

「主から務めを」託されるとはどういう意味だと思いますか(ヤコブ1:17)。

そのほかに、次の原則を教えている言葉に印を付けるとよいでしょう。「神権指導者は神の言葉を教え、罪を犯すことのないように警告する責任を神から与えられている。」

教会指導者は、主がわたしたちに知ってほしいと望んでおられることをわたしたちに教える努力について責任を負います。そのことを理解するのが大切であるのはなぜか、少し時間を取って深く考えてください。

ヤコブ2:1-3, 6-7, 10-11を読み、民に悔い改めを呼びかけるという自分の困難な務めについてヤコブがどのように感じていたかを示している言葉を探しましょう。

 1. 困難な務めを成し遂げようとするヤコブの動機について、次の言葉からどのようなことが分かるか考えてみましょう。「今日のわたしは、あなたがたの幸いを願う気持ちと心配がこれまでよりも大きいので、心が沈んでいる。」(ヤコブ2:3)「わたしは神の厳しい命令に従ってこれを果たさなければならぬ。」(ヤコブ2:10) 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。

- a. 神権指導者が、自分のことを愛し心配してくれていると感じた経験として、どのようなものがありますか。
- b. 神権指導者の言葉や行いが、自分を助けるための神からの靈感に基づくものであると感じた経験として、どのようなものがありますか。

このレッスンの冒頭で提示された状況について、もう一度考えましょう。今日学んだことを踏まえて、あなたなら友達にどのように答えるか考えてください。

ヤコブ2:12-21

ヤコブ、民の高慢を厳しく非難する

民に教えるように、主がヤコブに命じられたことを研究するための準備として、主が次の面であなたに与えてくださった祝福について考えてください。家族、友達、教会の指導者や教師、美術や音楽の能力、運動の技能、才能、学校教育、成長の機会、福音の知識、物質的なもの。ほかにどのような形で主から祝福を受けてきたかについて考えてください。

ヤコブ2:12-13を読み、ニーファイ人が何を求めていたかを調べましょう。「神の御心の御手」がニーファイ人を祝福して富を与えたとヤコブが教えていることに注目してください。この表現は天の御父のことを指しています。



2. 聖典学習帳に、あなたが得ている祝福や能力は主が授けてくださったものである、と思い起こすことがあなたにとって大切であるのはなぜかを書きましょう。

注意していなければ、わたしたちはニーファイ人のように、自分が求めている祝福を得てから高慢になってしまう恐れがあります。下の記入欄に、「心が高慢にな[る]」とはどういう意味だと思ふかを書きましょう。

ヤコブ2:13で、ニーファイ人が高慢になった幾つかの原因としてヤコブはどのようなことを挙げているでしょうか。

現代において、自分の方がより「豊かに……得[ている]」ためにほかの人々を不当に扱ったり、無視したり、迫害したりする人や集団について考えてください(ヤコブ2:13)。例えば、ほかのだれかよりも多くのお金、多くの友達、高い運動能力、さらには福音についての深い知識を持っているという理由で、自分はほかの人々よりも優れていると誤って思い込む人や、ほかの人々を迫害する人さえいるかもしれません。これまでの人生で高慢な振る舞いをしたことがなかったか深く考えてください。

聖文を毎日の生活に結びつける

聖文を研究するときには、立ち止まって、特定の原則を自分の生活でどのように実践できるかを深く考えることが大切です。もし自分が聖文で教えられている原則を理解し、それに従って生活しているなら、どのような行動を取るだろうかと考えましょう。今回の例では、神権指導者について否定的な態度を取る友達に、自分ならどのように答えるかを深く考えることを通して、なぜ指導者たちが罪についてわたしたちに警告するかを理解することができます。

ヤコブ 2:17-21 を読み、高慢に打ち勝つうえで助けとなる言葉に印を付けましょう。

 3. 聖典学習帳に、ヤコブ 2:17-21 で見つけた言葉を 2 つ以上書き、それらの言葉が高慢に打ち勝つうえでどのような助けとなるかを説明してください。この課題を行う際、次のような質問について考えると参考になるでしょう—神の王国を求めるとはどういう意味だと思いますか。キリストに望みを抱くとはどういう意味だと思いますか。神の王国を求めるとキリストに望みを抱くことは、ほかの人々に対する見方や接し方にどのような影響を及ぼすでしょうか。

母親、父親、または指導者から、今日何を学習したかを尋ねられたと想像してください。ヤコブ 2:17-21 から、答えるときに用いることのできる原則の一つ書きましょう。

ヤコブ 2:17-21 で教えられている一つの原則は、「わたしたちはほかの何にも増して神の王国を求めるべきである」ということです。

 4. 聖典学習帳に、神の王国を築き、ほかの人々の生活に祝福をもたらすのを助けるために、あなたが主から与えられている祝福や機会を用いる方法を一つ書きましょう。

ヤコブ 2:22-30

ヤコブ、民の性的不道徳を非難する

次の言葉はエズラ・タフト・ベンソン大管長が述べたものです。空欄に入る言葉を当ててみましょう。

「今の（時）代にはびこっている罪として _____ な _____ があります。」（「器の内側を清める」『聖徒の道』1986 年 7 月号、4。正解はこのレッスンの最後を見てください。）

ヤコブ 2:22-23, 28 を読み、性的な不道徳の深刻さについて述べるためにヤコブが用いている言葉に印を付けましょう。「みだらな行い」とは性的な罪を指していることを理解しておくで役立つでしょう。



十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、主の純潔の律法を破る幾つかの行いを説明しています。「結婚というきずなで結ばれていない男女の間で行われるすべての性的接触を指します。つまり衣服の上からであっても意図的に相手の体の神聖な部位に触れることは罪であり、神から禁じられています。また自分自身の体を用いて意図的に情欲をかき立てることも罪です。」（「正しい選択をする」『聖徒の道』1995 年 1 月号、43）

同性愛行為やポルノグラフィーを見ることも主の純潔の律法を破る行いです。

ヤコブ 2:23-24 に記録されているように、ニーファイ人がどのようにして自分たちの罪の言い訳をしようとしたかに注目してください。少し時間を取って、今日の人々がどのようにして性的不道徳の言い訳をしようとするかについて考えてください。

ニーファイ人が犯していた罪の一つは、承認されていない多妻結婚の実施でした。ヤコブは、男性は妻を一人しか持つてはならないという主の戒めについて教えました（ヤコブ 2:27 参照）。主に任命された神権指導者を通して主から承認を受けずに複数の妻を持つことは、性的な罪の一例です。性的な罪は神の目に非常に重大な罪です（アルマ 39:5 参照）。

主の民は、主が命じられるときにのみ多妻結婚を実施する承認を受けます（ヤコブ 2:30 参照）。世界の歴史における特定の時代に、主は御自分の民に多妻結婚の実施を命じてられました。例えば、多妻結婚は旧約聖書の時代にアダムとサラによって（創世 16:1-3；教義と聖約 132:34-35, 37 参照）、そして二人の孫であるヤコブによって実施されました（教義と聖約 132:37 参照）。回復された教会の初期の時代にも、預言者ジョセフ・スミスから始まって、しばらくの間実施されました（教義と聖約 132:32-33, 53 参照）。しかし、神はその預言者であるウィルフォード・ウッドラフに、多妻結婚を終えるように命じられました（教義と聖約に収められている公式の宣言 1 参照）。

ヤコブ 2:31-35 を読み、性的な罪が招く幾つかの悪い結果について述べている言葉に印を付けましょう。

 5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ヤコブによると、性的不道徳は家族にどのような影響を及ぼすでしょうか。

b. 青少年の中には、自分は結婚していないので伴侶に不忠実ではなく、子供もいないのだから、性的に不道徳であってもかまわないと正当化する人がいるかもしれません。不道徳はティーンエイジャーとその家族にどのような影響を及ぼす恐れがあるでしょうか。

c. 主が不道徳をとて重大な罪と見なしておられるのはなぜだと思いますか。

ヤコブ 2:28 の最初の文を読み、主が喜ばしくお思いになるものに印を付けましょう。（この節でヤコブは特に女性について述べていますが、主は男性の貞節も同じように喜ばしくお思いになります。）この聖句は次の原則を教えています。「主は貞節を喜ばしく思われる。」

今日学んだことをもとに、主が御自分の子供たちの貞節を喜ばしくお思いになるのはなぜかを考えてください。あなたの家族と、あなたが将来持ちたいと思う家族について考えましょう。主の純潔の律法に従って生活することは、あなたと家族にどのような祝福をもたらすでしょうか。純潔を守り清くあるためにあなたが行っている選びを、主がどれほどお喜びになるかについて深く考えてください。

あなたは清くあり続けることができます。もしこれまでに純潔の律法を破って罪を犯したことがある場合も、イエス・キリストの贖罪によって、悔い改めて清くなることができます。聖なる御霊の導きを求めながら、純潔の律法を破ることのないように自分自身をよりしっかりと守る方法の一つ以上考えてください。もし何らかの性的な背きを犯したことがあるなら、主の純潔の律法に反して行ったことについて告白するためにビショップや支部会長と会うことを含めて、必要なことをすべて行ってください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヤコブ 1－2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

このレッスンの最初にある引用文の空所に入る言葉の答え — ベンソン大管長は次のように言いました。「今の（時）代にはびこっている罪として、性的な罪悪があります。」



- ある若い男性は福音に従って生活するために最善を尽くしているが、両親が離婚したため試練を受けています。
- ある若い女性は家族を愛するよう熱心に努力しているが、姉妹の利己心と思いやりのない行動のために苦しんでいます。

自分は義にかなった生活を送ろうと努めているにもかかわらず試練を経験したときのことについて深く考えてください。ヤコブはそのような状況にあるときに何を行うべきかをわたしたちに教えています。ヤコブ 3：1 の最初の文を読み、3 章でヤコブがまずだれに向かって話しているかを確認しましょう。

ほかの人々の高慢や不道徳（ヤコブ 2 章に記録されているように、ヤコブはこれらのことについて警告してきました）のために心の清い人々が苦しんできたとき、ヤコブは言っています。ヤコブ 3：1－2 を読み、次の表を埋めましょう。

ヤコブは心の清い人々に何を行うように勧めたでしょうか。	神は心の清い人々にどのようなことを約束しておられるでしょうか。



1. 1 番目の欄の答えを読み返してください。この原則についてさらに考えるために、次の質問のうちの 2 つについて、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- 若い人はどうすれば「確固とした思いをもって神に頼〔る〕」ことができると思いますか。
- 試練のときに「篤い信仰をもって」神に祈るとはどういう意味だと思いますか。
- 若い人は「喜びをもたらす神の御言葉を受け入れ〔る〕」ためにどのようなことができると思いますか。



2. 2 番目の欄の答えを読み返してください。この聖句では、「神は苦難のときに彼らを慰めてくださる」とことが教えられています。この原則についてさらに考えるため

単元 9 — 第 4 日

ヤコブ 3－4 章

はじめに

ヤコブ 3 章には、ヤコブが自分の民に行った説教の結びの部分の載っています。その中で、ヤコブは心の清い人々に簡潔に慰めと約束の言葉を述べました。また、民の中の高慢な人やみだらな人をしかり、悔い改めなければ招くことになる結果について警告しました。ヤコブ 4 章には、ヤコブがいつか自分の記録を読む人々に向けて靈感を受けて書いた言葉が載っています。ヤコブはイエス・キリストの贖罪について証し、贖罪によって父なる神と和解する（仲直りする）よう読者に勧めています。警告の声をもって、ヤコブはイエス・キリストとその分かりやすい福音を拒むユダヤ人について語っています。

ヤコブ 3 章

ヤコブ、心の清い者を励まし、心の清くない者に悔い改めるよう強く勧める

次の状況において、あなたなら若い男性や女性にどのような助言をするか考えてください。

- ある若い女性は義にかなった生活を送るよう努力しているが、父親がアルコール中毒であることに苦しんでいます。

に、次の質問のうちの一つ以上について、聖典学習帳に答えを書きましょう。

- a. 神に従おうと努力する中で、神は苦難のときにどのようにしてあなたを慰めてくださったでしょうか。
- b. 「篤い信仰をもって」祈ることは、試練のときにどのような助けとなってきたでしょうか。
- c. 神の御言葉を受け入れることを通して神の愛を感じた経験として、どのようなものがあるでしょうか。

心の清い者に向かって語った後、ヤコブは心の清くない者に向かって語りました。ヤコブ 3:3-4, 10-12 を読み、これらの人々に対してヤコブが勧めたことを調べましょう。「能力を奮い立たせ〔る〕」とは能力と感情を目覚めさせるという意味で、「不貞」や「好色」という言葉は性的な罪や情欲を指していることを知っておくと役立つでしょう。

ヤコブ 3:3-4, 10-12 にはまた、民が悔い改めなければどのようなことが起こるかについてのヤコブの警告も書かれています。これらの節を研究した後、次の結果について述べている言葉を丸で囲みましょう。(a) レーマン人が彼らを滅ぼす。(b) 彼らの模範が彼らの子供たちを滅びに至らせる。(c) 彼らは第二の死を経験する、すなわち神から引き離される。

少しの間、ヤコブの警告はどのような点で民にとって大きな祝福と見なすことができるかについて考えてください。

ヤコブ 3:5-7 に記録されているように、「レーマン人の夫は妻を愛し、妻は夫を愛し、夫と妻は子供たちを愛している」のでレーマン人はニーファイ人「よりも義にかなっている」と、ヤコブは大胆に述べました。ニーファイ人は自分たちのすべての罪、特に自分の家族において愛と信頼が弱まる原因となった罪を悔い改める必要がありました。

ヤコブ 3:11-12 について深く考え、そのメッセージをあなた自身の言葉で要約しましょう。

聖句を自分自身の言葉で要約する

聖句を自分自身の言葉で要約するために、聖句が教えていることを理解しようと努め、次に自分に分かる表現でそのメッセージについて考えたり、口頭で述べたり、書いたりしましょう。そうすることで、聖句が教えている真理をあなたの生活に取り入れる助けとなります。聖句を要約したら、聖句を読み返して、あなたの要約が聖句の要点を正しく述べているか確認しましょう。

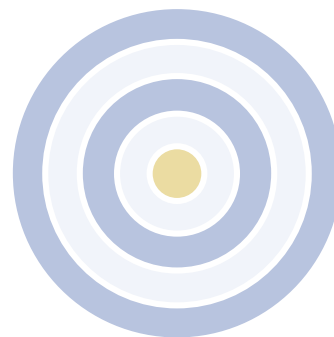
少し時間を取って、あなたが直面している誘惑と、自分の間違っただけの悔い改めるときにどのような恐ろしい結果を逃れるかについて考えてください。

ヤコブ 4 章

ヤコブ、神の御前に戻れるという希望を得よう民に勧める

ヤコブ 4 章を研究する準備として、ペンか鉛筆を学習ガイドの 1 メートル以上、上で持ち、標的すなわち「的」の中央に当たるように落としてみましょう。何度か挑戦してみるとよい

でしょう。的以外のどこかを見ていたなら、望んでいる結果を得られる可能性がどれほど低いかにについて考えてください。アーチェリーで、もし矢を射るときに標的すなわち的をまったく見なかったり、的の向こうにあるものを見ていたりしたなら、どのくらいうまくできると思いますか。ヤコブ 4:14 を読み、「的のかなた」に目を向けるとヤコブが預言した人々の特徴を調べましょう。



聖典のヤコブ 4:14 のそばに「的はキリストです」と書き込むとよいでしょう(ニール・A・マックスウェル, “Jesus of Nazareth, Savior and King,” *Ensign*, 1976 年 5 月号, 26)。同様に、パウロは次のように教えています。「目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」(ピリピ 3:14)

預言者ヤコブは、モーセの律法と、人々を救い主のもとに導くというその目的を正しく理解していなかったユダヤ人たちについて述べていました。ユダヤ人の多くは、メシヤであるイエスが彼らに与えたものとは異なる種類の解放を待ち望んでいました。外国の支配と虐げからの解放を待ち望んでいたのです。



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 的(イエス・キリスト)のかなたに目を向けるとはどういう意味だと思いますか。
- b. ヤコブ 4:14 に挙げられているどのような態度や行いがユダヤ人を盲目の状態にし、彼らがイエス・キリストを受け入れるのを妨げたのでしょうか。
- c. 今日、的のかなたに目を向け、つまり救い主に意識を集中していない例として、どのようなものがあるでしょうか。

ヤコブは自分の記録を読む人々に、的を外したユダヤ人たちの態度とは完全に異なる態度を取ってほしいと望みました。ヤコブ 4:4 を読み、自分の記録を読むすべての人に知ってほしいとヤコブが望んでいたことを見つけましょう。また、ヤコブ 4:12 を読み、「キリストの贖罪について語るのに……何の差し支えがあろうか」という言葉に印を付けましょう。ヤコブ 4:4-12 に記録されているように、ヤコブは自分がイエス・キリストを信じているのはなぜか、そして贖罪についてほかの人々に知らせることが重要だと感じているのはなぜかについて、幾つかの理由を挙げています。



4. 次の参照箇所を聖典学習帳に書き、それぞれの聖句でヤコブがイエス・キリストや贖罪について教えていることを短く要約して書きましょう。

- a. ヤコブ 4:4-6
- b. ヤコブ 4:7-8
- c. ヤコブ 4:9-10
- d. ヤコブ 4:11

ヤコブ 4:4-6 の中で、ヤコブの民が神会の性質を理解していたことを示している語句はどれでしょうか。

次のことを知っておくと助けとなるかもしれません。「キリストの初穂として神のためにささげられる」(ヤコブ 4:11) とは、日の栄えの王国に入るのにふさわしい状態で神の前に立つことを指しています。また、もし「キリストの栄光を待ち望[む]」のであれば(ヤコブ 4:4)、わたしたちは自分たちが天の御父の御前に戻るができるように、罪から贖われ、復活するための道をイエス・キリストが備えてくださったことを信じなければなりません。そのことを理解することが重要です。

わたしたちはヤコブ 4 章から次の真理を学ぶことができます。「イエス・キリストの贖罪を通じて、わたしたちは希望に満たされ、神と和解することができる。」



5. 次の質問に対して、短い答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ヤコブ 4:4-12 で学んだイエス・キリストについての真理を復習し、贖罪について語りたいという気持ちを特に強めてくれるものを一つ選びましょう。その真理を書き、なぜそれを選んだのかを説明してください。

b. イエス・キリストと贖罪について語りたいという気持ちになるそのほかの個人的な理由として、どのようなものがあるでしょうか。

このレッスンを終えるに当たって、あなたが救い主に感謝しているのはなぜか深く考えてください。その理由を家族や親しい友達に伝えるとよいでしょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヤコブ 3-4 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 10 — 第 1 日

ヤコブ 5-6 章

はじめに

ヤコブ 5 章には、もとはゼノスという名前の預言者が語った、栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木の比喩が載っています。ヤコブはこの比喩を使って、たとえ主の聖約の民が主に背を向けているときでも、主は彼らに救いをもたらすために絶えず働いておられるということを教えています。比喩では、主が御自分の聖約の民であるイス



果樹園はぶどうの木やオリーブの木を植えるために用いられる地です。昔のイスラエルでは、オリーブの木はきわめて貴重なものでした。オリーブは食用とされ、オリーブ油は料理に使われたほか、薬やランプの燃料として使われました。しかし、オリーブの木が良い実を産するようになるためには、しっかりと世話をし、働く必要がありました。

ラエルの家の一部を全地に散らされたことと、主が末日に御自分の民を集められることが示されています。この比喩は、イスラエルの家の者であり主の僕である今日のわたしたちに具体的に、そして個人的に当てはまるものです。ヤコブ6章では、ヤコブは主の憐れみと正義を強調し、悔い改めるように民を、そしてわたしたちを励ましています。

ヤコブ 5：1－12

ヤコブ、イスラエルの家を、栽培されたオリーブの木にたとえたゼノスの言葉を引用する

あなたの友達や愛する人の中で、特にその人が主に背を向けてしまうような試練のときに、自分に対する神の愛に疑問を抱いたことのある人がいるでしょうか。次の例について考えてみましょう。

- ある若い神権者は罪深い習慣に陥っています。ほかの人たちは赦してもらえますが、主が彼の悔い改めを受け入れてくださるかどうか疑問です。
- ある若い女性は戒めを破っています。彼女は罪悪感をおぼえ、自分を情けなく思います。それでも主は自分をまだ愛しておられるかどうか疑問です。

ヤコブは、ユダヤ人がイエス・キリストを拒むことを預言しました（ヤコブ4：15 参照）。ヤコブはまた、イエス・キリストはユダヤ人から拒まれた後も御自分の民の救いのために働き続けることを預言しました。この真理について説明するために、ヤコブはゼノスという名前の預言者が語った比喩を引用しました（ヤコブ5：1 参照）。比喩とは、たとえのように、象徴として人や物や行いを用いて真理を教える物語です。ヤコブ5章を研究しながら、たとえあなたが罪を犯したときでも、主がどのようにしていつもあなたに手を差し伸べてくださっているかについて考えてください。

ヤコブ5：2を読み、ゼノスがこの教えをだれに向けて語っているかに印を付けましょう。

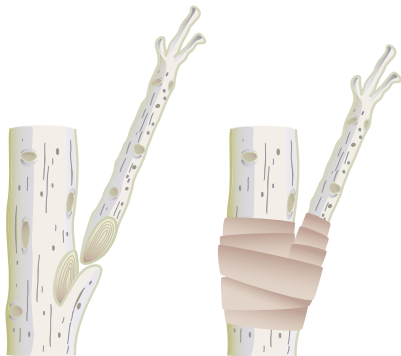
あなたはバプテスマによって主と聖約を交わしているので、イスラエルの家に属しています。あなたはヤコブ5章で語られている話の一部なのです。ヤコブ5：3を読み、ゼノスが比喩の中でイスラエルの家を表すために用いているものに印を付けましょう。栽培されたオリーブの木に起こり始めたことにも印を付けましょう。

ヤコブ5：3の脚注4を見ると、木が朽ちることは背教を表していることが分かります。背教は、個人やグループが主とその福音から離れ去るときに起こります。

次の表には、ゼノスの比喩の意味を理解するのに役立つ象徴が挙げられています。これらの象徴が最初に登場する節も示されています。聖典の中のこれらの象徴に印を付けましょう。聖典の余白に、象徴の意味を書き込んでもよいでしょう。

ヤコブ 5 章 — 栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木の比喩	
象徴	意味
栽培されたオリーブの木（3 節）	イスラエルの家、神の聖約の民
果樹園（3 節）	世界
朽ちる（3 節）	罪と背教
ぶどう園の主人（4 節）	イエス・キリスト
刈り込み、掘り、養いを与える（4 節）	わたしたちが義になつた者となり善い行いをするように助けるための主の働き
枝（6 節）	民の一団
野生のオリーブの木（7 節）	異邦人—主と聖約を交わしていない人々。比喩の後半では、背教したイスラエルの家の一部を表す自然のオリーブの木にも「野生」という描写が用いられている。
枝を切り取り、接ぎ木をする（7－8 節）	主の聖約の民の散乱と集合。さらに、野生のオリーブの枝を栽培されたオリーブの木に接ぎ木することは、バプテスマによって主の聖約の民となった異邦人の改宗者を表している。
燃やされる枝（7 節）	邪悪な者に下る神の裁き
実（8 節）	人の生活や行い
栽培されたオリーブの木の根（11 節）	主が御自分に従う者と交わされる聖約を表しています。根はまた、アブラハムやイサクやヤコブなど、昔の時代に主が聖約を交わされた人々も表しています（ヤコブ6：4 参照）。

ヤコブ 5:4-6 を読み、栽培されたオリーブの木を救うために果樹園の主人が最初に行ったことに印を付けましょう。上の表を見て、果樹園の主人がどなたで、刈り込み、掘り、養いを与える行いが何を象徴しているかに注目してください。



接ぎ木では、健康な生きた枝を木から切り取り、別の木の幹に差し込んでその枝が成長するようにします。



十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、この比喩が何について語ろうとしているかを説明しています。ホランド長老の説明を読み、長老が教えているこの比喩のさらに深い意味に線を引きましょう。

「ヤコブが語ったこの比喩は、最初からキリスト〔果樹園の主人〕について述べることを目的としています。……

一つの章にわたってイスラエルの散乱と集合の歴史が概観される中で、まさに果樹園の主人とその働き人たちが自分たちの木を強め、刈り込み、清め、そのほかの方法で豊かに実るようにしようと努めるときに、贖罪のより深い意味が彼らの働きの堅固な基となり、その全体に影響を及ぼしているのです。」(Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon [1997 年], 165)

ヤコブ 5 章はオリーブの木についての話のように見えますが、この比喩は罪を犯して主に背を向けた人々と、彼らが御自分のもとに戻れるように助ける主の働きについて表しているのです。この章では、「主はわたしたちを愛しておられ、わたしたちの救いのために熱心に働かれる」ことが教えられています。続けてこの比喩を研究しながら、栽培されたオリーブの木であるイスラエルに対する主の気持ちと、彼らを救うための主の絶え間ない働きによく注意することによって、この真理を示している証拠を探しましょう。例えば、ヤコブ 5:7 を読み、「この木を失うのは悲しい」という言葉について深く考えてください。ここで主はどのような感情を表現しておられると思いますか。それはなぜでしょうか。

この言葉をもう一度、今度は「この木」の代わりにあなたの名前を入れて読んでみましょう。「〔あなたの名前〕を失うのは悲しい。」ヤコブ 5 章の全体を通じて、意義深い適切な箇所にあなたの名前を入れることによって、この比喩をあなた自身に結びつけ、あなたのことを心配する主の思いについてより多くのことが学べるでしょう。

ヤコブ 5:7-11 を読み、栽培されたオリーブの木を救うために果樹園の主人が次に行ったことを探しましょう。



1. 天の御父の子供たちを救おうとして果樹園の主人とその僕たちがヤコブ 5:7-11 で行っていることについて、表に書かれている象徴の意味を使って聖典学習帳に説明を書きましょう。

主はイスラエルの家に属していない人々を取ってイスラエルに接ぎ、彼らを御自分の聖約の民の一部とされます。イスラエルの家を救うために、主は最も悪い枝（人々）を切り落として滅ぼされます。

ヤコブ 5:13-14 を読み、6 節で述べられている栽培されたオリーブの木から取った柔らかい若枝に主がどのようなことを行われたかを調べましょう。余白に、「いちばん低い」とはいちばん目に触れることのないという意味であると書き込むとよいでしょう。



2. どのような点で、リーハイの家族を、果樹園のいちばん低い場所に隠された柔らかい若枝にたとえることができるかについて、表に書かれている象徴の意味を使って聖典学習帳に説明を書きましょう。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しています。主の僕たちは「一部の枝を取り、それを野生のオリーブの木に接ぎました。野生のオリーブの木とはだれだったのでしょうか。異邦人です。そして主は御自分の僕たちを、世界を表している御自分の果樹園のあらゆる場所に遣わし、その木から取ったこれらの枝をお植えになりました。……



さてこの比喩において、そのオリーブの木とはイスラエルの家です。……その故郷で、木は枯れ始めました。そこで主はニーファイ人のように、行方の知れない部族のように、そして主の連れて行かれた、わたしたちが何も知らないそのほかの人々のように、枝を取って地のほかの場所に移されました。主は彼らを、世界を表している御自分の果樹園のあらゆる場所にお植えになりました。主がこれらの枝の一部を日本に、韓国に、中国に送られたことには疑問の余地がありません。まったくそのとおりです。主は彼らを世界のあらゆる場所に送られたのですから。」(Answers to Gospel Questions, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編, 全 5 巻 [1957-1966 年], 第 4 巻, 204-205)

スミス大管長はまた次のように教えています。「このたとえの解き明かしは、……イスラエルが散らされて、世界のあらゆる場所でイスラエルの血が野生のオリーブの木す

研究する聖句に 自分の名前を入れてみる

聖句の適切な箇所に「わたし」を挿入してもよいでしょう。このようにすることで、有意義な聖文研究を行い、特定の聖句があなたにどのように関連しているかを知ることができるでしょう。

なわち異邦人の民と混ざることについての話です。ですから、中国や日本、インド、そして異邦人が住むそのほかのすべての国で、イスラエルの血が彼らの中に散らされた、すなわち『接ぎ木された』ことが分かります。』(Answers to Gospel Questions, 第4巻, 40 - 41)

ヤコブ 5:15-77

果樹園の主人とその僕たち、果樹園が良い実を生じることができるように働く

ヤコブ5章の多くの部分では、世界中に散っているイスラエルの家の様々な民について異なる期間の様子と出来事が語られ、彼らを集める救い主の業について述べられています。そして章の最後は福千年と地球の最後の清めで結ばれています。

主が御自分の果樹園の木々を心配し、それらを救うために絶えず働かれることを強調するために、ゼノスは比喻の全体を通じて幾つかの重要な表現を繰り返しています。ヤコブ5:20, 23-25, 28, 31を読み、果樹園の木々に養いを与える御自分の働きについて主が述べておられる箇所が出て来る度に印を付けましょう。

良い実を生じるように助けようとする主人とその僕の働きにもかかわらず、ついに果樹園の実はずべて悪くなっていました(ヤコブ5:39 参照)。ヤコブ5:41-42, 46-47を読み、自分の果樹園に対する主人の愛、心配、または悲しみを示している言葉に印を付けましょう。

あらゆる手を尽くしたにもかかわらず木々が悪い実を生じていたので、果樹園の主人はすべての木を切り倒そうと考えました(ヤコブ5:49 参照)。ヤコブ5:50-51を読みましょう。ヤコブ5章の残りの箇所では、終わりの時に生きる人々を救おうとする主とその僕たちの働きが述べられています。主は最後にもう一度御自分の民を集め、彼らに養いをお与えになります(ヤコブ5:52-77 参照)。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、ヤコブ5章で述べられているイスラエルの集合が現在起こっていると教えています。「この集合の時代に、主はその目的を果たしてアブラハムの子らをまことの羊飼いの群れに呼び戻しておられます。』(Answers to Gospel Questions, 第4巻, 41)

 3. 聖典学習帳に、あなたに対する主の愛についてヤコブ5章から学んだことを書きましょう。あなたの生活やあなたの知っている人の生活にどのような形で主の愛が表れるのを見てきたか、例を一つ書きましょう。

ヤコブ 6章

ヤコブ、神の憐れみと正義について教え、わたしたちに悔い改めるよう求める

ヤコブ6章では、オリーブの木の比喻から学べる重要な真理をヤコブがまとめています。ヤコブ6:4-6を読み、神の性質についてヤコブが強調していることを調べましょう。神について知ってほしいとヤコブがわたしたちに望ん

だことを要約するために、あなたなどの単語を使いますか。 _____

ヤコブ6:7-13で、ヤコブは自分のメッセージの結びとして、「悔い改めて、主の憐れみを受けることを通して、今から裁きに備えることが賢明である」ことを証しています。

 4. ヤコブ6:5を読みましょう。「神があなたがたを心にかけてこられたと同じように、あなたがたも神に堅くついて離れないように」わたしたちに勧めていることに注目してください。堅くついて離れないとは、しがみつくと、しっかりつかんで離さない、という意味です。次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. オリーブの木の比喻は、神があなたがたを心にかけてくださっていることを示しています。あなたは、この比喻からどのようなことを学びましたか。

b. 神があなたがたを心にかけてくださっているのと同じように、あなたもよりいっそう神に堅くついて離れないようにするために、どのようなことができるでしょうか。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヤコブ5-6章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元10—第2日

ヤコブ7章

はじめに

ヤコブは反キリストであるシーレムの偽りの考えと議論に打ち勝つために、自分の証と主に頼りました。反キリストとは、活発に、または熱烈にキリストに反対し、主や主のまことの教会、主の福音、または救いの計画に対するほかの人々の信仰を損なわせようとする人です。

シーレムの取り組みを阻止するために、ヤコブはイエス・キリストを信じる自分の信仰を増し加えてくれた過去の経験から力を得ました。また、聖なる御霊の導きと、聖文や預言者の言葉についての知識、イエス・キリストへの証に頼りました。シーレムはヤコブの言葉が真実であることを証明するしるしを求めたときに、神によって打たれました。ヤコブは、ニューファイ人がレーマン人に対して防備を固めたときにどのようにして主に信頼を寄せたかを述べて、その記録を終えました。そして世を去る前に、小版を息子のエノスに託しました。



ヤコブ 7:1-14

ヤコブ、主を信頼して反キリストのシーレムと対峙する

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように教えています。「信仰を問題視されたり批判されたりするのは、この世の大きな試しの一つです。そのようなときに、……強気の構えをしなくなるかもしれません。しかし、そのようなときこそ、思慮深くあり、祈り、救い主の模範に従う大切な機会なのです。思い出してください。イエス御自身も世からさげすまれ、拒まれました。……、非難する相手に救い主のように応じることは、わたしたちがキリストに似た者となるだけでなく、人々が主の愛を感じて主に従うように手を差し伸べることを意味しているのです。」(「クリスチャンらしい勇気—弟子としての犠牲」『リアホナ』2008年11月号, 72)

あなたの信仰が問題視されたり批判されたりしたときのことを思い出してみましょう。ヤコブ7章を研究するとき、あなたは、ヤコブがシーレムという名前の人物からどのように自分の信仰を批判され、この困難にどのように首尾よく対処したかを学ぶことになります。

ヤコブ7:1-5を読み、(1)シーレムが何を行おうとしていて、(2)その目標をどのように達成しようとしていたかを示している言葉を探しましょう。これらの言葉に印を付けるとよいでしょう。

ヤコブ7:3によると、シーレムは民にどのような影響を及ぼしていたでしょうか。 _____



1. ヤコブ7:4に、シーレムは「博学」で「十分な弁舌の力」を持っていたと書かれていることに注目しましょう。聖典学習帳に、シーレムのような人物に対してあなたの信仰を擁護するのが難しいことがあるのはなぜかを書きましょう。

わたしたちの信仰を問題視したり批判したりする人が、必ずしも皆シーレムと同じ動機を持っているわけではないことを覚えておきましょう。シーレムのように、故意に信仰を損なわせようとする人々がいる一方で、ほかの人々がわた

したちの信仰を問題にするのは、興味があるからか、わたしたちの信仰について間違った情報を得ているからかもしれません。

ヤコブ7:5-14を読みながら、シーレムのような人にあるあなたなどどのように対処するかを深く考えましょう。ヤコブがどのように応じたかを研究するとき「主に頼るなら、信仰への攻撃に打ち勝つことができる」ことが分かります。この原則を、この聖句のそばの余白に書き込むとよいでしょう。ヤコブがシーレムに立ち向かったときにこの原則をどのように行動で示したかを調べましょう。

下の表の左欄で挙げられているヤコブ7:5-14からの聖句を読み、ヤコブがどのようにして主に頼ったかを最もよく述べている言葉を右欄から選び、該当する言葉のアルファベットを参照聖句の横に書きましょう。

ヤコブは主に頼るために何を行ったか	
1. ____ ヤコブ7:5	a. 聖文と預言者の言葉について証した。
2. ____ ヤコブ7:8	b. 結果を主の手にゆだねた。
3. ____ ヤコブ7:10-11	c. 聖霊の導きと力に頼った。
4. ____ ヤコブ7:12	d. 自分の信仰を強めた過去の経験を思い出した。
5. ____ ヤコブ7:13-14	e. 聖霊を通して受けた証を述べた。

この活動の答えは、このレッスンの最後に正解があるので参照してください。

自分の信じていることが疑問視されたり批判されたりしたときに動揺することがない強い信仰を、どうすれば持つことができるでしょうか。ヤコブ7:5で、ヤコブが次の真理について実例を示していることに注目しましょう。「もしわたしたちの証が啓示と霊的な経験に基づいているならば、信仰は動じることがない。」イエス・キリストについてのあなたの証がどのくらい強いもので、証を強めるためにどのようなことができるかを深く考えてください。

シーレムに対するヤコブの返答は、信仰を問題視したり批判したりする人々に対応する場合の手本となるものです。



2. 主に頼るためにヤコブが行ったことと、ほかの人があなたの信仰に疑問を投げかけてきたときにそれらの行いがどのような助けとなってきたか、または助けとなるかについて考えるために、下の質問の中から3つを選び、聖典学習帳に答えを書きましょう。

a. ヤコブ 7:5 で、過去の霊的な経験のおかげでヤコブの信仰は動揺することのないものとなっていたことに注目しましょう。あなたはどのような経験によって信仰を強めてきましたか。これらの経験を記憶することや記録することは、だれかから信仰を問題視されたり批判されたりしたときに、どのように役立つでしょうか。

b. ヤコブ 7:8 で、ヤコブは「主なる神がわたしに神の御霊を注いでくださった」と言っています。心に御霊が注がれるようにするために、どのようなことをする必要がありますでしょうか。自分の信仰に向けられた疑問や批判に対処する際に、あなたは聖霊からどのような助けを受けてきたでしょうか。

c. 聖典と末日の預言者の言葉を毎日研究する習慣は、他人から信仰を問題視されたり批判されたりするときにどのように役立つでしょうか (ヤコブ 7:10–11 参照)。

d. あなたはこれまでどのようなときに、あなたの信仰を問題視したり批判したりする人に証を述べてきたでしょうか (ヤコブ 7:12 参照)。その結果はどのようなものでしたか。

e. シーレムがしるしを求めたとき、ヤコブが自分の証が真実であることを自分で証明するのではなく、結果を主の手にゆだねました (ヤコブ 7:14 参照)。あなたの信仰を攻撃する人々に、あなたの証が真実であることを証明する必要があることを知っていると、どのような助けになるでしょうか。

ヤコブ 7:15–23

シーレムは打たれ、告白し、死ぬ。それは大勢のニーファイ人を主に立ち返らせることになる

ロバート・D・ヘイルズ長老は次のように教えています。



「報復しないで、もう一方の頬を向け、怒りを抑えるとき、わたしたち〔は〕救い主とともに立っているのです。主の愛を示すことは、反対者の心を和らげ、非難してくる人に非難せずに応じる唯一の力です。それは弱さではありません。それぞれがクリスチャンらしい勇気なのです。」

歴史から分かるのは、教会に対する批判は新しい問題ではないということ、そして、そのような批判はなかなか消滅しないということです。しかしキリストの真の弟子は反対の中に存在する機会に目を向けます。……

……ありがたいことに、主は非難する人の本心も、わたしたちが最も効果的に応じる方法も御存じです。真の弟子は御霊の導きを求めるとそれぞれの状況に合った靈感を受けます。そしてあらゆる状況において、真の弟子は主の御霊をその場に招くような応じ方をします。 (『クリスチャンらしい勇気 — 弟子としての犠牲』『リアホナ』2008 年 11 月号, 72–73)

「反対の中に存在する機会に目を向け〔る〕」とはどういう意味だと思いますか。 _____

わたしたちの信仰を批判する人々に主の御霊を招くような方法で応じるとき、良い結果を見ることができます。ヤコ

ブ 7:15–23 を読み、ヤコブとシーレムの対決を通してもたらされた良い結果を探しましょう。

ヤコブ 7:21–22 には、自分とシーレムとの出来事がほかの人々に益をもたらすようにヤコブが望んでいたことを示す証拠として、どのようなことが述べられているでしょうか。

ヤコブ 7:23 によると、ヤコブとシーレムの対決は大勢の人々にどのような影響を及ぼしたでしょうか。 _____



3. ヤコブとシーレムの対決から学べる一つの原則は、「御霊を招くような方法で信仰への疑問や批判に対応するとき、わたしたちは人々が主に心を向けるよう助けることができる」ということです。この原則について、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. この原則を知ることによって、あなたはどのようにほかの人々が主に心を向けられるように助けることができるでしょうか。

b. あなたはこの原則をどのように応用しますか。

ヤコブ 7:24–27

ヤコブ、ニーファイ人とレーマン人の関係について述べ、自分の記録を結ぶ

ヤコブ 7:24–27 を読みましょう。ヤコブ 7:25 にある、困難に直面するとき主に頼ることの大切さについてのヤコブのメッセージを、いっそう力強いものとしている言葉に印を付けましょう。



4. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「自分の信仰をだれかに批判されたときに備えて、一つあなたが行おうと思うことは何ですか。」

自分の信仰に対する具体的な疑問や批判にどのように応じればよいかについて不安があるときには、『真理を守る — 福音の参考資料』、ロバート・D・ヘイルズ長老の総大会での説教「クリスチャンらしい勇気 — 弟子としての犠牲」(『リアホナ』2008 年 11 月号, 72–75)、LDS.org や youth.lds.org で提供されているその他の資料を研究しましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヤコブ 7 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

このレッスンの最初にある活動の答え — 1) d, 2) c, 3) a, 4) e, 5) b。

はじめに

エノス書

なぜこの書を研究するのか

エノス書は人々を罪から清め、罪のないものとするイエス・キリストの贖いの力について説明しています。エノスは祈り、神の前で苦闘したのちに罪の赦しを受けました。その後、ニーファイ人とレーマン人の霊的な幸いを願って祈り、残る人生を彼らの救いのために働いて過ごしました。エノス書を研究することにより、祈り、悔い改め、啓示についての重要な教えを学ぶことができます。さらに、個人として贖罪の祝福を受けるときに、それらの祝福を他の人々に分かち合う望みをもつようになることを学ぶことができます。

だれがこの書を書いたのか

ヤコブの息子であり、リーハイとサライアの孫であるエノスがこの書を書きました。エノスは自分の父が「主の薫陶と訓戒によって」教えてくれたと記録しています。(エノス 1:1) エノスは生涯の終りが近づいたときに、生涯を通じて「キリストにある真理に従って御言葉」を宣言したと記しました(エノス 1:26)。エノスは世を去る前に、ニーファイの小版を息子のジェロムに託しました。エノスは贖い主の前に立つことを喜びと言って記録を閉じました。彼はこう宣言しました。「そのとき、わたしは喜んで贖い主の顔を拝するであろう。贖い主はわたしに、『祝福された者よ、わたしのもとに来なさい。わたしの父の住まいには、あなたのために用意された場所がある』と言われるであろう。」(エノス 1:27)

いつ、どこで書かれたか

エノスはリーハイがエルサレムを去ったときから 179 年が過ぎ去ったと宣言して記録を閉じました(エノス 1:25 参照)。この記述から、紀元前約 544 年から紀元前 420 年の間の書き物であることがわかります。彼はニーファイの地に住んでいるときにこの記録を書きました。

単元 10 — 第 3 日

エノス

はじめに

エノスは父の言葉を思い巡らした後、自分の罪の赦しを求めて祈り、赦しを得ました。エノスは次に、ニーファイ人とレーマン人の霊的な幸いを祈り、彼らの救いのために働く生涯を過ごしました。

エノス 1:1-8

エノス、父の言葉を思い巡らし、罪の赦しを求めて祈り、赦しを得る

エノス 1:1, 3 を読み、ヤコブがエノスに与えていた影響に注目しましょう。エノスは預言者の息子であり孫でしたが、それでもなおイエス・キリストの贖罪の力を自ら経験する必要がありました。

たいへんな空腹を覚えたときのことを思い浮かべてください。あなたが空腹のときに感じるものを述べている言葉に丸をつけましょう。

むなしさ	苦痛
弱さ	切望
満たされない気持ち	渴望
飢え	

エノス 1:14 にある「わたしの霊は飢えを感じた」という言葉に印を付けましょう。この言葉はどういう意味だと思いますか。 _____

「わたしの霊は飢えを感じた」という言葉には、霊的なむなしさや苦痛、霊的に満たされたいという願いなどの感情が含まれるかもしれません。エノスは、自分がこの霊的な飢えを経験したときのことについて書き記しました。エノスは父の言葉が「心に深くしみ込んできた」と書いています(エノス 1:3)。それらの言葉を思い巡らしていたエノスは幾つかの望みを抱き、その望みがきっかけとなり、信仰をもって行動しました。エノスの忠実な行動は彼の生活に変化と、主からの祝福をもたらしました。



-  1. これからエノスの経験を理解し、あなたの生活に結びつけるのに役立つ幾つかの活動を行います。まず、聖典学習帳の1ページ全体を6つに分け、それぞれの部分に次のような見出しをつけましょう。

エノスが望んだこと —	わたしが望んでいること —
エノスが行ったこと —	わたしが行う必要のあること —
エノスが経験したこと —	わたしの経験 —

-  2. エノス1:2-3を読み、それぞれの節の中に、エノスが生活の中で得たいと望んでいたものを示している言葉を探しましょう。それらの言葉を、聖典学習帳に作った表の「エノスが望んだこと」の欄に書きましょう。

罪の赦しを得たいというエノスの望みから、わたしたちはエノス1:4で「わたしの霊は飢えを感じた」と書いたときにエノスがどのようなことを言いたかったのかを理解することができます。エノスはまた「永遠の命と聖徒たちの喜び」を得ることを望みました(エノス1:3参照)。主や義にかなったほかの人々と一緒にいるのにふさわしくあることがもたらす幸福を感じたいと願ったのです。

-  3. エノスが述べている霊的な飢えに似た気持ちを自分も感じたことがあるか考えてみましょう。聖典

学習帳の表の「わたしが望んでいること」の欄に、あなたが生活の中で強く願っている霊的な望みを幾つか書きましょう。

エノスは望みを抱いた結果として、信仰を働かせ、行動しました。エノス1:2で、エノスが自分の払った努力について述べるために用いている言葉を見つけ、印を付けましょう。エノスが神と格闘したのではなく、祈りによって神の前に苦闘したことに注目してください。そのような苦闘には、悔い改めて生活の中で必要な変化を遂げたいと心から望み、進んで行く意志があることを天の御父に示すために、精神的また霊的にもがき苦しむことが含まれます。エノス1:4で、エノスはその苦闘について詳しく述べています。

-  4. エノス1:4を読み、罪の赦しを心から求めていることを示すためにエノスが行ったことに印を付けましょう。見つけたものを、聖典学習帳の表の「エノスが行ったこと」の欄に書きましょう。

エノス1:4にある「懇願」とは、切なる望みをもってへりくだり願うという意味です。わたしたちの祈りはエノスの祈りほど長いものではないかもしれませんが、心からのものである必要があります。

-  5. 聖典学習帳の表の「わたしが行う必要のあること」の欄に、主の霊的な祝福を祈り求めるときに、心から願っているということをどうすれば主に示すことができるかについて、あなたの考えを書きましょう。

-  6. エノスの忠実な心からの努力は、彼の人生に大きな祝福をもたらしました。エノス1:5-8を読み、エノスが経験したことに印を付けましょう。それらを聖典学習帳の表の「エノスが経験したこと」の欄に書きましょう。5節と6節を読み、エノスは自分が赦されたことをどのようにして知ったかに注目しましょう。5節で述べられている声とは、エノスの思いに告げた声でした(エノス1:10参照)。

エノス1:7-8には「わたしたちはイエス・キリストへの信仰を働かせるとき、罪が赦され、罪のない者とされる」ことが教えられています。改善したいと望み、心から祈り、悔い改めようと努力するという方法を通して、わたしたちはイエス・キリストを信じる信仰を示すことができます。

大管長会のデーター・F・ワークトドルフ管長は、イエス・キリストを信じる信仰を働かせ、罪を悔い改めるときにどのようにして罪がぬぐい去られるかについて次のように説明しています。



「真の悔い改めをすると、キリストは罪悪感の重荷を取り除いてくださいます。そこで、赦され、清められたことが自分で分かるのです。聖霊が確証を与え、わたしたちを聖めてくださいます。これ以上に大きな赦しの証はほかにありません。……」

主はこのような宣言しておられます。『見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。』(教義と聖約58:42)

わたしたち自身は自分の罪を思い起こすことができるので、赦されないとサタンは信じ込ませようとします。サタンは偽り者です。わたしたちの目をくらませ、悔い改めと赦しの道に近寄らせないようにしているのです。神はわたしたちが自分の罪を思い起こさなくなるとは約束されませんでした。記憶は同じ間違いを繰り返すのを避けるのに役立ちます。しかし、もし誠実で忠実であるなら、罪の記憶は時がたつにつれて和らいでいきます。これは必要とされる癒しと聖めの過程です。」(「帰還可能点」『リアホナ』2007年5月号, 101)

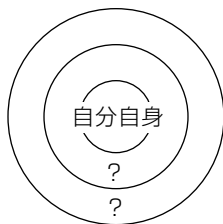
ウークトドルフ管長の言葉を実践できるように、次の質問について深く考えましょう—あなたはこれまでどのようなときに、主が自分の罪を赦してくださったと感じてきたでしょうか。自分が赦されたと、どのようにして分かったでしょうか。最近、主の赦しを感じたことがあるでしょうか。



7. 上の質問について深く考えた後、聖典学習帳の表の「わたしの経験」の欄に、赦しを感じた経験を書きましょう。または、イエス・キリストを信じる信仰を働かせるときに経験したいと思うことについて書いてもよいでしょう。

エノス 1:9 - 27

エノス、ニーファイ人とレーマン人のために祈り、
彼らの救いのためにほかの人々とともに働く



この図はエノスの祈りについて説明しています。エノスはまず自分自身のために祈り、次に祈りの対象をほかの人々に広げました。エノス 1:9 - 10 を読み、エノスが 2 番目にだれのために祈ったか、聖典に印を付けましょう。エノス 1:11 - 14 を読み、3 番目にだれのために祈ったかに印を付けましょう。



8. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「エノス 1:14 でエノスが述べているレーマン人の企てを知るとき、レーマン人のためのエノスの祈りについてあなたが感銘を受けるのはどのようなことでしょうか。」

エノスの模範から次のことが学べます。「イエス・キリストの贖罪の祝福を経験すると、ほかの人々が救いを得ることを願い求める。」この真理を思い起こせるように、聖典の余白に次のハワード・W・ハンター大管長の言葉の全部または一部を書き込むとよいでしょう。



「わたしたちは生活の中で贖罪の祝福を経験する度に、ほかの人々の幸せに思いをはせずにはいられなくなります。……

個人が改心したかどうかは、福音を人々に分かち合う望みによって量ることができます。」(The Teachings of Howard W. Hunter, クライド・J・ウィリアムズ編 [1997 年], 248 - 249)

エノス 1:19 - 20, 26 を読み、ニーファイ人とレーマン人のために祈った後、エノスが彼らの幸いを心から願っていたことを示している言葉に印を付けましょう。

エノス 1:27 を読み、エノスが自分の努力のために経験した喜びと、エノスが得た永遠の命についての確信を示している言葉を探しましょう。



9. このレッスンで学んだことを実践できるように、エノスの模範にどのようにして倣うことができるか、一つ以上の方法をよく祈って決めましょう。下の言葉の一つを選び、聖典学習帳で完成させてください。

a. わたしはエノスのように罪の赦しを受けたいと望んでいます。わたしはこれが心からの望みであることをに……よって主に示します。

b. わたしはエノスのように家族と友達がキリストのもとへ来るよう助けたいと望んでいます。助けたいと考えている人は(その人の名前)で、わたしは……。

c. エノスは敵と考えられていたレーマン人のために祈りました。わたしはエノスが行ったように、意地の悪いことをする人々に主の愛を示したいと思います。そのためにわたしは……

聖典学習帳に書いたことを達成するように努めましょう。イエス・キリストの贖罪を信じる信仰を働かせ、悔い改めるときに、赦しと喜びを得て、ほかの人々を助けたいという望みが増すのを経験するでしょう。



10. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エノス 1 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

はじめに

ジェロム書

なぜこの書を研究するのか

ジェロム書を研究する中で、神は御自分の戒めに従う人々を祝福するという約束を守ってくださるということを理解するでしょう。また、ジェロムの時代のニーファイ人の王、預言者、教師、祭司たちが、民が滅びを免れるように彼らを悔い改めに導くために働いたことについても学ばせよう。

だれがこの書を書いたのか

この書を書いたのはエノスの息子ジェロムです。ジェロムは父親と同様、また祖父ヤコブならびに曾祖父リーハイと同様、預言と啓示の霊を受けました（ジェロム 1：2 参照）。ジェロムは記録を終えると、小版を息子オムナイに渡しました。

いつ、どこで書かれたか

ジェロム書は紀元前 420 年から紀元前 361 年までの約 59 年間の記録です（エノス 1：25；ジェロム 1：13 参照）。この記録はニーファイの地で書かれました。

はじめに

オムナイ書

なぜこの書を研究するのか

オムナイ書の研究することによって、主が義にかなったニーファイ人を守り、彼らをゼラヘムラの地に導かれたことを学びます（オムナイ 1：7、12－13 参照）。オムナイ書では、主が約束の地に導かれたほかの集団、すなわちミュレク人（または、ゼラヘムラの民）とヤレド人についても述べられています。

だれがこの書を書いたのか

オムナイ書は、オムナイ、アメーロン、ケミシ、アビナドム、アマレカイの 5 人によって書かれました。オムナイはジェロムの息子であり、リーハイとサライヤの玄孫です。オムナイは、自分のことを「悪い人間であり、……主の……戒めを守ってこなかった」と述べています（オムナイ 1：2）。アメーロン（オムナイの息子）、ケミシ（アメーロンの兄弟）、アビナドム（ケミシの息子）もそれぞれ少しずつ記録を加えました。アビナドムの息子アマレカイは、オムナイ書のほとんどを書き、ニーファイの小版に記録をつづった最後の人となりました。彼はベニヤミン王にその版を託しました。

いつ、どこで書かれたか

オムナイ書の記録者たちは、紀元前 361 年から紀元前 130 年の間のどこかで書きました。最初の 4 人の記録者はニーファイの地で書きました。アマレカイは、ゼラヘムラの地で記録しました。

単元 10 — 第 4 日

ジェロム書と オムナイ書

はじめに

ジェロム書とオムナイ書には、ニーファイの小版の最後の記録です。ジェロムは父エノスから版を受け取り、約 60 年間にわたってニーファイ人の苦難とニーファイ人が受けた祝福について記録しました。その後、息子オムナイにその版を渡しました。オムナイ書は、ニーファイ人の記録者 5 人によって書かれており、その期間は約 230 年間です。

ジェロム 1：1－15；オムナイ 1：5－7

ジェロム、主の戒めを守るときにニーファイ人が栄える様子を述べる

ジェロムとオムナイで教えられている重要な原則を研究するのに備えて、大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長が紹介した次の経験を読みましょう。

「わたしが戦闘機パイロットの訓練に備えていたときのことです。軍事予備訓練の大半は、運動に費やされました。延々と走り続けることが、なぜパイロットになるのに不可欠なのか、今でもよく分かりません。しかし、とにかく走って、走って、走り抜きました。

わたしは走りながらあることに気づいて、正直なところ悩みました。幾度となくわたしを追い抜いて行くのは、たばこを吸い、酒を飲み、福音—特に知恵の言葉に反することを何でもしている男たちでした。

わたしは思いました。『ちょっと待て。走っても疲れなはずじゃなかったのか。』でも、実際に疲れましたし、しかも、知恵の言葉にまったく従っていない人に追い抜かれたのです。正直なところ、当時はそのことで悩み、自問しました。『あの約束はほんとうなのだろうか。』（「忍耐し続ける」『リアホナ』2010 年 5 月号、58）

主の戒めを守るならば祝福を与えるという約束を、主は果たしてくださるのだろうか、または、どのように果たしてくださるのだろうか、と思ったことはありませんか。

エノスの息子であった預言者ジェロムは、主が自分の先祖たちに与えられた具体的な約束がどのようにして実証されたかを説明しています。ジェロム 1:9 を読み、主が民に実証された約束に印を付けましょう。

 1. ジェロムは、「わたしたちは神の戒めに従うならば栄える」ことを示しています。この真理の例を見るために、下に挙げられている参照聖句を研究し、それぞれの質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ジェロム 1:4 - 5, 8 ニーファイ人がどれほど従順であり、どれほど祝福を受けたかを示す、どのような例が挙げられていますか。

b. ジェロム 1:7, 10 - 12。ニーファイ人が従順であって栄えるように助けるために、預言者たちやほかの指導者たちはどのような役割を果たしたでしょうか。

c. オムナイ 1:5 - 7。神の約束は後に、別の方法でどのように実証されましたか。



主は知恵の言葉の中で与えている約束を実証してくださるのだろうかと思った自分の経験について、ウークトドルフ管長が教え、証していることを読みましょう。「答えはすぐには得られませんでした。しかし、やがて分かったのは、神の約束は必ずしもすぐに望みどおりに成就するとは限らないということです。答えは神の時と方法に従って得られます。わたしは何年も後に、神のすべての律法に従順であればすぐに与えられる霊的な祝福に加えて、知恵の言葉に従う人に与えられる物質的な祝福を自分の目で確かめることができました。振り返ってみると、主の約束は常に、即座にはではないかもしれませんが、確実に成就するものなのです。」

 2. 聖典学習帳に、主の戒めを守っているために主があなたを祝福したり、栄えさせたりしてくださったときの経験について書きましょう。あなたの経験から、主とその約束についてどのようなことが証できるでしょうか。

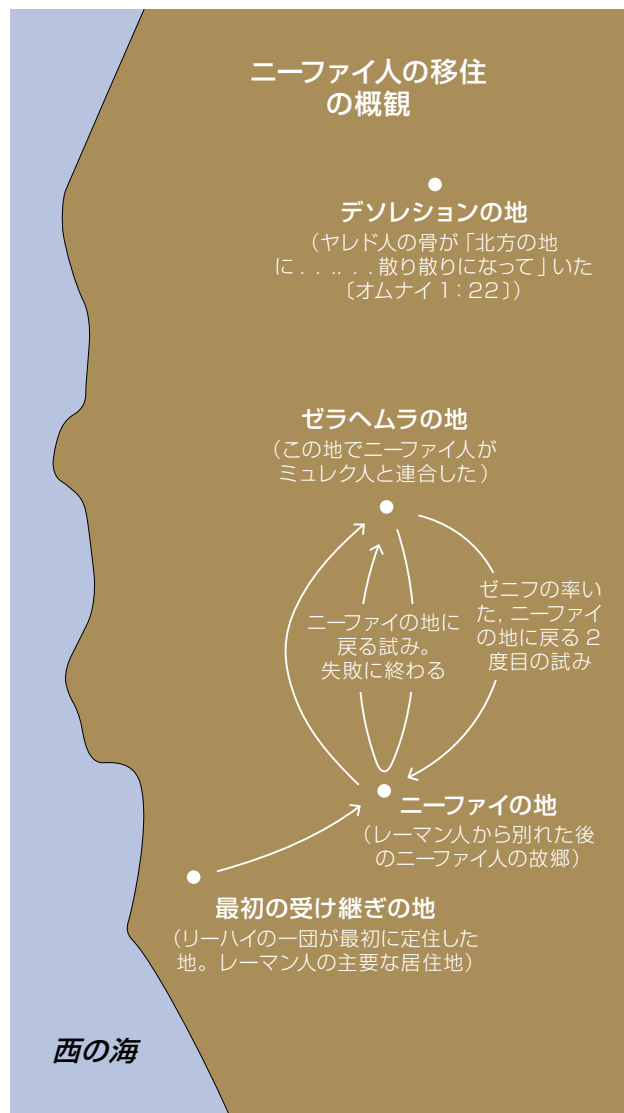
オムナイ 1:1 - 30

記録者たち、ニーファイ人の歴史を述べる

ジェロムの子孫はオムナイ書を書き記し、その記録は約 230 年間のことが取り上げられています。ジェロムに続いて小版を書き記した人たちの名前に印を付けましょう。オムナイ 1:1, 4, 9, 10, 12, 25 に載っています。

オムナイ書では、モルモン書に記された歴史における幾つかの重要な出来事が述べられています。ニーファイの時代に、ニーファイ人がレーマン人のもとを去り、ニーファイの地と呼んだ場所に定住したことを覚えているでしょう。この移住は、地図では最初の受け継ぎの地からニーファイの地への矢印で表されています。

オムナイ 1:12 - 13 を読み、ニーファイ人がどのようにしてゼラヘムラの地で暮らすようになったのかを調べましょう。この聖句の中で、ニーファイ人が主の指示と力によって旅したことを示している言葉に線を引くとよいでしょう。地



図では、ニーファイの地からゼラヘムラの地への矢印がこの移住を表しています。

オムナイ 1:14 - 19 を読み、ニーファイ人と彼らがゼラヘムラの地で発見した民の似ている点と異なる点を調べましょう。

 3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 聖文を持っていなかったことはゼラヘムラの民にどのような影響を及ぼしたでしょうか。

b. このことを知るとき、どのように聖文に対する感謝の気持ちが増し、もっと熱心に聖文を研究できるようになるでしょうか。

オムナイ書にはまた、モルモン書の後の箇所でも研究することになるほかの二つの民が登場します。その一つを見つけるために、オムナイ 1:20 - 22 を読み、この聖句のそばに「ヤレド人」と書き込みましょう。コリアンタマーはヤレド人

の中で最後まで生き残った二人のうちの一人で、もう一人は預言者エテルでした。ヤレド人についてはエテル書の研究の中で学びます。

オムナイ書で述べられている最後の一団について学ぶために、地図の中で、ゼラヘムラの地からニーファイの地の近くまで伸びていてゼラヘムラに戻っている矢印と、ゼラヘムラの地からニーファイの地まで伸びている矢印に注目してください。これらの矢印は、ゼニフの民の移住を表していて、この民のことはオムナイ 1: 27 - 30 で述べられています。(この聖句のそばに「ゼニフの民」を書き込むとよいでしょう。) この民についてはモーサヤ書を研究するときに学びます。

モルモン書は、アメリカ大陸に住んだすべての預言者の記録であると言われているわけではありません。ヤレド人、ゼラヘムラの民、そしてリーハイの子孫のほかにも、アメリカ大陸にやって来た人々がいました。大管長会のアンソニー・W・アイビング管長は 1929 年 4 月の総大会で次のように述べています。「モルモン書は……〔モルモン書の民〕以前にだれもこの地にいなかったとは告げていません。その後だれも来なかったとも告げていません。」(Conference Report, 1929 年 4 月, 15)

オムナイ 1: 23 - 24 で、この書の最後の部分がアマレカイによって書かれていることに注目してください。アマレカイは、ニーファイ人がゼラヘムラの地に移住した後、ベニヤミン王の時代に生きた人です。オムナイ 1: 25 - 26 を読み、アマレカイが 3 度繰り返している招きに印を付けましょう。



オムナイ 1: 25 - 26 にあるキリストのもとに来るようという 3 度の招きでは、どれも「もとに来て」という招きに続いて、どのようにしてキリストのもとに行けばよいかを知る助けとなる具体的な指示が与えられています。もう一度オムナイ 1: 25 - 26 を参照し、キリストのもとに行くために行うようアマレカイがわたしたちに勧めていることに印を付けましょう。

どのようにキリストのもとに行くかについて、次の勧告を見つけたことでしょうか。

- 信じる
- 主の救いにあずかる(主の贖罪の祝福を受ける)
- 自分自身を主にささげる(自分の心と、望みと、最大限の努力をささげ、何も惜しまない)
- 断食し、祈る
- 最後まで堪え忍ぶ

この勧告に従う人々に対して、アマレカイはオムナイ 1: 26 の終わりで一つの約束をしています。その約束を見つけ、次の原則を完成させましょう。「キリストのもとに来て、最後まで堪え忍ぶならば_____。」

 4. 上に挙げられている、どのようにキリストのもとに行くかについての勧告の言葉から一つ選び、その原則を実践することによってどのようにキリストのもとに行くことができるかを説明した 1, 2 分の短い話または要点を聖典学習帳に書きましょう。

例えば、断食と祈りがキリストのもとに行くうえでどのような助けとなるかについての話を書くことができます。話には以下を含めるとよいでしょう。(1) オムナイ 1: 25 - 26 を読み、選んだ言葉をあなた自身の言葉で説明する。(2) 選んだ言葉の意味を明確にしたり、その言葉にさらなる意味を与えたりする別の聖句を紹介する。(3) あなたの生活やあなたの知っている人の生活から、その言葉の例を示している経験を紹介する。(4) あなたの思うことや感じることや証を述べる。

次のクラスのときに話をするよう教師に頼まれるかもしれませんが。家庭の夕べやその他の機会に話をしてもよいでしょう。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ジェロムとオムナイを研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

聖文の中で
繰り返されている言葉や
考えを探しましょう

聖文を書き記した人々はしばしば重要な真理を繰り返すことによって強調しました。繰り返されている言葉や考えを見つけたら、それが強調されているのはなぜか、そして主があなたに何を学ばせようとしておられるのかを理解するように努めましょう。

はじめに

モルモンの言葉

なぜこの書を研究するのか

モルモンの言葉を研究することによって、二つの事柄について信仰を増すことができます。一つは「主は……すべて御存じである」という信仰であり（モルモンの言葉 1：7）、もう一つは、主は御自分の目的を達成するために僕に導きを与えられるという信仰です。この書は歴史について述べ、ニーファイの小版に書かれた記録（1 ニーファイ・オムナイ）と、ニーファイの大版からモルモンが短くまとめたもの（モーサヤ 4 ニーファイ）の間の橋渡しをしています。この書を理解することにより、モルモン書を編さんするときにモルモンがどの記録を短くまとめたかについて、もっとよく理解できるようになります。この書は、ベニヤミン王の信仰と功績も伝えています。

だれがこの書を書いたのか

モルモンがこの書を書きました。彼は預言者であり、記録者であり、モルモン書の抄録者であり、編さん者でした。モルモンはまた、義にかなった父親であり、ニーファイ人の軍の指導者でもありました。預言者モロナイはモルモンの息子でした。

いつ、どこで書かれたか

モルモンは、紀元 385 年ごろ、「〔彼〕の民であるニーファイ人がほとんどすべて滅びてしまうのを見た」後でこの書を書きました（モルモンの言葉 1：1）。この書を書いたときにどこにいたかについては、モルモンは記録していません。

はじめに

モーサヤ書

なぜこの書を研究するのか

モーサヤ書を研究するときに、あなたはイエス・キリストの使命に関する力強い証^{あかし}を読むことになるでしょう。また主によって罪の束縛や物理的な抑圧から救い出された民についても学びます。さらに、ベニヤミン王、アビナダイ、アルマなどの義にかなった働きが人々にどれほど多くの祝福をもたらしたかについても学びます。また逆に、ゼニフやその息子ノア王など、何人かの人々の愚かな選択が彼ら自身とその民にどれほどみじめな結果をもたらしたかについても知るでしょう。

だれがこの書を書いたのか

モルモンは、モーサヤ書を書くためにほかの何人かの記録者の記録を編集し、短くまとめました。その書はベニヤミン王の息子モーサヤの名を取って書名とされました。モーサヤは、預言者、聖見者、啓示者であり、紀元前約 124 年から 91 年までゼラヘムラを治めた王でした。彼はゼラヘムラの王であった祖父モーサヤにちなんで名づけられました（オムナイ 1：12 - 13、19 参照）。

モルモンは多くの記録をもとにしてモーサヤ書を編さんしました。モルモンは、モーサヤがニーファイの大版に記した記録、すなわち、ゼラヘムラの地におけるニーファイ人の歴史の詳細が記された記録を短くまとめ、その記録から引用しました（モーサヤ 1 - 7 章；25 - 29 章参照）。モルモンはまた、ゼニフの記録を基にして、ゼニフの民がゼラヘムラを去ってからゼラヘムラに戻ってくるまでの民の歴史を述べています（モーサヤ 7 - 22 章参照）。さらにモルモンはアルマの記録からも引用し、短くまとめています。アルマは、アビナダイの言葉を書き留めて（モーサヤ 17：4 参照）、自分自身の民の記録を残していました（モーサヤ 18 章；23 - 24 章参照）。

いつ、どこで書かれたか

モーサヤ書を書く際の資料となった記録は、紀元前 200 年から紀元前 91 年の間に書かれたと思われます。モルモンは、紀元 345 年から 385 年の間のある時にこれらの記録から短くまとめてモーサヤ書を書きました。モルモンはこの書をどこで編さんしたかについて記録していません。

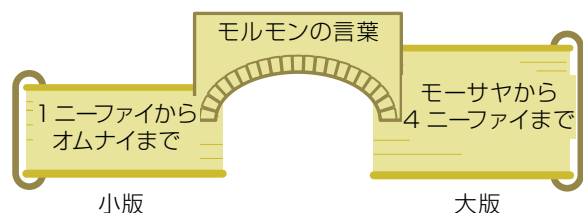
モルモンの言葉 — モーサヤ 2 章

はじめに

モルモンの言葉は、ニーファイの小版とモルモンがニーファイの大版から短くまとめたものの橋渡しの役割を果たしています。イエス・キリストの降誕後 400 年近くたったころに書かれたこの書には、ニーファイの小版がどのようなものであるか、そしてモルモンがなぜその記録をほかの神聖な記録とともに加える必要があると感じたかについて、簡潔な説明が載っています。またモルモンの言葉は、ベニヤミン王が民に対して非常に大きな影響を及ぼしたのはなぜかについて、貴重な理解を提供してくれます。

ニーファイの小版には、おもに霊的な事柄と預言者たちの務めと教えが記されました。ニーファイの大版には、おもにニーファイから始まる王たちによって書かれた民の世俗の歴史が載っていました（1 ニーファイ 9：2－4 参照）。しかし、モーサヤの時代以後は、大版にも霊的に際立って重要な事柄が記されました。

モルモンの版、つまりジョセフ・スミスに渡された金版には、モルモンがニーファイの大版から短くまとめた記事と、多くの解説文が収められていました。この版には、モルモンが書き継いだ歴史と、息子モロナイが付け加えた記事も載っていました。



モーサヤ 1 章はベニヤミン王がその息子たちに与えた教えの記録です。ベニヤミン王は息子たちに、聖文は神のことを心に留め、神の戒めを守るのに助けになると教えました。人生の終わりに近づいたとき、ベニヤミン王は民に王としての自分の務めについて語り、神に従うように励ましたいと望みました。ベニヤミン王の言葉はモーサヤ 2－5 章に記録されていて、その中ではキリストの苦しみと贖罪、正義と憐れみの役割、聖約によってキリストの名を受けることの必要性が述べられています。説教の冒頭で、モーサヤ 2 章に記録されているように、ベニヤミン王はほかの人のために奉仕することによって神に仕えることが必要であることと、戒めを守る人の幸福な状態を強調しました。



モルモンの言葉 1：1－11

モルモン、神がある賢明な目的のために様々な記録を残してこれたと教える

何かを行うよう御霊に促されたときのことについて考えてください。もしその促しに従ったならすべてのことがどのような結果となるか、あなたには分かっていたでしょうか。促しに従って行動しようというあなたの決意と自信はどこから来るものだったでしょうか。

預言者モルモンは、ニーファイの版に記されてきた自分の民の記録を短くまとめるように神から命じられました。紀元約 385 年、モルモンは、自分が短くまとめた記録を息子のモロナイに渡そうとしたときには、どのような結果になるかはわかりませんでしたが、促しに従いました。

モルモンはいろいろな記録を調べていたときに、あるものを見つけました。モルモンの言葉 1：3 を読み、モルモンが見つけたものを確認しましょう。（「この版」とは、1 ニーファイからオムナイまでが収められていたニーファイの小版を指しています。）モルモンの言葉 1：4－6 を読み、モルモンがこの小版に書き記されていることを知って喜んだのはなぜか、聖典に印を付けるとよいでしょう。

モルモンの言葉 1：7 を読み、モルモンがニーファイの版を短くまとめた自分の記録にこの小版を加えたのはなぜかを調べましょう。次の原則が述べられている箇所印を付けるとよいでしょう。「主は……すべて御存じである。」この

真理を理解し信じることによって、聖霊の促しを受けたときに従う信仰をはぐくむことができます。

主はニーファイに、小版を造って民の中での神聖な事柄を書き記すように命じておられました（1ニーファイ9：3参照）。その当時、ニーファイは次のように述べています。「主はある賢明な目的のために、わたしにこの版を造るように命じられたが、その目的はわたしには分からない。」（1ニーファイ9：5）

この目的は何世紀も後、1828年に預言者ジョセフ・スミスが金版を翻訳し始めたときに明らかにされました。ジョセフは最初、ニーファイの大版をモルモンが要約した記録から116ページの原稿を翻訳しましたが、その後、ジョセフがマーティン・ハリスに原稿の持ち出しを許したときに、原稿は紛失したか、盗まれてしまいました。主はジョセフに、紛失したページの言葉を悪人が書き換え、それによってモルモン書の信頼性を傷つけようと企てているので、紛失した部分を再び翻訳してはならないと告げられました。主は、同じ期間のことについて述べている、小版に書き記されている歴史を翻訳するようジョセフに言われました。この歴史は神聖な事柄にいっそう焦点を合わせたものでした。（教義と聖約10：10、41－43参照。1ニーファイ9：3－4も参照。）

この経験は、主が将来起こることをすべて御存じであるということを示す大きな証拠です。主は小版に書き記されている歴史が必要となることを御存じであって、モルモンが短くまとめていたものにその版を含めるようにモルモンを促されたのでした。

この真理を知っていると、御霊の促しを受けたときにどのような助けとなるでしょうか。



1. あなたかあなたの知っている人が、最初は聖霊からの促しの意味を理解できなくてもその促しに従って行動したときのことについて、聖典学習帳に書きましょう。主の促しに気づいてこたえられるように、どうすればもっとよく備えられると思うかを書きましょう。主の御霊の促しに忠実でいるとき、主が「御自分の御心どおりに行うように〔あなたに〕働きかけられる」ことを覚えておきましょう（モルモンの言葉1：7）。

モルモンの言葉 1：12－18

ベニヤミン王、レーマン人を破り、義をもって統治する

ベニヤミン王は、レーマン人との戦争や自分の民の中で起こった教義上の論争など、統治の間にたくさんの障害に直面した、義になかった王でした。ベニヤミン王はニーファイ人の軍隊を率いて、「主の力を頂いて」敵と戦い、ついに地に平和を確立しました（モルモンの言葉1：13－14参照）。また大勢の「聖なる人」の助けを受けながら、民の中に論争を引き起こしていた偽預言者や偽教師を叱責し、それによって、義がもたらす平和も確立しました（モルモンの言葉1：15－18参照）。

モルモンの言葉1：12－18を読み、次の真理を最もよく教えている節の番号を空欄に書きましょう。

- 主は数々の困難にもかかわらず民を平和へと導くことのできる預言者を召される。 _____



- わたしたちは預言者の靈感に基づく指導に従うことによって平和を見いだすことができる。 _____
- わたしたちは主の力によって問題を克服することができる。 _____

モーサヤ 1:1-18

ベニヤミン王、息子たちに聖文が大切であることを教える

もし聖典を手にしたことがなく、読んだり、研究したり、そこから教わったりする機会がなかったとしたら、あなたの生活がどのようなものになっているか想像してみましょう。

ベニヤミン王は息子たちに、もし聖文がなかったならば彼らの生活がどのようなものになっていたかを教えました。モーサヤ 1:3-5 に記録されているように、ベニヤミン王は息子たちが聖文の大切さを理解できるよう助けるために、「これらのもの〔聖文〕がなかったならば」といった表現を 3 度用いています。



2. モーサヤ 1:1-8 を読み、もし聖文がなかったならニーファイ人が失っていたと思われる祝福を探しましょう。学んだことを、オムナイ 1:17-18 と比較してください。聖典学習帳に、次の言葉を完成させた文を 3 つか 4 つ書きましょう。「もしわたしに聖文がなかったなら、……。」

聖典のモーサヤ 1:1-8 のそばに次の原則を書き込むとよいでしょう。「聖文を調べることは戒めを知って守るのに助けとなる。」

ベニヤミン王は民に、戒めに忠実であることの大切さを教え、「主の厚い恵みを受け〔た〕」後に邪悪になった人々にどのようなことが起こったかを説明しました（モーサヤ 1:13）。モーサヤ 1:13-17 を読み、モーサヤ 1:13 をアルマ 24:30 と比べましょう。次に、主に背を向ける人々に起こる結果を 5 つ以上挙げてください。聖典に書かれているそれらの結果に印を付けるか、番号を振るとよいでしょう。

モーサヤ 2:1-41

ニーファイ人、ベニヤミン王の言葉を聞くために集まる

モーサヤ 2:1-9 を読み、次の質問に対する答えを書きましょう。

- だれが集まりましたか。 _____
- どこに集まりましたか。 _____
- 大勢の群衆がベニヤミン王の言葉を聞けるように、どのようなことが行われましたか。 _____

ベニヤミン王の人柄について理解を深めるために、モーサヤ 2:11-15 を読み、ベニヤミン王が地位を得ることや



人に認められることよりも、義を行うことや奉仕することに関心を注いでいたことを示している言葉を見つけましょう。



次に、ハワード・W・ハンター大管長の次の言葉について深く考えてください。「地位に対して意識過剰にならないでください。『上座』や『上席』を好んだ人々に対して主がどのような助言をお与えになったかを思い出してください。『あなたがたのうちでいちばん偉い者は、仕える人でなければならない。』（マタイ 23:6, 11）感謝を受けることも大切ですが、わたしたちの関心は義を行うこと、奉仕することになければなりません。人に認められ、地位を得ることへ関心が注がれてはなりません。」（「教会の姉妹たちへ」『聖徒の道』1993 年 1 月号, 109）

モーサヤ 2:16-17 を研究し、ベニヤミン王から学べる奉仕についての次の原則に印を付けましょう。「ほかの人々のために務めるのは神のために務めることである。」（モーサヤ 2:17 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくといよいでしょう。）

だれかが奉仕によってあなたの生活に祝福をもたらしてくれたときのことに考えてください。義のうちにあなたと神に仕えた人について、あなたはどのように神に感謝を示したでしょうか（または、示すことができるでしょうか）。その人に対してどのように感謝を示したでしょうか。

ほかの人々のために奉仕することの必要性について民に教えた後、ベニヤミン王は神がわたしたちに授けてくださっている様々な祝福と、わたしたちが神に感謝する必要があることについて教えました。



3. モーサヤ 2:19-24, 34 を研究し、神があなたに授けてくださっている様々な祝福について考えましょう。神への感謝をどのように示すことができるか考えてください。その後、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ベニヤミン王が自分自身とその民のことを「ふつつかな僕」と言ったのはなぜでしょうか。

b. わたしたちは自分が神に恩を受けていることを覚えておくことが大切です。それはなぜでしょうか。

ベニヤミン王の言葉から次のことが学べます。「神に恩を受けていると思うとき、ほかの人々のために務めたいと思い、また感謝の気持ちが増す。」

モーサヤ 2:34 でベニヤミン王は、わたしたちは自分の持ち物と能力をすべて神に「ささげる」べきであると教えています。「ささげる」とは、「差し出す、提出する」という意味です。聖典の中のこの言葉のそばに、その意味を書いておくとよいでしょう。自分の持ち物と能力をすべて神にささげることができる方法を考えてください。わたしたちが神の戒めを守り、心を込めて奉仕するように努めるとき、神はわたしたちを祝福してくださいます。

モーサヤ 2 章の最後の部分には、ベニヤミン王が民に与えた重要な警告が載っています。「気をつけなさい」とあなたに告げている標識を見たことがありますか。（例えば、高電圧線や落石、野生動物、強い潮の流れについて警告する標識などが考えられるでしょう。）モーサヤ 2:32–33, 36–38 を読み、ベニヤミン王が何に気をつけるように民に告げているかを調べましょう。（33 節にある「災い」とは、「悲しみ、不幸」という意味です。）「公然と神に背く」人々（37 節）、すなわち故意に神の戒めを破る人々にどのようなことが起こるかを書き述べて文を書きましょう。

次の言葉を読みましょう。「ある人々は故意に神の戒めを破り、後で悔い改めようと考えます。例えば、神殿に参入したり伝道に出たりする前まで悔い改めを引き延ばすのです。そのようにして故意に罪を犯すことは救い主の贖罪をあざけることです。」（『若人の強さのために』〔小冊子〕29）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、御霊から身を引きつつあるときに、そのことを自覚することの重要性について述べています。



「わたしたちは自分が『主の御霊から身を引いて……』（モーサヤ 2:36）

「標準は明らかです。もし何かを思ったり、見たり、聞いたり、行ったりすることが自分を聖霊から遠ざけるならば、それを思ったり、見たり、聞いたり、行ったりするのをやめるべきです。もし例えば娯楽を目的としたものがわたしたちを聖なる御霊から遠ざけるならば、そのような娯楽は確かにわたしたちにふさわしくありません。御霊は低俗なものや下品なもの、みだらなものに耐えることができないので、明らかにそのような事柄はわたしたちにふさわしくありません。避けるべきだと分かっている活動にかかわるとき、主の御霊を遠ざけます。」

ですからそのような事柄は確かにわたしたちにふさわしくありません。」（『いつも主の御霊を受けられるように』『リアホナ』2006 年 5 月号, 30）

人々が御霊から身を引くときに失うもの、時には自覚さえなく失うものについて深く考えてください。モーサヤ 2:40–41 を読み、ベニヤミン王がわたしたちに考えてほしいと望んだものと、思い起こすように望んだものを見つけましょう。



4. 聖典学習帳に――

a. 主に従順であるならば、物質的にも霊的にも祝福を受けることをあなたに教えてくれた経験を幾つか書きましょう。

b. あなたの生活の中で、もっと神の戒めに従順でありたいと思う分野の一つを選びましょう。その分野で進歩するための目標の一つ書きましょう。

マスター聖句―モーサヤ 2:17

マタイ 22:36–40; 25:40; およびモーサヤ 2:17 を読みましょう。これらの聖句を相互参照することによって、聖句リストまたは聖句の鎖を作りましょう。この聖文研究の方法は、意味を明確にし、理解を広げるのに役立ちます。

今あなたが結びつけた聖句にどのようなつながりがあるかを説明してください。

次の質問について深く考えましょう。

- あなたが、ほかの人々に奉仕することによって神に仕えていると感じたのはいつですか。
- あなたの周りにいるだれかのために、もし主がここにおられたらなさるであろうことで、具体的にどのようなことができるでしょうか。



5. モーサヤ 2:17 の暗記に取り組んだ後、何も見ないで聖句を聖典学習帳に書きましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン言葉―モーサヤ 2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

モーサヤ 3 章

はじめに

ベニヤミン王は、民への説教を続け、イエス・キリストの教導の業について天使から告げられた言葉を伝えた。罪を犯した人々はイエス・キリストを信じる信仰と悔い改めによって救いを得ることができるとベニヤミン王は証した。また聖なる御霊の勧めに従う人はイエス・キリストの贖罪によって生まれながらの人に打ち勝つことができるとも教えました。

モーサヤ 3：1－10

ベニヤミン王、キリストの贖罪についての天使の言葉を述べる



水が幸福を表すとすれば、コップにどのくらいの水を入れるか描きましょう。



ただ味見をしたいだけだとしたらコップにどのくらいの水を入れるか描きましょう。



渇きを癒したいと思ったらコップにどのくらいの水を入れるか描きましょう。

モーサヤ 3 章を研究しながら、「胸躍る大いなる喜びのおとずれ」の源を調べましょう（モーサヤ 3：3）。

モーサヤ 3：1－5 を読み、天使がベニヤミン王に語ったことを調べましょう。天使は、ベニヤミン王の民には喜びに満たされてよい理由があると告げました。

天使の言葉には、ニーファイ人を喜びで満たすどのようなメッセージが含まれていたのでしょうか。_____

モーサヤ 3：5－10 を読み、救い主とその務めについて述べている言葉で、地上での救い主の務めに対するあなたの理解を深めてくれるものに印を付けましょう。



1. 印を付けた言葉を二つ選び、その言葉が、救い主の務めに対する理解と感謝の気持ちを深める助けとなるためにどのようなことを教えてくれているか、聖典学習帳に書きましょう。

モーサヤ 3：5－10 ではたくさんの教義と原則が教えられています。最も重要な教義の一つがこれです。「イエス・キリストは苦しみを受けて、わたしたちが罪から救われるようにしてくださった。」この教義を、聖典のモーサヤ 3：7－9 のそばに書き込んでおくとよいでしょう。

モーサヤ 3：7－9 を読んでから、ルカ 22：44 と教義と聖約 19：16－18 を読みましょう。モーサヤ 3 章から、さらにどのような理解が得られるでしょうか。モーサヤ 3 章は、わたしたちが救い主に起こったことを十分に理解できるように、どのような助けを与えてくれるのでしょうか。

十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老の次の言葉を読みましょう。タルメージ長老はゲツセマネの園での救い主の苦しみについて述べています。



「ゲツセマネの園におけるキリストの苦悶は、その大きさにしても原因にしても、人間の心では計り知れないものである。……イエスは、これまでこの世に生を受けた人が、考えつくこともないような重荷の下に苦悶し、うめかれた。イエスに、あらゆる毛穴から血が吹き出るほどの苦痛を与えたのは、肉体の苦しみでもなければ、心の苦しみでもなく、それは神だけが経験することのできる、身と霊の両方にかかわる霊的な苦悩であった。……その苦悩のときに、イエスは、『この世の君』〔ヨハネ 14：30〕、すなわちサタンが加えることのできるあらゆる恐怖に立ち向かい、これに打ち勝たれたのである。……」

人間には理解できないが、実在する非常に現実的なある方法によって、救い主はアダムからこの世の終わりに至るまでの人類の罪を御自身に引き受けられた。」（『キリスト・イエス』594－595）



2. 聖典学習帳に、イエス・キリストが救い主であることを知る助けとなった経験について書きましょう。この経験を思い起こすとき、どのような形であなたの生活に喜びが増し加えられるでしょうか。

モーサヤ 3：11－27

ベニヤミン王、生まれながらの人を克服する方法について述べる

ベニヤミン王は引き続き民に教えを授け、贖罪がどのように神の子供たちを祝福するかを教えました。また、わたしたちが救い主の贖罪によって、どうすれば生まれながらの人を克服して聖徒になることができるかについても教えました。

贖罪がどのように神の子供たちを祝福するかについて理解を深めるために、次の聖

経験を思い起こす

これまでにあった霊的な経験について思い巡らすとき、あなたの学んだことが真実であることを聖霊が再びあなたに証してください。そうした経験を日記に書くことによって、自分の人生の中で主の御手が示されたことを覚えておきたいという望みを主に示すことができ、それらの経験を思い起こす助けになります。



句を読み、その節で、どのような人がイエス・キリストの贖罪によって祝福を受けると証されているかを書きましょう。

- モーサヤ 3:11 _____
- モーサヤ 3:16 _____

次のことを理解しておきましょう。イエス・キリストは福音を知らない人々、無知のままで死んだ人々の罪を贖あがなわれましたが、そのような人々は依然として、救いを得るためには霊界で悔い改め、イエス・キリストを信じる信仰を働かせなければなりません（教義と聖約 131:6; 138:31-34）。また、子供たちは神の目から見て罪がない状態で生まれ、サタンには彼らを誘惑する力がないことを主が明らかにしておられます。8歳になって責任を負うことができるようになるまで、幼い子供たちはイエス・キリストの贖罪によって救われていて、悔い改めやバプテスマの必要はありません（モロナイ 8:8-15; 教義と聖約 29:46-47; 137:10 参照）。

わたしたちはイエス・キリストの福音について自分が得ている知識に基づいて行動しなければなりません。モーサヤ 3:12-13 を読み、「イエス・キリストを信じる信仰を

働かせて悔い改めるとき、罪から救われ、喜びを味わうことができる」ことを教えている言葉に線を引きましょう。

「幸福」で満たされたコップの絵を思い出してください。喜びは救い主の使命と贖罪を理解することによってもたらされると告げた天使の言葉を思い起こしましょう（モーサヤ 3:4-5 参照）。この絵と反対のものを理解するために、モーサヤ 3:24-27 を読みましょう。悔い改めないという選択をする人々が裁きの日に何を飲むことになるかに線を引きましょう。

イエス・キリストを信じる信仰を働かせず、悔い改めないという選択をする人々にはどのようなことが起こるでしょうか。 _____

救い主の贖罪と、悔い改めて救い主を信じる信仰を持つことの必要性について民に教えた後、ベニヤミン王は、贖罪によって自分の性質の罪深い部分を捨てて聖徒になるにはどうすればよいかを民に教えました。

モーサヤ 3:19 を読み、意味が分からない語句をすべて挙げてください。この聖句のそばに、3つの定義を書き込んでおくとよいでしょう。「生まれながらの人」とは、聖なる御霊の促しよりも、激情、情欲、欲望に影響された選択をする人です。「従う」とは、だれかに、または何かに服従することです。「勧め」とは、説得力のある、または心地よい招きです。モーサヤ 3:19 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。

 **3.** 聖典学習帳に「生まれながらの人を捨てるために」という見出しを書きましょう。この見出しの下に、「生まれながらの人」を克服するためにわたしたちが行わなければならないとモーサヤ 3:19 で教えられていることのリストを作りましょう。現在あなたが最も取り組む必要があると感じる一つの行いに丸をつけてください。その行いを実践するための計画を立てましょう。

モーサヤ 3:19 で教えられている原則の一つは、もし聖なる御霊の勧めに従うならば、わたしたちはキリストの贖罪によって生まれながらの人を克服することができる、ということです。

あなた自身の言葉で言うと、「聖なる御霊の勧めに」従うとはどういう意味でしょうか。 _____

生まれながらの人を捨てることについて、十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老の次の言葉を読みましょう。「個人の義と礼拝、祈り、聖文の勉強は、『生まれながらの人を捨て』るために非常に重要です（モーサヤ 3:19）。」（「世の誘いと誘惑」『リアホナ』2001年1月号、44）

 **4.** 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「あなたは生活の中で、どのような方法で聖なる御霊の勧めに従おうとしているでしょうか。」



5. あなた自身の生活の中で「聖なる御霊の勧めに」さらによく従うためにどのようなことができるでしょうか。今週この分野において進歩できるように、聖典学習帳に目標の一つ書きましょう。モーサヤ3:19で挙げられている、わたしたちが子供になるための助けとなる特質の一つに取り組むとよいでしょう。例えば、もっと従順になる、または柔和に、謙遜に、忍耐強く、愛にあふれた者になる、主があなたに「負わせるのがふさわしいとされる」すべてのことに喜んで従う、など。



6. 聖典学習帳に、あなたの生活の中に存在する、あなたが御霊の勧めに従うのを妨げる障害をいくつか書きましょう。

マスター聖句—モーサヤ3:19



7. モーサヤ3:19を暗記できるように、この聖句に3度、目を通すとよいでしょう。繰り返すことによって、聖句の内容についてよく理解することができます。その後、聖典学習帳に、この聖句の言葉またはこの聖句に含まれている概念を、聖典を見ないで思い出せるかぎり書いてみましょう。歩いているときや運動しているとき、寝る準備をしているときなどに、聖句を何度も声に出して繰り返してみましょう。何日か続けることによって、この聖句で教えられている重要な原則を覚え、思い起こすことができるでしょう。



8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ3章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元11—第3日

モーサヤ4章

はじめに

ベニヤミン王の教えは、王の言葉を聞いた人々に大きな影響を及ぼしました。これらの人々は贖罪を信じる信仰を働かせ、悔い改め、罪の赦しを受けました。その後、ベニヤミン王は罪の赦しを保つために何を行わなければならないかを民に教えました。わたしたちは自分の救いについて神に完全に依存しているので、物乞いのようにであると言いました。わたしたちは絶えず自分の思いと行いと振る舞いに注意を払わなければならないとベニヤミン王は警告しました。

モーサヤ4:1-8

集まった群衆、御霊に圧倒され、罪の赦しを受ける

友達から次のように尋ねられたと想像してみましょう。「ある罪について自分が赦されたかどうか、どうすれば分かるの？」あなたならどのように答えるでしょうか。

モーサヤ4:1-3を研究し、友達の質問に答えるのに役立つ概念を探しましょう。あなたならどのように答えるかを書きましょう。

この聖句で教えられている原則の一つは、「イエス・キリストを信じる信仰を働かせて心から悔い改めるとき、罪の赦しを受ける」ということです。そのような悔い改めは、喜びと良心の安らぎを得るための重要な要素です。

一般に、わたしたちはだれかから質問を受けると、答えを提供したいと思います。今回は、友達の質問にどのように答えればよいかを考えながら、この質問に対してどのように質問で答えることができるか考えてみましょう。モーサヤ4:1-3と、七十人名誉会員のF・パートン・ハワード長老の次の言葉について深く考えてください。「心から悔い改めるなら、心に平安を感じます。長い間あなたが背負っていた重荷が急になくなって、赦されたことが分かるのです。ほんとうに自分でそれが分かるのですよ。」（『悔い改め』『聖徒の道』1983年7月号、104）

自分が赦されたとどのように分かるのかを友達が見いだせるように、友達にどのような質問をするとよいか考えましょう。

どのような質問をすればよいか考えるとき、モーサヤ4:1-3に出てくる2つの言葉を理解しておくといよいでしょう。自分が「この世的な状態」にあると思うとは、自分の墮落した状態または世俗的な状態を認めるという意味です。自分が「大地のちりよりも劣っている」と思うとは、大地のちりは神の命令に従うが（ヒラマン12:7-8参照）、神の子供たちは必ずしも神の命令に従わないという意味です。

友達の質問に対して、例えば次のような質問で答えることができるでしょう—「自分の罪を悔い改めたことについて考えるとき、あなたは良心の安らぎを感じる？ 喜びに満たされる？」



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. ベニヤミン王の民は「イエス・キリストを深く信じたため」に赦しを受けました（モーサヤ4:3）。モーサヤ4:1-2には、民の信仰を示すどのような行いが記録されているでしょうか。モーサヤの民の態度や感情に似たものとして、あなたにはどのような態度や感情が見られるべきでしょうか。

b. 罪の赦しを求めるとき、イエス・キリストを信じる信仰をどのように働かせることができるでしょうか。

民の悔い改めた態度を目にした後、ベニヤミン王は救いを得るために行わなければならないことを民に幾つか教え

ました。モーサヤ4:4-8を読み、わたしたちが救いを得るために行わなければならないことを探しましょう。

ベニヤミン王が述べたことをあなたがどのように実行しようとしているかについて説明するか、例を挙げましょう。

「主に頼〔る〕」— _____

「主の戒めを熱心に守〔る〕」— _____

「生涯の最後まで信仰を持ち続ける」— _____

モーサヤ4:9-30

ベニヤミン王、罪の赦しを保つ方法を教える

ニーファイ人が罪の赦しを受けた後、ベニヤミン王はその清く純粋な状態をどのように保てばよいかを民に教えました。モーサヤ4:9-11, 26, 28, 30を調べ、罪の赦しを保つためにわたしたちが何を信じ、行う必要があるかを調べましょう。見つけたことを次の表に書きましょう。

罪の赦しを続けて受ける	
信じる	行う

モーサヤ4:9-30に記録されているように、ベニヤミン王は民に多くのことを教えました。しかし、ベニヤミン王が教えた最も重要な原則の一つは、「神の前にへりくだり、キリストのような属性をはぐくもうと努力するならば、罪の赦しを保つことができる。」ということです。

2. ベニヤミン王は、わたしたちは「神を信じ」（モーサヤ4:9）、「神の偉大さ」をいつも覚えなければならないと教えました（モーサヤ4:11）。聖典学習帳に、あなた自身かあなたの知っている人の経験で、神が実在の御方であり、力をお持ちであり、あなたを愛しておられることを実感した出来事について書きましょう。神の力と慈しみと愛を理解し、覚えておくことが大切なのはなぜだと思いますか。これらのことを覚えていることはあなたの生活にどのような影響を及ぼすでしょうか。

ベニヤミン王は、罪の赦しを保とうと努力している人々の行動について述べました。モーサヤ4:12-16を研究し、ベニヤミン王が挙げた幾つかの行動を学びましょう。

3. 聖典学習帳に、ベニヤミン王が述べた行動が、人が罪の赦しを保とうと努力していることをどのように示しているかを書きましょう。人が罪の赦しを保とうと努力していることを示している行動を、ほかにも幾つか挙げるこ

とができますか。助けを必要としている人をこれまでにどのような方法で助けてきたか、一つ以上挙げてください。

ベニヤミン王は、だれもが自分の持っているすべてのものについて完全に神に依存していることから、わたしたち一人一人を物乞いになぞらえています。このたとえを通して、わたしたちは自分が主から受けている祝福を正しく認識することができます。モーサヤ4:19-21を読み、わたしたち一人一人が神の目から見てどのような点で物乞いのようなかを調べましょう。

自分が神に依存していることについて考えてください。今、あなたが天の御父に感謝できる一つの祝福は何でしょうか。

わたしたちは絶えず神の助けを必要としているということを知った後、ベニヤミン王はわたしたちに、自分に助けを求めてきた人々にどのような態度を取るべきかについて考えるように言いました。モーサヤ4:26-27を研究し、わたしたちは助けを必要としている人々にどのような態度を取るべきかを調べましょう。

4. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。「モーサヤ4章にあるベニヤミン王の教えを覚えておくことによって、霊的または物質的に助けを必要としている人々に対してどのようにもっと憐れみ深くなることができるでしょうか。」

5. 少し時間を取って、今日研究した聖句について深く考えましょう。ベニヤミン王の教えから学んだ事柄に基づいて、自分が何を行うべきかについて聖霊による印象を感じたでしょうか。聖霊により受けた印象を聖典学習帳に書きましょう。

主があなたを深く愛しておられることを忘れないでください。何であろうと悪事を悔い改めて、救い主の模範に従おうと最善を尽くすとき、あなたは罪の赦しを保つことができます。

マスター聖句—モーサヤ4:30

モーサヤ4:30を声に出して読みましょう。あなたの思いと言葉と行いにはどのような関係があるでしょうか。



受けた印象を書き留める

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、受けた印象を書き留めるようわたしたちに勧めています。「御霊によって学んだ大切な事柄を書き留めて、なくさない所に保管しておきましょう。大切な印象を書き留める習慣を身に付けるなら、さらに御霊を受けている自分に気づくことでしょ。皆さんが得るそれらの知識は人生のあらゆる場面で活用することができます。昼も夜もどこにいても何をしているときも、御霊の導きに気づいて、それにこたえる心構えを常に持ってください。」（「知識と強さを得て、賢明に用いる」『リアホナ』2002年8月号、14）

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこの関係について次のように述べています。「清い思いについて考えてください。清い思いについて考える人は汚れた行いをしません。皆さんは自分の行いについて神の前に責任があるだけでなく、皆さんの思いをコントロールすることについても責任があります。……思いをまいて行いを刈り取り、行いをまいて習慣を刈り取り、習慣をまいて人格を刈り取り、人格があなたの永遠の行く末を決めるとい、昔の格言は今もなお真実です。『ひととなりは、その心に思うそのままである。』」（箴言23:7参照）」（Conference Report, 1964年10月、60）



6. 思いをコントロールすることを学ぶにつれて、言葉と行いにおいてもっとキリストのような人になるという祝福を刈り取る

ことになります。聖典学習帳に、あなたの思いをコントロールし、よりキリストのような思いを保つ方法の一つ以上書きましょう。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ4章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元11—第4日

モーサヤ5－6章

はじめに

モーサヤ5章では、モーサヤ2章で始まったベニヤミン王の民への説教が終わります。民はベニヤミン王の言葉を信じた結果として、心に大きな変化を生じました。そして、神と聖約を交わし、イエス・キリストの御名を受けました。モーサヤ6章に記録されているように、ベニヤミン王は王国を息子のモーサヤに譲り、モーサヤはその父が示した模範に従って国を治めました。

モーサヤ5:1－4

ベニヤミン王の民、大きな変化を経験する

次の質問について考えましょう—「自分自身について何か変えることができたかと思ったことがあるでしょうか。そのことについて、どのようなことを行ったでしょうか。」

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、わたしたち一人一人が人生において大きな変化を経験する必要があることについて次のように述べています。「イエス・キリストの福音の真髄には、わたしたちの性質の根本的で永続的な変化が伴います。この変化は『聖なるメシヤの功德と憐れみと恵み』に頼ることによって可能となります（2ニーファイ2:8）。主に従うことを選ぶとき、わたしたちは自分が主によって変えられること、すなわち霊的に新しく生まれることを選んでいるのです。」（「あなたがたは再び生まれなければならない」『リアホナ』2007年5月号、20）

聖典のモーサヤ5:2のそばに次の言葉を書き込んでおくといでしょう—「主に従うことを選ぶとき、わたしたちは自分が主によって変えられることを選んでいるのです。」

イエス・キリストに従うことを選ぶとき、どのように変えられることを選んでいると思いますか。

ベニヤミン王の説教のおもなテーマを思い出すために、モーサヤ3章とモーサヤ4章の前書きを読みましょう。説教の終わりに、ベニヤミン王は自分がイエス・キリストの贖罪について教えてきた言葉を信じているかどうかを民に尋ねました（モーサヤ5:1参照）。モーサヤ5:2－4を読み、王の言葉に耳を傾けた後、民の心の中で何が変化したのかを調べましょう。読むときに、「性癖」（モーサヤ5:2）とは個人の態度や望みや気質を指していることを知っておくといでしょう。



デビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を読みましょう。「イエス・キリストの福音は、生活の中の罪や悪影響を避けたり、克服したり、清めたりすることだけにとどまらず、善を行い、善良な者となり、より善い人になりたいという思いを必然的に伴います。……聖なる御霊によって心に変化が生じ、ベニヤミン王の民のように『悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように』なることこそ（モーサヤ5:2）、わたしたちが聖約により受け入れた責任です。この大きな変化は、単に、これまで以上に働いたり、自己を鍛錬したりした結果としてもたらされるものではありません。それはむしろ、わたしたちの望みや動機、性質が根本的に変化することによって生じるものなのです。これは主なるキリストの贖いにより可能になります。わたしたちの霊的な目的は、罪と、罪を犯したいという望みの両方……を克服することなのです。」（「手が清く、心のいさぎよい者」『リアホナ』2007年11月号、81－82）



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 心の中に「大きな変化」を経験するとはどういう意味だと思いますか（モーサヤ 5：2）。
- イエス・キリストに従うことを選ぶとき、自分の振る舞いだけでなく性癖を変える必要があるのはなぜでしょうか。
- わたしたちの中で変化が起きるためにはイエス・キリストの贖罪が必要です。それはなぜだと思いますか。

モーサヤ 5：2、4 を研究し、何が民の心の中に大きな変化を起こしたのか探しましょう。それらのことに印を付けるとよいでしょう。ベニヤミン王はイエス・キリストの贖罪の力について語り、民はその言葉を深く信じたということを思い起こしましょう。

これらの節から学べる原則の一つは、「わたしたちはイエス・キリストを信じる信仰を働かせて聖なる御霊を受けるときに、心の大きな変化を経験できる」ということです。



2. モーサヤ 5：1－4 と先ほど学んだ原則について研究したことを踏まえて、救い主を信じる信仰をより働かせるためにあなたができることを、聖典学習帳に書きましょう。信仰をより働かせることにより、生活の中で心に大きな変化が生じるように促し、その変化を保てるようにするために、今日から具体的にどのようなことができるでしょうか。

モーサヤ 5：5－15

ベニヤミン王の民は神と聖約を交わし、新しい名を与えられる

心に大きな変化を経験した後、ベニヤミン王の民は主と聖約を交わすことを望みました。モーサヤ 5：5 の中で、この聖約を交わして守ることに対するベニヤミン王の民の決意の強さを示している語句を見つけましょう。

わたしたちが神と聖約を交わすときには、神が聖約に関する条件をお定めになり、わたしたちはその条件に同意します。すると神は、わたしたちの従順さに対して特定の祝福を約束してください（教義と聖約 82：10 参照）。聖約を交わすことは、わたしたちが主に仕えたいと心から望んでいることを主に示す一つの方法です。



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- モーサヤ 5：5 の中で、わたしたちが聖餐を取る度に更新する約束を思い起こさせてくれる言葉はどれでしょうか。
- 聖約を交わして守ることによって、大きな「心の変化」を保つためのどのような助けが得られると思いますか。

前に戻ってモーサヤ 1：11－12 を読みましょう。ベニヤミン王が民を集めた目的の一つは、民に一つの名を与えることでした。モーサヤ 5：6－7 を読み、民が主と聖約を交わした後でベニヤミン王が民に与えた名に印を付けましょう。

これらの節では、次の原則が教えられています。「わたしたちは神聖な聖約を通してイエス・キリストの名を受ける。」モーサヤ 5：8－14 を読み、イエス・キリストの名を受けることがわたしたちにとって必要であるのはなぜかを調べましょう。

イエス・キリストの名を心に記しておくことで、どのような祝福がもたらされるでしょうか。_____

その名があなたの心やだれかの心から「消えてなくな[る]」とすれば、どのような原因が考えられるでしょうか。_____

モーサヤ 5：15 を読み、聖約を守る人に主が与えておられる約束を探しましょう。



4. 聖典学習帳に、自分の心にイエス・キリストの名が記されていることについて思うときどのように感じるかを書きましょう。この名を保ち、決して失いたくないとあなたが思う理由を一つ以上書きましょう。

モーサヤ 6：1－7

モーサヤ、王として統治を始める

モーサヤ 6：3 を読み、ベニヤミン王が群衆を解散させる前に行ったことを見つけましょう。

民が自分たちの交わした聖約を思い起こせるように助けるため、ベニヤミン王はどのようなことを起こったでしょうか。_____



5. 聖典学習帳に、あなたが聖約を守れるように神権指導者や教師がどのように助けてくれているかを書きましょう。

ベニヤミン王は説教を行った 3 年後に世を去りました。モーサヤ 6：6－7 を読み、モーサヤ王が義にかなった指導者としての父の模範にどのように従ったかを調べましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 5－6 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

モーサヤ 7－8 章

はじめに

モーサヤ王はベニヤミン王の息子であり、ベニヤミン王はモルモン書に最初に登場するモーサヤの息子でした。モーサヤが王になる約 80 年前、ゼニフという名前の人物がニーファイの地に戻って暮らそうと、ニーファイ人の一団を率いてゼラヘムラを出発しました（オムナイ 1：27－30 参照）。モーサヤ 7 章では、モーサヤ王がアンモンという名前の「屈強な力の強い男」（モーサヤ 7：3）と少数の人々に、ニーファイの地（リーハイ・ニーファイの地と呼ばれることもあります）を旅してゼニフの一団がどうなったかを調べるのを許可したことが説明されています。アンモンはゼニフの民の子孫を発見しました。彼らはゼニフの孫であるリムハイに率いられていました。アンモンがやって来たことはリムハイとその民に希望をもたらしました。彼らは自分たちの罪悪のためにレーマン人の奴隷となっていたのです。以前にリムハイの民のある者たちが助けを求めようとしてゼラヘムラを探しに行ったときに、文字の刻まれている 24 枚の版を見つけていました。刻まれた文字を翻訳できるカリムハイに尋ねられたアンモンは、モーサヤ王のような聖見者は昔の記録を翻訳することができると説明しました。

モーサヤ 7－24 章の概観

嫌な気持ちやつらい状況、困難な環境や過酷な環境、または罪による罪悪感から解放されたいと思ったことがありますか。モーサヤ 7－24 章の中に出てくる人々の経験を研究することにより、解放について学ぶことができます。解放をどこに求め、どのように請い、さらにはどのように待ち望めばよいかさえも教えてくれます。あなたに重くのしかかっているものから解放されたいという望みを含め、ゼニフの民とその子孫の物語をあなた自身の生活にどのように当てはめることができるかに注意しましょう。

モーサヤ 7 章を研究する前に、モーサヤ 7－24 章に記録されている様々な旅についてよく理解しておくといでしょう。次の活動は、約 80 年の間（紀元前 200 年から紀元前 120 年まで）にあった旅の概要まとめたものです。表には旅と旅の間の出来事が説明されています。



モーサヤ 7:1 – 8:4

アンモン、ニーファイの地（リーハイ・ニーファイの地）を見つける。リムハイ王、自分の民が奴隷の状態に陥ったいきさつを述べる

モーサヤ 7 章では、80 年前にゼニフがニーファイの地へ率いて行った民の消息を知るために、アンモンと 15 人の屈強な男たちがゼラヘムラを出発しました（モーサヤ 7:2 参照。地図の旅 5 も参照）。ニーファイの地に着くと、アンモンと 3 人の同僚は捕えられ、牢に入れられてしまいました（モーサヤ 7:6 – 11 参照）。2 日後、彼らは牢から出され、ゼニフの孫であるリムハイ王の尋問を受けました。モーサヤ 7:12 – 15 を読み、自分がニーファイの地に来たことについてアンモンがどのように説明し、リムハイがどのような反応を示したかを見てみましょう。

モーサヤ 7:14 の脚注 b [英語版] では、モーサヤ 21:25 – 26 を参照するように指示されています。この聖句を読み、アンモンがどこから来たかを知ったリムハイ王が「非常に喜んだ」理由について理解を深めましょう。

脚注を活用する

脚注には、役に立つほかの参照聖句や『聖句ガイド』の関連トピックが載っています。脚注を活用することで、教義や原則、話の筋、難しい言葉や概念について理解を深めることができます。読書課題に取り組むとき、幾つかの節または一つの章の脚注を研究してみてください。特に役に立つ脚注に印を付けるとよいでしょう。

リムハイ王はアンモンを紹介するために民を集めました。リムハイは民に、自分たちがレーマン人の奴隷の状態にあることについて語り、神が間もなく自分たちを救い出してくださるという希望を述べました（モーサヤ 7:17 – 19 参照）。モーサヤ 7:20, 24 – 26 を読み、リムハイの民が奴隷の状態に陥った理由に印を付けましょう。（モーサヤ 7:26 で述べられている預言者とはアビナダイです。アンモンがこの地にやって来る前、邪悪なノア王が統治していた時代に、民はアビナダイを火あぶりにして殺していました。）

罪惡すなわち罪には結果が伴うことを思い起こせるように、モーサヤ 7:24 にある「嘆き悲しんで当然な理由がたくさんある」という言葉に印を付けるとよいでしょう。ここ



では、レーマン人の攻撃を受けたときに大勢の人が殺され、民は奴隷の状態に陥ったことを指しています。嘆き悲しむとは、悲しみを感じ、後悔するという意味です。少し時間を取り、自分が「罪惡の結果」嘆き悲しんだことがあるかどうか深く考えましょう。

罪を犯さない方がよいですが、間違いから学び、神に立ち返って助けを求め、悔い改めることによって神に近づくことができます。モーサヤ 7:29 – 32 を読み、民の罪惡と自分たちが経験していた悲しみの関係をリムハイが理解していたことを示している証拠をさらに探しましょう。（30 節の「その殻を取り入れる」とは、無益なものを受けるという意味です。31 節の「東風を招く」とは、滅ぼされるという意味です。）



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 罪の結果は、どのような形でわたしたちの人生で益となることがあるでしょうか。どうすれば学んだことを応用し、罪を繰り返さないようにすることができるでしょうか。

b. 自分の罪の重大さに気づき、それを認めることが重要なのはなぜでしょうか。罪に対して神の御心に添った悲しみを感じる事が重要なのはなぜでしょうか（2 コリント 7:10 参照。神の御心に添った悲しみとは、自分の行いが天の御父の怒りを招くものであったことを深く理解することです。）先延ばしをせずに罪を認め、悲しみを感じる事が重要なのはなぜだと思いますか。

リムハイ王は民に彼らの罪の重大さを説明した後、あることを行うよう民に勧めました。モーサヤ 7:33 でリムハイが民に勧めていることに印を付けましょう。

リムハイの民の経験から、「わたしたちは自分の罪惡を認め、神の御心に添った悲しみを覚えるとき、救われるために主に立ち返るようになる」ことが分かります。

友達か家族の一人が罪を深く後悔し、悔い改めて主に立ち返りたいと心から願っていますが、どうすればよいのかよく分からずにいると想像してください。モーサヤ 7:33 を調べ、心から「主に立ち返る」にはどうすればよいかを教えている言葉を確認しましょう。



2. 聖典学習帳に、この友達または家族にあてて、どのように主に立ち返ればよいかを教える手紙を書きましょう。モーサヤ7:33の中からあなたが見つけた3つの言葉を紹介し、それぞれの言葉について次のどちらかの方法によって説明してください。(1)あなた自身の言葉で述べる。(2)その言葉を実践しようと努めている人の生活に見られると思われる行いや態度の例を挙げる。

まだ悔い改めておらず、自分や自分の愛する人たちに悲しみや後悔の気持ちを引き起こしているかもしれない罪がないか考えてください。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、悔い改めの過程を歩み始めることについて次のような勧告を与えています。「主が皆さんの過ちをどれほど重大なものとしておられるか、調べ、深く考えてみてください。そうすることは、癒しへと導く悲しみと自責の念をもたらします。またそれは、変りたいという心からの望みと、赦しを得るためのあらゆる条件に進んで従おうとする気持ちを生じます。」「(「赦しを得る」『聖徒の道』1995年7月号, 82)

モーサヤ8:5-21

アンモン、24枚の版について知り、版を翻訳できる聖見者についてリムハイに告げる

このレッスンの最初に出てきた地図の旅4について思い出しましょう。ゼラヘムラへの道を見つけようとした人々は、完全に滅びてしまった国の廃墟を発見しました。また、24枚の金版を見つけてリムハイのもとに持ち帰りました(モーサヤ8:5-9参照)。リムハイはアンモンに、版を翻訳する能力を持った人をだれか知っているか尋ねました(モーサヤ8:12参照)。アンモンは、ある人々は翻訳する力を神から授かることがあると説明しました。モーサヤ8:13を読み、この能力を授かった人のことをアンモンが何と呼んでいるかに印を付けましょう。

アンモンはゼラヘムラにいるニーファイ人の王モーサヤが聖見者であることを説明しました。モーサヤ8:16-18を調べ、翻訳する力のほかに聖見者に授けられる能力に印を付けましょう。

これらの節では、「主は人類を益するために預言者、聖見者、啓示者を備えておられる」ということが教えられています。今日、大管長会と十二使徒定員会のすべての会員が、預言者、聖見者、啓示者です。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように教えています。「わたしたちが支持する15人の預言者、聖見者、啓示者は、人の目には時々見えないものを見る力を神から与えられています。」「(「笑顔の裏に隠れた悪を警戒しなさい」『リアホナ』2005年5月号, 47)



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- あなたには見えないものを見ることのできる人々に耳を傾けることが賢明であるのはなぜだと思いますか。
- 現代の預言者、聖見者、啓示者に耳を傾けることによって、あなたはどのような恵みを受けてきたでしょうか。



c. 現代の預言者、聖見者、啓示者から学ぶ方法として、どのようなものがあるでしょうか。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ7-8章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元12—第2日

モーサヤ

9-10章

はじめに

ベニヤミン王が統治していた時代に、ゼニフはニーファイの地にいるレーマン人の中に移住するためにニーファイ人の一団を率いてゼラヘムラを出発しました。レーマン人の王はゼニフの民を奴隷にしようと計画して、彼らがとどまるのを許しました。レーマン人の偽りの言い伝えとニーファイ人に対する憎しみから、ついに戦争が起こりました。レーマン人がゼニフの民を奴隷にしようとしたとき、ゼニフの民は主

に立ち返りました。主は彼らを強くし、彼らがレーマン人を自分たちの地から追い出せるようお助けになりました。

モーサヤ 9:1-13

ゼニフ、ニーファイ人の一団を率いてニーファイの地へ帰る

何かがほしくてたまらなかったことがありますか。今日はあることを熱烈に望んだ人物と、その望みに従って行動した結果について学びます。

前のレッスンで使用した旅の地図を見てください。アンモンがリムハイとその民を発見したときの旅を覚えていますか。聖典のモーサヤ 7-8 章を開き、この章で述べられている出来事がいつ起こったかを調べましょう（各章の前書きの終わりに書かれています）。それをモーサヤ 9:1 の年代と比べてください。モーサヤ 9 章はモーサヤ 8 章から何年さかのぼっているでしょうか。

聖典に書かれている年代

モルモン書に書かれている年代に注目しましょう。これらの年代（各章の前書きの終わりに書かれています）をよく知ることで、研究している出来事の順序がよく理解できるでしょう。

モーサヤ 9 章の前に載っている、ゼニフの記録に対してモルモンが書き添えている言葉を読みましょう。

リムハイの祖父であるゼニフは、ニーファイの地に戻るためにニーファイ人の一団を率いて行きました。ゼニフはあることをあまりに熱烈に願ったために、自分の望みがどのような結果を招くかを考えられなかったのかもしれませんが、自分が望んだものを得るためにゼニフがどのようなことを行ったのか、モーサヤ 9:1-4 を読みましょう。

ゼニフは望みが強すぎた結果として、レーマン人の王に欺かれてしまいました。モーサヤ 9:5-7, 10 を読み、ゼニフの望みが強すぎたことが招いた結果を確認しましょう。



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- ニーファイの地を得たいという望みが強すぎたためにゼニフが気づけなかったことは何でしょうか。
- 現代の若い人々が得たいと非常に強く望むものには、どのようなものがあるでしょうか。
- 人生の中で選択をするときに主を思い起こすのが遅いと、どのような結果を招く恐れがあると思いますか。

12 年後、ゼニフの民は非常に楽えていました。レーマン人の王は当初の企てのとおり彼らを奴隷にすることができなくなるのではないかと不安を募らせ、自分の民に彼らと戦いに行く準備をさせました（モーサヤ 9:11-13 参照）。

モーサヤ 9:14-10:22

レーマン人はゼニフの民を奴隷にしようとする

あなたの生活における次の分野のうち、もっと支えや力がほしいと思うものすべてに丸をつけましょう。学業、誘惑に立ち向かうこと、友達との関係、リーダーシップ、仕事、家族との関係、技術や才能や能力を伸ばすこと。

モーサヤ 9-10 章を研究するとき、あなたの生活におけるこれらの分野でもっと力を受けるために何を行えばよいかを理解するのに役立つ原則に注意しましょう。モーサヤ 9-10 章には、レーマン人がゼニフとその民と戦うようになった 2 つの異なる時期についての記録が載っています。



2. 次の表を聖典学習帳に書き写しましょう。それぞれの参照聖句の下に答えを書くための十分な余白を残しておいてください。指示されている聖句を研究し、力を見いだすためにゼニフの民とレーマン人が行ったことを探しましょう。見つけたことを表に書き込んでください。

	民は準備するために何をしましたか。	主を信頼して何をしましたか。	その結果はどうでしたか。
ゼニフとその民	モーサヤ 9:14-16	モーサヤ 9:17	モーサヤ 9:18
レーマン人	モーサヤ 10:6-8	モーサヤ 10:11	モーサヤ 10:19-20

- ゼニフの民とレーマン人の戦いへの臨み方の類似点は何だと思いますか。 _____
- ゼニフの民とレーマン人の戦いへの臨み方の相違点は何だと思いますか。 _____

モーサヤ 9:17-18 から学べる教えの一つは、「わたしたちが自分のできることをすべて行い、主を信頼するとき、主は力を与えてくださる。」ということです。



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「わたしは生活のどの分野で、より完全に主を信頼し、わたしを強くしてくださるよう主に求めることができるだろうか。」



4. モーサヤ 9:18 の最初の 3 行に印を付けましょう。次に、信頼している大人（親または教会指導者や教師）に、主に助けを求め、主に強くしていただいたと感じたときの経験を話してもらってください。主の力を受けるためにその人がどのようなことを行ったかに注意しながら耳を傾けましょう。学んだことを聖典学習帳に書きましょう。

だれかに対して怒りを覚え、恨みを抱いた、つまりその人のしたことを赦したり忘れたりできないと感じたことがありますか。だれかについて、この人はわたしのことを憎んでいるように思ったことがありますか。ゼニフとその民が2度目の戦いに行く前に、ゼニフはレーマン人がニーファイ人に対する憎しみで満ちているのはなぜかを民に教えました。モーサヤ10:11-18に書かれているゼニフの言葉を研究するとき、「不当な扱い」を受けるとは、侮辱されたり、不公平な対応や道理に合わない対応を受けたりしたと感ずることだと知っておくとよいでしょう。モーサヤ10:11-18を研究し、レーマンとレムエルの子孫がニーファイの子孫に憎しみを抱き続けたのはなぜかを調べてください。読みながら、「不当な扱い」や「不当に扱われた」、および「腹を立てた」という言葉に印を付けましょう。

次の質問について深く考えましょうー

- レーマン人がそのようにニーファイ人をひどく憎んだのは、なぜでしょうか。
- わたしたちが怒りを抱いたり、人を赦さなかったりするとき、それで傷つくのはだれでしょうか。
- 怒りや恨みを抱くことは、あなたの家族や将来の子供たちにどのような影響を及ぼす恐れがあるでしょうか。

七十人会長会のドナルド・L・ホールストロム長老の次の経験を読み、だれかに傷つけられたと感じたり怒りを覚えるときに行うようホールストロム長老が勧めていることを探しましょう。



「何年も前、悲劇へと発展した心痛む光景を目にしました。ある若い夫婦が、初めての子供の出産を控えていました。記念すべき出来事を前に、二人は期待と興奮でいっぱいでした。しかし出産中の合併症がもとで赤ちゃんは亡くなりました。心の痛みは悲しみに、悲しきは怒りに、怒りは非難に、非難は医師への復讐に変わりました。二人はすべての責任は医師にあるとしたのです。そして親と親戚をも大々的に巻き込み、一緒になって医師の名声と経歴を台なしにしようとしました。怒りが数週間、そして数か月と続くうち、『どうして主はこんな恐ろしいことが起きるのをお許しになったのか』と、家族の恨みは主に向けられました。教会の指導者や会員たちは何度も、彼らを霊的に、また情緒的に慰めようとしましたが拒否されました。そのうち、彼らは教会から離れていきました。今では、その家族の4世代が影響を受けています。かつては、主と主の教会に対して信仰深く、献身的な家族でしたが、何十年の間、家族のだれ一人として霊的に活発な人はいません。……

わたしの父方の祖父母には二人の子供がいました。息子(わたしの父)と娘です。……[彼らの娘]は1946年に結婚し、4年後に妊娠しました。……彼女が双子を妊娠していることはだれにも分からず、不幸なことに彼女も双子も出産中に亡くなってしまいました。

祖父母は悲嘆に暮れました。しかしすぐに、二人は悲しみの中で主と主の贖いに心を向けました。どうしてこうなったのか、だれのせいなのかなどと、くよくよ考え込むことなく、二人は義にかなった生活をするに徹したのです。……

[祖父母]の忠実さは、その後の4世代に影響を与えています。特に困難な状況に直面したとき、その影響は顕著です。わたしの両親の末娘、つまりわたしの妹は……出産後の合併症で亡くなりました。……このとき、祖父母の忠実さが、息子、つまりわたしの父、そして母に直接的で深い影響を及ぼしました。前の世代の模範を見ていた両親は迷わず主に心を向け、慰めを求めたのです。……

家族、友人、教会員、教会の指導者、仕事の同僚など、だれかから不当な扱いを受けたと感じるなら、あるいは愛する人の死、病気、財政破綻、虐待、依存症など、何か理不尽なことが起こったと感じるときは、持てるすべての力を使って真摯に問題に取り組んでください。……そして、一刻も早く主に心を向けてください。あなたが持っている主への信仰のすべてを働かせてください。主とともに重荷を背負ってください。主の恵みにより、重荷を軽くしていただくのです。……この世の状況のために霊的な力を失うことがあってはなりません。」「(主に心を向ける)『リアホナ』2010年5月号、78-80)

レーマン人の例でも最初の子供を亡くした若い夫婦の家族の例でも、腹を立て怒りを抱くことが何世代もの人々に影響を及ぼしたことに注目しましょう。



5. 自分が不当な扱いを受けたと感じたか、だれかに対して怒りを覚えたときのことについて考えてください。今でも少しそのような気持ちがありますか。次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 赦そうと努力するとき、どうすれば助けを受けることができるでしょうか。

b. 今日、どのようにホールストロム長老の祖父母の模範に倣い、引用の最後の段落にある勧告を生活の中で実践することができるでしょうか。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ9-10章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

モーサヤ 11 – 14 章

はじめに

ノア王は放埒な生活を大いに楽しみ、民の多くを悪事へと導きました。主はノアの民に悔い改めを呼びかけ、今にも奴隷の状態に陥ろうとしていることを警告するために、預言者アビナダイを遣わされました。民は警告に注意を払わないという選択をし、アビナダイは預言したことのために投獄されました。ノア王の祭司たちの尋問を受けた預言者アビナダイは、彼らが戒めを守って生活せず、戒めを教えてもないことを責めました。神はアビナダイを守り、ノア王と祭司たちに対して言うべきことを最後まで伝える力をお授けになりました。アビナダイはイザヤの言葉を引用し、すべての人がイエス・キリストとその贖罪に頼る必要があることを証しました。

モーサヤ 11:1 – 19

ノア王は民に悪事を行わせる

次の質問について考えてみましょうー

- もし親や保護者、または指導者から、あなたの一部の友達があなたに悪い影響を及ぼしていると言われたらどうしますか。
- もし親または教会指導者の一人から、日曜日の礼拝行事やほかの教会の活動にもっとふさわしい服装で行くように言われたらどうしますか。
- もし預言者から、娯楽の標準を変える必要があると言われたらどうしますか。

これらの質問に対して、人は様々な反応を示すかもしれません。主はあなたが義になかった生活を送るように助けようと、人々を遣わしてください。そうした人々に対してどのように応じることを主が望んでおられるかに注意しながら、このレッスンを研究しましょう。

モーサヤ 11 章を研究する準備として、ゼニフの死後、ニーファイの地にいたニーファイ人をゼニフの息子のノアが統治したことを知っておくといでしょう。モーサヤ 11:1 – 2, 5 – 7, 14 – 19 を読み、王になってからのノアの行動や、ノアが求めたものについて述べている言葉に印を付けましょう。次に、モーサヤ 11:2, 6 – 7, 15 – 19 を読み、(可能であれば) 別の色で、ノアの行動が王国の民に及ぼした影響に印を付けましょう。

これらの節には、わたしたちの付き合う人々がわたしたちの行動にどのような影響を及ぼす可能性があるかが示されています。あなたの友達があなたの選にどのような影響を及ぼしているかについて考えましょう。少し時間を取り、今日、世の人々がしばしば行う、「罪悪を支えるため」の「非常な」骨折りにたとえられることとして、どのようなことがあるか深く考えてください (モーサヤ 11:6)。

モーサヤ 11:20 – 12:17

アビナダイ、民に悔い改めを促し、奴隷の状態に陥る恐れがあることを警告する

ノア王とその民は悪事を選んでいましたが、主はそれでも彼らを愛し、彼らを助けたいと望んでおられました。モーサヤ 11:20 の最初の 3 行に目を通し、ノアの民を助けるために主が行われたことを調べましょう。

聖典のモーサヤ 11:20 のそばに、次の真理を書き込みましょう。「わたしたちが悔い改めて不幸に陥らないように助けるため、神は預言者を遣わされる。」

主は民に警告するようにと、2 度の異なる時期にアビナダイに命じられました。



1. 次の表を聖典学習帳に書き写しましょう。それぞれの参照聖句の下に要約を書くための十分な余白を残しておいてください。指示されている聖句を研究し、アビナダイの警告と民の反応を要約して書きましょう。

	アビナダイの教え	民の反応
最初の警告	モーサヤ 11:20 – 25	モーサヤ 11:26 – 29
2 度目の警告	モーサヤ 12:1 – 8	モーサヤ 12:9 – 10, 13 – 17



2. 聖典学習帳に、アビナダイの警告に対する民の反応について、次の質問に対する答えを書きましょう。

- 自分たちを助けようとしていたアビナダイに対して民が怒りをもって応じたのはなぜだと思いますか。自分たちを災いへと導いていたノア王を民が擁護したのはなぜだと思いますか。
- モーサヤ 11:29 にある、「人々は目をくらまされていた」という言葉に注目してください。今日の世の中に見られる振る舞いや影響力で善良な人々の「目をくらま[そう]」とサタンが熱心に取り組んでいると思われるものの例として、どのようなものがあるでしょうか。
- 家族や教会指導者や預言者から神の言葉に従うように勧められたとき、謙遜さを示すためにどのようなことができるでしょうか。

モーサヤ 12:18 – 13:26

アビナダイは神に守られ、ノア王とその祭司たちが戒めを守り、教えていないことについて彼らを叱責する

モーサヤ 12 章の研究を続ける前に、次の各文があなたをどのくらいよく言い表しているか、10 点満点で自己評価してみましょう (最もよく当てはまる場合を 10 点とします)。

_____ わたしはイエス・キリストの福音に従うために自分が行うべきことを知っています。

_____ わたしはイエス・キリストの福音に従っています。



ノア王とその祭司たちについて学びながら、彼らがどの程度戒めを知っていたか、そしてどの程度戒めに従っていたかについて考えましょう。ノアがアビナダイを牢から出すと、祭司たちが聖文についてアビナダイに尋ね始めました。モーサヤ 12：26－30 を読み、アビナダイがノアとその祭司たちを叱責した言葉に印を付けましょう。

戒めを知っているか、そして戒めに従っているかについて、ノアとその祭司は自分たちについて 10 点満点で何点をつけると思いますか。「心を注いで理解〔する〕」とはどういう意味だと思いますか（モーサヤ 12：27 参照）。モーサヤ 12：33 を調べ、戒めに従うことが重要なのはなぜかを示している原則に線を引きましょう。

アビナダイは「神の戒めを守れば救われる」という真理を宣言しました。生き方を知っているだけでは救われる資格を得るのに十分でないのはなぜでしょうか。_____

アビナダイはノア王とその祭司たちに、彼らは戒めに従っておらず、戒めを教えてもいないと言い、十戒を教え始めました。王はそれを聞いて怒り、アビナダイを殺すように命じました。神はアビナダイを守り、十戒について教え続ける力をアビナダイにお授けになりました。モーサヤ 12：35－36 とモーサヤ 13：12－24 に書かれている十戒に印を付

け、番号を振るとよいでしょう。次の表は十戒の一つ一つを見つけるのに役立つでしょう。

アビナダイは十戒を教えた	
1.	モーサヤ 12：35
2.	モーサヤ 12：36；13：12－13
3.	モーサヤ 13：15
4.	モーサヤ 13：16－19
5.	モーサヤ 13：20
6.	モーサヤ 13：21
7.	モーサヤ 13：22
8.	モーサヤ 13：22
9.	モーサヤ 13：23
10.	モーサヤ 13：24

アビナダイは十戒を守っていないことについてノアとその祭司たちを大胆に叱責し、「これらの戒めが、まだあなたがたの心に書き記されていないことが分かる」と言いました（モーサヤ 13：11）。自分がどれくらいよく十戒に従っているかを考えるための助けとして、次の自己評価表を埋めましょう。

下の各文から、十戒がどのくらいしっかりとあなたの心に書き記されているかが分かるでしょう。各文について、あなたに当てはまる欄に印を付けてください。	ほとんどない	時々	かなり多い	ほとんど常に
天の御父を愛している。				
生活の中で神を第一にしている（友達、趣味、所有物、自分自身の望み、そのほかのものよりも優先している）。				
主の御名を敬って口にしている。				
自分を主に近づけてくれる活動に携わることによって、安息日を聖なる日として保っている。安息日をわたしの日ではなく主の日として認めている。				
従順に敬意をもって両親を敬っている。				
怒りを抑え、ほかの人にひどい態度を取らない。				
性的に清くある。みだらな画像、言葉、行動を避けている。				
盗みや不正をしていない。				
真実を語っている。				
むさぼらない（すなわち、ほかの人のものをむやみに欲しがらない）。				

 3. あなたの答えを振り返り、十戒の一つにもっとよく従うための目標を設定しましょう。あなたの目標を聖典学習帳に書きましょう。

モーサヤ 13：27－14：12

アビナダイ、イエス・キリストの来臨について教える

モーサヤ 13：28、32－35 を読み、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老の次の言葉を完成させることのできるすべての言葉に印を付けましょう。「わたしたちは、すべてに従順で、良い働きをしたとしても、

_____がなければ、死や自分の罪の結果から救われることはあり得ません。」

オックス長老の言葉は次のとおりです。「わたしたちは、すべてに従順で、良い働きをしたとしても、イエス・キリストの贖罪がもたらす恵みがなければ、死や自分の罪の結果から救われることはあり得ません。」（“Another Testament of Jesus Christ,” *Ensign*, 1994 年 3 月, 67）

モーサヤ 13：28 のそばに次の真理を書き込んでおくといよいでしょう－「イエス・キリストの贖罪によらなければ人は救いを得られない。」

何分か時間を取ってモーサヤ 14：1－12 を研究し、あなたが天の御父のもとに帰れるように助けるためにイエス・キリストがこの世で行ってくださったことについて述べている言葉に印を付けましょう。イエス・キリストがあなたのために負われた憂いや悲しみや罪について考えてください。これらの節はイザヤ 53：1－12 と関連しています。アビナダイはイザヤが書いたものを引用していました（モーサヤ 14：1 参照）。

 4. 聖典学習帳に、モーサヤ 14：4－5 でイエス・キリストについて教えられていることを、あなたなら友達にどのように説明するか書きましょう。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 11－14 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 12 — 第 4 日

モーサヤ 15－17 章

はじめに

モーサヤ 15－17 章では、預言者アビナダイがノア王とその祭司たちに教えを説いたときのことについての記録が続いています。アビナダイは贖い主としてのイエス・キリストの役割について証しました。ノアの祭司の一人であったアルマが、アビナダイの言葉を信じました。ノア王はアルマを宮廷から追い出し、アビナダイを火あぶりにして殺しました。アビナダイはあらゆる状況において神に忠実でした。

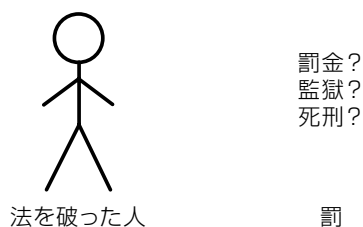
モーサヤ 15－16 章

アビナダイ、贖い主としてのイエス・キリストの役割について教える

何分か時間を取り、モーサヤ 15－16 章の中に出てくる「贖う」や「贖い」という言葉を見つけて丸をつけましょう。

聖句ブロックで一つの言葉が繰り返されているとき、記録者のメッセージの重要な点を示していることがよくあります。今日、研究を進めながら、贖いにあずかることについてアビナダイが教えていることに注目しましょう。

贖い主としてのイエス・キリストの役割を理解するために、次の図について考えてみましょう。



あなたは法律を破り、法律が認める最も厳しい罰を言い渡されたと想像してください。恐らく罰には高額の罰金や懲役刑、さらには死刑が含まれるかもしれません。そのような罰に直面するとき、どのように感じるでしょうか。こうした罰から逃れる合法的で正直な方法が何か思いつきますか。

図の「犯罪者」の下に「わたし」、「罰」の下に「正義」と書きましょう。わたしたちはだれもが神の律法を破ったことがあり、正義の要求を満たさなければなりません。正義の要求によって、すべての罪人はその罪に伴う罰を受けるように求められます。



十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読み、神の律法を破ることが招く2つの結果に線を引きましょう。「正義は……破られた律法の要求を満たすよう求めてきます。神の律法に従えば祝福を受けますが、守らなかった律法の要求を満たすために、その祝福を蓄えておくことはできません。もしも清算しなければ、律法を破ったことにより人生はみじめな状態に陥り、みもとへ帰れなくなるのです。」（「贖いは、平安と幸福を確固としたものとする」『リアホナ』2006年11月号、41）

神の律法を破ることが招く結果には、みじめな状態と、神とともに住むことができなくなることが含まれます。モーサヤ15:1、7-9を読み、救い主の贖罪がどのようにして正義の要求を満たすかを示している言葉に印を付けましょう。

辞書を使って、次の言葉の定義を見つけましょう。

贖う（モーサヤ15:1）_____

執り成す（モーサヤ15:8）_____

これらの定義の一部を聖句のそばに書いておくといでしょう。

モーサヤ15:2-5で、アビナダイが（1）父なる神の御子として、そして（2）御父としてイエス・キリストについて述べていることに、時々混乱する人々がいます。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、イエス・キリストの神としての性質について次のように説明しています。「アビナダイが教えたように、キリストは『神の力によって胎内に宿られ』（モーサヤ15:3）なので、御自分のうちに御父の力を持っておられる。また、神の直系であるほかに、キリストは父としての役割を果たしておられる。すなわちキリストは、天地の創造主であり（モーサヤ15:4参照）、わたしたちの霊的な再生と救いの父なのである。また御自分の思いよりも御父の御心を尊んでおられるがゆえに御父の御心の力を得ておられるのである。」（*Christ and the New Covenant* [1997年], 183-184）

イエス・キリストがあなたを贖うために、またはあなたと正義の要求の間に立つために払われた代価について考えながら、モーサヤ15:5-7を研究してください。上の図の「犯罪者」と「罰」の間に「イエス・キリスト」と書きましょう。

救い主は正義の要求を取り消されるのではなく、わたしたちと正義の間にお立ちになるという点を理解することが重要です。もしわたしたちが悔い改めるならば、主はわたしたちに代わって罰を受けることによって正義の要求を満たしてくださるのです。



1. 聖典学習帳を使って、次の活動を行いましょうー

a. 「贖われることを選ぶ人々」（モーサヤ15:11-12; 16:13）と書きましょう。次に、モーサヤ15:11-12; 16:13を調べ、どのような人々が贖われるかを探しましょう。見つけたことを書きましょう。

b. 「贖われることを拒む人々」（モーサヤ15:26-27; 16:2-5, 12）と書きましょう。次にモーサヤ15:26-27; 16:2-5, 12を調べ、一部の人々が贖われない理由を探しましょう。見つけたことを書きましょう。



2. 前の課題で学んだことを用いて、次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. だれが罪から贖われるかを決めるものは何でしょうか。

b. モーサヤ15:7で述べられているイエス・キリストの「御心」とモーサヤ16:12で述べられている悪を行う人々の「思い」を比べると、どのようなことが学べるでしょうか。

「イエス・キリストの贖罪は救いの源である。」救い主がわたしたちのために払ってくださった犠牲は、悔い改めて御父の御心を行うことを選ぶ人へのとても個人的な贈り物です。モーサヤ15:10を読み、「御自分の子孫を御覧になる」という言葉に線を引きましょう。



モーサヤ15:10-12と、七十人名誉会員のメリル・J・バイトマン長老の次の言葉を読みましょう。

「預言者アビナダイは……『御子は罪のためのささげ物にされると、御自分の子孫を御

覧になる』と語りました（モーサヤ 15：10）。それから、救い主の子孫とは、預言者と預言者に従う者たちであると明らかにしています。わたしは長年にわたって、救い主はゲツセマネの園と十字架上での経験によって、膨大な罪を背負われたのだと考えていました。けれどもアルマやアビナダイ、イザヤ、そのほかの預言者の言葉を読んで、見方が変わりました。だれのものとも知れない無数の罪ではなく、そこには、人々の長い列があり、イエスは『わたしたちの弱さ』を思いやり（ヘブル 4：15）、わたしたちの『病を負い、……悲しみを』担い、『不義のために砕かれた』のです（イザヤ 53：4－5）。

イエスは身をもって贖いを遂げ、それによってわたしたち一人一人をどのように助けるかを悟られました。」（「万人に共通する規範」『リアホナ』2005年11月号、75－76）

 3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. イエス・キリストの子孫になるとはどういう意味だと思いますか（モーサヤ 15：12 参照）。

b. 自分がイエス・キリストの子孫の中に確実に数えられるようにするために、あなたはどのようなことを行っているでしょうか。

モーサヤ 15：10 の線を引いた箇所にある「御自分の子孫」の代わりにあなたの名前を書くことによって、この聖句を自分に向けられた言葉にするとよいでしょう。少しの間、あなたを個人的に御覧になり、御存じである贖い主がいてくださることがどのような意味を持つかについて深く考えてください。

贖われることを拒む人はどのような結果を招くでしょうか。もう一度モーサヤ 16：5 を見てください。このレッスンの最初の方で描かれたいた図では、犯罪者が罪の中にとどまり、悔い改めるのを拒むときにどのようなことが起こるのでしょうか。教義と聖約 19：16－17 を読み、悔い改めによって救い主の贖いの行いを受け入れるのを拒む人々がどうなるかを調べましょう。

アビナダイは、イエス・キリストの贖いには罪からの救出だけでなく、死からの救出も含まれていると教えています。すべての人が復活します。ただし、ある人々はほかの人々よりも先に復活します。アビナダイは「第一の復活」という言葉を用いて、義人と罪のない者は背く者よりも前に復活することを説明しました（モーサヤ 15：21－22 参照）。義人は第一の復活に死から贖われ、悪人は福千年の後まで復活を待たなければなりません（教義と聖約 76：85、106 参照）。

 4. モーサヤ 15 章で研究した節について深く考えてください。あなたから救い主へのメッセージを使者が届けてくれることになったと想像しましょう。主があなたのためにしてくださったことを踏まえて、そのメッセージにどのようなことを書くかを記してください。

救い主はわたしたちを天の御父の御前に連れ戻したいと望んでおられます。主はわたしたちのために執り成し、仲立



ちとなり、弁護してください。わたしたちが悔い改めることを条件に、救い主はわたしたちのために正義の要求に対する代価を払ってくださいました。

モーサヤ 17 章

アルマ、アビナダイを信じて追い出される。アビナダイ、火で焼かれる

難しい状況のときでも正しいことを擁護する人を見たことがありますか。どのようなことが起こりましたか。

アビナダイが話を終わると、祭司の一人でアルマという名の者が、アビナダイは真実を語ったのであって釈放すべきだと王を説得しようとしていました。王はアルマを追い出し、召し使いたちを送ってアルマを殺させようとしていました。アルマは隠れ、アビナダイの言葉を書き記しました。

アルマの改心は重要な意味を持っています。アルマがアビナダイの言葉を記録したおかげで、多くの世代の人々が祝福を受けてきました。この後の章を研究するにつれて、アルマの改心がもたらした実がますます明らかになってい



くことでしょう。王と祭司たちは3日間にわたって相談した末、アビナダイに死刑を宣告しました（モーサヤ 17:1 - 6, 13 参照）。

 **5.** モーサヤ 17:7 - 10 とモーサヤ 17:11 - 12 では、アビナダイとノア王が行った選択が対比されています。これらの節を研究した後、次の質問について聖典学習帳に短い答えを書きましょう。

- アビナダイの最後の言葉であなたが最も感銘を受けたものはどれでしょうか。
- アビナダイの言葉がノア王に対して聖句で述べられているような影響を及ぼしたのはなぜだと思いますか。
- 祭司たちはノア王にどのような影響を及ぼしたでしょうか。
- アビナダイの模範は、**どのような状況でも神に忠実である**という思いをどのように高めてくれるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように述べています。「正義を守る強さを示してください。現在わたしたちの住む世界は、妥協と譲歩に満ちた世界です。日常遭遇するいろいろな状況の中で、正しいと知っていながら仲間やわたしたちを説き伏せようとする偽りの声に負けて、妥協したり譲歩したり悪を黙認したりしてしまい、自分に対して恥ずかしい思いをすることがあります。……信じることに従っ

て生きる精神力をはぐくまなければなりません。」（「あなたのタバナクルを築きなさい」『聖徒の道』1993年1月号, 60）

聖典のモーサヤ 17:9 - 12 のそばに「わたしはどのような状況でも神に忠実であることができます」と書きましょう。

 **6.** あなたも、アビナダイの道徳的な勇気と個人的な信念を持てるようにするために、モーサヤ 17:20 を読み、聖典学習帳に次の文を完成させましょう。「……とき、わたしは神に忠実である必要があります。」

今日のレッスンを終えるに当たって、今日あなたが学んだことや感じたことを聞くことで助けが得られるかもしれない家族や友達について考えましょう。可能であれば、あなたが学んだことと、困難なときに主に忠実でいたいというあなたの望みをその人に伝えましょう。

 **7.** 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 15 - 17 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

モーサヤ 18 章

はじめに

邪悪なノア王の祭司であったアルマは、預言者アビナダイの言葉を信じ、自分の罪を悔い改めました。アビナダイの死後、アルマはイエス・キリストについてほかの人々にひそかに教えました。アルマの教えを信じた人々は、神の羊の群れに入ることを望みました。そしてモルモンの泉と呼ばれる場所でバプテスマの聖約を交わしました。モーサヤ 18 章を研究しながら、あなたがバプテスマを受けるときに交わす約束と、あなたがそれらの約束を守るときに主があなたのために行ってくださいることについて、アルマがどのようなことを教えているかを調べましょう。

モーサヤ 18：1－16

アルマ、人々を教え、バプテスマを施す

あなたのバプテスマについて考えてください。どのようなことを詳しく覚えていますか。あなたはバプテスマに対してどのように準備したでしょうか。バプテスマについてどのような気持ちを思い出しますか。自分のバプテスマについて今の方がよく理解できるかもしれないことについて深く考えてください。

モーサヤ 18 章は、わたしたちがバプテスマのときに神と交わす聖約について理解する助けとなります。聖約とは次のように定義されています。「神と人との間で交わされる合意。ただし、この合意は対等の関係によるものではない。神は聖約に関して条件を定め、人は神から求められることを行うという同意をする。そして神は、人が従順であることに対して定められた祝福を与えると約束される。」（『聖句ガイド』『聖約（契約）』の項、scriptures.lds.org）

バプテスマの聖約を理解するうえでモーサヤ 18 章がどのような助けとなるかを知るため、以下に紹介するこの章の概要に注目しましょう。モーサヤ 18：1－7、聖約に備える；モーサヤ 18：8－16、聖約を交わす；モーサヤ 18：17－30、聖約を守って生活する。それぞれのテーマ（例えば、「聖約に備える」）を、聖典の該当する節のそばに書いておくといよいでしょう。

モーサヤ 18：1－2、6－7 を読み、民がバプテスマに備えるのを助けるためにアルマが彼らに教えた教義や原則を探しましょう。下の記入欄に、アルマが民に教えた事柄を理解することが、今日の人がバプテスマを受ける備えをするうえでどのような助けとなる+++かを書きましょう。――

モーサヤ 18：8－11 には、バプテスマの聖約を通して主とどのような約束を交わし、どのような祝福をいただくこと

ができるかをアルマが民に理解させたことが記録されています。



1. 聖典学習帳に下の表を書きましょう。モーサヤ 18：8－11 を調べ、バプテスマを受けるときにわたしたちが神に約束すること（わたしたちが行いたいと「望んでいる」こと）と、神がわたしたちに約束してくださることについて、アルマが教えていることを探しましょう。

わたしが約束すること	神が約束してくださること

モーサヤ 18：8－11 で明らかにされている福音の原則の一つは、「わたしたちはバプテスマの聖約を交わし、聖約を守ることによって、主の御霊と永遠の命の約束を受ける」ということです。



2. 聖典学習帳に書いた表の下に、バプテスマの聖約を交わして守ることの重要性について学んだことを要約して書きましょう。

十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老の次の言葉を読み、バプテスマの際に交わし、受ける約束を理解するときにわたしたちにもたらされる祝福に線を引きましょう。「これまでの人生を通して気づいたことがある。それは新会員であろうと教会員歴の長い人であろうと、バプテスマの聖約の祝福と力を十分に理解すると、生活が大きな喜びで満たされ、熱心に王国の務めを果たすようになり、周囲の人を感化していくということである。」（“Alma the Elder: A Role Model for Today,” *Heroes from the Book of Mormon* [1995 年] 84 で引用）



3. 聖典学習帳に、バプテスマの聖約があなたの日々の生き方にどのような影響を及ぼすと考えられるかについて書きましょう（例えば、「いつでも……神の証人になる」という約束について考えてみましょう。この約束はほかの人々との付き合い方に関連しています。そこには、家族との接し方、友達や知人と話す話題、使用する言葉、観る映画やテレビ番組の種類、聴く音楽、友人や知人や異性との交際、自分の信仰を批判する人々に対する接し方などが含まれるでしょう。）

モーサヤ 18：12－16 を注意深く調べ、アルマとその民がバプテスマを受けた後、主が彼らと交わした聖約における御自分の役割をどのように果たされたか、例を見つけましょう。見つけたものに印を付けるとよいでしょう。



4. 聖典学習帳に、主に仕えるというバプテスマのときに交わした約束を守ったときに、御霊を通して、主より祝福を受けた経験について書きましょう。

モーサヤ 18:17-30

アルマ、民の中にイエス・キリストの教会を設ける

自分がバプテスマのときに交わした聖約は、聖餐を受けるときに更新しています。あなたはその聖約をどれくらい頻繁に考えているでしょうか。またどれくらい頻繁に考えるべきでしょうか。これらの聖約について、普段どのようなときに時間を取って考えていますか。



大管長会のヘンリー・B・アイリング管長は、主と交わした聖約を守ることの大切さについて次のように教えています。「末日聖徒は聖約の民です。バプテスマを受けた日から、人生における幾つかの霊的な通過点を通して、わたしたちは神に約束し、神もわたしたちと約束されます。神は正しい権能を持つ僕たちを通して与えられた約束を必ず守ってください。しかし、神と約束を交わしてそれを守るかどうかはわたしたちの人生における試みであり、重大な意味を持っています。」（『神の証人』『聖徒の道』1997年1月号、35）

モーサヤ 18:17-18, 20-23, 27-29 を読み、アルマの時代の教会員がバプテスマの聖約をどのように守ったかを調べましょう。モーサヤ 18:22, 26, 30 の中で、「バプテスマの聖約を守る人々には大いなる祝福が与えられる」ことを示している言葉に印を付けるとよいでしょう。



5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「バプテスマのときに交わした聖約をもっとよく守るために行うことを一つ挙げましょう。この決意をどのようにして守りますか。」

モーサヤ 18:31-35

教会に属する人々がノア王の迫害から逃れる

モーサヤ 18:31-33 を研究し、アルマとその民がモルモン泉の近くで大きな祝福を享受していたときに、ノア王がリーハイ・ニューファイの町でどのようなことを行っていたかを調べましょう。モーサヤ 18:34 と、次にモーサヤ 23:1-2 を読み、民が直面していた危険についてアルマがどのようにして「知らせを受けた」かを調べましょう。

モーサヤ 18:34 のそばに、「義人が危険な状態にある場合、主は警告されることがある」という真理を書いておくといよいでしょう。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、この真理を例示している次の経験を紹介しています。



「FBI の特別捜査官として働いていた友人は、合衆国に違法な薬物を密輸入している犯罪組織を捜査していました。」

あるとき、もう一人の捜査官とともにあるアパートに近づきました。麻薬密売人がコカインを売っているところだと考えたのです。友人はそこで起こったことをこう説明しました。

『売人がいる部屋のドアをノックしました。ドアを開けた容疑者は、わたしたちを見るなり、視界を遮ろうとしました。しかし手遅れでした。テーブルのコカインが見えていたのです。』

テーブルに着いていた男女がすぐさまコカインを片付け始めました。証拠隠滅を阻止しなければなりませんから、わたしはドアに立ちはだかっていた容疑者を即座にわきへ押しのけました。押しのけるときに男と目が合いました。奇妙なことに、その目には怒りも恐れもなく、男はわたしに向かってほほえんでいたのです。

そのまなざしと無邪気なほほえみから、危険はないと判断したわたしは、その男にはかかわらずにテーブルに向かいました。容疑者に背中を見せたのです。その瞬間、次の警告が強烈な印象として心にわき上がりました。「笑顔の裏に隠れた悪を警戒しなさい。」

即座に容疑者を振り返りました。手を大きな前ポケットに突っ込んでいます。わたしは本能的にその手をつかんでポケットから引き抜きました。その手には、セミオートマチックのピストルが、いつでも撃てる用意をして、しっかりと握られていました。もみ合いになり、武器を取り上げました。』……

……わたしの友人を肉体的な危険から救った聖霊は、皆さんを霊的な危険から救ってくださいましょう。」（『笑顔の裏に隠れた悪を警戒しなさい』『リアホナ』2005年5月号、46-47）



6. 聖典学習帳に、これまでに身体的または霊的な危険について警告を受けたり、守られたりしたときに聖霊を通して感じた気持ちか、覚えている経験について書きましょう。または、あなたの知っている人の経験か、読んだり聞いたりしたことのある経験について書きましょう。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 18 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。



単元 13 — 第 2 日

モーサヤ 19 – 20 章

はじめに

アルマとその民がノア王の軍隊から逃れた後、ノアと一緒にとどまった人々はアビナダイによって預言された結果に苦しみ始めました。リーハイ・ニーファイの地にいたニーファイ人の話は、わたしたちが主の僕の勧告を拒むときに深刻な結果を招くことを思い起こさせてくれます。その一方で、わたしたちは預言者に従うときに、試練の中にあるときでさえも平安と安全を享受します。このレッスンを研究しながら、主の現代の預言者たちの勧告に聞き従うことによってもたらされる平安と安全をどうすれば受けられるかについて考えましょう。

モーサヤ 19 – 20 章

リーハイ・ニーファイの地のニーファイ人、アビナダイの預言が成就したことを知る

当時七十人として奉仕していたデビッド・R・ストーン長老が紹介した次の経験を読み、預言者を通して受ける霊的な警告の重要性について考えましょう。

「[1 年以上前の] ある日曜日の朝、わたしはドミニカ共和国のサント・ドミンゴで美しい日を迎えました。カリブの太陽は輝き、空は澄み切っていました。穏やかな風がそよいで、木々の葉をかすかに揺らしていました。暖かく穏やかな、そして静かな日でした。しかしその日、はるか遠く海のかなたからは、静めることのできない、抵抗しようもない恐ろしい破壊者がこちらへ向かって進んでいたのです。ハリケーン観測センターは、絶えずハリケーン・ジョージの進路を調べ、予測し、最新の情報をインターネットを通じて報じていました。平和で穏やかで静かな朝、わたしは空に目があるかのように、気象衛星を通して嵐の進路がサント・ドミンゴの中心に矢のように向かっているのを見ました。

嵐は 48 時間もたたないうちに、……ものすごい勢いで島を襲いました。進路に当たった所は破壊され、崩れ落ち、人命が奪われました。……

自然界の恐ろしい現象による損害と破壊と死は莫大ですが、霊のハリケーンが人々の生活に引き起こすもっと大きな荒廃が存在します。それらの恐ろしい力は、自然界のサイクロン以上の荒廃的な損害を度々引き起こします。なぜなら、それらは魂を破壊し、わたしたちの永遠の行く末と約束を奪い取るからです。……

わたしたちが、怒りやアルコール、虐待、情欲、みだらな行い、乱交、ポルノグラフィー、麻薬、高慢、貪欲、暴力、恨み、偽り—数え上げれば切りはありませんが、それらに身をゆだねていると、霊のハリケーンの進路に自分の身を置くことになります。……

しかしまた、わたしたちには霊のハリケーンの監視者がいます。彼らの務めは、見守り、警告することです。わたしたちが霊的な被害、破滅、死をも避けられるように助けます。わたしたちの見張り台の見張り人は、使徒や預言者とされる人々です。彼らは空にあるわたしたちの霊的な目であり、靈感と洞察力と純粋な知性によって、嵐が通る進路を見極めます。彼らはいつも警告の声を発して、もし節度なく、故意に主の戒めに背くなら、どのような悲劇を招くことになるかを教えてくれます。彼らの警告を故意に無視するなら、悲惨と悲しみと破滅に至ります。警告に従うならば、主の選ばれた僕に従うことになり、平安で豊かな霊の牧場へと至ります。」(『霊の嵐』『リアホナ』2000年1月号, 36-37)

少し時間を取り、預言者や使徒たちがどのような危険について警告してきたか、深く考えましょう。彼らの言葉はどのようにしてわたしたちを「霊の嵐」から守ってくれるでしょうか。

神はアビナダイを遣わして、悔い改めなければ滅亡が来ることをリーハイ・ニーファイの民に警告されました。



1. 次の表を聖典学習帳に書き写しましょう。それぞれの参照聖句の下に書き込むための十分な余白を残しておいてください。

ノア王の民についての預言 (モーサヤ 12:1-2)	成就 (モーサヤ 19:10, 14-15; 20:20-21; 21:3-4, 8, 10-13)
ノア王についての預言 (モーサヤ 12:3)	成就 (モーサヤ 19:18-20)
A.	B.

表の左欄にある参照聖句を読み、リーハイ・ニーファイの地でアビナダイがニーファイ人に預言したことを確認しましょう。該当する参照聖句の下に、アビナダイがノア王とその民に、悔い改めなければ直面することになると告げた結果を書きましょう。左下の A 欄に、もしあなたがアビナダイの警告を聞いていたとしたらどのように感じ、何を行っていたと思うかを書きましょう。

表の右欄に取り組む前に、下にある活動を行いましょう。この活動は、モーサヤ 19-20 章で述べられている出来事についてさらによく知り、これらの章に記録されているアビナダイの預言の成就を認める助けになるでしょう。

モーサヤ 19-20 章を研究しながら、次の 11 の出来事に、聖文の中に出てくる順番に番号を振りましょう。各章の最初にある前書きが有益なヒントを与えてくれるでしょう。

_____ ギデオンがノア王を殺そうとする。

_____ ニーファイの女たちと子供たちがレーマン人に、自分たちを殺さないよう懇願する。

_____ ノア王が火で焼き殺される。

_____ レーマン人の軍隊がシエムロンの地の境を越えてやって来る。

_____ ノア王の祭司たちがレーマン人の娘たち 24 人を誘拐する。

_____ レーマン人の王はリムハイの民の命を救うように自分の軍隊に訴える。

_____ ノアと何人かの者たちは妻子を残してレーマン人から逃れる。

_____ リムハイはレーマン人の王を殺さないように民に命じる。

_____ ニーファイ人とレーマン人の間に 2 年間平和がある。

_____ リムハイはレーマン人に民の所有物の半分の納めると約束する。

_____ ニーファイ人はレーマン人の攻撃を退け、レーマン人の王を捕える。

(この活動の答えはこのレッスンの最後に載っています。)



2. 11 の出来事に正しく番号を振ったら、聖典学習帳の表に戻りましょう。右欄の聖句を読み、アビナダイの預言がどのように成就したか、詳細を調べましょう。それらの詳細を表の右欄に記録してください。右下の B 欄に、預言者の警告の言葉を拒むときに招く結果について学んだことを書きましょう。

モーサヤ 20:21 を読み、「主の僕の言葉を拒むことは苦しみと悲しみを招く」ことをギデオンが理解していたことを示している言葉に印を付けましょう。

教義と聖約 133:63, 70-72 を読み、終わりの時に主または主の僕に耳を傾けようとしない人々に、この原則がどのように適用されるかを調べましょう。聖典に、この聖句をモーサヤ 20:21 の相互参照聖句として書いておくといよいでしょう。『リアホナ』(5月号または 11月号) か LDS.org で最近の総大会の説教を調べ、これらの事柄について預言者たちが語っている言葉を見つけましょう。

次の質問について深く考えましょう。「個人や家族や国家が苦しみや悲しみを避けられるように助けるために、最近、預言者たちがどのようなことを教えるのを聞いたでしょうか。」

主の預言者を拒むことが招く悲しみや苦しみの例として、ポルノグラフィーに関わる人はどのような結果を招くことになるか、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老が言っているかを調べましょう。



「ポルノグラフィーは、異性との間に正常な感情に基づく、ロマンチックで霊的な関係を築く能力を損ないます。また、不適切で異常な、違法行為に立ちはだかる道德の壁を破壊します。良心が鈍くなるにつれ、ポルノグラフィーを見る人は自分の人生やほかの人々の人生に及ぼす影響を考えることなしに、自分が目にしてきたことを行動に表すようになります。」

また、中毒性もあります。意思決定の力を損ない、見る人を『とりこ』にし、取りつかれたように何度も繰り返させます。」「(「ポルノグラフィー」『リアホナ』2005年5月号, 89)

ギャンブルやポルノグラフィー、知恵の言葉、不正行為、入れ墨、ボディーパース、慎みのない服装、16歳になる前のデートなどに関する預言者の勧告を無視することが招く悲しみや苦しみの例をいくつか思い浮かべてください。



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。「家族を強めることや純潔の律法に従って生活すること、知恵の言葉を守ることなどのテーマに関する主の僕たちの勧告に従うことによって、個人や家族は自分たちの経験する苦しみや悲しみの一部をどのように避けることができるでしょうか。」

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、わたしたちは預言者に従うことによって平安を得、神のもとに戻ることができることを証しています。

「わたしは、いにしへの預言者たちがこの神権時代のこれまでの預言者たちが有した特質を、今日の預言者たちも確かに備えていることを証します。……

……霊的な平安は、生ける預言者のはっきりとした声に耳を傾けることによりもたらされます。わたしたちが彼の声に耳を澄ませその勧告に従うなら、キリストがわたしたちに望んでおられるような生活をし、最後まで堪え忍ぶことができます。そしていつの日か、わたしたちは天父と救い主イエス・キリストのみもとに、家族とともに戻ることができます。」「(「予言者の声に聞き従う」『聖徒の道』1995年7月号, 18)



4. 聖典学習帳に、モーサヤ 19 - 20 章を研究したことによって、今後主の預言者の勧告に対する自分の耳の傾け方をどのように変えたいと思うかを書きましょう。主の僕の勧告に従うことによって自分がどのように平安や霊的な安全を得てきたかを考え、聖典学習帳に経験を一つ書きましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 19 - 20 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

順番を書く活動の答え — 1, 4, 5, 2, 8, 11, 3, 10, 7, 6, 9。

単元 13 — 第 3 日

モーサヤ 21 - 24 章

はじめに

リムハイの民は自分たちの悪事の結果としてレーマン人の奴隷となりました(モーサヤ 20:21 参照)。そして奴隷の状態になった結果、へりくだって神に立ち返りました。アルマの民は、信仰の試しとして奴隷の状態に陥りました(モーサヤ 23:21 参照)。どちらの民も、奴隷の状態から救い出していただくようと熱烈に祈りました。最終的にどちらの民も救い出されてゼラヘムラにやってくるが、主はそれぞれの民を異なる方法でお助けになりました。リムハイの民が経験した試練と解放について研究するとき、主はわたしたちがへりくだるときに、御自身の方法で、御自身の時に祈りにこたえてくださるということが分かります。アルマの民が経験した試練と解放について研究するとき、自分自身が苦しみや試練のただ中にあるときにどのように主に頼って強さを得ればよいかを学ぶことができます。



モーサヤ 21 - 24 章

リーハイ・ニーファイの地のニーファイ人、アビナダイの預言が成就したことを知る

自分がノア王の統治の時代にリーハイ・ニーファイの地に住んでいて、アビナダイの教えを拒んだと想像しましょう。今、あなたと民はアビナダイが預言したとおりにレーマン人の奴隷になっています。あなたなら何をしたいと思いますか。

今度は自分が現在経験している試練や逆境について考えてください。聖典の次の節を読み、救いを求めることや救い出されることについてこれらの聖句が教えていることに印を付けましょう。モーサヤ 21:5, 14; 22:1-2; 23:23; 24:21。救い出されるとは、通常、自由の身にしてもらうことや助けてもらうこと、何かを切り抜けさせてもらうことを意味します。



十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読み、わたしたちが人生で経験する試練や苦しみの原因としてスコット長老が挙げている二つのものに線を引きましょう。「逆境を好む人はだれもいません。試練や失意、心痛には、基本的に異なる二つの原因があります。まず、神の律法に背く人々には常に苦痛が伴います。しかし、逆境のもう一つの原因は、わたしたちの人生において主御自身が目的を達成しようとしておられることから来るものです。試練を通してわたしたちをさらに鍛えようという目的です。したがって、わたしたちの試練や問題がどちらから来ているのかを見極めることは、非常に重要です。対処の方法がまったく異なるからです。」（『主を信頼する』『聖徒の道』1996年1月号、17）

リムハイの民が奴隷の状態に陥ったのは自分たちの不従順のせいであり、一方でアルマの義にかなった民は自分たちを精錬してくれる逆境を経験しました。リムハイの民は、奴隷の状態に陥った結果としてへりくだり、神のもとに導かれました。神が人々を救い出されたこの二つの話を研究することによって、自分が経験している苦難がどのようなものであろうと、そこから救い出してくださるように主を呼び求める信仰を増すことができます。



1. 下の表では、最初の質問「どうして奴隷の状態になったか」にはすでに答えが書かれています。聖典学習帳に、二番目の質問「どのように救い出されたか」の答えを書きましょう。

	リムハイの民	アルマの民
どうして奴隷の状態になったか	(モーサヤ 20:21-22; 21:1-4) 民が悔い改めなかったので、主は民を奴隷にする力をレーマン人に与えられた。	(モーサヤ 23:1-4, 19-20, 25-38; 24:8-9) 民は聖約を守っていたが、邪悪な人々に裏切られ、捕えられ、迫害された。

	リムハイの民	アルマの民
どのように救い出されたか	(モーサヤ 22:1-9, 13-14)	(モーサヤ 24:17-25)

リムハイの民に関する次の質問について深く考えましょう。

- モーサヤ 21:6 によれば、リムハイの民がまだへりくだって主に立ち返っていなかったことを示すものとして、どのようなことがあったのでしょうか。このことは、自分たちが奴隷の状態にあることに対してアルマの民が取った態度とどのように異なっているのでしょうか。リムハイの民の経験について考えるとき、あなた自身の試練にふさわしい態度で応じる助けとなることとして、どのようなことが学べるのでしょうか。
- リムハイの民はすぐには苦難から救い出されませんでした。主はどのように彼らを祝福されたのでしょうか。（モーサヤ 21:16 にある「次第に栄え」という言葉に印を付けるとよいでしょう。）試練を乗り越えられるように主が少しずつ助けてくださったと感じたことがありますか。
- 民がモーサヤ 21:30-33 で述べられているような態度でいたことは、どのような点で彼らが最終的に救い出してもらえた一因になったと思いますか。



2. 以下はリムハイの民の試練と解放について研究した事柄から導き出せる真理です。この中から一つの真理を選び、聖典学習帳に、それを自分自身の生活にどのように取り入れることができるかを短い文章にまとめましょう。

- 「わたしたちがへりくだり、主に請い願ひ、罪を悔い改めるとき、主はわたしたちの祈りを聞き、主御自身の時にわたしたちの罪の重荷を軽くしてくださる。」
- 「神に仕え、神の戒めを守ると聖約するときに、主はわたしたちが救われる方法を与えてくださる。」

リチャード・G・スコット長老の次の言葉を読みながら、アルマの民が経験した苦難と解放について考えてください。「試練というものは、えてして順風満帆に思えるようなときに、重なってやって来るものです。そうした試練がもし不従順によるものでなければ、それは、皆さんにさらに成長する準備ができた、と主が感じておられるしるしです（箴言 3:11-12 参照）。皆さんの成長と理解と思ひやりに拍車をかけて皆さんを切磋琢磨し、そこから、永遠にわたる利益を勝ち得てもらうためです。皆さんが現在の状態から主

が意図しておられる状態へと移るには、かなり背伸びをしなければならず、往々にしてそれが不快感や苦痛をもたらすのです。」「(主を信頼する」17)

モーサヤ 23:21-22 の中で「主はわたしたちの忍耐と信仰を試すことによって、わたしたちが主に対する信仰を増すように助けられる」ことを示している言葉に印を付けましょう(教義と聖約 122:5-7 も参照)。

次の質問に対して、短い答えを学習ガイドに書きましょう。

- もしあなたがモーサヤ 23-24 章に記録されている出来事が起こっていた時期にアルマの民の中にいたとしたら、最も堪え忍ぶのが難しい試練は何だったと思いますか。それはなぜですか。 _____
- 試練に対するアルマとその民の態度から、どのようなことが学べるでしょうか。(モーサヤ 24:1-12, 15-16 参照。) _____
- 主はアルマの民をすぐには救い出されませんでした、彼らのためにまずどのようなことをなさったのでしょうか。(モーサヤ 24:15 参照。) _____

アルマの民の経験から学べる一つの原則は、「わたしたちが主の御心に忍耐強く従うとき、主はわたしたちを強め、主の時に試練からわたしたちを救いだしてくださる」ということです。

 3. 聖典学習帳に、試練のときに忍耐強く主の御心に従うとはどういう意味だと思うか、また、そのようにすることが、困難な時期を乗り越えられるように主が与えてくださる強さと祝福を受けるためのどのような備えとなるかを書きましょう。

このレッスンの最初に、あなたは自分が現在直面している試練や逆境について考えました。それらを思い出して、次の質問に対する答えを聖典学習帳か別の紙に書くといでしょう。

- わたしは今、生活の中でどのような試練に立ち向かっているだろうか。
- 生活の中で主の解放の力を受けるために、どのように備える必要があるだろうか。

 4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 21-24 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 13 — 第 4 日

モーサヤ 25 章

はじめに

モーサヤ 25 章に記録されているように、リムハイの民とアルマに従った人々は旅をしてゼラヘムラに着き、モーサヤ王の統治のもとで無事に一つとなりました。これらのニーフアイ人の民が一つになったことにより、彼らは神の慈しみと、自分たちを救い出してくださった神の力を認めました。彼らはまた統一された教会を設立しました。このレッスンを研究するとき、自分の人生において神の慈しみをどのように目にしてきたか、そしてイエス・キリストのまことの教会に属することでどのような祝福を受けてきたかについて考えるといでしょう。

モーサヤ 25:1-13

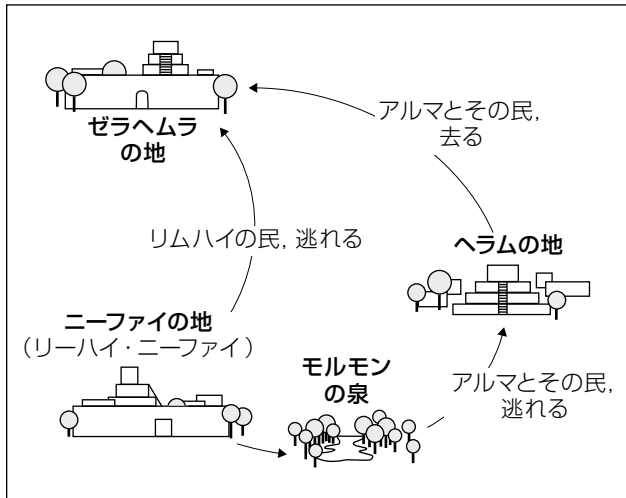
ゼラヘムラに集まった人々は一つとなり、ニーフアイ人として知られるようになる

若い女性のグループと一緒にハイキングをしていたときに御霊に耳を傾けたことで守られた、ある若い女性についての次の話を読みましょう。

「帰り道、わたしは 5 人の若い女性たちと指導者と一緒に遅いグループにいました。みんな写真を撮るのに忙しくしていたので、わたしは先に行くことにしました。丘を下っていると、雌牛の声が聞こえました〔死にかけているような声でした〕。『引き返さない』というはっきりとした、しかし静かな、警告の声がありました。わたしは危うくそれを見逃すところでした。ところが、再びその声が聞こえました。今度はその声に聞き従い、わたしは皆の所に戻りました。わたしたちが丘を下り始めると、2 頭の非常に大きな黒い牛が怒って、丘を駆け上がって来ました。大きい方の牛はわたしたちを見ると、前足で地面をかき始めました。……わたしたちの神権指導者が牛の注意をそらし、その間にわたしたちは無事にフェンスを乗り越えることができました。

キャンプ場に帰ったとき、わたしは、もし御霊の警告に聞き従わなかったら、大けがをしていたか、死んでいたかもしれないと思いました。わたしは、天の御父がわたしのことを気にかけて、守ってくださったことを知りました。その警告をくださった主に感謝しています。この経験でわたしの証は強められ、わたしはこれまで以上に主を愛するようになりました。」(マリッサ・W, “Turn Back,” *New Era*, 2010 年 11 月号, 47)

ほかの人々の生活の中で神の慈しみや力が現されたことを伝えている話を聞いたり読んだりするとき、あなたはどのように強められますか。



リムハイの民とアルマの民がゼラヘムラの民と一つになったとき、モーサヤ王は彼らの記録をすべての民に読んで聞かせました（モーサヤ 25：1－6 参照）。これらの民に対する神の計らいについての話を聞いたモーサヤ王の民がどのような反応を示したか、モーサヤ 25：7 を調べましょう。



1. モーサヤ 25：8－11 のそれぞれの節について、^{ばらから} 同胞の話を聞いたときの人々の反応を聖典学習帳に書きましょう。例えば、モーサヤ 25：8 では、彼らがレーマン人の奴隷の状態から救い出された人々を見ると、その人々は「非常に大きな喜びに満たされて」いました。

- モーサヤ 25：8
- モーサヤ 25：9
- モーサヤ 25：10
- モーサヤ 25：11

聖典のモーサヤ 25：8－11 のそばの余白に次の原則を書いておくとよいでしょう。「わたしたちはほかの人々への神の計らいの記録を学ぶことによって、神の慈しみに対する喜びと感謝を感じることができる。」

神の慈しみにあずかった人々について学ぶことのできる資料や機会を思い浮かべてみましょう。聖文、教会歴史、教会機関誌、総大会の説教、あなた自身の家族歴史記録、証会、日曜学校や神権会や若い女性のクラスなどが考えられるでしょう。これらのものから神の慈しみについて学んだときのことを考えてください。その後、次の質問について深く考えましょう。

- ほかの人々に対する神の計らいについて学ぶ機会を通して、喜びや感謝の気持ちを抱いたことがありますか。
- 聖文であろうとそれ以外の記録であろうと、ほかの人々に対する神の計らいに示されている神の慈しみの話を定期的に学ぶことにより、どのような影響があると思いますか。

これからの一週間、あなたが思い浮かべた資料や機会の一つから、神の慈しみについて、あなたが感嘆したり、驚きや喜び、または感謝で満たしてくれる話を探してみましょう。学んだことや受けた影響について日記に書くといでしょう。また、その話を使って神の慈しみについて家庭の夕べで家族に教えるか、セミナーのクラスや友達に紹介してもよいでしょう。

モーサヤ 25：14－24

アルマ、ニーファイ人の全地に神の教会を設ける

モーサヤが民に語り、記録を読んで聞かせ終わると、アルマが民に語りました。モーサヤ 25：14－16 を読み、アルマが教えたことを見つけましょう。次の質問に対する答えを学習ガイドに書きましょう。

- アルマが教えたことが、リムハイの民とアルマに従った人々が経験したことの適切な要約であると言えるのは、どのような点によってでしょうか。_____
- ゼニフの民の歴史を聞いた後でアルマの言葉を聞くことが、民にとって重要だったのはなぜだと思いますか。_____

モーサヤ 25 章を読み進める前に、自分の所属するワードや支部以外の末日聖徒のワードや支部に出席したときのことについて考えてください。自分の所属するワードや支部と、訪問したワードや支部の類似点としてあなたが気づいたことについて考えましょう。

モーサヤ 25：17－22 を読み、アルマの時代にニーファイ人の中で教会がどのように治められていたかを調べましょう。モーサヤ 25：21 で「教会」と呼ばれているものは、^{今日} 教会でわたしたちがワードや支部と呼んでいるものに似ています。アルマの時代と同じように、神は今日、御自分の教会を導く指導者を召されます。

モーサヤ 23：16 で、アルマが「彼らの大祭司」であり「彼らの教会の創設者」であったことを学びました（モーサヤ 23：16）。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しています。「モーサヤ二世王の下で、ニーファイ人の主体は依然としてゼラヘムラの地にいました。アルマが彼らの教会の創設者であったと述べられているのは、ニーファイ人の最初の受け継ぎの地から逃れていた避難者たちだけに関するものです。やがて彼らは教会の主体のもとにたどり着き、アルマはニーファイ人の住む全地における教会を管理する大祭司に任じられました。」（*Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編, 全 5 巻 [1957－1966 年], 第 3 巻, 39－40）



2. 次のそれぞれの質問に対して、短い答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. ニーファイ人の教会はどのような点で今日の教会と似ていたでしょうか。
- b. 指導者たちが神から権能を授かっていたアルマによって召されたのは重要なことでした。それはなぜだと思いますか。
- c. 指導者たちが世界中のすべての教会員に同じ真理を教えることは、なぜ重要だと思いますか。

モーサヤ 25:23 – 24 を読み、キリストの教会に加わった人々について述べている言葉で、今日の主の教会の会員にも当てはまるものを探しましょう。これらの節から学べる一つの原則は、「わたしたちがイエス・キリストの御名を受け、それに従って生活するとき、主はわたしたちに御霊を注いでくださる」ということです。



3. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. モーサヤ 25:23 – 24 にあるニーファイ人の教会員について述べた言葉は、今日の教会員にもどのように当てはまるでしょうか。
- b. 自分がイエス・キリストの名を受けていることを覚えることによって、あなたの思いや日々の選びにどのような違いが生じてくるでしょうか。

モーサヤ 25:24 で、主が御自分の民に「主の御霊を注がれ〔た〕」ことに注目しましょう。十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老は、聖霊の賜物が教会員にとって持つ価値を次のように強調しています。



「聖霊の賜物は聖霊を常に伴侶とする権利ですが、これを受けられるのは次の条件を満たしたときだけです。すなわち、キリストを信じる信仰を持ち、悔い改め、水に沈めるバプテスマ、そしてメルキゼデク神権を賦与された権威ある僕による接手を受けることです。聖霊の賜物は主の教会のふさわしい会員にのみ与えられる、最も尊い賜物なのです。

……これこそ、証と霊的な賜物の源です。思いを照らし、霊に喜びを満たし、すべてのことを教え、忘れた事柄を思い起こさせてくれます。聖霊はまた、『なすべきことをすべて……示〔し〕』くださいます〔2 ニーファイ 32:5〕。」「〔言い尽くせない賜物〕『リアホナ』2003 年 5 月号、26)



4. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. イエス・キリストの教会に参加することは、御霊を感じるうえでどのような助けとなっていますか。
- b. よりいっそう御霊に親しみを感じられるように、もっと忠実になって多くの義にかなった行いをするために、どのようなことができるでしょうか。

聖霊の賜物があなたの生活にどのような祝福をもたらしてきたかを、だれかに伝える機会を探し求めましょう。聖霊を伴侶とするのにふさわしくあるように努めるとき、聖霊を通して経験してきた祝福が増し加えられることでしょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ25章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元14—第1日

モーサヤ26章

はじめに

モーサヤ26章に記録されているように、一部の不信仰なニーファイ人の若者たちがへつらいの言葉で教会員に影響を及ぼし、彼らを罪に誘い込みました。アルマはこのような会員を神の御心に従ってどのように裁けばよいかを知らうと祈りました。主は、教会員に自分の罪に対してどのように責任を負わせるべきかをアルマに明らかにされました。主はまた悔い改めの条件も説明されました。アルマは心から悔い改める人を神が快く赦して下さることを知りました。

モーサヤ26：1－6

若者の多くが福音を信じず、罪を犯す

少し時間を取り、次の質問について考えましょう。「若い人々の中に、たとえ預言者たちに耳を傾け、両親から教えられてきた人であっても、証がない、または強い証がない人がいるのはなぜだと思いますか。」

モーサヤ26章では、この質問に対する洞察が与えられています。下の表にある聖句を研究し、質問に答えましょう（学習ガイドに答えを書いてください）。

モーサヤ26：1－2	若者の多くが3つのことを信じませんでした。それは何ですか。_____
モーサヤ26：3	不信仰な態度で聖文を読んだり預言者に耳を傾けたりすることは、わたしたちにどのような影響を及ぼすでしょうか。_____ _____
モーサヤ26：4	これらの人々が救い主に信仰を抱かず、教会に加わらなかったおもな理由のひとつは何でしょうか。_____
これらの節から学んだ原則の一つを書きましょう。_____	

モーサヤ26：1の「先祖の言い伝え」という言葉は、前の世代から受け継がれてきた福音の真理を指しています。この言葉は、誤った考えを指す場合もあります（例えば、アルマ9：16参照）。モーサヤ26：1－4で教えられている原則の一つは、次の通りです。「信じたいという望みと個人の努力は、証をはぐくむために必要である。」

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長の次の話を読み、証を得、それを保つために必要な行いに下線を引きましょう。



「証は、信仰の祈りや、聖文に記された神の御言葉を求める強い望み、受け入れた真理に従うことによって培う必要があります。祈りを怠るならば危険にさらされます。聖文をいかに学んだり読んだりするならば証は危機に瀕します。それらは証に必要な栄養

です。……

神の御言葉をよく味わい、心から祈り、主の戒めに従うことは、証をはぐくみ大きくするためにたゆまず継続的行うべきことです。」（「生きた証」『リアホナ』2011年5月号、127）

アルマの時代に、次世代の人々がアイリング管長の指摘したことを行っていなかったことに注目してください。



1. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 自分の経験から、祈り、聖典を読み、戒めに従おうと努めるときに、信じながらそれらを行うことはなぜ大切でしょうか。

b. 信仰をもって祈り、聖典を読み、戒めに従うことにより証が強められたときの経験について書きましょう。

福音に対する証のない人が教会員に影響を与えているのを目にしたことがあるか、少しの間考えてください。モーサヤ26：5－6を読んで、不信心な者たちが教会員にどのような影響を与えたか探してください。

学習を続けるうえで、モーサヤ26：6の次の言葉の意味を知っておくと役立つでしょう。「教会に属していながら罪を犯した者を、教会は説諭〔警告し、正すこと〕しななければならなかった」とは、反抗的な教会員はその罪に応じて裁かれ、悔い改めの機会を与えられる必要があることを意味しています。



モーサヤ 26 : 7 – 39

アルマ、罪を犯した人々をどのように裁くべきか尋ねる

モーサヤ 26 章の残りを学ぶ備えとして、あなたが、深刻な罪を犯した会員たちのいるワードのビショップだとします。ビショップであるあなたは、この会員たちの責任を問い、悔い改められるよう助けるように主から求められました。この会員たちをどのように扱うか、またどのように助けることがもっともよいか、考えてください。

このような状況は、アルマにとって難しいものでした。今日権能を受けている神権指導者と同様にアルマは、深刻な罪を犯した会員が悔い改め、赦しを得、再び活発な教会員となり名誉ある身分に戻れるよう助ける責任を負っていました。モーサヤ 26 : 7 – 14 を読んで、この状況にアルマがどのように対処したか、また主から答えを受けるために何をしたかを探してください。

 2. 神権指導者が、罪を犯した人々を助けるときに主の導きを求め、受けることを知ることはなぜ大切な、聖典学習帳に書きましょう。

アルマは改宗前に邪悪なノア王の祭司であったことを思い出してください。モーサヤ 26 : 15 – 18 を読んで、アルマとその民が主のもとに戻るために行ったことと、主が彼らに授けられた祝福を探してください。

 3. モーサヤ 26 : 29 – 30 を読み、次のいずれか、または両方に答えてください。

a. 次の原則を理解することが、深刻な罪を犯した人を含め、あらゆる人にとって大切な理由を説明してください。「主は真心から悔い改める人を赦される。」

b. 次の原則についての証を書きましょう。「主は真心から悔い改める人を赦される。」

深刻な罪を犯した教会員をどのように助けるべきか導きを求めて祈ったアルマに、主は指示を与えられました。悔い改める機会を会員に与えるべきだが、悔い改めない場合は主の民の一人に数えてはならないと指示されました。この指示は、悔い改めの原則について大切な洞察を与えてくれます。モーサヤ 26 : 21 – 31 を読み、悔い改めについて述べている事柄を探してください。

 4. これらの節で読んだことを分析する助けとして、次の課題のうち 2 つ以上に答えて聖典学習帳に書きましょう。

a. モーサヤ 26 : 23 の救い主の言葉はどのように要約できるでしょうか。救い主ご自身がわたしたちの罪の代価を支払われたことに気付くことはなぜ大切なのでしょう。

b. 神権指導者としてのアルマに救い主が信頼を寄せておられたことは、モーサヤ 26 : 21 – 31 のどの語句に表れているでしょうか。神権指導者の助けは、深刻な罪や誘惑に悩む人々をどのように支援することができるでしょうか。

c. 「真心から」(モーサヤ 26 : 29) 悔い改めるとはどのような意味でしょうか。

d. 主の赦しを受けるためにはほかの人を赦さなければならないのはなぜだと思いますか。(モーサヤ 26 : 31 参照)

モーサヤ 26 : 21 – 31 から分かった原則を自分の言葉で書いてください。 _____

ほかの原則を書いたり、言い回しが異なるかもしれませんが、以下は、モーサヤ 26 : 21 – 31 で教えられている原則の例です。

- 「ビショップと支部会長は主に代わって、わたしたちが悔い改め、赦しを得られるよう助けてくれる。」
- 「罪の告白は赦しを招く。」(すべての罪は神に告白する必要があります。深刻な罪は神権指導者に告白し、悔い改めの過程を歩むための助けを得る必要があります。)
- 「わたしたちは主の赦しを得るために、ほかの人々を赦さなければならない。」

 5. これらの原則を分析する助けとして、次の事例研究を読んでください。事例研究を一つ選び、今日学んだ節や原則が、このような状況にある人々をどのように助けることができるか、聖典学習帳に書きましょう。

a. ある若い女性は、重大な罪を犯したが、ビショップに話すのを恐れている。

b. ある若い男性は、悔い改めたいと思っているが、その方法が分からない。

c. ある若い女性は、以前に犯した罪を繰り返し、主がもう自分を赦してくださらないのではないかと心配している。

d. ある若い男性は、悔い改める決心をしているが、自分の気持ちを傷つけた人を赦すことを拒んでいる。



6. このレッスンに出てきた原則を一つ選び、自分自身が悔い改めようとするときにその原則をどのように実践できるか考えてください。この原則の実践方法を聖典学習帳に書きましょう。

モーサヤ 26:37-39 を読んで、主の勧告を実践したアルマに何が起こったか探してください。アルマとその民の経験は、悔い改めて義にかなった生活を送るならば、わたしたちも平和と繁栄を得られるということを教えてください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ書 26 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 14 — 第 2 日

モーサヤ 27 章

はじめに

モーサヤ 27 章は、アルマ（アルマの息子）とモーサヤ王の息子の改心について述べています。神の教会を滅ぼそうとする反抗的な試みと、天使の訪れ、アルマの奇跡的な変化、自分たちが与えた害を埋め合わせるためにこの若者たちが費やした努力などについて触れられています。アルマの改心の話は、すべての人が再び生まれ、義にかなった生活する必要性を強調しています。この章には、イエス・キリストの福音に従わない選択をしている人々のために祈ることからもたらされる祝福についても触れられています。

モーサヤ 27:1-23

天使が、息子アルマとモーサヤの息子たちに悔い改めを呼びかける

福音に対する証がない人や、教会から離れてしまった人のことを思い浮かべてください。そのような人を助けようとするあなたの働きかけがことごとく拒まれたとしたらどうしますか。今日はこの質問に対する答えを探しながら学ぶようにしましょう。

モーサヤ 27:8-10 を読んで、アルマとモーサヤの息子たちについて書かれていることを探してください。アルマとモーサヤの息子たちは、教会とその会員に対して何をしようとしていましたか。

アルマとモーサヤの息子たちに関してもっとも印象に残った記述は何ですか。それはなぜですか。 _____

時々、人が変わって主のもとに来ることなど絶対にないと思ってしまうことがあります。モーサヤ 27 章の学習を続けながら、このような態度について考えてください。

モーサヤ 27:11-14 を読んで、天使がアルマとモーサヤの息子たちを訪れた理由について書かれている箇所に下線を引いてください。

モーサヤ 27:14 は次の原則を教えています。「ほかの人々のために信仰をもって祈るときに、主はわたしたちの祈りにこたえてくださる。」この原則を聖典のモーサヤ 27:14 の隣に書き込むとよいでしょう。悔い改める必要のある人すべてが天使の訪れを受けるわけではありませんし、わたしたちがだれかのために祈ったらその人たちが必ずしも天使の訪れを受けるわけでもありません。主はご自身の知恵に従って、ほかの人々のための忠実な祈りにこたえられます。





1. 次の質問のいずれか、または両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 自分の祈りがほかの人の生活に違いをもたらしたと感じたのはいつでしょうか。

b. ほかの人のための忠実な祈りに主はこたえてくださると信じることは、祈り方にどのような影響を与えるでしょうか。

アルマとモーサヤの息子たちの話をどのように自分の生活に当てはめることができるか考えてみましょう。主の教えに反した行いをする知り合いや愛する人たちのために祈り続けることができます。主はあなたの祈りを聞き、ふさわしい時にふさわしい方法でこたえられます。しかし、それぞれの人の選択の自由が尊重されることを覚えておくといでしょう。また、次の質問についてよく考えてください。「あなたの幸福について祈ってくれる人はだれでしょうか。」「主はあなたにどのように変わってほしいと望んでおられるでしょうか。」「そのように変わるには何をする必要がありますでしょうか。」

モーサヤ 27:15 - 16 に記されている、天使がアルマに語った言葉の残りを読みましょう。天使が「さながら雷のような声で語り、その声は彼らの立っていた大地を震わせた」（モーサヤ 27:11）ことを覚えておいてください。あなたがアルマとモーサヤの息子と一緒にいたとしたら、この経験からどのような影響を受けていたかを想像してみてください。

天使の言葉をどのように要約することができますか。 ____

天使の言葉を聞いたアルマはしゃべれなくなっていました。アルマは弱くなり、「身動きができないまま」父のもとに「運ばれて」（モーサヤ 27:19）いきました。アルマの父はこの出来事を耳にして、「それが神の力によって起こったことを知って喜〔びました〕。」（モーサヤ 27:20）アルマの父は人々を集めて、「息子……に行われたことを見せよう」と（モーサヤ 27:21）しました。また、息子が力を得て話せるようになるよう断食して祈るよう祭司たちに頼みました（モーサヤ 27:22 参照）。主は彼らの祈りにこたえられました。

モーサヤ 27:24 - 31

息子アルマとモーサヤの息子たち、悔い改めて再び生まれる

モーサヤ 27:23 - 24, 28 - 30 を読んで、息子アルマが天使と出会った経験によりどのように変わったかを探してください。次の表に心の変化がもたらしたアルマの霊的な状態を表す語句を書いてください。

前	後

2. 「後」の欄に書いた語句の中から、生涯自分の属性として身につけたいものを一つ選び、聖典学習帳に書きましょう。また、その理由を説明してください。

モーサヤ 27:24, 28 を読み返し、心の変化をもたらした、アルマの行動と主が行ってくださったことに印を付けましょう。

印を付けるための様々な技術を用いる

聖文に含まれているテーマや真理を区別するために、印を付けるための様々な技術を用いると役立つでしょう。例えば、モーサヤ 27:24, 28 では、アルマが変わるために自分で行ったことに下線を引き、主が行われたことを丸で囲むとよいでしょう。そうすると、一目で二つを区別することができます。印の意味を、最小限の記号や語句などを使って表すか、聖典のどこかに説明を書いておくと、意味を思い出すことができますでしょう。

3. 生活を変えるためにわたしたちが何をしなければならないか、また主が何をしてくださるかを理解することはなぜ重要か、聖典学習帳に書いてください。

4. 以下の質問の一つまたは両方に答え、聖典学習帳に書きましょう。

a. モーサヤ 27 章は、落胆し、悔い改めて主のもとに来ることができないと思っている人にとってどのような助けとなるでしょうか。

b. モーサヤ 27 章は、悔い改めて主のもとに来る人はいないと思い込んでいる人にとってどのような助けとなるでしょうか。

モーサヤ 27:25 - 26 を読んで、^{あがな}贖いを通して変わる必要があるのはだれか、つまり神から生まれなければならないのはだれか探してください。

これらの節は次の原則を教えています。「わたしたちはみなイエス・キリストの贖いを通して再び生まれる必要がある。」神から生まれるとは、主の御霊により人の心に大きな変化が生じ、その人が悪を行いたいという望みを二度と持たず、神につける事柄を求めたいと望むことを意味しています（モーサヤ 5:2 参照）。アルマとモーサヤの息子たちはすぐに心の大きな変化を経験しましたが、わたしたちのほとんどは贖いを通してもっとゆっくりと変化します。神から生まれるとは、一つの出来事というよりはむしろ過程です。

5. 次の質問に対する答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 悔い改め、日々救い主に従おうと努めることにより、あなたは贖いを通してどのように変わりましたか。

b. 主のもとに来て、贖いを通して生活をさらに変えるためにできることを一つ挙げるとしたら何でしょうか。



モーサヤ 27:32 - 37

アルマとモーサヤの息子たち、全地を旅して自分たちの罪を告白し、教会を強める

モーサヤ 27 章の中から次に学ぶ節は、次の原則を示しています。「ほんとうに悔い改めるために、人は自分が与えた損害を償うためにできる限りのことを行わなければならない。」償いとは、自分の悪い選択の結果を正し、自分の悪い行いが与えた損害を埋め合わせるためにできることを行うという意味です。例えば、隣人から何かを盗んだ人の償いには、盗んだものを返すことが含まれます。モーサヤ 27:32 - 37 を読んで、アルマとモーサヤの息子たちが罪の償いのために何を行ったか探してください。

だれかが次の罪の犯した場合、償うために何をすべきか書いてください。

• 親にうそをついた: _____

• ほかの人のうわさ話を広めた: _____

• 学校の宿題でずるをした: _____

贖いを通してどのように変わることができるかを考えるときに、どのように悔い改め、罪の償いをするができるかを考えてみてください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モーサヤ 27 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 13 — 第 3 日

モーサヤ 28 - 29 章

はじめに

モーサヤの息子たちは改心の後、レーマン人に福音を⁹宣べ伝えたいという強い望みを抱きました。モーサヤ王は彼らの決意を支持しましたが、王位を継承し聖文の記録を管理する人がいなくなっていました。そこで、モーサヤ王はアルマ（アルマの息子）に記録に関する責任を与えました。そして、ほかの王を任命する代わりに、新しい政治体制としてさばきつかさの制度を設けました。



モーサヤ 28 : 1 - 9

モーサヤの息子たち、レーマン人に主の教えを宣べ伝えることを望む

以下のそれぞれの文章の横に、あなたの望みの度合いを 1 から 10（1 を「まったく望みがない」、10 を「とても強く望んでいる」とする）で示してください。

____ ほかの人が永遠の幸福を見いだせるよう助けたいと心から望んでいる。

____ わたしはほかの人々を助けるために喜んで犠牲を払う。

____ わたしはほかの人々に福音を伝えたいと願っている。

____ 若い男性の場合、専任宣教師として奉仕したいという望みを評価してください。（若い女性の場合でも自分の望みを評価しても構いません。）

モーサヤ 27 : 8 - 10 を読み返して、上記の文について、改心前のアルマとモーサヤの息子たちを評価するとしたらどのようなになるか考えてください。

次に、モーサヤ 28 : 1 - 3 を読んで、モーサヤの息子たちがどう変化したかを探してください。読む際「減じる」とは霊的に失われることを指していることを覚えておきましょう。

次の質問の答えを書いてください。

モーサヤの息子たちはだれに福音を伝えたいと思いましたか。_____

これまでにモルモン書から学んだことを踏まえて、モーサヤの息子たちはレーマン人への伝道中にどのような苦難や危険に遭ったでしょうか。_____

モーサヤ 28 : 4 を読んで、自分の言葉でどのように言い換えることができるか考えてください。モーサヤの息子の改心が、福音を伝えたいという望みに影響を与えたことに注目してください。モーサヤ 28 : 1 - 4 から次の原則を学ぶことができます。「改心の度合いが深いほど、福音を宣べ伝えたいという望みは増す。」



十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の話を読んでください（聖典のモーサヤ 28 : 1 - 4 の隣の余白に書き込むとよいでしょう）。「福音を分かち合いたいという望みの強さは、個人的な改心の度合いを測る大切なはかりの一つなのです。」（「福音を分かち合う」『リアホナ』2002 年 1 月号、8）

モーサヤ 28 : 4 の最初の文で、福音を伝えたいというモーサヤの息子たちの望みがどのように影響を受けたかを示す箇所¹⁰に印を付けましょう。主の御霊は、福音を伝えたいという望みを増すうえで重要な役割を果たすことに留意してください。



1. 以下の質問の一つに答え、聖典学習帳に書きましょう。

a. 証^{あかし}が強まるにつれ、福音を伝えたいという望みはどのように増しましたか。

b. ほかの人に福音を伝えたいと思うきっかけとなった出来事には、どのようなものがありますか。

c. 現時点で、福音を伝えたいという強い望みを抱いていないと感じる場合、その望みを強めるために何ができるでしょうか。（アルマ 17 : 2 - 3 を読む。）

福音の原則を事例研究に应用する

福音の原則を、生活の中でよく起こる状況に応用してみると、原則をさらに分析し、自分の生活との関連性に気付きやすくなります。事例研究に真剣に取り組むほど、その事例から多くのことを学ぶことができます。



2. 教会員であっても専任宣教師として奉仕したいという望みがあまりない、あるいはまったく若い男性がいるとします。その人への手紙を聖典学習帳に書いてください。その中で、どのようにすれば福音を宣べ伝えたいという望みを強めることができるかを提案してください。自分がイエス・キリストの福音に対する改心の度合いを深めたきっかけについて思い起こし、彼に同じよう

な活動や経験を提案するとよいでしょう。改心の度合いが深まるほど、福音をほかの人に伝えたいという望みが増すことを心に留めながら、手紙を書いてください。

モーサヤ 28 章を引き続き学びながら、もしも愛する人が、自分たちと異なる、人々を憎む乱暴な人々と一緒に生活することを望んだとしたら、あなたはどのような気持ちができるか想像してください。モーサヤ 28:5-9 を読んで、モーサヤが息子たちをそのような危険な場所に伝道に行かせた理由を探してください。アルマ書では、「多くの者が彼らの言葉を信じる」(モーサヤ 28:7) ことについて学びます。モーサヤの息子たちの努力の結果、何千人というレーマン人が改宗しました。

モーサヤ 28:10-20

モーサヤ、ヤレド人の版を翻訳し、持っていたすべての記録をアルマに託す

モーサヤ 28 章の残りには、年老いたモーサヤ王が、亡くなる前に神聖な記録を管理する人を新たに選ぶ必要があると感じたことが記されています。モーサヤ王の前の 2 世代は、王が版を次の王に託していました。しかし、モーサヤ王の息子は伝道に出て行ったため、王位を継承する息子がおらず、記録の管理者もいませんでした。これらの記録には、モーサヤが神の力により翻訳したヤレド人の版も含まれていました(モーサヤ 28:11-19 参照)。



あなたが神聖な記録を管理する人を選ぶとしたら、どのような性格の人がよいと思いますか。_____

あなたが版の管理をするようだれかから選ばれたらどう思うか、説明してください。_____

モーサヤ 28:20 を読んで、版の管理者としてモーサヤが選んだ人物の名前を探してください。



3. モーサヤの決定から、アルマの心の変化についてどのようなことが分かるか、聖典学習帳に書きましょう。(この質問に答えるには、モーサヤ 27 章に記されているアルマのそれまでの行いを復習する必要があるかもしれません。) また、アルマに対するモーサヤの信頼は、どのような点で悔い改める人たちに希望を与えるかも説明してください。

モーサヤ 29 章

モーサヤの民、新しい政治体制としてさばきつかさの制度を選ぶ

モーサヤ 29 章に記録されているように、モーサヤ王は、今後ニーファイ人の政治に王は関知せず、さばきつかさのシステムにより統治することを提案しました。モーサヤ 23:7-8 とモーサヤ 29:13, 16-18 を読んで比較してください。これらの聖句によると、良い専制政治(一人の王または女王による統治)の前提となる状況または条件は何でしょうか。モーサヤが専制政治を続けることの害悪についてニーファイ人に勧告したのはなぜでしょうか。

モーサヤ 29:11, 25 を読んで、さばきつかさがどのように民を裁くべきかについてモーサヤが語った内容を次の答えから選んで丸で囲んでください。(a) 憐れみをもって (b) 法に従って (c) 神の戒めに従って (d) 厳しく。

モーサヤ 29:26, 30, 33-34, 37-38 を読んで、
モーサヤ王が提案した新しい政治体制における民の役割
を探してください。



4. 一人一人の国民が自国のために「自分の責任を負
[う]」ことが大切なのはなぜだと思いますか。聖文
学習帳に理由を書きましょう (モーサヤ 29:34 参照)。

アルマは最初のさばきつかさに任命され、義のうちに務
めを果たしました (モーサヤ 29:41-43 参照)。

モーサヤ 29 章から学んだ原則の一つ、自分の言葉で書
きましょう。 _____

この章が教えている一つの原則は次の通りです — 「人
は皆、義にかなった法律と指導者を支持する義務を負って
いる。」



5. 自国の義にかなった法律と指導者を支える方法
を一つ聖典学習帳に書きましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書い
てください。

__月__日、モーサヤ 28-29 章を研究し、このレッスンを
終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

アルマ書

なぜこの書を研究するのか

アルマ書を研究することによって、あなたはイエス・キリストと天の御父の幸福の計画におけるイエス・キリストの贖罪と復活の必要性を学びます。また、偽善売教、偽りの教義、罪、憎悪、背教に打ち勝ち、心の大きな変化を生じさせ、再び生まれ変わるように導く神の言葉の力についても学びます。あなたはモーサヤの息子たちの伝道の働きと、後にアンタイ・ニーファイ・リーハイ人となるアンモンが改宗して忠実な民となる話を読んで感銘を受けることでしょう。さらに、ニーファイ人とレーマン人との戦争について詳しく採り上げた章を学ぶとき、自分が生きている激動の時代において導きとなり、サタンに対する個人的な戦いで勝利するのに助けとなる原則を学ぶことができます。

だれがこの書を書いたのか

モルモンは、ニーファイの大版から編集して短くまとめたアルマ書を作成しました。この書は、アルマの息子であり、しばしば息子アルマと呼ばれているアルマにちなんで名づけられたものです。モーサヤ王がニーファイ人の間にさばきつかさの統治制度を導入したとき、息子アルマは最初の大さばきつかさとなり、また父親の後を継いで教会を管理する大祭司となりました（モーサヤ 29：42 参照）。やがて彼は、「大祭司の職に専念し」、ニーファイ人が住む全地で「人々に神の言葉を告げ」るため、大さばきつかさの職を辞しました（アルマ 4：20；5：1）。モルモンはアルマの教導の業の記録（アルマ 1－44 章）と、アルマの息子たち、すなわちヒラマン（アルマ 45－62 章）とシブロン（アルマ 63 章）が書いたものを使ってアルマ書をまとめました。

いつ、どこで書かれたか

アルマ書の情報源として使用された元の記録は、紀元前 91 年から紀元前 52 年の間に書かれたものと思われます。モルモンがそれらの記録を短くまとめたのは、紀元 345 年から紀元 385 年の間のことです。モルモンはこの書を編集したときにどこにいたか記録していません。

アルマ 1－4 章

はじめに

アルマが大さばきつかさになってから程なくして、ニーホルという男が偽りの教義を教え始め、ニーファイ人の中で偽善売教を行い始めました。この男は一人の義人を殺し、その罪のために処刑されました。数年後、アムリサイという男がニーファイ人の王になろうとしました。そのもくろみは失敗したものの、票決で民の支持が得られないことが分かったと、アムリサイ人と呼ばれた自分の支持者を集めてニーファイ人に戦いを挑んできました。この戦いにニーファイ人は勝ちましたが、数万人の民が殺されました。戦いがあったために多くのニーファイ人が謙遜になって自分たちの義務を思い起こし、数千人が教会に入りました。しかし、1 年もたたないうちに教会員は高慢になり、ほかの人たちを迫害するようになったのです。そこでアルマは、大さばきつかさの職を辞して、イエス・キリストの福音を証する業に専念す



ることにしました。

アルマ 1 章

偽善売教と迫害が広がったにもかかわらず教会員は栄える

人は人望を得ようと努めることがあります。この欲望に伴う危険について、少し考えてみてください。神がどう思っているかよりも友達からどう思われるかのほうが気になると、どんなことが起こるでしょうか。

アルマ 1 章の記録によると、ニーホルという男は、民の一部から大変人望のある者とされました。アルマ 1：2－6 を読み、ニーホルが教えた事柄と、人々がそれにどのように応じたかを見つけてください。

アルマ1:12の最初の数行の中から、アルマはニーホルがこの民に初めて持ち込んだものを何という言葉で述べているか調べてください。次に脚注12①を見て、最初の参照箇所である2ニーファイ26:29を読み、偽善売教をする人は何をして、何をしないのか調べましょう。

参照聖句を活用する

聖典の各ページのいちばん下にある脚注には、参照聖句としてほかの聖句が載っています。学習する際にこれを活用すると理解を深めることができます。学習中に頻繁に参照聖句を読むことを習慣にしましょう。聖句を理解するのに役立つ参照聖句が脚注にあったら、それに印を付けておくとよいでしょう。

りとかう言っています。「この民の中で偽善売教が行われれば、民は完全に滅びてしまうであろう。」(アルマ1:12)

ニーホルが「教会の人々を惑わそうと」していると、ギデオンという義人が「彼に反論し、神の言葉をもって彼を諭し」ました(アルマ1:7)。するとニーホルは、剣を抜いてギデオンを殺してしまいました。ニーホルはこの罪のために裁かれ、処刑されます。アルマ1:16を読み、ニーホルの死によってニーファイ人の中から偽善売教がなくなったかどうか調べてください。

アルマ1:26-27を読み、ニーファイ人の神の祭司の行いが、偽善売教を行っていたニーホルやそのほかの人々の行いとどんなふうに違っていったかを調べましょう。

 1. 聖典学習帳に、ニーファイ人の祭司がどのような行いをしていたか書いてください。ニーファイ人の祭司の行いは、偽善売教を行っていた人々の行いとどんな点が違っていったのでしょうか。

偽善売教は全地に広まり、多くの人が忠実な教会員を迫害するようになりました。アルマ1章の残りを研究する前に、神の戒めを守っている人がほかの人からからかわれたり、あざ笑われたり、迫害されたりするのを見たときのことを考えてください。

アルマ1:19-20を読み、ある人々が教会員を迫害したのはなぜか調べましょう。アルマ1:21-31には、教会員が迫害に対してどのような行動を取ったか記録されています。以下の聖句を読んで表を埋めましょう。

偽善売教とは、「富と誉れを得ようとして……偽りの教義を」宣べ伝え、「自分自身を世の光とすること」です(アルマ1:16;2ニーファイ26:29)。偽善売教をする人は、神の王国を築こうとして説教をしているわけではありません。利得(富や社会的な利益、権力など)と人の称賛が欲しいのです。神や福音のことではなく、自分のことばかり考えています。偽善売教は神の目には忌まわしい罪です。これについては、アルマがニーホルにはっきり

アルマ1:21-24	アルマ1:25, 27-31
ある教会員は迫害に対してどのような行動を取ったのでしょうか。 _____	ほかの教会員は迫害があったにもかかわらず、どのような生活を送ったのでしょうか。 _____
その結果どうなったのでしょうか。 _____	どんな祝福を受けたのでしょうか。 _____

この表の研究で学んだ原則を書いてください。 _____

あなたが学ぶことのできた原則の一つに、次の原則があるのではないのでしょうか。「わたしたちは福音に従って生活するとき、たとえ迫害を受けても平安に生活することができます。」

 2. 上記の福音の原則を理解していると、迫害に遭ったり、戒めを破るよう強要されたりした場合にどう役立つか、聖典学習帳に書いてください。次に、以下の質問から一つ選び、その答えを書きましょう。

- あなたは迫害されながら、または戒めを破るようそのかされながらも戒めを守ったことがありますか。それはどんな時でしたか。そのときにどんな祝福を受けましたか。
- あなたは自分の敵にどう対応しますか。

アルマ2章

アムリサイ人とレーマン人の軍隊、連合してニーファイ人に襲いかかる

アルマ2章では、ニーファイ人のさらなる試練が描かれます。2章の前書きを読んで、アムリサイという男と彼に従う者たちがニーファイ人にどう立ち向かったかを見ましょう。アムリサイはニーファイ人の王になろうとしましたが、ニーファイ人は投票でそれを阻止する決定を下し、さばきつかさの制度を保ちました。すると、アムリサイに従う者たちは結集してアムリサイを王にしたのです。アムリサイは自分に従う者たちにニーファイ人と戦うよう命じます。この戦いでは程なくして、レーマン人の軍隊がアムリサイの軍隊に加わります。

ニーファイ人は主に忠実だったため、アムリサイ人とレーマン人との戦いで主から助けを頂きました。アルマ2:18, 28-31, 36を読み、「強くされ」という言葉と「強くして」という言葉が出てきたら、すべて印を付けましょう。主がどのような方法でニーファイ人を強くされたと書いてあるか探してください。

 3. 正しいことを行おうとしたときに主から強くされたと感じたときのことについて、聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 3 章

アムリサイ人、神から離れる

服、髪形、イヤリングなどの装飾品、入れ墨、ボディピアスで自己主張しようとしているような人たちがいることについて考えてください。



アルマ 3:4 を読み、アムリサイ人の外見がどのように変わったか見つけてください。

アムリサイ人はだれと「見分け」られましたか。 _____

自分をだれに似せようとしたのでしょうか。 _____

アムリサイ人が外見を変えたのは、背きの表れでした。アルマ 3 章の記録によると、モルモンは、数百年前にレーマン人が神にそむいた結果、のろいと印を身に受けたことに触れています（アルマ 3:6 – 10 参照；2 ニーファイ 5:20 – 24 も参照）。アムリサイ人は自ら進んで自分の額に印を付けたのですが、この印は、主がレーマン人に付けられた印と同じ役割を果たしました。

アルマ 3:18 を読み、アムリサイ人が神に対して取っている態度を表す言葉に印を付けてください。また、アルマ 3:19 を読んで、アムリサイ人が神に背くことによって自分自身に招いたものに印を付けてください。

神からのろいを受けた人について、アルマ 3:18 – 19 からどんなことが分かりますか。（公然と神に背く人は、自分自身にのろいを招く。）のろいとは、「主の前から絶たれた」状態であることを理解することが大切です（2 ニーファイ 5:20）。アムリサイ人は、このようにして神から離れました。

アムリサイ人の例から、人が神から離れるのは本人の選びによるということが分かります。「公然と神に背く人は（アルマ 3:18）、自分を神から切り離します。言い換えれば、自分自身にのろいを招くのです。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。アムリサイ人とは逆に、神から絶対に切り離されないようにするために、今あなたには何ができるでしょうか。

アルマ 3:20 – 25 には、ニーファイ人がレーマン人ともう一度戦って勝ったものの、両軍から多くの死者が出たことが語られています。モルモンはアムリサイ人の記事と、ニーファイ人・レーマン人間の戦いの記事から、おもにわたしたちにどんな教訓を学んでほしいと思ったのでしょうか。それを考えながらアルマ 3:26 – 27 を読んでください。

アルマ 3:26 – 27 に書かれていることを参考に、原則を書いた次の文を完成させましょう。「わたしたちは__次第で幸福にもなり不幸にもなる。」 _____

少し時間を取って、自分は人生でだれに従うことにしたらよいか考えてみましょう。次の問いについてよく考えてください。サタンは自分に従う者にどのような報酬、つまり報いを与えるでしょうか。（サタンの誘いは普通、最初は非常に魅力的だが、その誘いに乗ると、最後には不幸になり、常習癖に陥る。）逆に、あなたはこれまで主に従うことによってどのような報いを受けてきましたか。



5. 主に従ったおかげで幸せになったときのことを聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 4 章

教会が発展し、教会員が高慢になったため、アルマが彼らに悔い改めを説くためにさばきつかさの職を辞す

レーマン人とアムリサイ人との戦いの後、ニーファイ人は「目覚めて自分たちの義務を思い起こし」、「さらに完全に教会を確立する業に取りかかりました（アルマ 4:3 – 4）。その結果、約 3,500 人が教会に加わったのです（アルマ 4:5 参照）。しかし、残念なことに、1 年という短い間に多くの教会員が高慢になって行きました。アルマ 4:8 – 12 を読み、教会員の高慢のためにどんな邪悪なことが行われるようになったか調べましょう。この聖句から学ぶことのできる原則は、「不義の模範を示すと、その行為はほかの人が福音を受け入れる妨げとなる可能性がある」ということです（アルマ 4:10 参照）。

 6. アルマ 4 : 8 - 12 に出てくるニーファイ人の取った悪い行いや態度の例を一つ、聖典学習帳に書いてください。今日の教会員がこのような行いをせず、このような態度を取らないようにすることは大切なことです。これはなぜか、説明してください。

教会員が邪悪な行いをするようになったため、アルマは自分の代わりにほかの人を大さばきつかさに任命して、全教会の管理大祭司としての召しに全時間をささげられるようにしました。それは、「純粋な証をもって責める」ことによって、会員に高慢と罪を克服させるためでした（アルマ 4 : 19）。アルマ 4 : 19 を読み、民のためにアルマがしたかったことに線を引きましょう。

アルマ 4 : 19 では、次の原則が説明されています。「自分の霊的な務めを果たすために、犠牲が求められることがある。」「主の僕は証を述べ、罪人に悔い改めを叫ぶ。」純粋な証を述べることは、ほかの人々をもっと神に近づけるのに役立つ。」

一国の首相のような政治の要職にあった者が、その地位を投げ打って伝道に出るなど、想像できるでしょうか。アルマはそれを行ったのです。

 7. 「純粋な証をもって責める」（アルマ 4 : 19）という言葉でアルマが何を教えようとしたと思うか、聖典学習帳に書いてください。また、ほかの人が福音について証するのを聞いて影響を受けた経験があれば、そのとき自分がどんなふうになり、どんなふうに変化したかも記録しましょう。

 8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 1 - 4 章、を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 15 - 第 1 日

アルマ 5 : 1 - 36

はじめに

教会が内部の争いと悪事に脅かされたとき（アルマ 4 : 9 - 11 参照）、教会員の心が変わらないかぎり真の改革はあり得ないことをアルマは悟りました。アルマは教会の大祭司として、イエス・キリストについて証し、民に悔い改めを呼びかけることによってゾーラム人を改心させる業に取りかかりました。神の言葉を信じ、自分の心の状態を吟味することによって主の裁きに備えるようゾーラム人に呼びかけたのです。アルマ 5 章の前半を研究しながら、そこで学んだことを応用して、この章で述べられている大きな心の変化

を経験できるようにするためにどんなことができるか、既にこれを経験している人は続けて経験できるようにするためにどんなことができるか、考えてください。

アルマ 5 : 1 - 13

アルマ、自分の父と父に従った人々の改心について述べる

あなたは 8 歳だったころから見て、どのくらい成長したのでしょうか。12 歳のころから見たらどうですか。人の外見や行動、態度は変化していきますが、その変化は人により千差万別だということについて考えてみましょう。人をこのように変えるものは何なのか、よく考えてください。次にアルマ 5 : 12 を読み、父アルマを変えたのは何だったと書いてあるか探しましょう。アルマ 5 : 1 - 13 を研究しながら、どうしたら人の心は変わるのか考えてください。

ジェラルド・N・ランド長老は七十人の会員だったときに、聖文で「心」という言葉が使われるときは、「ほんとうの内なる人」を指すことが多いと教えました（“Understanding Scriptural Symbols,” *Ensign*, 1986 年 10 月号, 25）。「心の大きな変化」が、あなたがこのレッスンの学習を始めたときに考えていたような、人のそのほかの変化とどう違うのか、少し考えてみましょう。

ベニヤミン王の民が心に「大きな変化」を経験したことを思い出してください。この変化のために、彼らは「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように」になりました（モーサヤ 5 : 2）。ランド長老の説明と参照聖句モーサヤ 5 : 2 を、自分の聖典のアルマ 5 : 11 - 13 の横の余白に書き込んでおくとよいでしょう。



十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老は次のように説明しています。「皆さんは、こう尋ねるかもしれません。『なぜその大きな変化はもっと早くわたしに起きないのでしょうか。』ベニヤミン王の民やアルマ、聖文に登場するほかの人々の目覚ましい例もありますが、それは驚くべきことであり、すべてがそうではありません。多くの人にとって、その変化は少しずつ時間をかけて起こります。再び生まれるとは、肉体的な誕生とは異なり、一つの出来事ではなく一連の過程です。その過程を踏むことが、現世における最も大切な目的なのです。』（「再び生まれる」『リアホナ』2008 年 5 月号, 78）

学んだことを実践する

大管長会のマリオン・G・ロムニー管長は、「書かれた言葉から福音を学ぶだけでは……十分ではありません。実践しなければならないのです。……実践することなしに福音を十分に学ぶことはできません」と教えています。（“Records of Great Worth,” *Ensign*, 1980 年 9 月号, 4）このレッスンには、学んだことを実践するチャレンジが何度か出てきます。学んだことの実践は、福音の研究の大切な部分なのです。

アルマ 5:3-7 を読み、アルマがゾーラム人に語った言葉の中から、ゾーラム人の心に変化を起こさせるための下地となったものを探してください。

次の質問の答えを、この手引きに書きましょう。アルマはゾーラム人に、自分が囚われの身から解放された話だけでなく、父親やそのほかの人の改宗について話しました。この経験談を聞いてゾーラム人は、心の変化を経験するためのどんな心構えができたのでしょうか。

アルマ 5:10 を読み、アルマが民に投げかけた 3 つの質問の最後に、丸で囲んだクエスチョンマークを書いてください。次にアルマ 5:11-13 をよく読みましょう。ここではアルマが質問に答えています。この聖句の中から、次の言葉の裏付けとなる言葉を見つけてください。「わたしたちは神の言葉を信じ、イエス・キリストを信じる信仰を働かせるとき、心の大きな変化を経験することができる。」

神の言葉を信じる信仰は、心の大きな変化をもたらします。なぜなら、神の言葉は救い主について教えるからです。聖なる預言者が語った神の言葉^{あがな}を、アルマの民は信じました。彼らはイエス・キリストの贖いの力について学び、救い主を信じる信仰をはぐくむにつれて心^{こころ}が変化していったのです。

 1. イエス・キリストの贖いを信じるとなぜ大きな心の変化が起こるのでしょうか。自分の言葉で聖典学習帳に書いてください。

 2. 自分の心がどのように変わってきたかを聖典学習帳に書きましょう。今年セミナーでモルモン書を研究して自分の心^{こころ}が変化したと感じている人は、答えの中にその変化の説明を入れても結構です。

アルマ 5:14-36

アルマ、天の王国に入るために心の大きな変化が必要であることを教える

アルマは心の大きな変化は神の言葉を信じることから始まると教えた後で、民に多くの質問を投げかけて考えさせています。この質問は、自分の本心からの願いであり気持ちである霊の心の状態を吟味するのに役立てることができます。

アルマ 5:14 を読み、自分を吟味するようにとアルマが民に投げかけた 3 つの質問に印を付けましょう。この 3 つの質問は、わたしたちがイエス・キリストの贖いを信じる信仰を働かせるときに経験する心の変化を説明しています。過去のレッスンで、「再び生まれる」とは（モーサヤ 5 章とモーサヤ 27 章参照）、イエス・キリストを受け入れて、キリストの弟子としてだけでなく神の霊の息子娘として新たな人生を歩むようになるときに人が経験する変化を指すのだということを学びました。それを思い出してください（モーサヤ 27:25 参照）。

 3. 心の変化は本人の顔にどう表れるか、聖典学習帳に書きましょう。この場合「顔」という言葉は、その人の態度や気分、霊的な状態が表れる、人の顔の表情のことを指します。救い主の面影を顔に受けている人が知っている人の中にいたら、その人について書いてください。

医療の現場で使われる心電図とは、医師が心臓の状態を診断するために使用するグラフであり、治療の必要な状態を知るのに役立ちます。霊の心電図の下にあるアルマ 5 章の節をよく読んでください。各節をよく読みながら、各節の質問に対して、自分の状態にいちばん近い答えの欄にチェックマークを入れてください（書いた答えをあまり人に知られたくない人は、この表を別の紙にコピーするか、または個人の日記に書いてから、欄を埋めるとよいでしょう。）。

アルマ 5 章霊の心電図								
常に								
ほぼ常に								
たいてい								
時々								
ごくまれに								
アルマ 5 章の節	15	16	19	26	27	28	29	30-31

霊の心電図が完成したら、アルマ 5:21-25 を読んでください。アルマは次の真理についてどのように教えたと書かれているか探しましょう。「心の変化を経験することによって天の王国で場所を得るように自分自身を備える」

 4. 聖典学習帳で、次の活動をしましょう。

a. アルマ 5:21-25 でアルマが使った言葉の中から、あなたが今なりたいたいと思う状態を説明しているものを書き出してください。

b. 心の変化は、天の王国で場所を得る備えをするのにどのように役立つか、説明してください。

アルマ 5:33-36 を読み、アルマのメッセージについて自分はどうか感じるかを考えてください。以下の質問に答えるのに役立つ言葉をこの聖句から探しましょう。

- 主は何を行うようにわたしたちに勧めておられますか。
- この勧めを受け入れると、どのような報いが得られるでしょうか。
- これらの節では救い主についてどのようなことが教えられていますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読んでください。心の変化を経験した人が望むような生き方について話しています。



「キリストに従うということは、生き方を変えることを意味します。……

主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが、この世は外側から内側に向けて働きかけます。この世は貧民窟から人々を連れ出そうとしますが、キリストは人々から悪や汚れた面を取り去り、自分自身で貧民窟から抜け出られるようにします。この世は環境を変えることによって人間を形成しようとしませんが、キリストは人間自体を変え、それによって人間が自らの手で環境を変えられるようになります。この世は人の行動を変えようとしませんが、キリストは人の性質を変えることがおできになるのです。……

キリストのゆえに改心を経験した人は、キリストを指導者と仰ぎます。彼らはパウロと同じように言うでしょう。『主よ、わたしは何をしたらいいのでしょうか。』（使徒 9:6）……

彼らの思いは神の御心^{みこころ}にかなったものとなり（ヨハネ 5:30 参照）。

絶えず主に喜ばれる事柄を行うようになります。（ヨハネ 8:29 参照）

彼らは、主のために進んで命をささげようとするだけでなく、それ以上に大切なこと、主のために生きることを望みます。

彼らの家に足を踏み入れれば、壁にかけてある絵、棚に置かれた本、流れている音楽、彼らの言葉そして行いから、彼らがクリスチャンであることが分かります。

彼らはいつでも、どのようなことについても、どのような所にいても、神の証人になります。（モーサヤ 18:9 参照）

彼らはキリストを思い起こし、あらゆる思いの中でキリストを仰ぎ見ます（教義と聖約 6:36 参照）。

彼らはキリストを念頭に置いて心の愛情をとこしえにキリストに向けます（アルマ 37:36 参照）。

彼らはほとんど毎週^{せいしゅう}聖餐を取り、神の御子の御名^{みな}を喜んで身に受ける気持ちのあること、そして御子を常に忘れず、その戒めを守ることを、新たな気持ちで天の御父に聖約します（モロナイ 4:3 参照）。『「神によって生まれる」『聖徒の道』1986 年 1 月号、5-7）

このレッスンのまとめとして、ベンソン大管長の言葉の中で、心の変化を経験した人として生きるとしたらどうしたらよいかを考える際に役立つ言葉に線を引きましょう。心の変化を経験するというアルマの教えを研究して感じたことを実行するために、目標を立ててください（自分の日記帳や別の紙に書いておくといいでしょう）。神によって生まれ、心の変化を経験できるよう続けて努力するならば、神の王国に入る備えができるに違いありません。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 5:1-36 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 15 — 第 2 日

アルマ 5:37-62

はじめに

アルマはゼラヘムラで教えを説き続けたとき、自分の言葉を聞くか拒否するかによって、祝福を受けるか、それともその結果を被るかが決まると民に警告しました。民を呼び、彼らをご自分の群れに連れ戻したいと思っている良い羊飼いのイエス・キリストの声に応じるよう呼びかけたのです。このレッスンを研究しながら、良い羊飼いの声に従うことによって、この世の汚れに染まらず神のもとに帰れるようになるのはなぜか、考えましょう。

アルマ 5:37-42, 53-62

アルマ、救い主である良い羊飼いに従うようにすべての人に勧める

聖文の中でイエス・キリストは、「良い羊飼い」と呼ばれることがあります（ヨハネ 10:11-15 参照）。羊飼いが救い主の象徴としてふさわしいのはなぜだと思いますか。エズラ・タフト・ベンソン大管長は、昔の羊飼いについて次のように説明しています。

「イエス・キリストがおられたころの、パレスチナの羊飼いは、羊をよく守ることで知られていました。現代の羊飼いと違い、当時の羊飼いは必ず群れの先になって歩きました。羊たちを導いていたのです。羊飼いは普通一匹一匹の羊を見分け、それぞれに名前を付けていました。羊たちは羊飼いの声を覚え、信頼し、よその人に付いて行くようなことはありませんでした。そして呼ばれると羊飼いのもとに寄って来るのです（ヨハネ 10:14, 16 参照）。



夜になると羊飼いは羊たちを囲いの中に入れます。その囲いはかなりの高さがあり、野獣や泥棒などが乗り越えて入って来れないように、上にはいばらが置いてあります。

それでも、腹をすかした野獣が囲いを越えて中に入り、羊たちを脅かすことが時々あるのです。そして、このような時に、羊たちを愛する真の羊飼いか、金目当てに働く羊飼いかに分かります。

真の羊飼いは羊のために喜んで自分の命を捨てます。群れの中に入り、羊のために戦うのです。一方、金目当てに働く羊飼いは、羊よりも自分の身の安全が大切と、逃げてしまうのが普通です。

イエスは当時としては日常的な事柄を題材としたこのたとえ話を通して、御自身が良い羊飼いであり、真の羊飼であることを宣言されたのです。主は御自身の兄弟姉妹を愛するがゆえに、進んで命をささげられたのです。(ヨハネ 10:17-18 参照)。(「神権者への召し：『わたしの羊を養いなさい』」『聖徒の道』1983年7月号、80-81 参照)

次の質問の答えを、この手引きに簡単に書きましょう。

- 羊飼いの声に耳を傾けないと、羊はどうなりますか。_____

- どのような点でわたしたちが羊、救い主がわたしたちの羊飼いに似ているでしょうか。_____

- 良い羊飼いの群れに入るとは、どういう意味でしょうか(アルマ 5:60 参照)。_____

アルマ 5:37 で、アルマはゼラヘムラの民を「迷っている」羊にたとえています。アルマ 5:37-42 を読み、救い主の声に耳を傾けることについてアルマが教えている言葉を探してください。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. アルマ 5:37-38 をよく読んで、救い主が御自分に従うよう忍耐強く説いておられることについてアルマがどう教えているか、自分の言葉で説明してください。

b. アルマ 5:41 で、自分が良い羊飼いの声に聞き従っているかどうかを、どのように知ることができるとアルマは教えていますか。良い羊飼いに従っていることを示す「善い行い」として末日聖徒の青少年にできることには、どんなことがあるでしょうか。

救い主の声を聞き、それに従うことは必ずしも簡単なことではありません。次に引用する十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の言葉について、よく考えてください。「わたしたちは現世で様々な声を聞きます。その中から良き羊飼いの声を聞き分けなければなりません。その声は、主に従って天の故郷へ戻ってくるようにとわたしたちを呼んでいるのです。」(「さまざまな他の声」『聖徒の道』1989年7月号、30)

アルマ 5:53-56 を読み、救い主の声に聞き従うことを難しくさせる態度と行動に印を付けてください。

今日の世の中で救い主の声に聞き従うことを難しくさせる態度と行動がこのほかにもないか、考えてください。このような態度や行動を取ると救い主の声に聞き従うのが難しくなるのはなぜか、簡単に説明してください。_____

アルマ 5:57 で、「良い羊飼いの声に従いたいと望んでいるすべての人」という言葉に印を付けてください。次に、救い主の声に聞き従うためにできることを言っている言葉を 57 章の中から 3 か所探して印を付けましょう。



2. 次の 3 つの言葉に従うために、末日聖徒の青少年

が学校や世の中で、例えばどんなことができるかを、聖典学習帳に書いてください。(a) 悪人から去る、(b) 悪人から離れる、(c) 清くないものに触れない。次に、青少年が良い羊飼いの声にさらによく聞き従えるようになるのに役立つ健全な活動や習慣を 2 つ挙げてください。その活動または習慣のおかげで救い主の声に聞き従うことができるようになった経験があれば、それを聖典学習帳に書いておいて、後で教師に話したり、クラスで発表したりしてもよいでしょう。

アルマ5:58-60の記録によると、アルマは次の真理を教えました。「主〔良い羊飼ひ〕の声に従うならば、主の王国に集められる。」アルマ5:58-60に書かれている約束または祝福のうち、神の右で受け継ぎを得る者が受けるものに印を付けてください。

 3. 今、印を付けた約束または祝福が、それぞれ自分にとってどんな意味を持つか、よく考えてください。次に、これらの祝福を得るために悪いものから離れる価値があるのはなぜか、聖典学習帳に書きましょう。

救い主の声に聞き従うと、そのような祝福が与えられ、最終的には昇栄の祝福にあずかることができます。

アルマ5:43-52

アルマ、自分がどのようにして証を得たかを語り、悔い改めについて教える

あなたが視覚と聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感で学んだことを何か思い浮かべてください。五感を使わないで何かを知る方法があるでしょうか。アルマ5:45-48を読み、アルマが何を知ったと言い、またそれをどのようにして知ったと言ったかを探しましょう。

アルマ5:48を読み、イエスについてアルマが教えていることに印を付けましょう。アルマ5:45-48のアルマのメッセージは、次のように要約することができます。「わたしたちは聖霊によってイエス・キリストが人類の贖い主であられるということを自分自身で知ることができる。」

信仰と証の試しはだれにでもあります。福音が真実だという証を聖霊の力によって得ていれば、そのような試練のときに力になります。アルマのように聖霊による証を受けたときのことを思い起こすと、試練のまただ中にあっても毅然としていられます。また、断食し、祈るならば御霊が真理を再び確認するのを感じ、強くなる必要があるときに証を保つことができるということも、アルマの模範から学ぶことができます。



次に挙げるのは、イエス・キリストに対する自分自身の証を求めるよう勧める十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の言葉の引用です。これを読んで、自分の証についてよく考えてください。「福音の真理、特に主イエス・キリストの神聖な生涯と使命に対する個人の証は、永遠の命に不可欠です。救い主はこう言われました。『永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです。』〔ヨハネ17:3〕言い換えれば、永遠の命は、天の御父と聖なる御子に対するわたしたち自身の個人的な知識にかかっているのです。単に御二方を知るだけでは十分ではありません。わたしたちは自らをつなぎ止める錨となるような霊的な経験をしなければなりません。」「〔主の食卓に着く〕『聖徒の道』1996年7月号、92-93)



4. 次の活動から一つまたはそれ以上選んで、聖典学習帳に書きましょう。

a. だれかが聖霊の力によって、イエス・キリストが人類の救い主であることを力強く証するのを聞いた時のことを書いてください。その証を聞いてどう感じたかを書きましょう。

b. アルマ5:46を読み、次に、アルマがイエス・キリストに対する証をどのようにして受けたかを自分の言葉で書いてください。どのようにしたらアルマの模範に従って救い主に対する自分の証を強めることができるか考え、自分の考えを書きましょう。

c. あなたはこれまでどのようなときに、イエス・キリストは世の贖い主であられるという聖霊の証を感じてきたかを書いてください。もっと熱心に祈り断食するとか、もっと心を傾けて聖文を研究するなど、救い主に対する証を得るためまたはその証を強くするために役立つ具体的な目標を書きましょう。たとえ「幾日も」かかるとしても(アルマ5:46)、その目標が達成できるよう努力してください(これを行うと、「成長するわたし」または「神への務め」の条件も満たすことになる場合があります)。

アルマ5:49-52を読み、アルマが悔い改めについて民に教えている箇所を探しましょう。天の御父とイエス・キリストとともに永遠に生きるためにすべての人が悔い改めなければならないのはなぜだと思いかを、下線の上を書いてください。

ダリン・H・オークス長老は、幾つかの問いについて考えるよう勧めています。これらの問いは、悔い改めて神の王国に入る備えをすることに関するアルマの教えを実行するために役立ちます。



「もし主が明日来られるとしたらどうでしょうか。早すぎる死や予期せぬ主の来臨によって、明日主にお会いすることが分かったなら、わたしたちは今日何をしようか。何を告白するでしょうか。どのような習慣を断ち、どのような問題を解決し、どのような救いの手を差し伸べるでしょうか。また、どのような証をするでしょうか。」

主の来臨のときにそうするのであれば、なぜ今しないのでしょうか。得られるときに平安を求めないのはなぜでしょうか。」「〔再臨への備え〕『リアホナ』2004年5月号、8-9)



5. オークス長老の問いについて考えてください。毎日主をまみえる準備の日として生きることが大切だと思う理由を、聖典学習帳に書きましょう。

救い主にお会いし、神の王国に入る備えができるようにするために、今日学んだことに従ってどのような行いをすればよいか、よく祈って考えましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ5:37-62を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元15—第3日

アルマ6-7章

はじめに

アルマはゼラヘムラの民を教え、教会を整えた後、ギデオンの町に行きました。そこにはゼラヘムラの民よりも忠実な人々がいることを知りました。そこでアルマは、引き続き主に頼り、主の贖罪を自分の生活に取り入れるように努めるよう民に勧めました。アルマが述べるイエス・キリストに対する証を読むと、イエス・キリストの贖罪の及ぶ範囲がさらによく理解できるようになり、神の王国に至る道を歩むに当たって主の贖罪の恵みを日々受けるためにどうしたらよいかを学ぶことができます。

アルマ6章

アルマ、ゼラヘムラの教会を強め、教えを説くためにギデオンへ行く

次の文を完成させてください。「わたしが教会に行くのは、
だからです。」

アルマ6章を学習しながら、教会の集会の目的を理解すると、どんな点で集会が自分にとってさらに有意義なものになるか、考えましょう。

アルマは、ゼラヘムラを発つ前にゼラヘムラの教会を強めました。アルマ6:1-4を読み、教会の神権指導者の責任について説明している言葉を2、3見つけてください。

アルマの経験から、次の大切な原則が分かります。つまり、モルモン書の時代はもちろんのこと、現代にあっても、「すべての民の幸いのために教会が設けられている」ということです。アルマ6:5-6を読み、「神の言葉を聞く」と「神を知らない者たちの幸いのためにともに断食し、熱烈に祈る」という2つの言葉に印を付けてください。この2つが行えるよう、教会は機会を提供しています。それは、すべての人が成長して人を助けられるようになるためです。ゼラ

ヘムラの教会員ならあなたが先ほど完成させた文の空白部分にどんな言葉を入れるか、考えてみましょう。



1. アルマ6:5-6に書かれている理由から教会に行くと、教会に行くことがすばらしい経験になるのはなぜでしょうか。あなたの考えを、少し聖典学習帳に書きましょう。

教会員の祝福は、神のすべての子供たちのために用意されています。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、次のように教えています。



「すべての人が宣教師のために祈ってくださっています。今後もずっとそうしてくださるようお願いします。宣教師と会っている方々(または、会う必要のある人々)のためにも、同じ精神で祈るべきです。かつてゼラヘムラの地で、会員たちは、まだ神の教会に加わっていない人々のために『断食し、熱烈に祈るように』命じられました[アルマ6:6]。わたしたちも同じようにすることが出来ます。

また、日々伝道の経験ができるよう祈ることもできます。神の導きによって、福音を探しもとめている人の心が備えられ、皆さんが得たいと願っている伝道の機会が与えられるように祈ってください。『地上〔には〕見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる多くの人がいます[教義と聖約132:12]。彼らが皆さんを見いだせるよう祈り求めてください。そして皆さんは彼らを見過ごすことのないように注意を向けてください。なせなら、皆さんの周囲には毎日の生活の中で飢えを感じている人が非常に大勢いるからです。彼らはパンに飢えているのでも、水に渴いているのでもなく、主の御言葉を聞くことに飢えているのです[アモス8:11参照]。』(「わたしの証人」『リアホナ』2001年7月号、16)

ホランド長老の勧告に従い、自分のために用意されている伝道の機会を見過ごすことなく伝道することができるよう天の御父に助けを祈り求めてもよいでしょう。あなたが教会員として味わっている祝福をほかの人と分かち合う機会を求めてください。

アルマ7:1-13

アルマ、イエス・キリストの贖いについてギデオンの民に教える

あなたが、熱心な教会員である友達と、悔い改めについて話しているとします。友達は、自分は大きな罪を犯していないのに、どうやって贖罪の力を心底感じるができるのか分からないと言っています。あなたなら、この友達にどんなことを伝えるでしょうか。これについて考えながら、アルマ7:1-13を研究しましょう。

アルマはゼラヘムラを出てから、ギデオンの町の民と話しました。アルマ 7:3-6 を読み、アルマはギデオンの民がどんな霊的状态にあると期待していたのかを見ましょう。次にアルマ 7:17-19 を読み、その望みがかなえられたかどうかを確認してください。次の線の上に、ギデオンの民の霊的状态について書きましょう。_____

アルマ 7:7-10 を読み、民が最も知る必要があるとアルマが感じた出来事を探し、それを知るために民はどんな備えをする必要があったかを探してください。

 2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。既に強い信仰を持っている人々に (アルマ 7:17 参照), なぜアルマは救い主の来臨に備えるために悔い改める必要があると言ったのだと思いますか (ローマ 3:23 参照)。

アルマはギデオンの民に、次の大切な原則を教えました。「イエス・キリストはわたしたちを罪と死から救うために、また死すべき状態にかかわる様々な試練においてわたしたちを助けるために苦しみを受けられた。」アルマ 7:11-13 を読み、救い主が進んで自分自身に「受けられるもの」の箇所¹に印を付けましょう。

「弱さ」が弱点や無能力、病のことだと分かると、理解しやすくなるかもしれません。「救う」(succor) という言葉は困っているときや悲嘆に暮れているときに助けるという意味です。人を助けるために駆けつけるという意味のラテン語からきています。この言葉は、神がわたしたちを助けたいと切に願っておられることを伝えています。

自分の聖典のアルマ 7:11-13 の横または聖典学習帳に、七十人として奉仕したブルース・C・ヘーフェン長老の「贖罪は罪人のためだけのものではありません」という言葉を書いておくとよいでしょう (『灰にかえて冠を与え』-キリストの贖罪』『聖徒の道』1997 年 4 月号, 39)。(アルマ 7:11-13 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。)

 3. 次の表に載っているのは、アルマ 7:11-13 に出てくる言葉のうち、救い主が自分自身にお受けになったものです。この表を自分の聖典学習帳に描き、ここにある言葉の幾つかを選んで書き込んでください。そして、自分が経験した事柄を例として書きましょう。または、知っている人が経験した事柄でも構いません。こうしたものをイエスが自分自身に受けてくださるとはどういう意味なのか、考えてください。

苦痛	
苦難	
試練	
病	
死	
弱さ	
罪	

ジェフリー・R・ホランド長老は、贖罪はわたしたちから重荷を下ろしてくれると証しています。

「たばこや麻薬、ギャンブル、または人を滅ぼす現代の疫病であるボルノグラフィーなど、中毒という魔物と闘っている人はいませんか。結婚生活がうまくいっていない人、子供が危険にさらされている人はいないでしょうか。性同一性の問題で悩んでいる人はいませんか。自分に自信が持てなくて困っている人はいませんか。病気やうつ状態、死に直面している人はいないでしょうか。あるいは皆さんの愛する人の中にそのような状況に直面している人はいないでしょうか。こうした悩みにどのような解決策を取る必要があるにせよ、まず最初に、キリストの福音に照らして考えてください。天与の約束を信頼してください。この点に関してアルマの次の証はわたしの証でもあります。『神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中にあって支えられ……るということをわたしは知っている……。』[アルマ 36:3]

このように神の憐れみ深い属性を信頼することは、キリストが説かれた福音の核となるものです。救い主の贖いはわたしたちから罪の重荷だけではなく、落胆と悲しみの重荷、心痛と絶望をも取り去ってくれることを証します。[アルマ 7:11-12 参照] 創世の始めから、神の助けに頼ることは、わたしたちに、より善い人になろうとする理由と、そうなるための方法、そして、罪の重荷を降ろして救いを達成しようとする動機を与えてきました。](『壊れたものを元どおりに』『リアホナ』2006 年 5 月号, 70)

アモナイハでアルマを受け入れ、アルマと一緒に人々に証^{あかし}するよう、アミュレクにあらかじめ命じられました。アルマとアミュレクは、悔い改めなければ滅ぼされるとアモナイハの民に警告しました。アミュレクは神の言葉に忠実に従い、世間の信用や名声、影響力を用いてアルマを保護し、イエス・キリストについて証しました。

アルマ 8 章

アルマ、神の言葉に従ってアモナイハに戻り、アミュレクに教えを宣べ伝える備えをさせる

アルマはゼラヘムラとギデオンで福音を教えた後（アルマ 5－7 章参照）、ミレクに向かいました。アルマ 8：4－5 を読み、ミレクの人々がアルマの教えをどう受け止めたか調べましょう（アルマ 8：4 に出てくる「神の聖なる位」という言葉は、アルマ 13 章に書かれているように、神権のことです。）。

アルマはミレクでの説教を終えると、アモナイハに行き教えました。そこに住む人々の反応はかなり違っていました。以下の絵と聖句をよく見て、それぞれの絵に説明を入れてください。アモナイハでアルマに起こったことのあらましが分かるようにしましょう。



アルマ 8：8－13



アルマ 8：14－16



アルマ 8：18－26

次の質問について考えましょう（答えを書き出す必要はありません）。

- アルマに現れた天使は、以前アルマとモーサヤの息子たちに現れたのと同じ天使でした。この天使の言葉を聞いて、アルマはどれほど心に慰めを得たと思いますか（アルマ 8：15 参照）。
- アモナイハの地に帰るのがアルマにとって難しかっただろうと思われるのは、なぜでしょうか（アルマ 8：16 参照）。

難しいことではありましたが、アルマは命じられた通り「すぐにアモナイハの地へ引き返し」ました（アルマ 8：18）。ハワード・W・ハンター大管長は、主はこのような従順さを愛される、と次のように教えています。「主は何にも増して、主の勧告に従おうという揺るぎない決意を喜ばれます。」（『決意の時は今』『聖徒の道』1983 年 1 月号、103）

 1. 次の状況から少なくとも一つ選んでください。従順であればどんな祝福があるかを聖典学習帳に書きましょう。

- a. ある若い女性は学校へ行くとき、母親から、もっと慎みのあるシャツを着るようと言われた。
- b. ある新しい祭司が、「神への務め」の賞を取るようビショップあるいは支部会長からチャレンジされた。
- c. 二人の宣教師が、母親が教会員ではないあまり活発でない家族を訪問するようという気持ちを感じた。

自分の聖典のアルマ 8：18－20 の横に、次の原則を書いておくといよいでしょう。「主の言葉に速やかに応じるとき、主は戒めに従えるように助けてくださる。」

 2. 難しい状況にあったのに義を貫いて主に従えるよう主が助けてくださったと感じたことがあれば、そのときのことを聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 8：27－32 を読み、主が命じられたことを行えるようアルマをお助けになったそのほかの方法を探してください。

アルマ 9 章

アルマ、悔い改めてイエス・キリストの来臨に備えるようにアモナイハの民に警告する

アルマ 9 章には、悔い改めて救い主イエス・キリストによって贖われるよう、アルマがアモナイハの民に教えた様子が記録されています。この罪深い人々が悔い改めの必要性を理解できるようになるために、アルマは神が自分たちと先祖にしてくださったことを思い起こすよう呼びかけました。

アルマ 9:8 - 10, 13 を見て、「忘れて」という言葉と「覚えて」という言葉が繰り返してくることを確認してください。アルマの話したことを覚えていたならばアモナイハの住民の行動はどのように変わっていたと思いますか。



3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。過去に霊的な経験をしたことを覚えていることが大切なのはなぜだと思いますか。次に、過去にあった霊的な経験のうち、忘れたくないものを一つ書いてください。

アルマはアモナイハの人々に悔い改めを呼びかけた後、救い主が地上に来られるときのために備えなければならないと教えました。アルマ 9:26 - 27 を読み、救い主の特質を理解するのに役立つ言葉や語句に印を付けてください（「公平」という言葉は、偏見がなく公正であるという意味です）。印を付けた言葉や語句から、救い主についてどんなことが分かりますか。この 1 週間、時間を取って、これらの言葉や語句について考えましょう。

アルマ 10 章

アミュレク、天使に会ったときのことを話し、悔い改めるよう人々に勧める

次の説明の中から今朝どのようにして目覚めたか、いちばん近いものを丸で囲んでください。

- 目覚まし時計をセットしたりほかの人に起こしてもらったりせずに、自分で目が覚めた。
- 目覚ましが最初に鳴ったときに目が覚めた、または一度起こさただけで目が覚めた。
- 目覚ましが何度か鳴ってから目が覚めた、または何度か起こされてやっと目が覚めた。

アルマ 10:6 を読み、アミュレクが主に背を向け続けた間、何度霊的に「モーニングコール」を受けたと書いてあるか探しましょう。線の上に、次の質問の答えを書いてください。「わたしは聞こうとしなかった」「知りたいと思わなかった」という言葉から、天使に会う前のアミュレクが霊的にどのような状態にあったことが分かるでしょうか。――

アルマ 10:2 - 11 の記録によると、アミュレクは、天使に会って福音に改宗する前の生活について説明しています。アルマ 10:1 - 6 を詳しく読み、さらに詳しくアミュレクについて調べましょう。



アミュレクはアルマを自分の家に連れて行って世話をすよう天使に言われたと語っています。アルマ 10:7 - 11 を読んでください。アミュレクが天使に言われたとおりにしたところ、アミュレクとその家族にはどのような祝福があったと書いてあるか探してください。

アルマ 10:11 - 12 の横に、次の原則を書きましょう。「わたしたちが主の呼びかけを聞いてそれに従うとき、自分にもほかの人々にも祝福が与えられる。」主は様々な方法でわたしたちを「呼ぶ」ことがおできになります。御霊からの促し、気持ち、夢、教会の指導者または教師、親の言葉、教会の責任への召し、逆境などです。



4. 聖典学習帳に、次の質問の答えを書きましょう。あなたはこれまでどのようなときに、主の呼びかけに従って祝福を受けたと感じてきたでしょうか。

アルマ 10 章の残りの部分に書かれているように、アモナイハの人々の多くはアミュレクの言葉に耳を傾けませんでした。アミュレクは、悔い改めなければ滅ぼされる日が来ると警告しています。アルマ 10:22 - 23 を読み、なぜアモナイハの人々がその時点で滅びを免れていたのかを調べましょう。この聖句から、悪いことをしている人の中にいたとしても正しいことをすることが大切だということについて、どんなことが分かりますか。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 8 - 10 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

アルマ 11 章

はじめに

アミュレクは法律家のゼーズロムと論争しました。ゼーズロムはアミュレクに生ける神を否定させようとしたのです。アミュレクは、わなにかけようとしたゼーズロムの企てに反論し、罪からの救いはイエス・キリストによってのみ与えられると証しました。すべての人が復活して、神の前で裁かれるであろうと力強く証したのです。救い主の贖罪によってあなたは復活し、いつの日か神の前に立って、自分の地上での生活について申し開きをすることになります。

アルマ 11:1 - 25

アミュレク、神の存在を否定するようにというゼーズロムの誘いを拒絶する

自分にとって非常に価値があるので決して売りたいくないと思う所有物について思い浮かべてください。それがなぜそんなに大切なのか、考えてください。アルマ 11 章では、アルマとアミュレクが引き続きアモナイハの人々を教えていると、ゼーズロムという名の悪辣な法律家がアミュレクに食ってかかり、アミュレクにとって非常に価値があるものと引き換えに金銭を渡そうと申し出ました。聖文には、ゼーズロムは「悪魔の策略に長じていた男」であったと書かれています（アルマ 11:21）。これは、人を正しいことや真理から引き離すためにサタンが使う策略とたくらみ、欺き、手段を使う方法を心得ていたという意味です。

アルマ 11:21 - 22 を読み、ゼーズロムはどれくらいの金額をアミュレクに提示してアミュレクに神の存在を否定させようとしたか、調べてください。「オンタイ」は、ニーファイ人の間で流通していた銀貨の中でいちばん価値の高いものでした（アルマ 11:6, 11 - 13 参照）。1 オンタイは、さばきつかさのおよそ 1 週間分の俸給に相当しました（アルマ 11:3）。

以下の質問に答えてください。

- アミュレクに差し出されたようなこの世的な報酬を拒絶する人を見たことがありますか。それはどのような状況でしたか。 _____
- それを見てあなたは、自分も忠実になろうと思いましたか。 _____

アルマ 11:23 - 25 を読み、ゼーズロムの誘いにアミュレクがどう応えたかを見てください。次に、以下の質問の答えを手引きに書きましょう。

- アミュレクがゼーズロムの提案に興味を感じなかったのはなぜだと思いますか。 _____
- アルマ 11:25 には、ゼーズロムは何をたくらんで 6 オンタイをアミュレクに差し出したと書いてありますか。 _____
- これは、人々がサタンの誘惑に屈したときにサタンが行うことと、どのように似ているでしょうか。 _____



1. 以下の練習問題を、聖典学習帳に行ってください。

a. アミュレクがゼーズロムの誘惑に抵抗することができた理由がよく分かるように、アルマ 11:22 を読んで、次の文を完成させてください。「わたしは、主の御霊にかなわないことは何も _____ ない。」次に、空欄に入れることのできる言葉で、自分でもそう思うものを 3 つか 4 つ書いてください。（「行わ」、「読ま」、「身につけ」、「見」、「書か」などがあります）

b. 聖霊の助けによって誘惑を克服する方法を覚えておけるような文を、アルマ 11:22 を基にして書いてください。「わたしたちは聖霊に頼るとき誘惑に打ち勝つことができる」ということが分かるような文にします。

学習を一休みして、次の質問についてよく考えてください。聖霊をよく感じられるような生活をして導きに従うならば誘惑を克服することができますが、それはなぜでしょうか。

十二使徒定員会会長であるボイド・K・パッカー会長の以下の勧告を読んで、聖霊に頼ると誘惑を克服することができるようになるのはなぜか、見てください。



「すべきでないことをし始めているなら、または、自分を悪い方に引き込もうとする人々と交わっているなら、主体性を発揮し、選択の自由を行使するべき時は今です。御霊の声に耳を傾けなさい。そうすれば、惑わされることはないでしょう。……

わたしは主の僕として約束します。皆さんが進んで聖なる御霊の導きに心を留めるならば、敵の攻撃から守られ、保護されるでしょう。」「（若人への助言）『リアホナ』2011 年 11 月号, 18）



2. 学んだことをどのように応用できるか考えながら、次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 青少年が自分の証に反する行動を取ったり、この世のものを優先して自分の証をないがしろにしたりするよう誘惑される状況にはどのようなものがありますか。

b. 自分と同じ学生がこのような誘惑を受けたときに、その学生が聖霊に頼れるよう助けるために、どんなアドバイスができるでしょうか。

次に自分の信念に対して妥協するように誘惑されたとき、アミュレクの模範を思い起こして、自分が学んだことを実践してみましょう。聖霊を伴^{はんりょ}侶とするにふさわしい生活をする生徒は、誘惑に打ち勝てるという確信をより大きくすることができます。

アルマ 11:26 – 40

アミュレク、神の御子について証を述べアミュレクの言葉への信頼を弱めようとしたゼズロムの企てを打ち破る

実践

福音の原則を学んでいるながらそれを実践しなければ、その学習は完全ではありません。真理を心と思いの中に受け入れて、その真理に従って行動するとき、実践が起こります。

ゼズロムはアミュレクがイエス・キリストに対して持っている信仰を攻撃しましたが、アミュレクに神の存在を否定させることはできませんでした。その後に起こったことを自分に当てはめて考えるために、自分の信じていることをだれかに否定されたときのことを考えてください。アミュレクとゼズロムのやり取りをアルマ 11:26 – 34 で読み、

次に、アルマ 11:35 でゼズロムがアミュレクの言葉をどのように歪曲^{ひいきよく}しているか、見てみましょう。

アルマ 11:36 – 37 を読み、ゼズロムが説いた誤りをアミュレクがどのように正したかを確認しましょう。自分の聖典の脚注 34 ④に印を付けて、ヒラマン 5:10 – 11 を読むとよいでしょう。「罪のあるまま」救われることと「罪から」救われることは、どのように違うかを（強調付加）、自分の言葉で説明してください。

アルマ 11:40 を読み、アミュレクが、罪から救われるための第一歩は何だと言っているか調べましょう。イエス・キリストを信じると言っているながら、行いを変えようとしない人がいます。イエス・キリストの御名を信じるとは、イエス・キリストを信じる信仰を持つということです。



「御名を信じる」（イエス・キリストを信じる信仰を持つ）と悔い改めに導かれることをさらによく理解するために、大管長会のデーター・F・ウークトドルフ管長の次の言葉を読みましょう。「悔い改めを可能にするのは、キリストを信じる強い信仰です。信仰

には、『〔神の〕特性、完全さ、属性についての正しい理解』が伴わなくてはなりません（*Lectures on Faith* [1985 年], 38）。神がすべてを御存じで、愛と憐れみに満ちておられることを信じるなら、救いについて揺らぐことのない信頼を神に置くことができます。キリストに対する信仰は、神



の御心^{みこころ}に調和しない思いや信念、行為を変えるのです。」（「帰還可能点」『リアホナ』2007 年 5 月号, 100）

あなたはイエス・キリストを信じる信仰のために考えや信条、行動をどのように変えようとしてきましたか。

 3. 人が悔い改めるために、イエス・キリストを信じる信仰が必要なのはなぜでしょうか。アミュレクの言葉とウークトドルフ管長の言葉から学んだことを基に、次の原則についての説明を聖典学習帳に書きましょう。「イエス・キリストを心から信じることは、罪からの贖いの第一歩である。」

アルマ 11:41 – 46

アミュレク、全人類の復活と裁きについて教える

ゼーズロムに対するアミュレクの証を最後まで読む前に、次のことを考えてみましょう。死後の生活を信じていない場合、人の行動はどうなるだろうか。

 4. 聖典学習帳に「復活」と「裁き」という言葉を見出しに書いて、二つの欄を作ってください。次にアルマ 11:41 – 45 を読んで、復活と裁きについてできるだけ多くの情報を探し、それぞれの見出しの下に書きます。自分の聖典か、または聖典学習帳のページのいちばん上に、次の言葉を書いておくとういでしょう。「イエス・キリストの贖罪によって、すべての人は復活し、各自の行いに応じて裁かれる。」この聖句では、「復活」とはわたしたちの体が霊と結合して「完全な形」、「完全な造り」になり、二度と離れることがなくなることだと説明しています（アルマ 11:43, 45 参照）。

 5. 次の2つの質問のうち、どちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- あなたは復活して裁きを受けることについて考えるとき、どのような気持ちになりますか。
- 将来復活して裁きを受けると信じていることは、日々の生活における選別にどのような影響があるでしょうか。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 11 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 16 – 第 2 日

アルマ 12 章

はじめに

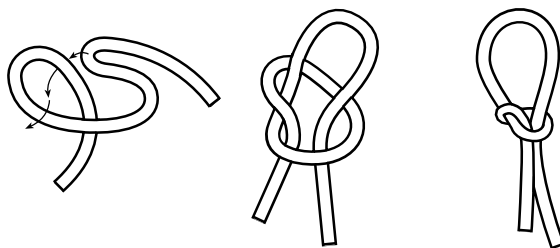
ゼーズロムはアミュレクがアルマ 11 章で語った言葉を聞いて、人々を偽り欺いた罪を自覚するようになりました。アミュレクがアモナイハの民に語った後、アルマが民の前に立ち上がります。アルマは、彼らがそのかたくなな心と罪を悔い改めるのに役立つ真理に焦点を当てて語りました。サ

タンのわなと悪人に下る裁き、そして、神の御子によって与えられた贖いの計画を強調したのです。悔い改める者は、贖いによって神のみもとに帰ることができます。

アルマ 12:1 – 7

アルマ、ゼーズロムの邪悪な意図を暴く

動物がどうやってわなにかかるかを考えてみましょう。ロープを輪にして、餌の周りに置きます。動物が餌を取ろうとして輪の中に入ると、ロープの輪はすばまり、動物はわなにかかるのです。



アルマ 11:21 – 25 を読み、ゼーズロムがアミュレクをどのようにわなにかけようとしたか調べてください。アミュレクがゼーズロムの意図を見抜いて返答した後、アルマも立ち上がってゼーズロムと、話を聞いている人々に向けて語りました（アルマ 12:1 – 2 参照）。アルマ 12:3 – 6 を読み、アルマがゼーズロムの策略について述べるために用いた言葉を探してください。その策略は悪魔からきているとアルマは言います（アルマ 12:5 参照）。

アルマ 12:3 には、アルマはなぜゼーズロムの意図を見抜くことができたと書いてありますか。_____

アルマ 12:6 で、悪魔の目的は何であると、アルマは言いましたか。_____

「聖霊はわたしたちがサタンの誘惑に気づくように助けてくださる」とアルマは教えています。わたしたちはアルマ 11 章のレッスンで、聖霊に頼るとき誘惑に打ち勝つことができるということを学びました。誘惑を克服する際に大切なのは、誘惑とその影響力を認識できるよう御霊に助けてもらうことです。それができれば、わたしたちは誘惑を避けて清さを保ち、忠実でいることができます。あなたは、聖霊の助けによって悪魔の誘惑に気づき、そのおかげで誘惑を避けることができたことがありますか。

 1. 悪魔の「わな」を察知してそれを避けることができるよう、聖霊のささやきを認識してそれに従って行動する能力を高めましょう。そのために何ができるか、何をしようと思うかを、聖典学習帳に書いてください。

アルマ 12:7－18

アルマ、全人類の最後の裁きについて教える

自分が将来就きたい仕事について考えてください。その仕事で成功するために必要な知識を身に付けるには、学校に行くか、訓練プログラムを受けなければなりません。その「授業料」がどれくらいか推測してください。



霊的な知識を得るためにどれだけの「代価」を支払わなければならないとデビッド・A・ベドナー長老は言っているか考えながら、次の引用文を読んでください。「皆さんやわたしが祝福として得てきた霊的な理解、心で真実だと確認してきた霊的な理解を、そのまま〔ほかの人〕に与えるのは不可能なことです。そのような知識を得て自分のものにするには、研究と信仰によって勤勉に学ぶという代価を払わなくてはなりません。このようにして初めて、頭で分かったことを心で感じるができるのです。」「〔目をさましてうむことがなく』『リアホナ』2010年5月号、43)

アルマ 12:7－8 を読み、ゼズロムが霊的な知識を得るために必要な霊的な「授業料」を自分から払おうという気持ちになったことを示す証拠を探してください。ゼズロムのどのような行動から、霊的な真理を学ぶことができるよう心を入れ替えたことが分かりますか。

アルマ 12:9－11 を読み、霊的な知識を得ることについてアルマがゼズロムに何を教えたか書いてあるか探しましょう。「神の奥義とは、啓示によってのみ知ることのできる霊的な真理であり……神は福音に従順な人に奥義を示される」ことが分かったと、理解しやすくなるかもしれません（『聖句ガイド』『神の奥義』, scriptures.lds.org）。自分の聖典のアルマ 12:9 の横に、この定義を書いておくといよいでしょう。アルマ 12:9 の説明でアルマは、神は何にに応じて御言葉を人に与えられると言っていますか。 _____

アルマ 12:10－11 には、わたしたちの心の状態と、霊的な真理を得る能力の間には、どのような関係があるのでしょうか。 _____

心を「かたくなにする」とは、どういう意味でしょうか（アルマ 12:10－11 参照）。また、心をかたくなにしていることは、その人の生活のどんな点に表れると思いますか。 _____

アルマがゼズロムに伝えたかったのは次の原則です。「わたしたちが主の言葉に寄せる注意力と熱意に応じて、主はわたしたちに霊的な真理を明らかにしてくださる。」



2. あなたが「注意力と熱意」を注いで従おうとしてきた主の戒めや勧告を、聖典学習帳に書きましょう。主から教えられた通りに行ったために、主からさらに導きや理解力、御霊のささやきを受けたことがありますか。そのときどのような祝福を受けましたか。

アルマは霊的な真理が分かるようになる方法を説明してから、人はどのようにして裁かれるのかというアルマ 12:8 に出てくるゼズロムの問いに答えています。アルマ 12:12－15 で復活と裁きについて、アルマがゼズロムにどんなことを教えたか書いてあるか探してください。次の文の空欄に適切な言葉を入れてください。「わたしたちは将来、自分の _____ と _____ と _____ について神の前に責任を負う。」

次の質問についてよく考えてください。自分の言葉と行いについて申し開きをしなければならない時が来ることが分かっていたら、わたしたちが日々選び行うことはどう変わってくるでしょうか。

脚注 14 ①にあるマスター聖句モーサヤ 4:30 に印を付けてから、モーサヤ 4:30 を読むか、または暗唱してください。



3. 今日のレッスンの課題 1 で聖典学習帳に書いた、聖霊の導きにもっと敏感になる方法を読み返してください。神に対して申し開きをしなければならないことが分かったと、誘惑を察知してそれを避けようとする気持ちが強くなります。それについて考えたことを書き加えましょう。

アルマ 12:19－37

アルマ、人類は贖いの計画のおかげで墮落の影響に打ち勝つことができると説明する

アモナイハの町のアンテオナという高官は墮落したため、とこしえに生きることが不可能になったと言ひ、人が不死不滅になれることを信じませんでした（アルマ 12:20－21 参照）。下の表にあるアルマ 12 章の聖句を調べ、アルマが教えたことをその下の欄に書きましょう。

墮落の影響（アルマ 12:22, 24）	贖いをもたらすために神が行われたこと（アルマ 12:24－25, 28－33）	贖いを受けるためにわたしたちが行わなければならないこと（アルマ 12:24, 30, 34, 37）



 4. 表を埋めたら、以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. イエス・キリストの贖罪は、どのように、人が堕落の影響に打ち勝てるようにしてくれるでしょうか。
- b. アルマ 12：24 によれば、救い主が堕落の影響を克服できるようにしてくださったために、人生の目的は何であるとアルマは教えましたか。



アルマ 12：24 に出てくる「試しの状態」という言葉は、モルモン書の中ではアルマしか使っていません（アルマ 42：4、10、13 も参照）。十二使徒定員会の L・トム・ペリー長老は、この試しの時について、次のように説明しています。「現世のおもな目的は、創世の前から存在していた私たちの霊が、この世において肉体と一つになり、成長するための機会にあずかることです。こうして、霊と肉体が一つになって初めて可能になる特権、すなわち成長や発達、成熟などの機会が与えられるのです。肉体を得たわたしたちは、試しの状態と呼ばれる現世で、

幾つかの試練をくぐり抜けます。現世は学びの時であり、永遠の特権にあずかるにふさわしいことを証明する、試しの時です。すべては、天の御父がその子供たちのために用意された、神聖な計画の一部なのです。」（「わが福音を全世界に宣べ伝えよ」『聖徒の道』1989 年 7 月号、15 参照）

「現世は神にお会いする用意をする時期である」とアルマは証しています。アルマ 12：24 の中でこの教義を教えている部分に印を付けておくといよいでしょう。アルマ 34：32 を読み、アルマ 12：24 と比較しましょう。

 5. 学んだことを応用するために、次の 2 つの質問のうちどちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 現世の目的を知っていることは、あなたの生活の指針としてどのように役立っていますか。
- b. イエス・キリストの贖罪を信じていると、この試しの世でどのような助けになるでしょうか。

アルマ 12：33－35 を読み、悔い改める人に起こることと悔い改めない人に起こることにはどんな違いがあるか見てください。この聖句を読むと、主の安息に入るとは、罪の赦しを受けて最終的に主の御前の栄光に入ること（教義と聖約 84：24 参照）だということがよく分かるようになるでしょう。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 12 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 16 ー 第 3 日

アルマ 13 章

はじめに

アルマは、アモナイハの反抗的な民に、メルキゼデク神権を持つ大祭司について教えました。「ほかの人々が悔い改めて主の安息に入れるように助ける」ために聖任された人です。アルマは悔い改めを説き、民が平和に暮らせるように助けたメルキゼデクの例を引用しました。アルマは信仰と希望を持つようアモナイハの民に教え、生活を変えて主の安息に入れるようにしなさいと呼びかけました。

アルマ 13:1-12

アルマ、大祭司の召しについてアモナイハの民に教える



1. 次の引用文を読んで、質問に答えてください。

「神はある霊に現世で特別な使命を果たさせるために前世で任命されました。これを予任と呼びます。

予任は一人一人がある特定の召しや責任を受けるという保証ではありません。そのような機会は、予任が前世で義を選んだ結果与えられたのとまったく同様に、現世で選択の自由を義にかなって行使した結果与えられるものです。」(『真理を守る—福音の参考資料』190)

a. 前世で行った選択と予任にはどんな関係があるでしょうか。

b. 現世で行った選択は予任されていた事柄にどんな影響を及ぼすでしょうか。

アルマ 13 章は神権者についての話ですが、スペンサー・W・キンボール大管長は、姉妹たちにも前世で貴い召し与えられたことを忘れてはならないと言っています。「ここへ来る前の世界において、忠実な男性が特定の神権の務めに予任された一方で、忠実な女性にも特定の任務が与えられていたことを覚えておきましょう。」(『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』216)



十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老は、次のように教えています。「前世に関する教義は決してわたしたちの努力をゆるめさせるものではありません。わたしたちにはそれぞれ、選択すべきことがあり、絶え間なくしなければならない仕事があり、経験しなければならない逆境があり、有効に使うべき時間と才能と賜物があります。前世で選ばれたからと言って、現世で福音に無関心になることはできません。前世で聖任されたか否かにかかわらず、召され備えられた者は、『選ばれた、忠実な者』であることを証明しなければならないのです(黙示 17:14。教義と聖

約 121:34-36 参照)。」(『聖徒の道』1986 年 1 月号、18)

多くの男性が神権を受けるよう前世で予任されていた、とアルマはアモナイハの兄弟たちに教えました。アルマ 13:1, 8-9 を読み、アルマが話しているのはどの神権のことなのか調べてください。この章に出てくる「聖なる位」がメルキゼデク神権、つまり「神の御子の位に従う聖なる神権」(教義と聖約 107:3)だと分かると、理解しやすくなるかもしれません。この章の残りの部分を学習しながら、「聖なる位」という言葉に印を付けてもよいでしょう(アルマ 13:2, 6-7, 10-11, 16, 18 参照)。十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老はこう言っています。「ニーファイ人は忠実でモーセの律法を守っており、メルキゼデク神権を持っていました。つまり、完全な福音を持っていたのです。」(The Promised Messiah: The First Coming of Christ [1978 年] 421) このことは、モルモン書に登場する預言者はメルキゼデク神権を持っており、その働きを知っていたことを意味しています。

アルマ 13:2-6, 10 を調べて以下の質問の答えを考え、手引きに書きましょう。

- メルキゼデク神権に聖任された人はどんな特質を持っていましたか(アルマ 13:3-5, 10 参照)。
- メルキゼデク神権者は、何をするために聖任されたのでしょうか(アルマ 13:6 参照)。
- あなたは、自分のワードまたは支部のメルキゼデク神権者がそれを行うのを見たことがありますか。また、その行いによって、あなたやほかの人たちの生活にどのような祝福がありましたか。

アルマ 13 章では、メルキゼデク神権について掘り下げた話がかかれています。ここでは、この神権を受ける者は前世でそれを受けるよう予任されていたと教えています(3 節参照)。この神権を持つ者は神の戒めをほかの人に教えて、「彼らも神の安息に入ることができるように」します(6 節)。この神権は永遠に続くものであり(9 節参照)、「非常に深い信仰と悔い改めと、神の御前での……義」に応じて男性に与えられます(10 節)。神権者は罪を忌み嫌うときに聖霊によって聖められ、「清められて、主なる神の安息に入[る]」のです(12 節)。

アルマ 13:11-12 を読み、これらの神権者がその信仰と悔い改めと義のゆえにイエス・キリストの贖罪による清めを受けてどうなったかを調べてください。



2. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。贖罪による清めを自分の生活の中で受けられるように

するために、あなたには何ができるでしょうか。これについて、このようなメルキゼデク神権者の模範から何が分かりますか。

 3. 自分の聖典のアルマ 13：1－12 のところ、または聖典学習帳に次の真理を書きましょう。「**末日聖徒イエス・キリスト教会の男性会員で大きな信仰を働かせて義を選ぶ人は、メルキゼデク神権を受けてほかの人々を神のもとに導くよう召される。**」次に、この福音の真理を知っていると、あなたが生涯にわたって神権指導者に示す態度はどのように変わるか、聖典学習帳に書いてください。

アルマ 13：13－20



アルマ、民の間に平和を確立した偉大な大祭司メルキゼデクについて教える

アルマ 13：13－18 を読み、メルキゼデクがどのような人で民のために何を行ったかを説明するためにアルマが使った言葉を探してください。その言葉が、メルキゼデクのキリストのような生き方をどう説明しているか考えてください。メルキゼデク神権者は「御父のもうけられる独り子であり……御子」である御方、つまりイエス・キリスト「の位に従う」者であると教えています（アルマ 13：9；教義と聖約 107：2－4 も参照）。また、アルマは、メルキゼデク神権者は模範と教えによってわたしたちの心をイエスに向かわせると教えていますブルース・R・マッコンキー長老は次のように述べています。「多くの預言者の生き方の中には、彼らがメシヤの予型として影として任命させたことを示す事柄がたくさん見られることは疑いのない事実です。キリストのひながたを至る所で探し、それを使ってキリストとその律法をまず思いに刻み込むことは、健全であり、適切なことなのです。」（*The Promised Messiah*, 453）

アルマ 13：19 を読み、メルキゼデクについてこの聖句には何と書いてあるか探してください。アルマ 13：17 をもう一度見て、メルキゼデクが王になったときサレムの民はどんな状態だったとアルマは言っているか確認しましょう。アモナイハの民も同じような状態だったことに注目してください（アルマ 8：9；9：28 参照）。メルキゼデクが努力した結果、サレムの民はどうになりましたか（アルマ 13：18 参照）。

メルキゼデクがアルマ 13：18 で何を働かせ、何を受け、何を説いたかに注目してください。神権者がメルキゼデクから学ぶべき事柄にはどんなことがあるか、考えましょう。

 4. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。義にかなった神権指導者の勧告に従って平安を感じたことがありますか。それはどんな時でしたか。または、そのような経験をした人を知っていますか。それはどんな経験でしたか。

アルマ 13：21－31

アルマ、主の声に聞き従って主の安息に入るように民に勧める

「主の安息に入る」という繰り返し出てくる言葉（またはそれに似た言葉）をアルマ 13：12, 13, 29 で探して、それに印を付けてください。主は人々が主の安息に入れるよう助けるために神権の業に人を召す、とアルマはアモナイハの民に教えました。メルキゼデクの例を挙げて、不道德と邪悪な行いに満ちた民でも悔い改めて主の安息に入ることができることを示したのです（アルマ 13：17－18 参照；教義と聖約 84：24 も参照）。

ジョセフ・F・スミス大管長は、「神の安息に入る」とは、「神の知識と愛を知ること」だと言っています。「すなわち、わたしたちが正しい道を歩んでいるのであり、間違っただけを追っているのではなく、人々の悪巧みによって起こる様々な教えの風に吹きまわされたりもあそばれたりするのではないことを理解できるほど、神の目的と計画に対して信仰を持つことです。わたしたちは、この教義が神から与えられたものであることを知って〔います。〕」（『歴代大管長の教え — ジョセフ・F・スミス』 57）

ジョセフ・F・スミス大管長が言うように主の安息に入っている人はどのような行いをすると思いますか。

ブルース・R・マッコンキー長老は次のように教えています。「まことの聖徒はこの世にいる間に主の安息に入り、真理のうちにとどまることによって、天において主とともに安息を得るまで、そのように祝福された状態を保ち続ける。……永遠において、主の安息とは永遠の命を受け継ぎ、主の完全な栄光を得ることである。」（*Mormon Doctrine*, 第2版〔1966年〕633）

アルマは、キリストの来臨に備えるようにアモナイハの民に警告してから（アルマ 13：21－26 参照）、主の安息に入る方法をさらに説明しました。アルマ 13：27－29 を読み、どんな説明をしたのか見てください。

アルマの教えは、次の原則にまとめることができます。「わたしたちが悔い改めの招きにへりくだって従うとき、御霊はわたしたちを主の安息に導く」



5. アルマ 13：27－29 に書かれている祝福の中から、あなたが受けたいと思うものを一つ選んでください。選んだら、その祝福を受けられるようにするのに役立つアドバイスをアルマの言葉の中から探します。次に、この世と次の世で主の安息に入るために、アルマの勧告をどんなふう実践するかを聖典学習帳に書いてください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 13 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。



アルマ 14 章

アルマとアミュレクは投獄され、彼らの言葉を信じた人は追い出されるか、火で焼き殺される

例えば信仰を持っているがゆえに迫害されるなど、罪のない人がほかの人の手にかかって苦しむのを見たり聞いたりしたことがある人は、それについて考えてください。以下の質問についてよく考えましょう。

- 苦しんでいる人に対してどんな気持ちを感じましたか。
- その人を苦しめている人に対してはどんな気持ちを感じましたか。
- 罪のない義になかった人に悪いことが起こることがあるのはなぜだと思いますか。

アルマ 14 章を読み、アルマとアミュレクについて上記の質問を考えてみましょう。

アルマ 14：1－10 を読み、だれがどんなふうに苦しんだか調べましょう。そして、下の表を埋めてください。

苦しんだ人	どんな苦しみだったか

アルマ 14：10 の記録によると、アミュレクは何を望んでいたのでしょうか。罪のない義になかった人に悪人が危害を加えることがあります。なぜそんなことが許されるのか理解できない人にとって助けになる真理を、アルマ 14：11 を読んで見つけてください。

アルマ 14：11 から分かる真理の一つはこれです。「主の裁きが公正なものとなるために義人が悪人の手によって苦しめられるのを主は黙認される」死んだ者たちは「栄光のうちに」主に受け入れられるとアルマに啓示されていたことに注意してください（アルマ 14：11）。大管長会のヘンリー・B・アイリング管長はこの出来事を永遠の観点から、次のように教えています。「アミュレクは、これほど痛

単元 16 — 第 4 日

アルマ 14－16 章

はじめに

ゼズロムを含め、アモナイハの民の一部の者は、アルマとアミュレクが宣べ伝える教えを聞いた後、それを信じて悔い改めました。しかし、信じなかった人たちは腹を立てて、アルマとアミュレクを牢に入れてしまいました。アモナイハの邪悪な者たちは、アルマとアミュレクの言葉を信じた者たちを追い出し、彼らの妻子を火で焼いたのです。多くの日が過ぎた後、主はアルマとアミュレクを牢から救い出し、アモナイハの邪悪な指導者たちを滅ぼされました。シドムでは、ゼズロムが肉体的にも霊的にも苦しんでいました。しかし、イエス・キリストを信じていることをアルマに告白すると、癒されました。預言は成就し、アモナイハの町はレーマン人の軍隊に滅ぼされてしまいました。預言者アルマを通して導きを受けたニーファイ人の軍隊は、レーマン人のさらなる侵攻を食い止めました。アルマとアミュレク、その他多くの人々は、ニーファイの地の全土で教会を確立したのです。

ましい出来事の中にすら神の善と公平さを見いだすという祝福にあずかったのです。」(“Amulek: The Blessings of Obedience,” *Heroes from the Book of Mormon* [1995年] 110)

アルマ 60:12-13 を読み、アルマ 14:10-11 と相互参照してください。義人が苦しむままにされる理由の一つは、その証を結び固めて、悪人たちを訴える証拠とするためだということが分かります(教義と聖約 135:3 参照)。

神がなぜ義人を苦しむままにされるのかを理解するのはわたしたちには難しいかもしれません。スペンサー・W・キンボール大管長の言葉を読んでよく考え、間違ったことをしようとしている人にすら神が選択の自由の行使を許される理由を、さらに深く理解してください。



「わたしたちの存在が現世ですべて終わってしまうと考えるなら、苦痛、悲しみ、失敗、そして短命に終わる生涯は、不幸なものだったと言えるでしょう。しかし人生を永遠に続くものとしてとらえ、遠い昔の前世から、死を迎えた後に永遠に続く未来までを視野に入れるならば、すべての出来事を正しい見地に立って見ることができるのです。……

……義人がすべて守られ、悪人が滅ぼされるならば、御父の計画はすべてが無効になり、福音の基本原則である選択の自由はなくなってしまいます。だれも信仰によって生きる必要がなくなってしまいます。」(『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』 15)



1. 神は、義人が悪人の手で苦しめられるのをそのま
まにしておかれることがあります。その理由を理解するために、アルマ 14:11 とキンボール大管長の言葉から学んだ真理がどのように参考になるか、聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 14:12-13 を読み、人々が苦しむ様子を見せられることにアミュレクが堪えられるようにするために、アルマがどんなことを教えたか書いてあるか探してください。アルマがこのように自信を持って対応できたのはなぜだと思いますか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の以下の言葉を読んでください。主に信頼するようにとアルマがアミュレクに教えた言葉の意味が、さらによく理解できるようになるでしょう。「この人生は心からの信頼を基とした経験の場です。つまり、イエス・キリストへの信頼、イエス・キリストの教えに対する信頼、聖なる御霊に導かれるわたしたちの能力への信頼です。聖なる御霊に導かれたわたしたちは、主の教えを通してこの世では幸福を得、永遠の世界では目的のある幸福な至高の存在として生活することができるのです。信頼とは、結果を知らされないまま、初めから進んで従うことです(箴言 3:5-7 参照)。そして、好ましい結果を望むのであれば、主への信頼をさらに強く永続す

るものにするように努め、個人の感情や経験から来る自信は抑えるようにしなければなりません。」(『主を信頼する』『聖徒の道』1996年1月号、17-18)

自分の聖典のアルマ 14:12-13 に、「主に頼るとき、主は試練の中でわたしたちを強めてくださる」と書いて、この真理を強調しておくといいかもかもしれません。



2. 以下に挙げる状況から一つまたはそれ以上選び、今聖典に書き込んだ原則がそれぞれの状況に置かれた人にどう役立つかを、聖典学習帳に書いてください。

a. ある若い男性が所属しているスポーツチームの中には、その若い男性が福音の標準にこだわってばかりいると言って彼を避けたり、皆の前で彼をばかにしたりからかったりする人が何人かいます。その人たちは結託して、彼が宗教上のこだわりのために参加しないことが分かっているような活動を、あえて練習以外にやろうと計画しています。

b. ある若い女性が、良い友達がいる店の店員に応募しましたが、採用されませんでした。後で友達が言うには、モルモンは絶対に採用しないと店長が言っていたそうです。

c. ある若い男性が学校で、自分の周りで不敬な言葉を使わないでほしいと何人かの若者に言ったところ、その若者たちからこづかれ、もう一度そんな説教をしたらただではおかまいと脅されました。

アルマ 14:14-17 を読み、アルマとアミュレクはアモナイハの邪悪な指導者たちから苦しめられ続けていたとき、信仰がどんな支えになったか考えてみましょう。その状況で何も答えないことが最良の対応だったのはなぜだと思いますか(マタイ 27:11-14 も参照)。

アルマ 14:18-28 には、アルマとアミュレクは、神が解放してくださり、アモナイハの邪悪な指導者たちが神に滅ぼされるまでの間に多くの苦しみを受けたことが書かれています。「歯ざしり」とは(21 節)、怒りや激情から、歯を強くかみ合わせることを意味します。



3. アルマ 14:18-25 に出てくるアルマとアミュレクが受けた苦しみのうち、自分が受けたとしたらいちばん耐えがたかったらと思うものを聖典学習帳に書き、その理由も書きましょう。次に、正しい生き方をしようとしているのに次々に試練が降りかかってきたことのある人は、そのときのことを書いてください。または、そのような人を知っていれば、その人の経験したことを書いてください。

アルマ 14:25 に記録されているようにアルマとアミュレクが立ち上がることができたのは、なぜでしょうか。アルマ 14:26-29 を読み、確かに次の原則の通りだと思わせてくれる言葉や語句に印を付けてください。「信仰をもって主に呼び求めれば、主は艱難の中でわたしたちを強め、主の方法で、主の時にわたしたちを救い出してください。」

主はその力を使って主の方法で、主がふさわしいとされるときに、あなたを試練や苦しみから救い出してくださいます。主の御心に頼ることができるようになるにつれて、生涯を通して困難に耐え抜く強さと力がついてくるのです。

アルマ 15 - 16 章

ゼズロムは癒され、アモナイハの町はレーマン人に滅ぼされる。アルマとアミュレクは引き続きニーファイ人に教えを宣べ伝える

アルマとアミュレクはアモナイハの町を後にすると、シドムという近くの町に行きました。そこには、アモナイハの町から逃れてきた信者たちがいました。ゼズロムもいたのです。アルマ 15:3-5 を読み、ゼズロムがどうなっていたか見ましょう。

次の質問について考えてください。ゼズロムはなぜ病床に伏していたのでしょうか。安らぎと平安を得るために、ゼズロムは何をしましたか。

アルマ 15:6-10 をよく読んでください。イエス・キリストとその贖罪についてよく考えるようアルマがゼズロムに勧めていることを示す言葉が 2, 3 ありますから、その言葉に線を引きましょう。人が贖罪を通して憐れみを受けられるようにするために神権指導者にできる一つの方法について理解するため、七十人会長会のジェイ・E・ジェンセン長老の経験談を読んでください。

「わたしはビショップとして奉仕していたときに、重大な背きを犯した教会員たちの生活に贖罪の祝福がもたらされるのを何度も見ました。……

わたしたちのワードのあるヤングシングルアダルトが、ある若い女性とデートをしていました。二人は情熱を制し切れなくなってしまいました。彼は助言と援助を求めてわたしのところに来ました。告白の内容と、わたしが感じた御霊の促し、その他の事柄に基づいて、しばらくの間聖餐を受けることを禁じました。わたしたちは定期的に会って、悔い改めが行われていることを確認しました。そして適切な期間の後、わたしは再び聖餐を受けることを彼に認めました。

わたしは聖餐会の壇上に座って、彼に目をやりました。彼は今やふさわしい状態で聖餐にあずかっているのです。わたしは彼を包み込む憐れみ、愛、保護の御腕を感じました。贖罪の癒しが彼の魂を温め、重荷を取り去り、その結果、約束された赦し、平安、幸せが得られたのです。」「人を保護する御腕」『リアホナ』2008 年 11 月号, 49)

ビショップとその他の神権指導者は、わたしたちが必要としている憐れみと強さをイエス・キリストの贖罪によって得られるように助けることができます。ゼズロムが悔い改めて主の憐れみを受けた証拠としてアルマ 15:11-12、どのようなものが挙げられますか。_____

アルマ 15:6-12 から分かる次の原則を、自分の聖典または聖典学習帳に書いておくとよいでしょう。「イエス・キリストを信じる信仰によって、わたしたちは癒され、強くされる。」アルマ 15:16, 18 によると、アミュレクの人生のどんなところにこの原則が表れているでしょうか。

アルマとアミュレクはシドムの地に教会を設立すると、セラヘムラに戻りました。



アルマ 16 章には、レーマン人の軍隊がニーファイ人の地を侵してアモナイハの町を滅ぼしたことが書かれています。悔い改めなければ民は滅ぼされるだろうというアルマとアミュレクの預言が成就したのです(アルマ 9:12 参照)。アルマ 16 章を読み、レーマン人の軍隊を打ち負かすためにニーファイ人がどなたに助けを求めたか、探してください。この話を、自分自身の戦いと、自分が直面している敵に当てはめて解釈してみてください。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 14 - 16 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

アルマ 17—18 章

はじめに

アルマ 17—18 章は、モーサヤの息子たちのレーマン人への伝道についてのモロナイの記述です。この記述は、現代の宣教師が見習うべき備えと伝道の模範となっています。モーサヤの息子たちは、レーマン人に福音を宣べ伝える準備として、主の導きを求めました。各々分かれて別々の道を行くとき、主は彼らに慰めを与え、彼らが多くの人を主のもとに連れ戻すだろうと約束なさいました。アンモンはイシマエルの地に行ってラモーナイという王に仕え、教えを説き始めます。ラモーナイ王は王の羊を守ったアンモンの力に驚愕したのです。この奉仕によって王とその僕たちの心は和らぎ、アンモンの語る神と救いの計画の教えに耳を傾けるようになりました。ラモーナイ王はアンモンの教えを信じました。自分には救い主が必要だということを悟り、主に憐れみを叫び求め、御霊に圧倒されて倒れてしまったのです。

アルマ 17：1—18

モーサヤの息子たち、レーマン人に福音を宣べ伝えるために備える

今の時代、長老と姉妹宣教師がどのくらいの期間伝道するか、考えてみてください。アルマ 17：4 を読み、モーサヤの息子たちがレーマン人の中で福音を教えた年数に線を引きましょう。

アルマはマントイに向けて旅をしているとき、モーサヤの息子たちが長期間にわたる伝道から帰ってくるところに遭遇しました。アルマ 17：2—4 を読み、モーサヤの息子たちがどんな宣教師だったかを説明している言葉や語句にマーカーで印を付けてください。



1. アルマ 17：2—4 をもう一度読み、以下に指示されている事柄を聖典学習帳に書きましょう。

a. 宣教師として良い働きができるよう備えるためにモーサヤの息子たちが行ったことを箇条書きにし、その備えの結果どうなったかを書いてください。

b. モーサヤの息子たちが行ったことの中で、自分ならもっとよくできると思うこと、または、自分ならもっとよく伸ばすことができると思う特質をいくつか選んでください。自分ならどうするか、どうやってその特質を伸ばすかを書きましょう。

自分は個人または家族で、どのくらいの頻度で祈り、どのくらいの頻度で聖文を調べているか、よく考えてください。また、断食しなければならない機会について考えてください。祈り、聖文を調べ、断食することは、あなたが「真理を深く知る」ためにどんなふうに役立ちましたか（アルマ 17：2）。

モーサヤの息子たちの模範から、次の原則が分かります。「聖文を調べ、祈り、断食するとき、聖霊を受け、力をもって教えることができる。」聖霊を受けると、人に福音を伝える備えがよくなるようになります。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の以下の言葉を読んでください。この中でベドナー長老は、宣教師になる準備の仕方を若人に教えています。モーサヤの息子たちのように福音を伝えるにはどんな備えをしたらよいのでしょうか。その方法を探してください。



「神に仕えたいと望む（教義と聖約 4：3 参照）気持ちを高め、宣教師が考えるように考え、宣教師が読む書物を読み、宣教師が祈るように祈り、宣教師が感じていることを感じる、これらを始めることはできます。聖霊を遠ざけるような世の影響から離れることによって、霊的な促しに気づき、それにこたえることについて自信をつけていくことができます。ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えることによって、自分が望むような、また救い主が期待しておられるような宣教師に次第に近づいていくことができるのです。……

福音を宣べ伝えることは……一定の期間だけ携わる活動でもなければ、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として果たさなければならない単なる割り当てでもありません。伝道活動はわたしたちの霊的な本質と受け継ぎの現れなのです。」（『リアホナ』2005 年 11 月号、45、47）



アルマ 17：9 を読み、モーサヤの息子たちが伝道する際に祈り求めた事柄に線を引きましょう。また、アルマ 17：11 を読み、主の御手に使われる者となるために、どのようにしなさいと主が言われたかよく考えましょう。この二つの聖句から分かるのは、次の原則です。「特に苦難の中で良い模範を示すとき、主はわたしたちを主の手に使われる者にされる。」



2. 自分が良い模範となれるような場面を考え、それを聖典学習帳に書いてください。学校での場面でも、家庭で家族や親せきと一緒にいるときの状況でも、面と向かって人と話す状況でも、オンラインで交信する状況でも結構です。その場面ですいたら良い模範を示せるか、説明してください。

良い模範を示すことが比較的難しい状況もあります。アルマ 17:12 - 16 に書かれているレーマン人の状態を見てください。このような状況でモーサヤの息子たちが教えるのは大変だったと思われるのはなぜか、考えましょう。

モーサヤの息子たちは、ニーファイ人を嫌っていた民を助けるために、喜んで苦難を受けました。なぜそうしたと思いますか。モーサヤの息子たちが何を成し遂げようとしたのか理解できるようにするために、アルマ 17:16 に出てくる次の言葉の空欄を埋めてください。「恐らく彼らを_____させることができると思い、また恐らく彼らに贖いの計画を知らせることができると思って、」

どうしたら人の良い模範となれるか理解できるようにするために、2, 3 日中に次の課題を実行しましょう。「キリストのような模範を示されて人生が変わったという経験があるか、それはどんな経験だったか、家族や友人に尋ねる。」

アルマ 17:19 - 39

アンモン、ラモーナイ王の僕となり、王の羊の群れを守る

アルマ 17:19 - 39 を読み、アンモンがラモーナイ王と王の僕たちににどんなふうに住えたか調べましょう。アンモンの奉仕によって、レーマン人の心は福音を受け入れられる状態になりました。心がどんな状態になったか、考えてください。アンモンが王の羊の群れを守った話を家族または友人に話せるよう準備しましょう。次の真理を強調して話します。「奉仕することによって、人々が福音を受け入れる備えをするのを助けることができる。」霊的に強くなるよう助けてあげたい人について、羊の群れの話をした相手と話し合ってください。そのためにどのような奉仕ができるか考え、どんな形で奉仕するか決めてください。

アルマ 18 章

アンモンの忠実さはラモーナイ王の心を動かし、王はアンモンから福音を学ぶ

ラモーナイ王の僕たちは、王の羊の群れを守るためにアンモンがどんなことをしたか王に話しました。アルマ 18:4 - 6 を読み、アンモンの行ったことを聞いて王がどんな反応を示したと書いてあるか探してください。

アンモンはどこにいるのかとラモーナイ王が尋ねると、アンモンはその前に王に命じられたとおりに馬の用意をしているという答えが僕たちから返って来ました。王の父親の住むニーファイの地へ旅立つ準備をしていたのです。アルマ 18:12 - 15 を読み、アンモンのこの忠実さがラモーナイ王にどんな影響を与えたと書いてあるか探してください。



アルマ 18:16 - 21 を読み、ラモーナイ王を教える際に主がアンモンを導いておられたことを示す事柄を探してください。神の御霊がどのようにアンモンを助けたか、下の欄に書きましょう。_____

アルマ 18:22 - 32 を読み、アンモンが具体的にどんな福音の真理をラモーナイに教えたか書いてあるか探してください。自分の聖典に印を付けるか、聖典学習帳に書き出しておくといよいでしょう。アンモンは、ラモーナイと自分が共通して信じている事柄を土台にして教えました。ラモーナイは「大霊」という神を信じていましたが、神の真の特質は理解していませんでした。

アルマ 18:33 - 35 を読み、神から遣わされたのかと王に聞かれてアンモンがどう答えたか書いてあるか探してください。



3. アルマ 17 - 18 章で学習した事柄の中から、レーマン人の中でアンモンが神の助けによって行うことのできたことを短くまとめて、聖典学習帳に書いてください。

自分の聖典のアルマ 18:35 の近くに次の原則を書いておくとよいでしょう。「わたしたちは天の御父とイエス・キリストに仕えるとき、御二方の業を行うわたしたちの能力は増す。」

 4. 次の二つの質問のうち、どちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 上記の原則は、あなたが現在受けている責任や、将来受ける責任において、どのように役立つでしょうか。

b. 主の業を行うために主があなたの能力を増してくださるのを感じられるために、あなたはどのようにもっと忠実に主に仕えることができるでしょうか。

アンモンは、その忠実さと奉仕の模範のおかげで、天の御父の贖いの計画を王に教えることができました。王が、僕たちを殺したことに罪の意識を感じていたことを思い出してください（アルマ 18:4-6 参照）。アルマ 18:36-43 を読み、アンモンが贖いの計画をラモーナイにどう教え、ラモーナイはその教えにどんな反応を示したと書いてあるか探しましょう。

 5. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。ラモーナイ王にとってイエス・キリストの贖罪を理解することが特に大切だったのはなぜだと思いますか。

創造、墮落、贖罪の教義を学ぶことによってラモーナイは救い主が必要だと悟りました。これはなぜでしょうか。考えてください。十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、創造、墮落、贖罪の大切さについて次のように述べています。



「これら 3 つの神聖な出来事は、永遠の 3 本の柱であって、永遠の救いの計画として知られる一大タペストリーにしっかりとより合わされているのです。わたしたちは、主イエス・キリストの贖いを、啓示された宗教の中心であり、神髄であり、本質であると見ています。贖いこそが、人の不死不滅と永遠の命をもたらすのです。救いはキリストによって来るのです。」

しかし、墮落がなかったとしたら、贖罪も起こるはずはありませんでした。アダムの墮落は肉体の死と霊の死をこの世にもたらしました。そして、この死から、全人類とすべての命ある者が、主イエス・キリストの贖罪を通して贖われているのです。アダムは死をもたらし、キリストは不死不滅をもたらしました。墮落と贖罪が行われたからこそ、救いがもたらされるのです。

しかし、もし地球も人もすべての生ける物も死ぬことのない楽園の状態でこの世に創造されていたとしたら、墮落は起こり得なかったのです。……従って、救いがもたらされるようになったのは、天地とそこにあるすべての物が創造されたためなのです。救いは創造と墮落と贖罪があったからこそもたらされるのです。この 3 つは、一つの神の計画の各部分を成しているのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith* [1985 年] 81-82）

ラモーナイの話から、次の真理を学ぶことができます。「自分には救い主が必要であることを理解するときに、悔い改めたいと思うようになる。」

今日のレッスンのまとめとして、救い主が必要であることをいつも思い出すために、何をすることができるか、よく考えてください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 17-18 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 17—第 2 日

アルマ 19-20 章

はじめに

アルマ 19-20 章の記録によると、ラモーナイ王は大きな心の変化を経験し、自分の民の多くの者が改心するに至りました。アンモンとラモーナイ王は、投獄されているアンモンの兄弟たちを救い出すために、ミドーナイへ向かいました。その途中で彼らはレーマン人の全地の王であるラモーナイの父に出会いました。アンモンは大胆に証し、ラモーナイを愛し守りました。その結果、ラモーナイ王の父王は心を和らげ、アンモンの兄弟を解放することに同意したのです。アンモンの証と模範によって多くの人々が聖霊を感じて福音の教えを受け、そして改宗しました。

アルマ 19 章

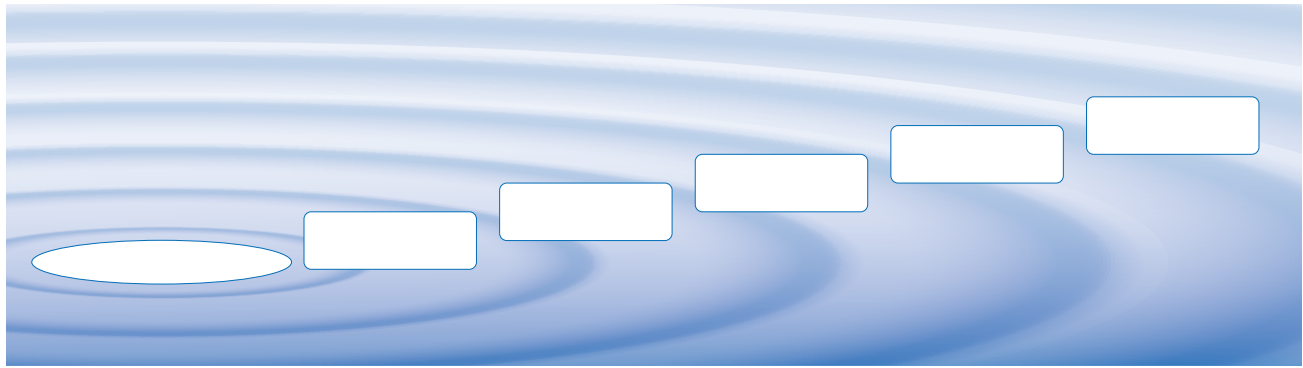
ラモーナイ王と多くの民、悔い改めてバプテスマを受ける

水たまりに石を落とすと、波紋が広がります。これについて考えてみましょう。

ある人の行動が、水たまりに落ちた石のように影響を及ぼすことはあるでしょうか。_____

次ページの絵の波紋の中心（長円形）に「アンモン」と書いてください。

アルマ 19:1, 6 を読み、アンモンの証から最初に影響を受けた人を見つけて、その名前をこの絵の最初の波紋の所に書いてください。読んだ聖句から、ラモーナイに起こっていることをいちばんよく表している言葉を選び、それを書いてください。その意味も自分で考えて書きます。_____



アルマ 19 : 7 – 10 を調べて、アンモンの証から次に影響を受けた人を見つけ、2 番目の波紋にその名前を書いてください。アルマ 19 : 10 には、ラモーナイ王の王妃の信仰について何と書いてありますか。 _____

アルマ 19 : 11 – 13 の記録によると、ラモーナイ王の王妃は夫の証からどのような影響を受けましたか。 _____

 1. アルマ 19 : 13 – 14 を読み、次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「御霊に強く感じて倒れ[る]」とか、「喜びのあまり……力を失ってしま[う]」とは、どういう意味だと思いますか。あなたはこれまで、聖霊の力を強く感じたことがありますか。それはどんなときでしたか。

アルマ 19 : 15 を読み、次にアンモンの証の影響を受けた人を探して、それを 3 番目の波紋の所に書いてください。

アルマ 19 : 16 – 17 を読み、その次に影響を受けた人を探して、4 番目の波紋の所に書いてください。

アンモンとラモーナイ王、その王妃の改宗が、王のすべての僕に与えた影響力を考えてみてください。アルマ 19 : 15 – 17 を読み、ラモーナイ王の僕が神に心を向けている様子を示している言葉や語句をこの中から見つけて、マーカーで印を付けてください。

 2. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。ラモーナイ王とその宮殿の者たちが霊的な経験をしているのを見て、エービシが、それまで長い間「ほかの者たちには……知られてはいなかった」自分の証を人に伝えることにしたのはなぜでしょうか（アルマ 19 : 17）。

アルマ 19 : 18 – 22 を読み、宮殿に集まった者たちが、そこで目撃したことをどう解釈したか見てください。自分がエービシだったとします。そこに集まった者たちの間で論争が起こるのを見て、どうしますか。エービシがどんな行動を取ったか知るために、アルマ 19 : 23 – 29 を読んでください。

アルマ 19 : 30 – 36 を読み、アンモンの証がほかの人々に及ぼした影響について考えましょう。波紋の絵の 5 番目

の波紋の所に、「そのほかの多くのレーマン人」と書いてください。

 3. アンモンの証の影響を受けたすべての人についてよく考えてから、次の文を聖典学習帳に書いてください。「わたしたちは証を伝え、義にかなった模範を示すことによって、ほかの人々が主に立ち返るのを助けることができる。」

アンモンは、その証と模範によって、ラモーナイ王を始めとする人々が主に帰依できるよう助けました。これまであなたに霊的な面で決定的な影響を与えた人について考えてください。義にかなった模範と証によってあなたに影響を与えた人のことを考えてください。その人がどんな形でほかの人にも良い影響を与えたか、考えることができますか。

 4. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書くことによって、アンモンの模範から学んだことをどう応用できるか考えましょう。

a. あなたがアンモンの模範に従って義にかなった生き方をし、人に奉仕し、証を伝えるようになったら、あなたの家族や友達にはどんな祝福があるでしょうか。

b. そんなあなたの模範や証は、「波紋」となって、現在のあなたには分からないけれども、家族や友人、知人にどんな影響を与えて行くでしょうか。

アルマ 20 章

ラモーナイ王の父、心の変化を経験し、福音を学びたいと願う

以下に 3 つの状況を挙げます。これを読んで、自分だったらどんな行動を取るか、よく考えてください。

- スポーツの試合で審判またはアンパイアが間違った判定を下し、不公平な扱いを受けた。
- 自分はカンニングしていないのに、クラス全員の前で教師から、カンニングしただろうと言われた。
- ほんとうは弟か妹がやったのに、自分が親から叱られた。

アルマ 20 章の記録によると、アンモンとラモーナイ王は、怒りをぶつけることもできたような状況に追い込まれて

いました。自分がアンモンまたはラモーナイ王の立場にいると仮定して、この章を研究しましょう。

アルマ 20：1－7 を読み、ラモーナイ王が、レーマン人の全地域を治める父王にアンモンを紹介しようとしたところ、どうなったかを見てください。次に下記の聖句を読み、そこに書かれている質問の答えをよく考えてください。

アルマ 20：8－13	もしもあなたがアンモンの立場にいて、ほかの人からあなたは偽り者あるいは盗人だと言われたら、どのように感じるでしょうか。
アルマ 20：14－16	ラモーナイが自分の父親に対して取った対応から、感動的だと思うのはどんな点でしょうか。
アルマ 20：17－25	ラモーナイ王の父王が怒りを発したとき、アンモンはどんな対応を取ったでしょうか。また、ラモーナイに対する愛をどのような形で示したでしょうか。

アルマ 20：26－27 を読み、アンモンの対応がどんな影響を与えたか調べましょう。アンモンがラモーナイを愛していることを知ってから、ラモーナイの父の学びたいという望みはどう変化しましたか。 _____

ラモーナイの父王が怒りを発したときにアンモンが取った行動から、どんなことが分かりますか。 _____

自分の聖典のアルマ 20：26－27 のところ、または聖典学習帳に次の真理を書きましょう。「わたしたちが愛を示し、真理を教えるとき、ほかの人々が心を和らげて福音を受け入れるようになる助けをすることができる。」家庭や友達との間や学校などで、人の怒りに愛で対応する機会があるとしたら、それはどんな場合か、考えてみましょう。

 5. アンモンが全レーマン人の王に対して行ったように、怒りに愛で応えることができるようにするための目標を、聖典学習帳に書きましょう。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 19－20 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 17—第 3 日

アルマ 21－22 章

はじめに

アンモンの兄弟の一人であるアロンは、イエス・キリストと贖罪について、アマレカイ人とアミュロン人に教えを説こうとしましたが、拒まれました。アロンと彼の同僚たちの何人かは結局、ミドーナの地で投獄されてしまったのです。彼らは逆境のときにも忠実でした。アンモンとラモーナイ王の助けで解放された後、アロンはラモーナイの父王に、「神から生まれ〔る〕」ことについて教えました（アルマ 22：15）。王は罪を悔い改めることによって神を知ることができ、ひいては永遠の命を得ることができることを知りました。アロンと彼の同僚たちの忠実さのおかげで、多くのレーマン人が神と、神の贖いを知るようになったのです。



アルマ 21：1－23

アロンと同僚たち、試練を受け投獄されたにもかかわらず福音を宣べ伝える

一生懸命に戒めを守ろうとしているのに試練に直面したことはありませんか。そのときのことを考えてください。そして、次の質問についてよく考えてみましょう。試練の中でも忠実であるためにあなたは何をしましたか。そのときのことを思い出してください。そのときあなたはどんな形で主の祝福を感じましたか。

アンモンがラモーナイ王とその民に教えを説いていたころ（アルマ 17－19 章参照），アロンとその同僚たちは別の場所で教えを説こうとしてひどい苦難に出遭っていました。アルマ 20：28－30 を読み，アロンとその同僚たちが牢獄の中でどんな苦しみに遭ったか，概略をつかんでください。次にアルマ 21：1－17 から，下の表に出てくる聖句を読んでください。アロンとその同僚たちは苦難にどう対処したと書いてあるか探しましょう。



1. 下の表を聖典学習帳に書き写してください。各聖句の横にはコメントを書くスペースを取ります。

試練や苦難	それに対するアロンとその同僚たちの行動
アルマ 21：3	アルマ 21：4
アルマ 21：5－6，8	アルマ 21：7，9
アルマ 21：10－11	アルマ 21：11－12
アルマ 21：13－14	アルマ 21：15

各聖句を読み，表の左の欄に，アロンとその同僚たちが直面した試練や苦難を書いてください。右の欄には，それに対してアロンと彼の同僚たちが取った行動を書きます。それが終わったら以下の質問に答えてください。

- a. 彼らにとって，くじけて望みを捨て，慣れ親しんだニーファイ人の住む土地に帰ってもおかしくない状況だったとあなたは思いますか。どうしてそう思うのですか。
- b. わたしたちは会員宣教師として，この話をよく読むことによって何を学ぶことができますか。

アルマ 21：16－17 を読み，アロンとその同僚たちが信仰を持って御業を行う努力を続けたときに，主がどんな助けをお与えになったと書いてあるか探してください。アロンとその同僚たちの物語から，次の原則が分かります。「試練を受けても忠実であり続けられれば，わたしたちが主の業を行えるように主は助けてくださる。」この原則を自分の聖典または聖典学習帳に書いておくとよいでしょう。

現在または将来，神からどのような業を行うように期待されており，またその業を果たすときにどのような試練に遭う可能性があるか考えてみましょう。次のモンソン大管長の言葉を読んでください。モンソン大管長は，主の業を行おうとすると試練に遭うことがあると教えています。



「天父が教えを授けるために備えたもうた貴い霊に手を差し伸べ，指導し，心に触れることは，非常に大きな責任です。簡単なことではありません。首尾よくそれを果たすには，普通その前に涙や試練，信頼，証が伴います。……

……神の僕は……主のみ言葉から慰めを得ることができます。『わたしは……いつもあなたがたと共にいるので

ある。』（マタイ 28：20）このすばらしい約束は，……〔あなた〕の支えになっています。……だれでも失望するときがあるのですが，そのようなときにも慰めとなります。』（「涙，試練，信頼，証」『聖徒の道』1987 年 7 月号，46，47）



2. 試練を受けても忠実であり続けた経験について聖典学習帳に書きましょう。または，このレッスンの原則をどのように応用して，現在直面している困難を忠実に切り抜けようと思うか書いても結構です。また，将来主の業を行おうとして試練に遭ってしまい，忠実に努力し続ける必要が出てくるような状況を幾つか考え，それについて書いても結構です。

アルマ 21：18－23 を読み，アロンとその同僚たちが牢から出られるようにしてからアンモンが何をしたと書いてあるか探してください。アンモンが福音を教えたために，レーマン人の生活がどのように変わったか調べましょう。

イエス・キリストの福音によって生活が変わった人が知っている人の中にいれば，その人の生活がどのように変わったか考えてみましょう。知っている人にどうやって福音を伝えたらよいか，よく考えてください。または，アロンとその同僚たちの模範を見たら影響を受けるような人がいれば，その人について考えてください。アロンとその同僚たちが主の業を忠実に果たした模範からどんなことを学んだか，彼らに話してもよいでしょう。

アルマ 22 章

全地を治める王であるラモーナイの父王，福音の教えをアロンから受けて信じる

アンモンがラモーナイの父王と出会ったときのことは，前のレッスンで読みました。思い出してください。父王がアンモンに求めたことがアルマ 20：27 に具体的に記録されています。それを読んでください。アルマ 22：1－3 を読み，アロンが来たことについて父王がどんな反応を示したか見ましょう。

アルマ 22：4－6 を読み，ラモーナイ王の父王が何を心に思い悩んでいたのかを見つけてください。アルマ 22：7－14 をよく読み，アロンがラモーナイの父王にどんな真理を教えたか調べましょう。

以下の質問についてよく考えてください（アルマ 17－18 章でラモーナイ王について似たような話し合いをしたことを思い出すとよいかもしれません）：

- 悔い改めを理解するために，王が神を信じなければならなかったのはなぜでしょうか。
- 王は墮落について理解すると，悔い改めについても理解できるようになりました。なぜでしょうか。



3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。悔い改めを理解するためには，アダムの墮落とイエス・キリストの贖罪を理解することが不可欠です。なぜでしょうか。

アルマ 22:15 を読み、ラモーナイ王の父は喜びと永遠の命を得るために喜んで何を捨てようとしたか探してください。自分の聖典で、喜んで捨てようと言ったものに印を付けてもよいでしょう。

 4. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。ラモーナイ王の父王が取った態度は、神を知ろうと思う人ならだれもが持っていなければならない大切な態度だとあなたは思いますか。また、そう思うのはなぜですか。

アルマ 22:16 を読み、どうすれば永遠の命が得られるのかという王の質問にアロンがどう答えたか、見てください（この節で重要な真理を教えている箇所印を付けてもよいでしょう）。アロンが教えた真理を受け入れて実践すると、なぜ永遠の命を受けられるようになるのでしょうか。

アルマ 22:17-18 を読み、アロンの教えに王がどう反応したか調べてください。次の質問についてよく考えましょう。神によって生まれることについて、ラモーナイ王の父王からどんなことが学べますか。

アルマ 22:18 中の「わたしはあなたを知〔るため〕……に、自分の罪をすべて捨てます」の部分に印を付けてもよいでしょう。次の真理についてよく考え、この真理を自分の聖典または聖典学習帳に書いてください。「わたしたちは霊的に変えられて神から生まれるために、すべての罪を自発的に捨てなければならない。」



十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を読んでください。「イエスキリストの福音は、変わりなさいというチャレンジです。福音の中で最も多く登場するメッセージは『悔い改め』です。悔い改めとは、個人、家族、民族、国民の中の、神の戒めに反する習慣、慣習をすべて捨て去ることです。福音は、普通の人を日の栄えの人に変えるためにあり、それゆえ、変わるように人に求めるのです。』（「悔い改め、変わる」『リアホナ』2003 年 11 月号、37）

霊的に変わるために自分は何をする必要があるのか、よく考えてください。

アルマ 22:19-22 を読み、王が祈った後で何が起きたかを見てください。アルマ 22:23-27 を読み、心の変化を経験し、主の御霊を自分で受けるようになってからラモーナイの父王が何をしたかを調べましょう。

 5. 再び生まれることについてラモーナイ王の父王についての研究から分かったことを、聖典学習帳に書きましょう。父王の模範は、今日の青少年が生活の中で変化を経験し、神によって生まれるためにどう役立つと思うか、説明してください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 21-22 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 17 — 第 4 日

アルマ 23 - 24 章

はじめに

レーマン人の王は、改心した後、民の間に信教の自由を布告しました。この布告によって、アロンとその同僚たちは福音を宣べ伝え、多くのレーマン人の町々に教会を設立することができました。そして、何千人ものレーマン人が改心し、その後二度と道を踏み外すことはありませんでした。主に帰依したこれらのレーマン人たちは、武器を捨てるという聖約を交わしました。そして「アンタイ・ニーファイ・リーハイ人」と名乗るようになったのです。改心していないレーマン人の攻撃を受けたとき、多くのアンタイ・ニーファイ・リーハイ人が、この聖約を破るよりは命を犠牲にする方を選びました。

アルマ 23 章

何千人ものレーマン人、主に帰依し、自分たちをアンタイ・ニーファイ・リーハイ人と呼ぶようになる

 1. 聖典学習帳に幸せそうな顔と悲しそうな顔を描いてください。幸せそうな顔には「忠実」、悲しそうな顔には「言行不一致」と書きます。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の以下の言葉を読みながら、この二つのタイプの人々を説明している語句を探してください。見つけた語句を、該当する絵の下に書きます。



「わたしたちは皆、義になかった事柄を常に行っている人々の姿を見ています。そのような人々は幸福で、人生に対して前向きであるようにさえ映ります。難しい決断を迫られても、いつも正しい選択をします。魅力的な誘いでさえ断って、義を選ぶのです。彼らも誘惑を受けるのですが、意に介しないようです。一方で、自ら決断した事柄に対して雄々しくない人々の姿も見ています。そのような人々も、霊的な経験をしたときには、より善い人になり、生き方を変え、成長を妨げている習慣を克服するよう決意します。真剣に変わろうと思うのです。でもしばらくすると、断ち切ろうと決意した事柄を繰り返してしまうのです。」

この二つのタイプはどのような違いを生むのでしょうか。常に正しい選択をするにはどうすればよいのでしょうか。』（「真の改心がもたらす幸福」『リアホナ』2002 年 7 月号、26）

スコット長老の二つの質問にあなたならどう答えるか、よく考えてください。アルマ 23 - 24 章を学習しながら、多くの教会員がイエス・キリストの福音に生涯忠実でいるのはなぜか考えましょう。

レーマン人の王はイエス・キリストの福音に改心した後、民の中に布告を出し、そして奇跡が起こりました。何千人ものレーマン人が改心したのです。アルマ 23:1-5 を読み、どんな布告が出されたのか、どのような奇跡が起こったのかを見ましょう。

アルマ 23:6-7 を読んでください。「主に帰依した」何千人ものレーマン人のうち、どのくらいの人が生涯を通じて信仰を貫き通したでしょうか。_____

これらのレーマン人は改宗した後、もうレーマン人として知られることがないよう、新しい名前と呼ばれることを望みました。アルマ 23:16-18 を読み、どんな名前にしたのか、また、彼らは忠実さゆえにどのような祝福を得たのか調べてください。



2. 聖典学習帳の「忠実」と書いた顔の下に、生涯を通じて主に忠実であることについてアンタイ・ニーファイ・リーハイ人から学んだことを書きましょう。

次の真理を、自分の聖典または聖典学習帳に書いてください。「改心とは、神の力によって変わり、霊的に新たな人になるという意味です。」アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が変わったように、あなたも信仰と悔い改めによって贖罪の力を生活の中に取り入れるならば、神の力によって新しい人になり、生涯を通じて信仰を貫き通すことができるようになります。

スコット長老の質問をもう一度見てから、スコット長老の答えを読んでください。「真の改心とは、信仰、悔い改め、常に従順になることに対する報いなのです。……真の改心により、どんな状況下にあっても、必要なときにすべきことを行う力が強められます。」（「真の改心がもたらす幸福」27）



3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。アルマ 23:18 には改心したレーマン人は勤勉になり、ニーファイと親しくなったと書いてあります。悔い改めて生活を変えようとするときに、同じように義にかなった生活をしようと努力している人と交わることは大切です。なぜでしょうか。



4. 聖典学習帳の「忠実」な顔の下に書き出した言葉をよく見てください。ここに書かれている言葉が自分の改心の程度を調べるための良い尺度になっているかどうか考えましょう。さらに主に改心するために行おうと思うことを、聖典学習帳に書いてください。

アルマ 24 章

アンタイ・ニーファイ・リーハイ人、二度と武器を取らないと聖約する

アルマ 24:3 の記録によると、レーマン人の王は、死ぬ直前に王位を息子に譲り、その息子をアンタイ・ニーファイ・リーハイと名付けました。アルマ 24:1-5 を読み、それから間もなくどんな問題が起こってアンモンと彼の同僚たちが王と協議したのか調べましょう。改心していないレーマン人たちがアンタイ・ニーファイ・リーハイ人に向かって攻めてくることが分かると、義にかなった民は防衛の準備をしないことに決めました（アルマ 24:6 参照）。アルマ 24:7-14 を読み、アンタイ・ニーファイ・リーハイ人がなぜこのような決定をしたのか調べてください。



5. 悔い改めたときに罪を捨てるということがどういう意味を持つかについてアンタイ・ニーファイ・リーハイ人から学べることを、聖典学習帳に書いてください。



アルマ 24:15 - 18 を読み、真に悔い改めたことを主に示すためにアンタイ・ニーファイ・リーハイ人がどんなことをしたと書いてあるか、探してください。この民はなぜ、自分たちの剣やその他の武器を地中深く埋めたのでしょうか。(アルマ 24:17 - 18 参照)



わたしたちも罪を悔い改めたときに、その罪を二度と犯さないと決心しなければなりません。スペンサー・W・キンボール大管長は、罪を捨てることは悔い改めの重要な側面だと教えています。「罪を捨てるに当たって、状況が改善するのを漫然と待っているではありません。そのような状況を作らなければなりません。……罪を捨てただけでなく、罪を取り巻く状況を変えていなければなりません。罪を犯した場所や状況、環境を避けなければなりません。再び罪を犯しやすいからです。罪を犯したときにかかわった人々との交わりを絶たなければなりません。かかわった人を憎んではいけませんが、それらの人と、罪に関係のあるすべてのものを避けなければなりません。……新しい人生を築かなければなりません。昔の記憶を呼び起こすものはすべて排除しなければなりません。」(『救しの奇跡』, 171 - 172)

アルマ 24:10 - 12 の中で、アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が悔い改めていることを示している語句と、彼らの罪を神が赦しておられることを示す語句に印を付けてください。この節の余白に、次の原則を書きます。「できることをすべて行って悔い改めるならば、神はわたしたちの罪悪感を取り去り、清さを保てるように助けてくださる。」アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が武器を地中に埋めた話を参照してください。現代でも、わたしたちは罪を「埋める」必要があります。それは、悔い改めるために最善を尽くしていることを主に示すためであり、同じ罪を二度と犯さないようにするためです。



6. 以下に挙げる状況におかれた人が、同じ罪を二度と犯さないようにするためにはどうしたらよいと考えてください。それぞれの状況に陥った人に対するあなたからのアドバイスを、聖典学習帳に書きましょう。

- a. 友達と一緒に映画を見に行こうと誘われて映画に行ったところ、わいせつな場面を見ることになってしまった。
- b. 何人かで夜に外出したときに、こっさり知恵の言葉を破ってしまった。
- c. 終わったテストの回答を、これから同じテストを受ける友達に見せている人がいた。

次の質問についてよく考えてください。罪を悔い改めた場合、その罪を犯す誘惑に二度と屈することがないようにするために、あなたは生活の中の何を「埋める」必要があるのでしょうか。

アルマ 24:19 - 22 を読み、レーマン人が攻めて来たときにアンタイ・ニーファイ・リーハイ人が何をしたか見てください。この人たちは、主と交わした約束を破るよりはむしろ喜んで死ぬことを選んで、主に帰依していることを示しまし

た。彼らは自分の命を完全に主にささげており、死に至るまで完全に主に忠実だったのです。

主に命をささげるについて教えているエズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読みましょう。



「キリストのゆえに改心を経験した人は、キリストを指導者と仰ぎます。(使徒 9:6) ……

彼らの思いは神の御心^{みこころ}にかなったものとなり(ヨハネ 5:30 参照)。

絶えず主に喜ばれる事柄を行うようになります。(ヨハネ 8:29 参照)

彼らは、主のために進んで命をささげようとするだけではなく、それ以上に大切なこと、主のために生きることを望みます。

彼らの家に足を踏み入れれば、壁にかけてある絵、棚に置かれた本、流れている音楽、彼らの言葉そして行いから、彼らがクリスチャンであることが分かります。

彼らはいつでも、どのようなことについても、どのような所にいても、神の証人になります。(モーサヤ 18:9 参照)

彼らはキリストを思い起こし、あらゆる思いの中でキリストを仰ぎ見ます。(教義と聖約 6:36 参照)

彼らはキリストを念頭に置いて心の愛情をとこしえにキリストに向けます。(アルマ 37:36 参照) (『神によって生まれる』『聖徒の道』1986年1月号, 6)



7. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。今週あなたは、自分の生活をことごとく主にささげていることを示すような行いをしましたか。それはどんな行いでしたか。

アルマ 24:23 - 27 を読んでください。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が戦おうとしなかったことに対してレーマン人の取った行動が書かれています。この聖句を読んで、次の原則を教えている語句を見つけてください。「わたしたちは主に忠実になることによって、ほかの人々が改心するのを助けることができる。」あなたが主に忠実になる決心をすると、具体的に家族または友達の中のだれにどんな影響が及ぶことになるか、考えてください。



8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、アルマ 23 - 24 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

アルマ 25 – 29 章

はじめに

何年も福音を宣べ伝えた後、アンモンは主をたたえ、主の手に使われる者となってレーマン人に福音を伝えることができた祝福について感謝を述べました。多くのレーマン人が主を信じるようになり、自分たちをアンタイ・ニーファイ・リーハイ人と呼ぶようになりました。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が戦いの武器を二度と手にしないという聖約を神と交わした後に、アマレカイ人とレーマン人は、彼らを攻める準備を始めたのです。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人は主と交わした聖約を破らなくても済むようにするために、彼らを保護するというニーファイ人からの申し出を受け入れました。ニーファイ人の預言者アルマは、福音を宣べ伝え、イエス・キリストのもとに人を導く喜びについて語りました。

アルマ 25 章

アビナダイの預言は成就し、多くのレーマン人が改心する

イエス・キリストの福音にさらに改心して変化を遂げた経験について考えてください。アルマ 25 章ではノアの祭司の子孫は追いまわされて殺されるというアビナダイの預言が成就したことが語られ、主が預言者を助け、靈感を受けて語る預言者の言葉を成就されることが示されます（アルマ 25：9 参照）。またこの章では、多くのレーマン人がアンタイ・ニーファイ・リーハイ人に加わったことも語られます。アルマ 25：14 を読み、これらのレーマン人が、福音に改心して何を行ったか調べましょう。アルマ 25：15 からは、彼らがモーセの律法を守った二つの理由が分かります。

アルマ 26 章

アンモン、レーマン人とモーサヤの息子たちに及んだ主の憐れみを喜ぶ

教会の建物を建てるためには何が必要ですか。熟練した職人は、適切な道具と器具を使ってどんな教会を建てるができることができるでしょうか。アルマ 26 章でアンモンは、自分と彼の同僚たちのことを、偉大な業を行うために神の御手に使われる者であると表現しました。アルマ 26：1 – 5、12 – 13 を読み、アンモンと彼の同僚たちを使って主は何を成し遂げられたか調べてください。（答えを見つけたら、聖句のその箇所に印を付けておくといでしょう。）5 節にある「刈り入れ〔る〕」という言葉は一生懸命に働くという意味であり、「束」は改宗者、「倉」は教会を表しています。そして、集められた束が「無駄にならないように」という言葉は、神が改宗者を守り、彼らに永遠の命をお与えになることを言っています。



アルマ 26：12 を読んで、アンモンが、自分は主の御手に使われる者に過ぎず、自分の伝道中に起こった奇跡は主がなされたということを理解していたことを示す言葉を一つまたはそれ以上見つけてください。その言葉に印を付けても結構です。

この聖句から次の原則が分かります。「わたしたちが準備してへりくだるとき、主はわたしたちを強め、主の手に使われる者としてわたしたちを使ってください。」これと並ぶもう一つの原則もアルマ 26 章から学ぶことができます。それは、「主と主の子供たちに忠実に仕えるとき、わたしたちは喜びを味わう」という原則です。アルマ 26：11、13、16 を読み、「喜び」「喜ぼう」という言葉が出て来る度にそれに印を付けてください。

アルマ 26：13 – 16 を読み、アンモンが喜んだ理由を探してください。



1. 主の奉仕の業に携わるときに喜びを味わうのはなぜだと思うか、聖典学習帳に書いてください。または、教会の奉仕をして喜びを覚えたときのことを書いてもよいでしょう。

以下に挙げる聖句を読み、それぞれの質問の答えを考えてください。

アルマ 26：22 – 23、26 – 29。神の奥義を知るための条件に注目してください。ここに書かれている条件を満たす宣教師には、どんなことが約束されていますか。アンモンと彼の同僚たちは、主とレーマン人に仕えるときにどんな障害に出遭いましたか。その障害の中に、現代の主仕える人たちがぶつかる障害と似たようなものはありますか。それはどの障害ですか。現代の宣教師は、福音を教えるべき場所について、アルマ 26：29 からどんなことを学ぶことができるでしょうか。

アルマ 26：30。モーサヤの息子たちは何が励みとなって、つらいときでも伝道続けることができたのでしょうか。



2. アルマ 26 : 35 – 37 を読み、以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- この聖句は神のすばらしさについて教えています。あなたはの中のどの真理に喜びを感じますか。(真理を述べている言葉に印を付けておくとよいでしょう。)
- 神が自分のことを心にかけられることを知ると、あなたの生活はどのように変わりますか。

アルマ 27 章

アンモン、アンタイ・ニーファイ・リーハイの民を導き、ニーファイ人の中で安全に過ごせるようにする

アルマ 27 章の研究の準備をする際に、以下の質問の答えを考えてください。

- あなたはかつてだれかと約束して、その約束を破ったことがありますか。
- あなたと約束したことを必ず守ってくれる人はいますか。
- 約束を守る人々についてどのように感じますか。それはなぜですか。

レーマン人はニーファイ人を滅ぼそうとして失敗した後、アンモンとその同僚たちによって改心したこれらのレーマン人たち(アンタイ・ニーファイ・リーハイ人)を滅ぼそうとしました。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が、二度と人殺しをしないという聖約を守ることを示すために戦いの武器を地中に埋めてしまったことを思い出してください。この決意がいかに固いものだったかを確認するために、アルマ 27 : 2 – 3 を読んでください。



アンタイ・ニーファイ・リーハイ人は、攻撃されているときにも自分たちが交わした聖約を大切に守りました。その決意の固さを想像してみてください。天の御父と交わした聖約を守ることが難しいと思われるとき、どうしたら聖約を守る決意を貫くことができるか、考えてください。

邪悪なレーマン人から迫害され攻撃されたため、アンモンはアンタイ・ニーファイ・リーハイ人をニーファイ人の町ゼラヘムラに連れて行き、ニーファイ人は、彼らを敵の手から守ることを約束しました。自分の周りの人が主と交わした聖

約を守れるようにするために自分には何ができるか、考えてみましょう。

ゼラヘムラに着くと、アンタイ・ニーファイ・リーハイ人は、ニーファイ人から「アンモンの民」と呼ばれるようになりました。アルマ 27 : 27 – 30 を読み、「アンモンの民」がどのような民として知られるようになったと書いてあるか探してください。次の真理を教えている語句があれば、それに印を付けましょう。「わたしたちは主に十分に帰依するとき、主と交わした聖約を守る。」



3. 次の二つの質問のうち、どちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 主と交わした聖約を守ることが難しい場面で聖約を守ったことがありますか。それはどんな時でしたか。
- 主と交わした聖約に忠実で、あなたの模範となってきた人がいますか。それはだれですか。その人は聖約に対する忠実さをどのような形で示してきましたか。

アルマ 28 章

ニーファイ人、
大規模な戦いでレーマン人を打ち負かす



4. あなたがアルマ 28 章に書かれている出来事をレポートする任務を受けたレポーターになったとします。アルマ 28 : 1 – 6, 11 – 14 を読み、起こったことの概略を聖典学習帳に簡単に書いてください。その中に以下の質問の答えが入るようにします。

- アンモンの民が交わした聖約を守れるようにするために、ニーファイ人はどんな代価を払いましたか。(アルマ 28 : 1 – 3 参照)
- この殺戮は、ニーファイ人にどのような影響を与えましたか。(アルマ 28 : 4 – 6 参照)
- 愛する人が亡くなるときに恐れを抱く人もいれば、喜び、望みを抱いた人もいました。それはなぜでしょうか。(アルマ 28 : 11 – 12 参照)

あなたがアルマ 28 : 11 – 12 から学んだ原則を要約して書いてください。 _____

アルマ 28 章が教える原則の一つはこれです。「イエス・キリストと主の約束を信じる信仰があるとき、人々の死に際しても希望と喜びを持つことができる。」



5. 次の二つの質問のうち、どちらかまたは両方の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- イエス・キリストを信じる信仰があるために希望を持って自分の死や愛する者の死に立ち向かっている人を見たことがありますか。あれば、そのときのことを書いてください。
- 愛する者が死んでも希望が持てるようにするために、あなたは死についてどんなふうに説明しますか。

アルマ 28 : 13 – 14 で、モルモンは「以上のことから分かる」という言葉を 3 回使っています。聖典でこの言葉

に印を付けておくといよいでしょう。モーサヤの息子たちのレーマン人への伝道の記述を終えるに当たって、モルモンは結局、何を強調しようとしているのでしょうか。これらの真理を知ることが自分にとって大切なのはなぜか、よく考えてください。

アルマ 29 章

アルマ、人々を神に導くことに誇りを感じる

一人ですばらしく良いことをしたり、世の中の大きな害悪を一人で食い止めたりする力があればいいのにと考えたことはありませんか。アルマ 29 章には、主の御手に使われる者になりたいという願いを語るアルマの言葉が書かれています。アルマ 29:1-3 を読んで、アルマの心の願いを探しましょう。



若者だったときのアルマを思い出しながら、アルマがここで言っているような望みを抱いたのはなぜか考えてください。アルマ 29:3 ではそのように願うことすら罪であるとアルマが感じていたと書かれていることに注目してください。なぜ罪だと感じたのでしょうか。アルマ 29:4-5 を読み、義にかなった願いを持つ者に主が何をお与えになるのか調べましょう。

アルマ 29:10, 14-16 を読んで、人々をキリストのもとに導くことからアルマが受けた報いを探し、それに印を付けてください。この聖句でアルマが「喜び」「喜ぶ」という

言葉を使うたびに、それに印を付けるとよいかもしれません。

アルマ 29 章が教えているのは次の一つ原則です。「ほかの人々が悔い改めてイエス・キリストのもとに来るのを助けるとき、わたしたちは喜びを味わう。」キリストのもとに来られるようにだれかを助けて、喜びを感じたことはありませんか。それはどんな経験でしたか。

以下に挙げる人々が、生活の中で改めるべき点を改めてイエス・キリストのもとに来られるよう助けるためにはどんな方法があるか、少し時間を取ってよく考えてください。(a) 自分の友達、(b) 自分の家族、(c) あまりよく知らない人たち。人をイエス・キリストのもとに導く機会を探すときには御霊の導きを求めましょう。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 25-29 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 18 ー 第 2 日

アルマ 30 章

はじめに

レーマン人との大規模な戦闘が終わると、ゼラヘムラの地には平和が訪れました。この平和なときにコリホルという男が現れ、キリストは現れないと説き始めたのです。コリホルの間違った教えを信じた者は、罪を犯すようになりました。教会の指導者は「愚かな言い伝え」を教えているとコリホルは主張して(アルマ 30:27)、教会の教えに反対することを話しました。コリホルが自分のもとに連れて来られると、アルマは万物がキリストを証していると教えました。結局コリホルは、これまでのことは皆、悪魔に指図されてやったのだと告白しました。

アルマ 30:1-29

反キリストのコリホル、キリストの教義をあざける

だれかがあなたのために食事を用意してくれたとします。おいしそうな食事でもいい匂いがします。でも、食べたらひどく具合が悪くなりました。間違った教えは、おいしそうに見えてもひそかに毒が入れてある食事とどこが似ているでしょうか。少し考えてください。

前にあなたは、シーレム（ヤコブ 7 章参照）とニーホル（アルマ 1 章参照）という反キリストについて学びました。「反キリスト」の定義の一つは、「人や事物を問わず真実の福音の救いの計画を装うもの、また公然か否かを問わずキリストに敵対するすべてのもの」です（『聖句ガイド』『反キリスト』scriptures.lds.org）。今日あなたは、キリストの敵であってその間違った教えによって人を欺き、人に罪を犯させたもう一人の男について学びます。現代の世の中には、神を信じていると言う人に向かって、コリホルと同じような言い方をする人がたくさんいます。

コリホルはニーファイ人の中で教えを説き始めました。アルマ 30：6、12 を読み、コリホルが反キリストであることを示す言葉を探してください。

アルマ 30：12－18 を読み、それぞれの聖句に書かれている間違った教えを右の欄から選び、その記号を各聖句の前に書いてください。

反キリストであるコリホルの偽りの教え	間違った教えの解釈または意味
___ 1. アルマ 30：13－14	A. 宗教的真理に物的証拠がないかぎり、イエス・キリストもその教えも信じてはならない。聖霊を介した個人の啓示などというものはない。
___ 2. アルマ 30：15	B. 罪などというものはない。何が正しく何が間違っているという普遍的な基準はない。
___ 3. アルマ 30：16	C. 人は自分の努力によってのみ栄える。人が何を行おうと神は必要ない。
___ 4. アルマ 30：17（人は皆……善く暮らすも悪く暮らすも……）	D. 預言者の言葉も聖文の言葉も真実ではないので、そのような預言は信じなくてよい。
___ 5. アルマ 30：17（「人がすることはどんなこととも」）	E. 罪の赦しなどというものはない。また贖いなどというものはないのだから、贖いによる助けなど求める必要はない。
___ 6. アルマ 30：18	F. 死後の生活はない。したがって、この世の生涯の後の裁きについて心配する必要はない。

（この組み合わせ問題の解答は、このレッスンの最後にあります。）

アルマ 30：18 では次の原則を教えています。「サタンは罪を犯すようにわたしたちを誘うために偽りの教えを使う。」

十二使徒定員会のボイド・K・バッカー会長は次のように教えている。



「わたしたちの行動は、すべてが本能的な衝動に支配されているとはかぎりません。信念に基づいて行動することもあるのです。」

信念は人生観や教義から生まれます。教義は、霊的なものもあれば、世俗的なものもあり、健全なものも破壊的なものも、また、真実なものも偽りのものもあります。……

まことの教えを理解すれば、人の態度や行動は変わります。（『幼き子ら』『聖徒の道』1987 年 1 月号、18）



1. 組み合わせ問題の表から、コリホルの間違った教えを 2 つ以上選んでください。聖典学習帳に正しい教義は何か書き、真理を知っているということは自分の態度や行動にどんな影響を及ぼすか書いてください。

ゼラヘムラの地で成功を取めた後、コリホルはジェルシヨンの地に行ってアンモンの民に説教をします。アルマ 30：19－20 を読み、アンモンの民がコリホルの間違った教えを受け入れたかどうか見てください。

アンモンの民は「多くのニーファイ人よりも賢明であった」ため、「彼をその地から連れ出させ〔まし〕た」（アルマ 30：20－21）。これまでアンモンの民について学んできたことを基に考えると、アンモンの民はなぜコリホルの間違った教えを信じなかったのだと思いますか。

アルマ 30：21－29 には、そこでコリホルはギデオンの地に行ったと書かれています。「しかし、ここでもあまり成果は上が〔りませんでした〕」（アルマ 30：21）。キリストとその教えに反対するコリホルの論理の幾つかがアルマ 30：24、27 に書かれています。その中には、（1）神を信じる者は束縛されている（2）宗教は自由を取り上げる、という二つの教えがあります。

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長は、人は神を信じて自由になると教えています。「コリホルの論拠は、世の初めから人が用いてきた偽りの論理でした。神の僕々の勧告を受け入れれば、神から受けた自立の特権が奪われてしまうということです。しかし、この論理は偽りです。現実を誤って解釈しているからです。神から来る勧告を拒んだとしても、外部からの影響力から解放されるわけではありません。別の影響力の方を選んでいるのです。それどころか、わたしたちに永遠の命を受け、御自身の持てるものをすべて与え、主の愛の御手に導くことを目的としておられる、完全な愛と全知全能の天の御父とその愛する御子の守りを拒むことになるのです。主の勧告を拒むというのは、別の力から影響を受けるのを選ぶことです。それは、わたしたちを悲惨な状態にすることを目的とする、憎しみの力です。わたしたちには神からの賜物である選択の自由が与えられています。しかしこの選択の自由は、すべての影響力

から解放される権利ではありません。いかなる力であれわたしたちが選択したものに従うという、何ものにも侵されない権利なのです。」(『助言の中に安全を見いだす』『聖徒の道』1997年7月号, 29 参照)



2. コリホルが教えているような間違っただけの教義を信じることをしないようにするために、あなたなら何をしよう人に勧めますか。聖典学習帳に書いてください。

アルマ 30:30 – 60

コリホル、アルマにしるしを求め、神の力に打たれて物が言えなくなる

結局コリホルは、アルマの前に連れて来られました。アルマ 30:30 – 31 を読み、コリホルがアルマと教会のその他の指導者に対して行った非難を探してください。「民の労苦によって飽きるほど食べる」とは、アルマを始めとする指導者たちが教会での奉仕によって富を蓄えたことを意味しています。以下の質問の答えを考えてください。

- これまで見てきた教会の指導者のことを思い出してみると、この非難は的外れだとあなたは思うのではないのでしょうか。それはなぜですか。
- あなたがアルマだったとしたら、コリホルの非難に対してどう答えますか。

アルマ 30:32 – 35 を読んでください。これは、コリホルに対するアルマの返答です。これまであなたが見てきた自分のワードや支部の指導者、尊敬するその他の教会員がアルマの言った通りの生活をしているかどうか、考えてみましょう。

可能であれば友達や家族に頼んで、アルマ 30:37 – 45 を自分と一緒に読んでもらってください。そのうちの一人がアルマのセリフ、もう一人がコリホルのセリフを読みます。二人で読みながら、神が存在することの証拠としてアルマがどんなことを挙げているか探してください。(だれかと一緒に読むことができない場合は、自分で読みながら、この二人がやり取りしている様子を想像してください。)



3. 聖典学習帳で以下の課題を行ってください。

a. アルマが挙げた証拠の中から、自分にとって神の存在の証拠として特に大切だと思うものを一つ書き出してください。なぜそれが、神が存在することの強力な証拠なのかを書いてください。

b. 自分が見てきたものの中から、「神がましますことを示している」証拠を少なくともほかに 3 つ挙げて (アルマ 30:40)、それぞれの証拠がなぜ神に対する自分の信仰を強固にするのかを書いてください。

あなたが研究した聖句にある教義の一つはこれです。「万物は至高全権の創造主である神について証している。」このような証拠や証を探してそれに頼るようにするとあなたの信仰はどうなるでしょうか。考えてください。

コリホルとのやり取りで預言者アルマが何をしたかに注目してください。アルマは間違っただけの教義を訂正し (アルマ 30:32 – 35 参照)、真理を証し (アルマ 30:37 – 39 参照)、証拠に目を向ける責任をコリホルにゆだね (アルマ 30:40 – 42 参照)、神が存在することの証拠を挙げたのです (アルマ 30:44 参照)。真理を否定しようとする人に対するアルマの模範的な対応から、あなたは何を学ぶことができますか。



時には、わたしたちの信仰を擁護する方法が真理を証すること以外にない場合があります。この方法を取るに当たって戸惑う必要はまったくありません。神の預言者アルマは、コリホルに対してこの方法を取りました。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が説明しているように、「コリホルの論理は非常に現代的だという印象を現代の読者に与えるようですが、これに対してアルマは、時代を越えた紛れもない究極の武器、つまり個人の証の力を使ったのです。」(Christ and the New Covenant [1997 年] 121)



神が存在することをコリホルに証明するために、アルマが証拠やしるしを数多く挙げたにもかかわらず、コリホルは別のしるしを示すよう求めて、物が言えなくなりました (しゃべれなくなったという意味。アルマ 30:45 – 50 参照)。アルマ 30:51 – 53 を読み、コリホルがなぜ間違っただけの教義を説いたと書いてあるか探してください。

コリホルは間違っただけの教義を説くことができなくなると、間違っただけの教義を説いたのは「肉の思いに快い」からだったことを認めました (アルマ 30:53)。「肉の思い」を抱くとは、この世的な快楽や肉体の欲望の満足を追い求めることを言っています。コリホルの教義を信じた人たちはこの世的な喜びにひたり、物欲に身を任せても何の悪いこともないと考えました。このような考え方をしていると、罪深い生活に陥ってしまいます (アルマ 30:18 参照)。

アルマ 30:54 – 59 には、コリホルが追い出されて食べ物乞うて家々を巡るようになり、最後には踏みつけられて死んでしまったことが書かれています。アルマ 30:60 を読み、サタンに従う者が最終的な行く末に関する重要な真理

を探してください。自分の聖典で、次の言葉に印を付けてください。「悪魔は終わりの日には自分の子ら〔彼に従う者たち〕を助けようと〔しない〕」（この節の「子ら」は、従う者という意味です。）



4. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. アルマ 30：60 で印を付けた真理は、コリホルの人生にどんな形で表れていますか。

b. アルマ 30：60 をアルマ 36：3 と比較してください。これまでにあなたは、御自分に従う者を神が引き続きお助けになることが分かるような経験をしたことがありますか。または、そのような出来事がだれかに起こるのを見たことがありますか。それはどんな出来事でしたか。

今日学んだ正しい原則と教義を復習しましょう。コリホルが教えたような間違った教えに欺かれないようにするために何ができるか、考えてください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 30 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

組み合わせ問題の解答。（1）－ D、（2）－ A、（3）－ E、（4）－ C、（5）－ B、（6）－ F

単元 18 — 第 3 日

アルマ 31 章

はじめに

アルマは、ゾーラム人と呼ばれたニーファイ人の離反者の集団が福音の真理から離れていることを知ります。アルマはこの邪悪な行為の知らせを悲しく思い、ゾーラム人に神の言葉を教えるためにほかの人たちを伴って出かけました。彼らは背教している礼拝方法とゾーラム人の高慢を目にしました。アルマは、自分と同僚たちが心に慰めを得てゾーラム人を主に立ち返らせることができるようにと熱心に祈りました。

アルマ 31：1－7

アルマと同僚たち、背教したゾーラム人に神の言葉を宣べ伝える

福音に従う生活から外れ始めた人や、ひたむきに福音に従って生活しようと努力していない人が友達または家族の中にいると仮定して、以下の質問に答えてください。

- その人が教会に立ち返って戒めを守りたいと思うようになるために、あなたは何かができるでしょうか。
- その人の問題と誤解を説くために、だれに援助を求めることができるでしょうか。

このレッスンでは、アルマと同僚が福音の真理から離れた民を助けようとした方法に焦点を当てます。アルマ 31：1－2 を読んでください。ゾーラム人がしていることを聞いてアルマはどう感じたでしょうか。_____

アルマ 31：3－4 を読み、ゾーラム人の行動にニーファイ人が脅威を感じるようになった理由を見つけてください。

モルモン書の研究で学んだことを考えると、ゾーラム人が悔い改めて福音の真理に戻るよう導くために、どうすればよいと思いますか。アルマ 31：5 を読み、アルマが知っていたゾーラム人を救出する最も効果的な方法は何であるか探してください。



1. 人々が変わるのを助けるうえで、神の言葉には、強制力やその他の方法以上の影響力があるのは、なぜだと思うか聖典学習帳に書いてください。

神の言葉の力について語った十二使徒定員会のボイド・K・バッカー会長の以下の言葉について、よく考えてください。

「真実の教義を理解すれば、人の態度や行動は変わります。



福音の教義を研究することは、人の行動を研究することよりも、ずっと速やかに行動を改善する力があります。ふさわしくない行動についてばかり考えていると、実際にそのような行動をするようになります。だからこそ、わたしたちは福音の教えを勉強するようにと強く勧めるのです。」（「幼き子ら」『聖徒の道』1987 年 1 月号、18－19）

アルマ 31：5 とバッカー長老の言葉を読んで、次の文を完成させてください。「神の言葉を学ぶと、_____ように導かれる。」

ほかにも正しい答えがあると思いますが、次のような文が考えられるでしょう。「神の言葉を学ぶと、正しいことを行うように導かれる。」



2. これまで聖文を読んだり神の言葉を聞いたりしてきたことについてよく考えてください。神の言葉のおかげであなたや家族、友達が正しいことを行うようになったことがありますか。あれば、そのときのことを書いてください。

アルマ 31：8－23

ゾーラム人、正しくない方法で祈り、礼拝する

アルマとその他 7 人の同僚たちは、ゾーラム人に神の言葉を宣べ伝えるに行きました。かの地に着くと、彼らはゾーラ

ム人が驚くべき方法で神を礼拝している様子を目にしたのです。礼拝という言葉から、あなたは何を想像しますか。

礼拝とは、神を愛し、敬い、神のために献身することを表現することです。礼拝にはよく、祈りや断食、教会の集会に出席することなどが含まれます。ただし、真の礼拝には、必ず心が伴います。アルマ 31:8-11 を読み、ゾーラム人の礼拝の仕方を説明している語句を見つけて、それに印を付けてください。

「教会の決まり」とは(アルマ 31:10)、当時モーセの律法で定められていた犠牲とか、現代の聖餐などの「儀式」に関連した事柄だと分かったら、理解しやすくなるかもしれません。アルマ 31:10 で、毎日礼拝し、祈らなければならない理由の一つに印を付けておくとよいでしょう。



自分の聖典のアルマ 31:9-11 の横の余白にこの原則を書いてもよいでしょう。「日々、祈り、戒めを守るように努めると、誘惑に抗する力が強くなる。」

ルロン・G・クレブーン長老は七十人定員会会員として奉仕していたとき、毎日の個人的な礼拝は誘惑や誤りから自分を守るために大切だと力説しました。「この数年間、時折幹部の兄弟たちの要請を受けて、悔い改めた教会員たちが神殿の祝福を回復するための面接を行ってきました。悔い改めたこのすばらしい人たちの祝福を回復させることは、いつでも霊的に感動させられる経験です。そんな何人かの人たちに、『一体あなたの人生にどんなことがあって、一時的に教会員の資格を失うことになったのですか』と質問してみました。目にいっぱい涙をためて、彼らは一様にこう答えました。『祈りや、定期的に教会に集うことや、教会での奉仕、福音の勉強など、福音の基本的な原則に従わなかったからです。やがて、わたしは誘惑に負け、聖霊の導きを失ってしまったのです。』」(『誘惑』『聖徒の道』1996 年 7 月号, 87)

このクレブーン長老の言葉は、アルマ 31:9-11 に書かれている真理をどんな点で裏付けていますか。

アルマ 31:12-23 を読み、塔の上から祈るゾーラム人の祈りを聞いたらどんな気持ちになるか、想像してみてください。以下の質問の答えを考えてください。

- ある人がこの方法で祈っているのを聞いたとき、あなたは何を心配しますか。
- ザーラム人は祈りの中でどのような偽りの教義を述べているでしょうか。
- 彼らはほかの人々にどのような態度を示しましたか。(ゾーラム人の祈りの中に「わたしたちは」とか「わたしたちを」という言葉がどのくらい頻繁に使われているかに注目してください。)

各人が同じ祈りをすると、「各々の家に帰ったが、その後は、再びその方法で感謝をささげるためにその聖台に集まるまで、神のことをまったく口にしなかった。」のです。(アルマ 31:23)



3. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 礼拝や祈り、神について話すことを週に 1 度しかない、どうなる危険があるでしょうか。
- b. 1 週間を通していつも神を礼拝できるようにするにはどうしたらよいでしょうか。

礼拝するときの態度も大切です。わたしたちの態度が礼拝にどんな影響を及ぼすか、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老が話しています。以下の言葉を読んでください。

「礼拝にはしばしば行いが含まれますが、真の礼拝にはいつも、精神面における特別な態度が伴います。



礼拝の態度は、最も深い忠誠心と敬愛と畏敬の念を呼び起こします。礼拝するとき、愛と敬虔さが結び合わさり、その状態がわたしたちの霊を神に近づけてくれるのです。」(Pure in Heart [1988 年], 125)



4. あなたは次の分野で、それに対する態度も含めて、礼拝がどのくらいできていると思うか、聖典学習帳に書いてください。(a) 毎日の個人の祈り、(b) 毎日の個人の聖文研究、(c) 戒めへの従順、(d) 毎週の教会への出席と聖餐。個人的な日々の礼拝を改善するために目標を設定しましょう。また、親や指導者、友達にその目標を話して、毎週、彼らから励ましが受けられるようにしてもよいでしょう。

アルマ 31:24-38

アルマ、宣教師たちがゾーラム人を主に立ち返らせることができるよう、力と成功を祈り求める

アルマはゾーラム人が神の教えからかけ離れた礼拝をしているのを見た後、主に祈ります。アルマ 31:30-35 を

読み、アルマの祈りはゾーラム人の祈りとどこが違うか調べてください。

 5. アルマの祈りとゾーラム人の祈りを比較して、祈りの仕方について分かったことを聖典学習帳に書いてください。また、アルマの義にかなった祈りの模範から、自分の祈り方をどう変えることができるかも書きましょう。

アルマ 31:36 - 38 を読み、アルマと同僚たちが神権の祝福を受けて福音を宣べ伝えたときに受けた祝福を探してください。「ともにいたすべての人に手を置いた」とは神権の祝福を授けたことだということに注意しましょう（アルマ 31:36）。

アルマと同僚たちの話から、次の原則を学ぶことができます。「わたしたちが信仰をもって祈り、行動するならば、主は試練の中であってわたしたちを強めてくださる。」



アルマが祈ってから、アルマと同僚たちは自分たちの信仰を示すために、主と主の子供たちに仕えるなら主が助けてくださると信頼しながら、伝道に出て行きました。信仰をもって祈ったアルマの模範に従える点を探してください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 31 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 18 — 第 4 日

アルマ 32 章

はじめに

アルマと同僚たちは、ゾーラム人の誤った礼拝の方法を目撃した後、ゾーラム人に神の言葉を宣べ伝えます。彼らの伝道は、貧しく、会堂から追い出された人々の中で幾らか成功し始めました。アルマは種を植えてそれに養いを与えるたとえを使い、神の言葉を受け入れて信仰を育てるにはどうすればよいかを教えました。アルマは彼らに（わたしたちにも）、御言葉を試し、日々信仰と証を育てるように勧めています。

アルマ 32:1 - 16

アルマ、貧しいために謙遜（けんそん）になっているゾーラム人たちを教える

 1. 教会が真実かどうかはどうすれば分かるのか、と友達から聞かれたとします。証を得る方法を聖典学習帳に書いてください。次に、その学習帳の次の行に「証を得て証を強める方法」と書きます。アルマ 32 章を学習しながら、証を得て証を強める方法が分かったら、その度にそれをこの見出しの下に書いてください。このレッスンを通してこの作業を続けます。ですから、聖典学習帳ではこの課題 1 と課題 2 の間を、ある程度開けておくとよいでしょう。

前のレッスン（アルマ 31 章）では、アルマと同僚たちが、真理から迷い出た 1 群のニーファイ人であるゾーラム人が誤った礼拝をしているのを目にした話を読みました。アルマが信仰を込めて祈った後、アルマと同僚たちはこの人々の中で福音を宣べ伝え始めました。アルマ 32:1 - 3 を読み、この宣教師たちの言葉に耳を傾けたのは、ゾーラム人の中のどのような人たちだったと書いてあるか探してください。

アルマ 32:4 - 6 を読み、彼らの貧しさが祝福となった理由を見つけましょう。

この節で説明されているのは、次の原則です。「謙遜さは神の言葉を受け入れる備えとなる。」聖典学習帳の「証を得て証を強める方法」という見出しの下に「謙遜になる」と書いてください。

 2. 証を得て、証を強めるために謙遜になることが不可欠なのはなぜだと思うか、聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 32:13 - 16 を読み、人が謙遜になる理由を幾つか探してください。あなたは自ら進んで謙遜になりたいですか。それとも、やむを得ず謙遜になりますか。アルマの教えに基づいて考えてください。

「御言葉のために」自らへりくだるとは、どういう意味か、考えてください(アルマ 32:14)。これは、教会の活動やセミナー、家庭の夕べでの自分の態度にどのように応用できるでしょうか。

謙遜になることについてこれまで促しを受けたことがあれば、それを実行して、謙遜になってください。

アルマ 32:17-43

アルマ、ゾーラム人に信仰を増す方法を教える

ゾーラム人を教えていて、アルマは証を得ることについて多くの人が抱いている誤った考えを指摘しました。アルマ 32:17-18 を読み、この誤った考えを見つけてください。

しるしを期待する気持ちがあると信仰や証が育ちにくくなることについて少し考えてみましょう。(自分の聖典のアルマ 32:17-18 の横に教義と聖約 63:9-11 と書き、参考のために読むとよいでしょう。)

マスター聖句のアルマ 32:21 を読み、アルマは何が信仰で何が信仰ではないと定義しているか、調べてください(後で見つけることができるように特別な印を付けておくといよいでしょう)。

アルマ 32:22 を読んでください。信仰を育て、個人の証をはぐくむために自分には何ができるか、よく考えましょう。

「神の慈しみを心に留める」と「信じることを選ぶ」を、聖典学習帳の「証を得て証を強める方法」の下に書き加えてください。

アルマは、試してみることによって神の言葉を信じるができるようになることを、そのゾーラム人たちに教えました。科学のクラスかその他の授業で実験をしたときのことを考えてください。実験は、実行する必要があることに注意しましょう。同様に、証を受けたり、それを強くしたりするためには、本人が行動を起こさなければなりません。アルマ 32:27 を読み、アルマが試してみるようにゾーラム人に勧めたことを探してください。

「能力」という言葉が、自分を取り巻く世界を認知し理解するために与えられた力または能力だと分かると、理解しやすくなるかもしれません。これには、聴覚や視覚、触覚、論理的な思考能力、記憶力なども含まれます。

「言葉を試す」を、聖典学習帳の「証を得て証を強める方法」の下に書き加えてください。

アルマ 32:28 を読んでください。読みながら、自分の聖典で「ふくらみ始める」「わたしの心を広げ」「わたしの理解力に光を注ぎ」「良い気持ちを与え始めている」などの言葉に印を付けるとよいかもしれません。十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、人の信仰がどう育って行くかについて、次のように言っています。



「人の信仰は育ちます。低いレベルから高いレベルに向かって少しずつ成長していくのです。恵みに恵みが加わり、遂には少なくともこの世の義人が到達できる程度の完全な信仰を持つに至るまで成長します。そしてわたしたちは永遠の世界に進み、永遠に進歩し続けるのです。……

前途にある課題に取り組んでください。すると、信仰の階段を一つ上ると、前進してさらに1段上に上れるという自信が心に生まれます。このようにして、あなたの力や影響力は、少しずつ増し加わっていくのです。」(Lord, Increase Our Faith, Brigham Young University Speeches of the Year [1967 年 10 月 31 日] 9, 11)



3. アルマ 32:28 を読んだら、以下の課題のうち二つ以上を聖典学習帳で行ってください。

a. この御言葉を試すという実験を行う際に、やるべきこと、やってはならないことがあります。それはそれぞれ何でしょうか(回答例は、このレッスンの最後にあります。)

b. 「心の中に場所を設けて、[神の言葉] をそこに植える」とはどういう意味だと思いますか。

c. あなたはこれまでどのようなときに、神の言葉によってあなたの心が広がり、理解力に光が注がれるという経験をしてきたでしょうか。そのときにどんな気持ちでしたか、自分の言葉で説明してください。

アルマ 32:29-34 を読み、神の言葉を試したときに人が神の言葉について学ぶことを表している語句に印を付けてください。「養いを与える」という言葉は、食物を与える、維持管理する、世話をするという意味です。



アルマ 32:
28



アルマ 32:
30



アルマ 32:
30-34

木を大きく育てることは自分の証を育てることとどんな点が似ているか、少し考えてください。また、神の言葉を試してからも信仰と証が完全なものになっていない人がいるのはなぜかについても考えましょう。福音の証を継続的に得るために、これ以外に何を必要があると思いますか。

アルマ 32:35-40 を読み、この実験を最後まで成し遂げるためには何をしなければならないとアルマが言っているか、よく調べてください。木が生長するため、つまり自分の証が育つためには何をしなければならないか、よく考えてください。また、それをしなかったらどうなるのでしょうか。



アルマ 32 :
37

聖典を閉じて、以下の質問に幾つ答えられるか確認してみましょう。

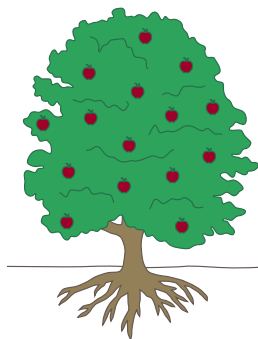
- 神の言葉を信じる信仰を育てて実のなる木にするためには、どんなことをしなければならないでしょうか。
- ここで言っている木の実は何を象徴していますか。
- わたしたちが木に構わず、養い育てないでいると、どのようなことが起こるでしょうか。
- それは、証を育てなかった場合とどこが似ていると思いますか。

必要であれば自分の聖典を開いてアルマ 32 : 35 - 40 を参照しながら答えを考えてください。聖典学習帳の「証を得て証を強める方法」の下に「熱心に養い育てる」と書き加えます。

証を得て証を強めるには何をしなければならないかについてアルマ 32 章で学んだ事柄を一つの文にまとめてください。その原則を、自分の聖典のアルマ 32 : 37 - 43 の近くを書いておくとよいでしょう。

次のような文を書いたのではないのでしょうか。「心の中で神の言葉を熱心に養い育てるならば、イエス・キリストと福音についての信仰と証は増す。」

アルマ 32 : 41 - 43 を読み、忠実に自分の信仰を育てた人に与えられる木の实についてアルマがどう説明しているか確認してください。アルマ 32 : 42 には、熱意と忍耐という言葉が使われています。この木、すなわち自分の信仰を育てるために熱意と忍耐が必要なのはなぜだと思いますか。



アルマ 32 :
41 - 42



4. 聖典学習帳に次の質問のどちらかまたは両方の答えを書いてください。

- アルマがアルマ 32 章で説明している実験を試してみた結果、生活にどのような変化が表れましたか。
- アルマがアルマ 32 章で説明している実験を自分の生活にあてはめると、どうなるでしょうか。

マスター聖句—アルマ 32 : 21



5. アルマ 32 : 21 をもう一度読んでください。この聖句を暗記して、友達または家族の前で暗唱できるようにしましょう。信仰についてこの聖句から学ぶことを 2, 3 行、聖典学習帳に書いてください。

3a の回答例。(a) 心の中に御言葉（あるいは種）を植える場所を設ける、(b) 自分の不信仰によってそれを捨てることをしない、(c) 種が成長していることを認める。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 32 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 19 — 第 1 日

アルマ 33 - 35 章

はじめに

アルマは聖文にある教えを使って、どんな環境にあっても神を礼拝することができるということを多くのゾーラム人が理解できるようにしました。そして、イエス・キリストに頼り、贖いの力を信じるように勧めました。アルマの教えを確認し、イエス・キリストに対する自分の証を付け加えました。アミュレクはイエス・キリストの贖罪を通してのみ人が救われることを強調しました。人は悔い改めに至る信仰を働かせるならばイエス・キリストの贖罪の祝福をすべて受けることができると約束したのです。多くのゾーラム人がアミュレクの警告に耳を傾け、悔い改めてニーファイの民に加わりました。

アルマ 33：1－10

アルマ、会堂の外でも神を礼拝できることをゾーラム人に教える

思い出してください。アルマ 32 章の記録によると、アルマは、神の言葉を心の中に植えて神の言葉を信じる信仰を働かせる必要があることをゾーラム人たちに教えました。アルマ 33：1 を読み、アルマが教えたことについてゾーラム人がどんな疑問を持ったのか調べましょう。



1. ゾーラム人たちには、どのように信仰を働かせるか、という疑問がありました。自分ならその疑問にどう答えるかを、聖典学習帳に書いてください。次にアルマ 33－34 章を学習しながら、自分の書いた答えをアルマとアミュレクがゾーラム人に教えた内容と比べてください。

ゾーラム人は礼拝について間違った考え方をしており、それが信仰を十分に働かせる妨げになっていました。アルマはゾーラム人たちの質問に答えながら、その誤りを訂正します。アルマ 33：2 を読み、どのような間違った考え方をしていたのか調べてください。ゾーラム人は貧しい人たちが会堂に入って礼拝することを許しませんでした。このことを思い出してください（アルマ 32：1－3 参照）。アルマ 33：2 でアルマは、この間違った考えを改めるためには何をすべきだと言っていますか。

礼拝についてゾーラム人が持っている間違った考え方を正すために、アルマはゼノスという預言者の書いた聖文を引用しました。ゼノスは旧約聖書の時代にイスラエルの民に教えを説きましたが、その預言が記録されているのはモルモン書のみです。アルマ 33：3 を読み、礼拝について説明するためにアルマがどんな言葉を用いているか、探してください。

自分の聖典のアルマ 33：3 の近くまたは聖典学習帳に、次の原則を書いてもよいでしょう。「わたしたちは祈りによって絶えず神を礼拝することができる。」

アルマ 33：4－11 を読み、ゼノスが祈った状況を表す語句にすべて印を付けてください。ゼノスが祈る度に、主は何をなさいましたか。これらの聖句を自分の生活に当てはめることができるよう、ゼノスが祈った状況と同じような状況を自分の生活の中から探して線の右側に書いてください。（自分の生活にいちばん合った状況を選んでください。この問題では正解というものはありません。）

ゼノスの状況	自分の状況
荒れ野で	職場
敵について	教会で
畑で	家族の祈り
家で	どうしていいかわからないときや恐れを抱いているとき
自分の部屋	孤独を感じたとき
主の会衆の中で	個人の祈り
追い出されてさげすまれたとき	あらゆる難しい状況にあるとき
苦難に遭っているとき	友達とけんかしたとき



2. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。この表に書かれたすべての状況で祈るならば、生活にどんな祝福が注がれるでしょうか。もっと頻繁に祈れるようにするための個人の目標を書いてください。

アルマ 33：4－5、8－9 の中で神の憐れみについて言っている言葉に印を付けてもよいでしょう。祈る回数を増やすと神の憐れみや愛をさらによく感じられるようになるか、よく考えてください。この憐れみがなぜ受けられると書いてあるか探しながら、アルマ 33 章の学習を進めてください。

アルマ 33：11－23

アルマ、イエス・キリストを信じるようゾーラム人に教える

ゾーラム人の中に神の礼拝の仕方がわからない人がいた理由の一つは、信仰はイエス・キリストに対して持つべきだということが分かっていなかったからです。彼らはイエス・キリストが救いの計画の中で果たす役割を理解しておらず、それを信じていませんでした（アルマ 33：14 参照）。アルマ 33：12－16 を読んでください。ここでアルマは、ゼノスの教えを述べ、次に旧約聖書のもう一人の預言者、ゼノスの言葉を紹介しました。イエス・キリストのおかげで頂ける祝福としてどんなものをアルマが挙げているか探してください。「御子のゆえに」という言葉が出てくる度に、それに印を付けるとよいでしょう。この聖句から次のことが分かります。「イエス・キリストの贖罪のおかげで、わたしたちは罪の赦しなどの天の御父の憐れみを受ける。」天の御父が自分に与えてくださっている憐れみについて、悔い改めたら罪が赦されることを含めてよく考えてください。



アルマはゾーラム人にゼノスとゼノクの教えを話して聞かせただけでなく、モーセが救い主の贖罪について教えたときのことも話しました。モーセとイスラエルの子供たちが荒れ野にいたとき、毒蛇が出て人をかみしました。主は青銅の蛇を作ってさおの上に掛けるようモーセに言い、蛇にかまれたイスラエル人はこの蛇を見るよう命じられました。さおの上の青銅の蛇は、十字架にかけられるイエス・キリストの「予型」、つまり象徴だったのです（アルマ 33：19 参照）。

アルマ 33：19 - 20 を読み、蛇にかまれて青銅の蛇を見たイスラエル人はどうなったか、見なかった人はどうなったか調べてください。

次の質問の答えをよく考えてください。イスラエル人と青銅の蛇の話は、霊的に癒されるために行うべきことについて、何を教えていますか。救い主に目を向けて癒していただけのようにするために、あなたには何ができるでしょうか。



 3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。日々の生活の中でイエス・キリストに目を向けられるようにするためには、具体的に何をすればよいでしょうか。

アルマ 33：22 - 23 を読み、イエス・キリストを信じる信仰を働かせるために、イエス・キリストについて信じる必要のある事柄に印を付けてください。

アルマ 34：1 - 14

アミュレク、ゾーラム人にイエス・キリストの贖罪について教える

アルマ 34 章の記録によると、ゾーラム人に対するアミュレクの証は、イエス・キリストに対するアルマの証に第二の証を付け加えました。アルマ 34：8 - 9 に書かれているアミュレクの証の部分を読んでください。イエス・キリストの贖罪が必要な理由についてアミュレクが教えている箇所印をつけてもよいでしょう。次の質問についてよく考えてください。イエス・キリストが来てその特別な役割を果たしてくださらなかったとしたら、わたしの人生はどうなっていただろうか。

アルマ 34：10 - 14 を読み「無限」という言葉と「永遠」という言葉を含む語句を見つけてください。次の真理を自分の聖典または聖典学習帳に書きましょう。「イエス・キリストの無限にして永遠の贖罪のおかげで全人類の救いが可能になる。」

管理ビショップリックのリチャード・C・エッジリービショップは、次のように教えています。贖罪がなぜ無限にして永遠なのかを理解する助けになるでしょう。「わたしはキリストの贖罪に関する話の中の『無限』と『永遠』という言葉の辞書の定義が好きです。神が意味しておられることを正確に説明していると思うからです『無限—境界や限界がないこと。』『永遠』の定義は、『初めも終りもないこと』です（*The American Heritage Dictionary of the English Language*, 第 4 版〔2000 年〕“infinite,” “eternal,” 898, 611）。」（「あなたの益となる」『リアホナ』2002 年 7 月号, 73 - 74）

 4. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。
a. イエス・キリストの贖罪はどのような点で無限にして永遠だと言えるでしょうか。

b. 贖罪が無限にして永遠であることが分ると、救い主に対する感謝の気持ちは深まりますか。これが分ると救い主を信じる信仰が増すのはなぜでしょうか。

アルマ 34：15－41

アミュレク、贖罪の祝福を受ける方法を教える

アルマ 34：15－17 を読み、アミュレクは、救い主が贖罪を通して与えようとしておられる祝福にあずかるためには何を行わなければならないとゾーラム人に教えたか、見てください。次の真理を自分の聖典または聖典学習帳に書きましょう。「贖罪がもたらす祝福のすべてを受けるために、わたしたちは悔い改めを生じる信仰を働かせなければならない。」

大管長会のディーター・F・ウクトドルフ管長の次の言葉を読んでください。



「悔い改めを可能にするのは、キリストを信じる強い信仰です。……神がすべてを御存じで、愛と憐れみに満ちておられることを信じるなら、救いについて揺らぐことのない信頼を神に置くことができます。キリストに対する信仰は、神の御心に調和しない思いや信念、行為を変えるのです。」

真の悔い改めは正しい行いへ引き戻してくれます。……悔い改めは思いと心の変化を意味します。すなわち、悔い改めるとわたしたちは、間違った行いをやめ、正しい行いを始めます。神と自分自身、生活全体に対する態度を改めるのです。』（「帰還可能点」『リアホナ』2007年5月号、100）



5. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。人は悔い改めるとイエス・キリストを信じる信仰を働かせるようになります。なぜでしょうか。

アルマ 34：17－27 を読み、祈るべき時と祈るべき内容についてアミュレクがどんなことを教えたか書いてあるか探してください。この勧告は、週に1度しか祈ってはいらないと思っていたゾーラム人にとって、どんな点で助けになったと思いますか。あなたにとって特に役立つと思う節を一つ選んでください。どうしたらその節に書かれている祈りの勧めにこれから1週間従えるようになるか考えてみましょう。

アミュレクは、時間を置いて後で悔い改めるのではなく、自分の罪を今すぐ悔い改めることによって救い主の贖罪の祝福を進んで受け入れるべきだと教えています。アルマ 34：30－35 を読み、悔い改めを引き延ばしてはいけない理由に線を引きましょう。31 節では、今すぐ悔い改める人にはどんな祝福が与えられるとアミュレクが言っているか探してください。32 節をよく読んで、次のことを考えてください。この聖句には、自分の日々の生き方にどんな影響を与える力があるだろうか。

ジョセフ・フィールディング・スミスは次のように言っています。アルマ 34：33 をもう一度読んで、このジョセフ・フィールディング・スミスの言葉について考えてください。「福音の原則に当てはめて考えた場合、『引き延ばし』は永遠の命を盗むどろぼうと言えます。永遠の命とは御父と御子のみもとで暮らすことです。多くの人が、教会員でさえ、福音の原則や戒めを今すぐ守る必要はないだろうと感じています。」（Conference Report, 1969 年 4 月, 121）

アルマ 35 章

悔い改めたゾーラム人、義人の中に住む

多くのゾーラム人が、悔い改めの日を引き延ばしてはならないというアミュレクの警告に耳を傾け、悔い改めて生活を変えました。彼らはゾーラム人の指導者から追い出されたため、ジェルシヨンの地に来ました。そしてアンタイ・ニーファイ・リーハイ人とも呼ばれたアンモン^{アンモン}の民に受け入れられたのです（アルマ 35：6－7 参照）。アンモンの民が悔い改めたゾーラム人を受け入れたために、邪悪なゾーラム人とレーマン人は腹を立て、ニーファイ人に向かって戦いの準備を始めました（アルマ 35：8－11 参照）。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 33－35 章を研究し、このレッスンを終えました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 19 — 第 2 日

アルマ 36 章

はじめに

アルマはゾーラム人への伝道から帰ると、3 人の息子を集めて一人一人に勧告を与えました（アルマ 35：16 参照）。ヒラマンへの勧告はアルマ 36－37 章、シブロンへの勧告はアルマ 38 章、コリアントンへの勧告はアルマ 39－42 章にそれぞれ記録されています。神は御自分を信頼する人を救い出してくださいと、アルマはヒラマンに証しました。この真理を説明するためにアルマは、ずっと昔自分が罪の苦しみから解放されたときのことを説明しています。アルマは神の御名を呼び、神から生まれ、喜びに満たされました。その後アルマはほかの人をイエス・キリストのもとに導くために働いたのです。

アルマ 36：1－5

アルマ、神が試練の中でわたしたちを支えてくださると息子ヒラマンに教える

家族や友達、教会の指導者の証や、具体的な教えが自分の生活にどんな祝福を与えてきたか、よく考えてください。

アルマ 36：1－5 を読み、自分がヒラマンの立場で、父の証を聴いていると想像してください。アルマはヒラマンに、何を覚えておきなさいと言っていますか（2 節参照）。アルマは自分から何を学んでほしいとヒラマンに言っているでしょうか（3 節参照）。

自分の聖典のアルマ 36：3 の横に、次の原則を書いてください。「神に頼るならば、神はあらゆる試練や苦難の中でわたしたちを支えてくださる。」自分がこれまでの生活で試練に遭ったときのことを考えてください。そのときに神が自分をどんなふうに助け、支えてくださったかを下の欄に書きましょう。

アルマ 36：6－22

アルマ、自分の背きについて述べ、どのようにして赦しを得たかを説明する

アルマは、神がどのようにして自分を罪の苦しみから解放してくださったかをヒラマンに説明しました。アルマ 36：6－10 を読み、若いころ、アルマとモーサヤの息子たちが教会を滅ぼそうとして歩き回っていたときにアルマに起こった出来事を復習してください。

モルモン書には、アルマとモーサヤの息子たちのもとに天使が訪れた話が 3 回出てきます。アルマ 36 章には、アルマが 3 日 3 晩動くことも話すこともできなかったときのことが最も詳しく書かれています。（そのほかの話はモーサヤ 27 章とアルマ 38 章を参照してください。）アルマ 36：11－16 を読み、天使が現れてからアルマが経験した恐怖または苦しみを表している言葉に印を付けてください。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の以下の言葉を読むと、「責めさいなまれた」という言葉と「苦しみを受け[る]」という言葉の意味が理解できるようになります。





「『責めさいなまれる』とは『拷問にかけられる』という意味です。『責めさいなまれる』を意味する英語の“rack”は昔、拷問用の責め具を意味し、両手首と両足首を回転する軸に縛り付け、次にその軸を回すことにより、耐えられない苦痛を与えるものでした。

『苦しみを受ける』ことを意味する英語の“harrow”は、スパイク状の歯を埋め込んだ農具の一種です。土の上でこの農具を引くと土が削れてえぐられます。聖文では、心と思いが罪惡によって『苦しみを受ける』という場合に、この表現がよく使われています。（『主の御手』『リアホナ』2001年7月号、25）



1. アルマがなぜこのような強烈な言葉でそのときの気持ちを表現したと思うか、聖典学習帳に書いてください。また、罪を犯して悔い改めていない人の罪惡感や苦しみを表現するためになぜこのような言葉が使われたと思うかも、書きましょう。

自分の聖典のアルマ 36：11－16 の近くに次の真理を書いておくとよいでしょう。「罪はひどい苦痛、苦しみ、後悔をもたらす。」

アルマ 36：17－18 を読み、アルマが父親のどんな預言を思い出したと書いてあるか探してください。父から教えられたことを思い出したときにアルマが何をしたかに注目しましょう。

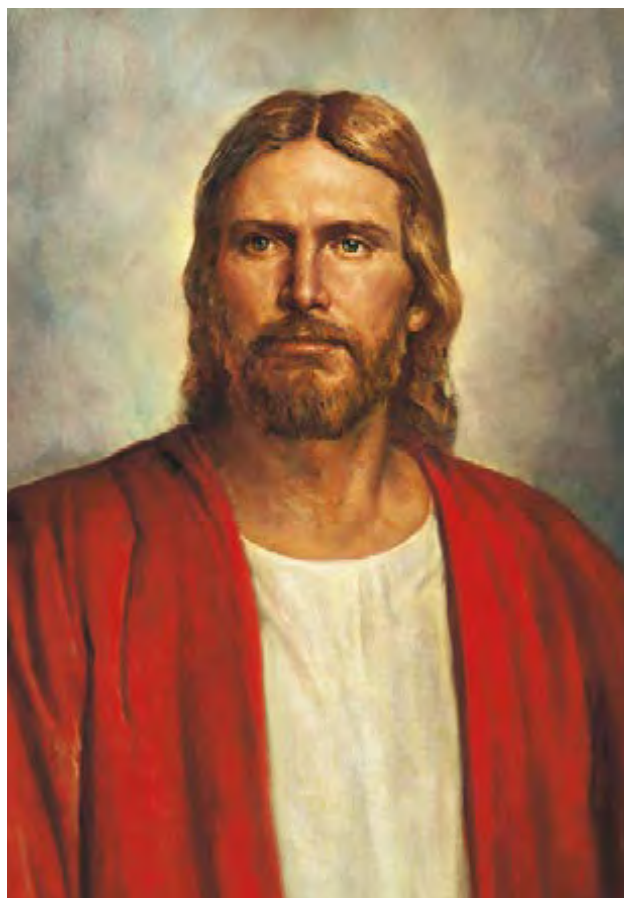
十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、このアルマの経験について次のような考えを述べています。「アルマは父親の教えに影響を受けていましたが、大切なことは、彼が『イエス・キリストは神の御子であり、世の罪を贖うために来られる』（アルマ 36：17）ことに関する預言を思い出したということです。それはすべての人が聞かなければならない名であり、メッセージです。アルマはそれを聞きました。そして燃えるような地獄の苦しみと癒えることのない良心の呵責（かしやく）の中からこう叫んだのです。『おお、神の御子イエスよ、……わたしを憐れ（あわれ）んでください。』……わたしたちがどのような祈りをささげようとも、何が必要であろうとも、すべては『おお、神の御子イエスよ、……わたしを憐れんでください』という嘆願にかかっているのです（アルマ 36：18）。キリストはいつでもその憐れみを与えようとしておられます。キリストはこれを与えるために御自分の命を差し出されたのです。』（*However Long and Hard the Road* [1985 年] 85）



2. 罪の赦しという祝福を含むイエス・キリストの贖罪（しよく）の祝福を受けられるよう祈ったときのことを思い出してください。生活の中で贖いの祝福を主に祈り求めることが大切なのはなぜだと思うか、聖典学習帳に書きましょう。



3. アルマ 36：19－22 を読み、憐れみを祈り求めた後にアルマがどのように変わったかを述べている言葉に印を付けてください。印を付けた言葉の幾つかを聖典学習帳に書き、その言葉から救い主の贖罪についてどんなことが学べるか説明しましょう。



この聖句から、次の原則が分かります。「わたしたちがイエス・キリストとイエス・キリストの贖罪を信じる信仰を働かせれば、主はわたしたちを罪の苦痛から救い出し、わたしたちに喜びを満たしてください。」イエス・キリストを信じる信仰をもっと働かせて、アルマのように自分の罪の苦しみや良心の呵責から解放されるためにどんなことができるか、よく考えてください。

次のような状況を読み、自分ならどのように行動するか考えてください。モルモン書を読んでいたある友人が、アルマ 36：19 に書かれているアルマの言葉が理解できないので教えてくれないうと言っています。あなたはその友人からこう尋ねられます。「自分の罪を思い出して、そのことをまだ後悔しているとしたら、赦しを受けていないということなのだろうか。」

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長の以下の説明を読み、その友達の疑問を解消するヒントになる言葉があれば、それに線を引いてください。

「わたしたち自身は自分の罪を思い起こすことができるので、赦されないとサタンは信じ込ませようとします。サタンは偽り者です。わたしたちの目をくらませ、悔い改めと赦しの道に近寄らせないようにしているのです。神はわたしたちが自分の罪を思い起こさなくなるとは約束されませんでした。記憶は同じ間違いを繰り返すのを避けるのに役立ちます。しかし、もし誠実で忠実であるなら、罪の記憶は時

がたつにつれて和らいでいきます。これは必要とされる癒しと聖めの過程です。アルマは、イエスに憐れみを叫び求めた後も自分の罪を覚えていましたが、赦されたことを知っていたので、もはや罪の記憶に苦しむことがなくなったと証しています（アルマ 36：17－19 参照）。

罪深い記憶に引き戻すものを避けるのはわたしたちの責任です。『打ち砕かれた心と悔いる霊』を持ち続けるとき（3 ニーファイ 12：19）、神が『もう〔わたしたちの罪〕を思い起こさない』ということ信じようになります〔教義と聖約 58：42〕。（「帰還可能点」『リアホナ』2007 年 5 月号, 101）

アルマが自分の罪を二度と思い出すことがなくなったと言わず、「罪の苦痛」を忘れることができ二度と罪を思い出して苦しむことがなくなったと言っていることは大切です（アルマ 36：19）。真に悔い改めると、罪の苦痛や後ろめたさはぬぐい去られます（エノス 1：6－8 参照）。

 4. 聖典学習帳に、ワークドルフ管長の説明を読んで分かったことを基にして、先ほどの友達に対する答えを書いてください。悔い改めると「罪を思い出して苦しむ」ことはなくなりますが、罪を犯したことは覚えています（アルマ 36：19）。それがなぜ祝福だと思うかも、答の中に入れてください。

アルマ 36：23－30

アルマ、人々を悔い改めに導くために絶えず働き続ける理由を説明する

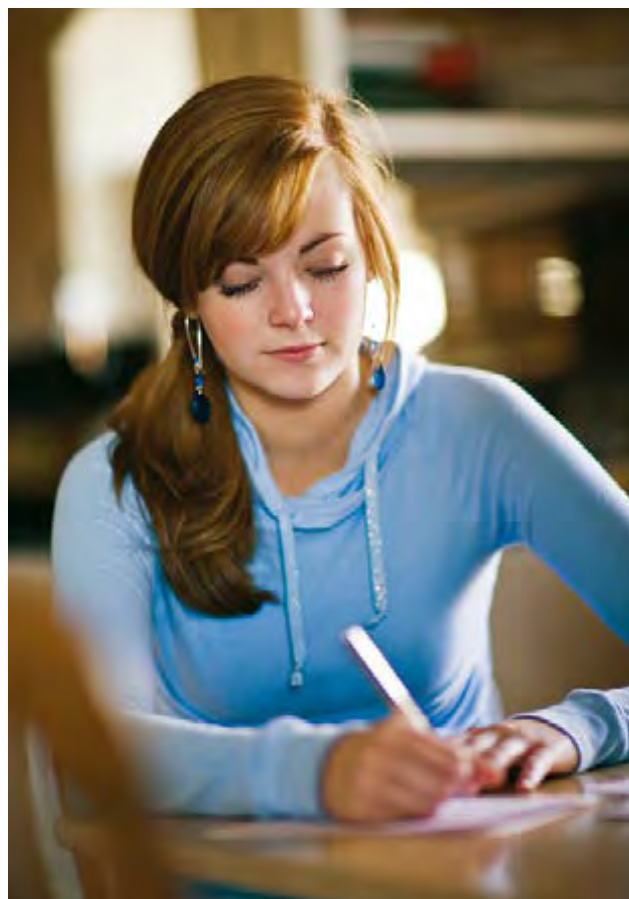
おいしい食べ物を友達と分け合って食べたらどんな気持ちがするでしょうか。あなたはうれしい知らせを受け取ったら、まず何をしますか。たいていの人は、その知らせをだれかに伝えたくて、いても立ってもいられなくなるでしょう。なぜだと思いますか。アルマ 36：23－24 を読み、アルマが改心した後に感じた気持ちがこの気持ちとどんな点で似ているか調べてください。アルマはほかの人たちに何を経験してほしいと思ったのでしょうか。

アルマ 36：25－26 を読み、福音を教えようとするアルマの努力がアルマとほかの人々にどんな影響を与えたか調べてください。福音を伝えることについてこの聖句から学んだことを基に、原則を書いた次の文を完成させましょう。「ほかの人に福音を伝えると、わたしたちは_____

_____を受ける。」

 5. 完成した文を聖典学習帳に書き、この原則が正しいと思う理由を書いてください。ほかの人に福音を伝えたときに感じた喜びを、理由の中に書いておくとよいでしょう。

友達や家族、ワードや支部の会員の中で、救い主と回復された福音に対するあなたの証から益を得られると思われる人について考えてください。イエス・キリストにはわたしたちを苦しみから救い、喜びで満たす力をお持ちだということをその人にどう説明したらよいか、よく考えましょう。その人に手紙を書くか、電子メールを送ってもよいでしょう。又は、メモ書きを渡して、その人と話す時間を特に作れるようにしてもよいかもしれません。



 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、アルマ 36 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

アルマ 37 章

はじめに

アルマ 37 章の記録によると、アルマは息子ヒラマンに勧告を続け、神聖な記録に対する責任を与えました。アルマは聖文がすでに数千人のレーマン人を主のもとに導く手段となっていることをヒラマンに思い起こさせ、また主が将来それらの記録に関してほかの大きな目的を持っておられると預言しました。アルマは人々に教えるべき事柄について息子に指示を与え、救い主の言葉をリアホナにたとえて、イエス・キリストの言葉を指針として頼ることの大切さをヒラマンに教えました。

アルマ 37 章

アルマ、ヒラマンに記録を託し、戒めを守るように勧告し、リアホナは信仰によって働いたことを思い起こさせる

下の図を見て考えてください。



電球のように、世界に革命をもたらした小さな簡単な物を 2, 3 挙げてください。自分たちの生活に画期的な変化をもたらした小さな、簡単なことを考えてみましょう。上の図の右端に、こうした小さなことが自分の生活に大きな影響を与えてきたことを、簡単に書いておいてください。

アルマ 37 章の記録によると、アルマは息子ヒラマンに、神聖な記録の次の保管者になる準備をする心構えを説きました。アルマは主の計画における小さな、簡単なことの役割についてヒラマンに教えました。アルマ 37:6-7 を読み、原則を書いた次の文を完成させましょう。「主は御自分の永遠の目的を達成するために _____ によって業を行われる。」

アルマ 37:1-7 を読み、アルマは何を指して「小さな簡単なこと」と言っているか調べてください。また、アルマ 37:8-10 を読んで、(聖文が刻まれていた) 真鍮の版がモルモン書の民の中でどんな偉大な役割を果たしたと書いてあるかも探しましょう。読みながら、聖文研究を通して自分も受けたことのある祝福があれば、自分の聖典でその祝福に印を付けてください。



1. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。聖文のおかげであなたの生活で偉大なことが起こったことがありますか。あれば、そのような例を二つか三つ書いてください。

アルマ 37:13-16 には、アルマがヒラマンに記録を託したときに与えた勧告が書かれています。この聖句をよく読んで、アルマがどんな原則を教えたか書いてあるか探してください。教えた原則の一つはこれです。「わたしたちが主の戒めに従えば、わたしたちは栄える。」この原則はこのレッスンの最初に出てきた図とどのような関連があるか、よく考えてください。

アルマ 37:35-47 の記録によると、アルマは、主イエス・キリストを信じる信仰を通して悪い行いや誘惑を克服するよう人々に教えなさいとヒラマンに指示しました。このアルマの教えをテーマにしたレッスンの概略を 2 種類、以下に挙げます。それぞれのレッスンとそこに出てくる聖句をよく読んでください。そして、どちらかを選んで家族の一人もしくは全員(家庭の夕べのレッスンの中で行ってもよい)、または一人の友達に教えられるよう、レッスンの準備をしてください。教える相手や場所にに応じて、レッスンに少し変更を加えても構いません。日時を決め、予定した日にレッスンを行ってください。また、レッスンの骨組みを書いた紙を次の家庭学習セミナーのレッスンに持参して、依頼されたらクラスでレッスンできるように準備しておいてください。

レッスン 1—アルマ 37:35-37

木を植えるときには若い苗木を支柱にくくりつけ、木が大きくなったら杭から外します、とレッスンを受けている人に説明してから、次の質問をします。木が若く、成長過程にある間は、支柱という支えが必要です。なぜだと思いますか。

以下のゴードン・B・ヒンクレー大管長の経験談を読みます。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は結婚してから間もなく、家の近くに 1 本の苗木を植えました。その木にあまり注意を払わないまま何年もたちました。ある日、その木が不格好で、西に傾いているのに気づきました。彼はそれをまっすぐに立てようとしたのですが、幹はあまりにも太くなりすぎていました。ロープと滑車を使って木をまっすぐにしようとしたのですが、木はまっすぐになりませんでした。そこで最後に、のこぎりで西側の大きな枝を切り落とし、醜い傷跡を残してしまいました。

「あの木を植えてから、すでに半世紀以上がたちました。今その家には娘とその家族が住んでいます。先日、その木を見てみました。大きくなり、形も良くなっていました。今ではその家にとって貴重な存在となっています。わたしがそ





の木に残した傷はひどいものでした。まっすぐに立て直すためとはいえ、われながら随分手荒なことをしてしまったものです。

最初に植えた時に、ひも1本で動かないようにしておけば、風の力にも耐えて、まっすぐに育っていたことでしょう。ひもを結わえることなど、わずかな手間で行ったことですし、そうすべきだったのです。しかし、わたしはそれをしませんでした。そして木は吹きつける風の力に負けて、傾いてしまったのです。」「(子をその行くべき道に従って教えよ)『聖徒の道』1994年1月号、66)



アルマ 37:35 にあるアルマがヒラマンに与えた勧告を読んでもらい、この節は木についてのヒンクレ大管長の経験とどのように関連があるか、話し合います。(アルマ 37:35 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。)

アルマ 37:35 は結局どんな原則を教えているのか、レッスンを受けている人に要約してもらいます。(次のような原則になると思われます。「わたしたちは神の戒めを守ることが若いうちに学ぶべきである。」)以下のうち一つか二つの質問をするとよいでしょう。

- ・若いうちに神の戒めを守るようになることで、人の生活はどのように違ったものになると思いますか。
- ・あなたは、若いうちから戒めを守ってきてどんな点が良かったと思いますか。
- ・若いときに戒めに従うことを学んだおかげで、生涯にわたって祝福を受けてきた人々について思い浮かべることができますか。その人はどんな祝福を受けていましたか。

アルマ 37:36 - 37 を、だれかに読んでもらい、人が戒めを守るのに助けとなる具体的な勧告を探してもらいます。以下に挙げるような質問をしてください。

- ・日々この勧告に従うことは、戒めを守るのにどのように役立つでしょうか。
- ・思い、行いにおいて主を第一とするために、あなたはどのように努力していますか。その努力をすると、どのように改善できるでしょうか。
- ・よく祈る人にはどんな約束が与えられていますか。

主と相談することが戒めを守るのにどれほど助けとなったかについて、証してください。主と相談しなさいというアルマの言葉に従うよう、レッスンを受けている人に勧めます。

レッスン2 - アルマ 37:38 - 45

主が約束の地への旅に役立つようにとリーハイの家族にお与えになった羅針盤を何と呼ぶか、レッスンを受けている人に尋ねます。次に、アルマ 37:38 をだれかに読んでもらいます。アルマは、主が御自分の子供たちを導かれる方法についてヒラマンに重要な原則を教えるために、リアホナについて語ったことを説明します。

レッスンを受けている人に、以下に挙げる質問に答えてもらいます。聖句を読んで答えを探してもらってください。

- ・アルマ 37:38 - 40 には、リアホナはどのように働いたと書いてありますか。
- ・アルマ 37:41 - 42 から、リアホナが時々働かなかったのは、なぜでしょうか。
- ・アルマ 37:43 - 45 には、リアホナはどのような点でキリストの言葉に似ていると書いてありますか。

「影」や「予型」は(アルマ 37:43, 45)、より大きな概念を象徴するものとして使われるものを指すと説明してください。例えば、リーハイの家族がリアホナの指示に従うかどうかは、わたしたちがキリストの言葉に従うかどうかを象徴しています。リアホナに従うことによってリーハイの家族が約束の地に到着したように、わたしたちもキリストの言葉に従うならば、永遠の命を得るのです。



わたしたちはキリストの言葉をどこで見つけることができるか、だれかに言ってもらいます。(聖典、現代の預言者の言葉、祝福師の祝福、御霊の促しなどの答えが挙げられるでしょう。)

次の質問をします。アルマはリアホナの例を挙げて、どんな原則をヒラマンに教えていますか。(回答は、次の原則のようなものになるでしょう。「わたしたちはイエス・キリストの言葉によく注意を払えば、それによって永遠の命を得る方向に導かれる。」) 主の言葉に耳を傾け、それに従うならば、生活に大きな祝福が注がれることを教師が証するとよいでしょう。



2. 自分が選んで教えることにしたレッスンを研究して分かったことを、聖典学習帳に2, 3行で書いてください。



3. 次の言葉を聖典学習帳に書きましょう。わたしはアルマ 37: _____ (教える節を書く) のレッスンすることに決めました。わたしは, _____ (教えることにした相手の名前を書く) に, _____ (このレッスンを教えることにした日付を書く) に教えます。

マスター聖句—アルマ 37: 35

アルマ 37: 35 に印を付けてください。この聖句を暗記してください。次に、この聖句を親か、あるいは信頼できる成人の前でそれを暗唱します。聞いてくれた人に以下のことを尋ねてください。

- 神の戒めに従うことはあなたにとってどのように助けとなりましたか。
- わたしが若いうちにもっと賢くなるために何か助言を頂けますか。



4. あなたがアルマ 37: 35 について話して相手から学んだことを、聖典学習帳に書きましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 37 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

ム人の中で苦しい迫害の中にあって確固とし忠実であったことを喜びました。またアルマは、人を救い出すイエス・キリストの力についてシブロンに証し、福音を教える働きを続けるようにシブロンに勧告しました。

アルマ 38: 1 – 3

アルマ、シブロンの忠実さに喜びを表す

自分または家族のだれかが良い判断をしたことで親が喜んでくれたときのことや、自分の生き方を見て親が喜んでくれたときのことを、少し考えてみてください。



アルマ 38: 1 – 3 を読み、アルマがシブロンに対して感じていることを表している言葉と、そう感じている理由を探してください。見つけた言葉を書き出しましょう。 _____

この聖句から、次の原則が分かります。「青少年のうちから確固として忠実に戒めを守るとき、親に大きな喜びを与えることができる。」



1. 時間を取って親または後見人、教会の指導者の一人に、良いことを選ぶとどんな影響があるか尋ねてください。どんな答えが返ってきたかを聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 38: 4 – 9

アルマ、人を救い出す救い主の力について証する

アルマはシブロンに、人を救い出す救い主の力をアルマもシブロンも経験したことを思い起こさせました。アルマ 38: 4 – 8 を読み、下の表の空欄を埋めてください。また、アルマ 38: 2 – 3 を読んでシブロンについて分かったことと、モルモン書のほかの章を読んでアルマについて分かったことを考え合わせて、表を完成させましょう。

単元 19 — 第 4 日

アルマ 38 章

はじめに

シブロンは父アルマとともにゾーラム人の間で宣教師として働きました。この伝道の後、アルマは、シブロンがゾーラ

	シブロン (アルマ 38:2-5)	アルマ (アルマ 38:6-8)
彼は何かから救い出されましたか。		
救い出されるといふ祝福をどのような形で受けたのでしょうか。		

シブロンの経験から、次のことを学ぶことができます。「忍耐心と神を信頼する気持ちをもってすべてのことに耐えるなら、神は試練や災難や苦難から救い出し、終わりの日に高く上げてくださる。」また、アルマの経験から、次のことも学ぶことができます。「罪の赦しを受け、霊に安息を得るためには、イエス・キリストを信じる信仰を働かせ、イエス・キリストの憐れみを求めなければならない。」



2. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。
 a. 救い主が人をもろもろの苦難から救い出してくださることについてのシブロンとアルマの話から、何が分かりますか。

b. 前の段落の太字で印刷された原則から一つ選んで、それを生活に応用できる方法を簡単に書いてください。

アルマ 38:9 を読み、アルマがシブロンに学んでほしかったことは何だと書いてあるか探してください。アルマが息子に分かってほしいと思ったことを端的に言っていると思う言葉に印を付けるとよいでしょう。

自分が、救い主の力によって試練や問題や自己嫌悪から救い出されたときのことを考えてください。救われるためにあなたは何をしましたか。現在あなたは試練に遭っていますか。または罪を犯していますか。救い主に頼って救い出していただくためにはどうしたらよいのでしょうか。

3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。自分が救われるためには救い主による以外ほかにどんな「方法や手段」もないことを知ることは大切です。なぜでしょうか。(アルマ 38:9 参照)

アルマ 38:10-15

アルマ、シブロンに、義にかなった特質を引き続き伸ばすように勧告する

自分の生活に良い影響を与えてくれた教師や教会指導者について考えてください。その人の特質のうち、あなたはどの特質をすばらしいと思っていますか。

アルマ 38:10-15 の記録によると、アルマはシブロンに、引き続き教える人を救うために役立つ資質をこれからも伸ばしていくよう勧めています。アルマがシブロンに与えた勧告は、奉仕や教えその他の方法で人に良い影響を与えたいと思う人であれば、だれにでも当てはまります。アルマ 38:10-15 をよく読み、特に自分のためになると思える勧告を探してください。そのような勧告を見つけたら印を付けておくとよいでしょう。

4. 次の表は、アルマがシブロンに与えた勧告 (アルマ 38:10-15 参照) をさらによく理解するための学習ガイドです。左の欄にあるアルマの勧告の中からいちばん自分のためになると思うものを二つか三つ選び、それぞれの右の欄に書かれている学習活動を行ってください。答えは聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 38：10－12 の学習ガイド	
アルマの勧告	学習活動
「すべてのことに勤勉であり、自制する」(アルマ 38：10)	勤勉な人は、たゆまず精力的に物事を行います。自制する人は、どんなことについても節制し、自分をコントロールします。ほかの人々に仕えるときにこれら二つの特質が必要な理由を、あなたの聖典学習帳に書いてください。自分の生活の一つまたはそれ以上の分野で、もっと勤勉になる方法またはもっと自制できるようになる方法を書きましょう。また、それができるようになると、どんな点で人にもっとよく奉仕できるようになるかも書いてください。
「高慢にならないようにしなさい……誇らないようにしなさい」(アルマ 38：11)	この聖句で言っている高慢とは、神よりも自分自身を信頼することです。これには、ほかの人々よりも自分の方が優れていると考えることも含まれます。この不義な高慢の反対は謙遜です。謙遜な人は、自分と同じようにほかの人のことを考えようとしますし、神を愛しており、生活の中で神様のことを第一に考えます。教会員が高慢な気持ちで自慢げに召しを果たしていたらどうなるか、聖典学習帳に書いてください。自分が教会で受けている召しや奉仕する機会について考えてみましょう。奉仕するときに謙遜になれるようにする方法、高慢な気持ちになったり自慢したりせずに奉仕できるようになる方法の一つか二つ書いてください。
「大胆でありなさい。しかし、尊大であってはならない」(アルマ 38：12)	大胆とは、神がともにいて、恐れず神に奉仕できるよう助けてくださると信じるという意味です。尊大とは、ほかの人の必要や気持ちを思いやることなく自分の信念や自分のやり方を押し通すことを意味します。聖典学習帳に、主がわたしたちに大胆でありなさいとおっしゃるのはなぜだと思うか書いてください。また、人に奉仕する際に大胆でありながらも尊大にならないようにしなさいという勧告に従えるような方法を、具体的に記録しましょう。

アルマ 38：10－12 の学習ガイド	
アルマの勧告	学習活動
「激情をすべて制し……なさい。」(アルマ 38：12)	制するとは、抑制する、自制するという意味です。激情とは、強い感情です。次の質問について考え、聖典学習帳にあなたの答えを書いてください。激情を制する、つまり自分の強烈な感情を抑制し、自制することが大切なのはなぜだと思いますか。激情を制するとなぜ愛に満たされるようになるのでしょうか。激情をすべて制するようにというアルマの勧告に従うために、あなたは何を行いますか。
「怠惰にならないようにしなさい」(アルマ 38：12)	『聖句ガイド』(scriptures.lds.org)で「怠惰」の項を引き、怠惰の意味をもっとよく学んでください。項目の中の二つの節を選び、それを研究してください。その聖句から学んだことを聖典学習帳に書きましょう。怠惰にならないようにという勧告はあなたがほかの人々にもっと効果的に仕えるのにどのように役立つかを書いてください。最後に、あなたが怠惰にならないようにする具体的な方法を書いてください。

アルマ 38：10－15 に出てくるアルマからシブロンへの勧告では、次の原則が教えられています。「義にかなった特質を伸ばすように努めるならば、人々に教え、仕えるために自分を備えることができる。」アルマ 38 章で読んで、義にかなった特質を伸ばすと自分の生活と周囲の人たちの生活にどのような祝福が注がれるか、よく考えましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 38 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

アルマ 39 章

はじめに

アルマは教導の業を捨てて重大な性的な罪を犯したわがままな息子コリアントンを叱りました。また、コリアントンに、彼の行為の重大さを教え、このような重大な悪事を犯したことで期待が裏切られたことを告げました。そして、「目の欲」を追うことなく、悔い改めるように、息子に命じました（アルマ 39：9）。コリアントンに対するアルマの言葉は、アルマ 39－42 章に載っています。

アルマ 39：1－6

アルマ、性的な罪の重大さについて息子コリアントンに説明する

次の言葉について考えてください。「一部の罪がほかの罪よりも重大である。」



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。一部の罪がほかの罪よりも重大であると思いますか。なぜそう思うのですか。

アルマ 39 章の記録によると、アルマは特に重大な罪もあることを息子コリアントンが理解できるよう勧告を与えました。コリアントンはアルマと兄弟のシブロンとともに、ゾーラム人の中で福音を宣べ伝えるために出かけました。しかし、伝道地で重大な性的な罪を犯してしまったのです。

アルマ 39：1－4 を読み、コリアントンの犯した過ちを探してください。娼婦とは不道德な女性や売春婦のことだと分かると、この聖句が理解しやすくなるかもしれません。「主……は、ほんのわずかでも罪を見過ごしにすることはない」ことを理解することは大切です（教義と聖約 1：31）。性的な罪は特に重大です。コリアントンが自分の意思で務めを放棄して娼婦イザベルを追って行ったことにも注目してください。これにより、罪はさらに重くなりました。

アルマ 39：5 を読み、アルマが、性的な罪がほかの罪よりも重大であることを表すために用いた言葉を探してください。忌まわしい行いとは、罪深い、邪悪な、あるいは汚らわしい行為を指します。この聖句から、「性的な罪は主の目から見て忌まわしい行いである」ことが分かります。性的な罪が殺人に次ぐ重大な罪であるのは、なぜだと思われますか、よく考えてください。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、性的な罪がなぜ主にとって忌まわしい行いなのかを次のように説明しています。「広く授けられている肉体的な欲求に対して、そのように重大な位置づけをすることによって、主は、全人類のために定められた計画の中で、それが果たす

役割について、わたしたちに何を教えようとしておられるのでしょうか。皆さんに申し上げます。主は、まさに命そのものの計画について明確に述べようとしておられるのです。はっきりしていることは、この死すべき世にあって、人がいかにしてこの世に生を受け、いかにしてこの世を去って行くかが、主の最大の関心事の一つであるということです。そして、この点に関して、主は非常に厳しい制限を設けられたのです。」（『個人の清さ』『リアホナ』1999 年 1 月号、83－84）

以下の 2 段落を読んで、次の質問の答えとなる箇所を探し、その部分に印を付けてください。性的に清くあるとどんな祝福があるのでしょうか。

「夫婦間の身体的な親密さは美しく神聖なものです。それは子供をもうけるため、夫婦の間で愛情を表現するために、神によって定められました。性的な親密さは結婚の中でのみ用いるよう、神は命じられました。

性的に清いとき、あなたは神殿で聖約を交わし、聖約を守る備えをしているのです。また結婚を強いきずなで結ばれたものとし、愛に満ちた永遠の家族の一員として子供たちをこの世に招く準備をしているのです。結婚というきずなの外でほかの人と性的な親密さを持つことから来る霊的・感情的なダメージからも守られます。また有害な病気からも守られます。いつも性的に清くあることで、あなたは自信と真の幸福を得、現在と将来にわたり、正しい決定を下す能力を高めることができます。」（『若人の強さのため』〔冊子、2011 年〕35）

では次に、以下の数段落を読んで、次の質問の答えを探してください。主の基準によると性的に清いとはどういうことでしょうか。

「性的な清さに関する主の標準は明確で不変です。結婚する前にどのような性的な関係も持つてはなりません。結婚した後は伴侶に対して完全に誠実であってください。メディアや同世代の人々などから、結婚前に性的な親密さを持つことは認められると説得されても心を許さないでください。それは真実ではありません。神の目から見て、性的な罪は非常に重いものです。命を生み出すために神が与えてくださった神聖な力を汚してしまうからです。預言者アルマは、性的な罪は殺人の罪と聖霊を否定する罪を除いて最も重い罪である、と教えています（アルマ 39：5 参照）。

性的な罪をもたらす恐れのある行為は決してしないでください。相手を敬い、卑わいで利己的な欲望の対象として相手を利用するようなことがあってはなりません。結婚する前に、情熱的なキスをしたり、相手の上に覆いかぶさったり、服の上からであれ服を脱いでであれ、人の隠れた神聖な場所に触れてはなりません。性的な思いを刺激するいかなる行為もしてはなりません。自分の体に対してもそのような感情を刺激してはなりません。清く徳高くあることができるよう御霊の促しに従ってください。主の御霊は性的な罪を犯している人からは退くでしょう。

誘惑が増すような状況は避けてください。例えば、家から離れた所での夜遅くまでの活動、あるいは成人の監督がない所での宿泊を伴う活動などがそうです。性的な思いを刺激するような話やメディアには加わらないでください。どんなものであれポルノグラフィーにはかかわらないでください。御霊はあなたが危険にさらされているときには、それと分かるように助けてくれます。またその状況から立ち去る力を与えてくれます。両親や指導者の義にかなった助言には信仰をもって従ってください。

同性愛行為は重い罪です。同性に魅力を感じて苦しんでいるときや不適切な行為に加わるよう説得されているときには、親やビショップに相談してみてください。必ず助けてくれます。

性的虐待の犠牲者は罪を犯していることにはなりません。また悔い改める必要はありません。虐待の犠牲者となった場合、あなたに罪はなく、神はあなたを愛しておられることを理解してください。両親あるいは信頼できる成人に相談し、すぐにビショップの助けを求めてください。彼らはあなたを霊的に支え、あなたの必要としている守りや助けを得られるよう助けることができます。癒されるまでに時間がかかることもあります。救い主を信頼してください。主はあなたを癒し、平安を与えてくださることでしょう。

どんなものであれ、性的な罪を犯すよう誘惑されている場合は、両親やビショップに助けを求めてください。天の御父に祈ってください。天の御父はあなたが誘惑に抵抗し、ふさわしくない思いや感情を克服できるように助けてくださいます。性的な罪に陥ってしまったときは、今ビショップと相談し、悔い改めのプロセスを踏み出してください。平安を見だし、御霊を十分に受けられるようにするためです。

性的に清くあることを個人的に決意してください。言葉と行いによって、周囲の人もあなたと同様の決意をするよう促してください。（『若人の強さのために』〔冊子、2011年〕35 - 37）

今読んだ言葉の中で、主はあなたにどんなことに特に注意するよう願っておられるか、よく考えてください。

アルマ 39:7 - 19

アルマ、コリアントンに悔い改めを促す

自分が親や若い男性または若い女性の指導者、ビショップまたは支部会長と、性的な清さについて話している場面を想像してください。性的に清くあることの大切さについて両親や教会の指導者から勧告されたら自分はどうか答えるか、考えましょう。アルマ 39:7 - 8 を読み、犯した罪の重大さをアルマがコリアントンに教えた目的は何だったか調べてください。あなたの両親や教会の指導者はあなたのことを愛しているからこそ、清くありなさい、悔い改めなさい、神から不本意な裁きを受けることのないようにしなさいと勧めるのです。それが分かると、彼らの勧告に対するあなたの反応はどう変わるでしょうか。よく考えてください。



十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老は、親たちがアルマのように子供たちに悔い改めを勧める理由を次のように説明しています。「悔い改めを勧めることは愛情表現の一つです。…… 変わるよう人に勧めないとしたら、あるいは自分に悔い改めを要求しないとしたら、互いと自分自身に対して負う基本的な義務を怠っています。子供が罪を犯すのを黙認する親、罪に甘い友達、おじけづいている教会の指導者は、援助できる相手の福祉と幸福よりも実は自分のことを優先させているのです。確かに、悔い改めの呼びかけは相手にとって受け入れがたく、不快であり、時には憤りさえ感じさせることもあります。御霊の導きのままに行うかぎり、実は純粋な思いやりに基づく行為なのです（教義と聖約 121:43 - 44 参照）。」（『悔い改めという神の賜物』『リアホナ』2011 年 11 月号、39）



2. 次の言葉を聖典学習帳に書いてください。「悔い改めには__が含まれる。」次に、アルマ 39:9 - 14 を研究しながら、アルマが悔い改めについてコリアントンに教えたことを「__」の部分に書きましょう。

アルマの勧告を理解し応用できるようにするために、次の質問や注釈を参考にしてください。どの節についても上の文の「__」に入る真理を最低一つは見つけて文章を完成できるようにしてください。質問の答えを聖典学習帳に書く必要はありません。

アルマ 39:9 を読んでください。（アルマ 39:9 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。）「自分の目の欲を追うことなく」と「これらのことをすべて断つ」という言葉は、罪を捨てることとどのように関係しているのでしょうか。

現代において「自分の目の欲を追う」という言葉は、不道徳や、性的な興奮を誘う何らかの形態の画像または娯楽にかかわることを意味すると思われます。アルマ 39:9 に出てくる「断つ（英語では “cross yourself.”）」という言葉は、何かをやめることを意味します。現代ではあまり使われない言葉です。しかし、ジョセフ・スミスの時代には、断つ（英語の “cross yourself.”）という動詞には、「消す、取り消す、……妨げる……、やめる」という意味がありました（Noah Webster's First Edition of an American Dictionary of the English Language, ファクシミリ版 [1967 年]）。アルマが息子に教えている言葉にこの定義を当てはめると、不道徳のあらゆる側面（自分の力でコントロールできる誘惑の源を含む）を生活の中から取り除いて「神の王国を受け継ぐ」ことができるようにすることの大切さを理解することができます。今日の若い末日聖徒が性的な清さを保ち、自分の目の欲を追うことのないようにするために自分で線引きをする方法には、どんなものがあるのでしょうか。

アルマ 39 : 10 を読んでください。親や教会指導者、きょうだい、または信頼できる友達などに霊的な養いを求めることは、悔い改めるのにどのように役立つでしょうか。

アルマ 39 : 11 – 12 を読み、以下の質問についてよく考えてください。

- 人が二度と悪魔に誘われて罪を犯すことがないようにするためには、悔い改めの過程で心の中にどんな変化が起こらなければならないでしょうか。
- むなしいものや愚かなものを求めることをやめると悔い改めやすくなります。なぜでしょうか。

アルマ 39 : 13 を読んでください。コリアントンの行動を見てゾーラム人がアルマの言葉を信じなくなったことを思い出しましょう (アルマ 39 : 11 参照)。聖文で「主に立ち返る」とは、悔い改めることを表すことが分かりますと役立つかもしれません。悔い改めるとは「心と思いを神に向けること」です。(Bible Dictionary, “Repentance”)

- 「思いと勢力と力を尽くして」悔い改めるとは、どういう意味だと思いますか。
- 自分の罪がほかの人に影響を与えるとき、わたしたちは悔い改めの一部として何をしなければならないでしょうか。
- 重大な罪を犯した場合にはビショップまたは支部会長に助けを求めなければなりません。なぜでしょうか。

アルマ 39 : 9 – 13 から次のことが分かります。「悔い改めには自分の罪を認めて捨て、思いと勢力と力を尽くして主に立ち返ることが含まれる。」

心と思いを主に向けるために、主が自分に何を行ってほしいと望んでおられると感じるか、よく考えてください。その促しに従ってあなたが今日からできることは何ですか。

イエス・キリストとその贖い(あがな)がなければ、あなたの罪が赦(ゆる)されることはありませんでした。アルマ 39 : 15 – 16, 19 を読み、イエス・キリストが世の人々の罪を取り除くために来られることをアルマがどう説明しているか、調べてください。

 3. 聖典学習帳に、イエス・キリストの再臨がコリアントンにとってもあなたにとっても喜ばしいことであるのはなぜかを書きましょう。

マスター聖句—アルマ 39 : 9

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、聖句を暗記することについて次のように言っています。

「聖文を学び、深く考え、調べ、暗記するのは、まるで、世界のどこにいても、いつでも助けを求めることができる友、信条、そして真理をファイルキャビネットに満たすようなものです。

聖文を暗記することで、大きな力が得られます。聖文を暗記することは、新しい友情を築くことです。それはまるで、必要なときに助けてくれる人、靈感と慰めを与えてくれる人、必要な変化を遂げる動機を与えてくれる新しい人に出会うのに似ています。」(「聖文の力」『リアホナ』2011 年 11 月号, 6)

 4. アルマ 39 : 9 を暗記できるよう努めてください。この聖句を覚えていいると、誘惑に遭ったときにどう守られるか、一つまたは二つの文で書いてください。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 39 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

単元 20 — 第 2 日

アルマ 40 – 41 章

はじめに

アルマ 40 – 41 章の記録によると、アルマは息子コリアントンに、死後の生活(しうごのせいふ)について重要な教義を教えました。イエス・キリストの贖罪により全人類が復活することを説明したのです。アルマはまた、霊界についてもコリアントンに教えました。死者は、死すべき状態での選びに応じて、霊界のパラダイスか獄のどちらかで復活を待ちます。コリアントンはアルマから、回復の計画には肉体の復活だけでなく霊の復活も含まれることを学びました。霊の復活では、自分の行動と望みに応じた結果を受けます。最後にアルマは、この回復の計画の中心にある真理は、悪事が真の幸福を生じることはないということだと力説しています。

アルマ 40 章

アルマ、霊界と復活についてコリアントンに教える

最近家族を亡くした友達がいるとします。その友達はあなたが教会に行っていることを知っていて、あなたの所に来て次の質問をしてきました。

- わたしたちがもう一度生きることができるようになったのは、どうしてでしょうか。だれが復活するのですか。
- わたしたちは死んだらどこへ行きますか。そこはどのような所でしょうか。
- 復活とは何でしょうか。復活体と死すべき体はどのように違いますか。わたしたちは復活した後、どうなるのでしょうか。



アルマ 40 章に書かれている情報は、これらの質問に答える助けになります。この章は、息子コリアントンに対するアルマの教えの続きです。コリアントンは死者の復活のことで心を悩ませていました。



1. 以下の 3 つの聖句を全部読んでください。一つまたはそれ以上の聖句を選び、そこに書かれている質問の答えをアルマがどう教えているか、聖典学習帳に書いてください。(このレッスンの終わりに時間があれば、また戻って、ほかの聖句についてアルマがどう教えているか見てもよいでしょう。)

a. アルマ 40 : 1 - 5 をよく読んでください。わたしたちがもう一度生きることができるようになったのは、どうしてでしょうか。だれが復活するのでしょうか。

b. アルマ 40 : 6 - 7, 11 - 14 をよく読んでください。わたしたちは死んだらどこへ行きますか。そこはどのような所でしょうか。(人の霊は「彼らに命を与えられた神のみもとへ連れ戻される」とアルマは教えていますが(アルマ 40 : 11), アルマは、人が死ぬと、復活するまで霊は霊界に戻ると教えているのであって、神の裁きの後、最終的に行く場所のことを言っているわけではありません。「外の暗闇」という言葉をどういう意味でアルマが使ったのかを理解するには、13 節の脚注を見るとよいでしょう。また、「外の暗闇」という言葉が、わたしたちが普通「霊の獄」と呼んでいる復活前の状態を言っているのであって、呪いを受ける者の最終的な永遠の住処を言っているのではないことを理解するには、アルマ 40 : 14 も役に立ちます。)

c. アルマ 40 : 21 - 26 をよく読んでください。復活とは何でしょうか。復活体と死すべき体はどのように違いますか。わたしたちは復活した後、どうなるのでしょうか。

アルマ 40 : 11 - 12 について、大管長会のジョージ・Q・キャンノン管長は、アルマは「すべての人の霊が直ちに神御自身の前に連れて行かれるという考えを伝えることを意図していませんでした。アルマが限定された意味でこの語句を用いたことは明らかです」と説明しています。(Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon, ジェレルド・L・ニュークイスト編, 全 2 巻 [1957 - 1974 年] 第 1 巻, 73)

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老は、わたしたちが復活後に経験することについて、次のように説明しています。

「最後の裁きの日には、完全に客観的に裁かれるでしょう。わたしたちにはモルモン書の言葉を用いると、自分の悪事を『はっきりと』『ことごとく』思い出すだけでなく(アルマ 5 : 18 ; 11 : 43 ; 教義と聖約 93 : 33), 喜ばしいことも起こり、回復されるのです。また、すべてのことが明らかになるため、わたしたちは『目の当たりに』見ます(モーサヤ 12 : 22 ; 15 : 29)。

『すべてのものが……回復される』のですが(アルマ 40 : 23), 前世の記憶を含んだ記憶も回復されます。第一の位と第二の位の記憶が思いと心によみがえった時の喜びを考えてください。

万感の思いでしょう。慈しみ深い神は、記憶を完全に回復することを良しとされたのです。記憶が洪水のようによみがえってくると、神がはるか昔から長く耐え忍んでくださったことと、贖罪の業を自ら進んでしてくださったイエスの愛と思いやりとに対する感謝の念はますます深くなるのです。」(Lord Increase Our Faith [1994 年] 103)

「復活とは霊と体が再結合して、すべてのものが本来の完全な造りに回復されることである。」復活の後、わたしたちは神の御前に立って裁かれます。アルマ 40 : 25 - 26 を読み、この世で正しいことを選んだ人の最後の状態と、この世で悪を選んだ人の最後の状態を比較してアルマがどう説明しているか、見てください。この聖句は神の前に清くなりたいというあなたの望みにどんな影響を与えるか、考えてください。

アルマ 40 : 16 - 22 の記録によると、アルマが話している復活は、地上で起こる復活のことです。イエス・キリストは最初に復活され、すぐそれに続いてアダムの時代からキリストの復活に至るまでの義人が復活します(アルマ 40 : 16, 20 ; 教義と聖約 133 : 54 - 55 参照)。この復活は、アルマが「第一の復活」と呼んでいるものです。

アルマ 41 章

アルマ、回復の計画についてコリアントンに教える

復活と霊界、裁きについてアルマが教えた真理を考慮したうえで、以下のように信じている人がこの真理を知ったらどう思うか考えてみましょう。

- 死後の生活はない。
- 人はこの世で行いの善悪にかかわらず、死んだ後で完全になる。
- 人は裁きにより、善い行いに対しては良い報いを受け、悪い行いに対しては罰を受ける。

アルマ 41 章では、ある人々が復活について教えていた事柄からコリアントンが混乱していたことを学びます。アルマ 41:1 に出てくる「大いに迷っている」という言葉に印を付けてから、何が人々を迷わせたかを探しながらこの聖句を読んでもよいでしょう。聖文を「曲げて解釈する」とは、聖文の意味をこじつけて解釈する、あるいは意味を変えることであるということを知っておくとこの聖句が理解しやすくなるかもしれません。



アルマはどの概念についてコリアントンに明らかにすると
言っていますか。 _____

「回復」とは、元に戻すことです。アルマは「回復の計画」と呼んだものには物理的な面と霊的な面があることをコリアントンが理解するようにと望みました (アルマ 41:2)。アルマ 41:2-5 を調べて、死後に物理的に回復される事柄と霊的に回復される事柄に印を付けてください。(この聖句に出てくる「必要である」という言葉は、必須であるとか、なくてはならないという意味です。)

アルマ 41:2 で述べられている回復の計画の物理的な面は何でしょうか。 _____

アルマ 41:3-5 で述べられている回復の霊的な面は、次の通りです。「わたしたちは死すべき世にあるときの自分

の行いと望みに応じて幸福な状態か不幸な状態に回復される。」



2. アルマ 40:3-5 を初等協会のクラスで教える
ことになったとします。アルマが教えた霊的な回復
の教義を子供たちが理解できるように、どのように説明する
かを、聖典学習帳に書いてください。

回復の教義を理解するとあなたの行動と望みは変わるかもしれませんし、変わるはずですよ。どんなふうになるか、よく考えてください。

回復の教義が分かるようになると、罪を犯したり悪いことをしたりするとその結果が心配になります。それは自然なことです。では、間違った望みを抱いたり間違った行動をしたりしても悪い結果に陥らないようにする方法はあるのでしょうか。アルマは希望を持つ理由があるとコリアントンに言っています。重大な罪を犯した場合でも善と幸福は回復されますが、そのためにわたしたちにできることは何だと書いてあるか、アルマ 41:6-9 を読んで探してください。アルマ 41:6-7 の中で、復活のときに何を受けるかは本人の責任だと言っている箇所に印を付けておくとよいでしょう。次の質問について考えてください。この聖句を基に考えると、わたしたちはどのような意味で自分自身の裁き手でしょうか。

ある人々は、自分の行いに対する個人的な責任を負うことなく神のもとに戻れると考えています。彼らはしばしば罪深い選択は楽しいと言います。時には、罪を犯している人々が幸せそうに見えることさえあります。しかし、アルマ 41:10 を読んで、悪についてアルマが何と教えているか調べてください。(アルマ 41:10 はマスター聖句です。素早く見つけることができるように、特別な方法で印を付けておくとよいでしょう。)



3. アルマ 41:10 でアルマは息子に「**罪悪は決して幸福を生じたことがない。**」と証しています。聖典学習帳で以下の課題を行ってください。

- アルマの言うことが真実だと思う理由を書いてください。
- サタンは、わたしたちが戒めを破ってもなお幸せになれると信じさせようとしています。その例として、どのようなことが挙げられるか書いてください。

自分の聖典のアルマ 41:10 の横に、エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を書いてもよいでしょう。「悪いことをしていながら、良い気持ちを感じることはできません。それは不可能なことです。」(『若者におくる言葉』『聖徒の道』1978 年 2 月号, 45)

アルマ 41:11 には、間違った選択をするときにほんとうに幸せにはなれない理由が説明されています。この聖句を理解するために、下の表で聖句の意味の記号を、該当する聖句の番号の前に書いてください。(終わったら、このレッスンの最後にある解答を見て、答え合わせをしてください。)

「生まれながらの状態」として述べられているアルマ41:11の言葉	解釈
___ 1.「この世的な状態」	A. 罪による制限と重荷を受けている
___ 2.「苦汁の中にあり、罪悪の縄目を受けている」	B. 聖霊を伴侶としていない
___ 3.「この世で神なしに生きている」	C. 肉の思いに支配されている

以上の言葉の意味が分かったところでアルマ41:11をもう一度読み、間違った選択をするときに、ほんとうには幸せになれない理由を調べてください。悪いことを選んでおきながら幸せだと思っている人がいるかもしれませんが、そのような人は結局、悲しみと不幸を味わうことになるのです。



4. 聖典学習帳に、以下の質問の答えを書きましょう。

- 「生まれながらの状態」、または罪深い「この世的な状態」が幸福な状態と正反対なのはなぜでしょうか。
- 若者の中に聖霊を伴侶としていなかったり、不自由と重荷を感じていたり、肉の思いに支配されていたりする人がいるのはなぜでしょうか。幾つか例を挙げて説明してください。

アルマ41:12を読み、アルマがコリアントンに、回復についてどんな質問をしているか調べてください。アルマ41:13を読み、この質問にアルマが答えている箇所に印を付けましょう。



5. 幸せになりたいと友達に話している人がいたとします。しかし、その人は神の戒めに反する行いをしています。その人が幸せを感じていない理由を今日学習した回復の教義を使って聖典学習帳に書き、真の幸せを得るためには何をしなければならないかも書いてください。

ブーメランは、元々は狩りのために使われていた道具です。その形状のために、正しい投げ方をすれば、投げた人の所に戻って来ます。アルマ41:14-15を読み、これらの節で教えられている真理がブーメランとどのように似ているか考えてください。15節の「出るもの」と言う言葉に印を付けておくとういでしょう。善や憐れみや優しさを送り出したそれが自分に戻って来たことがありますか。あれば、そのときのことを考えてください。



あなたはどんな行いや態度がほかの人から返って来てほしいと思いますか。そんな行いを人にしてあげたり、そんな態度を自分から人に示したりしましょう。どんな義になった行いをしますか。どんな態度を人に示しますか。そのような態度や行いを「送り出す」ために、どんな目標を立てることができるでしょうか。_____

マスター聖句—アルマ41:10



6. アルマ41:10を読み、次の文を聖典学習帳に書いてください。「罪悪は決して幸福を生じたことがない」とすれば、_____は幸福をもたらす。」空欄にいちばんふさわしい言葉を書いて文を完成させてください。次に、具体的な義にかなった行いで空欄に入れられるものをたくさん書き出します（例えば、「人に奉仕する」）。書き出した行いの中から、それが幸福を生じたのを見たことがあるものがあれば、それに関する証を書いてください。

義にかなった行いをしたからといって、この世ですぐに幸せになれるわけでもなければ、必ず幸せになれるわけでもなく、幸せになったとしてもそれがいつまで続くかは分からない、ということを理解するのは大切なことです。しかし、主の教えと主の戒めに従っている人には、必ず平安と幸せが、主の方法によって主の時に与えられます。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、アルマ40-41章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

組み合わせ問題の解答：（1）- c, （2）- a, （3）- b。

単元20—第3日

アルマ42章

はじめに

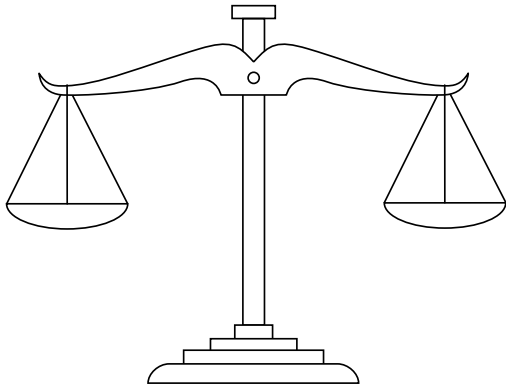
アルマは苦しんでいる息子コリアントンへの勧告を終えるに当たって、罪を犯す者が憐れみを得られるように天の御父が方法を備えてくださったことを説明した。アルマは息子に、正義の律法が罪に対して要求する罰について教えました。その後、イエス・キリストは罪を犯して進んで悔い改めるすべての者に代わって苦しむことにより「正義の要求を満たす」であろうと証しました（アルマ42:15）。主は、心から悔い改める者に憐れみをお与えになります。

アルマ 42:1-14

アルマ、正義の律法についてコリアントンに教える

少しの間、目を閉じて、最後の裁きを受ける時が来たかどうかよく考えてください。自分の人生を振り返ってみて、最後の裁きは公平であってほしいと思いますか。自分に対する裁きが公平であってほしいのは、どうしてでしょうか。

では、「公平」とはどういう意味か考えてみましょう。「公平」の定義の一つは受けるにふさわしいものを受けるという意味です。公平の概念は「公正」という聖文の言葉に関連があります。



 1. このページにあるような簡単なはかりの絵を聖典学習帳に描いてください。そして、その絵の下に「公正」と書きます。学習帳のこの絵のまわりは、このレッスンの中でほかにも言葉を書きこみますから、空けておいてください。

公正という概念をもっとよく理解できるようにするために、次の十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老の説明を読んでください。



「公正には多くの意味があります。一つは均衡です。公正の一般的な象徴は均衡を取るはかりです。……

……人は受けるにふさわしいものを受けるといふ公正の概念は、人は行いに応じて裁かれると告げるすべての聖文の基本的な前提です。」（“Sins, Crimes, and Atonement”〔CES 宗教教育者への講話、1992 年 2 月 7 日〕1）

アルマの息子コリアントンが最後の裁きの公平さについて心配していました。アルマ 42:1 を読み、最後の裁きについてコリアントンが何を不公平、あるいは不当であると考えていたか印を付けてください。

コリアントンがいろいろな罪を犯しており、その中には非常に重大な罪も含まれていたことを思い出してください（アルマ 39:2-3 参照）。そのため罪を犯した者が罰せられるのは不当であるとコリアントンが思ったのかかもしれません。

 2. 聖典学習帳に、自分の罪を悔い改めていない人が裁き場で「自分に見合った罰」を受けるのを恐れるのはなぜだと思うか書いてください。

アルマ 42:2-11 でアルマはコリアントンの心配にこたえて、アダムの墮落によって肉体の死（肉体の死と同時に肉体と霊が離れること）と霊の死（罪のために神から離れること）がもたらされたことを説明しました。だからこそ、人類を墮落した状態から引き上げる計画を定める必要があったのです。そうしなければ、全人類は正義の要求があるために罪のある状態にとどまり、とこしえにみじめな状態にあったはずで

アルマ 42:12 を読み、人類が墮落した状態に陥った理由を見つけてください。次にアルマ 42:14 を読み、正義の要求に従わなかった場合に被る結果に印を付けましょう。聖典学習帳に描いたはかりの絵の左の皿の下に「違反-不従順または罪」、右の皿の下に「罰-神の前から絶たれる」と書きます。

 3. アルマ 42:18 を読み、聖典学習帳に以下の質問の答えを書きましょう。

- 「良心のとがめを生じる」とは、どういう意味だと思いますか（アルマ 42:18）。
- 人は良心のとがめを感じるとどうなるでしょうか。

アルマが教えたことから考えると、人が不従順であるときに正義の律法は何を要求しますか。（不従順のゆえに、正義の律法はその人が苦しみを味わい、神の前から絶たれることを要求する。）悪いことをして後悔したり悲しんだり、御霊が退いたりしたときのことを少しの時間、よく考えてみましょう。そのときの気持ちが、悪いことをした回数分、何倍にもふくれあがることを想像してみてください。次に、その気持ちを永遠に感じ続けることを想像してみてください。

アルマの教えを踏まえて考えると、あなたは最後の裁きが正義によってのみ行われることを望みますか。自分がした悪い行いについては、それに「見合った」罰を受けたいと思いますか。

アルマ 42:15-31

アルマ、憐れみの計画についてコリアントンに教える

神の聖なる特質の一つは正義です。正義の要求は天の御父の子供たち一人一人を罪に定めます。どんな人も罪のある状態で御父とともに住むことはできません。次の質問について考えましょう。正義の要求が取り消される、あるいは却下される方法がありますか。

悔い改めれば、犯した罪の結果苦しむ必要はなくなると多くの人が答えるでしょう。結局この答えて良いのですが、罪の結果をぬぐい去ったり免除したりすることは正義の要求を満たすことにならないため、不公平なのです。アルマは、正義の要求を満たすことなく罰を免除することはできないと教えています。アルマ 42:25 を読み、罪の結果が取り除かれ、正義が満たされないままであると、どのようなことが起こるか探してください。

アルマ 42:15 を読んで答えを探す前に、次の質問についてよく考えてください。犯した罪に対する罰を取り去ることができないならば、人はどうすれば再び良心の安らぎを得ることができ、神の前に戻ることができるのでしょうか。

質問について深く考える

聖文研究をしているときに質問について深く考えるためには頭を使います。すると答えを見つけるために聖文を調べたくなります。聖文を調べていて疑問を感じたら、それを書き出してもよいでしょう。聖文について深く考えると、原則や真理を理解して自分の生活に生かす能力が高まります。

「正義の要求を満たす」とは、要求を満たすことまたは正義が要求する代価を払うという意味であることが分かったと、理解しやすくなるかもしれません。

アルマ 42:15 から、次のことが分かります。「イエス・キリストの贖罪が正義の要求を満たしたので、憐れみが人に及ぶようになった。」聖典学習帳に描いたはかりの絵の「違反——……」という言葉の下に「憐れみ——イエス・キリストの贖罪——によって

満たされる」と書いてください。これでこの絵は完成です。



4. 罪を犯したためにその重荷を背負って苦しんでいる友達がいます。イエス・キリストの贖いによって、わたしたち一人一人に憐れみが及ぶようになったことをその友達にどう説明するかを聖典学習帳に書いてください。

あなたに憐れみが及ぶようにするために、救い主があなたに代わって進んで正義の要求する罰を受けてくださったことは、どんなことを意味しますか。よく考えてください。

アルマ 42:22 - 24 を読み、わたしたちに憐れみが及ぶようにするためにイエス・キリストが求めておられる事柄に印を付けてください。24 節にある「心から悔い改める者」という言葉は、誠実に悔い改めをする人という意味です。この聖句に書かれていることを基に、原則を書いた次の文を完成させましょう。「悔い改めるならば、救い主の贖罪を通じて _____ を受けることができる。」

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、イエス・キリストを「仲保者」と呼んでいます。仲保者とは対立している当事者の間に立って対立の解決を助ける者です。パッカー会長の言葉を読んで、罪人に憐れみが及ぶようにするために仲保者が必要なのはなぜか、調べてください。



「永遠の律法によれば、わたしたちの負債を引き受け、その代価を払いかつわたしたちの贖いの交渉をしてくれる人がいないかぎり、憐れみは及ぼされません。

もし仲保者がいなければ、また友人がいなかったならば、正義の要求する無情の厳しい重荷はすべて、間違いなく、わたしたちの身に降りかかります。すべての違背に対する完全な償いは、その大きさや程度は違っても、最後の 1 コドラントを支払ってしまうまで要求されるのです。

栄えある真理は、仲保者の存在を次のように宣言しています。……

イエス・キリストを通して、永遠の正義の律法を犯すことなしに、憐れみが一人一人に完全に及びます。……

憐れみはだれにでも自動的に及ぶではありません。主との聖約を通して及ぼされるのです。憐れみは、主の条件、主の寛大な条件に従って与えられます。」(「仲保者」『聖徒の道』1977 年 10 月号、487 - 488 参照)



コリアントンとの会話を終えるに当たって、アルマは息子に教えようとした内容をすべてまとめました。アルマ 42:26 - 31 を読み、この章でアルマが教えた教義と原則が分かるようになったコリアントンにアルマが望んだ事柄に印を付けましょう。アルマは罪の言い訳をせずに、むしろ正義と憐れみ、贖いに関連した教義と原則が「心の中で存分に力をふるえるように」することをコリアントンに望みました(アルマ 42:30)。このことに注目してください。これらの教義と原則があなたの心の中で存分に力をふるえるようにするために、あなたにはどんなことができますか。

 5. 聖典学習帳に、次の質問に対するあなたの考えを書いてください。自分のために犠牲をささげてくださったことについて救い主御自身に感謝の気持ちを伝えることができるとしたら、あなたは何を伝えますか。

コリアントンは罪を悔い改め、教会の発展に良い影響を与えたことを知っておくのは大切なことです（アルマ49：30 参照）。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ42章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元20 — 第4日

アルマ43－44章

はじめに

モルモンはアルマ43－44章で、レーマン人とニーファイ人との戦争について書き始めます。アルマと息子たちが人々を教え導き続けていたとき、ゾーラム人がニーファイ人を攻撃するためにレーマン人の軍隊に合流しました。司令官モロナイはレーマン人の軍隊からニーファイ人を守るために信仰と知恵を示しました。ニーファイ人の兵士たちは、数の点で劣っていましたが、準備とイエス・キリストを信じる信仰によって有利に戦いを進めました。レーマン人はこのままでは負けることが分かり、平和の誓いを立てて、一時期その地を去りました。

アルマ43章

司令官モロナイの準備と作戦によって、レーマン人の軍隊の企ては失敗する

 1. 聖典学習帳に、将来の計画と目標と望みをリストにして書き出しましょう。伝道や神殿結婚、家族などの霊的な目標や霊的な願いを入れてもよいでしょう。

リストを書き終えたら、サタンにとって望ましくないと思われる望みと目標を見つけてください。アルマ43－44章を研究しながら、サタンの妨害に遭っても、義にかなった目標を達成できるようにするために役立つ原則を探してください。

アルマ43：1－4では、アルマはゾーラム人を教会に連れ戻そうと努力しましたが、多くの者はレーマン人に合流し、ニーファイ人を攻める準備をしました。アルマ43：5－8を読み、レーマン人の指揮官ゼラヘムナの「企て」は何



だったか調べてください。ゼラヘムナの思惑が出てくる度に、それに印を付けてもよいでしょう。ニーファイ人に対するゼラヘムナの思惑や願望が、あなたに対するサタンのそれとどんな点で似ているか、よく考えましょう。

次にアルマ43：9－11を読み、ニーファイ人の意図または望みを調べてください。そして、その願いがあなたの持つ義にかなった願いとどんな点で似ているか、よく考えてください。

ニーファイ人の司令官モロナイが、ゼラヘムナの邪悪なたくらみから国と家族を守るために民を備えさせました。アルマ43：16－19を読み、司令官モロナイとニーファイ人がどのような準備をしたと書いてあるか探しましょう。

 2. 聖典学習帳に、モロナイが戦いの準備のために兵士に身に着かせさせたもののうち二つの絵を描いてください。

次にアルマ43：20－22を読み、ニーファイ人の備えに対するレーマン人の反応を探してください。レーマン人は、数のうえではニーファイ人を圧倒していましたが、どうして攻撃するのをやめたのでしょうか。よく考えてください。

モルモン書に出てくる実際の戦いの記述は、わたしたちが経験する霊的な戦いに移し替えて考えることができます。

 3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。モロナイが行った戦いの準備から、サタンへの攻撃や誘惑から自分を守る方法について、どんなことが学べますか。

レーマン人が退却しても、次にどこを攻めてくるかはモロナイには分かりませんでした。あなたがモロナイだったとしたら、次の攻撃のためにどんな準備をしますか。 _____

アルマ 43：23 - 24 を読み、モロナイが行ったことを見つけてください。

モロナイの模範から、次のことが分かります。「わたしたちは預言者の勧告を求めて従うならば、サタンをもっとよく防ぐことができる。」ニーファイ人を敵から守るためにどうすればよいかを預言者アルマがモロナイに教えることができたように、現代の主の預言者も、敵の霊的な攻撃に対してどんなふうに自分を守ればよいかを教えてください。

 4. 末日に与えられている預言者の勧告の中から、注意して従えばサタンへの企てや誘惑から自分を守るのに役立つものについて、2, 3 行聖典学習帳に書いてください。

アルマ 43：25 - 43 の記録によると、モロナイは預言者から教えられた知識に基づいて軍隊を分割し、軍の一部をレーマン軍の進軍ルートに潜ませました。レーマン軍が進軍してくると、ニーファイ軍の半分がレーマン軍と戦い、彼らをシドン川まで追い詰めたのです。レーマン軍がシドン川を渡ると、もう半分のニーファイ軍が攻撃しました。レーマン人は自分たちが敵に囲まれたと知ると猛烈な勢いで戦ったため、ニーファイ人はひるみ始めました。

あなたはアルマ 43 章の残りの学習で、義にかなった目標と望みを達成する方法に関する原則を学びます。アルマ 43：43 - 54 を読み、レーマン軍とニーファイ軍双方の力の源を比較してください。

ニーファイ人の動機はレーマン人の動機よりもどんな点で優れていたか、よく考えてください。モロナイとその忠実な軍隊を現代のわたしたちのサタンとの戦いと比較してみると、「義にかなった計画と望みを果たすために助けを祈り求めるとき、神はそれを果たせるように助けてくださる」ことが分かります。



 5. 聖典学習帳に、主の助けを得て義にかなった目標を達成する経験をしたときのことを書いてください。

アルマ 44 章

ニーファイ軍が勝利を収めた後、司令官モロナイ、平和の誓いを立てるようにレーマン人に命じる

アルマ 43 章で司令官モロナイはレーマン人が敵軍に囲まれて恐れているのを見て、戦うのをやめるように自分の兵たちに命じたことを思い出してください。アルマ 44：1 - 6 に書かれているモロナイの言葉を読み、ニーファイ人の勝利をモロナイはどなたのおかげだと考えていたと書いてあるか探しましょう。

 6. アルマ 44：4 - 6 に書かれているモロナイの証^{あかし}を基にして、自分の霊的な戦いに立ち向かうために役立てることのできる真理を聖典学習帳に書きましょう。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、忠実であれば主が守ってくださると青少年に約束しています。パッカー会長の言葉を読みながら、自分にとって慰めになる箇所や、自分に当てはまると思う箇所にマーカーで印を付けましょう。



「今日の若人は道德の標準が下がっている敵の領域で成長しています。しかし、わたしは主の僕として約束します。皆さんが進んで聖なる御霊の導きに心を留めるならば、敵の攻撃から守られ、保護されるでしょう。」

慎み深い服装をし、敬虔に話し、心を高める音楽を聴きなさい。不道德で品位を落とす行いをすべて避けなさい。自分の生活を管理し、自制して雄々しくありなさい。わたしたちは皆さんをととても頼りにしているので、皆さんは大いに祝福を受けるでしょう。愛にあふれた天の御父は常に皆さんを見守っておられます。」(「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号, 18)

アルマ44:7-10では、ニーファイ人の力の源が神だと信じないとゼラヘムナが言います。ゼラヘムナはレーマン人に武器を捨てさせると言いましたが、平和の誓いを立てることは拒否しました。アルマ44:11のゼラヘムナに対するモロナイの返答を読んでください。レーマン人に平和の誓いを立てさせることがモロナイにとって重要であったのは、なぜだと思いますか。よく考えてください。

レーマン人の多くは平和の誓いを立てましたが、ゼラヘムナはモロナイの軍隊と戦うように残りの兵をあおり立てました。ニーファイ人が彼らに襲いかかって殺し始めたとき、ゼラヘムナは自分たちがまさに滅ぼされそうなものを見て、平和の誓いを立てると約束しました。(アルマ44:12-20 参照)。



7. 敵の誘惑や攻撃から自分を守って義にかなった望みや目標を達成するために、このレッスンで学んだ原則や真理をどう役立てることができるか、聖典学習帳に書いてください。



8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ43-44章を研究し、このレッスンを終えました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元21—第1日

アルマ45-49章

はじめに

アルマは息子ヒラマンに最後の指示を与えた後、ニーファイの民のもとを去り、その後消息を絶ちました。その後ニーファイ人には困難な時期がありましたが、ヒラマンと司令官モロナイが、彼らの霊的な指導者となり、軍の指導者ともなりました。レーマン人の指導者アマリキヤは利己的な目的から、悪魔の策略に似た手段を用いて不義な願望を遂げようとしていました。このような危機的状況の中で、司令官モロナイは、神に忠実になるという準備をニーファイ人にさせたのです。

アルマ45章

ヒラマン、父アルマの言葉を信じ、教導の業を始める

親か神権指導者から受けた面接について思い起こしてください。どのような質問をされましたか。アルマは土地を去る前、ヒラマンに3つの重要な質問をしました。アルマ45:2-7を読み、その3つの質問を見つけて印を付けてください。(アルマが2節で言っている「言葉」は、アルマ37:1にあります。)アルマの質問にあなたならどう答えるか、考えてみましょう。聖文を信じていますか。イエス・キリストを信じていますか。戒めを守る覚悟がありますか。



ヒラマンが証を宣言すると、アルマはニーファイ人の行く末についてヒラマンに話しました。ニーファイ人が滅びることと、この選ばれた地で罪惡が熟すならばどんな民でも滅びることを、アルマは証したのです。アルマ45:16を読み、この節に書かれている次の真理について考えてください。「主はほんのわずかでも罪を見過ごしにされることはない。」

この原則を理解するために、救い主が贖いを通してわたしたちの罪の代価を払ってくださったことを思い出してください。この贖いのおかげで、悔い改めて主の赦しを求めるならば、わたしたちの罪はすべて赦されるのです。神はどんなに小さな罪も見逃すことがおできになりません。しかし、救い主が進んでわたしたちのために苦しみを受けてくださったおかげで、わたしたちは悔い改めるならば自分の犯した罪のために苦しむ必要がないのです。

教義と聖約 1:31 – 33 を読んでください。参照聖句としてこれをアルマ 45:16 の近くを書いておくとういでしょう。



1. 聖典学習帳に、次の質問の答えを書いてください。自分の罪の代価を喜んで払ってくださったことを思うと、あなたは救い主についてどのような気持ちを感じますか。

アルマ 45:20 – 24 の記録によると、ヒラマンは主の預言者として、教会の指導者として教導の業を始めました。ヒラマンとそのほかの教会指導者たちはすべての教会員の中に祭司と教師を任命しましたが、人々は争いや高慢のために指導者の言葉に耳を貸しませんでした。

アルマ 46 章

司令官モロナイ、自分たちの権利と宗教を守るために義人たちを呼び集める

アルマ 46:1 – 7 の記録によると、ヒラマンと彼の同僚たちに対して腹を立てた人々の中には、教会を離れて、王になることをもくろむアマリキヤという邪悪な男に従う者たちがいました。アルマ 46:8 – 10 を読み、この危機的な状況からモロナイがわたしたちに学ばせたかった事柄を探してください。

人々の自由を守るために、ニーファイ全軍の指揮官であったモロナイは自分の衣を割いてその切れ端で「自由の旗」を作り、自由を擁護するために人々を結集させました。

アルマ 46:12 – 13 を読み、モロナイが自由の旗に書いた言葉に印を付けましょう。自由の旗を掲げるためにどんな準備をしたか、調べてください。この節からモロナイのどんな人格が分かるか、よく考えましょう。またアルマ 48:11 – 13, 17 – 18 も読み、司令官モロナイの人格をさらによく把握しましょう。モロナイの特質の中で自分の生活にもっと取り入れたいと思うものに印を付けておくとういでしょう。



2. モロナイの特徴をアルマ 46:12 – 13 とアルマ 48:11 – 13, 17 – 18 から一つまたはそれ以上探して、聖典学習帳に書きましょう。あなたがその特徴を身に付けたいと思う理由と、その特徴を身に付けることができるような方法を説明してください。



アルマ 46:12 – 13 を読み、自由のために戦おうというモロナイの呼びかけに対して人々がどんな反応を示したか、調べてください。20 節に書かれている聖約は、呼びかけに応えたニーファイ人たちが神と交わした特別な約束です。

アルマ 46:20 には、モロナイがニーファイ人に自分たちの権利と宗教を守るという聖約を神と交わさせようとしたのはなぜだと書いてありますか。 _____

アルマ 46:28 – 37 の記録によると、司令官モロナイの軍に加わったニーファイ人はアマリキヤの軍を捉えました。しかし、アマリキヤと少数の兵は逃げ去り、レーマン人に加わったのです。捕虜になったアマリキヤの兵の多くは、自由を擁護する誓いを立てました。その誓いを立てようとしなかった者はすべて殺されたのです。このニーファイ人の物語から、次の原則を学ぶことができます。「司令官モロナイのように勇敢に戒めを守るならば、神はわたしたちを強くし、祝福してくださる。」

戦いが終わると、司令官モロナイは自分たちが何のために戦い、何を守ると聖約したかを忘れないようにするために、ニーファイ人のすべての塔に、自由の旗を掲げさせました（アルマ 46:36 参照）。

冊子『若人の強さのために』で大管長会はこう言っています。「愛する若い男性、若い女性の皆さん、わたしたちは皆さんに大きな信頼を寄せています。皆さんは神の息子、娘であり、神は皆さんのことを心に留めておられます。皆さんは大きな機会だけでなく大きな課題の待ち受ける時代に生を受けました。この小冊子に書かれている標準は、皆さんが今大切な選択をするとき、また将来大切な選択をしようとするときに助けとなるでしょう。皆さんに約束します。皆さんが自分たちの交わした聖約とこれらの標準を守るならば、聖霊の導きを受け、信仰と証が強くなり、いっそうの幸せを味わうことでしょう。」（〔2011年〕ii）



3. 大管長会の言葉から分かることを基にして以下の質問について考え、その答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. これまで交わしてきた福音の聖約と、冊子『若人の強さのために』に書かれている標準を守るならば、あなたにはどんな祝福が約束されているのでしょうか。

b. 冊子『若人の強さのために』の目次を見て、この冊子に載っている標準から一つ選んでください。その標準を守ることによってあなたはどんな祝福を受けてきましたか。また、それによってあなたの生活にこれからどんな祝福が注がれるのでしょうか。

アルマ 47 章

アマリキヤ、裏切りと欺きによってレーマン人の王になる

戦争のまっただ中にとします。敵がどんな計画であなたとその家族を滅ぼそうとしているかを教えてくれる本をだれかに見せられたら、あなたはどうしますか。アルマ 47 章を読むと、わたしたちの敵、つまり悪魔のたくらんでいることがいくらかわかるようになります。

アマリキヤはレーマン人の王になってレーマン軍の指揮権を奪い、ニーファイ人に戦いを挑んできました。アルマ 47 章には、そのためにアマリキヤが用いた欺きがたくさん記録されています。最終的にアマリキヤは、ニーファイ人全員を奴隷にして自分が王になりたかったのです。

アマリキヤとその支持者は最初、レーマン人の住むニーファイの地に行きました。レーマン人の王はニーファイ人と戦うために出て行こうとしたのですが、民は恐れて尻込みしていました。そこで王は、恐れを抱いているレーマン人を強制的に戦いに出すようアマリキヤに命じたのです。アマリキヤは恐れを抱いた人々が逃げて立てこもっている山に進軍して行きましたが、王のために進軍したではありませんでした。恐れを抱くレーマン人の指揮官レホンタイをだまして山から下りて来させ、自分が指揮官になろうとしたのです。アマリキヤは、レホンタイが山を下りてきたら、後で毒を盛って殺してしまおうと考えていました。

アルマ 47:10 - 12 をよく読んでください。アマリキヤは立てこもっている山から下りてくるようレホンタイに何度要請したでしょうか。アルマ 47:17 - 19 も読んでください。

レホンタイが山から下りて来た後、アマリキヤはどうやってレホンタイを殺害しましたか。



十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、現代でも、霊的に安全な場所を離れてサタンの領域に足を踏み入れるよう誘惑し、わたしたちの信仰と証を滅ぼそうとする人がいると教えています。「モルモン書では、レホンタイと衛兵が山の頂上に宿営していましたが、裏切り者のアマリキヤがふもとに『下りて来』て会談をするようにしきりに求めました。結局山から下りたレホンタイは『少しずつ』毒を盛られて殺され、レホンタイの兵はアマリキヤの手に落ちました（アルマ 47 章参照）。ある人々は議論や非難というわなで、わたしたちを高い山から下ろそうとします。高い山には光があります。……それは安全な場所です。それは真実であり、知識のある場所です。」（「クリスチャンらしい勇気——弟子としての犠牲」『リッアホナ』2008 年 11 月号、74）



4. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. わたしたちを霊的に高い場所から「下りて来」させるためにサタンが使う方法を、2, 3 挙げてください。

b. サタンは「少しずつ」標準を下げるよう若人をそそのかそうと思いませんか。少しずつそそのかさサタンの策略とは、例えばどんなものなのでしょうか。

c. 霊的に高い場所にとどまれるようにするために、具体的にどんなことができますか。その標準を「少しずつ」下げないようにするために、あなたはどの福音の標準に従う必要がありますか。

アマリキヤのときもそうでしたが、「サタンはわたしたちを滅ぼそうとしており、また少しずつ標準を落とすようにわたしたちを誘う」のです。

アルマ 48 - 49 章

司令官モロナイ、物理的にも霊的にもニーファイ人を強める

アマリキヤが「欺瞞と偽り」によってレーマン人とニーファイ人を支配する権力を手に入れようとしていたとき（アルマ 48:7）、モロナイはそれとはまったく異なることをしていました。アルマ 46:7 - 10 を読み、アマリキヤがレーマン軍を率いて今にもニーファイ人を攻めてくることを知ったときにモロナイが何をしたか、調べましょう。以下の事柄が書かれている箇所印を付けておくといよいでしょう。モロナイは（1）困難なときに神に忠実であるように民を備えさせ（7 節参照）、（2）民に、弱い所を強化させ（8 - 9 節参照）、（3）「クリスチャンの大義」を保ち、擁護するよう民を備えさせたのです（10 節参照）。

モロナイが困難な時に備えてそれを堪え忍べるよう民を備えさせたように、現代の教会の指導者たちは、困難な時のための備えができるようわたしたちに勧告を与えてくれます。自分の聖典のアルマ 48:7 - 10 の近くに次の原則を書いておくといよいでしょう。「わたしたちは主の僕の勧告に従うとき、人生の困難に対する備えができる。」

レーマン人は最初にアモナイハの町、次にノアの町を攻撃するつもりでした。この二つは、ニーファイ人の町の中でも防御の弱い町だったからです。アルマ 49:4-5 を読み、ニーファイ人の手で固めたアモナイハの町の防備を見てレーマン人はどんな反応を示したか見てください。アモナイハの町は攻撃への備えが非常によくできていたため、レーマン人は攻めるのをやめました。アルマ 49:12-14 を読み、ノアの町を攻撃しようとしたときレーマン人がどんな反応を示したか見てください。

 5. いちばん新しい総大会の話の中から幾つかを（『リアホナ』で）復習してください。一人またはそれ以上の話者の勧告を要約して、聖典学習帳に書きましょう。あなたが人生でぶつかる困難に備えるために、その勧告をどのように役立てることができますか。あなたはその勧告を実生活にどう生かすことができますでしょうか。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 45-49 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 21—第 2 日

アルマ 50-52, 54-55 章

はじめに

司令官モロナイは、引き続き民に周囲に砦を築かせ、町を強化しました。ニーファイ人はレーマン人に対する守りに成功しましたが、やがて民の内部の謀反と悪事によって弱くなりました。モロナイが民を集結させて民を守ろうと努めたにもかかわらず、ニーファイ人は国内に紛争があったために多くの町を失いました。結局モロナイとテアンクム、リーハイがミュレクの町を取り戻し、レーマン人最大の軍の一つを打ち負かしました。レーマン人の邪悪な指導者アモロンは捕虜の交換を交渉しにきましたが、モロナイはニーファイ人の捕虜を、血を流すことなしに解放しました。モロナイは固く立ち、アモロンとその支持者の申し出を受けても妥協しませんでした。

アルマ 50-51 章

ニーファイ人は主に従って一致団結したときに強くなり、繁栄する

誘惑や健康上の問題、学校でのトラブル、友達や家族との人間関係の問題などの問題を解決するために苦勞したときのことを考えてください。そのときあなたは、もっと霊的な力が強かったらと思いましたか。



大管長会のヘンリー・B・アイリング管長はこう言っています。「わたしたちを取り巻く悪の力が強まると、今までの霊的な力では不十分になります。また、それまで可能だと考えていた霊的成長を上回る、さらなる成長の機会が与えられるのです。必要性和機会の両方が増すのですが、危機に瀕するとそれを過小評価してしまうのです。」（“Always,” *Ensign*, 1999 年 10 月号, 9）

ニーファイ人が行った戦いへの備えから、わたしたちは次の真理を学ぶことができます。「わたしたちは自分自身を霊的に備えていれば、人生の試練を克服することができる。」

アルマ 50:1-6 をもう一度読んでください。町の周りに土塁を築くために、ニーファイ人は何をしましたか。アルマ 50:7 を読んでください。戦いに備えるため、ニーファイ人はほかに何をしましたでしょうか。

ニーファイ人は大きな困難の時に備えて自分たちを強めるために土塁を築きました。わたしたちは霊的な力を今築くことによってこの模範に従い、困難なときに必要な力が得られるようにすることができます。霊的な力を築く最も効果的な方法は、たゆまぬ日々の努力です。定期的に聖文を研究し、祈り、教会の集会に出席し、召しを果たし、神に感謝をささげ、人に奉仕し、教会の指導者の勧告に耳を傾け、それに従うことによって、わたしたちは霊的に強くなっていくのです。



1. 聖典学習帳に以下の言葉を書き、必要な言葉を書き加えてください。

a. 霊的な力を築くためにわたしにできること（自分にできることを書き出す）。

b. わたしはもっと着実に（今書きだしたことの中から一つ選ぶ） _____ をして、毎日霊的な力を築きます。

アルマ 50:19-23 を読み、当時困難な状況にあったにもかかわらず主に忠実であったニーファイ人を主がどのように祝福されたと書いてあるか探してください。この聖句の近くに次の原則を書いておくとよいでしょう。「神に忠実であれば、混乱のさなかにあっても祝福がある。」アルマ 50:21 を見て、ニーファイ人が祝福を失った原因としてモルモンが何を挙げているか確認してください。



司令官モロナイがニーファイ人を率いてレーマン人と戦っていたころ、パホーランはニーファイ人の大さばきつかさになりました。パホーランは義にかなった人物で、ニーファイの地に平和を確立する業に取り組みました。しかしニーファイ人の中には、ニーファイ人の法律を変えてさばきつかさの制度ではなく王による統治を望む人たちのグループがあったのです。この件で投票を行うと、さばきつかさの制度を維持する票が多く集まりました。しかし、「王政党」の人々は民の声を良しとせず、レーマン人が攻めて来たときにほかのニーファイ人に加わって戦うことを拒否したのです。モロナイは軍を率いて王政党の人々と戦い、彼らを強制的にニーファイ軍に参加させなければならませんでした。このため、レーマン人との戦いにおいて、ニーファイ人の戦力は大幅に弱体化したのです（アルマ 51：1－21 参照）。

アルマ 51：22－27 を読み、王政党との紛争のためにレーマン人の戦力がニーファイ人の戦力を上回ってしまったことを示す証拠を見つけてください。次の原則について考えてください。「分裂と争いは平和を損なう。」

2. アルマ 50：39－40 とアルマ 51：22 を読み、パホーランと司令官モロナイが民の中に平和を確立するためにいかに精力的に働いたかに注目してください。友達の間や家庭内、学校関係者の間などで争いが起こるのを見たときのことを考えてください。また、平和を築こうと努める人の特徴についても考えてみましょう。平和を作り出す人の持つ特徴について聖典学習帳に書きましょう。

アルマ 52 章

モロナイとテアंकム、協力してレーマン人を打ち負かす

アルマ 51：33－34 の記録によると、アマリキヤはニーファイ人の最も偉大な軍事指導者の一人テアंकムによって殺されました。アマリキヤの死後、その兄弟アモロンがレーマン軍の統率者になりました。モロナイはテアंकムに、バウンティフルの地の北部の防備を固め、レーマン人に占領されているニーファイ人の都市で奪い返すことのできる町があれば取り返すようにという指示を与えました（アルマ 52：1－10 参照）。アルマ 52：15－17 を読み、テアंकムがミュレクの町を攻撃しないことにした理由を見つけてください。

テアंकムは、敵がとりでにこもっている場合にそれを打ち負かすことは難しいことを知っていました。このことから、次の原則を学ぶことができます。「わたしたちはサタンのとりでを避ければ、もっとよく誘惑を避け、誘惑に抵抗することができる。」

3. 敵のとりでにはどんなものがあるでしょうか。（敵のとりでとは、そこに行くと悪い影響を受けて罪を犯しやすくなるような場所のことです。例えば、参加者がアルコール飲料を飲んだり不適切な映画を見たりするパーティーなどがこれに当たります。）そのような場所を 2、3 箇所、聖典学習帳に書きましょう。

これはニーファイ人にとって難しい時期でした。ニーファイ人が王政党の者たちと戦っている間にレーマン人はニーファイ人の多くの都市を手中に収めたからです。陥落させた都市をレーマン人はとりでとして利用したため、ニーファイ人がそれを取り戻すのは困難でした。モロナイはレーマン人をミュレクの町からおびき出して奪い返せるようにする計画を練りました。アルマ 52：21－26 を読み、モロナイとテアंकムが何をしたか見てください。

4. ミュレクの町を手に入れるためにモロナイとテアंकムが行ったことを聖典学習帳に書きましょう（アルマ 52：21－26 参照）。また、モロナイが指揮官としてどんな人だとも書いてください。モロナイはニーファイ人にとってどんな点で良き指揮官だったと思いますか。

アルマ 54－55 章

モロナイ、アモロンの言う捕虜の交換条件を拒否し、ギドの町を取り返す

レーマン人とニーファイ人の戦争を通して、両軍は多くの捕虜を抱えるようになりました。レーマン人の指導者アモロンはモロナイに手紙を送り、両軍の間で捕虜の交換をする話を持ちかけました。モロナイは喜びました。捕虜を交換すればニーファイ人の捕虜を取り戻すことができ、自分たちが抱えているレーマン人の捕虜に食料その他の世話をする必要がなくなるからです（アルマ 54：1－2 参照）。

ところが、モロナイがアモロンと手紙のやり取りをしたところ、アモロンは降伏してレーマン人の支配下に入ることをニーファイ人に要求してきたのです。ニーファイ人は人殺しであるからレーマン人がニーファイ人と戦うのは正当な行為だ、というのが彼の言い分でした。アモロンはまた、神などいないと言い放ちました（アルマ 54：16－24 参照）。

モロナイはこの手紙を受け取ると、アモロンが偽りを言っていることを見抜きました。ニーファイ人と戦う正当な理由などレーマン人になく、アモロンは承知していたのです。捕虜の交換をしてレーマン人の戦力を増大させることはしないとモロナイは言いました。捕虜を交換することなくニーファイ人の捕虜を救出する方法を見つけようとしたのです（アルマ 55：1－2 参照）。

アルマ 55：3－24 を読み、ニーファイ人の捕虜を救出するためにモロナイが何をしたか、調べてください。

モロナイはアモロンの要求に応じることを拒否してニーファイ人の捕虜の救出策を模索する一方で、レーマン人がニーファイ人より優位になることを阻止し、ニーファイ人が有利な立場に立てるように努めました。モロナイのこの模範から学ぶことのできる一つの真理はこれです。「わたしたちが主を信頼し、厳密に主に従うならば、主は苦難のときにわたしたちを支えてくださる。」

アルマ 55：3－24 に出てくる話は、手に汗握る救出劇です。この話を喜んで聞いてくれるような家族や友達がいなか考え、時間を見つけてその人にこの話をしてください。その人に前の段落の太字で印刷された原則を教えて、モロナイがどのような点でこの原則を実践しているか説明してもよいでしょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 50－52 章、54－55 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 21－第 3 日

アルマ 53 章： 56－58 章

はじめに

ヒラマンと司令官モロナイは、別々の場所でレーマン人と戦いました。ヒラマンはモロナイに手紙を送り、自分の率いる兵士がレーマン人と戦ったことを説明し、2,060 人の若い兵士の偉大な信仰は大したもの、それに満足していると伝えました。このニーファイ人の戦士たちは信仰と勇気があったために戦いで主の助けを受け、苦難のときに祝福として、自信と希望を得たのです。

アルマ 53 章；56 章

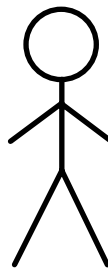
アンテプスとヒラマンの軍、レーマン人最強の軍を破る

司令官モロナイがある場所でレーマン人と戦っているとき、ヒラマンは別の場所に自分の軍を率いていました。ヒラマンの軍にはアンモン人の 2,000 人の若者がいました。この若者の親は敵が再び攻めてきても二度と武器を取らないという聖約を交わしていましたが、息子たちはその聖約を交わしていなかったため、ニーファイ軍に加わることができたのです（アルマ 53：10－18 参照）。



1. 聖典学習帳に下の絵を描いてください。アルマ 53：18－21 を読み、2,000 人の青年たちが戦いに行く前に身に付けた特質を説明する言葉を探してください。見つけた言葉を「戦いに行く前に身に付けた特質」という見出しの下に書きます。自分の聖典でその言葉に印を付けてもよいでしょう。

戦いの前に身に
付けた特質



戦いのときに
示した特質

若い兵士たち－若い末日聖徒

ニーファイ人の軍事指導者アンテプスは自分たちの土地の一部を守りましたが、ニーファイ軍は兵士の数ではレーマン軍をはるかに下回っていました。ですから、ヒラマンが 2,000 人の若い兵士を連れて加勢に来たことにアンテプスは喜びました（アルマ 56：9－10 参照）。

敵との初めての戦いでこの 2,000 人の若い兵士たちはレーマン人最強の軍隊をおびき出しました。そこで、ニーファイ人の指揮官アンテプスは自分の軍にレーマン軍を背

後から追うよう命じたのです。しかしアンテプスの軍がレーマン軍に追いつくころになると、レーマン軍は進軍を止めてしまいました。ずっと逃げて来た若い兵士たちは、レーマン人が自分たちを追うのをやめたことに気づきました。これはわなで、レーマン人は自分たちが引き返したところを狙って滅ぼそうとしているのかもしれません。または、アンテプスの軍が背後からレーマン軍に追いついたために進軍が止まったのかもしれません。若い兵士たちには真相が分かりませんでした。戻ってレーマン人を攻撃するべきかどうか、ヒラマンは決めかねました（アルマ 56：29－43 参照）。

アルマ 56：43－48 を読み、この若い兵士たちが戦いの重要な局面で示した特質を表している言葉を探してください。見つけた特質を、聖典学習帳の「戦いで示した特質」という見出しの下に書きましょう。自分の聖典でこの特質を表す言葉に印を付けることにしてもよいかもしれません。

アルマ 56：49，54－56 をよく読んで、2,000 人の若い兵士たちが引き返してレーマン人と戦ったところどうなったかを見てください。次の真理を説明する言葉を探しましょう。「わたしたちは信仰を働かせるとき、神から力を受けることができる。」



2. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 若い兵士たちが持っていた特質をはぐくむと、難しい状況に陥っても信仰を持って行動することができるようになります。なぜでしょうか。

b. 自分（または、知っている人）が信仰を持って行動したところ、神から力を頂いて難しい状況を切りぬけることができたときのことを書いてください。

アルマ 57 章

ヒラマンの軍隊、アンテバラとクメナイの町を取り返す

ヒラマンとその兵士たちはアンテバラの町とクメナイの町をレーマン人の手から取り返しました。その間、ヒラマンのもとには増援部隊が到着しました。ゼラヘムラの地から数千人の兵士が来て軍に加わり、アンモンの息子たちがさらに 60 人加わったのです（アルマ 57：1－12 参照）。

ヒラマンの軍がクメナイの町を取り返すと、レーマン人がまた攻撃してきました。ヒラマンの軍は再び苦境に陥りましたが、そのとき 2,060 人の若い兵士たちは全軍にとって大きな力になりました。アルマ 57：19－21 を読み、この戦いで 2,060 人の若い兵士たちが見せた特質を幾つか探してください。その特質も、聖典学習帳の「戦いで示した特質」のリストに書き加え、自分の聖典で印を付けておくといでしょう。



3. この若い兵士たちの決定的な特徴の一つは、「そのとおりに」従うことでした（アルマ 57：21）。以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 命令に「そのとおりに」従うとはどういう意味だと思いますか。



b. 指揮官の号令にそのとおりに従ったことによってこの若い兵士たちは戦いに勝利を収めました。なぜだと思いますか。

c. 主の戒めにそのとおりに従うと、人生で出遭う霊の戦いでどんな助けが得られるのでしょうか。

自分の聖典または聖典学習帳に、次の原則を書いてもよいでしょう。「わたしたちが厳密に主に従うならば、主はわたしたちの戦いで支えてくださる。」十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、神の戒めに「そのとおりに」従うことがなぜそれほど大切なのかを、次のように説明しています。

「皆さんは」守る戒めを選び、そのほかの戒めを無視して破る人々に出会う[でしょう。]わたしはこれを、好きな料理を選ぶカフェテリア式の従順と呼んでいます。えり好みするというこの習慣はうまくいきません。惨めな結果を招きます。神にお会いする用意をするために、神の戒めをすべて守るのです。戒めに従うには信仰が必要であり、神の戒めを守ることによってその信仰は強まるでしょう。

従順であれば、神の祝福が限りなく注がれます。神は従順な子供たちを祝福し、束縛と災いから解放してくださいます。また、さらなる光を与えてくださいます。

……神の戒めに従えば肉体的にも霊的にも守られ〔ます。〕」(「信仰をもって将来に臨む」『リアホナ』2011年5月号, 34 - 35)

アルマ 57:25 - 27 を読み、主がその力を使ってこの若い兵士たちを守られた理由を幾つか探してください。この聖句を読んで、あなたは若い兵士たちのどんな点にいちばん感銘を受けましたか。

わたしたちが正しいことを行っているときですら、神が必ず助けてくださるというわけではありません。若い兵士たちは死を免れはしたものの、全員が負傷しましたし(アルマ 57:25 参照)、義にかなったそのほかのニーファイ人の中には殺された人がたくさんいたのです(アルマ 57:26 参照)。しかし、神は困難なときに必ず力づけてくださり、わたしたちに必要なものを与えてくださいます。最終的に神は、戒めに従うすべての者に永遠の祝福を与えてくださるのです。

アルマ 58 章

ニーファイ軍、救援物資を待ち、マンタイの町を取り返す

ヒラマンの軍には、レーマン人との戦いだけでなく別の悩みもありました。彼らはニーファイ人政府の中心地であるゼラヘムラからある程度離れた場所で戦っていました。ヒラマンの軍は困難な戦いの幾つかで勝利を収めました。政



府からは必要な食料も物資も援兵も送られてこなかったのです。なぜ政府の援助がないのか、その理由は分かりませんでした。(アルマ 57:7 - 9 参照)



4. アルマ 58:10 - 12 を読み、以下の質問に答えてください。

- a. ニーファイ人はこの困難な状況に直面したときに、何を行いましたか。
- b. 主は彼らの心からの懇願と祈りに、どのようにこたえられたでしょうか。
- c. アルマ 58:12 によると、主の保証はヒラマンとその軍隊にとってどのように助けとなりましたか。

自分の聖典または聖典学習帳に、次の原則を書いてください。「わたしたちは苦難のときに神に頼るならば、神の保証を受けて信仰が強められ、希望を与えられる。」

兵力が弱かったにもかかわらず、ヒラマンとその兵士たちはマンタイの町を手に入れることができました(アルマ 58:13 - 41 参照)。ヒラマンは兵士たちの勝利はすべて主の助けのおかげだと言っています(アルマ 58:37 参照)。

ヒラマンはこの度もまた、若い兵士の成功に驚嘆しました。アルマ 58:39 - 40 をよく読んで、若い兵士たちが困難な状況の中でどんな点で勇敢だったかを示している言葉を探してください。見つけた言葉に自分の聖典で印を付けてもよいでしょう。



5. 困難な状況の中で、神に頼り神の助けを感じたときのことを聖典学習帳に書きましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 53 章、56 - 58 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

アルマ 59 – 63 章

はじめに

ヒラマンは司令官モロナイに手紙を書き、兵士の奮闘を伝えるとともにニーファイ人政府からの援助を願い求めました。司令官モロナイはヒラマンの成功を知って喜んだものの、政府が援軍を送るのを怠ったことにモロナイは腹を立てました。司令官モロナイは大さばきつかさパホーランを非難する手紙を書きます。パホーランからの返信には、政府に対する反逆があったことが綴られていました。モロナイはパホーランのために進軍し、反乱軍を制圧しました。その結果ニーファイ人は団結してレーマン人を打ち破ることができました。14 年にわたる戦争をへてニーファイ人の地に再び平和が戻り、ヒラマンと彼の同僚たちは教会の建設に力を集中することができるようになったのです。

アルマ 59 章

ニーファイ人、とりでを失う。モロナイ、民の悪事を悲しむ

司令官モロナイはヒラマンから軍の勝利を伝える手紙を受け取り、民とともに喜びました。そこで、ゼラヘムラにいるニーファイ人の指導者パホーランに手紙を書いて、ヒラマンに援軍と物資を送るよう要請したのです。しかし援軍も物資も送られて来ませんでした。そのため、ニーファイハの町をレーマン人が攻撃して来たときにニーファイハの人々は退去を余儀なくされ、レーマン人に町を占領されてしまったのです。

アルマ 59：9 – 12 を読み、レーマン人の勝利を知ったときのモロナイの反応を見てください。自分の聖典で、アルマ 59：9 の中の「レーマン人の手に落ちないように町を守ることの方が、それを彼らから取り返すことよりも容易である」という言葉に印を付けてもよいでしょう。この言葉から、次の原則を学ぶことができます。「忠実なままでいることの方が、道を外れた後で信仰に立ち返ることよりも容易であり、もっと良い。」

 1. アルマ 39：9 の中で印を付けた言葉と、前の段落の太字で印刷された原則をよく読んでください。以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 有害な薬物の中毒に陥らないようにする方が、中毒を克服するよりも容易なのはなぜでしょうか。
- 証を維持することの方が、証を失った後でそれを再び得ることよりも容易であるのは、なぜでしょうか。
- 教会に行かなくなってからまた教会に戻るよりも、ずっと教会に通い続ける方が容易なのはなぜでしょうか。



アルマ 60 – 62 章

モロナイ、政府の怠慢の理由をパホーランに問う

ニーファイハの町がレーマン人の手に落ちてしまうと、司令官モロナイはゼラヘムラの大さばきつかさパホーランの非を訴える手紙を書くことにしました。アルマ 60：17 – 24 を読み、モロナイがパホーランとゼラヘムラの民を非難する理由を探してください。

アルマ 60：23 をもう一度読み、「まず器の内側を清めなさい」と司令官モロナイが言っていることに注目してください。モロナイは、ニーファイ人政府とその民から腐敗を取り除く必要があると言っていたのです。ただし、この言葉は現代のわたしたちの生活にも当てはめることができます。コップの内と外に汚れか泥をつけるとします。コップの外側をきれいにした後、それから安心して飲めると思うでしょうか。

-  2. 以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。
- わたしたちは自分自身を「器」と考えた場合、内側を清めるとは、どういう意味でしょうか。
 - わたしたちが器の内側を清めると主の王国でさらに偉大な奉仕ができるようになるのはなぜでしょうか。

アルマ 60：33 – 36 の記録によると、司令官モロナイは、自分の軍隊とヒラマンの軍隊に直ちに援兵と物資を送るように言っています。もしパホーランがそれを送らないならば軍隊を率いてゼラヘムラに行き、力づくで送らせるとモロナイは言いました。パホーランはモロナイの手紙を受け取ると、すぐに返事を書き送ります。アルマ 61：1 – 5 を読み、ゼラヘムラで何が起きているかを調べましょう。

アルマ 61：9 – 14 を読み、モロナイの非難に対するパホーランの対応について考えてください。パホーランの偉大な人格を示す言葉に印を付けてもよいでしょう。パホーランは不快に思うどころか、主の下で力を合わせて敵と戦おうとモロナイに呼びかけたのです。アルマ 62：1 を読み、パホーランからの返事を受け取ってモロナイがどう感じたかを見てください。

次の真理を聖典学習帳に書いてもよいでしょう。「わたしたちはほかの人々の言動に腹を立てないという選**び**をすることができる。義にな**ら**なかった状態ではほかの人々と一つになるとき、悪に対する戦いでもっと強く**い**られる。」

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は次のように教えています。



「イエス・キリストの贖**い**が持つ、人を強める力を通して、皆さんもわたしも、傷つくことを避け、克服することができます。『あなたのおきてを愛する者には大いなる平安があり、何ものも彼らをつまずかすことはできません。』(詩篇 119:165) ……」

……モロナイは、パホーランを「非難し」(アルマ 60:2)、無頓着と怠慢、義務の不履行を厳しく糾弾しました。パホーランはモロナイとその言葉に憤慨することもできましたが、彼は傷つかないことを選びました。……

自分の霊の成熟度を測る最も適した指標の一つとして、人々の弱さや未熟さにどう対処するか、そして人々からの自分を傷つけるかもしれない行動にどのように反応するかということがあります。物事や出来事、あるいは表現の仕方が攻撃的であっても、あなたやわたしは傷つかないことを選択することができます。そして、パホーランのように『それはどうでもよいことです』と言うことができるのです〔アルマ 61:9〕。」「(何ものも彼らをつまずかすことはできません)『リアホナ』2006年11月号, 90-91)



3. ほかの人の言葉や行動に対して傷つかない選択をしたときのことを考えてください。傷つかない選択をすることの大切さを短い文にまとめましょう。

アルマ 62 章の記録によると、司令官モロナイは、自分の軍隊を率いてゼラヘムラに進軍し、パホーランを助けました。そして、王を擁立してレーマン人と協定を結ぼうとしていたニーファイ人の離反者の団体、王政党を壊滅させたのです。パホーランがモロナイとヒラマンの軍に援兵と物資を送ることができなかった原因は王政党の反対でした。そこでモロナイとパホーランは力を合わせ、ニーファイ人のほかの軍隊の助けも受けて、自分たちの地からレーマン人を駆逐したのです。この間に多くのレーマン人が悔い改めてアンモンの民に加わりました。

このような戦争が終わりに近づくころ家族や個人に試練があったようです。どんな試練だったか想像してください。アルマ 62:39-41 を読み、戦争という試練からニーファイ人がどのような影響を受けたか見ましょう。読みながら、この聖句から学べる真理を探してください。

自分の聖典のアルマ 62:39-41 のところ、または聖典学習帳に次の原則または真理を書きましょう。「試練に直面するときに主にもっと近づくことができる。」



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 逆境のときに、神の前にへりくだる人もいれば、かたくなになる人もいます。なぜだと思いますか。

b. 戦争に関する章を読んだとき、困難なときや試練のときにイエス・キリストの弟子であることについて、どのようなことを学びましたか。

アルマ 63 章

多くのニーファイ人、北方の地へ旅立つ

ヒラマンの没後(アルマ 62:52 参照)、その兄弟シブロンが神聖な記録を保持しました。アルマ 63:1-2 を読み、シブロンがどんな人だったか見てください。アルマ 63 章の記録によると、モロナイとシブロンが亡くなると、息子モロナイハがニーファイの軍隊の司令官になりました。

アルマ 63:10-13 を読んでください。シブロンは亡くなる前、ヒラマンの息子ヒラマンに神聖な記録を託しました。ヒラマンは既にかかれていた記録を保存し、後に「ヒラマン書」となる記録を刻み始めます。

アルマ 63:5-28 には、多くのニーファイ人が船で北方の地に行き、消息を絶ったと記録されています。またアルマ 63 章の終わりの方を読むと、レーマン人とニーファイ人の間に再び争いが起こるようになったことも分かります。このようにして、長く感動的なアルマ書は終わります。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、アルマ 59-63 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

はじめに

ヒラマン書

なぜこの書を研究するのか

ヒラマン書の研究を通して、雄々しく主に従い、イエス・キリストについて証したヒラマン、ニーファイ、リーハイ、そしてレーマン人サムエルといった偉大な人々の模範と教えから学びます。これらの人々の教導の業は、神が御自分の僕たちにその御心を成し遂げることができるよう力をお授けになること、また、義にかなった人々の働きには、何千人もの人々に祝福をもたらす力があることをはっきりと示しています。また高慢、悪事、そして秘密結社から生じる結果についても学びます。

だれがこの書を書いたのか

モルモンはニーファイの大版から記録を短くまとめ、ヒラマン書を作りました。この書はヒラマンの息子であり、息子アルマの孫であるヒラマンにちなんで名付けられました。ヒラマンはおじのシブロンから記録を受け取り、ニーファイ人の義にかなった大さばきつかさとして奉仕しました。また、息子ニーファイとリーハイに、贖い主、イエス・キリストのことを覚えておくようにと教えました（ヒラマン5:9-14 参照）。後に、これらの教えがきっかけとなり、ニーファイは大さばきつかさとしての職を捨て、ニーファイ人とレーマン人に悔い改めを宣べ伝えました。何千人ものレーマン人が改宗した後、サムエルという名のレーマン人の預言者が靈感を受けて、ニーファイと同じ時期に、ニーファイ人の間で悔い改めを宣べ伝え、預言しました。ヒラマン書はヒラマン（ヒラマン1-3章）とニーファイ（ヒラマン4-16章）が統治した時期に保管された記録から取られています。ニーファイの記録にはレーマン人サムエルの預言と教えが含まれていました。

いつ、どこで書かれたか

ヒラマン書の原典として用いられた記録は恐らく、紀元前52年から紀元前1年の間に書かれました。モルモンは紀元345年から紀元385年の間のどこかでそれらの記録を短くまとめました。モルモンはこの書を編集したときに自分がどこにいたのかについては記していません。

単元 22 — 第 1 日

ヒラマン 1 - 2 章

はじめに

大さばきつかさのパホーランが死んだ後、パホーランの息子であるパホーラン、パアンカイ、パクメナイのうちのだれが新しい大さばきつかさになるべきかについて、ニーファイ人の民の中で深刻な争いが起こりました。パホーランが民に選ばれて大さばきつかさとなりました。パアンカイの支持者の一人で、秘密の団で活動していたキシクメンという男がパホーランを殺し、その結果、パクメナイが大さばきつかさに任命されました。この争いと分裂に乗じて、レーマン人はニーファイ人の首都であったゼラヘムラを占領し、パクメナイを殺しました。ニーファイ軍の指揮官モロナイハが、ゼラヘムラの町を取り戻し、ヒラマンが大さばきつかさに任命されました。キシクメンはヒラマンを殺そうとしていたときに殺され、ガデアントンが秘密の団の首領となりました。

ヒラマン 1 章

だれが大さばきつかさになるべきかという問題を巡る争いのために、ニーファイ人の首都であったゼラヘムラは、レーマン人に征服される

最近、だれかと口論したときのこと、あるいはほかの人が口論しているのを目にしたときのことについて考えてください。そのような争いはどんな問題を引き起こすでしょうか。ヒラマン1章を学ぶときに、争いがニーファイ人にもたらした問題を見つけ、彼らの経験から何が学べるか深く考えてください。

次の聖句を読み、質問に対する答えを与えられた余白に書いてください。

- ヒラマン1:1-4 ニーファイの民の中に争いや分裂が生じた原因は何でしたか。 _____
- ヒラマン1:5-8 だれが大さばきつかさに任命されましたか。その人物の二人の兄弟はどのような態度を執りましたか。 _____
- ヒラマン1:9-12 キシクメンは何をしたでしょうか。また、キシクメンと彼の秘密の団は互いにどのような誓いを立てたでしょうか。 _____

ニーファイ人の中で争いが起こったこの時期に、コリアンタマーという男がレーマン人を率いてゼラヘムラの町を攻撃しました。ヒラマン 1:18-22 を読み、ニーファイ人が争っていた結果、レーマン人は何を遂げたのかを調べましょう。

この出来事から分かる真理の一つは、次のようなものです。「争いは分裂を生じ、敵の影響を受けやすくする。」自分の聖典のヒラマン 1:18 の横にこの原則を書き込むとよいでしょう。



1. この原則をもっとよく理解するため、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- a. 一人の若い女性が、友達のことで両親と口論しています。このような争いは、生活のほかの分野に関して彼女が両親の助言を聞く際にどのような影響を及ぼすと思いますか。
- b. 一人の若い男性が定員会のある会員に怒りの感情を抱いています。このような争いは、彼の教会での振る舞いにどのような影響を及ぼすと思いますか。
- c. 自分の生活のどのような分野で周囲の人々との間に争いがあるか考えてください。あなたの生活からそのような争いを取り除くためにできることを具体的に一つ挙げてください。どうすればそれを達成することができるでしょうか。

ヒラマン 1:22-30 には、レーマン人は、ゼラヘムラを征服した後、すぐにバウンティフルの町に進軍し、この町も征服しようとしたと記録されています。ニーファイ人の軍隊はレーマン人を取り囲み、彼らを打ち負かしました。多くのレーマン人が殺され、降伏した者は母国へ帰ることを許されました。

ヒラマン 2 章

ヒラマンが太さばきつかさになる。秘密の団がヒラマンの命を奪うのをヒラマンの僕が阻止する

ヒラマン 2 章を学ぶ前に、次のことについて考えてください。誠実な若い女性や若い男性は、過ちや罪を解決するためにどのような努力を払うでしょうか。それを覆い隠そうとしましょうか、それとも主や傷つけた相手から赦しを得ようとするでしょうか。

キシクメンがパホーランを殺した後、キシクメンと秘密の団に所属している者たちは、だれが殺人を犯したか決して口外しないと互いに約束しました。ヒラマン 2:3-4 を読み、「だれにもキシクメンの悪事を知らせないという誓いを立てていた」という言葉に注目しましょう。次に、教義と聖約 58:43 を読み、何か間違ったことをしたときに、主がわたしたちにどのような行動を取るよう望んでおられるか見つけましょう。



2. ヒラマン 2:3-4 と教義と聖約 58:43 で学んだことを基にして、罪を犯したときに主がわたしたちに望んでおられる行動とキシクメンおよび彼の仲間が取った行動との違いを聖典学習帳に書いてください。

ヒラマンはパホーランの弟であるパクメナイの死後、新しい太さばきつかさとなり、キシクメンと彼の秘密の団はヒラマンも殺すことになりました。そのころ、ガデアントンという男がこの秘密の団の首領となりました。ヒラマン 2:2-9 を読み、下の余白にキシクメンが殺された経緯を書いてください。

ヒラマン 2:10-14 を読み、ガデアントン強盗団がどうなったか見つけましょう。モルモンは、「秘密結社」と呼ばれるガデアントン強盗団のような秘密の組織（例えば、ヒラマン 3:23 参照）が、最終的にニーファイの民を滅ぼす元になると警告しています。モルモン書の昔の預言者も、秘密結社を受け入れないように警告しています（2 ニーファイ 26:22；アルマ 1:12 参照）。モルモン書は次の原則を教えています。「秘密結社は社会を滅亡に至らせる恐れがある。」

十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、今日の秘密結社の危険性について警告しています。この警告を読みながら、秘密結社に立ち向かうために、わたしたちにできることは何か印を付けましょう。



『モルモン書』が教えているように、犯罪にかかわる秘密結社は、個人や家族だけでなく、文明全体にまで深刻な影響を及ぼします。今日の秘密結社には、暴力団や麻薬組織、マフィアなどがあります。現代の組織には、モルモン書の時代のガデアントン強盗団たちと似通った機能があります。……彼らの目的は、『国の法律にも神の律法にも背いて人を殺し、略奪し、盗み、みだらな行いをし、あらゆる悪事を行うこと』なのです〔ヒラマン 6:23〕。

わたしたちが気をつけなければ、現代の秘密結社は、モルモン書の時代とまったく同じように、迅速かつ完璧に、権力と影響力を手にすることができるでしょう。……

『モルモン書』は、悪魔が『罪の根源』であり、秘密結社の『創設者』であると教えています〔ヒラマン 6:30〕。……その目的は、個人や家族、地域社会、国家を破壊することです〔2 ニーファイ 9:9 参照〕。『モルモン書』の時代には、かなり成功していました。そして現代では、さらに多くの成果を収めつつあります。だからこそ、わたしたち……にとって重要なのは、地域社会の安全のためにできることを行って、真理と正義を守るために堅く立つことなのです。

……〔わたしたちは〕模範を示し、教会の標準を守り、周囲の人々に証を述べることによって『神の証人になる』のです〔モーサヤ 18：9 参照〕。〕（「真理と正義を守る」『聖徒の道』1998 年 1 月号, 43, 44）

あなたの地域社会と国において真理と正義を守るというバラード長老の教えを応用する方法を、一つ、あるいは幾つか考えてください。



3. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 1－2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 22－第 2 日

ヒラマン 3－4 章

はじめに

ヒラマン書前半の章に記されている時期に、ニーファイ人は平和な時代を享受し、争いの時代に耐えました。平和な時代には、何万人ものニーファイ人が教会に加わりました。非常に繁栄したこの期間に続いて、教会の謙遜な会員は、高慢になった人々から迫害を受けたにもかかわらず信仰を深めました。多くのニーファイ人が邪悪になったため、彼らは南の地をすべてレーマン人に奪われてしまいました。

ヒラマン 3 章

大勢のニーファイ人が北方へ移住する一方で、教会は悪事と迫害のただ中であって繁栄する

ヒラマン 3：1－2 を読み、ニーファイ人の中に数年間「まったく争いがな〔い〕」時期があったことに注目しましょう。次にヒラマン 3：3, 19 を読み、ニーファイ人の中で起こった変化を表す言葉や語句を調べましょう。

ヒラマン 3：4－16 から、ニーファイ人の中で争いがひどくなったために、多くの人々が北方の地に移住したことが分かります。大勢のニーファイ人が邪悪になり、レーマン人と交じりました。

争いと罪惡があつたにもかかわらず、ヒラマンは異なる生き方を選びました。ヒラマンはニーファイ人の中で大さばきつかさとして、また預言者として奉仕していました。ヒラマン 3：20 を読み、ヒラマンについてどのようなことが書かれているか調べましょう。（公正という言葉は公平、あるいは偏見やえこひいきがないという意味です。）

ヒラマンのどのようなところに感銘を受けますか。この争いと罪惡の中であって、彼がこれほどまでに堅固であり続けられたのはなぜだと思いますか。ヒラマン 3：20 の「引き続き」という言葉に印を付けるとよいでしょう。

ヒラマン 3：22－26 を読み、ニーファイ人がどのようにして良い方向に変わり始めたか印を付けましょう。何人の人が教会に加わりましたか。_____

モルモンは、「これによって分かるように」、「わたしたちに分かるのである」といった表現を使って、わたしたちに学んでほしい真理を指摘しています。ヒラマン 3：27－30 で、これらの表現が何度か用いられており、モルモンがわたしたちに幾つかの大切な教訓を学んでほしいと望んでいたことが分かります。ヒラマン 3：27－30 を読み、鍵の語句に印を付け、モルモンがわたしたちに学んでほしいと望んでいた教訓を調べましょう。



1. 聖典学習帳の中で、以下の課題を行いましょう。

a. モルモンはあなたにヒラマン 3：27－30 から神の言葉についてどのようなことを知ってほしいと望んでいたか書いてください。

b. 聖文を研究することが、罪惡を避け、神のみもとへと向かう道を歩み続けるうえでどのような助けとなってきたか書いてください。

ヒラマン 3：32－34 を読み、教会員の中に教会員を迫害する人たちが出てきたことに注目しましょう。迫害者は、自分は教会に属していると言いながらも、実際は高慢で、教会の教えを信じていませんでした。彼らの行動のために、謙遜な教会員は多くの苦難を受けることになりました。神の預言者と戒めに従っているという理由で教会ではかの会員から迫害された彼らの経験が、どれほどつらいものであったか考えてみてください。

ヒラマン 3：35 を読み、忠実な教会員が迫害と苦難を受けたときに取った行動について学びましょう。



2. ヒラマン 3:35 で学んだことを基にして、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- 苦難のときに、謙遜な教会員の信仰は増したでしょうか、それとも衰えたでしょうか。
- 謙遜な教会員はどのようにして自らの信仰を強めたでしょうか。
- これらの教会員はどのような祝福を受けたでしょうか。

ヒラマン 3:33 - 35 を学ぶことによって、迫害や苦難からどのような影響を受けるかは各個人が決めるということが分かります。これらの聖句から学んだことに基づいて次の言葉を完成してください。「_____」

するとき、たとえ迫害や試練に遭ってもイエス・キリストを信じる信仰が増す。」（この文章を完成する方法は幾つかあります。）自分の聖典のヒラマン 3:33 - 35 の横に自分の作った文章を書き込むとよいでしょう。



3. この節の教えをもっとよく理解するため、次の質問のうち二つまたはすべての質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- 迫害や試練の中にあるときに、祈りと断食からどのような助けを受けてきましたか。
- 心を神に従わせるとはどういう意味だと思いますか。
- あなたはこれまでどのようなときに、迫害や試練の中でイエス・キリストに対する信仰を増すことができたでしょうか。

ヒラマン 3:36 - 37 を読み、ヒラマンが死んだころ、ほとんどのニーファイ人が霊的にどのような状態にあったか調べましょう。

ヒラマン 4 章

主の御霊はニーファイ人から退き去り、レーマン人はニーファイ人の南の地をすべて征服する

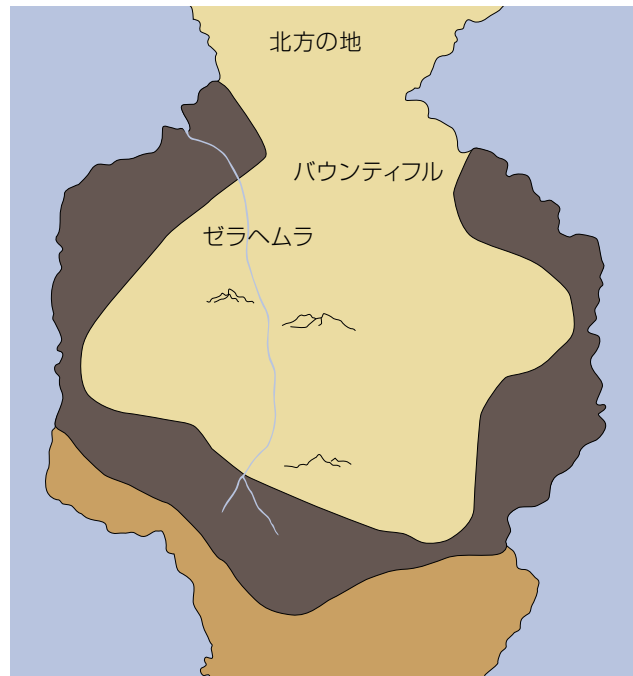
ヒラマン 4 章に記録されているように、ヒラマンの死後、ニーファイ人の高慢と争いによって、多くのニーファイ人がレーマン人に交じりました。レーマン人はニーファイ人と戦いました。ヒラマン 4:4 - 8 を読み、地図の中でレーマン人が征服したと思う領土に印を付けましょう。



4. ページの真ん中に縦の線を引き、聖典学習帳のページを二等分しましょう。ページの片方の上に「ニーファイ人の態度と行動を表す語句」と書き、もう片方の上に「これらの行動が原因で起こったことを表す語句」と書いてください。ヒラマン 4:11 - 13, 21 - 26 を読み、それぞれの見出しの下に 3 つ以上の語句を書いてください。

ヒラマン 4 章から次のような大切な原則を学ぶことができます。「高慢と悪事はわたしたちを主の御霊から引き離し、自分の力しか頼れない状態に置く。」自分の聖典のヒラマン 4:23 - 25 の横にこの原則を書き込むとよいでしょう。

ニーファイ人の経験において、自分の力しか頼れない状態に置かれることは戦いに負けて土地を失うことを意味し



ました（ヒラマン 4:25 - 26 参照）。わたしたちの生活でも、自分の力しか頼れない状態に置かれると、御霊が離れ去る恐れがあります。



5. あなたが生活の中で直面している「戦い」について考え、聖典学習帳にその中から一つ、あるいは幾つが書きましょう。あなたの生活の中でいつも御霊とともにいるために、できることを少なくとも一つ書いてください。また、主の力をもって人生の戦いに立ち向かう助けを受けるために、御霊とともに生きることがどれほど大切か、自分の気持ちを書いてください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 3 - 4 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 22 - 第 3 日

ヒラマン 5 章

はじめに

ニーファイ人は悪事を続け、その大半が義よりもむしろ悪を選ぶほどになりました。ニーファイとリーハイは父親の言葉に靈感を受け、福音を宣べ伝えることに専念しました。父親であるヒラマンは救い主の岩を生活の基とすることの大切さについて息子たちに教えました。リーハイとニーファ

イは、ニーファイ人を教えた後、レーマン人に教えを説いていたときに牢に入れられます。主がニーファイとリーハイを奇跡的に牢から解放された後、大勢のレーマン人が福音に改宗しました。

ヒラマン 5:1-13

ヒラマンは自分の息子であるニーファイとリーハイに、神の戒めを覚えておくように、またイエス・キリストの力から助けが得られることを覚えておくように教えた

次の6つの言葉を読みましょう。次の活動を完了するために、これらの言葉を全部覚えてください。あなたはこれらの言葉を見ないで聖典学習帳に書くよう求められます。「家族」「両親」「イエス・キリストの贖い」「預言者」「悔い改めは救いをもたらす」「戒めを守る」

 1. 学習ガイドを閉じ、聖典学習帳にこれらの6つの言葉を見ないで書いてください。

答え合わせをします。言葉を覚えるのは易しかったか難しかったかしばらく考えてください。「見ないで書く」という指示を事前に受けていたことで、違いがあったと思いますか。



スペンサー・W・キンボール大管長が語った次の言葉を読み、わたしたちが福音に従った生活を送ろうとするとき「思い起こす」という言葉がなぜそれほど大切なのか考えてください。「辞書の中から最も大切な単語を探すとしたら、それは何か知っているでしょうか。それは『思い起こす』という語だと思います。皆さんは全員聖約を交わし、行うべき事柄が何であり、それをどのように行うべきか知っているため、わたしたちにとって最も大切なことは思い起こすことです。」(“Circles of Exaltation” [CES 宗教教育者への講話, 1968年6月28日] 5)

今日、皆さんは父親から教わった真理を思い起こしたことによって、大勢の人々の生活に影響をもたらした二人の人物について学びます。今日のレッスンを進めていく中で、主はわたしたちに何を思い起こすよう望んでおられるか深く考えてください。

ヒラマン 5:1-4 に述べられているように、ニーファイは大きばきつかさの職を譲りました。民の罪悪が激しさの度合いを増したからです。彼と彼の弟のリーハイは、神の言葉を宣べ伝えることに余生をささげたいと思いました。務めを始めるときに、彼らは父ヒラマンの教えを思い起こしました。次の節を読み、ヒラマンが息子たちに思い起こすようにと言ったことを、与えられた余白にまとめましょう。これらの節に「思い起こす」(あるいは「忘れない」「覚えておく」)という言葉が出てくる度に印を付けてもよいでしょう。

- ヒラマン 5:5-7 _____
- ヒラマン 5:9-11 _____
- ヒラマン 5:12 _____

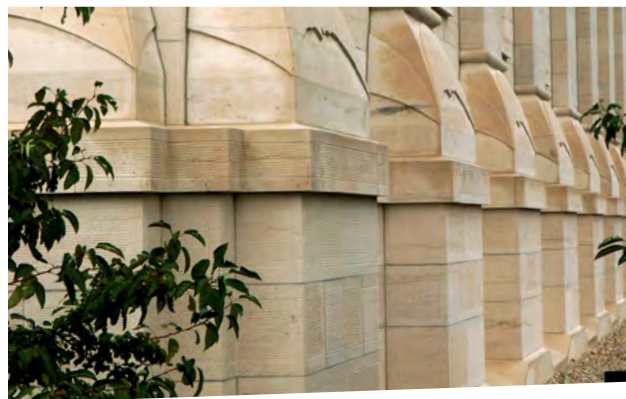


2. 読んだことをもっとよく理解するため、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. ほかの人の義になかった模範を思い起こすことは、「善いことを〔する〕」ことを選ぶうえでどのような助けとなるでしょうか。(ヒラマン 5:7)

b. イエス・キリストの贖罪を覚えておくためにあなたはどのようなことをしているでしょうか。

ヒラマン 5:12 をもう一度読み、次の原則の裏づけとなる語句を見つけましょう。「もしわたしたちがイエス・キリストの上に基を築くならば、サタンはわたしたちに対して力を持つことはない。」ヒラマン 5:12 はマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくといでしょう。



決して倒れることのない建物の設計を依頼されたと想像しましょう。次の質問にどう答えるか考えてください。

- そのような建物はどのような基が必要となるでしょうか。
- 堅固な基は、建物が悪天候や自然災害、そのほかの困難な状況に持ちこたえるうえで、どのような助けとなるでしょうか。
- 贖い主イエス・キリストの基の上に築くならば、悪魔からの攻撃を避けられなくても、それらを克服する力が与えられます。ヒラマン 5:12 のどのような言葉や語句が、そのことを表しているでしょうか。



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. あなたの生活をイエス・キリストの岩の上に築くとは、どのような意味だと思いますか。あなたは自分の生活でそうするために、どのように努力していますか。

b. あなたはこれまでどのようなときに、イエス・キリストの上に基を築いていたおかげで誘惑に耐え、試練を堪え忍ぶことができたでしょうか。

c. 救い主をあなたの生活の基とするために、どのようなことを改善できるでしょうか。

ヒラマン 5：14－52

主、牢の中にいたニーファイとリーハイを守られ、彼らを捕えた者たちが主に叫び求め悔い改めるときに暗闇を追い払われる

ヒラマン 5：14－19 に記録されているように、ニーファイとリーハイはゼラヘムラの地で大きな力をもって福音を宣べ伝え、大勢の人々にバプテスマを施しました。その後、彼らはニーファイの地へ向かいました。そこはレーマン人の地でした。次の活動は、レーマン人の中でニーファイとリーハイが経験した特筆すべき出来事を理解できるよう助けるためのものです。



4. 聖典学習帳の全ページに次の表を描きましょう。それから各欄の聖文を読み、それぞれの節で述べられていることを簡単に絵で描くか、短く要約しましょう。

レーマン人の中のニーファイとリーハイ		
ヒラマン 5：20 － 21	ヒラマン 5：22 － 25	ヒラマン 5：26 － 28
ヒラマン 5：29 － 34	ヒラマン 5：35 － 39	ヒラマン 5：40 － 44

この経験で、暗黒の雲は罪を、また一人一人を包んだ火の柱は聖霊を象徴しています。

28 節と 34 節をもう一度読み、暗黒の雲に覆われていたときに人々がどう感じたか書いてください。_____

43 節と 44 節をもう一度読み、火の柱に囲まれたときに人々がどう感じたか書いてください。_____

41 節と 42 節をもう一度読み、暗黒の雲を追い払うために、つまり、罪を悔い改めるために、人々が何をしたか書いてください。_____

ヒラマン 5：45－47 を読み、この経験から悔い改めについてどのような真理を学ぶことができるか深く考えてください。次の原則はその一つです。「わたしたちがイエス・キリストを信じる信仰を働かせ、罪を悔い改めるとき、聖霊がわたしたちの心を平安と喜びで満たしてください。」

ヒラマン 5：48－52 を読むと、およそ 300 人がこの奇跡にかかわり、福音に完全に改宗したことが分かります。彼らは出て行き、民を教え、「レーマン人の大半」が改宗しました（ヒラマン 5：50）。これらの改宗者は「武器」を捨て（ヒラマン 5：51）、「ニーファイ人の所有地をニーファイ人に譲り渡し〔ました〕。」（ヒラマン 5：52）モルモン書では、ほとんどの場合、人々は戦うことで自分たちの所有地を取り戻しています。しかし、この場面においては、敵が悔い改めて福音を受け入れたことによって、ニーファイ人は所有地を取り戻しました。



5. 今、生活の中で平安と喜びを感じているかどうか考えてください。暗黒の雲（例えば、悔い改めていない罪、家族や友人との争い、あるいは定期的に聖文を読んだり祈ったりしていないこと）が、あなたの生活を覆っていないか考えてください。その中から一つ、あるいは幾つかを聖典学習帳に書いてください。どうすればヒラマン 5 章に述べられているレーマン人の模範に従うことができるか深く考え、暗黒の雲を救い主に追い払っていただくために自分にできることを書いてください。悔い改めは、その解決方法にどのように含まれるでしょうか。悔い改めは、イエス・キリストの上に基を築くためにどのように役立つでしょうか。

マスター聖句－ヒラマン 5：12

ヒラマン 5：12 を読み、視覚的なイメージを与える言葉を見つけましょう（例えば、岩、基、風、雹、嵐など）。この節を覚えるために、1 枚の紙にこの節の各単語の最初の文字を書きましょう。言葉が視覚的なイメージを与えてくれる場合は、文字の代わりに、その言葉を象徴する簡単な絵を描きましょう。この紙だけを使って、この節を暗唱する練習をしましょう。この節の真理を覚えられるように、この紙を目につく所にはりましょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 5 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）

ヒラマン 6 - 9 章

はじめに

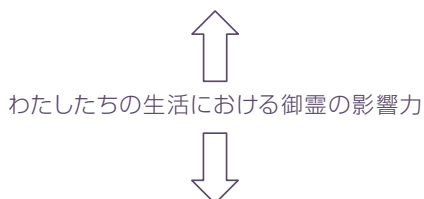
ニーファイとリーハイの伝道活動の後、レーマン人はさらに義になかった状態となりました。残念ながら、この時期に、ニーファイ人は邪悪になり、ガデアントン強盗団を支えるようになったため、主の御霊は彼らから退き去りました。預言者ニーファイは、ニーファイ人が引き続き悪事を行って生活するならば滅びるだろうと預言しました。邪悪なさばきつかさたちは、民の多くを扇動してニーファイに怒りを抱かせましたが、預言者を勇敢に弁護する人たちもいました。ニーファイは、自分の言葉が成就する証拠として、大さばきつかさがその兄弟に殺されていることを明らかにしました。ニーファイの言葉の真実性が証明されると、一部の人たちは彼を預言者として受け入れました。

ヒラマン 6 章

レーマン人は義人となり、ガデアントンの強盗たちと戦う。一方、ニーファイ人はガデアントンの強盗たちを支える



1. 聖典学習帳に次の図を描き、その上と下に書き込むための余白を残しておきましょう。



これまでヒラマン書を学ぶ中で見てきたように、ニーファイ人は主の御霊が自分たちの生活から退くような選択をし、レーマン人は主の御霊が自分たちの生活の中で増すのを促すような選択をしてきました。ヒラマン 6 : 1 - 5, 16 - 17, 34 - 36 を読み、レーマン人がどのようなことをしたために主の御霊を招いたのかを見つけ、それらを上向きの矢印の上に書いてください。同じ節で、ニーファイ人がどのようなことをしたために主の御霊が退いたのかを見つけ、それらを下向きの矢印の下に書いてください。

ニーファイ人とレーマン人から次の重要な原則を学ぶことができます。「わたしたちが主の言葉を信じ、それに従うとき、主はわたしたちに主の御霊を注いでくださる。」この原則の反対も真実です。「主の言葉を信じ、その言葉に喜んで従おうとしないときに、主の御霊はわたしたちから去る。」

聖典学習帳の表に書いたことを調べてみましょう。上半分に書かれた行動が進んで主の言葉を信じ、それに従う例となるか、また、下半分に書かれた行動がなぜ心のかたくなにし、進んで主の言葉に聞き従おうとしない例となるか考えてください。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 図の上半分にある前向きな行動の中から、自分が日常行っているもの、またはこれまでにやってきたものを一つ選びましょう。この行動はあなたの生活にどのように聖なる御霊を招いてきたのでしょうか。

b. 表の下半分に書かれた行動を調べましょう。これらの行動を避ける必要があるのはなぜでしょうか。

あなたの生活に主の御霊をさらに招くためにできることを一つ選び、これから 1 週間、そのことに一生懸命取り組みましょう。

ヒラマン 7 章

ニーファイ、邪悪なニーファイ人に教えを説き、悔い改めるように命じる

預言者ニーファイは北方の地で 6 年間宣教師として奉仕しました。ニーファイは、ニーファイ人を教えようとしたが、彼らはその言葉を受け入れず、邪悪な状態にとどまっていました。その後、ニーファイは故郷に戻りました。彼はとても落胆しました。ヒラマン 7 : 6 - 11 を読み、ニーファイが何をしたか調べましょう。

ニーファイが自分の庭にある塔の上で祈っているのを聞いて、人々が集まって来ました。その後、ニーファイは彼らを教え始めました（ヒラマン 7 : 12 - 29 参照）。ニーファイは民の悪事の結果について警告し、次の原則を強調しました。「もし罪を悔い改めるのを拒むならば、わたしたちは主の守りと永遠の命の祝福を失うことになる。」

ヒラマン 8 : 1 - 26

邪悪なさばきつかさたち、民を扇動してニーファイに對する怒りをあおる

預言者の言葉に耳を傾けるうえで妨げとなる影響力にはどのようなものがあるのでしょうか。ヒラマン 8 章を研究しながら、そのような影響に直面したときに取るべき行動について理解を深めてくれる箇所を見つけましょう。

ヒラマン 8 : 1 - 6 を読み、ニーファイ人のさばきつかさたち（彼らはガデアントン強盗団の団員でもあった）がニーファイの教えにどのような反応を示したかを見つけましょう。この節を読みながら、次の質問について深く考えてください。「さばきつかさたちは、おもにどのようなことを民に伝えようとしたのでしょうか。」「ヒラマン 8 : 4 によると、さ

ばきつかさはなぜニーファイを捕らえようとしなかったのでしょうか。」

預言者が教えていることを無視するようにと説得されたら、どうするか考えてください。ヒラマン 8 章には、さばきつかさがニーファイについて語った言葉に雄々しく反対した人々のことが書かれています。ヒラマン 8:7-9 を読み、その人々がニーファイを支持するために語った言葉にマーカーで印を付けるとよいでしょう。

ヒラマン 8:10 を調べ、彼らの言葉がその時の状況にどのような影響を与えたか注目しましょう。次の原則をヒラマン 8:7-10 の横に書くとよいでしょう。「もし悪に抵抗するならば、わたしたちはその進展を防ぐことができる。」



3. 聖典学習帳に、上に述べられた原則が現代においてなぜ大切だと思うか説明する短い文章を書いてください。



4. 次の質問から一つ、あるいは幾つかを選び、聖典学習帳に答えを書いてください。

- a. 預言者の教えを無視し、逆らわせようとする影響力に、どのように抵抗できるでしょうか。
- b. そのような影響力に雄々しく反対を表明し、主の預言者を支持するための適切な方法とはどのような方法でしょうか。
- c. あなた、またはあなたの知っている人は、これまでどのようなときにそのような影響力に反対を表明したでしょうか。その結果はどうでしたか。

ヒラマン 8:11-23 に記録されているように、ニーファイはイエス・キリストについて証した預言者のことを次々と民に思い起こさせました。ニーファイ人に次の原則を教えました。「イエス・キリストを信じる信仰を働かせて従順になると、わたしたちは永遠の命を受ける。」ニーファイの言葉を裏づける大勢の預言者の教えがあったにもかかわらず、民はニーファイとそのメッセージを受け入れませんでした。ヒラマン 8:24-26 を読み、預言者の証を拒否し続けたことによって、ニーファイ人が直面した結果を見つけましょう。それから次の質問について深く考えてください。「常に真理を拒否し、神に反抗する人が、そのような重大な結果に直面するのはなぜだと思いますか。」

ヒラマン 8:27-9:41

ニーファイ、大さばきつかさが自分の兄弟に殺害されていることを明らかにする

民が罪深い状態にあり、民の破滅についての預言が成就する証拠として、ニーファイはニーファイ人のさばきつかさが殺害されていることを明らかにしました。また、ニーファ

イは殺された男もその兄弟もともにガデアントン強盗団に属していることを宣言しました。(ヒラマン 8:27-28 参照。)



5. 聖典学習帳に次の原則を書いてください。**「預言者の言葉は成就する。」**自分がさばきつかさの殺害について調査している探偵だと想像してみましょう。括弧の中の節を読むことによって次の質問に対する答えを見つけま

しょう。あなたの答えを聖典学習帳に書いてください。

調査 1 日目ー

- a. ニーファイの主張について調べた 5 人は何を見つけましたか。なぜ彼らは地に倒れたのでしょうか。(ヒラマン 9:1-5)
- b. 人々はだれに殺人の容疑をかけましたか(ヒラマン 9:7-8)。

調査 2 日目ー

- c. だれが無実だと証明されたでしょうか。(ヒラマン 9:10-14, 18)
- d. だれが訴えられましたか。(ヒラマン 9:16, 19)
- e. ニーファイは自分の無実を証明するために、どのような証拠を挙げたでしょうか。(ヒラマン 9:25-36)
- f. 殺人者はだれでしたか。(ヒラマン 9:37-38)

次の質問に対する答えについて、自分の聖典に印を付けるとよいでしょう。

- ヒラマン 9:5 によると、殺害された大さばきつかさを発見した 5 人の人たちは何を信じ、恐れたでしょうか。
- ヒラマン 9:36 によると、自分の兄弟を殺害したと告白するとき、セアンタムは何について証するとニーファイは言ったでしょうか。
- ヒラマン 9:39-41 によると、一部の人々はどうしてニーファイを信じたのですか。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 6-9 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

ヒラマン 10 章

はじめに

大さばきつかさの殺害に関する判決が下された後（ヒラマン 7－9 章参照）、ニーファイは家路に就きました。ニーファイは主から示されたことについて深く考え、人々の悪事について思い悩みました。ニーファイが落胆していたとき、主はニーファイに語りかけ、彼をとこしえに祝福し、結び固めの力をお授けになりました。主は民に悔い改めを説くようニーファイにお命じになりました。ニーファイは直ちに主の命令に従いました。

学ぶための環境を生み出す

福音を学ぶための理想的な環境は、秩序、敬虔、そして平安な気持ちから成ります。聖文を研究し、聖文について深く考えるのを妨げるものを取り除くようにしましょう。十二使徒定員会会長であるボイド・K・バックー会長は、「啓示は穏やかな環境の中ではいっそう容易に与えられ」、「敬虔さは啓示をもたらす」と教えています（「啓示をもたらす敬虔さ」『聖徒の道』1992 年 1 月 号, 23, 24）。

らず、悔い改めないことが分かりました。ニーファイは落胆しながら、家路に就きました。ヒラマン 10：1－3 を読み、ニーファイが歩いて家に帰る途中、何について深く考えたか見つけましょう。これらの節で「深く考え〔る〕」という言葉が出てくる度に印を付けるとよいでしょう。深く考えるというのは、通常、聖文や神に関するそのほかの事柄について瞑想し、よく考えることを意味します。神にかかわる事柄について深く考えることには、祈りと組み合わせると、啓示をもたらす、理解を深める力があります。

次の質問について考えてください。

- ニーファイは何について深く考えていたのでしょうか。
- 彼はなぜ「ひどく沈んでいた」、すなわち悲しかったのでしょうか。
- 深く考えていたときに何が起こったのでしょうか。

ヒラマン 10：1－3 には次のような原則が示されています。「主にかかわる事柄について深く考えることは、啓示を受ける備えとなる。」聖文にあるほかの例もこの原則を明らかにしてくれます。ニーファイは父リーハイが教えたことについて深く考え、それが真実であることを知りました（1 ニーファイ 10：17；11：1 参照）。少年ジョセフ・スミスはヤコブの手紙 1：5 について「……再三再四思い巡らし」たことで、真理を知らされました（『ジョセフ・スミスー歴史』1：11－19 参照）。ジョセフ・F・スミス大管長は死者の贖いを扱った聖文について深く考え、そのことについて思い巡らしていたときに、真理を知らされました（教義と聖約 138：1－6, 11 参照）。

主にかかわる事柄について深く考えるときに人々が受けるほとんどの啓示は、声を聞いたり、示現を見たり、あるいはそのほかの劇的な方法で与えられるわけではありません。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、次のように述べています。



「啓示は様々な方法で与えられます。例えば、夢や示現、天の使いとの対話、靈感などです。ある啓示は即座に、強烈な方法で受け取ります。ほかの啓示は少しずつ、わずかに認識されます。…」

…ほとんどの場合、啓示は時間をかけて少しずつもたらされ、わたしたちの望み、ふさわしさ、準備の度合いに応じ与えられます。天の御父からのそのようなメッセージは少しずつ、優しく『天からの露のように〔わたしたち〕の心に滴る』ものです（教義と聖約 121：45）。このパターンの啓示は珍しいことではなく、むしろ一般的であり、ラバンから真鑑の版を無事に手に入れるまでに様々な方法を試したニーファイの経験に現れています（1 ニーファイ 3－4 章参照）。

回復された福音の基本的な真理は聖なる森で預言者ジョセフ・スミスに一度に伝えられたものではありませんでした。それらの貴い宝は、状況が整ったとき、時宜にかなっているときに明らかにされました。

ジョセフ・F・スミス大管長はこのパターンの啓示が自分の人生でどのように起きたかを説明しています。『少年のころ、……わたしは頻繁に……自分の証を得たくて、何かすばらしい奇跡をお見せくださいと主に求めました。しかし、主は奇跡をお見せにならず、頭のでっぺんから足のつま先までわたしが真理を理解するまで、疑問や恐れが一掃されるまで、教えに教え……を加えてくださいました。……』（Conference Report, 1900 年 4 月, 40－41 で引用）

わたしたち教会員は奇跡的で劇的な現れを強調するあまり、聖霊が働かれる一般的なパターンを認識できずに見過ごしているかもしれません。」(『啓示の霊』『リアホナ』2011年5月号, 88)



1. 自分が個人的な啓示を受けたと感じるときについて聖典学習帳に書いてください。啓示がもたされたのはどのような状況だったでしょうか。深く考えることは啓示を受けるうえでどのように役立ったでしょうか。(啓示は様々な方法で与えられることを覚えておきましょう。啓示を受けるとき、突然または次第に思いが照らされて理解の目が開かれることもあれば、平安と確信を感じることもあります。)



例えば、教会の集会中、個人の祈りや聖文研究の前や後、総大会を視聴した後、断食している間、あるいは安息日を尊んでいる間など、自分の生活の中で深く考える時間を確保しましょう。

何かとても貴重なものを持っていて、それをだれかに管理してもらう必要があると想像しましょう。だれにそれを預かってもらいますか。なぜその人を選ぶのでしょうか。あなたの信頼を勝ち得るためにその人は何をしましたでしょうか。

ヒラマン 10:4-5 を読み、主がニーファイを信頼された理由を見つけましょう。根気よさとは「決して疲れないこと」を意味します。あなたの知っている人で、どのような環境に置かれても、根気よく主に仕えているように思われる人々の模範について深く考えてください。

ヒラマン 10:4 に記されているニーファイの祈りに対する主の答えは次の原則を教えています。「わたしたちが自分の思いよりも主の思いを優先するとき、主はわたしたちに祝福と責任を託してください。」



2. 次の質問から一つ、あるいは幾つかを選び、聖典学習帳に答えを書いてください。

- a. あなたの人生に関する主の御心について、どのようにすれば理解できるようになるでしょうか。
- b. 自分の思いよりも主の思いの方が大切であることと、いつも主の思いに従いたいと望んでいることを主に示すために、最近、生活の中でどのようなことをしましたでしょうか。
- c. あなたは生活のどの分野で、自分の思いではなく主の思いをさらに求め、それに従うことができるでしょうか。

ヒラマン 10:5-7 を読み、信頼できるニーファイに主がお与えになった祝福と約束を見つけましょう。それらの祝福と約束を、該当する節の横に書き込みましょう。

5 節 _____

6 節 _____

7 節 _____

ヒラマン 10:7 で述べられている祝福は、イエス・キリストの福音の中心を成す教義です。「結び固めの力とは地上と天において結び、解く力である。」聖文の中でこの結び固めの力を与えられた人について、ほかに知っていますか。ヒラマン 10:7 を次の聖文と相互参照するとよいでしょう。列王上 17 章 (エリヤ)；マタイ 16:15-19 (ペテロ)；教義と聖約 132:46 (ジョセフ・スミス)。

教義と聖約 128:9 を読み、結び固めの力についてジョセフ・スミスが何を教えているか見つけましょう。

同じ結び固めの力の鍵は、今日、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長が持っています。主はニーファイを信頼することができました。同じように、主は教会の大管長が主の御心に反してこの力を使わないことを御存じです。この結び固めの権能は、世界中のふさわしい神権者に委任され、この権能によって神権の儀式が天と地において結ばれます。



十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老がこの結び固めの力の大切さについて語った次の言葉について考えてください。



「この力によって結び固められないすべてのことは、人が死ぬと終わります。パプテスマが永遠に結び固められないならば、人は日の栄の王国に入ることができません。永遠の結婚の聖約がこの権能によって結び固められないならば、この聖約はそれに関与する人々を日の栄の世界の最高の階級の天における昇栄にまで導くことはできません。

結び固めの力のゆえに、あらゆることが永遠に続く力と有効性を獲得するのです。」(Mormon Doctrine, 第2版 [1966年] 683



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. マッコンキー長老によると、儀式が正しい権能によって結び固められない場合に何が起こりますか。

b. 結び固めの力はあなたの人生にどのような影響を与えてきたでしょうか。また将来、あなたは人生でどのような形でこの力から祝福を受けたいと思いますか。

神の結び固めの力が回復されたことに関して、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が語った次の力強い言葉を読みましょう。「まさに預言されたとおりに、神殿、

儀式、聖約、エンダウメント、また結び固めが回復されました。神殿の儀式によって主との和解が成立し、家族は永遠に結び固められるのです。神殿で交わした神聖な聖約に従う人々には、永遠の命、すなわち人に与えられる神のあらゆる賜物の中で最大のものを得る資格が与えられます。」(「神殿の祝福のために備える」『リアホナ』2010年10月号, 42)

ネルソン長老によると、わたしたちはどのようにして結び固めの力がもたらす約束された祝福を受けるにふさわしくなるでしょうか。

ヒラマン 10:12 – 19

ニーファイ、主の命令に従い人々に悔い改めを説く

親、雇い主、指導者から言われたことをすぐに行わなかったことはありますか。あるいは、言われたことをしなかったことがありますか。言われたことをすぐに行わないとき、わたしたちはどのようなメッセージを送ることになるか考えてください。

ヒラマン 10:11 – 12 を読み、人々に悔い改めを説くよう主から命じられたときにニーファイがどのように応じたか見つけましょう。主の勧告や戒めにすぐに応じるとき、わたしたちは主に何を示しているのでしょうか。



4. ヒラマン 10：13－18 を読みましょう。次に、聖典学習帳に、主の戒めに応じたニーファイから学んだことについて文章を幾つか書いてください。それを生活で実践する方法を一つ書いてください。

ニーファイが忠実であったので、主はニーファイ信頼し、彼を守り、祝福して大きな力を授けられました。

マスター聖句の復習

マスター聖句を復習するために、1 ニーファイ 3：7；2 ニーファイ 2：27；2 ニーファイ 31：19－20；モーサヤ 2：17 を読みましょう。これらのマスター聖句がヒラマン 10 章に記録されているニーファイとその務めにどのように当てはまるか考えてください。

自分の思いよりも主の思いを優先し、直ちに従うための方法を探しましょう。ニーファイのように忠実に主に従うときに、主はあなたを信頼し、祝福してください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 10 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 23 ー第 2 日

ヒラマン 11－12 章

はじめに

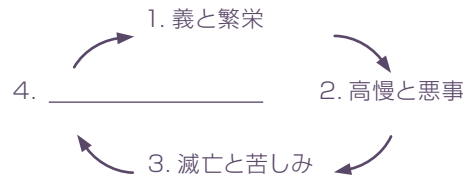
ヒラマン 11－12 章では、ニーファイ人の歴史のうち、14 年間に起こったことが扱われており、人々が義と悪のサイクルを経験したことが示されています。民は高慢だったために、罪惡を悔い改めることを拒みました。ニーファイは天を封じ、干ばつと飢饉を起こしました。干ばつと飢饉のために、民は謙遜になり、悔い改めて、主に頼りました。しかし人々は自分の選びで謙遜になったわけではないために、主なる神のことを容易に忘れるようになり、その状態は自分たちはどれほど主の助けを必要としているか気づかされるまで続きました。憐れみ深い神は、御自分の民を悔い改めと救いに導くために懲らしめられます。

ヒラマン 11 章

ニーファイ人、義と悪のサイクルを経験する



1. 聖典学習帳に次のような義と悪のサイクルの図を描きましょう。このサイクルはしばしば「高慢のサイクル」と呼ばれます。サイクルの第 4 の要素が欠けていることに注目しましょう。どうすれば人々を滅亡と苦しみから義と繁栄に引き上げることができると思いますか。ヒラマン 11 章を学び、サイクルのこの段階を埋めるのに役立つ情報を探しましょう。



ヒラマン 10 章には、民はニーファイが語った神の言葉を聞こうとしなかったと書かれています。ヒラマン 10：18 をもう一度読んで、その当時（さばきつかさの統治第 71 年の終わり）ニーファイ人は高慢のサイクルのどの段階にいたか調べましょう。

次の聖文活動は、14 年間の歴史を通じてモルモン書の民の間に見られた義と悪のサイクルを理解するうえで役立つでしょう。次の表で、ヒラマン 11 章から参照聖句を読み、ニーファイ人の状況に関する簡単な説明を書き、彼らが高慢のサイクルのどの段階にいるか示す番号を書いてください。二つの例が与えられています。聖典学習帳に描いたサイクルの 4 番目の段階を埋めるのに役立つ言葉を探しましょう。

さばきつかさの統治年	ヒラマン 11 章	ニーファイ人の状況についての簡単な説明	サイクルの段階
72－73	1－2 節	争いと戦争が激しくなり、秘密強盗団が滅亡の業を行った。	2, 3
73－75	3－6 節		
75	7, 9－12 節		

さばきつかさの統治年	ヒラマン 11 章	ニーファイ人の状況についての簡単な説明	サイクルの段階
76－77	17－18, 20－21 節	人々は喜び、神をあがめた。義にかなった状態で、再び栄えた。	4, 1
78－79	22－23 節		
80	24－26 節		
80－81	27－30, 32－35		
82－85	36－37 節		

聖文活動から明らかなように、高慢のサイクルの第 4 の要素は「謙遜と悔い改め」です。これを聖典学習帳に描いた図に書き込みましょう。

 2. 高慢のサイクルは社会を反映しているだけではありません。家族や個人の生活にも当てはまることです。このサイクルの過程を理解すれば、高慢を避けやすくなります。このサイクルの「高慢と罪惡」あるいは「滅亡と苦しみ」の段階に陥らないために必要なことは何だと思うか、聖典学習帳に書き込みましょう。

自分の聖典のヒラマン 11 章に次の原則を書き込むとよいでしょう。「へりくだり悔い改めることを通して、わたしたちは高慢と滅亡を避けることができる。」ヒラマン 11:4 で、飢饉によって自分の民がどうなるようにニーファイは望んだのか書かれた箇所印を付けるとよいでしょう。

次の質問にどう答えるか考えてください。

- 社会、家族、あるいは個人は高慢のサイクルに従う必要があるでしょうか。
- 社会、家族、あるいは個人は高慢のサイクルに巻き込まれるのを避けるためにどうする必要があると思いますか。

十二使徒定員会のリチャード G スコット長老は、ニーファイの祈りについて次のように語っています。「〔ヒラマン 11:10－14 に記されているように〕主は御自分の僕の願いの言葉を聞き、飢饉をやませてくださいました。しかし、それは翌年になってからのことでした。この出来事から明らかなように、主はわたしたちの嘆願をすぐに聞かれますが、御自分の知恵に照らして、わたしたちが主の答えから最も益を受けるときに答えてくださいます。」（“Nephi, Son of Helaman,” *Heroes from the Book of Mormon* [1955 年] 154 に収録）

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、高慢のサイクルに巻き込まれるのを避けるための方法について教えています。



「神は謙遜な民を求めておられます。わたしたちは自ら進んでへりくだることもできれば、強制されてへりくだることもできます。アルマは言いました。『やむを得ずへりくだるのではなく、自らへりくだる人々は幸いである。』（アルマ 32:16）

自分からへりくだる道を選びましょう。

わたしたちは、兄弟姉妹に対する憎しみを克服し、彼らを自分自身のように尊び、また自分以上に尊重することによって、進んでへりくだることができます。……

勧告と懲らしめを受け入れる人は、自分の意思で謙遜になる道を選べます。……

わたしたちは、自分を傷つけた人を赦すことにより、進んでへりくだる方を選ぶことができます。……

無私の奉仕を行うことによっても、進んでへりくだることができます。……

伝道に出て、人を謙遜にする神の御言葉を宣べ伝えるなら、自分からへりくだる道を選ぶことができます。……

もっと頻繁に神殿に参入することにより、自らへりくだることができます。

罪を告白して、惡を捨て、神によって生まれる人は、自分の選びによって謙遜になることができます。……

神を愛し、自分の思いを神の御心に服従させ、神を第一にした生活を築き上げることによって、わたしたちは進んでへりくだることができるのです。……

自分からへりくだる道を選びましょう。わたしたちにはそれができます。確かにできるのです」(「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号, 7)。

ヒラマン 12 章

モルモン、主が人々を懲らしめられる理由を説明する

自分が預言者モルモンで、ヒラマン 11 章に収録されている 14 年に及ぶニーファイ人の歴史について書き終わったと想像します。あなたならこの文章の空欄をどのように埋めますか。「このことからわたしたちは、
_____を知ることができる。」

ヒラマン 12:1 を読んで、モルモンはわたしたちに何を知ってほしかったか調べてみましょう。モルモンがどういう意味で「人の子らの心〔は〕……不安定である」と言ったのか考えてください。

ヒラマン 12:2-3 を研究し、わたしたちに学んでほしいとモルモンが望んだそのほかの教訓を調べてみましょう。「……ということが、わたしたちに分かる」(2 節)や「このことから……が分かる」(3 節)という表現に細心の注意を払います。



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 栄えている人々が、簡単に主を忘れてしまうのはなぜだと思いますか。

b. 今日、安楽と繁栄の結果、人々が神を忘れる例としてどのようなものが挙げられるでしょうか。

c. 繁栄の中であって個人や集団が主を忘れてしまった状況としてどのようなものを知っていますか。

モルモンが読者に学んでほしいと望んでいる教訓を幾つか挙げてみましょう。「わたしたちは注意しなければ、繁栄のために主を忘れてしまうことがある。」また「主は御自分を思い起こさせるために御自分の民を懲らしめられる」



十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老は、主がわたしたちを懲らしめられる理由についてこう教えています。

「堪え抜くことが難しい場合もしばしばありますが、自らを改善するために割く時間と努力自体に神が価値を認めておられることを、わたしたちは喜ぶべきです。

神がお与えになる懲らしめには (1) 悔い改めを促す、(2) 精錬し、聖める、(3) 神が御存じのより良い道へ生活を方向転換させる、という少なくとも 3 つの目的があります。」(「すべてわたしの愛している者を、わたしはしかたり、懲らしめたりする」『リアホナ』2011 年 5 月号, 98)

この 3 つの目的のうち、どれがヒラマン 11-12 章に記されているニーファイ人とレーマン人を懲らしめられたとき

の主の思いを反映していると感じますか。どの目的のために、主はあなたの人生で懲らしめを用いられたでしょうか。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. ヒラマン 12:4-6 を読み、神を忘れる人についてほかにどんなことが記されているか見つけましょう。神を忘れないようにするための個人的な態度としてどのようなものがあるでしょうか。

b. ヒラマン 12:7-13 を読みます。モルモンが「人の子らは……地のちりよりも劣っている」と言ったのはなぜでしょうか。ちりは人々が時としてやりたがらないどのようなことをするでしょうか。



ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。「この預言者〔モルモン〕は、主は御自分の子供たちよりも地のちりを気遣い、愛しておられると言っているわけではありません。……地のちりは従順であるということを言いたいのです。地のちりは主の命令に応じてあちらこちらに動きます。すべての物質は主の律法と調和しています。わたしの知るかぎり、人を除いて、宇宙に存在する万物は自らに与えられた律法に従います。どこを見ても、律法や秩序、そして自らに与えられた律法に従い、自らの召しに忠実な元素を見いだすことができます。しかし、人は反抗します。この点において、人は地のちりに劣るのです。主の勧告を拒否するからです。」(Conference Report, 1929 年 4 月, 55)

神が自分たちの導き手になってくださるのを望む人は、地のちりよりも偉大であることをモルモンは理解していました。モルモンは人とちりと比較することによって、高慢で主の声を退ける人や心が不安定な人に注目したのです。ヒラマン 12:9-20 に記録されているように、モルモンは主の偉大な力を思い起こすようわたしたちに語っています。しばらくの間、自分自身が主の戒めにどの程度忠実か深く考えてください。主の戒めに喜んで従うときに、どのように謙遜さを表しているでしょうか。選択の自由を使って主の言葉に従わないときに、どのように高慢さを表しているでしょうか。



5. 聖典学習帳に次の言葉を書き、空欄を埋めてください。

a. ヒラマン 11 - 12 章に記されていることから、_____が分かります。

b. ですから、わたしは_____します。

主を思い起こし、主の声に聞き従い、悔い改めるとき、わたしたちは謙遜さと主を信じる信仰を表します。そうすると、主は約束しておられるとおりにわたしたちを祝福し、栄えさせ、最終的には永遠の命を与えてくださるのです。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 11 - 12 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 23 — 第 3 日

ヒラマン 13 - 14 章

はじめに

救い主の降誕の数年前、主はゼラヘムラのニーファイ人に悔い改めを説くために、サムエルという名前のレーマン人の預言者を遣わされました。預言者サムエルは、預言者ニーファイに並ぶ、イエス・キリストについての二人目の証人でした。サムエルは、ニーファイ人は悔い改めなければ滅亡すると、警告しました。彼らが預言者たちを拒むことと、罪悪のうちに幸福を求める性癖を持っていることについて厳しく語りました。また、イエス・キリストの降誕と死のしるしについて宣言しました。さらに、全人類は、イエス・キリストの贖いを通して、神の御前に連れ戻され裁かれると教えました。

ヒラマン 13 章

サムエル、悔い改めなければ滅亡すると、ニーファイ人に警告する

何か間違ったことをして、親や指導者から正される必要があったときに、あなたはどのような反応を示しましたか。

民に悔い改めを叫ぶ預言者の記録が、ヒラマン 13 - 16 章に記されていますが、これはほかに類のないものです。なぜなら、レーマン人がニーファイ人に悔い改めを叫んだモルモン書で初めての例だからです。



ヒラマン 13 : 1 - 8, 11 を読み、なぜサムエルはニーファイ人に教えを説いたのか、また主から何を語るよう指示されたのか理解しましょう。これらの節は次の原則を明らかにしています。「預言者は神がその心に与えられたメッセージを語る。」神はサムエルの心にどのようなメッセージを与えられましたか。ヒラマン 13 : 7 によると、サムエルは自分のメッセージがニーファイ人にどのような影響を及ぼすように望んだでしょうか。

 1. 聖典学習帳に、親や教会の指導者が靈感によって自分に語ってくれたと感じたときのことについて書いてください。そのメッセージはあなたにどのような影響を及ぼしましたか。

ヒラマン 13 : 17 - 23 およびヒラマン 13 : 24 - 30 を学び、与えられている余白に、次の表にある質問に対する答えを書いてください。

ヒラマン 13:17 – 23

原則—「わたしたちは主を思い起こさないときに、高慢や罪惡に陥りやすくなる。」

この原則はどの節で教えられていると思いますか。

ニーファイ人は、, どのようなのろいを受けるとサムエルは言いましたか。

サムエルによると、ニーファイ人は富を愛したことが原因で、何をしていなかったでしょうか。

今日の青少年が執着し、それが高慢や罪につながるかもしれない富、例えば、持ち物、慣習、欲望として、どのようなものがあるでしょうか。

「主なる神が授けてくださったものについて、主を思い起こ〔す〕」ことが不可欠なのはなぜだと思いますか（22 節）。

ヒラマン 13:24 – 30

原則—「主の預言者の言葉を拒むならば、わたしたちは後悔と悲しみを経験することになる。」

この原則はどの節で教えられていると思いますか。

ニーファイ人は主の預言者を拒んでいることに対してどのような言い訳を用いているとサムエルは言ったでしょうか。

サムエルが述べたように、一部の人が偽預言者を受け入れるのはなぜだと思いますか。

『リアホナ』に収録されている最近の総大会説教を研究し、次の二つの質問に答えましょう。

生ける預言者や使徒たちの具体的な教えには、どのようなものがあるでしょうか。幾つか挙げてください。

生ける預言者や使徒が避けるように警告している具体的な問題としてどのようなものがあるでしょうか。幾つか挙げてください。

ヒラマン 13:26 – 28 を読んで、ニーファイ人が偽預言者にどのような反応を示したか調べましょう。エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように宣言しています。「現代の預言者の言葉が、わたしたちにとって知る必要はあるが進んで聞きたいと思えない場合、その言葉に対してどのように反応するかによって、わたしたちの忠実さが試されます。」（「予言者に従う 14 の原則」『聖徒の道』1981 年 6 月号, 4）



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. あなたが従うことを選んできた預言者の勧告の例として、どのようなものがあるでしょうか。

b. この勧告に従ったおかげでどのような祝福を受けてきたでしょうか。

c. 生ける預言者の勧告に従うということについて、どのように改善できますか。

サムエルはニーファイ人に悔い改めなければ 400 年後に滅びることになるが（ヒラマン 13:9 – 10 参照）、まだ滅ばされていなかった唯一の理由は義人が彼らの中に住んでいたからであると教えました（ヒラマン 13:12 – 14 参照）。

ヒラマン 13:38 を読み、どのようにしてそれほど多くのニーファイ人がこれほど邪惡になったのか見つけましょう。

罪惡を行いながら幸福を得ることはできないとサムエルは宣言しています。この宣言は「真の幸福は神の戒めを守ることによってのみもたらされる」という真理を理解するのに役立ちます。この真理はほかのどのマスター聖句で教えられているのでしょうか。（ヒラマン 13:38 の脚注③参照）



エズラ・タフト・ベンソン大管長は、わたしたちがこの原則を理解できるよう助けるために、こう語っています。「次のような古いことわざがあります。『備え防ぐ方が、後悔して償うより楽だ。』このことは、何とよく純潔の律法に当てはまることでしょう。……わたしたち自身を道徳的に清く保つための最善の策は、誘惑に陥らないために自分自身を備えることであり、罪を犯す可能性から離れることです。」(“The Law of Chastity,” Brigham Young University 1987-88 Devotional and Fireside Speeches [1988年], 51; speeches.byu.edu)

サムエルは、悔い改めを引き延ばすというニーファイ人の選択は、不幸および滅亡という結果を生じると教えました。モルモン書に記されているほかの記録は、人は反抗と罪悪をいつまでも繰り返していると、ついには、悔い改めの精神がなくなってしまうと教えています。例えば、レーマンとレムエルは神の声に耳を傾けようとしなかったために、「心が鈍って」しまいました(1ニーファイ17:45)。そのような例から、悔い改めを引き延ばさないことが、なぜそれほど大切か分かります。悔い改めを通して、誤りを正し、神に従いたいという望みが罪や誘惑に負けるのを防ぐことができます。

たとえ人生で道を間違っても、道を正すことができるということをもっとよく理解できるように、大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長が語った次の言葉を読んでください。



「旅客機の機長になる訓練を受けていたとき、長距離の飛行方法を習得しなければなりません。広大な海や砂漠の上を飛び、大陸から大陸へ渡る飛行では、予定の目的地へ安全に到着するために周到な計画が必要です。この無着陸飛行は14時間に達し、ほぼ9,000マイル(約1万4,000キロ)にも及ぶことがあります。

そうした長距離飛行には、『帰還可能点』としてよく知られている重要な決定点があります。引き返して、飛び立った空港へ無事に戻れるだけの燃料が十分に残っているという地点です。この点を過ぎてしまうと、戻るという選択肢は失われ、飛び続けなくてはなりません。そのため、この点は『帰還不能点』とよく言われます。

……サタンは……わたしたちが罪を犯すと、『帰還不能点』を過ぎてしまい、進路を変えるにはもう遅いと考えさせたいのです。……

……わたしたちを失望させ、サタンのように惨めな思いにさせ、もはや赦されないと信じ込ませるために、神の正義が強調されている聖文の言葉を悪用することもあります。聖文を用いて、憐れみの余地はないことをほのめかすのです。……

キリストはわたしたちを救うために来られました。道を間違っても、イエス・キリストの贖いは、罪が『帰還不能点』ではないという確信を与えてくれます。人を救うための神の

計画に従うなら、無事に戻ることができるのです。」「(『帰還可能点』『リアホナ』2007年5月号, 99)

ウークトドルフ管長の話は、あまりにも大きな罪を犯したことにより、『帰還不能点』を超えてしまったと感じている人にどのような希望を与えてくれるのでしょうか。

ヒラマン 14 章

サムエル、救い主の降誕と死にかかわるしるしについて預言する

国外で最近起こり、世界中の注目を浴びた出来事について考えてください。世界の様々な場所で起こる自然災害や戦争といった出来事を、人々はどのような方法で知ることができるのでしょうか。世界の様々な場所で起こる出来事を、なぜ人々は知りたいのでしょうか。

サムエルは、ゼラヘムラからはるか遠く離れた場所で起こる救い主の降誕と死について預言しました。ヒラマン14:3-6を学び、自分の聖典の、イエス・キリストの降誕に伴うしるしに印を付けましょう。ヒラマン14:20-27を学び、主の死に伴うしるしに印を付けましょう。



3. 聖典学習帳に、もし自分がその場において、サムエルの預言を聞いたとしたら、どのような反応を示したと思うか書いてください。与えられたすべてのしるしのうち、悔い改めの必要性について自分が最も強く印象づけられるのはどのしるしだと思いますか。

これらのしるしは、教訓的でもあり象徴的でもあります。イエス・キリストがこの世にお生まれになったときには、明るさが増しました。イエス・キリストが死なれたときには、暗さが増しました。主が心の中に入るのを許可するか、それとも妨げるかというときに、同じことがわたしたちの人生でも起こります。

ヒラマン14:11-13を読み、ニーファイ人に教えるを説いたときとのサムエルの意図あるいは目的を調べましょう。自分の聖典の中から、サムエルはニーファイ人に何を知り、何を行ってほしかったのかを見つけ、それぞれに番号を付けるとよいでしょう。(13節にある「イエス・キリストの功徳を通じて」とは、「イエス・キリストの贖いを通じて」という意味です。)これらの節から、「イエス・キリストを信じることは悔い改めと罪の赦しにつながる」ということが分かります。

ヒラマン14:28-29を読み、なぜ主はしるしや不思議を現されるのか調べましょう。わたしたちは次の真理を知ることができます。「主は、人々が御自分を信じるができるよう助けるために、しるしと不思議を与えられる。」イエス・キリストを信じるために役立つと感じるしるし(証拠)についてよく考えてください。

サムエルが預言したしるしについて学ぶときに、主は義人が信じ、悔い改めるのを助けるためにしるしをお与えになるということ、またその一方で、邪悪な人々は、自らの利己的な理由でしるしを探したり求めたりするという事を思い

起こさなければなりません(教義と聖約 46:9 参照)。主の死のしるしや再臨のしるしを知ることは大切ですが、イエス・キリストの死と復活の意味に関するサムエルの教えを知ることはきわめて大切です。

ヒラマン 14:15 - 19 を注意深く読み、それから下の表を検討しましょう。

ヒラマン 14:15 - 19 を読み、表について学んだら、次の点について考えてください。

- この地上に生を受けることを霊の死と呼んでもいいかもしれませんが。なぜなら、わたしたちは天の御父の御前から離されているからです。
- その死と復活により、「わたしたちが神の御前に戻ることができるように、イエス・キリストは全人類を堕落から贖われます。」
- イエス・キリストの贖いにより、すべての人は裁きを受けるために神の御前に連れ戻されます。

- 最後の裁きで、悔い改めることを拒み続けた人は、もう一つの霊の死を受け、神の御前から永遠に絶たれます。
- 「イエス・キリストは、悔い改めを条件に、霊の死からわたしたちを贖われます。」

ヒラマン 14:15 - 19 の中から、今読んだ太字の教義に相当する箇所に印を付けましょう。最後にヒラマン 14:30 - 31 を読みましょう。



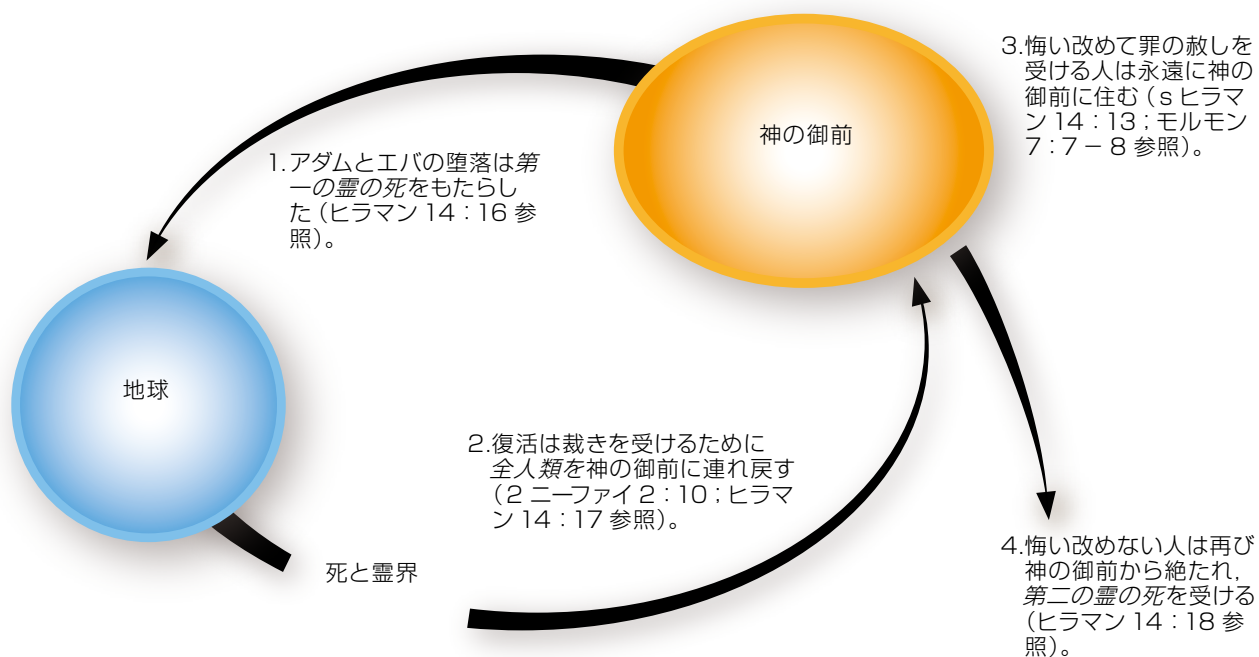
4. 聖典学習帳に、現世で行う選択がそれほど大切なのはなぜか、ヒラマン 14:30 - 31 を使って友人に説明する方法を書いてください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 13 - 14 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。



ヒラマン 15 – 16 章

はじめに

レーマン人サムエルは、ゼラヘムラの城壁の上からニーファイ人に語りかけたとき、悔い改めなければ、神は「彼らをことごとく滅ぼ〔す〕」と預言しました（ヒラマン 15：17）。レーマン人はニーファイ人よりも義にかなった民となったので、主はレーマン人の時代を引き延ばされるだろう、とサムエルは宣言しました。一部のニーファイ人はサムエルの教えを信じ、ニーファイからバプテスマを受けました。サムエルを信じなかった者たちは彼を殺そうとしました。サムエルは神の力によって守られ、自分の国に帰りました。

ヒラマン 15 章

サムエル、ニーファイ人に警告を与え、レーマン人がどのようにして約束の民となったかを説明する

以下は、二人の青年が置かれた架空の状況です。

ある若い男性は、教会員でない両親に育てられ、イエス・キリストの教えの大切さをあまり教わりませんでした。両親は彼に飲酒を許し、飲酒の習慣は大学時代も続きました。その後、彼は末日聖徒の宣教師と出会いました。何度か宣教師と会った後、彼は酒をやめることを固く約束しました。数日後、友人たちと一緒にいたときに、彼はアルコール飲料を勧められました。

別の若い男性は末日聖徒の家庭で育ちました。両親は家庭の夕べや家族での聖文研究を行いました。彼は毎日聖文を研究し、個人の祈りをささげる習慣を身に付けました。初等協会に出席し、アロン神権定員会で奉仕し、セミナリーを卒業しました。イエス・キリストの福音と神の戒めを知り、理解しました。大学に通うようになって、新しい友人ができました。ある夜のこと、数人の友人からアルコールの飲み物を勧められました。

それぞれの状況で、この二人の青年から予測できる霊的な強さのレベル、また、そのレベルとヒラマン 15 章で学んだレーマン人およびニーファイ人のレベルとの類似点について考えてください。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. ヒラマン 15：3、17 によると、ニーファイ人の霊的な状態はどうだったでしょうか。

b. ヒラマン 15：4 – 8 によると、レーマン人の霊的な状態はどうだったでしょうか。（ヒラマン 15：5 にある注意深くという言葉は、「用心深く」あるいは「油断なく」という意味です。）

レーマン人は、「彼らの先祖の言い伝えが正しくなかったため」罪惡の長い歴史がありましたが、真理を知ることにより、悔い改め、「信仰において……確固として堅固」になりました（ヒラマン 15：4、8）。レーマン人は対照的に、ニーファイ人は高慢に満ち、福音の真理を拒否しました。

注意深くヒラマン 15：7 – 8 を読み、次の言葉の空欄を埋めてください。真理を知り、聖文を信じるとき、
_____と _____へと導かれ、それが _____
_____をもたらす。したがって、このようになった者は皆、_____である。

聖文を研究し、信じることによって真理を知ったレーマン人は、イエス・キリストを信じる信仰をはぐくみ、悔い改めへと導かれました。彼らは心の変化を経験し、信仰において確固として堅固になりました。



2. 次の質問から一つを選び、聖典学習帳に答えを書いてください。

a. 聖文を研究することによってあなたが人生で必要な変化を遂げることができたのはどんなときでしたか。

b. 忠実に聖文を研究する習慣は、人が心の変化を経験するうえで、どのように役立つと思いますか。

サムエルの教えは、わたしたちが得た知識と信仰に忠実であり続けることの大切さを理解するのに役立ちます。ヒラマン 15：14－17 を読み、次の福音の原則が書かれている箇所を見つけてください。「完全な福音を授かった後に不信仰に陥るならば、より大きな罪の宣告を受けることになる。」自分の聖典の、これらの節の横に、この真理を書いておくとよいでしょう。教義と聖約 82：3 を相互参照聖句として、自分の聖典の余白に書いておいてもよいでしょう。

この原則はあなたの生活にどのように当てはまるでしょうか。自分で真実であると知っていることに反する行為を行ったことがありますか。救い主を信じる信仰を強め、悔い改め、福音の真理において確固として堅固であるために何をする必要がありますか。

ヒラマン 16 章

サムエルを信じた人々はバプテスマを受けるが、そのほかの人々は心をかたくなにする

自分は、通常、生ける預言者や使徒の言葉にどのような反応を示しているか考えてください。ニーファイ人は預言者サムエルの言葉を受け入れる機会を与えられました。ヒラマン 16：1－7 から学べることを参考にして、次の表の空欄を埋め、どの人々が信じたか、また、ニーファイ人はどのような反応を示したか調べましょう。

ヒラマン 16 章	ニーファイ人は信じましたか。		これらの人々は預言者サムエルの言葉を聞いてどのような反応を示したでしょうか。
	はい	いいえ	
1 節			
2 節			
3－5 節			
6－7 節			



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. ^{今日の}今日の預言者の勧告に腹を立てたり、それを拒否したりする若者がいるのはなぜだと思いますか

b. ほかの人は拒否しても、預言者の勧告に従おうと決心した人を見たのは、どのようなときですか。

c. 周囲の人々は拒否しても、預言者の勧告に従おうと決心したのは、どのようなときですか。

d. ヒラマン 16：13－14 にある預言者の言葉について何が学べるでしょうか。



世の人々は現代の預言者に対してどのような態度を取るでしょうか、エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った次の言葉について深く考えてください。「預言者は俗世間の人々から必ずしも好評を博することはありません。

預言者が真理を明らかにすると、人々は二つに分かれます。心の正直な人は、その言葉に耳を傾け、邪悪な人は預言者を無視するか、預言者に戦いを挑んできます。預言者が世の中の罪惡を指摘すると、世の人々は自分の罪を悔い改めるよりも、預言者の口をふさぐか、あるいは預言者など存在しないかのように振る舞おうとします。人気は決して真理の目安にはならないのです。多くの預言者が殺され、追放されてきました。主の再臨が近づくにつれて世の人々は、ますます邪惡になり、預言者は彼らから受け入れられなくなるでしょう。」(「予言者に従う 14 の原則」『聖徒の道』1981 年 6 月号, 7 参照)

ヒラマン 16：16－21 を読み、信仰心のない人たちが預言や天からのしるしの成就に対する拒否をどのように正当化するか見つけてください。これらの言い訳や預言者に反対する主張のうち、今日、最もよく見られるものはどれだと思うか、自分の聖典に印を付けてもよいでしょう。

ヒラマン 16：23 を読み、主の証人を拒んだ人々にもたらされる結果を自分の聖典または聖典学習帳に書いてください。次の原則と同様のことを書くはずで。「主の証人を拒むとき、わたしたちはサタンが自分の心を支配するのを許すことになる。」



ヘンリー・B・アイリング管長が語った次の言葉を読み、ヒラマン 16 章から学んだことを裏づけるアイリング管長の言葉に印を付けてください。「神から来る勧告を拒んだとしても、外部からの影響力から解放されるわけではありません。別の影響力の方を選んでいくのです。それどころか、わたしたちに永遠の命を授け、御自身の持てるものをすべて与え、主の愛の御手に導くことを目的としておられる、完全な愛と全知全能の天の御父とその愛する御子の守りを拒むことになるのです。主の勧告を拒むというのは、別の力から影響を受けるのを選ぶことです。それは、わたしたちを悲惨な状態にすることを目的とする、憎しみの力です。わたしたちには神からの賜物である選択の自由が与えられています。しかしこの選択の自由は、すべての影響力から解放される権利ではありません。いかなる力であれ、わたしたちが選択したものに従う何ものにも侵されない権利なのです。」(「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997 年 7 月号, 29)

アイリング管長は、わたしたちが生活の中で神の影響を拒むとき、何が起こると言っていますか。神の影響を拒むとき、サタンの影響を受けることになるということを理解するのは、なぜ大切なのでしょうか。

預言者や使徒から与えられた勧告に対し、自分は何らかの形で心をかたくなにしたことはないか、考えてください。預言者や使徒が何を教え、その勧告を自分がどのように受け入れているか考えながら小冊子『若人の強さのために』を復習するとよいでしょう。福音に従った生活を送り、主の預言者の勧告に耳を傾けることにおいて確固として堅固であるために、今日何をするか決めてください。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、ヒラマン 15 - 16 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

第三ニーファイ

なぜこの書を研究するのか

第三ニーファイを学ぶと、モルモン書の民を教え導かれたときの救い主の御言葉と行いについて理解することができます。教会指導者は第三ニーファイを主の「第5の福音書」と呼んできました。なぜなら、新約聖書を構成する4つの福音書と同様、この書もイエス・キリスト御自身による教えと務めに焦点を当てているからです（ゴードン・B・ヒンクレー「信仰のいしずえ」「聖徒の道」1985年1月号、54参照）。第三ニーファイに書かれていることが、すべての聖典の中でも、特に、感動的で力強いものであることは確かです。第三ニーファイはイエス・キリストとその預言者、救いの教えを証しています。（「アメリカへのキリストの訪れ」「聖徒の道」1987年7月号、6参照）イエス・キリストがニーファイの民に「一人ずつ」哀れみを示される様子を想像するときに、あなた個人に対する主の関心をよりよく理解することができます（3ニーファイ11：15；17：21）。救い主に会うために自らを備える人もいれば、すばらしい祝福を経験する機会から自らを阻む人もいます。これらに注目することによっても、大切な教訓を学ぶことができます。

だれがこの書を書いたのか

モルモンはニーファイの大版から記録を短くまとめて第三ニーファイの書を作成しました。この書の名前は、救い主が民に御自身を現された時期に務めを果たしたニーファイの息子ニーファイにちなんで名づけられました。イエス・キリストが来られる前のひどい悪事が行われていた時期に、ニーファイは「力と大きな権能をもって教え」ました。（3ニーファイ7：17）。彼の働きはイエス・キリストの教導の業に備えるものであり、イエス・キリストの御言葉と行いが第三ニーファイの主題となっています。モルモンはまた、ニーファイの記録を短くまとめながら、この書に注釈と証を付け加えました（3ニーファイ5：8－26；26：6－12；29－30章参照）。

いつ、どこで書かれたか

第三ニーファイの書を作成する資料として使われた元の記録は、紀元前1年から紀元35年の間に書かれたようです。モルモンは紀元345年から紀元385年の間のどの時期かに、それらの記録を短くまとめました。モルモンはこの書を編さんしたときにいた場所については記録していません。

3 ニーファイ 1 章

はじめに

ゼラヘムラの地を去る前に、預言者ニーファイ（ヒラマンの息子）は記録を長男のニーファイにゆだねました。信仰心のない者たちは、ある特定の一日までにイエス・キリストに関する預言が成就しなければ、忠実な人々を殺す計画を立てました。ニーファイが信じている人々のために主に嘆願すると、主の声が彼に聞こえて、救い主の降誕のしはその夜に与えられると宣言されました。レーマン人サムエルの預言は成就し、太陽が沈んでも少しも暗くならず、新しい星も現れました。サタンが人々の信仰を滅ぼそうとし続けたにもかかわらず、「民の大半は信じて、主に帰依し」ました（3ニーファイ1：22）。

3 ニーファイ 1：1－26

イエス・キリストの降誕に関する預言が成就し、多くのニーファイ人が改心する

聖文の中、あるいは教会歴史上で、イエス・キリストの福音のために命を犠牲にしてきた人々について考えてください。それらの人々が喜んでそのような犠牲を払ったのはなぜだと思いますか。

3ニーファイ1章に記録されているように、忠実なニーファイ人の一団は信仰を守り抜くために喜んで命を捨てるかどうか決めなければならませんでした。この章は、ニーファイが自分と同じ名前の息子ニーファイに神聖な記録を渡し、ゼラヘムラの地を去るという説明で始まります（3ニーファイ1：1－3参照）。それから多くのニーファイ人が経験した信仰の試しについて記されています。

3ニーファイ1：4－9を読み、忠実なニーファイ人が直面した困難な状況を見つけてください。自分がニーファイで、信じている人々が殺される時が来たとしたら、どう感じますか。このような状況で信仰を守り抜くのに苦しむ人があるのはなぜか、しばらくよく考えてください。

3ニーファイ1：10－12を読み、この危機的なときに、ニーファイが何をしたら見つけてください。3ニーファイ1：13－14にあるニーファイに対する主の答えを読んでください。3ニーファイ1：13の、次の原則を示す言葉に印を付けるとよいでしょう。「主は御自分の預言者たちに語らせたすべての言葉を成就される。」



1. 救い主降誕のしるしが与えられたすぐ後のニーファイの状況がどうだったか、想像してみてください。自分が、そのとき、その場にいたら、どのような反応を示したと思うか、聖典学習帳に書いてください。自分がニーファイで、しるしがたった今現れたとしたら、どう感じると思いますか。

聖文を書いた人々の立場になって考える

ブリガム・ヤングはかつてこう尋ねました。「……それらの記録を書いた人の身になって読んでいるでしょうか。……皆さんにはそのように感じる特権があるのです。それは、皆さんが今の時代の日常生活や会話……を理解しているのと同じように、記録として残された神の言葉の精神と意味をよく理解するためです。」（『歴代大管長の教えーブリガム・ヤング』133）

3 ニーファイ 1:4, 14 – 15, 19 – 21 を読み、主が一貫して預言者の言葉を成就されることを強調しているそのほかの言葉を見つけてください。自分の聖典の、これらの言葉に印を付けるとよいでしょう。3 ニーファイ 1:14 を読むとき、語っておられる御方が二つの役割を果たしておられること、すなわち（神聖な権威を有しておられる御父）エホバとしての視点と（やがて肉体をまとお生まれになる御子）イエス・キリストとしての視点の両方から語っておられることを理解しておくといよいでしょう。

救い主の降誕に関する預言が成就された経緯を理解するために、レーマン人サムエルが語った預言を以下の表の左の欄に書いてください。次に 3 ニーファイ 1 章の該当する聖文とその成就に関する簡単な説明を右の欄に書いてください。

レーマン人サムエルの預言	成就
最初の預言（ヒラマン 14:3 – 4）	3 ニーファイ 1 章
2 番目の預言（ヒラマン 14:5）	3 ニーファイ 1 章
3 番目の預言（ヒラマン 14:6）	3 ニーファイ 1 章
4 番目の預言（ヒラマン 14:7）	3 ニーファイ 1 章

3 ニーファイ 1:16 - 18 を読み、しるしが現れたときに
邪悪な者たちがどのような反応を示したか注目してください。
彼らの反応の幾つかに印を付けるとよいでしょう。3
ニーファイ 1:18 から、一部の人は「自分たちの罪悪と不信
仰のために恐れ始めた」ことが分かります。次の質問につ
いてよく考えてください。罪と不信仰はどのように恐れをも
たらすでしょうか。

3 ニーファイ 1:22 - 23 を読み、主の降誕のしるしが与
えられた後、サタンは何をしようとしたか見つけてください。
22 節に記されている原則を表す次の言葉の空欄を埋めてく
ださい。「サタンの偽りに直面するとき、
_____という選択をすることができる」。

管理ビショップブリックで働いたリチャード・C・エッジ
リービショップは、信仰の試しを受けているときの対処の
仕方について勧告を与えています。サタンが疑いの気持ちを
を起こさせ誘惑しても信じることを選ぶよう励ましてくれる
エッジリー長老の言葉や語句に印を付けてください。



「今日の世界においてわたしたちは様々な
争いと試練に直面しています。そこでわたし
は一つの選択肢を提案します。平安と守りが
得られる、だれにでも当てはまる選択肢で
す。その選択肢とは信仰です。信仰は何の
考え、望み、あるいは努力もなしに与えられる
無料の贈り物ではありません。……救い主は『わたしのも
とにきなさい』(マタイ 11:28)、また『門をたたけ、そうす
れば、与えられるであろう』(マタイ 7:7) と言っておられま
す。『来る』も『門をたたけ』も動作を表す言葉であり、選
択肢です。そこで信仰を選ぶように提案します。疑いでは
なく信仰、恐れではなく信仰、未知のものや見えないもので
はなく信仰、悲観論ではなく信仰を選んでください。……

……論理、道理、あるいは自らの知性が、神聖な教えや
教義と相いれない場合、あるいは相反するメッセージが、
……信仰を激しく攻撃している場合は、不信仰によって自
分の心から〔信仰の〕種を捨てないことを選んでください。
忘れないでください。信仰が試されてからでなければ、証
は得られないのです(エテル 12:6 参照)。(「信仰—選択
するのはあなたです」『リアホナ』2010 年 11 月号, 31 -
33)

 2. 今日、悪魔はどのような偽りや欺きを助長するこ
とで、人々の心をかたくなにしようとしているのでし
ょうか。自らの信仰に疑いを抱くよう悪魔が働きかけるとき
でも、イエス・キリストとその回復された福音を信じる信仰
を保つために何ができるか、聖典学習帳に書いてください。

3 ニーファイ 1:24 - 25 を読み、信じていた人々が直面
したその他の試練を見つけてください。自分たちが間違っ
ていたことを知ったときのこれらの人々の反応から何を学
ぶことができるか、よく考えてください。

3 ニーファイ 1:27 - 30

ニーファイ人の離反者たちとレーマン人の一部の若者
たち、ガデアントンの強盗団に加わる

イエス・キリストの降誕のしるしが与えられてから数年
後、一部の離反したニーファイ人の影響によって、忠実な
人々も福音に堅く立つ力が衰え始めました。今日、どうす
れば教会に対する攻撃の中にあっても、福音に堅く立つこ
とができるでしょうか。3 ニーファイ 1:27 - 30 を読み、
レーマン人の「若者たち」は周囲の人々の信仰に肯定的、
否定的、いずれの影響を及ぼしたか、調べましょう。

レーマン人の若人の多くが「独り立ちすると」(3 ニーファ
イ 1:29) 福音から離れていったことに注目してください。
中央扶助協会会長会で奉仕したキャスリーン・H・ヒュー
ズ姉妹は、「彼らは独り立ちする」という表現の意味につい
て次のように指摘しています。「これは、彼らが最初に自
分自身の力に頼り、そして預言者から避けるようにと勧告さ
れた欲望に身を任せたという意味だと、わたしは思います。
サタンの誘惑や魅力に屈してしまったのです。」(「成長して
主の役に立つようになる」『リアホナ』2010 年 2 月号, 42
参照)

次の原則を自分の聖典の、3 ニーファイ 1:29 - 30 の
横、あるいは聖典学習帳に書くといよいでしょう。「誘惑に屈
すれば、ほかの人々の信仰と義に悪影響を及ぼす可能性
がある。」



3. この原則と自分の関係を理解できるように、次の
質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 上の原則の例をいつ目にしましたか。周囲の人々がそう
しないとしても、どうすれば忠実であり続けることができる
でしょうか。

b. わたしたちの悪い模範がほかの人々に悪影響を及ぼすこ
とがあるということを知るのは大切なことですが、わたした
ちの良い模範がほかの人々を強めることができるというこ
とを覚えておくことも大切です。「若者」すなわち今日の教
会の青少年がほかの人々の信仰に良い影響を与えているの
を見たのは、どのようなときでしょうか。



4. 聖典学習帳に、自分の家族、ワードあるいは支部
の人々の信仰に良い影響を与える方法を幾つかを書
き出しましょう。あなたのリストから二つのアイデアを選
び、そのアイデアを達成するために何をするか具体的に書い
てください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書い
てください。

__月__日、3 ニーファイ 1 章を研究し、このレッスンを終了
しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

3 ニーファイ 2 - 5 章

はじめに

イエス・キリストの降誕のしるしを見てから間もなくすると、人々はかつて目の当たりにしたことを忘れ始め、心をかたくなにしました。ニーファイ人とレーマン人の多くは、それ以上のしるしと不思議を受け入れず、悪事は増しました。その結果、ガデアントンの強盗団が勢力を増し、ニーファイ人を滅ぼすと脅迫しました。ニーファイ人の大さばきつかさラコーニウスは、義になかったすべてのニーファイ人とレーマン人を召集し、悔い改めを叫び、民を戦いに備えさせました。彼らは、その一致と主を信じる信仰によって、敵に勝利を収めることができました。敵の手から救われた後、義になかったニーファイ人とレーマン人は、自分たちが守られたことについて神の力を感謝しました。

3 ニーファイ 2 章

義になかったニーファイ人とレーマン人、ガデアントンの強盗団に対して自衛するために結束する

これまでに得た意義深い霊的な経験について考えてください。（意義深い霊的な経験とは、必ずしも劇的な経験であったり、並外れた経験であったりする必要はないことを覚えておいてください。）それらの霊的な経験を覚えておくことが大切なのはなぜだと思いますか。

3 ニーファイ 2:1-3 を読み、救い主の降誕に関するしるしを忘れ始めたときに人々の間で起こった事柄を見つけてください。この記述から、霊的な経験を忘れることの危険性について何を学ぶことができますか。

ニーファイ人に起こった出来事から学ぶことのできる原則の一つは、「過去の霊的な経験を忘れると、サタンの誘惑と欺きを受けやすくなる」ということです。自分の聖典の、3 ニーファイ 2:1-3 の横に、この原則を書き込むとよいでしょう。書き込みながら、霊的な経験を忘れるとサタンの攻撃を受けやすくなるのはなぜか考えてみてください。

霊的な経験を認識し、記憶するための助けとして何ができるか、よく考えてみてください。最も役に立つと思うアイデアをいくつか書き出してください。

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長は、霊的な経験を日記に書きとめることがどのような点で助けとなるか述べています。アイリング管長の経験について読みながら、霊的な経験を記録することによってもたらされる幾つかの祝福に線を引いてください。



「わたしはそれから何年も、毎日少しずつ書き留めました。どんなに疲れていても、翌朝どんなに早起しなくてはならないとしても、一日も休みませんでした。書く前には、次の質問を考えるようにしました。『今日、神がわたしたち、子供たち、家族に御手を差し伸べられ、触れられるのを見ただろうか。』続けていくうちに、何かが起き始めました。一日の出来事に思いをはせると、神が家族の中のだれかのためにされたことで、日中の雑多の中では気づけなかったことがよく分かるようになったのです。そうすると、それは何度も起きたのですが、覚えておこうと努力することで、神は御自分がなさったことを示してくださることが分かるようになりました。

言い尽くせないほどの感謝の念が心に芽生え始めました。証が育ったのです。天の御父が祈りを聞き、こたえてくださるという確信が今までになく強まりました。救い主イエス・キリストの贖いによって人の心が和らげられ、清められることに対して、さらに感謝するようになりました。また、そのとき気づけなかったり、関心を向けていなかったりしたことも、聖霊はことごとく思い起こさせることがおできになるということにも、今まで以上に確信が持てるようになりました。」（「記憶にとどめ、覚えておきなさい」『リアホナ』2007 年 11 月号、67）



1. 聖典学習帳に、サタンが誘惑したり欺こうとしたりしたにもかかわらず、霊的な経験を覚えていたおかげで、どのように信仰を守り続けることができたか書き留めてください。（霊的な経験を覚える方法として、日記に記録することも含めてよいでしょう。）

3 ニーファイ 2:4-19 に記録されているように、ニーファイ人の多くが悪事を続け、ガデアントンの強盗団が人数と力を増しました。ガデアントンの強盗団はますます攻撃的になり、改心したレーマン人は強盗団と戦うためにニーファイ人の軍隊と連合しました。ニーファイ人とレーマン人は、自分たちの国からガデアントンの強盗団をある程度追放しましたが、イエス・キリストの降誕のしるしを与えられてから 15 年が過ぎた当時も、まだ危険な状態にありました。

3 ニーファイ 3:1-10

ガデアントンの強盗団の首領、ニーファイ人とレーマン人に降伏を要求する

サタンは別の人々を通して人の信仰を弱め、誤った道へ導こうとする例が見られます。3 ニーファイ 3:1-10 には、その例が記されています。ガデアントンの強盗団の首領であるギデアンハイは、大さばきつかさでありニーファイ人とレーマン人の両方の民の総督であったラコーニウスに手紙を書きました。ガデアントンの強盗団に降伏するようラコーニウスに促す手紙でした。3 ニーファイ 3:2-10 を読み、ギデアンハイがラコーニウスの信仰を弱めて誤った道へ導くために用いた策略を示す言葉や語句を見つけてください。見つけたら、それらの言葉や語句に印を付けるとういでしょう。

これらの節では、「サタンとサタンに従う者たちは、人々を誤った道へ導くために甘言、偽りの約束、脅迫という手段を用いる」ということを教えています。サタンの手口はより巧妙で、明らかに敵と分かる人というよりはむしろ、わたしたちの友人や好きな人を使って誘惑するということに気づく必要があります。さらに、人々を誤った道へ導くギデアンハイの動機や策略と今日におけるサタンの方法との間には類似点があります。



2. ギデアンハイの策略の一つを選び、悪魔が同じような方法を今日の若人にどのように用いているか、聖典学習帳の中で説明してください。また、このような策略にどのように抵抗できるか書いてください。



3 ニーファイ 3:11 – 4:33

ラコーニアスの民、自衛のための備えをし、ガデアントンの強盗団を打ち負かす

ラコーニアスはギデアンハイの手紙に驚き、迫りくる攻撃に自分の民を備えようと決心しました。次の聖句を読み、ガデアントンの強盗団の攻撃に耐えられるように、ラコーニアスが自分の民を霊的、またこの世的（物質的）に備えた方法を少なくとも4つ見つけてください。（ヒント—これらの節を調べるときに、必ずガデアントンの強盗団の首領のギデアンハイと偉大な預言者であり総司令官のギドギドナーの違いを明らかにしてください。）

- 3 ニーファイ 3:12
- 3 ニーファイ 3:13 – 14
- 3 ニーファイ 3:15
- 3 ニーファイ 3:17 – 19



3. 聖典学習帳の空白のページを開き、ページの真ん中に線を引いてください。線の左上に、「ラコーニアスの備え」、線の右上に「現代に置き換えると」という言葉を書きます。「ラコーニアスの備え」という見出しの下に、自分が見つけた、ラコーニアスとニーファイ人が攻撃に耐える

ために準備した4つの方法を書き出すか、絵に描きます。「現代に置き換えると」という見出しの下に、ラコーニアスが民を備えるために行ったことについて、現代に置き換えられる点を書き出すか、絵に描きます。これらの事柄には、末日に行うように勧告されてきた霊的な備えとこの世的な備えが示されていることでしょう。



4. 自分が学んだことを応用する方法について考えることができるように、聖典学習帳で以下の質問のうち、二つ以上に答えてください。

- a. どうすれば、サタンの攻撃に対して家庭の防備を固めることができるでしょうか。
- b. 家族で一緒にいることや、ワードや支部に集合することによって、わたしたちはどのように守られているでしょうか。
- c. 毎日聖文を研究することが自分自身を強めるための不可欠な方法であるのはなぜでしょうか。
- d. あなたはこれまでどのようなときに、祈りによって逆境や危険に対する霊的な強さを得てきたでしょうか。
- e. 人は悔い改めることによって、どのように将来に備えることができるでしょうか。
- f. 今日、預言と啓示の御霊を持つ人々に従うことが、特に大切なのはなぜだと思いますか。

ガデアントンの強盗団がラコーニアスとその民を攻撃したとき何が起きたのか確認するために、3 ニーファイ 4:7 – 12 を読んでください。この記述から、「霊的にも物質的にも備えるとき、主は試練に打ち勝てるように強めてくださる」ということを学ぶことができます。

ラコーニアスとその民はガデアントンの強盗団を打ち負かし、強盗団の指導者たちを滅ぼすことができました。彼らは指導者の選択（3 ニーファイ 3:19; 4:17 参照）、従順（3 ニーファイ 3:21; 4:18 参照）、そして神への信頼（3 ニーファイ 4:30 – 31 参照）のゆえに勝利を得ました。3 ニーファイ 4:30 – 33 を読み、ガデアントンの強盗団に対する勝利の後、民がどのような反応を示したか見つけてください。ガデアントンの強盗団から救い出された原因として、民は何を認めたでしょうか。これらの節は次のような原則を示しています。「苦難から人を救ってくださる神の慈しみと憐れみを認めることにより謙遜さを維持することができる。」

3 ニーファイ 5 章

民、再び平和を得る。モルモン、記録の抄録について説明する

次の質問について考えてください。「これまであなたは、あなた自身の霊的経験を通して、信仰や望み、あるいは行動に、どのような影響を受けてきたでしょうか。」3 ニーファイ 5:3 – 4 を読み、主から受けた助けと祝福の結果、ニーファイ人が何を行ったか見つけてください。民の行動の中には、福音を宣べ伝えることも含まれていたことに注目してください。

3 ニーファイ 6 – 10 章

はじめに

ガデアントンの強盗団から奇跡的に救い出された後で、ニーファイ人とレーマン人は 3 年の間平和を享受しました。その後、高慢や階級差別、迫害が起こり、それらが大きな罪悪とニーファイ人政府の最終的な転覆をもたらしました。エルサレムにおけるイエス・キリストの死のしるしには、多くのニーファイ人の都市を破壊し、邪悪な住民を殺すという大きな破壊が含まれていました。暗闇が 3 日の間、全地を覆いました。暗闇の中から、救い主の声が聞こえ、人々を主のもとへと招きました。暗闇が消え去った後、人々の嘆き悲しむ声は、喜びとイエス・キリストに対する賛美に変わりました。

3 ニーファイ 6 – 7 章

ニーファイ人は高慢になり、教会は分裂し、秘密結社が政府を滅ぼし、民は部族に分かれる

預言者に従うかどうか決めなければならなかったことについて考えてください。3 ニーファイ 6 – 7 章に記録されているように、ニーファイ人の中には預言者を拒んだことにより悲劇的な結果を経験した人々がいました。一方、悔い改めて主の選ばれた僕に耳を傾けることによりもたらされる祝福を経験した人々もいました。

3 ニーファイ 5 章を読むと、ニーファイ人は悔い改め、神に熱心に仕え、神の力によってガデアントンの強盗団から救い出されたとあります。その後、しばらくの間、ニーファイ人は繁栄しました。しかし、多くの人々がすぐに高慢な心をつのらせたことにより、教会内に分裂が生じました。預言者が遣わされ、人々の罪悪を責める教えを説きましたが、さばきつかさたちは彼らを捕え、ひそかに殺しました (3 ニーファイ 6 : 4 – 23 参照)。およそ 6 年以内に、人々は「サタンの力に身をゆだね」(3 ニーファイ 7 : 5)、邪悪になったため、あらゆる義に反して戦いました。秘密結社は政府を滅ぼし、それが原因となって民は部族に分かれました。

民の罪悪にひるむことなく、ニーファイは彼らの罪を責める証をし、悔い改めを叫び続けました (3 ニーファイ 7 : 15 – 20 参照)。3 ニーファイ 7 : 21 – 22 を読み、ニーファイに従ったことで人々がどのような祝福を受けたか、幾つかの例に印を付けてください。これらの節から、「人は悔い改めて主の僕に従うならば、生活の中で聖霊の影響を受けられる」ということが学べます。



ニーファイ 5 : 14 – 26 で、モルモンは記録を短くまとめた理由について説明しています。3 ニーファイ 5 : 12 – 13 を読み、ニーファイ人の記録を抄録する責任についてモルモンが述べたことを見つけてください。

これらの節から、「イエス・キリストの弟子として、わたしたちは永遠の命への道を人々に教える責任を負っている」ということを学ぶことができます。主がしてくださったことについて、主に感謝を示す最大の方法は、人々が主のみもとに来て同じ祝福を得られるように助けることです。

 5. 聖典学習帳に、イエス・キリストの弟子として、人々に永遠の命への道を教える方法を幾つか書いてください。また、このことをほかの人々に教えられる状況について考えてください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 2 – 5 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。



1. 聖典学習帳に、預言者やほかの神権指導者の勧告に従う選択をしたときのことについて書いてください。そうすることでどのような祝福を受けましたか。

3 ニーファイ 8:1-18

大きな破壊がイエス・キリストの死のしるしとして起こる

イエス・キリストが再臨される日を想像してください。その日が来たときに、自分はどう感じると思いますか。同様に、ニーファイ人はイエス・キリストの降臨を長い間待っていました。レーマン人サムエルは、イエス・キリストの死に伴って起こるしるしについて証していました（ヒラマン 14:20-27 参照）。3 ニーファイ 8:3-4 を読み、このしるしについてニーファイ人の感じ方の違いに注目してください。

3 ニーファイ 8:5-7 を読み、救い主の降誕のしるしが現れた日から 34 年目に何が起きたか見つけてください。3 ニーファイ 8:8-18 をざっと読み、嵐やそれと同時に起こった地震により被災した都市の住民に何が起きたか見つけてください。3 ニーファイ 10:11-12 を読み、どのような人たちがこの破壊を生き延びたか印を付けてください。生き残った人々は、ニーファイ人の中の「ひときわ義になった人々」でしたが、それでもまだ悔い改めてイエス・キリストのもとに来る必要がありました。



2. 聖典学習帳の中の 1 ページを使って、3 ニーファイ 8:5-18 を報道する新聞の記事を作成してください。見出しを記載し、絵を描き、破壊についての報告を書いてください。

3 ニーファイ 8:19-25

暗闇が 3 日間地を覆う

何も見えない真っ暗な場所、例えば、洞くつや明かりを消した窓のない部屋にいたときのことについて考えてください（あるいは、それがどのような状態か想像してください）。暗闇の中にいて、何も見えないとしたら、どんな感じがするのでしょうか。3 ニーファイ 8:19-23 を読み、嵐と破壊がやんだ後で何が起きたか見つけてください。（どれほど深い暗闇だったかを示す言葉や語句に印を付けるとよいでしょう。）

3 ニーファイ 8:24-25 を読み、それほどたくさんの人々の死や滅亡を防ぐためにニーファイ人たちは何ができていただろう言ったか、見つけてください。



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- 罪の影響は暗闇に在ることと、どのような点で似ているでしょうか。
- 悔い改めは光を暗い部屋に入れることと、どのような点で似ているでしょうか。

3 ニーファイ 9:1-14

暗闇の中から、イエス・キリストの声が聞こえ、破壊から生き延びた人々は悔い改めて主のもとに来るよう招かれる

3 日に及ぶ暗闇の間、救い主の声は命を助けられた人々に語りかけられました。3 ニーファイ 9:1-2, 7 を読み、このような破壊が人々の間に起こったのはなぜだと救い主が言われたか見つけてください。次に、3 ニーファイ 9:13-14 を読み、救い主が苦しみの中にある人々にどのような慰めの言葉をかけられたか見つけてください。これらの節の中で自分にとって意味のある箇所にしるしをつけるとよいでしょう。

七十人の C・スコット・グロー長老は、救い主は御自分のもとに来て癒されるよう、すべての人々を招いておられると証しています。



「イエス・キリストはわたしたちの心を癒してください。偉大な御方です。滅びに至る罪を除き、イエスの贖罪の癒しの力が及ばない罪や背き、苦しみや悲しみはありません。

罪を犯すとき、おまえはもうだめだとサタンはささやきます。対照的に贖い主は、たとえわたしたちがどんなことをしたとしても、あなたにもわたしにも、すべての人に贖いを用意しておられます。」（「贖罪の奇跡」『リアホナ』2011 年 5 月号, 109）

3 ニーファイ 9:13 に記されている、御自分のもとに来て、その癒しの力を受けるようにという救い主の招きは、わたしたち一人一人に向けられています。救い主がわたしたちを癒すことがおできになるように、わたしたちはその招きを受け入れ、自らの罪を悔い改め、改心しなければなりません。



4. 聖典学習帳に、生活のどのような場面で救い主の癒しの力から恵みを受けられると思うか書いてください。主に癒していただくためには何をすることが必要でしょうか。

3 ニーファイ 9:15-22

救い主の声、御自分の犠牲によってモーセの律法が成就されたと宣言される

ニーファイ人はこの時点までモーセの律法に従って生活していましたが、その律法の一部として、主は御自分の民に動物の犠牲をささげるよう命じておられました。それは主が贖いを通してささげられる最終的な犠牲の予型、または、ひながたとしての意味がありました。3 ニーファイ 9:17 にある救い主の言葉を使って、次の文章の空欄を埋めてください。「わたしによって贖いは可能になっており、またわたしによって_____。」

救い主は、モーセの律法の儀式、律法、典礼、象徴はすべて、人々を御自分に向けるために与えられたが、贖いの犠牲を完成したことにより、成就されたと宣言しておられます。3 ニーファイ 9:19 を読み、ニーファイ人は何をささげ

る必要はないと救い主は宣言されたか見つけてください。
3 ニーファイ 9:20 を調べ、動物の犠牲の代わりに何をささげる必要があったか印を付けてください。

「打ち砕かれた心と悔いる霊」という犠牲をささげるとはどのような意味でしょうか。悔いる霊とは、謙遜で、教えを受け入れやすく、悔い改めている霊です。打ち砕かれた心と悔いる霊を持つとはどういう意味か理解を深めるために、十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老が語った次の言葉を読み、「打ち砕かれた心」と「悔いる霊」を定義するために用いられている言葉に印を付けてください。



「昔の民は、主を礼拝し、祝福を求めるときに、しばしば贈り物を持って来ました。……改心の祝福を求めるならば、打ち砕かれた悔い改めの心、そして悔いて従順な霊を贈り物としてささげることができます。その贈り物とは自分自身、今の自分と将来の自分です。」

皆さんには清くない思いやふさわしくない思いがありますか。もしもそれを捨ててなら、救い主への贈り物になります。良い習慣または性質が欠けていますか。それを取り入れ、人格の一部とするなら、主への贈り物になります。」（「あなたが改心したときには」『リアホナ』2004 年 5 月号, 12）。

3 ニーファイ 9:21 - 22 を読み、御自分のもとに来るためには、どのようになる必要があると救い主が教えておられるか見つけてください。

 5. 自分の知っている何人かの小さい子供について考えてください。聖典学習帳に、小さい子供たちに備わっていて、わたしたちが救い主のもとに来るために必要な特質について説明してください。

3 ニーファイ 9:13 - 14, 20 - 22 にある適切な言葉または語句を使って次の原則を完成させてください。「人が打ち砕かれた心と悔いる霊をもってキリストのみもとに来れば、キリストは_____。」

（正しい答えは一つだけではありません。）



 6. この真理を応用することができるように、次の質問に答えましょう。

- a. どのような態度でいると、打ち砕かれた心と悔いる霊を主にささげることが難しくなるでしょうか。
- b. 悔い改めの心と従順な霊で主のもとに来たとき、主がどのように祝福されるのを経験しましたか。
- c. どうすればもっと打ち砕かれた心と悔いる霊を主にささげることができるでしょうか。



3 ニーファイ 10 章

主、めんどりがひなを集めるように御自分の民を集めると約束される

民は救い主の声を聞いた後、驚きのあまり全地は何時間も静かでした。その後、その声は再び民に語りかけられました（3 ニーファイ 10:1 - 3）。3 ニーファイ 10:4 - 6 を読み、救い主が民を守り、養うために何をしようと言われたか見つけてください。悔い改め、十分に固い決意をもって主のもとに来る人に対し、6 節で救い主がお与えになった約束に印を付けてください。

救い主はめんどりがひなを羽根の下に集めて危険から守るたとえを用いられました。救い主はどのような点で、危険からひなを守るめんどりに似ておられるか考えてください。加えて、3 ニーファイ 10:4 - 6 によれば、イスラエルの家のすべての者が集められなかったのはなぜでしょうか。

3 ニーファイ 10:8 - 10 を読み、民が救い主の声を聞いた後で何が起こったか見つけてください。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 6 - 10 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

3 ニーファイ 11:1-17

はじめに

大きな破壊と3日間の暗闇の後、およそ2,500人の男女および子供がバウンティフルの地の神殿の周りに集まりました(3 ニーファイ 17:25 参照)。彼らは声を聞きましたが、最初は、理解できませんでした。よく耳を傾けると、天の御父がその御子イエス・キリストを紹介されている声だと理解できました。世の救い主が御姿を現されたのです。イエス・キリストは、御自分のわきに手を差し入れ、また御自分の両手と両足の釘の跡に触れることで、御自分が世の罪のために殺されたことを一人ずつ証するよう人々にお勧めになりました。

3 ニーファイ 11:1-7

人々は御子の訪れを宣言される御父の声を聞く

鉛筆とこの学習ガイドを持って外に出、60秒間耳を傾けます。与えられている欄にできるだけ多くの音を書き留めてください。

そして、よく耳を傾けなければ特定するのが難しい音、あるいは恐らく気づかない音の横に星印を付けます。それから、部屋に戻ります。

イエス・キリストの死を意味する大きな破壊と暗闇から程なくして、人々はバウンティフルの地にある神殿に集まりました。一連の出来事について語り合っていたときに、驚くべきことが起こりました。彼らはそれが何なのか最初は理解できませんでした。3 ニーファイ 11:1-3を読み、人々は何を理解できなかったのか見つけてください。神の声についてどのように説明されているか、またその声を聞いた人はどのような影響を受けたか印を付けるとよいでしょう。

人々が聞いたその声の特徴は、わたしたちが聖霊から受ける促しとどのような点で似ているか、しばらくの間、考えてください。主と聖霊はどのような方法でわたしたちに語りかけられることが多いのでしょうか。その方法について、3 ニーファイ 11:1-3から、どのような真理を学ぶことができるのでしょうかこれらの節では、次の教義が述べられていることが分かります。「聖霊はしばしば心で感じる細くて小さな声で人に語りかけられる。」

十二使徒定員会会長のボイド・K・パッカー会長は、主の声は、聖霊を通して、わたしたちの思いと心に働きかけられると語っています。



「恐らく、わたしがモルモン書を読んで学んだ最も重要なことは、御霊の声は音というよりも感じだということです。皆さんもわたしのように、耳で聞くというよりも心で感じることにによってその声を『聴く』ことができるようになるでしょう。……

聖霊の賜物は、……皆さんを導き、守り、さらには皆さんの行いを正してさえます。それは思いに告げる霊的な声であり、考えや気持ちとして心に入ってきます」(「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号、17-18)。



1. 主の声あるいは御霊の印象が思いや心に入ってくるのを感じたときのことについて考えてください。聖典学習帳にあなたの経験とそのときの気持ちについて書いてください。

ニーファイ人はその声を二度聞きましたが、理解できませんでした。3 ニーファイ 11:4-7を読み、その声を理解するために、ニーファイ人が三度目に前回とは違って何をしたか見つけてください。人々が「耳を開いて」その声を聞いたとは、どういう意味だと思いますか。3 ニーファイ 11:5

ボイド・K・パッカー会長は、聖霊を通して主の声を聞き、理解するためには何をする必要があるか、次のように勧告しています。聖霊を通して主の声をもっとよく聞けるようになるために、何をし、何を避けるべきか、理解するのに役立つ言葉や語句に線を引いてください。

「御霊は叫んでわたしたちの注意を引くことはありません。決して大きな手で揺すったりもしません。御霊はささやきかけるのです。実際、非常に優しく働きかけるので、わたしたちはほかのことに心を奪われていると、まったくそれを感じることはできません。

時には、御霊はわたしたちが注意を払うように強く、あるいはしばしば訴えることがあります。しかし、わたしの経験から、ほとんどの場合、わたしたちがその穏やかな感覚に注意を払わなければ、わたしたちがそれらの気持ちに耳を傾けなければ、御霊は離れ去ります。そして、わたしたちの方法で、わたしたちの表現で、求め、耳を傾けるようになるまで、御霊は待ちます。」(“How Does the Spirit Speak to Us?” *New Era*, 2010年2月号、3)

自分の聖典の、3 ニーファイ 11:5-6の横と聖典学習帳に次の原則を書き込むとよいでしょう。「聖霊を通して主の御声を聴く方法を学ぶとき、主が与えてくださるメッセージを理解することができる。」



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 主の声を聞いて理解できるようにあなたの思いと心を備えるために、どのようなことが助けになるでしょうか。

b. 聞こうと努力しなかったら恐らく気づかなかったであろう主からのメッセージを理解できたのは、どのようなときでしたか。

c. 何度も聖霊の導きを受けた後で、やっと理解し従うことができたのは、どのようなときでしたか。



3 ニーファイ 11:8 – 17

イエス・キリスト、御姿を現し、御自分の傷跡に触れるように一人ずつ招かれる

3 ニーファイ 11:8 – 10 を読むときに、その出来事を心に思い浮かべてください。



3. 復活したイエス・キリストがモルモン書の民に御姿を現されたことがどのようなことだったのかを考えながら、もし自分がそこにいたらどのような思いや気持ちを抱いたか聖典学習帳に書いてください。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、救い主が御姿を現されたことの重要性について次のように語っています。

「この現れと宣言はモルモン書全体の歴史の中で焦点となるところであり、至高の瞬間でした。それは、それまでの 600 年間、ニーファイ人のあらゆる預言者を活気づけ、鼓舞し続けてきた、神の定められた出来事でした。それ以前の数千年間、イスラエル人とヤレド人の先祖もこのことによって精神を高揚させてきたことは言うまでもありません。

起こっている事柄について心に思い浮かべる

聖文を研究するときに、起こっている事柄について心に思い浮かべたり、ある出来事を経験している人々の中に自分がいたとしたらどのような感じがするか想像したりするよう努めるとよいでしょう。このような学習方法を用いることで、聖文の出来事や人々がより現実的なものとなり、聖霊の影響を感じることができるようになります。

あらゆる人がこの御方について語り、歌い、夢を描き、来臨を祈ってきました。そして今、ここにその御方がおいでになったのです。それは至高の日でした。すべての闇夜を朝の光へと変える神がおいでになりました。」(Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon [1997 年], 250 – 251)

生き残ったニーファイ人とレーマン人は、恐ろしい破壊と 3 日間に及ぶ暗闇を経験したばかりだということを覚えておいてください。2 ニーファイ 11:10 – 12 を読み、イエス・キリストは御自分について人々に何を知ってほしいと望まれたのか、またこの地上での務めの間に何をされたのか見つけてください。もしあなたがその場にいたとしたら、救い主のどの言葉を聞いて最も大きな慰めを感じたと思いますか。その言葉があなたにとってそれほど大きな意味を持つたとしたら、それはなぜかよく考えてください。自分の聖典で、自分にとって最も意義深い語句に印を付けるとよいでしょう。

3 ニーファイ 11:13 – 15 を読み、イエス・キリストは人々にどのようにして御自分についての個人的な知識を得るよう勧められたか印を付けてください。次の質問にどう答えるか考えてください。3 ニーファイ 11:14 によれば、救



い主は人々にその経験から何を知ってほしいと望まれたでしょうか。そのときおよそ 2,500 人の人々がいたことを考えると (3 ニーファイ 17:25 参照), 一人一人がそのことを知るためにどれくらいの時間がかかったでしょうか。このことから救い主について何が分かるでしょうか。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- a. 主が民に御自分を見て「一人ずつ」触れるように望まれたのは、なぜだと思えますか (3 ニーファイ 11:15)。
- b. あなたの罪を贖うために救い主が受けられた傷の跡に触れることができるとしたら、それはあなたにどのような影響を及ぼすと思えますか。

次の真理を自分の聖典の、3 ニーファイ 11:11 – 15 の近くか聖典学習帳に書くとよいでしょう。「イエス・キリストはわたしの救い主であられるという個人的な証を得るようにと、イエス・キリストはわたしを招いてくださっている。」



5. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- a. 自分の救い主についての個人的な証はどれほど強いと感じますか。過去 1 年の間に、その証はどのようにして強さを増したのでしょうか。
- b. あなたはどのような経験を通して自分の個人的な証を得たのでしょうか。あるいは、どうすればより強い証を得ることができるのでしょうか。

c. どうすれば主はあなたを個人的に知っておられるということが分かるのでしょうか。

3 ニーファイ 11:16 – 17 を読み、このような救い主との個人的な経験をした後で人々が何をしたか調べましょう。「ホサナ」が主に対する賛美の叫びだということを理解しておくといでしょう。

3 ニーファイ 11:15 をもっと詳しく調べ、民は救い主の傷に一人ずつ触れた後で何をしたか見つけてください。あなたはその場において救い主の傷に直接触れていなくても、第 3 ニーファイに書かれている人々と同様、イエスがキリストであると知るにはどうすればよいのでしょうか (考えられる幾つかの答えとしてヨハネ 20:30 – 31; モロナイ 10:3 – 7; 教義と聖約 46:13 – 14 参照)。

3 ニーファイ 11:15 を自分に当てはめて、次の言葉の空欄を埋めてください。「イエス・キリストについて個人的な証を得るとき、

_____する責任がある。」

イエス・キリストについての証を持っている人が、イエス・キリストについて証する方法を考えてください。

ボイド・K・パッカー会長は証について次のことを教えています。「霊的な事柄は強制できません。力づくで証を得ることはできません。証はゆっくり成長していくものなのです。証は証です。ですから大小にかかわらず、証には敬意を払うべきです。人が成長すると背丈が伸びていくよう

に、証も徐々に成長します。少しずつなので、その成長に気づくことはほとんどありません。」(“How Does the Spirit Speak to Us?” 3)

 **6.** このレッスンのまとめとして、イエス・キリストについての自分の証を聖典学習帳に書いてください。証を得るためにしてきたこと、あるいは証を強めるためにしようと思っていることについても書くといでしょう。御霊の導きがあれば、ほかのだれかにそれを読んであげるか、だれかに読んでもらいましょう。

 **7.** 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 11:1 - 17 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 25 — 第 1 日

3 ニーファイ 11:18 - 12:48

はじめに

バウンティフルの地の神殿に集まった人々がイエス・キリストのわき、両手、両足にある傷跡に一人ずつ触れた後で、救い主はニーファイやそのほかの人々にバプテスマを施す力を授けられました。救い主は争いを避けるよう人々に警告し、福音に従った生活を送る人々は神の王国を受け継ぐと約束されました。また、主の福音の祝福を受ける方法について教え、周囲の人々に良い影響を与えるよう指導されました。救い主はモーセの律法は御自分によって成就されたと宣言されました。また、御子や天の御父のようなための備えとなる、より高い律法を人々にお与えになりました。

3 ニーファイ 11:18 - 30

イエス・キリスト、ニーファイとほかの者たちに、バプテスマを施す力を授け、争いを非難される

あなたは自分がバプテスマを受ける準備をしていたときに抱いた思いや気持ちを覚えていますか。もしくは、友人や家族の一員がバプテスマを受けるのを見たことがありますか。多くの人が次のような疑問を抱いています。「だれがわたしにバプテスマを施せるのだろうか。」「バプテスマの儀式はどのように執行されるのだろうか。」自分がこのように尋ねられたらどう答えるか考えてみてください。

3 ニーファイ 11:1 - 17 を学んだときに、イエス・キリストが「バウンティフルの地にある神殿の周りに集ま

った民」に御姿を現されたことについて学びました(3 ニーファイ 11:1)。これらの人々は、主の傷跡に触れ、主の復活と神性についての個人的な証人となりました。この経験のすぐ後で、救い主はバプテスマについて教えられました。その教えの中には、だれがバプテスマを施せるか、またバプテスマはどのように執行するべきかということも含まれていました。

3 ニーファイ 11:18 - 22, 24 - 25 を読み、「だれがわたしにバプテスマを施せるのだろうか」という質問に対する答えを書いてください。

3 ニーファイ 11 章に記録されているように、救い主が語り、行われたことから、次のことが学べます。「バプテスマは適切な権能を持つ人によって執行されなければならない。」現代の啓示から、バプテスマはアロン神権の祭司の職を持っている人(教義と聖約 20:46 参照)、またはメルキゼデク神権を持っている人(教義と聖約 20:38 - 39; 107:10 - 11 参照)だけが執行できることが分かります。さらに、儀式を認可する神権の鍵を持っている神権指導者(ビショップ、支部会長、伝道部会長など)の指示の下でその儀式を行わなければなりません。

3 ニーファイ 11:23 - 27 を読み、「バプテスマの儀式はどのように執行されるのだろうか」という質問に答えてください。





1. 聖典学習帳に、「バプテスマは主が定められた方法で行われなければならない」のはなぜだと思うか書いてください。バプテスマの儀式の言葉を言い間違えたり、バプテスマを受ける人の全身が水に沈められなかったらどうなりますか



2. 聖典学習帳で、次の一連の質問の中から、一つあるいは幾つか答えてください。

a. バプテスマを受けた理由やバプテスマ会についてどのようなことを覚えていますか。だれがバプテスマを施しましたか。何歳でしたか。バプテスマを受けたとき、どう感じましたか。適切な権能を持っている人により、主が定められた方法によってバプテスマを受けたことは、あなたにとってどのような意味がありますか。

b. 最近だれかがバプテスマを受けるのを見ましたか。そのときにどう感じましたか。

c. あなたがアロン神権の祭司の職を持っているとしたら、自分にバプテスマを施す権能があることをどのように感じますか。だれかにバプテスマを施したことがあったとすれば、その経験をしたときに、何を感じ、学びましたか。

3 ニーファイ 11:28 - 30 に記録されているように、主は論争したり、争ったり（口論したり）しないようにという勧告を人々にお与えになりました。争いは悪魔から来るものであり、やめなければならないと教えられました。

3 ニーファイ 11:31 - 41

イエス・キリスト、キリストの教義を述べられる

今日行ったこと（行動）で良い結果をもたらしたことについて考えてください。その行動と結果を次の表の該当する方に書いてください。次に今日行ったこと（行動）で悪い結果をもたらしたことについて考えてください。

行動 → 結果

行動と結果の関係は収穫の律法と呼ばれることがあります。現代の啓示では次のように記されています。「あなたがたは、何であろうとまいたものをまた刈り入れるからである。それゆえ、あなたがたは善をまけば、報いとしてまた善を刈り入れることになる。」（教義と聖約 6:33）

3 ニーファイ 11:31 を読み、イエス・キリストが人々に何を宣言すると言われたか見つけてください。



3. 3 ニーファイ 11:32 - 39 に記録されているように、イエス・キリストはキリストの教義であり、「〔御〕父が〔キリスト〕に与えてくださった」教義を宣言されました（3 ニーファイ 11:32）。聖典学習帳に次の表を写してください。各参照聖句を読み、キリストの教義に関係しているとイエス・キリストが教えられた行動と結果を見つけてください。表から分かったことを聖典学習帳に記録してください。

	行動	結果
3 ニーファイ 11:32 - 34		
1 ニーファイ 11:35 - 36		
3 ニーファイ 11:37 - 38		
3 ニーファイ 11:39 - 40		

あなたの表によれば、天の御父の子供は皆、天の王国に入るためにしなければならないとイエス・キリストが教えられた、鍵となる行動は何でしょうか。

3 ニーファイ 11:32 で、「聖霊は天の御父とイエス・キリストについて証される」と記されていることに気づいたかもしれません。最近、聖霊があなたに天の御父とイエス・キリストの实在と愛について証されたときのことにについてよく考えてください。

3 ニーファイ 12:1 - 16

イエス・キリスト、御自分の福音に従った生活を送るときに受ける祝福について群衆に教えておられる

答を丸で囲み、次の正誤問題を完成させてください。

正 誤 天の御父はわたしたちに完全となるよう望んでおられる。

正 誤 わたしたちは現世で完全とならなければ、日の栄の王国に入ることができない。

正 誤 わたしたちは完全となることができる。

あなたの答えを確認するために、まず 3 ニーファイ 12:48 を読んでください。（これはマスター聖句です。後で見つけることができるように特別な印を付けておくとよいでしょう。）



どうすれば完全になることができるのでしょうか。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、完全になるという戒めについて次のように語っています。「完成を目指す熱心な努力が、今は困難で果てしないように感じられるかもしれません。しかし、わたしたちはがっかりする必要はありません。完成とは途絶えることのない過程です。それは復活の後のみに、主を通してだけ完全にもたらされるものです。それは主を愛し、主の戒めを守る人すべてに用意されています。」（『完成への道』『聖徒の道』1996 年 1 月号, 98）



次の質問についてよく考えてください。「主を通してだけ」完全になれるとはどういう意味だと思いますか。

先ほどの正誤問題にもう一度目を通し、3 ニーファイ 12：48 とネルソン長老の言葉から学んだことに基づいて、答えを直してください。

3 ニーファイ 12－14 章にあるイエス・キリストの教えは、「神殿の垂訓」と呼ばれることがあります。救い主の有名な「山上の垂訓」に似ており、しばしばわたしたちの理解を深めてくれるからです（マタイ 5－7 章参照）。ハロルド・B・リー大管長はこう教えています。「山上の垂訓において、主はわたしたちに、完全さという主御自身の特徴についての啓示の幾分か、言葉を変えて言えば『一言一句すべてが主の行いによって残された自叙伝』というようなものから幾分かを与えてくださいました。そこからわたしたちの生活の指針となる青写真を得ました。』（*Decisions for Successful Living* [1973 年], 56）3 ニーファイ 12－14 章を学び、主があなたにどのような方法で完全を目指して努力するよう望んでおられるか見つけてください。

山上の垂訓のとくと同様、救い主はその説教を幾つかの至福の教え、すなわち忠実な人々にもたらされる幸せな祝福された状態に関する宣言でお始めになりました（3 ニーファイ 12：1－12 参照）。これらの教えを読むときに、救い主が身に付けるように勧めておられる特質と、その結果として約束されている祝福を見つけてください。読むときに、これらの特質と約束されている祝福に印を付けるとよいでしょう。心の貧しい（3 ニーファイ 12：3）とは謙遜で主に頼っていることを意味し、悲しむ（3 ニーファイ 12：4）とは自らの罪に対して悔い改めに導く悲しみを感じることを指し、柔和である（3 ニーファイ 12：5）とは謙遜で穏やかであること、神の御心に従順であること、怒りを抱かず苦しみ忍耐強く堪えることを意味します。これらのことを知っておくとよいでしょう。



4. たった今読んだ中で、あなたが身に付けようと努力している、あるいはこれから努力する一つの特質を見つけてください。聖典学習帳に、今どのような祝福を受けているか、あるいは受けたいと望んでいるか記録してください。

3 ニーファイ 12：1－12 にある多くの真理から、「イエス・キリストの教えに従って生活するならば、祝福を受け、天の王国に入るための備えができる」ということが学べます。また、そのような生活を送るときに、世の模範すなわち光となることができます（3 ニーファイ 12：14－16 参照）。

3 ニーファイ 12：17－48

イエス・キリスト、御自身や天の御父のようになるために役立つ、より高い律法を群衆に教えられる

イエス・キリストは、悔い改め、戒めを守ることによって救い主のみもとに来る方法をニーファイ人に教えられました（3 ニーファイ 12：19－20 参照）。3 ニーファイ 12 章の後半で、救い主はモーセの律法の中にある訓戒について述べ、その後、より高い律法を教えられました。例えば、「昔の人々により……言われてきた」「書かれている」などという言葉を用いて、モーセの律法の幾つかの部分を紹介されました。それから、新しくより高い律法を紹介されました。その律法は、救い主がわたしたちに実践してほしいと願っておられる律法であり、「わたしはあなたがたに言う」という言葉が用いられています。



5. 次の参照聖句を読み、どのような行動が完全をもたらすと救い主が言っておられるか、聖典学習帳に書いてください。

a. 3 ニーファイ 12：21－22「愚か者」とは侮辱、露骨な嫌悪、あるいは憎しみを指す軽蔑的な言葉であるということを理解しておくといよいでしょう。

3 ニーファイ 13 章

はじめに

3 ニーファイ 13 章に記録されているように、救い主はバウンティフルの地にある神殿で教えを続けられました。主は民に偽善に対する警告を与え、天の御父がお喜びになるのは彼らの義にかなった行いであると教えられました。また、天に宝を蓄えるよう群衆に教え、さらには、現世の事柄を思い煩う前に、まず神の王国を求めるよう十二人の弟子に指示されました。

3 ニーファイ 13 : 1 - 18

救い主、偽善について民に警告し、天の御父を喜ばせる義にかなった行いをするように教えられる

あなたが施し（ほかの人々に何か与える行為）をするとき、祈るとき、断食をするときの動機を最もよく表している表現を選び、心の中で自己評価を行ってください。

わたしが施しをする理由は、

- a. 義務だから。
- b. 主を愛していて、人を助けることに喜びを感じるから。
- c. 人からよく思われたいから。

わたしが祈る理由は、

- a. 祈るように頼まれたときに、ほかの人たちの前で断りたくないから。
- b. 単に日課の一部だから。
- c. 天の御父と交わりたいから。

わたしが断食する理由は、

- a. 断食は主に近づく助けになるから。
- b. 断食しなければ、悪い人間と思われるから。
- c. 断食のときには、両親が食事を出してくれないから。

3 ニーファイ 13 章で、イエス・キリストはニーファイ人の群衆に、施し、祈り、断食をする際の動機の大切さについて教えておられます。自己評価に挙げられた答えは、宗教的な献身による様々な行動を起こす際の異なる動機を表しています。

 1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。義にかなった業を行うときの理由は大切でしょうか。その理由を答えてください。

 2. 聖典学習帳に次の表を描き写し、それぞれの参照聖句を読み、二つの質問に答えることで、その表を完成させてください。読むときに、偽善者とは見せかけで善い事を行う人や、言葉と行いが一致しない人だと知っておくといでしょう。

b.3 ニーファイ 12 : 23 - 24 脚注の 24 ①を参考にして、だれかと和解するというのはどのような意味か考えてください。

c.3 ニーファイ 12 : 25「自分に敵意を抱いている者と……早く仲直りしなさい」とは、ほかの人との衝突を早く解決し、より大きな問題に悪化したり拡大したりしないようにすることであると理解しておくといでしょう。デビッド・E・ソレンセン兄弟は、七十人会員を務めているとき、次のように教えています。「この原則はとりわけ家族の中で当てはまります。」（「赦しは苦しみを愛に変えるであろう」『リアホナ』2003 年 5 月号, 11）

d.3 ニーファイ 12 : 27 - 30「情欲」とは不適切で、邪悪で、利己的な欲望を指すと理解しておくといでしょう。

e.3 ニーファイ 12 : 38 - 42

f.3 ニーファイ 12 : 43 - 45

3 ニーファイ 12 章にあるこれらの節から次の原則を学ぶことができます。「キリストのみもとに来て、キリストの戒めを守るなら、キリストと天の御父のような完全な状態にさらに近づくことができる。」



わたしたちは現世で完全に到達することはできませんが、大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長は、来世で完全に到達することができるよう、完全を目指して進歩する努力を、今、払わなければならないと語っています。「完全は永遠の目標です。わたしたちはこの世で完全になることはできませんが、戒めに従って努力し、ついには贖いを通して完全になれるのです。」（「わたしたちの時代」『リアホナ』1999 年 5 月号, 21）

マスター聖句 3 ニーファイ 12 : 48

 6. 3 ニーファイ 12 : 48 を完全に覚えることができますか。この聖句を覚えたとしたら、聖典学習帳に書き出してみてください。

忘れないでください。主はわたしたちに現世で完全になるよう期待してはられません。しかし、わたしたちが主に従い、贖いの祝福にあずかろうと熱心に努力するときに、最終的には完全な者となることのできるのです。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 11 : 18 - 12 : 48 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

活動	これを行う人に、主はどのような動機を持たないよう警告されましたか。	これを行う人に、主はどのような方法ですうに言われたか。
施しをする (3 ニーファイ 13: 1-4)		
祈る (3 ニーファイ 13: 5-6)		
断食をする (3 ニーファイ 13: 16-18)		

以下の質問について考えます。

- 義を行う動機は、それを行う方法にどのように影響するでしょうか。
- 施しや祈り、断食をひそかに行うように促す正しい動機には、どのようなものがあるでしょうか。

これらのことを行う際の正しい動機は、天の御父に喜んでいただくためです。3 ニーファイ 13: 4, 6, 18 を読み、



ひそかに義を行う人に主が約束しておられることを見つけてください。

救い主はこれらの節で次の大切な原則を教えておられます。「天の御父に喜んでいただくために義を行うならば、御父は公にわたしたちに報いてくださる。」



3. 聖典学習帳に、人に見られるためでなく天の御父に喜んでいただくために何かをしようとしたことで祝福を受けていると感じたときのことについて書いてください。

レッスンの最初に行った自己評価表をざっと見直し、施しや祈り、断食をする際の動機を評価してください。これらの行い、あるいは主への献身によるそのほかの行いをするときの動機を改善するために、救い主の教えをどのように応用したらよいか考えてください。

救い主はさらに祈りについてニーファイ人に教えられました。3 ニーファイ 13: 7 を読み、祈るときに真心からでなく繰り返される言葉、あるいは飾られた言葉について主はどのように語っておられるか見つけてください。**無益**という言葉は空っぽで、思いや気持ちが伴わないという意味です。また、祈りを無益に繰り返すとは、何も考えないで同じ言葉で祈りを繰り返したり、信仰なしに祈ったりすることを意味します。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- 祈るときに無益な繰り返しを避けることはなぜ大切だと思いますか。
- 祈るときに無益な繰り返しを避けるためにどのようなことができるでしょうか。

3 ニーファイ 13: 8 を読み、イエス・キリストが天の御父について語った一つの原則を見つけてください。自分の聖典でこの原則に印を付けるとよいでしょう。わたしたちが祈る目的の一つは「神がわたしたちに与えようとすでに備えておられる祝福を、自分のため、また人々のために得ることである。しかし、それを得るには求めなければならない。」(「祈り」『聖句ガイド』, 40)

3 ニーファイ 13: 9-15 を読み、主はあなたに祈りについて何を学んでほしいと思っておられるのかよく考えてください。救い主の教えから学んだことを応用することにより祈りを改善する方法について考えてください。

3 ニーファイ 13: 19-24

イエス・キリスト、天に宝を蓄えるよう群衆に教えられる

失われた、あるいは埋められた宝についての物語を読んだり、聞いたりしたことがありますか。これらの物語で、宝探しをする人は最終的に目標に到達しますが、時として、その宝はなくなっているか、まったく存在しないということが分かります。3 ニーファイ 13: 19-20 を読み、主が語っておられる2種類の宝を見つけてください。わたしたちが求

めればいつでも得られるのは、それらの宝のうちのどちらだと主は言っておられるでしょうか。



5. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 「地上の宝」と「天の宝」はどのように異なっているでしょうか。

b. 3 ニーファイ 13 : 21 – 24 で学んだことから、救い主は地上の宝と天の宝を求めることについてどのような真理を教えておられるでしょうか。幾つか挙げてください。(富とは、世俗心や財産を表す言葉であることを知っておくと、これらの節をより良く理解するのに役立つでしょう。)

c. 地上の宝を求めることは、天の宝を求めるのを、どのように妨げる恐れがあるでしょうか。

救い主はお金やこの世の所有物は悪であるとは教えられませんでした。むしろ、地上の富ではなく、いつまでも残る天の宝に心を向けることの重要性を強調されたのです。

わたしたちは 3 ニーファイ 13 : 19 – 24 から次のような原則を学ぶことができます。「神を自分の主人とするためには、世のものよりも神を愛し、神に仕えなければならぬ。」

神と富に同時に仕えようとする例としてどのようなものがあるでしょうか。幾つか挙げてください。常にこの世のことではなく、神を愛し、神に仕えるのが難しいのはなぜでしょうか。神を最優先することに努力の価値があるのはなぜでしょうか。



6. 次の例を読んでください。聖典学習帳に、その人はどちらの主人に仕えていると思うか書いてください。神でしょうか、富(世俗)でしょうか。

a. ある若い男性は、日曜日の集会に出席できない仕事を辞めて、代わりに、給料は安いけれども日曜日に働く必要のない仕事を選びます。

b. ある若い女性は、新しい服が必要であるということについて親によく不満を言います。彼女が買いたい服は、家族の経済力を超える高価な服です。

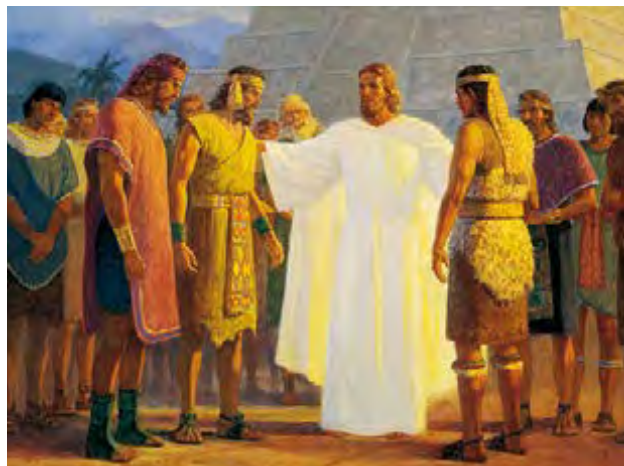
c. ある若い男性は、仕事をして得たお金の^{じゅうぎん}の^{しぶん}の^一を定期的に納めています。しかし、残りのすべてを不適切な映画や音楽などを楽しむために使い、伝道や教育のための貯蓄をまったくしていません。

d. ある若い女性は、人に愛を示すために、たびたび収入の一部を使って小さな贈り物を買います。

3 ニーファイ 13 : 25 – 34

救い主、12 人の弟子に、現世の事柄よりも神の王国を求めるように指示される

十二使徒が人々の間に出て行って教え導くのに際し、イエス・キリストは 12 人の弟子に、この世の衣食のことで煩わないようにと教えられました(3 ニーファイ 13 : 25 – 31 参照)。3 ニーファイ 13 : 32 – 33 を読み、救い主が弟子たちに彼らのこの世の必要について何と言われたか見つけてく



ださい。主は神と神の王国を生活の中で最優先する人々に何を約束されましたか。

わたしたちはこれらの節から次の原則を学ぶことができます。「人がまず神の王国を求めるならば、神は人が自分の必要に備えられるように助けてくださる。」



7. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 「まず神の王国……を求め」るにはどうすればよいでしょうか(3 ニーファイ 13 : 33)。

b. あなたが主を第一に考えて生活したときに、主はどのような方法であなたの必要を満たしてくださったでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、神を第一に考えて生活することからもたらされる祝福について証しています。(この引用を紙に書き留め、自分の聖典の中に保管し、後でもう一度読むか分かち合うとよいでしょう。)



「神を第一に考えれば、ほかのすべてのものは正しい位置に落ち着くか、またはわたしたちの生活の中から消えていくかのどちらかです。主の愛は感情の欲求や時間の要求、興味、物事の優先順位をコントロールします。……

わたしたちは人生にあって、霊の父であられる神に絶対の優先権を置かなければなりません。」(「偉大な戒め — 主を愛する」『聖徒の道』1988 年 6 月号, 4 – 5)

あなたやあなたの知っている人が、神を第一に考えて生活することで、神からどのような祝福を受けてきたかよく考えてください。



8. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 13 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

3 ニーファイ 14 章

はじめに

3 ニーファイ 14 章では、神殿でのイエス・キリストの説教が続きます。主は人を裁くことについて警告し、また祈りによって天の御父の祝福を求めるように教えられました。主はまた偽預言者についても警告し、神の御心を行うことの大切さを強調されました。

3 ニーファイ 14 : 1 – 6

救い主、人を裁くことについて教えられる

賛美歌から「われ主を愛して」(『賛美歌』134 番) の 2 節の歌詞を読むか、自然に歌えるようであれば歌ってみます。

おのれの罪、^{とが} 咎
なぜに見えぬか
心を^{もとめ}探りて
弱きを^{よそ}憐れん
裁きを^{つし}慎み
従い^{したが}行かん

3 ニーファイ 14 章に記録されているように、救い主は続けて神殿でニーファイ人に教えられました。3 ニーファイ 14 : 1 – 2 を読み、救い主がお与えになったこの指導は、あなたが読んだ賛美歌の歌詞とどのように関連しているか考えてください。(「あなたがたが量るそのはかりで」という言葉は、人がだれかを評価したり裁いたりするときの基準を指しているということを理解しておくといよいでしょう。)



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 救い主が 3 ニーファイ 14 : 1 – 2 でお与えになっている勧告は、賛美歌「われ主を愛して」の 2 番の歌詞とどのように関連しているのでしょうか。

b. 3 ニーファイ 14 : 2 で救い主が教えられている真理の大切さを自分の言葉で表現するとしたらどのようなになるでしょうか。(自分の聖典の余白に、この真理または原則を書くといよいでしょう。)

十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老は、3 ニーファイ 14 : 1 に記されている「裁いてはならない」という救い主の戒めを理解するうえで役立つ洞察を紹介しています。それを読みながら、主が避けるように言われた種類の裁きとその理由に線を引いてください。



「裁きには、わたしたちに禁じられている最後の裁きと、義の原則に基づいて行うように指導されている中間的な裁き、これら 2 種類の裁きがあります。……

最後の裁き……は将来行われることであって、わたしたち全員が自分の行いについて裁かれるためにキリストの裁きの座の前に立ちます。……聖典に記されている『裁いてはならない』という命令は、間違いなくこの最後の裁きを指しているとわたしは考えています。……

……わたしたちが最終的な裁きを下さないようにと救い主から命じられたのはなぜでしょうか。わたしたちはある人に関して、ある特定の時点においてある特定の行為を基に、その人は地獄へ(あるいは天国へ)行くだろうと言って、最終的な裁きを推定するようなことがあるためにこの戒めが与えられたとわたしは考えています。わたしたちはこのような裁きを下そうとする大きな誘惑を受けています。そして、そうするとき、わたしたちは自分と、裁いた相手を傷つけています。……

……義にかなった裁きは、本質的に、暫定的なものでなければなりません。ある人は間違いなく昇栄すると宣言したり、ある人は必ず地獄の火で焼かれると決めつけたりはしません。またある人は昇栄を受ける機会どころか、主の業における日常的な役割を果たす機会すらすべて喪失したと宣言したりはしません。……福音は希望の福音であって、個人の罪からの清め、^{ゆる}赦し、適切な条件の下での生活の変革を及ぼす^{いさめ}贖罪の力を否定する権能を持っている人は一人としていません。」「(“Judge Not” and Judging,” *Ensign*, 1999 年 8 月号, 7, 9)

「裁いてはならない」という救い主の戒めを理解するうえで、オックス長老の言葉がどのような助けとなるかよく考えてください。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

3 ニーファイ 14 : 2 に記されている「わたしたちが裁くその裁きで、自分も裁かれる」という原則は、人の過ちや弱点に対するわたしたちの見方をどのように変えてくれるのでしょうか。3 ニーファイ 14 : 12 を読んでください。この聖句は上の原則とどのように関連しているのでしょうか。

目に何か小さなもの、例えば、まつげやゴミの小片が入った経験がありますか。聖文は目の中の小片をちりと呼んでいます。長くて太い木材は^{はり}梁と呼ばれています。救い主はこうしたイメージを使って、わたしたちが人に対して不義な裁きや不適切なあら探しをするときに起こる問題を理解できるようにしてくださいました。3 ニーファイ 14 : 3 – 5 を読み、ちりや梁が何を表しているのか考えてください。



3. 聖典学習帳に、救い主が 3 ニーファイ 14 : 4 で述べておられることについて絵を描いてください。それから、次の質問に答えてください。

a. ちりは何を表していると思いますか。

b. 梁は何を表していると思いますか。

c. ちりではなく梁という言葉が不義な裁きをする人の欠点を表すのに用いられているのはなぜだと思いますか。

救い主のたとえは、目に留まっているもの、すなわち人の視覚に影響を及ぼすものに焦点を当てています。このことに注目してください。自分自身に関する次の質問についてよく考えてください。自分の不完全さや落ち度は、人を見るときにどのように影響するでしょうか。3 ニーファイ 14:5 に記されているイエス・キリストの勧告をわたしはどのように応用することができるでしょうか。

ほかの人の行動について裁くことは果たして適切あるいは必要なのでしょうか。わたしたちは人を不義に裁くべきではないが、義になかった裁きを行うよう教えられているということを預言者ジョセフ・スミスは明らかにしています（ジョセフ・スミス訳マタイ 7:1-2 参照）。

以下の説明は人を裁くという問題に対するさらなる洞察を提供してくれます。「時として、どのような形であれ、人を裁くのは間違っていると感じる場合があります。確かに、人を非難したり、不当に裁いたりしてはなりません、考え方や状況、人物に関しては生涯にわたって判断を下す必要があります。主はわたしたちに自分で判断しなければ守れない戒めを数多くお与えになりました。」（『真理を守る－福音の参考資料』〔2004 年〕160）

義になかった裁き（判断）をすることの大切さを理解できるように、3 ニーファイ 14:6 を読み、救い主が自分で判断するように教えておられることを幾つか見つけてください。読む前に、「聖なるものを犬に与え〔る〕」、「豚の前に真珠を投げ〔る〕」というのは、神聖なものを尊ばない者やふさわしくない者と、神聖なものを共有することであると理解しておくといえでしょう。

3 ニーファイ 14:6 は、義になかった裁きを行う必要性を理解するうえでどのように役立つでしょうか。ダリン・H・オークス長老は、わたしたちが義になかった裁き（判断）を行う必要のある幾つかの状況について説明しています。



「わたしたちは皆、友達を選ぶとき、自分の時間やお金を使う方法を選ぶとき、またもちろん永遠の伴侶を選ぶときに判断を下します。……

……義になかった裁きは主の御霊によって導かれるものであって、怒りや復讐、ねたみ、利己心に基づいて行うものではありません。」（“‘Judge Not’ and Judging,” 9）



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 友人を選ぶ、時間やお金の使い方を決める、永遠の伴侶を選ぶなどの分野で義になかった裁き（判断）が重要なのは、なぜでしょうか。ほかの人に対して裁きを下すことが必要な場合、あるいは適切な場合として、どのようなものがあるでしょうか。幾つか挙げてください。

b. どうすればもっと義になかった裁き（判断）をすることができるでしょうか。自分がかもっと親切にできる人、あるいは不義な裁きを控える必要のある人がいないかどうかよく考えてください。

3 ニーファイ 14:7-12

救い主、天の御父の祝福を求めることについて教えられる

天の御父があなたの祈りに答えてくださったときのことに考えてみてください。3 ニーファイ 14:7-11 を読み、天の御父がわたしたちの祈りに喜んで答えてくださることについて、イエス・キリストがどのようなことを教えておられるか見つけてください。

3 ニーファイ 14:7-11 から、「天の御父の助けを祈り求めるとき、御父は祝福してくださる」ということを知ることができます。天の御父がわたしたちの祈りに惜しむことなく答えてくださると知ることによって、わたしたちの祈り方はどのように変わってくるのでしょうか。



5. 信頼できる成人の会員に次の質問を尋ねてください。自分の祈りに答えてくださったことを通して、天の御父の自分に対する愛を感じたのはいつのことですか。その人の答えと、その答えから学んだことを要約し、聖典学習帳に書いてください。

3 ニーファイ 14:13-27

救い主、天の御父の御心を行うことの大切さについて教えられる

救い主は神殿に集まったニーファイ人に引き続き教えられたときに、主はわたしたちが主の教えに従うことの大切さを理解できるように、幾つかのたとえを用いられました。それぞれのたとえには良いたとえと悪いたとえの両方が出てきます。



6. 聖典学習帳に、次の3つの聖文に出てくる良いたとえと悪いたとえの簡単な絵を描いてください。また、良いたとえと悪いたとえを比較することで、救い主がわたしたちに学んでほしいと思っておられることは何なのか、自分の考えを書き込んでください。クラスでこれらの絵を見せて、たとえから学んだことを説明できるよう準備してください。

a. 3 ニーファイ 14:13-14

b. 3 ニーファイ 14:15-20

c. 3 ニーファイ 14:24-27。

3 ニーファイ 14:21-23 を読み、イエス・キリストを信じていると言えさえすれば、神の王国に救われるとだれかに言われたら何と答えるか、考えてください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 14 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

3 ニーファイ 15 – 16 章

はじめに

救い主はバウンティフルの神殿で民を教え続けられました。主は、モーセの律法が成就されたことと、御自分が、民の頼るべき光であり律法であることを宣言されました。その後、12人の弟子に、アメリカ大陸の民はイエス・キリストがエルサレムで語られた「他の羊」であることを説明されました（ヨハネ 10：14 – 16 参照）。イエス・キリストはまた、悔い改めてイエス・キリストのもとに立ち返る人々は主の聖約の民の中に数えられると約束されました。

3 ニーファイ 15：1 – 10

救い主、モーセの律法は成就したと宣言される

自分の一を納める、安息日を守る、あるいは両親を敬うといった律法や戒めに従うようにと主が言われたのはなぜなのか不思議に思ったことはありませんか。イエス・キリストは、ニーファイ人を教えられたとき、主の律法と戒めの背後にある中心的な目的について教えられました。3 ニーファイ 15 章を学ぶときに、この目的を探しましょう。

救い主は、群衆に語り終えた後、彼らの中に疑問を抱いている人がいることに気づかれました。3 ニーファイ 15：1 – 2 を読み、人々が何を驚き怪しんだか書いてください。

律法の「古いもの」は過ぎ去って「すべてのものが新しくなった」という救い主の宣言にニーファイ人が驚き怪しんだのはなぜなのかを理解するうえで、ニーファイ人が何世紀にもわたってモーセの律法を知り、その律法の下で生活してきたことを知っておくといえでしょう。ニーファイ人の礼拝、儀式、教会組織は、モーセの律法の上に築かれており、その目的は、民をイエス・キリストの来臨に備えさせ、またイエス・キリストの贖いの犠牲に心を向けさせることでした。今や、その聖なる立法者は彼らの前に立ち、贖いは達成され（3 ニーファイ 11：10 – 14 参照）、モーセの律法は御自分によって成就していると宣言されました（3 ニーファイ 9：16 – 20；12：46 – 47 参照）。モーセの律法を構成する古いものは「過ぎ去って」、新しいものが律法に取って代わることになることと宣言されたのです。この宣言によって、神の礼拝のあるべき姿が突如として変わりました。

救い主は、一つのきわめて大切な教義を強調することによって、彼らの不安に対処されました。3 ニーファイ 15：3 – 5、9 を読み、律法の源が変わることはないと言われ、ニーファイ人を安心させたと思われる救い主の答えの部分にマーカーで印を付けてください。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。「わたしは律法である」と言われたとき、イエスはニーファイ人に何を教えておられたのだと思いますか。3 ニーファイ 15：9

この聖文に記されている救い主の教えから、「イエス・キリストは福音のあらゆる律法と戒めの中心である」ということを学ぶことができます。モーセの古い律法はより高い律法に取って代わるということを知り、礼拝の仕方に関する変更を経験したニーファイ人にとって、この真理が大切だったのはなぜなのかよく考えてください。

3 ニーファイ 15：9 – 10 を読み、主がこの教義を学んだわたしたちに実行するよう望んでおられることに印を付けてください。この聖文で学んだことを基に、次の原則を完成させてください。「_____を守り、_____でイエス・キリストに_____ならば、主は_____を与えてくださる。」

2. 自分の一を納める、安息日を守る、両親を敬うなどの戒めについて考え、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

- 戒めを守りながら、キリストに頼らないとはどのようなときでしょうか。
- 規則に従うことだけでなくイエス・キリストに頼ることに焦点を当てることで、戒めの守り方はどのように変わっていくでしょうか。

キリストに頼ることで、戒めの守り方がどのように変わるかという点に関して、一つには、戒めに従う動機が義務感、あるいは規則への愛から、主への愛に変わるということが挙げられます。



十二使徒定員会のマービン・J・アシュトン長老が語った次の言葉を読んでください。「救い主イエス・キリストに頼って最後まで耐え忍ぶならば、永遠の命を得、昇栄できるという教えは、何と大きく霊的な慰めと祝福を与えてくれることでしょうか。……神はわたしたちが頼れば頼るほど、近い存在となってきます。神に頼る人は、何の強制がなくても、神に仕えて生きようになります。教会の指導的な立場にある人は、いつも神に頼ることを忘れてはなりません。」（『多くの賜』『聖徒の道』1988年1月号、21）



3. なぜ従う必要があるのか疑問に思った戒めを一つ選び、その戒めを守ることによってどのようにイエス・キリストに導かれるか考えてください。自分が選んだ戒めにもっと従順になるための目標を設定し、その目標を達成する方法について幾つかのアイデアを書くといよいでしょう。聖典学習帳にあなたの考えたことを記録してください。

3 ニーファイ 15：11－16：5

イエス・キリスト、他の羊について弟子たちに語られる

あなたは忘れられている、あるいは孤独だと感じたり、天の御父はあなたの真の姿を御存じではないと思ったりすることがあります。孤独だと感じたり、劣等感を感じたりすることあるかもしれませんが、「神は御自分の民を心に掛け、御自身をその民に現されます。」3 ニーファイ 15 章の残りと 3 ニーファイ 16 章の初めの部分を学び、そのことが真実であるという証拠を見つけてください。

新約聖書とモルモン書に記録されているように、イエス・キリストは旧世界とアメリカ両大陸に住む人々の間で教え導かれました。3 ニーファイ 15：11－17 を読み、主はアメリカ両大陸の人々についてエルサレムの人々に何と語ったと言われたか見つけてください。

「他の羊」とは、羊飼いであるイエス・キリストに従うほかの者たちを指します。囲いとは羊を飼うための仕切りですが、囲いという言葉は、この場合、イエス・キリストに対する共通の信仰を持つ人々という意味で用いられています。3 ニーファイ 15：17 によれば、主はその御姿を他の羊にどのような方法で現すと言われたのでしょうか。

主は、他の羊についての詳しい知識をエルサレムに住む人々には与えないよう天の御父から命じられたのはなぜなのか説明しておられます。3 ニーファイ 15：18－20 を調べ、救い主の説明に印を付けてください。天の御父はニーファイ人に関するより偉大な知識をユダヤ人にはお与えになりませんでした。ユダヤ人が罪惡を犯したためです。主から知識と真理を受ける方法について、このことから一つの

大切な原則が学べます。この聖文に基づいて、次の原則をどのように完成するでしょうか。「神は _____ に応じて知識と真理を授けてくださる。」

主はニーファイ人に、彼らは御自分がエルサレムで語った他の羊の一部であると言っておられます。ユダヤ人は、主が異邦人（イスラエル以外の民）のことを語っておられると思いました。異邦人が救い主の声を「聞く」ことはいないということを、ユダヤ人は理解できなかったのです（3 ニーファイ 15：21－23 参照）。

主はニーファイ人に、主が彼らのことを心にかけていることを再確認されました。3 ニーファイ 15：24 を読み、その具体的な方法を見つけてください。

3 ニーファイ 16：1－3 を読み、ほかにどのような人々が救い主の声を聞くかを見つけてください。救い主が訪れたほかの場所や民の記録はありませんが、救い主がほかの人々を訪れ、彼らを御自分の「群れ」に導かれたことは明らかです。

イエス・キリストは、御自分の声を聞く機会のない人々のことも心にかけていることを、どのように示しておられるのでしょうか。3 ニーファイ 15：22－23 と 3 ニーファイ 16：4 を読み、主が異邦人にどのような方法で御自身を現すと述べておられるか見つけてください。

3 ニーファイ 15 章と 16 章でこれまで学んだことから、神は御自分の民を心にかけ、彼らに御自身を現されるということに関して、どのような証拠を見つけたのでしょうか。 _____



3 ニーファイ 16:5 を読み、異邦人が主とその福音を知った後、末日に何が起こるか見つけてください。

イエスは御自分のすべての子供たち、すなわちにイスラエルの家と異邦人を祝福すると約束されました。そのためにニーファイ人によって書き記された言葉を彼らにお与えになりました。ニーファイ人の記録は異邦人を改心させる助けとなるでしょう。そして異邦人は末日にイスラエルの家を集合させる助けとなるでしょう（3 ニーファイ 16:4-5 参照）。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。自分のこれまでの人生を振り返るとき、イエス・キリストがわたしたちすべてのことを心にかけておられることを示す、どのような証拠を見つけましたか。

3 ニーファイ 16:6-20

イエス・キリスト、末日に福音を受け入れる異邦人に対する祝福と警告について述べられる

グループやクラブやチームに加わりたと思ったことがありますか。具体的な例について考えてください。そのグループに加わるために何が必要となるのでしょうか。あなたが加われる最も偉大なグループは、末日聖徒イエス・キリスト教会、主の聖約の民です。

3 ニーファイ 16:6-7 を読み、末日における異邦人の信仰とイスラエルの不信仰によって何が起こるか見つけてください。終わりの時には信仰心のない異邦人もいて、彼らはイスラエルの家を散らし、苦しめるということを理解しておくといよいでしょう（3 ニーファイ 16:8-9 参照）。主は末日において、邪悪な人々からは福音を取り去り、イスラエル人であれ異邦人であれ、義にかなった人々にはそれを明らかにされます（3 ニーファイ 16:10-12 参照）。

3 ニーファイ 16:13 を読み、主の聖約の民となるためには何が必要か見つけてください。3 ニーファイ 16:13 で学んだことを基に、次の原則を完成させてください。「もしわたしたちが _____ ならば、イエス・キリストの民の中に数えられるようになる。」



5. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 主の聖約の民に属していることは、どうすれば分かるでしょうか。

b. 主の民に数えられることにより、あなたはこれまでの人生でどのような祝福を受けてきたでしょうか。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 15-16 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 26 — 第 1 日

3 ニーファイ 17 章

はじめに

ニーファイ人との第 1 日目が終わろうとしていたときに、イエスは御自分の言葉を十分に理解していない者が大勢いるのに気づかれました。そこで、さらに理解する方法を彼らに教えられました。救い主が去ると述べられたとき、民は涙を流しました。哀れみに満たされた救い主は、もうしばらくの間とどまられました。病人を癒し、子供たちを祝福し、民のために祈られました。群衆は、主と交わるときに、大きな喜びと救い主への愛を感じました。

3 ニーファイ 17:1-3

イエス、民に御自分の言葉について深く考え、理解力を求めて祈るよう命じられる

聖文あるいは教会指導者の語った言葉の中に、自分が理解できない教えがあったとき、どのように対処するでしょうか。当てはまるものをすべて丸で囲んでください。

- その教えをまったく無視します。
- 理解できるようにほかの人から助けてもらいます。
- その教えについてよく考えます。
- 理解できるよう天の御父に助けをいただきます。

3 ニーファイ 17 章に記録されている出来事は、イエス・キリストがニーファイ人の群衆と交わられた最初の日が終わるころに起こりました。救い主は御自分が教えたことをより良く理解できるよう、ニーファイ人に何をしよう命じられたのでしょうか。3 ニーファイ 17:1-3 を読み、その部分に印を付けてください。自分の家に帰って、深く考え、祈ることは、福音の真理をより良く理解するうえでどのように役立つと考えてください。



大管長会のヘンリー・B・アイリング管長は、深く考えるということがどのような意味なのか説明しています。次の言葉を読み、深く考えるということについて述べている言葉や語句にマーカーで印を付けてください。「読むことと、研究することと、深く考えることは同じではありません。読めば何かに気づき、研究すれば聖文中のパターンと関連性を見いだすでしょう。しかし、深く考えるときに、御霊の啓示を招くのです。わたしの場合深く考えるとは、聖文を入念に読み、研究した後考え、祈ることを意味しています。」（「御霊とともに奉仕する」『リアホナ』2010 年 11 月号、60）

3 ニーファイ 17:3 を入念に調べ、民が翌日また救い主とお会いするために「心が備えられる」よう救い主が教えられたことに注目してください。この聖文の研究を進める前に、次の質問にどう答えるか深く考えてください。どうすれば教会に出席する前に心が備えられるのでしょうか。セミナ

リーに出席する前はどうか。総大会の話を書く前はどうか。聖文を研究する前はどうか。心が備えられることで、こうした学ぶ機会から得られるものとのような違いが生まれると思いますか。

この聖文から次のような原則を学ぶことができます。「深く考えることと御父に祈ることによって、わたしたちはもっと深い理解力を得ることができる。」(自分の聖典の3ニーファイ 17:1-3の横にこの原則を書き込むとよいでしょう。)



1. この原則を応用するための一助として、以下の項目のうち一つまたはその両方を選択し、これから1週間、自分の生活に取り入れてください。自分が行ったことを聖典学習帳に書き込みます。また、そのように行動することで、教会、セナリーまたは総大会、あるいは聖文から学ぶことがどのように増えたか書き出してください。学習帳を使ったこの活動を教師と分かち合う準備をします。また、これから1週間、これらの分野の一つで向上し続ける計画を立てます。

- a. 教会やセナリーに出席する前に心の備えをします。
- b. 教会やセナリーで聞いたことについて深く考え、祈ります。

3 ニーファイ 17:4-25

救い主、ニーファイ人の中の病人を癒し、子供たちを祝福される

この経験が終わらないようにと願うほど心を高揚され、喜びに満たされた経験について考えてください。3ニーファイ 17:4-5を読み、御自分は御父のもとへ帰ると救い主が言われたとき、ニーファイ人がどのように反応したか見つけてください。

救い主はニーファイ人の義にかなった望みに対し、深い哀れみをもって答えられました。以下の活動を通して、イエス・キリストがわたしたち一人一人に抱いておられる愛をもっとよく理解することができます。また、聖文に記されたイエス・キリストの真の人格と特質を見いだすのにも役立ちます。



2. 次の参照聖句を聖典学習帳に書いてください。後で書き込みをするために、それぞれの参照聖句の下に余白を残してください。3ニーファイ 17:6-10; 3ニーファイ 17:11-18; 3ニーファイ 17:19-25。これらの聖句を一つずつ研究し、救い主の人格、すなわち救い主がどのような御方かについての真理を見つけてください。各聖句につき一つ、全部で少なくとも3つの真理を見つけ、それぞれを該当する聖句の下に記録してください。

モルモン書に記されている最も愛にあふれる感動的な出来事の一つは、イエスがそのときその場に居合わせた幼い



子供たちを祝福されたことです。この出来事はイエス・キリストの特質と人格を理解するうえで助けとなります。3 ニーファイ 17:11 - 12, 21 - 25 の救い主と子供たちに関する記事を引用する前に、ボイド・K・パッカー会長はこう述べています。「わたしたちはほかのいかなる箇所によるよりも、ニーファイ人の間で救い主がなさった教導の業の話の中に、救い主の心の深さを見ることができます。」（「子供たちを教えなさい」『リアホナ』2000 年 5 月号, 22）

群衆が、「どんなことでも苦しんでいる」人たちを含む病人や苦しんでいる人を救い主のもとに連れてきたことに注目してください（3 ニーファイ 17:9）。この苦しみは肉体的、情緒的あるいは精神的なものであったことでしょう。自分はどうように「苦しんでいる」か深く考えてください。もし救い主があなたを個人的に祝福してくださるとしたら、苦しみからどのように助けてくださるでしょうか。

 3. このレッスンの最初の方で学んだ深く考えるという原則を思い起こしてください。深く考える一つの方法は、聖文に描写されている状況に自分が置かれていることを思い描くことです。しばらくの間、もし自分が 3 ニーファイ 17 章に記録されている出来事に居合わせていたならばどのような感じだったか思い描いてください。聖典学習帳に、そのとき自分は何を聞き、何を見、何を感じたと思うか、また、救い主から何を学んだと思うか書き留めてください。自分だったら救い主にどのような祝福を求めたか書き留めてもよいでしょう。

思い描く

想像するという原則を用いて、聖文について深く考えてもよいでしょう。聖文の出来事について思い描くように、あるいは今読んでいる経験を自分もしていると想像してみてください。思い描くことは、聖文に書かれていることについて考えたり、それを理解したり、応用したりするのに役立ちます。

3 ニーファイ 17:6 - 25 で学んだ真理について説明する文章を考えてください。その文章を、この聖句の横にある余白、または聖典学習帳に書いてください。この聖句から学ぶことのできる真理の一つは、次のようなものです。「救い主は人に深い哀れみを感じておられる。」この聖句から学んだ救い主の人格に関する真理を知ることが、どうして大切なのでしょうか。

信仰に関する次の言葉を読んでください。「あなた

を救いへと導く信仰は、主イエス・キリストを中心に置くものでなければなりません。主が実在の御方だということに対する確信、主の属性に関する正しい理解、自分は主の御心に添った生活を送ろうと努力しているという知識があるときに、キリストに対する信仰を行使することができます。」（『真理を守る — 福音の参考資料』）〔2004 年〕, 110）

 4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。哀れみ深いという救い主の特質を理解することは、救い主に対する信仰を行使するうえで、どのように役立つでしょうか。

 5. 3 ニーファイ 17 章で救い主について学んだことをほかの人を分かち合ってください。その人の名前と分かち合ったことに関する要約を、聖典学習帳に記録してください。

わたしたちはニーファイ人がイエス・キリストと共有したような経験をしたことはありませんが、わたしたち一人一人が主に会い、主の声を聞く日が来ます。1 日か 2 日の間このレッスンについて深く考えてください。自分の望み、弱点、心の痛み、そして試しについて祈るとき、救い主の哀れみについて考えてください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 17 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 26 — 第 2 日

3 ニーファイ 18 章

はじめに

イエス・キリストはニーファイ人の中における一日目の教導の業を終えるに当たって、聖餐を執行され、すべての人に手を差し伸べるよう命じられました。救い主はこれらの戒めを守る人々に大きな祝福を約束されました。また、12 人のニーファイ人の弟子に、教会における彼らの務めに関して指示を与えられました。また天に昇っていかれる前に、聖霊の賜物を授ける力を彼らに与えられました。

3 ニーファイ 18:1 - 14

イエス・キリスト、ニーファイ人に聖餐を執行される

七十人会員を務めたジェラルド・N・ランド長老が語った次の物語を読み、自分がこの話に出てくる男性の立場に置かれたとしたらどのような気持ちがするか想像してください。

「しばらく前のこと、登山についての興味深い記事が掲載されました。その中に、『ふつつかな僕であるわたしたちは、いったいどうすれば、キリストがわたしたちのためにしてくださったことに報いることができるだろうか』という質問に対するすばらしい答えを与えてくれる物語が紹介されていました。

それはクライミングスクールを経営しているチェンクシュという名の人についての記事でした。……チェンクシュ氏はインタビュアーに、登山でのビレイシステムについて述べていました。これは登山者の落下を防止するシステムです。登山者は安全な位置に着くと、通常は自分の体にロープを

に、目を覚ましていることと祈ることの両方が欠かせないのは、なぜだと思いますか。

3 ニーファイ 18:15, 20-21 がマスター聖句であることに注目してください。自分の聖典でこれらの聖句に印を付けてもいいでしょう。



5. 次の質問を読み、それについて考え、聖典学習帳でその質問のうち、二つ以上に答えてください。

- a. サタンの誘惑に抵抗するうえで、祈りはどのように助けになっていますか。
- b. 自分の祈りを改善するために、何をすることができますか。
- c. 家族と一緒に祈ることから、どのような祝福を受けてきましたか。(3 ニーファイ 18:21 参照)
- d. 家族がいつも有意義な家族の祈りができるように、あなたにはどのような助けができるでしょうか。

わたしたちは、天の御父に祈り、救い主イエス・キリストに近づくと、ほかの人々も救い主に近づけるよう助けなくなるものです。救い主に近づけるよう、だれを助けたいか考えてください。3 ニーファイ 18:22-24 を読み、この聖句の中から次の原則を見つけてください。「ほかの人々を教え導くとき、その人がキリストのもとに来るように助けることができる。」

3 ニーファイ 18:24 に記録されているように、救い主は、わたしたち一人一人がそれぞれの光を掲げて、世の人々に輝き渡るようにと教えられました。また、救い主は御自分こそ、わたしたちが世に掲げるべき光であると言われました。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、救い主の光を掲げるために、わたしたちは主の戒めを守り、主の模範に従うのだと教えています。



「救い主が『わたしに従ってきなさい』と勧告されたように、わたしたちは救い主のようになる必要があります。わたしたちが光を輝かせて、わたしたちに従う人々が救い主に従うようになるならば、イエスに喜んでいただけるのではないのでしょうか。その光を求めて、バプテスマの門を喜んで通りぬけ、永遠の命に至る細くて狭い道に入る人々がいます(2 ニーファイ 31 章参照)。彼らを安全な港に導く光になってくださいますか。……」

あなたは、ほかの人を安全に天の家へと導くために、天の御父が送られた光です。あるいは永遠の命に至るまっすぐに狭い道に戻る道筋を遠くから指し示すかがり火です。あなたは立ち止まってそう考えたことがありますか。あなたの光はかがり火であり、決してその輝きをなくしてはなりません。あるいはまた、家へと帰る道を探している人を誤った方向へ導いてはならないのです。……

……イエス・キリストはわたしたちに与えられている光であり、この光に従うことで、進むべき方向が分かるのです。わたしたち一人一人が正義を選び、周囲の人々を引き上げ、強める〔ことができるように祈ります〕。」「(That Ye May

Be the Children of Light”[ヤングアダルト対象教会教育システムファイアサイド, 1996 年 11 月 3 日], 6-7)

人々のために祈ること、教会の集会に出席するように招くこと、キリストのような模範を示すことは、人々を教え導く方法です。イエス・キリストに従い、救い主に近づくようほかの人を助けたときに感じた気持ちについて深く考えてください。今日、あるいは今週、あなたは自らの光を輝かし、周囲の人々があなたに従うことによって救い主に従うようにするために、何をしましょうか。

3 ニーファイ 18:26-39

救い主、すべての人に手を差し伸べるよう弟子たちに教えられる

救い主は聖餐を定め、ニーファイ人に祈りについて教えた後、御自分が選んだ 12 人の弟子の方を向き、教会の諸事を指導し導く方法に関して指示を与えられました(3 ニーファイ 18:26-39 参照)。3 ニーファイ 18:26 で、救い主が群衆に話すのをやめ、「御自分が選ばれた」指導者たちに目を向けられたことに注目してください。28-29 節に記されている主のメッセージは、人々にふさわしくないままで聖餐を取らせることに対する警告として神権指導者に与えられたものです。

教会員は聖餐を受ける自らのふさわしさに心を向け、ほかの人のふさわしさをを判断する責任は、そのような判断をするよう主が召された人たち、例えば、ビショップやステーク会長に任せるべきです。3 ニーファイ 18:32 を読み、信仰から迷い出た人の世話をする方法について、救い主が弟子たちにどのようなことを教えられたか見つけてください。友人、家族、あるいは自分のワードや支部で信仰から迷い出た人々を、どうすれば「教え導く」ことができるか考えてください。

マスター聖句- 3 ニーファイ 18:15, 20-21

数分を割いて 3 ニーファイ 18:15, 20-21 を暗記するとよいでしょう。一枚の紙に 3 つの聖句を書き、それぞれを繰り返し言うってください。何度か読んだら、次に聖句の違う部分を少しずつ消すか、隠しながら、聖句を言い続けます。すべての言葉が消えてなくなるまで、このプロセスを繰り返すとよいでしょう。

この聖句を覚えながら、救い主が何を教えておられたのか考えてください。3 ニーファイ 18:15 に記録されているように、イエス・キリストは悪魔の誘惑に打ち勝つ方法について、ニーファイ人に教えられました。祈りによってもたらされる力に注目してください。祈りを通じて、誘惑をはねのける力が与えられます。

3 ニーファイ 18:20-21 に記録されているように、イエス・キリストは次のように教えられました。わたしたちが信仰をもって祈るとき、御父はその祈りに答えてくださいますが、御父はわたしたちのために立てられた計画とわたしたちにとってふさわしいと御父が御存じのことに従って答えら

れます。20 節を声に出して繰り返し読んでください。「与えられると信じて、わたしの名によって父に求めるものは、正当であれば、見よ、何でもあなたがたに与えられる。」この聖句で「正当であ[る]」という言葉はどういう意味だと思いますか。(ヤコブの手紙 4:3 を参照するとよいでしょう。)



ゴードン・B・ヒンクレイ大管長は次の証^{あかし}を分かち合っています。「天の御父である神は生きておられます。御父は宇宙の創造主であり統治者でありながら、わたしたちの御父でもあります。全知全能であり、あらゆるものを超越しておられます。御父とは祈りを通してつながることができます。……御父はその子供の祈りをお聞きになるのでしょうか。もちろんお聞きになります。その祈りに答えてくださるのでしょうか。もちろん答えてくださいます。わたしたちの望むような答えではないこともありますが、お答えになります。御父は聞き、答えてくださるのです。」(Teachings of Gordon B. Hinckley [1997 年], 468)

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように教えています。「[3 ニーファイ 18:20 で] 救い主は、どれほど強い信仰であっても、神の御心に反する結果を生じさせることはできないということを、わたしたちに思い起こさせていらっしゃいます。主イエス・キリストへの信仰の実践は、どのような場合でも、天の秩序、そして主の慈悲と御心と知恵、また主がなされる時機の判断にかかっています。主の御心と主御自身の時期の判断に対する完全な信頼がなければ、主への真の信仰を持つことができない理由はここにあります。」(「主イエス・キリストへの信仰」『聖徒の道』1994 年 7 月号, 109 参照)



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 18 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 26 — 第 3 日

3 ニーファイ 19 章

はじめに

3 ニーファイ 11 - 18 章に記されている出来事はすべて、1 日のうちに起こりました。その日が終わり、救い主が訪れたことと翌日戻って来られるということが、人々の中に広く告げ知らされました。彼らは「一晩中大いに働き、イエスが群衆に御自身を表される場所に、翌日人々が集まることができるようにした」のです(3 ニーファイ 19:3)。朝

になると、12 人の弟子は民を教え、彼らとともに祈りをささげました。それからニーファイは十二人の弟子にバプテスマを施しました。彼らは聖霊を受け、天使に囲まれました。その顕れの間、イエス・キリストは御姿を現され、御自分が民のために御父に祈るので、その間、民も祈るようにと命じられました。その信仰のゆえに、弟子たちは聖霊に満たされました。彼らは清められ、天の御父そして御子と一つになったのです。

3 ニーファイ 19:1 - 14

12 人の弟子、救い主から命じられたとおりに民を教え導く

もし、明日、自分の住んでいるところから少し離れたところにある神殿にイエス・キリストが来られると知っていたら、どのように感じ、行動するか想像してください。そこに行くためにどれほど一生懸命努力するのでしょうか。ほかの人々も一緒に連れて行きたいと思いませんか。救い主にお会いするために、どのような準備をしますか。

3 ニーファイ 19:1 - 3 を読み、明日また戻って来ると言われた救い主の約束に対するニーファイ人の反応を見つけてください。群衆が集まった後、12 人の弟子は民を 12 組に分けて教え始めました。また、群衆にひざまずいて祈るように指示し、前日に救い主が教えられたのと同じ真理を人々に教えました。(3 ニーファイ 19:4 - 7 参照)



1. 3 ニーファイ 19:8 - 9 を読み、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください

a. 弟子たちが最も望んでいたのは何でしょうか。自分の経験から考えて、聖霊の賜物にそれほど大きな価値があるのはなぜでしょうか。

b. 12 人の弟子は、救い主が去って行かれた後、南北アメリカ大陸で教会の諸事を導くことになっていました。彼らを導いてくれる聖霊が不可欠だったのはなぜでしょうか。

聖典学習帳の課題が終わったら、次の質問について深く考えてください。あなたが祈るときに最も願っているのは何でしょうか。幾つか挙げてください。どれくらいの頻度で聖霊を求めて祈りますか。

3 ニーファイ 19:10 - 12 を読み、祈った後で弟子たちが何をしたか見つけてください。10 - 12 節に記されているバプテスマは 12 人の弟子にとって 2 回目のバプテスマでした。教会は長年の間、ニーファイ人の間で確立されてきました。12 人の弟子たちが最初に受けたバプテスマについて聖文の中に記録されてはいませんが、これらの神権指導者は以前にバプテスマを受けたはずです。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が述べているように、この 2 回目のバプテスマは特例でした。「救い主は、ニーファイとその民に再びバプテスマを受けるように命じられました。これは救い主が、福音の下に教会を新たに組織されたからでした。それ以前の教会は〔モーセの〕律法の下に組織されていました。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編、全 3 巻 [1954 - 1956 年], 第 2 巻, 308)

弟子たちとニーファイ人は、救い主の前に出るためのふさわしさを備えていたことを覚えておいてください。3 ニーファイ 19:13 を読み、十二人の弟子は義にかなった望みを持っていたために、何を授かったのか見つけてください。

 **2. 聖霊の賜物を与えられ、その賜物にふさわしい生活を送る人の生活にもたらされる祝福を聖典学習帳に書き出してください。次に、そのリストを十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老が語った以下の引用と比較してください。**



「聖霊はわたしたちに、神の王国の方法で人生を歩むための力と勇気を与えてくださいます。また、聖霊は御父と御子に対するわたしたちの証の源であります。……」

わたしたちは、日々直面する事柄においてより良い選択ができるよう助けてくださる聖霊を常に伴侶とする必要があります。教会の若い男性や若い女性は、絶えず世の醜いものにさらされています。聖霊を伴侶とすることにより、彼らは悪に対抗する力と、必要であれば悔い改めて細くて狭い道に戻るための力を得ることができます。悪魔の誘惑を受けることのない人などいません。だれもが聖霊を通して与えられる守りを必要としています。聖霊の賜物を頂くことにより、家族の者が賢い決断、すなわち家族とともに天の御父と御子イエス・キリストのもとに戻って永遠にともに住むための助けとなる決断ができるようになります。」（「バプテスマの聖約—王国にあって王国のものとなる」『リアホナ』2001年1月号, 8）

3 ニーファイ 19:1-4 に基づいて、あなたの人生で最も望んでいる祝福は何か、またその祝福を望んでいるのはなぜか深く考えてください。

3 ニーファイ 19:9, 13 に基づいて、次の原則に関する文章を完成させてください。「心からの望みと祈りを通して、わたしたちは_____できる。」

3 ニーファイ 19:14-36

救い主、御姿を現し、民が信仰によって清めを得られるように民のために祈られる

3 ニーファイ 19:14-16 を読み、12 人の弟子がバプテスマを受け、聖霊に満たされた後で何が起こったか調べましょう。

弟子たちと群衆がひざまずいた後で、救い主は 12 人の弟子に祈るよう命じられました。3 ニーファイ 19:17-18, 24-26, 30 にある彼らの祈りに関する記事を読んでください。記録されている聖文で、人々がイエス・キリストに向かって直接祈っているのはここだけです。祈るとき、わたしたちは父なる神に御子イエス・キリストの御名によって祈ります。イエスに向かって祈るよう教えられている箇所は、聖文のどこにもありません。

十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老は、このほかに類のない事例で、弟子たちがイエスに向かって祈った理由を示しています。「イエスはすでに、イエスの名



によって御父に祈るようにと彼らに教えておられ、彼らは最初そうしました〔3 ニーファイ 19:8-9〕。……しかし、このときは『イエスを自分たちの主、自分たちの神ととなえて、イエスに向かって祈った』のです〔3 ニーファイ 19:18〕。イエスは御父の象徴として人々の前におられました。人々がイエスを見るとき、それはあたかも御父を見ているようでした。イエスに向かって祈るとき、それはあたかも御父に向かって祈るようでした。……これは……特別な、独特の状況でした。」（*The Promised Messiah: The First Coming of Christ* [1978 年], 560-561）救い主御自身がこう言っておられます。「わたしが彼らとともにいるので、彼らはわたしに祈っています。」（3 ニーファイ 19:22）

 **3. 民がひざまずいて祈っていたとき、イエス・キリストは御自分の弟子たちと群衆のために 3 度にわたって祈りをささげられました。聖典学習帳に次の表を描き写してください。割り当てられた参照聖句を読み、表を完成させてください。**

聖句	救い主は何を祈り求められたでしょうか。	救い主の祈りから学んだことをあなたの生活にどのように応用できるでしょうか。
3 ニーファイ 19:19 - 23		
3 ニーファイ 19:27 - 29		
3 ニーファイ 19:31 - 34		

3 ニーファイ 19:24 を読む。「言葉数を多くしたのではない」とはどのような意味だと思いますか。祈るべき事柄が自分たちに示される祈りに関して、ブルース・R・マッコンキー長老は次のように教えています。「完全な祈りは靈感による祈りであり、その祈りでは用いるべき言葉を御霊が示されます。」(*Mormon Doctrine*, 第2版〔1966年〕, 586)

救い主が祈りに関連して教えられた原則の幾つかをもっとよく理解するため、3 ニーファイ 19:28 をもう一度読み、次の原則を教えている言葉や語句に印を付けてください。「イエス・キリストを信じる信仰を働かせるとき、わたしたちは清めを受けることができる。」3 ニーファイ 19 章に記録されている数々の経験を通じて弟子たちがどのように信仰を働かせたかをよく考えてください。彼らの信仰の結果、弟子たちは聖霊に満たされましたが(3 ニーファイ 19:13 参照)、これは聖霊を受けるには清められなければならないということです。



大管長会のマリオン G ロムニー管長が語った次の言葉を読み、清められるとはどういう意味か見つけてください。『「そのとき火と聖霊によるバプテスマを受ける。」〔2 ニーファイ 31:13〕ニーファイがここで語っている火と聖霊によるバプテスマは、アルマが言及しているように、人々の心に大きな変化をもたらします〔アルマ 5:14 参照〕。それは彼らを肉欲的な状態から霊的な状態へと変えます。霊を清め、癒し、聖めます。……主イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、水に沈めるバプテスマはどれも、そのような状態になるための準備であり条件ですが、そのような状態こそが完成された姿〔究極の目的〕なのです。そのような状態に到達するということは、自分の衣をイエス・キリストの贖いの血で洗ってもらうということです。』(*Learning for the Eternities*, ジョージ・J・ロムニー編〔1977年〕, 133)



4. 聖められるとはどういう意味が深く考え、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。イエス・キリストを信じる信仰を働かせることは、わたしたちが聖く清らかな状態になるうえでどのように役立つでしょうか。

イエスは贖いの犠牲の前夜に偉大な祈りをささげられましたが、それはニーファイ人を訪れになって2日目に、その民の間でささげられた祈りとよく似ていました。3 ニーファイ 19:23, 29 とヨハネ 17:9, 11, 21 - 22 を読んでください。「わたしたちが一つとなれるように」という表現に印を付けてください。イエス・キリストと御父がどのようにして一つとなっているのか深く考えてください。この聖句から、イエス・キリストと一つになる方法について何を学ぶことができるでしょうか。



この聖句では、一つに、次のような原則が教えられています。「人は信仰によって清められ、イエス・キリストが御父と一つであられるようにイエス・キリストと一つとなることができる。」どうすればわたしたちは御父そして御子と一つになることができるか、十二使徒

定員会の D・トッド・クリストファーソン長老が語った次の言葉を読んでください。「確かに、わたしたちは神とキリストの御心と関心事を自分たちの最大の望みとしなにかぎり、御二方と一つになることはできません。そのような従順は一日で達成できるものではありません。しかし、もしわたしたちが望むのであれば、御父が主のうちにいらっしゃるように、主がわたしたちのうちにいらっしゃる、間違いなく言えるようになるまで、主は聖なる御霊を通してわたしたちを導いてくださいます。そのためにはどのようなことを求められるのだろうかと考え、恐ろしくなることがあります。しかし満ちみちる喜びを得るには、この完全な一致によらなければならないことを知っています。(「彼らをもわたしたちのうちにらせるため」『リアホナ』2002年11月号, 73 参照)

今日の学習を終わるに当たり、3 ニーファイ 19:35 - 36 を読み、深く考えてください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 19 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

3 ニーファイ 20 - 22 章

はじめに

ニーファイ人の中での教導の業の 2 日目に、イエス・キリストは再び民のために聖餐を執行されました。御父は、イスラエルを集合させ、この地上のすべての国民を祝福するという御自分の聖約を終わりの日に成就されるとイエスは証されました。また、御父がこの聖約を果たし始められたしるしとして、モルモン書が終わりの日にもたらされると述べられました。

1 ニーファイ 20 : 1 - 9

救い主、再び民のために聖餐を執行される

あなたがアロン神権を持つ若い男性だとしたら、次の質問について深く考えてください。聖餐の執行を手伝うことができるということは、自分にとってどのような意味があるのでしょうか。自分がこの儀式の神聖さを理解していることを、主にどのようにして示していますか。

あなたが若い女性あるいは神権を持っていない若い男性だとしたら、次の質問について深く考えてください。ふさわしい若い男性が聖餐を執行するのを見て、どのように感じますか。あなたは聖餐の執行中に、聖餐の神聖さを理解していることを示すために何を行いますか。

3 ニーファイ 20 : 3 - 5 に記録されているように、ニーファイ人の中で 2 日目の教導の業を始めたとき、救い主は奇跡的な方法でパンとぶどう酒を用意し、再び聖餐を執行されました。3 ニーファイ 20 : 1 を読み、聖餐を用意し、配る直前に、主が民に何をしよう命じられたか見つけてください。心の中で祈るという行為は、毎週の聖餐を受けるという経験にどのような影響をもたらすと思いますか。

3 ニーファイ 20 : 8 を読んでください。ニーファイ人はそのときにぶどう酒を用いましたが、現在の教会では、水を用いることに注目してください（教義と聖約 27 : 2 参照）。また、パンと水が何を象徴しているのか注目してください。定期的に聖餐を受けるとき、わたしたちは進んで救い主の贖いをわたしたちの生活の一部とする気持ちを示します。

3 ニーファイ 20 : 8 によれば、イエス・キリストは聖餐を受ける人々に何を約束されたのでしょうか。聖餐のパンと水の量について考えてください。肉体的に飢え渴いているとしたら、この聖餐のパンと水で飢えと渴きが満たされるのでしょうか。聖餐を受けることによって、わたしたちはどのように満たされるかをもっとよく理解できるように、3 ニーファイ 20 : 9 を読み、次の原則を完成させてください。「ふさわしい状態で聖餐を受けるならば、
_____に満たされる。」

十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老が語った次の言葉を読み、御霊に満たされるときにどのような祝福を受けるかオックス長老が語った箇所に線を引いてください。



「聖餐を受けることによって、わたしたちが『満たされる』（3 ニーファイ 20 : 8 ; 3 ニーファイ 18 : 9 も参照）と言われた救い主の約束、すなわち『御霊に満たされ（る）』（3 ニーファイ 20 : 9）ようになろうではありませんか。この御霊すなわち聖霊は、わたしたちの慰め主であり、方向を示し、御心を伝え、解釈を明らかにしてくださる御方であり、証人であり、わたしたちが永遠の命に向かってこの世を歩むときに間違いなく導き、聖めてくださる御方です。

……心から、敬虔な気持ちでバプテスマの聖約を新たにするという一見ささいな行いを通して、水と御霊によるバプテスマの祝福を新たにし、いつも御子の御霊を受けることができるのです。わたしたちはこのようにして導かれ、このようにして清められるのです。』（「いつも御子の御霊を受ける」『聖徒の道』1997 年 1 月号, 69）



1. 聖餐を受けているときに聖霊を感じたときのことについて考えてください。モロナイ 4 : 3 と 5 : 2 に記されている聖餐の祈りを読んでください。毎週聖餐を受けることは、あなたが聖霊に満たされるうえでどのように役立っているのでしょうか。その幾つかを聖典学習帳に書いてください。

3 ニーファイ 20 : 10 - 46

救い主、終わりの時に果たされる聖約についてニーファイ人に教えられる

あなたにとって最も重要な幾つかな特質について考えてください。どのような種類の特質に焦点を当ててでしょうか。肉体的な特質でしょうか、性格的な特性でしょうか、それとも霊的な特質でしょうか。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を読み、そこでわたしたちはどのような存在であると定義されているか、印を付けてください。「皆さんは音楽や運動競技を楽しんでいるかもしれませんが。あるいは機械を扱うことに心を引かれているかもしれません。いずれ販売業、専門職、芸術関係の仕事に就くかもしれません。こうした活動や職業は、いかに大切であっても、皆さんがどのような人物かを定めるものではありません。何よりも大切なのは、わたしたちが霊的な存在であることです。わたしたちは神の息子〔娘〕であり、アブラハムの子孫です。』（「宣教師になる」『リアホナ』2005 年 11 月号, 47）

アブラハムの子孫であるということは、アブラハムの文字どおりの子孫であるということ、また、イエス・キリストの福音の律法と儀式に従うことによりアブラハムの息子娘になったということです。すべての人が、神がアブラハムと交わされたのと同じ約束と聖約にあずかるのです。

3 ニーファイ 20:11 - 13 に記録されているように、救い主はニーファイ人に、アブラハムとイスラエルの家に属するその子孫に与えられた聖約と約束について教えられました。また、「御父は終わりの時にイスラエルの家を集めるという聖約を果たされる」ということも教えられました。3 ニーファイ 20:13 を読み、イスラエルの家は、この集合に不可欠なものとして、何を知るようになるのかに注目してください。この知識が不可欠なのはなぜだと思いますか。

3 ニーファイ 20:25 - 26 を読み、神がアブラハムと交わされた聖約のゆえにリーハイの子孫が受けた祝福について、救い主が何を教えられたか見つけてください。救い主は、御父が御自分をニーファイ人に遣わされるのは、「〔彼らが〕聖約の子孫だから」であり、彼らを訪れ、彼らを罪から救うためであることを強調されました（3 ニーファイ 20:26）。



2. バプテスマのときに天の御父と聖約を交わしたことで、これまでどのような祝福を受けてきたか、聖典学習帳に書いてください。バプテスマを受けて教会の会員となったので、あなたはアブラハムの子孫であり、神がアブラハムと交わされた聖約を成就する助け手となる責任があります。

3 ニーファイ 20:27 を読み、次の原則を教えている語句に印を付けてください。「アブラハムの子孫として、わたしたちには地のすべての民に祝福をもたらすという聖約上の責任がある。」



デビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を読み、アブラハムの子孫として、わたしたちは地上に住むすべての人々をどのように祝福すればよいか見つけてください。「わたしたちには今日もこれからもずっと、地上のあらゆる国々のあらゆる人々に祝福をもたらす義務があります。今だけでなくいつでも、イエス・キリストについて証し、回復のメッセージを宣言しなければなりません。皆さんとわたしは、いついかなるときも、あらゆる人に救いの儀式を受けるよう勧めなければなりません。福音を宣べ伝えることは一時的な神権の義務ではありません。一定の期間だけ携わる活動でもなければ、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として果たさなければならない単なる割り当てでもありません。伝道活動はわたしたちの霊的な本質と受け継ぎの現れなのです。わたしたちは前世で予任され、神がアブラハムと交わされた聖約と約束を成就するためにこの世に生まれてきました。神権を尊んで大いなるものとし、福音を宣べ伝えるために今この時代に、地上にいます。これがわたしたちであり、わたしたちがここにいる理由です。それは今だけでなくいつまでも変わりません。」（「宣教師になる」, 47）



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。
a. 若人として、世の人々を祝福するために、今何ができるでしょうか。
b. 自分がアブラハムの子孫であると理解することはどうして大切だと思いますか。

3 ニーファイ 21 - 22 章

イエス・キリスト、終わりの日にイスラエルの家が集合するしるしを預言される

3 ニーファイ 21 - 22 章に記録されているように、救い主は終わりの日、すなわち福音が地上に回復され、聖徒が再臨に備える日について、ニーファイ人に何度も教えられました。



4. 3 ニーファイ 21 - 22 章に記録されている末日におけるイスラエルの集合について、救い主が何を教えられたか見つけることができるように、次の表の左の欄にある聖文をすべて読んでください。それから右の欄にある質問の中から二つを選び、その答えを聖典学習帳に書いてください。

聖句	質問
3 ニーファイ 21:1 - 2, 7 を読んでください。モルモン書が終わりの日に現れるとき、それは御父がイスラエルの家の集合を開始したしるしとなります。	a. モルモン書が、自分自身も含めて、だれかをイエス・キリストと福音の聖約に導く（あるいは集める）のを見たことがありますか。それはどのようなときでしょうか。
3 ニーファイ 21:9 を読んでください。「大いなる驚くべき業」という言葉は、イエス・キリストの福音の回復を指します。	b. イエス・キリストの福音の回復に関して、どのようなところが「大いなる驚くべき」ことだと思いますか。
3 ニーファイ 21:10 - 11 を読み、この説明は預言者ジョセフ・スミスにどのように当てはまるか、深く考えてください。	c. 預言者ジョセフ・スミスを通してもたらされた主の言葉を信じるのがきわめて大切なのはなぜでしょうか。
3 ニーファイ 21:22 を読んでください。人々は、悔い改めて、心をかたくなにしなければ、イスラエルの家の中に数えられるでしょう。	d. 人々が神の聖約の民として集められるのに悔い改めて必要なのはなぜだと思いますか。
救い主と交わした聖約を忘れた後で救い主のもとに戻って来る聖約の民がいます。3 ニーファイ 22:7 - 10 を読み、救い主がそのような人々に与えておられる約束を見つけてください。	e. 主から迷い出た人々に対して、主が永遠の慈しみと憐みを示されることを理解することが重要なのはなぜだと思いますか。

イエス・キリスト、モルモン書、福音の回復、預言者ジョセフ・スミスの使命に関する証をだれに分ち合えるか考え、その人が回復された福音の祝福を受けられるよう助けてください。また、かつては福音に忠実であったけれども、今はそうではない人々を含む周囲の人々を、どうすれば主のもとに来よう励ますことができるか、深く考えてください。もし特定の個人のことが思い浮かんだら、自分が受けた促しに従って行動する目標を立ててください。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 20 – 22 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 27—第 1 日

3 ニーファイ 23 章

はじめに

イザヤの言葉を引用した後、イエス・キリストはニーファイ人に預言者の言葉を調べるよう命じられました。また、救い主はニーファイ人が適切に記録をつけていなかったことを注意されました。

3 ニーファイ 23：1 – 5

イエス・キリスト、預言者の言葉を調べるよう民に命じられる

過去 1 年の聖文学習に関連する経験について深く考えてください。聖文を研究した結果、自分の生活にもたらされた祝福について説明する幾つかの言葉または短い文を書いてください。

そのリストに目を通し、そこに書かれた祝福から聖文学習の大切さについて何を学ぶことができるか考えてください。

イザヤの教え（3 ニーファイ 22 章参照）から幾つか引用した後で「救い主はイザヤやそのほかの預言者の言葉を熱心に調べるように民に命じられました。」3 ニーファイ 23：1 – 5 を読み、なぜ救い主はイザヤやそのほかの預言者の言葉を熱心に調べるように言われたのか見つけてください。自分が学んだことを忘れないために役立つ言葉や語句に印を付けるとよいでしょう。

わたしたちがイザヤの言葉を研究するように命じられている一つの理由は、「イザヤ〔が〕イスラエルの家に属する〔主の聖約の〕民について、すべてのことを述べた」からで

す（3 ニーファイ 23：2）。あなたは主と聖約を交わしているので、イスラエル家に属しています。イザヤの書はあなたと関係があるのです。わたしたちがイザヤの言葉を研究すべきもう一つの理由は、それらの言葉が成就するからです（3 ニーファイ 23：3 参照）。

3 ニーファイ 23：1 で、イエス・キリストがニーファイ人に「〔イザヤの言葉を〕熱心に調べるよう」命じておられることに注目してください。

 1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。
a. 預言者の言葉を読むこととそれらの言葉を熱心に調べることの違いは何だと思いますか。

b. どのような聖文研究の方法が、イザヤやそのほかの預言者の言葉を効果的かつ有意義に調べるうえで助けとなるでしょうか。（単元 1—第 1 日「聖文を研究する」にもう一度目を通し、聖文研究に役立つ幾つかの大切な方法を思い出すとよいでしょう。）

七十人名誉会員のメルル・J・ベイトマン長老は、預言者の言葉を調べる人の生活にもたらされる幾つかの祝福を挙げています。「聖典を研究すると、必ず得られる祝福があります。主の言葉を学び、従うにつれて、人はより救い主に近づきます。また、正しい生活をしようという望みがさらに強くなります。誘惑に抵抗する力は増し、霊的な弱点は克服され、心の傷も癒されます。」（『聖典の研究を通してキリストに近づく』『聖徒の道』1993 年 1 月号、33）

3 ニーファイ 23：5 を読み、聖文の勧めに従って行動するならば、救い主はすべての人に何を約束しておられるかを見つけてください。

 2. 友人または家族の一員で、聖文をなかなか定期的に学べない人がいると想像してください。3 ニーファイ 23：1 – 5 で学んだことを基に、その人が預言者の言葉を熱心に学び、聖文に関して有意義な経験ができるよう励ますためにどのようなことを言うと思うか書いてください。

3 ニーファイ 23：6 – 14

イエス・キリスト、重要な出来事を記録し損ねていたことについて、弟子たちを叱責される

スペンサー・W・キンボール大管長が語った次の言葉を読んでください。



「主イエス・キリスト御自身も、ニーファイ人とレーマン人に対して記録をつけることの大切さを強調しておられます〔3 ニーファイ 23：6 – 13 参照〕。……

穏やかで優しい言葉ですが、これは叱責です。わたしたちは新しい出来事を常に記録するよう命じられていますが、わたしはこの叱責がわたしに向けられたものでないことに安堵の気持ちを覚えています。……

……救い主が大切な出来事を記録しなかった人をとがめられたことを、忘れてはなりません。」(「永世にわたる記録」『聖徒の道』1977年6月号, 300 - 301 参照)

3 ニーファイ 23 章の残りには、スペンサー・W・キンボール大管長の語った内容が含まれています。そこで救い主は、ニーファイ人が大切な出来事を書き記さなかったことを叱責しておられます。3 ニーファイ 23:6 - 11 を読み、ニーファイ人が記録し損なっていた出来事を見つけてください。ニーファイ人がレーマン人サムエルの語った預言の成就について記録することが大切だったのはなぜだと思いますか。モルモン書に記録が記されていることで、今日のわたしたちはどのような恩恵を受けているのでしょうか。

 3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。日々の生活で経験した霊的な出来事や促しを書き留めることがあなたにとって大切なのはなぜでしょうか。

最近経験した霊的な出来事で、記録し損なっているものがあれば、今、個人の日記に書くといよいでしょう。個人の日記をつけるのには、簡単なノートあるいはレポート用紙があれば十分です。3 ニーファイ 23:12 - 14 を読み、レーマン人サムエルの預言が成就したことについて書き記すという戒めにニーファイ人が従った後、救い主が何をされたか見つけてください。

救い主は、「すべての聖文をまとめて説き明か〔されました〕」。つまり、救い主は聖文の意味について説明されたのです。

3 ニーファイ 24:1 を読み、この聖句の最初の部分と 3 ニーファイ 23:12 - 14 との類似性に注目してください。ニーファイ人がイエス・キリストから教えられたことを記録した後で、主はそれらの事柄について彼らに説き明かすことにより、さらに多くの知識と啓示を与えられたことに注目してください。

3 ニーファイ 23:6 - 14 から学んだことに基づいて、次の原則を完成させてください。「神聖な促しや出来事を書き留めるとき、わたしは _____ もらうことができます。」

ほかにもいろいろと考えられるでしょうが、例えば、上記の原則を次のように完成させることもできるでしょう。「神聖な促しや出来事を書き留めるとき、わたしは主にもっと多くの啓示を与えてもらうことができます。」

自分が学んだ真理をもっと完全に理解するために、十二使徒定員会のリチャード G スコット長老が語った次の二つの言葉を読んでください。



「しっかりと記録された知識は必要なときに活用できます。霊的な情報は、それを大切にしていることを主に理解していただけるよう、神聖なものとして心にとどめなければなりません。そうすれば、さらに光を受けられるようになるでしょう。」(「霊的な知識を得る」『聖徒の道』1994年1月号, 99)

「御霊によって学んだ大切な事柄を書き留めて、なくさない所に保管しておきましょう。大切な印象を書き留める習慣を身に付けるなら、さらに御霊を受けている自分に気づくことでしょう。皆さんが得るそれらの知識は人生のあらゆる場面で活用することができます。」(「知識と強さを得て、賢明に用いる」『リアホナ』2002年8月号, 14)



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 主から受けた啓示を書き留めるという行為が、より多くの啓示を受けるのに役立つのはなぜだと思いますか。

b. 時間を割き、日々の生活に及ぼされる主の影響について書くことは、主から受けている祝福に感謝し、その気持ちを主に伝えるうえでどのように役立つでしょうか。

記録する価値が十分にある特別な、あるいは神聖な経験をすることがないと心配することがあるかもしれません。七十人名誉会員のジョン・H・グローバーク長老は、そのような心配について語っています。「ある人はこう言います。『記録することが何もありません。霊的な出来事が起こらないのです。』そこでわたしはこう答えます。『記録を書き始めなさい。そうすれば霊的なことが起こります。霊的な事柄はいつもわたしたちの周囲にあります。記録を書いていると、それに対する感受性が高まるのです。』」(「個人と家族の歴史を編さんする」『聖徒の道』1980年9月号, 76)

次の1週間、紙きれ、ノート、あるいは日記を持ち運ぶことによって、霊的な経験の記録について学んだことの応用に取りかかすることができます。1週間を通して与えられた促し、印象、経験あるいは気持ちをすべて記録してください。また、それらの様々な促しに従ってどのように行動したい気がするか記録してください。それらの行動をやり遂げた後で、自分の経験について書いてください。

自分の霊的な経験について記録に残す計画について、だれか(家族の一員、友人もしくは教会の指導者)に話してください。その人に自分自身の霊的な経験を幾つか記録することで、一緒にこの活動に取り組むよう、勧めるとよいでしょう。一緒にこのプロジェクトを行うよう、ほかの人に勧めることで、互いの進歩を励まし合い、その進歩を報告し合うことができます。しかし、互いに神聖な経験を分かち合うのは必要でない(また適切でないかもしれない)ということ覚えておく必要があります。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、3 ニーファイ 23 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

3 ニーファイ 24－26 章

はじめに

3 ニーファイ 24－25 章で、イエス・キリストはマラキの預言の幾つかを人々に伝えるようにという天の御父の命令を果たされました。イスラエルの家は救い主の再臨に備えて、悔い改め、主に立ち返る必要があるとマラキは宣言していました。3 ニーファイ 26:3 に記録されているように、イエス・キリストは人々に「世の初めから将来御自分が栄光のうちに来られるときまでのすべてのこと」を説き明かされました。それからモルモンは、モルモン書を信じる人々には、もっと大きなことが明らかにされると教えています (3 ニーファイ 26:9 参照)。

3 ニーファイ 24:1－6

イエス・キリスト、再臨についてマラキに与えられた言葉を引用される

ニーファイ人にマラキの預言の幾つかを読んで聞かせたとき、イエス・キリストは火と灰汁のイメージについて語られました。燃えさかる火と 1 個の石けんを想像してくださ



い。この二つは洗い清めるものとして、どのような共通点があるか考えてください。

3 ニーファイ 24:2－3 を読んでください。3 ニーファイ 24:2 で、イエス・キリストは精錬する者の火と布さらしの灰汁にたとえられています。再臨のときに主が行われることに似ているからです。3 ニーファイ 24:3 では、銀を清める銀細工師にたとえられています。これらの聖句を理解するために、銀細工師は、銀を精錬する過程で、不純物を焼き尽くすために、銀を火の最も熱い部分に当てるということを知っておくとよいでしょう。精錬する者は、銀を注意深く観察しなければなりません。というのも、銀は炎の中に一瞬でも長く放置しておくで壊れてしまうからです。布さらしとは、灰汁を使って織物を洗ったり白くしたりする人のことです。また、「レビの子ら」は古代イスラエルにおける神権者のことです。今日、この言葉は主の民すべてに当てはまります。

この^①比喩は、イエス・キリストの再臨のときに何が起ると示唆しているのでしょうか。自分の聖典の 3 ニーファイ 24:2－3 の横に次の文章を書き込むとよいでしょう。「イエス・キリストは再臨の時にその民を清められる。」

3 ニーファイ 24:5－6 を読み、救い主の再臨のときに、だれが焼き尽くされる、すなわち滅ぼされるのか見つけてください。(この聖句で、「ヤコブの子ら」とは主の聖約の民を指すことに注目してください。) この聖句は次の原則を教えています。「イエス・キリストは再臨のときに、邪悪な者たちを裁かれる。」

 1. 聖典学習帳に次の見出しを書いてください。イエス・キリストの再臨に備えて、わたしがしなければならないこと。3 ニーファイ 24－26 章を続けて研究するときに、この見出しの下に、イエス・キリストの再臨に備えるうえで役立つと分かったことを書き出してください。

3 ニーファイ 24:7－18

マラキ、主に立ち返る方法をイスラエル之家に教える

親しい友人または家族の一員が、現在の自分の行動が、裁きや再臨のとき、あるいは永遠の世界において、自分にどのような影響を及ぼすかについて、関心を持っていないように見えるとします。その人を助けるために、どのようなことを言えばよいか、考えてください。3 ニーファイ 24:7 を読み、主から離れ始めていたヤコブの息子らに主が何と言われたか見つけてください。人々が主の儀式から「離れて」いたとは、どのような意味だと思えますか。

教会においては、儀式とは神権の権能によって執行される神聖で公的な行為です。儀式の中には、わたしたちの昇栄に欠かせないものもあります。これらの儀式は「救いの儀式」と呼ばれています。バプテスマ、確認、メルキゼデク神権への聖任(男性の場合)、神殿のエンダウメント、結婚の結び固めなどがそうです。これら一つ一つの儀式を受けるとき、わたしたちは主と厳粛な聖約を交わします。日記の課題 1 の下に救いの儀式を書き出すとよいでしょう。こ

これらの儀式が再臨に備えるうえでどのような助けとなるか考えてください。

主の民は福音の儀式と聖約から離れましたが、3 ニーファイ 24:7 に記されている約束に注目してください。これは彼らが主のもとに戻って来るという条件で与えられた約束です。「わたしたちが主に帰れば、主はわたしたちのもとに戻って来てくださる」ということを覚えていられるよう、自分の聖典のこの約束が書かれている箇所^{じょうきん}に印を付けるとよいでしょう。

3 ニーファイ 24:8 - 10 を読み、主がヤコブの子らに教えておられる、主に帰り、再臨に備える方法の一つ見つけてください。日記の課題 1 の見出しの下^{しも}のリストに、什分の一とささげ物を納めることを含めるとよいでしょう。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が与えた什分の一を納めることに関する次の助言を読んでください。「什分の一を納めるのも難しいことではありません。それはお金の問題というよりは信仰の問題です。」（『主のみ業を推し進める』『聖徒の道』1986 年 1 月号, 84）

進んで什分の一とささげ物を納めることによって、主を信じる信仰をどのように示すことができるかしばらくの間深く考えてください。3 ニーファイ 24:10 - 12 を読み、完全に、また正直に什分の一を納める人に与えられる祝福に注意してください。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 什分の一の律法に従うことにより、これまでどのような祝福を受けてきたでしょうか。

b. 什分の一とささげ物を納めるという戒めを守るとは、自らを霊的に再臨に備えるうえで、これまでどのように役立ってきたと思いますか。

古代イスラエルの民の中には、主の戒めを守ること何の益にもなっていないとつぶやく人もいました。彼らは自分たちの努力は無益、あるいは無意味だと感じました（3 ニーファイ 24:14 参照）。一方、高ぶる者、悪を行う者は「幸せ」で、「高く上げられ」、「救われる」と訴えました（3 ニーファイ 24:15）。言い換えれば、これらの人々は、悪を行う者は善を行う者よりも幸福になると主張したのです。主はこれらの不平に対する答えとして、主を恐れ、主の名を尊ぶ者たち、しばしば会って互いに語り合う者たちは、その名を「一つの覚えの書」に書き記されると言われました（3 ニーファイ 24:16）。そのような人たちは、主の来臨への備えができた人たちとなり、主の大切な「宝石」として取っておかれることでしょう（3 ニーファイ 24:16 - 17 参照）。主は不平を言う人々をたしなめ、忍耐強く待ち、「〔主のもとに〕帰り、義人と悪人……との区別を知るようになる」（3 ニーファイ 24:18）ときに、最終的な結果を見守るようにと言われました。義にかなった人々は、最終的には、そうでない人々よりも幸福になるということを、彼らは理解することでしょう。



3 ニーファイ 25 章

イエス・キリスト、再臨前にエリヤが戻って来るというマラキの預言を引用される

3 ニーファイ 25:1 - 3 を読み、イエス・キリストに忠実な人々にとって、再臨が祝福であるのはなぜなのか見つけてください。1 節の「根」は先祖を「枝」は子孫を指します。したがって、悪人は来世で先祖と子孫に結び固められる祝福を享受することはありません。「牛舎の中〔で〕……育つ」子牛とは、守られ、大切にされ、成長するのに必要なすべてのものを与えられる子供の象徴です。

救い主は、再臨の前に起こる、旧約の預言者エリヤに関する出来事についてマラキが書いたことをニーファイ人に伝えられました。3 ニーファイ 25:5 - 6 を読み、マラキは世の人々を主の来臨に備えるためにエリヤが何をすると教えたか見つけてください。

福音の回復のために、エリヤが地上に戻って来ることは不可欠でした。1836 年 4 月 3 日、エリヤは新たに奉献されたカートランド神殿でジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れました（教義と聖約 110 章参照）。エリヤは彼らに神権の結び固めの力を授けました。この力は、家族がすべての世代を通じて結び固められるのを可能にするものでした。「先祖の心を子孫に向けさせ、子孫の心をその先祖に向けさせる」（3 ニーファイ 25:6）という言葉はどのような意味だと思いますか。 _____

この聖句が教えているのは、「わたしたちの心が先祖に向けられるときに、わたしたちは全地がイエス・キリストの再臨に備えられるよう助けていることになる」ということです。



3. 聖典学習帳に、あなたまたはあなたの家族がその心を先祖に向けてのに役立った経験を書いてください。そのような経験として、聖なる神殿で結び固められたこと、家族歴史を調べたこと、あるいは死者のためのバプテスマに参加したことを挙げてよいでしょう。何も思い浮かない場合は、この業に参加したいというあなたの望みについて短い文章を書いてください。日記の課題1の下に、次のように書くといよいでしょう。自分自身と自分の家族のために神殿の儀式を受ける、神殿に参入する、家族歴史に関する情報を収集する。

3 ニーファイ 26 章

イエス・キリストが明らかにされたさらに偉大な祝福にあずかるためにしなければならないこと

3 ニーファイ 26:3 を読むと、救い主がニーファイ人に「地の面に起こるすべてのこと」を教えられたということが分かります。3 ニーファイ 26:6-8 を読み、救い主が行われた説教のうちどれくらいがモルモン書に記録されたか見つけてください。3 ニーファイ 26:9-11 を調べ、モルモンがすべてのことを書き記さなかったのはなぜか見つけてください。

主は、わたしたちの信仰を試すために、それらの教えのうちほんの一部だけを書き記すようモルモンに命じられました。3 ニーファイ 26:1-21 を読むと、「人は神から示された事柄を信じるときに、さらに大いなる啓示を受ける備えをしている」ことが分かります。すでに受けている真理を信じる信仰が、さらなる真理を受けるために欠かせないのはなぜだと思いますか（アルマ 12:9-11 参照）。わたしたちは、主が啓示されたことを信じていることを、どのようにして示すことができるでしょうか。



4. 上記の太字で書かれた原則を応用するために、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。モルモン書への信仰を証明するために、あなたは日々の生活で何をしていますでしょうか。

3 ニーファイ 26 章の残りの部分に記録されているように、モルモンは救い主の教導の業、そしてニーファイ人に与えたその影響について要約しています。3 ニーファイ 26:13-21 を読み、人々がイエス・キリストの言葉をどのように実践したか印を付けるとよいでしょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 24-26 章を研究しこのレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 27—第 3 日

3 ニーファイ 27 章

はじめに

復活した救い主が御自身を現されて 2 日目、ニーファイ人の 12 人の弟子たちの教導のの業の始めのころ、彼らは一堂に会して、熱烈に祈り、断食をしました。するとイエス・キリストが再び彼らに御自身を現され、教会の名前は何にすべきかという彼らの質問にお答えになりました。救い主は、贖いが福音の本質であり、贖いを通して、また悔い改めてバプテスマを受け、最後まで堪え忍ぶことにより、主の前に染みのない状態で立つことができると彼らに教えられました。さらに救い主は弟子たちに御自分のようになるよう命じられました。

3 ニーファイ 27:1-12

主、御自分の名によって教会を呼ぶよう 12 人の弟子に教えられる

新しいクラブまたはスポーツチームを開設すると想像してください。どのようなクラブまたはチームを作るか決め、次に、あなたの組織の名前を選んでください。あなたが選んだ組織の名前と種類を書き留めてください。

自分が知っている幾つかの組織について、またその名前が、その組織の目的やその組織に属している人々について、どのようなことを表しているか考えてください。

12 人の弟子は、続けて人々を教え、彼らにバプテスマを施しました。あるとき、彼らが一つになって断食をし、祈っていると、救い主が再び彼らを訪れられました（3 ニーファイ 27:1-2 参照）。3 ニーファイ 27:3-7 を読み、弟子たちの質問と救い主の答えを見つけてください。イエス・キリストは御自分の名によって教会を呼ぶ理由について説明されました。その理由に印を付けるとよいでしょう。

3 ニーファイ 27:8-10 を調べ、救い主が御自分の真の教会のしるしであると教えられたものに印を付けてください。学習ガイドにある、真の教会が持つ重要な特色の幾つかを示す次の文章を完成させてください。

イエス・キリストのまことの教会は_____

_____。

末日聖徒 イエス・キリスト 教会

イエス・キリストのまことの教会は、イエス・キリストの名を冠するだけでなく、イエス・キリストの福音の上に築かれていなければならないのはなぜか考えてください（3 ニーファイ 27：8－10）。救い主はニーファイ人に、教会がイエス・キリストの福音の上に築かれていれば、天の御父はその教会の中で御自分の業を示されるであろうと約束されました（3 ニーファイ 27：10 参照）。自分は天の御父がどのように御自分の業を教会の中で示されるのを見たことがあるか深く考えてください。

 1. 聖典学習帳に、次のように書いてください。「イエス・キリストのまことの教会の会員であることが重要である。なぜなら、__。」次に、その言葉に対する自分の思いを説明する短い文章を書いてください。3 ニーファイ 27：13－22 を学んで知ったことを基に、できるだけ多くの理由を挙げるようにしてください。

3 ニーファイ 27：13－22

イエス・キリスト、御自分の福音を定義づけ、イエス・キリストの前に罪のない状態で立つために行わなければならないことを教えらる

何か悪いことを行っているのを人から見られたときのことについて考えてください。自分がしたことに関する真実が明るみに出たとき、どのように感じたか思い出してください。以下の質問について深く考えてください。主の前に立って裁かれるときに、まだ悔い改めていない悪い行いが幾つかあるとしたら、どのように感じるでしょうか。主の前に立って裁かれるときに、自分が現世の生涯で犯したどの罪も悔い改める方法がまったくないとしたら、どのように感じるでしょうか。

救い主はニーファイ人に、教会は御自分の福音の上に築かれていなければならないと教えた後で、引き続き福音の定義を教えられました。「福音」という言葉は、文字通り、「良い知らせ」あるいは「うれしい便り」ということを意味します。たとえ罪を犯しても、福音を通して、わたしたちすべてにとって良い知らせがあります。

 2. 3 ニーファイ 27：13－16, 19 を読み、わたしたちすべてにとって良い知らせとなる福音の要素を見つけてください。イエス・キリストの福音の基はイエス・キリストが贖罪を成し遂げることによって御父の御心を行われたことです。次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。

a. 救い主は、御父の御心を行うために世に来たと弟子たちに証されました。3 ニーファイ 27：14 によれば、聖なる御子に対する天の御父の御心とは何でしょうか。

b. 救い主が御父の御心を果たされたことで、全人類はどのようなことが可能になったでしょうか（特に 3 ニーファイ 27：19 を参照）。

 3. この良い知らせのすばらしさに感謝できるように、以下の一つあるいは幾つかの聖句を読み、イエス・キリストの贖いがそれほどまでに良い知らせであるのはなぜか、聖典学習帳に短い説明を書いてください。2 ニーファイ 9：8－10；アルマ 34：14－16；ヒラマン 14：15－18。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、福音がすべての人にとって良い知らせであるのはなぜか証しています。「『良い知らせ』とは、死と地獄を逃れ、過ちと罪を克服し、希望があり、助けがあり、解決できそうにない問題が解決され、敵が打ち負かされたというものです。良い知らせとは、すべての人の墓が一日で空になり、すべての人が再び清くなり、神のすべての子供が彼らに命を与えられた御父のみもとに再び帰ることができるというものです。」（“Missionary Work and the Atonement,” *Ensign*, 2001 年 3 月号, 8, 10）



わたしたちは「福音に従った生活を送る」必要があるとだれかが言うのを聞いたことがありますか。だれかが「福音に従って生活を送る」ようわたしたちに勧めるとき、通常、その人はわたしたちに原則に従い、儀式を受けるよう勧めているのです。その原則と儀式は、わたしたちを救うイエス・キリストの贖いの力がわたしたちの生活に及ぶきっかけとなります。3 ニーファイ 27：20－21 を読み、贖いがもたらすすべての祝福を受け、裁きに備えるためには何をしなければならないか見つけてください。

4. 「_____すれば、イエス・キリストの前に染みのない状態で立つことができる。」

と聖典学習帳に書いてください。この言葉を完成させてください。そのために3 ニーファイ 27:20-21の中から、主の前に染みのない状態で立つために従わなければならない福音の原則を抜き出して書き込んでください。(この原則の言葉の「_____すれば」の部分に該当する幾つかの原則を見つけるとよいでしょう。)それから、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください。贖いの力を経験し、終わりの日に神の前に染みのない状態で立つことができるよう、もっと完全に「福音に従った生活を送る」ために、今、わたしは自分の人生で何ができるでしょうか。

主の福音の原則、戒め、儀式に忠実であったために、主の贖いを通して清められたと知っている状態で、いつの日かイエス・キリストの前に立つとき、どんな気持ちができるか深く考えてください。

3 ニーファイ 27:23-33

イエス・キリスト、弟子たちに御自分のようになるよう教えられる

3 ニーファイ 27 章の最後に記録されているように、イエス・キリストは12人の弟子に指示を与え、民の指導者、判士としての彼らの役割について教えられました。3 ニーファイ 27:27を読み、弟子たちが自分の役割を正しく果たすことができるように、主が弟子たちにお与えになった戒めを見つけてください。しばらくの間、次の質問について考えてください。

- ほかに人を裁く人が救い主のようにならないのはなぜでしょうか。
- 3 ニーファイ 27:21をもう一度読みましょう。救い主は弟子たちに何をしよう命じられたでしょうか。
- 救い主の業を行うことと主のようになることとはどのような関連し合っているでしょうか。

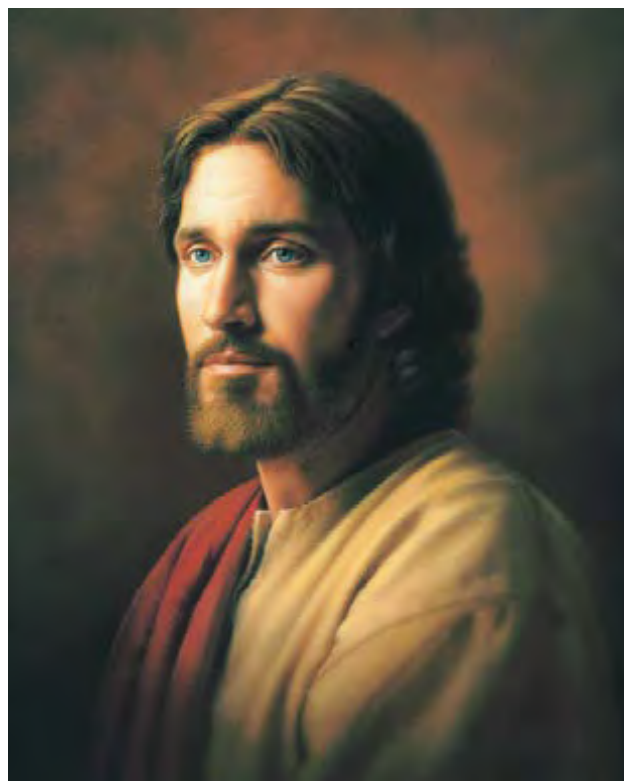
3 ニーファイ 27:21, 27をもう一度読み、自分の聖典で、「主は弟子たちに、主の業を行い、主のようになることを期待しておられる」ことを示す言葉や語句に印を付けてください。

5. あなたが救い主の教えを応用し、救い主のようになるための助けとして、次の質問の答えを聖典学習帳に書いてください

- a. 昨日、わたしは救い主のようになるために、どのような機会があったでしょうか。
- b. 今日、どうすればもっと救い主のようになることができるでしょうか。
- c. 明日、学校または家庭で、どのような救い主の業ができるでしょうか。



エズラ・タフト・ベンソン大管長は、イエス・キリストのようになろうと一生懸命努力する人は、真の偉大さを身に付けると教えています。「キリストの模範に忠実に従って生きる人こそ、偉大な人であり、最高の祝福と喜び



を受ける人です。それはこの世的な富、権力、名声などとは無縁のものです。人間の偉大さや喜びを測る唯一の正しい尺度は、どれだけ主イエス・キリストに近づ^{たきもの}くことができるかということです。」「(イエス・キリスト—賜物とわたしたちへの期待)『聖徒の道』1987年12月号, 3)

6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 27 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 27 — 第 4 日

3 ニーファイ 28 - 30 章

はじめに

去って行く前に、イエス・キリストは12人の弟子一人一人に、彼らの望むことを尋ねられました。12人のうちの9人は、地上での務めを終えたら速やかに神のみもとに帰るこ

とを願いました。3人はイエス・キリストの再臨まで地上にとどまり、人々をイエス・キリストのみもとに導くことを願いました。主は両者の義にかなった望みを称賛されました。モルモンは三人のニーファイ人の務めについて幾らかの詳細を述べています。

救い主がニーファイ人を訪れられた記録を終えるに当たって、モルモンはモルモン書が世にもたらされることは、主が御自分の聖約を成就されるしるしになると述べました。3ニーファイを終えるに当たって、モルモンはすべての人に悔い改め、イスラエルの家に数えられるようお勧めになったイエス・キリストの言葉を記録しました。

3 ニーファイ 28 : 1 - 11

イエス・キリスト、12人の弟子たちの望みをかなえられる

イエスが御姿を現し、「あなたがたはわたしに何をしてもいいか」とお尋ねになったら、自分ならどのように答えるか深く考えてください。

あなたの義にかなった望みのうち、どの望みを主に伝えるか短く書いてください。_____

3ニーファイ 28 : 1 - 3 を読み、主に「あなたがたはわたしに何を願うか」と尋ねられたとき、ニーファイ人の弟子のうち9人がどのように答えたか見つけてください。救い主が彼らの望みについてどのように感じられたかに注目してください。

3ニーファイ 28 : 4 - 7 を読み、残りの三人の弟子が主に何を願ったか見つけてください。救い主がこの三人の弟子の望みについてどのように感じられたかに注目してください。主が彼らはその望みのゆえに「さらに幸いである」と言われたのはなぜだと思うか、深く考えてください。

3ニーファイ 28 : 8 - 10 を読み、三人のニーファイ人が世の人の間で働きたいというその望みのゆえに受ける祝福についてどのように語られたか調べましょう。自分の聖典の余白か聖典学習帳に次の真理を書くといいでしょう。「主は人の義にかなった望みに応じて祝福してください。」十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老が語った次の言葉を読み、義にかなった望みがどれほど大切か理解してください。



「したがって、わたしたちが望み続ける事柄は、やがては実現し、永遠にわたってわたしたちが受け継ぐものとなるでしょう。……

義にかなう望みは、厳しいものでなければなりません。ブリガム・ヤング大管長はこう言いました。『日の栄えの王国で座する場所を確保したいと願う男女は、毎日を戦い抜かなければならないことに気づくでしょう。』(Journal of Discourses, 第11巻, 14)」「(わたしたちの『心の望みに応じて』)『聖徒の道』1997年1月号, 22 - 23 参照)



1. 次の質問から一つを選び、聖典学習帳に答えを書いてください。

a. 義にかなった望みに従って行動したとき、主に祝福されていると感じたのはいつのことでしたか。

b. あなた自身の生活で義にかなった望みをはぐくみ、主の祝福を受けるにふさわしくなるために、今日から何をしますか。

3 ニーファイ 28 : 12 - 35

モルモン、三人のニーファイ人の務めについて述べる

これまで多くの人が、三人のニーファイ人が訪れたらしいという伝説、神話、そしてうわさを聞いてきました。そのような話に頼ることなく、聖文には彼らの使命について何と書かれているか、また彼らがどのようにして「神の天使として」の力をもって教え導くことができるのか見つけましょう(3ニーファイ 28 : 30)。

3ニーファイ 28 : 12 - 17 を読み、三人のニーファイ人に何が起こったのか調べましょう。3ニーファイ 28 : 15 によれば、弟子たちがこの変化を経験する必要があった理由の一つは何だったのでしょうか。_____

3ニーファイ 28 : 18 - 23 を読み、義にかなった望みを果たせるように主が三人のニーファイ人をどのように祝福されたかを探してください。わたしたちが義にかなった望みに従って生活するとき、主が喜んでわたしたちを祝福されることについて、この聖句から何を学ぶことができるか考えてください。

3ニーファイ 28 : 25 - 31 を調べ、三人のニーファイ人の務めからこれまで益を得てきた人々と、将来益を得るであろう人々を見つけてください。見つけたところに印を付けるとよいでしょう。

3 ニーファイ 28 : 36 - 40

モルモン、身を変えられた人々の性質について知る

福音あるいは自分が受けている試練に関して疑問を持ったときのことについて考えてください。3ニーファイ 28 : 36 を読み、体に変化を受けた後の三人のニーファイ人の肉体的な状態について、モルモンは何が理解できなかったのか見つけてください。次の質問にどう答えるか深く考えてください。福音について疑問があるとき、普段はだれに尋ねますか。3ニーファイ 28 : 36 - 37 を読み、モルモンが自分の疑問に対する答えを見つけるために何をしたか調べましょう。

3ニーファイ 28 : 37 を学び、三人のニーファイ人の体に生じた変化について、モルモンが何を理解したか見つけてください。三人のニーファイ人が受けた状況あるいは状態は「身を変えられた状態」と呼ばれ、変貌に似ています(3ニーファイ 28 : 17 参照)。ただ期間が長いだけです。身を変えられた人は、依然として、死すべき状態です。しかし、預言者ジョセフ・スミスが教えているように、彼らの体は星の栄えの状態から月の栄えの状態に変化しています。す

なわち死すべき体がもたらす肉体的な苦しみからは解放されているということです (*History of the Church*, 第4巻, 210 参照)。身を変えられた人は、自分たちの選びと神の御心に応じて、現れたり消えたりすることができます (3 ニーファイ 28:27-30)。彼らは人々を救いに導く助け手として働き、イエス・キリストの再臨のときまで身を変えられた状態にとどまり、そのときに、別の変化を受けて、復活し、栄光を受けた人となります (3 ニーファイ 28:7-8, 39-40 参照)。

モルモンの経験から、「理解できるように主に願い求めれば、啓示を受ける」ということが分かります。この原則を自分の聖典または聖典学習帳に書くといいでしょう。

 2. 聖典学習帳に、あなたもしくはあなたの知っている人が、心からの祈りを通して、主に答えを願い求めた経験を記録してください。

3 ニーファイ 29 章

モルモン、

主がイスラエルの家と交わされた聖約を終わりの時に果たされることを証する

モルモンは、モルモン書の民への救い主の訪れについて書いた後で、終わりの日に主の約束が果たされることを預言しました。次の質問にどう答えるか深く考えてください。「あなたはこれまでどのようなときに、神の約束が成就したのを理解した、あるいは目の当たりにしたのでしょうか。」

3 ニーファイ 29:1-3 を研究するときに、ときに、であるうという言葉に印を付けるとよいでしょう。この言葉は、主が終わりの日にイスラエルの家に対する約束を守っておられることを示す出来事を見つけるのに役立つでしょう。(3 ニーファイ 29:1 にある「これらの御言葉」という言葉はモルモン書を構成するもろもろの書を指しています。)

3 ニーファイ 29:1-3 から、「モルモン書の出現は主がイスラエルの家との聖約を果たされる一つのしるしである」ことが学べます。



モルモン書は、主が御自分の来臨のために主の民を備えておられるということを確信させてくれます (3 ニーファイ

29:2 参照)。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が述べた次の言葉を読み、モルモン書はわたしたちが救い主の来臨に備えるうえでどのような助けとなるか、印を付けてください。

「モルモン書は、主がイスラエルの聖約の子孫を集め始められたことを示す、目に見える証拠です。……

確かに主はお忘れになっていません。主はモルモン書によって、わたしたちや世界中の人を祝福しておられます。……モルモン書は神と聖約を交わす助けを与えてくれます。また、神を覚え、神の愛する御子を知るよう勧めてくれる、イエス・キリストのもう一つの証です。」(「聖約」『リアホナ』2011 年 11 月号, 88)

 3. 3 ニーファイ 29:4-6 を読み、次の活動のどちらかまたは両方を聖典学習帳で行いましょう。

a. モルモン書の中から、人がイエス・キリストのもとに来るうえで役立つと思う聖句を 3 つ見つけてください。それぞれの聖句に対して、なぜその聖句を選んだのか説明する一つまたはそれ以上の文章を書いてください。

b. モルモン書は、啓示、預言、異言の賜物、あるいは聖霊の力を理解し、受け入れるのにどのように役立つと思うか書いてください。

3 ニーファイ 30 章

主、悔い改めて主のみもとに来るようにと異邦人に勧められる

モルモンは救い主の教えと導きの業に関する記録を終えるに当たって、イエス・キリストから受けた異邦人に関する具体的な教えを幾つか書き記しています。3 ニーファイ 30:1-2 を読み、救い主の異邦人に対する教えをできるだけ多く見つけ、そこに印を付けるとよいでしょう。また、キリストのもとに来ることで異邦人が手にすることのできる祝福に印を付けるとよいでしょう。3 ニーファイ 30:2 は、教会外の人々に向けて語られていますが、イエス・キリストのこの招きの言葉を用いて、主の聖約により求められることをわたしたちがどれほど進んで実践しているか評価することができます。

 4. 聖典学習帳に次の原則を書いてください。「イエス・キリストのみもとに来る人々は主の民の中に数えられる。」「イスラエル家に属する〔主の〕民とともに数えられる」ことが主の祝福となるのはなぜか、聖典学習帳に書いてください (3 ニーファイ 30:2)。

 5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、3 ニーファイ 28-30 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

はじめに

第四ニーファイ

なぜこの書を研究するのか

第四ニーファイを勉強すると、イエスの福音に従って一致して生活する民にもたらされる祝福の数々について見聞きすることになります。この書には、救い主が彼らの中で教え導かれている間に、全土の民が改宗したことが明らかにされています。戒めに従うことで、民は平安と繁栄と、驚くほどの霊的な祝福を受けました。モルモンはこう宣言しています。「神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。」(4 ニーファイ 1:16) また、この民が次第に暗黒の状態に落ち込んでいったことから、大切な教訓を得ることもできます。

だれがこの書を書いたのか

モルモンは、4人の著者によって書かれた記録を短くまとめて、第四ニーファイの書を作成しました。その著者の一人がニーファイであり、この書物は彼にちなんで名づけられました。このニーファイは、主がリーハイの子孫たちを教え導かれたときに選ばれた十二人の弟子の一人であったニーファイの息子です(3 ニーファイ 11:18-22; 12:1 参照)。その他の著者は、ニーファイの息子アモスとアモスの息子のアモスおよびアモスの兄弟アマロンです。(4 ニーファイ 1:19, 21, 47 参照)

いつ、どこで書かれたか

第四ニーファイの書を作成する資料として使われた元の記録は、紀元 34 年から紀元 321 年の間に書かれたものと思われま。モルモンは紀元 345 年から紀元 385 年の間のどの時期かにその記録を短くまとめました。モルモンはこの書を編さんしたときにいた場所については語っていません。

単元 28 — 第 1 日

4 ニーファイ 1 章

はじめに

イエス・キリストがアメリカ大陸を訪れて、導きを与えられた後、民はその教えを実践し、200 年の間、一致と繁栄と幸福のうちに暮らしました。しかしながら、その結果、民は次第に高慢になり始め、非常に邪悪な民になってしまったのです。それから間もなく、この民は再び、ニーファイの民とレーマンの民の二つに分かれ、300 年の後には、ニーファイの民とリーハイの民はともに邪悪になってしまい、義にならなかった人々はほんのわずかの数しか残っていない状況になってしまったのです。

4 ニーファイ 1:1-18

すべての人々が改心し、平和と幸福を味わう

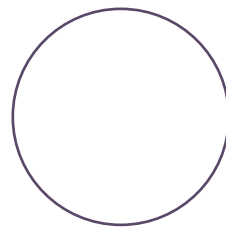
どんな助けがあったら、本当の意味で幸福になれるか。

一時的な幸福をもたらすものと永続する幸福へと導くものとはどう異なっていると思いますか。4 ニーファイ 1:16 を読んで、救い主が訪れられた後の民についてどのようなことを書いているか、探し出してください。「彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった」という表現に印を付けたいと思う人もいるでしょう。



1. 聖典学習帳に「彼ら以上に幸せな民はあり得なかった」というタイトルを書いて、その下に次の図で示すような円を描いてください。(これから円の内外に何かを書くことになります。) 4 ニーファイ 1:1-2 を読み、民は幸福になるためにどのようなことをしたか、探し出してください。見つけたものを円の内側に書いてください。

「彼ら以上に幸せな民はあり得なかった」



救い主の教えを実践したために、民は「皆、主に帰依し」(4 ニーファイ 1:2) 大いに幸せになりました。



十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、帰依（改心）と幸福がどう結び付いているか、次のように説明しました。長老の言葉を読んで、帰依するとはどういうことか、アンダーラインを引いてください。



「現在と永遠にわたる幸福は、わたしたちがどの程度改心し、改心に伴って自分の生活がどの程度変わったかにかかっています。では、真の改心をするにはどうすればよいのでしょうか。〔マリオン・G〕ロムニー管長は、皆さんが従わなければならない段階を示しています。

『会員資格を有することと改心とは必ずしも同義ではありません。改心した状態と証^{あかし}を得た状態も必ずしも同じではありません。証は、熱心に求める人に聖霊が真理を示されるときに与えられます。心を動かす証は、信仰を活性化します。つまり、悔い改めと戒めへの従順を促すのです。改心とは悔い改めと従順の結果、得られる報いなのです。』〔Conference Report, Guatemala Area Conference, 1977年, 8－9〕

簡潔に言えば、真の改心とは『信仰』『悔い改め』そして『常に従順になること』に対する報いなのです。……

真の改心は永続する幸福を生じます。その幸福は、世界が混乱し、ほとんどの人々が幸福とは程遠い状態のときでさえ得られるものです。』（『真の改心がもたらす幸福』『リアホナ』2002年7月号, 26－28）



2. 4 ニーファイ 1:2－3, 5, 7, 10－13, 15－18 を読み、人が皆主に帰依したために民がどのようなことを経験できたか、それを述べている言葉や表現を探してください。前回の課題で自分の聖典学習帳に円を描きましたが、その外側に、探し出した言葉や表現の中から選んでそれを書き出してください。

わたしたちはニーファイの民が空前の幸福と繁栄を味わったこの時期から、「民の一部が主に帰依すると、それによって一致と幸福がもたらされる」ことを知ることができます。この原則を聖典の4 ニーファイ 1:16 の近くか、自分の聖典学習帳に書いておくとよいでしょう。

皆さんの周囲にいる人々が皆、本当の意味で主に帰依したら、どのような状態になると思いますか。それを深く考えてみましょう。



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. あなたの家族全員が 4 ニーファイの民のような生活をしたら、自分の家族にはどのような益がもたらされるとおもいますか。

b. これまでの生活の中で、義にかなって一致していた人々といたことで祝福を受けたことがあれば、そのときのことを考えてください。例えば、家族や、定員会、クラス、仲間の友人の中ではどうですか。その人たちが正しいことを行おうと一致していたのは、どんな影響があったからだと思いますか。あなたやあなたと一緒にいた人々はどのような祝福を受けましたか。

4 ニーファイ 1:19 - 49

邪悪な行いが戻って来て、広まり、義にかなった人々が数人しかいなくなる

第四ニーファイに登場する民がしたように、幸福な社会を破壊してしまうものは何だと思いますか。



4. 聖典学習帳に「幸福な社会の破壊」というタイトルを書き、その下に、最初の課題で描いたときと同じような円を描いてください。4 ニーファイ 1:20, 23 - 24 を読んで、民の幸福と平安を破壊するきっかけとなったものを探し出してください。それらを円の中に書きます。

自分の聖典の 4 ニーファイ 1:24 の近くか、あるいは自分の聖典学習帳にヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を書いておくとよいでしょう。「高慢は一致の大敵です。」（「一つに結ばれた心」『リアホナ』2008 年 11 月号, 70）高慢はどのような状況で一致の敵になるとおもいますか。

ディーター・F・ワークトドルフ管長の次の言葉は、高慢に関する深い見方を示しています。高慢がなぜ非常に破壊的なのか、その理由を説明する部分に下線を引いてください。



「高慢は罪深いものです。それは憎悪と敵意を生み、神と同胞への反感をもたらすからです。根本的に高慢は比較の罪です。それは通常『わたしがどれほど素晴らしい人か、またどれほど偉大なことを行ったか見てください』で始まり、いつも『だから、あなたより優れています』で終わるようです。

心が高慢で満たされると、由々しい罪を犯します。二つの大切な戒めを破るからです〔マタイ 22:36 - 40 参照〕。神を礼拝し、隣人を愛する代わりに、自分の実際に崇拜し愛している対象が露見するのです。その対象とは鏡の中に見る自分です。』（「高慢と神権」『リアホナ』2010 年 11 月号, 56）



5. 4 ニーファイ 1:25 - 27, 30 - 35, 38 - 45 を読み、民の間に及んだ高慢の影響について書かれてある語句や表現を探してください。課題 4 として聖典学習帳に描いた円の外側にその語句や表現を書きましよう。

こうした出来事から学ぶことのできる真理の一つは、「高慢の罪は分裂を生じ、悪事をもたらす」ということです。この言葉を自分の聖典に書いておくとよいでしょう。一人か二人の高慢がグループ全体の幸福にどのような影響を与えるのでしょうか。

次の短い話の中で、ある一人の高慢さによってマイナスの影響を受けているのはだれか、考えてみましょう。

- 知恵の言葉を守ることから得られる祝福について、教師がレッスンの準備をしてきたのに、若い女性のクラスの一人の生徒が聞こうとしません。その生徒は、知恵の言葉については何度もレッスンを受けているのでもう聞く必要がないと感じていて、投げやりになり、クラスに参加をしようとしません。
- 友人の一人が、グループの特定の仲間のことを、その人の服装からその人が貧しいことが分かったと言って、いつもからかったり、ばかにしたりしています。



6. 自分自身の生活に高慢の入り込む要素がないかどうか、深く考えてみましょう。その際に、ワークトドルフ管長の言葉について改めて考えてみたら、役に立つかもしれません。自分の家族や定員会、クラスや仲間の中で一致や義をさらに進めようとするときに、高慢にならないようにしたり、助けを求めたりするためには、どんなことができると思いますか。自分が考えたことや目標について、聖典学習帳に書いてください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、4 ニーファイ 1 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

はじめに

モルモン書

なぜこの書を研究するのか

モルモン書を研究するとき、生涯にわたり「いつも悪事と忌まわしい行い」(モルモン2:18)に取り囲まれながらも忠実に生きたイエス・キリストの弟子の一人、モルモンから、貴重な教えを受けるでしょう。また、モルモンの息子であるモロナイの言葉を研究することによっても恵みを受けるでしょう。モロナイは、末日の読者に対して、次のように証しています。「イエス・キリストがわたしにあなたがたを見せてくださったので、わたしはあなたがたが行うことを知っている。」(モルモン8:35) こうした言葉を研究することで、イエス・キリストの福音の戒めと聖約に従った生き方を選ぶことがどれほど重要か、知ることができます。

だれがこの書を書いたのか

モルモンは、当時のニーファイ人とレーマン人の間に見られた悪事と戦争に関する短い記録として、この書の最初の7章を書きました。また、彼は自分の生涯に起こったすべての出来事をニーファイの大版に「残らず記録」しています(モルモン2:18; 5:9 参照)。モルモンが「十歳くらい」のころ、記録保管者であるアマロンが、モルモンにやがて「この民について〔彼が〕見てきたことをすべて」(モルモン1:2, 4) 記録する責任が託されることになることと告げます。24歳のころ、モルモンはニーファイの版の管理を託され、「アマロンの言葉に従って記録」(モルモン2:17) します。その後、モルモンはニーファイの大版を短くまとめ始めますが、その大版の中にはリーハイからアマロンに至る預言者や記録保管者の書いたものが含まれています。モルモンは生涯が終わるころになって、「主の手によってわたしに託されたすべての記録をクモラの丘に隠し」、残りの数枚の金版を息子のモロナイに渡します(モルモン6:6)。モルモンはその後、ニーファイの民を率いて、レーマン人に対する最後の大戦争に向かいます。モルモンは亡くなる前に、モロナイに指示して、自分の記録を完成させるよう、命じます。モロナイは、この書の8-9章にあたる部分を書き加えています。

いつ、どこで書かれたか

モルモンがモルモン1-7章まで書いたのは、紀元345年から紀元401年の間のようです(モルモン2:15-17; 8:5-6 参照)。ニーファイ人とレーマン人の間で起こったクモラでの最後の大戦の後に、モルモンは自分の記録を書き終わりました(モルモン6:10-11 参照)。モロナイは恐らく紀元401年から紀元421年の間、彼が命の安全を得られる場所を求めてさまよっていたときに、モルモン8-9章の資料を書きました(モルモン8:4-6; モロナイ1:1-3 参照)。

単元 28 — 第2日

モルモン 1 - 2 章

はじめに

モルモンは悪事が蔓延しているときに育ちましたが、忠実であることを選びました。彼はその忠実さのゆえに、ニーファイ人の記録を管理する職に召されたのです。モルモンは15歳のとき、「主の訪れを受け、イエスの慈しみを味わって知った」(モルモン1:15) とあります。同じ年、ニーファイ人は彼を軍隊の指揮官に任命します(モルモン2:1 参照)。モルモンはニーファイ人が悔い改めることを願ったが、彼らが故意に背いたため、彼らに教えを説くことを主から禁じられました。ニーファイ人は、聖霊と神のその他の賜物を失っていたので、レーマン人と戦うときに、自分の力に頼らざるを得ませんでした。

モルモン 1:1-5

モルモン、神聖な記録を管理する責任が与えられる

人々があなたのことについて話をするとき、あなたはどんな単語を使ってほしいと思いますか。 _____

あなたはモルモンと言われたことがありますか。だれかがあなたのことをモルモンと言ったとき、それはあなたにとってどんな意味がありますか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は「モルモン」というニックネームについて話をしています。この名称は、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員を指して使われる名前です。



「わたしはこの教会が正式名称で呼ばれないことを残念に思うことはありますが、そのニックネームが素晴らしい人物、およびこの世の贖い主に関する比類なき証である書物の誉れ高い名前に由来するものであることをうれしく思っています。」

モルモンの言葉を読み、それについて深く考えることによってモルモンという人についてよく知るようになる人はだれでも、また、おもにモルモンによってまとめられた貴重なこの歴史の宝庫を読む人はだれでも『モルモン』という言葉は悪評ある言葉ではなく、『神から来るより良いもの』を意味していることが分かるようになります。」「(「モルモンとは『より良い』」「聖徒の道」1991年1月号, 59-60 参照)

預言者モルモンは、その地域に住むほとんどすべての人々が邪悪な状態にいるという時代に誕生しました。この時期にアマロンという名前の一人の預言者はあらゆる神聖な記録を隠すよう命じられました(4 ニーファイ1:47-49 参照)。アマロンは、このとき、当時10歳であった少年モルモンを訪ね、モルモンが記録に関して将来どのような責任を持つことになるのか、指示を与えました。モルモン1:



2を読み、アマロンが少年モルモンをどのような単語や表現を用いて描写しているか、探してみましょう。

アマロンがモルモンを描写するために使った単語の一つにまじめという単語があります。まじめという単語の意味は、真剣で、慎重深く、義にかなっていて、信仰深いということです。自分の聖典の余白にこの定義を書いておいてもよいでしょう。人生のどのような話題について、あるいはどのような状況で、まじめにならないといけないと思いますか。まじめな人であっても、楽しんだり笑ったりできるという点を理解することはとても大切です。でも、まじめな人というのは、どういうときに楽しんだらいいのか、どういうときにもっとまじめにならないといけないのか、よく分かっている人です。

さらにアマロンはモルモンのことを「観察が鋭い」(モルモン1:2)と書いています。観察が鋭いとはどういう意味でしょうか。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は観察するという言葉が聖文上は二つの意味で使われているとして、次のように説明しています。

「一見単純で、しかも正当に評価されていないと思われる霊的賜物である『観察が鋭い』(モルモン1:2)という能力は、皆さんやわたしが現在生きている、そしてこれからも生きていくこの世にあって、きわめて重要な賜物です。……

どうぞこの霊的な賜物の大切さについて考えてください。聖文で使われているとおり観察するには主として二つの使い方があります。一つの使い方は、『注意を向ける』『理解する』『気づく』という意味です。これはイザヤ42:20から学ぶことができます。……

観察するという表現の二つ目の使い方は、『従う』『守る』という意味にもなるということです。これは教義と聖約54:6から明らかです。……

ですから、観察が鋭ければ、わたしたちは即座に注意を向けて、従うでしょう。注意を向ける、そして従うという二つの基本要素は、観察が鋭くなるためには不可欠です。預言者モルモンはこの賜物を用いた見事な模範です。」「(『観察が鋭い』『リアホナ』2006年12月号、15-16参照)



1. 自分の聖典学習帳に、観察が鋭いという特性があると自分の日常生活にどのような助けになるか、よく考えて書き出してください。

モルモン1:3-5を読み、アマロンがモルモンに伝えた指示を抜き出してください。まじめで観察が鋭いというモルモンの特性はその責任を果たすうえでどのような助けになったでしょうか。

モルモン1:6-19

民が故意に背いたため、モルモン、民に教えを説くことを主によって禁じられる

これまで何か大切なものを失った経験がありますか。モルモンはまだ若いころ、ニーファイ人とレーマン人の間で行われた戦闘を何度も目撃し、また、国中に大きな悪事がはびこる様子を見てきました(モルモン1:6-13参照)。ニーファイ人の悪事がすさまじいものであったために、モルモンは彼らが主から頂いた数多くの貴重な賜物を失ったと記録しています。



2. 自分の聖典学習帳に二つの欄を設けます。最初の欄の上に「ニーファイ人が失った賜物」と書きます。モルモン1:13-14, 18を読み、主がニーファイ人からどんな賜物を取り上げられたかを探し、見つけたことを最初の欄に書きます。二つ目の欄には「主がその賜物を取り去られた理由」と書きます。モルモン1:14, 16-17, 19を読み、主がその賜物をニーファイ人から取り去られた理由を探し、見つけたことを二つ目の欄に書きます。

以上の聖句から「悪事や不信仰があると主の賜物や聖霊の影響力は遠ざかる」ということが分かります。ニーファイ人の反抗は極端でしたが、この原則は、わたしたちがどんな戒めであれ、神の戒めに従わないときには、わたしたち個々にも当てはまります。

もし自分がモロナイの時代に生きていたら、モルモン 1: 13 - 14, 18 で述べられている神の賜物のうち、失って最も後悔する賜物はどれだと思いますか。 _____

モルモン 1: 15 を読み、残りのニーファイ人が聖霊の賜物や神の賜物を失っていたとき、モルモンがどんなことを経験していたか探してください。モルモンが大いなる悪事のただ中にいながら、なお霊的な経験をすることができたことについて、どう思いますか。

モルモン 2: 1 - 15

モルモン、ニーファイの軍を率いながらも、民の悪事を悲しむ

次のような場面を考えてください。30 歳になる男性が両親と一緒に住んでいて、就職口を探そうとしません。むしろ、両親の働きに頼って生活し、時間の大半をビデオゲームなどをして過ごし、無意味な活動で時間を無駄にしています。モルモン 2 章を研究するときに、この場面を少年モルモンの描写と比較してみてください。

モルモン 2: 1 - 2 を読み、モルモンにはどのような責任が与えられたのか、そして、その責任を受けたときに何歳だったのか、探してみましょう。

モルモンがニーファイ人の軍隊の指揮官として任命を受けてからまもなく、レーマン人の軍隊は、ニーファイ人が恐れて退却するほどの勢いで、ニーファイ人を攻撃しました。レーマン人はニーファイ人を追い立て、ニーファイ人は一つの場所に集まりました。最終的に、モルモンの軍隊はレーマン人の前に立ちはだかり、レーマン人は逃げ出しました（モルモン 2: 3 - 9 参照）。



3. モルモン 2: 10 - 15 を読み、これらの戦闘の後、ニーファイ人が霊的にどのような状況にあったか探してください。次に、以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- ニーファイ人が悲しんだのはなぜでしょうか。
- モルモン 2: 14 によれば、民の悲しみが真の悔い改めからもたらされたものではなかったことを、モルモンはどのようにして知ったのでしょうか。
- モルモン 2: 13 - 14 から、悲しんで悔い改める人々と悲しみを罰の定めを受けること（進歩が止められること）へと結びつける人々の間で、どのような違いが見られますか。

これまでの聖句から分かることは、「悪い行いと不信仰は、主の賜物と聖霊の影響を遠ざける。罪を悲しんで悔い改めに至る人は、へりくだった心をもってキリストのもとに来るようになる」ということです。また、「罪の結果のみを悲しむだけの人は、罰（永遠の命に至る進歩の停止）を受ける」という原則も教えています。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 罪を犯した人が示すこの世的な悲しみ、つまり罰の定めを受けるような悲しみとはどのような悲しみでしょうか。
- 罪を犯した人が示す悔い改めに結びつくような悲しみとはどのような悲しみでしょうか。

自分が何か間違いを犯した、あるいは罪を犯したと認識したときに、どんな行動を取るか、深く考えてみましょう。へりくだった心で救い主のもとに来るならば、平安を経験し、神と和解することができるようになります。

モルモン 2: 16 - 29

モルモン、版を手に入れ、ニーファイ人の悪事を記録する

レーマン人との戦闘が続く中、モルモンはアマロンがニーファイ人の記録を隠した丘の近くにいました。モルモンはニーファイの版を取り出し、自分が子供のころから見てきた民の行いを記録し始めました（モルモン 2: 16 - 18 参照）。モルモン 2: 18 - 19 を読み、モルモンが成長するころの周囲の霊的な状態について記述した表現に印を付けてください。

これまでモルモンについて学んだことから考えて、なぜモルモンは自分が「終わりの日に高く上げられる」（モルモン 2: 19）ことを確信していたのだと思いますか。（この部分で「終わりの日に高く上げられる」というのは、昇栄するという意味です。つまり、日の栄えの体を受けて復活し、神の前に導かれて、神とともに永遠に住むということです。） _____

モルモンの生涯は「人は邪悪な社会の中にも、義にかなった生活を選ぶことができる」ということの証です。

次の勧告について考えてみましょう。「あなたは自分の選びに対して責任を取らなければなりません。神はあなたのことを心に留め、たとえあなたの家族や友人が誤った方法で選択の自由を使ったとしても、あなたに良い選択ができるように助けてくださいます。たとえ孤立を余儀なくされても、断固として神の御心に従う真の勇氣を持ってください。そうすれば、人が倣うべき模範を示すことができます。」（『若人の強さのために』、2）



5. 自分の聖典学習帳に、友人や家族が、たとえばほかの人と違っていたとしても断固として神の御心に従おうとしていたという場面を見たことがあれば、その時のことについて書いてください。また、その人の模範やモルモンの模範が自分にとってどのように役立っているか、それについてあなたの思いを書いてください。

若い女性のモットーは「真理と義を守る」です。自分が若い女性であるか、若い男性であるかにかかわらず、自分の生活の中で、正しいことを守るためにもっと強い決心ができると思われる特定の分野があれば、それについて考えてください。皆さんが、正しいことを守ろうと努力するときには、たとえ周囲の人々がそうでなかったとしても、主は助けてくださることでしょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン 1－2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 28 — 第 3 日

モルモン 3－6 章

はじめに

レーマン人から自分たちの土地を取り戻した後、ニーファイ人は再び戦闘の準備をします。モルモンはニーファイ人に悔い改めるように懇願します。しかし、彼らは自分たちの力を誇り、戦死した同胞たちの復讐をすると誓いました。主は御自分の民が報復することを禁じておられたので、モルモンは彼らの軍を率いることを断わります。そして、ニーファイ人の軍は敗北します。ニーファイ人は悪事を重ねました。そのため、神は彼らに裁きを下され、レーマン人はニーファイ人を地から一掃し始めます。その結果、モルモンは再度ニーファイ人の戦いの指揮を執ります。それでも、ニーファイ人は悔い改めることを拒んだため、彼らはレーマン人に滅ぼされたのでした。モルモンは彼らが墮落したこと、そして彼らがイエス・キリストのもとに返ろうとしなかったことを嘆き悲しみます。モルモンは、その民の記録が終わりの日に世に出るであろうと預言し、それを読む人々に対して悔い改めて、神の御前で行われる自らの裁きのために備えよ、と励ましています。

モルモン 3－4 章

ニーファイ人の悪事が増大したため、モルモンはその軍の指揮を執ることを拒み、そのためレーマン人がニーファイ人を地上から一掃し始める

主があなたに自分の生活で何かを変えてほしいと望んでおられると感じたことがありますか。生活の中であなたが気づいていないものについて何かを変えるように主があなたを励ましたり、助けたりしたことがあると思いますか。

モルモンの時代、ニーファイ人は、主がレーマン人との戦いにいかに深い影響を与えておられたかという点について、気づかなかったり、感謝しなかったりすることが多くありました。ニーファイ人がレーマン人やガデアントン強盗団と条約を結んだ後、主は彼らに 10 年にわたって争いのない時代を経験させていただきました。その 10 年の間に、彼らは将来の攻撃に対して武器などの備えをしたのです（モルモン 2：28；3：1 参照）。

モルモン 3：2－3 を読み、主はレーマン人の攻撃に備えるためにニーファイ人にもっと大切な方法を採用するよう望まれましたが、その方法を探してください。それに対して、ニーファイ人はどう反応しましたか。モルモン 3：3 によれば、ニーファイ人の中で悪事がはびこっていたにもかかわらず、直前の戦いで主がニーファイ人の命を助けられたのはなぜだったのでしょうか。_____

モルモン 3：4－8 に記録されているように、主はニーファイ人をもう 2 回、戦いから守られました。主が邪悪なニーファイ人の国民にどう対応されるかということを見て学ぶことのできる教義上の一つの真理は、「主は慈悲の心で、罪を悔い改めることができるように、人に十分な機会をお与えになる」ということです。こうした機会は主が忍耐し、愛を持っておられることの証拠であって、また、主の子供たちには皆、贖罪の完全な祝福にあずかる資格が得られるような生き方をしてほしいと願う主の望みの表れでもあります。



1. 次の質問に答え、答えを聖典学習帳に書きましょう。（もし答えが神聖なもの、あるいは内密なものであったら、個人の日記に書くといいでしょう。）

a. 主は悔い改めようとするあなたをどのように励ましてくださいましたか。また、悔い改めの機会をどのように備えてくださいましたか。このことから主の性格についてどのようなことが分かりますか。

b. ニーファイ人がモルモン 3：3 でしているように、こうした励ましに反抗して無視したり、心をかたくなにしたりしないようにするために、あなたはどんなことができますか。

自分の生活に変化をもたらすための機会や主の勧めといったものは、自分が認識する以上にもっと頻繁に与えられるものかもしれません。たとえば、聖餐を頂くときに与えられるかもしれませんし、自分を高めるようにとか人に仕えるようにといった聖霊の促しを感じるときに与えられるのかもしれません。皆さんがこうした機会を求め、速やかに生活を変えることでそれにこたえようとするとき、皆さんは主の贖いの力を自分の生活の中に取り込むことになります。御手を差し伸べようとする主に対して、ニーファイ人が抵抗しようとする理由を理解するためには、モルモン 3:9-10 を読み、レーマン人を数回打ち負かしたことでどのような反応を示したか、探してみてください。(読み進めるに当たって、「報復」という語が 9 節に出てきますが、これは傷を負ったことに対して復讐するという意味だということが分かったと参考になるかもしれません。)

ニーファイ人はレーマン人に勝利した後、どのような反応を示したのでしょうか。モルモン 3:11-13 を読み、復讐(報復)を求める軍の誓約に対してモルモンがどのような反応を示したか、探してください。

モルモンは、ニーファイ人の悪事にもかかわらず、30 年以上彼らの軍隊を率いてきました。このときモルモンがニーファイ人の軍を率いることを断ったことは、復讐することの重大性について何を教えているのでしょうか。_____

モルモン 3:14-16 を読み、復讐すること(あるいは報復を求めること)について主がモルモンに教えられたことが書かれている場所に印を付けてください。これらの聖句から学べる一つの真理は「主は復讐することを禁じておられる」ということです。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. あなたはこれまで報復をしたいと思ったり、自分がされたことに対して仕返しをしようと思ったことはありますか。あなたはそうすることがなぜ危険で、好ましくない対応だと思いませんか。あなたが報復を求めることでいざばん傷つくのはだれだと思いませんか。

b. 裁きや復讐は主の手に委ね、自分自身で行うべきではないのはなぜでしょうか。

わたしたちは復讐心というものを捨てなければならないことも知っていますし、捨てようという気持ちを持ちたいとは思っていますが、それでも、そうした感情が芽生えてくるとそれを克服するのは大きな試練だと思うこともよくあります。ジェームズ・E・ファウスト管長の次の勧告を読み、自分に復讐心がわき起こったとき、どのようにその感情に打ち勝つことができるのか、その方法が分かる部分にアンダーラインを引いてください。



「怒りの感情があることを知り、そして認める必要があります。それには謙虚さが求められます。しかし、ひざまずき、赦したいと思えるように願い求めるなら、天の御父は助けてくださいます。主はわたしたち自身の益のために『すべての人を赦す』[教義と聖約 64:

10] よう求めておられます。『憎しみは霊的成長を妨げる』[オーソン・F・ホイットニー, *Gospel Themes* (1914 年), 144] からです。……わたしたちも、憎しみや苦々しい思いを捨て去るときに初めて、主によって心の安らぎを得ることができるのです。……

……悲劇が起こったとき、個人的な復讐を求めてはなりません。むしろ正義に任せるようにしてください。そして忘れましょう。忘れること、そして込み上げる怒りを心から払いのけるのは簡単ではありません。贖いを通して、救い主は全人類にかけがえのない平安を約束してくださいましたが、怒り、恨み、あるいは復讐などの否定的な感情をわたしたちが進んで捨て去らなければ、その平安は得られないのです。たとえ重大な犯罪であっても『わたしたちに対して過ちを犯す者』[ジョセフ・スミス訳, マタイ 6:13] を赦すすべての人は、贖いによって必要な平安と慰めを受けるのです。」「(「赦しのもたらす癒しの力」『リアホナ』2007 年 5 月号, 69)

自分がほかの人に対して抱く可能性のある恨み、怒り、冷たい思いなどを取り除くために、この勧告をどのように生かすことができるか、深く考えてみましょう。

ニーファイ人の軍の指揮を断ったモルモンは、終わりの日に自分の言葉を読む人々にあてて記録を書き残すことに関心を向けます。モルモンは、わたしたち一人一人が悔い改めて、「キリストの裁きの座の前に立」つ備えをするよう願ったのです(モルモン 3:18-22 参照)。

モルモン 4:1-2 を読み、レーマン人に復讐しようとしたニーファイ人の軍に何が起こったか見つけてください。モルモン 4:4 を読み、ニーファイ人の軍隊が戦場で勝てなかったのはなぜか、その理由を探してください。モルモン 4:5 を読み、悪事を重ねることによってもたらされる結果として明らかになった真理が書かれている部分があります。その部分を指摘してください。どのような真理が明らかになりましたか。_____

ここで、ある真理について気づいたかもしれません。それは「神の裁きは悪人にくだる」ということです。「悪人によって悪人が罰せられる」(モルモン 4:5) のはよくあることです。悪人は神の助けを拒み、神から守られたいと思いません。モルモン 4:11-14, 18 を読み、神の裁きがどのようにニーファイ人に下されたか、探してください。



3. 聖典学習帳に、以下の質問を答えを書きましょう。

a. モルモン 3-4 章を読んで、あなたから見て、ニーファイ人の状況の中で最も悲しい部分はどこだと思いませんか。

b. 今日ここまで学習した教義や真理は、お互いにどのように関連し合っていますか。(悔い改めと復讐、そして神の裁きとの関係を考えてみましょう。)

こうした真理を生活に応用するために、主はあなたに何を望んでおられるか、深く考えてみましょう。

モルモン 5－6 章

モルモン、もう一度ニーファイ人の軍を率いるが、レーマン人に敗れる。モルモン、自分の民の滅亡を嘆く

義にかなった生活をしていた人の死と悪い生活をして亡くなった人の死との間で、それぞれの死に伴う悲しみには違いがありますか。その違いは何だと思えますか。

13 年以上もの間ニーファイ軍の指揮を執ることを拒んでいたモルモンは、再び指揮を執ります。しかしながら、軍を指揮するモルモンは望みが持てませんでした。民が、悔い改めて主の助けを求めることを拒んだからです。何度かレーマン人の攻撃を撃退した後、ニーファイ人は逃げ始めます。逃げ足が速くなかった者は殺されました。モルモンはレーマン人の王に対して 1 通の手紙を書き送り、最後の戦いに備えて民を集めるためニーファイ人に少し時間を与えてほしいと懇願します。(モルモン 5:1－7; 6:1－6 参照)

モルモン 6:7－11 を読み、自分の民が減びていく様子を見るモルモンの悲しみを理解するように努めてください。邪悪な生活を送った人にとって、死が恐ろしいものとなるのは、なぜだと思えますか。



4. モルモン 6:16－22 を読み、自分の聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。

- 預言者や指導者、両親がわたしたちに悔い改めをするよう熱心に勧めるのはなぜですか。
- 主に抱かれるという希望は悔い改めるうえでどのような助けとなるのでしょうか (モルモン 6:17 参照)。

自分の生活の中で主があなたに今すぐに悔い改めを望んでおられるようなことがないか、深く考えてみてください。これらについて、個人の日記に記録し、目標を立ててみましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン 3－6 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

単元 28 — 第 4 日

モルモン

7:1－8:11

はじめに

ニーファイ人とレーマン人の間で行われた最後の戦闘の後、モルモンは、モルモン書の民の将来の子孫に対して、自分は何者であるか、そして、救いを得るには何をしなければならないかを知ることが重要であると書いています。自分の敵の将来の子孫を深く愛していたモルモンは、イエス・キリストの福音に従うことがいかに重要かを教え、「裁きの日に幸いを得る」(モルモン 7:10) ことの大切さを説きます。モルモンが亡くなった後は、モロナイが一人残され、自分の民の滅亡について書き残します。

モルモン 7 章

モルモン、最後の証の中で、レーマン人の残りの者たちにイエス・キリストを信じ、キリストの福音に従うよう強く勧める

モルモン 6 章では、レーマン人との最後の戦いでニーファイ人には 23 万人の死傷者があったことを学びました。自分がこのような大きな戦いで生き残ったにもかかわらず、友人や家族は亡くなってしまったという場面を想像してみてください。自分の愛する者たちを殺し、自分の国を征服した者たちの子孫に対し、あなたならどのような感情を抱きますか。モルモン 7:1－4 を読み、レーマン人の子孫に対してモルモンがどのようなことを書いたか、探してみましょう。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- モルモンはレーマン人の子孫に、何を知ってほしかったでしょうか。
- 先ほど想像上の状況の中で、自分の友人や家族を殺した民の子孫についてどういう感情を抱くか考えてみましたが、その感情とこのモルモンの気持ちとを比較して、どのような違いがありますか。
- 自分の敵に対するモルモンの思いの中に、救い主の属性が見られますが、それはどのような部分ですか。

モルモンはレーマン人の子孫に向けて書き続けます。モルモン 7:5－7 を読み、モルモンが救い主イエス・キリストについて、レーマン人の子孫に信じるようにと強く勧めている真理が幾つかありますが、それを少なくとも 3 つ見つけて、それに印を付けてください。



2. 今見つけたイエス・キリストに関する真理の中から一つを選び、自分の聖典学習帳に、その教義を信じることで自分の生活にどのような影響を受けてきたか、書き出してください。

モルモンは、これほど多くの自分の民を殺したレーマン人に対して非難の言葉を書き残したとしても正当化されるはずだと感じていたかもしれません。しかし、彼は真理を知っていたがゆえに、裁きの座で神の前に罪のない者となれるよう、彼らが（そして、わたしたちが）何をしなければならぬかを教えるために記録したのです。モルモン7：8－10を読み、人がしなければならないことについてモルモンがどんなことを証したか、それを一つ一つ探し出してください。探し出したら、自分の聖典に印を付けてもよいでしょう。

この部分の聖句は、「主はすべての人に救いを授け、福音の原則と儀式を受け入れる人々を贖ってくださる」ということを教えています。この原則を自分の聖典に書いておくのもよいでしょう。この原則に従って生活するためには、自ら聖文の研究をしてその方法を知らなければならぬとモルモンが教えていることに注目してください（モルモン7：8参照）。「この記録」という言葉はモルモン書のことを指し、「ユダヤ人から異邦人に伝わ……る」記録というのは聖書のことを指しているということを理解しておくも役立つかもしれません。同様に、モルモン7：9の「これ」というのもモルモン書のことを指し、「それ」は聖書を指しています。自分の聖典に印を付けて、その区別を書いておくのもよいかもしれません。

モルモン7章を読み終えるに当たり、慈愛とキリストのような憐れみに満ちたモルモンの模範について、少し時間をかけて考えてみましょう。モルモンは、自分にとって冷酷な敵であった人々の子孫に向かい、希望と励ましのメッセージを書き送っています。

 3. 自分の聖典学習帳に、以下の質問について考えて、記録しましょう。モルモンの模範に従い、自分に対して冷たく接する人も含めて、人から永遠の価値に気づいてもらえるように接するには、どんなふうに接したらよいのでしょうか。

モロナイ8：1－11

モロナイ、父の死と民の滅亡、そして、自分が一人残されたことを記録する

自分が一人でいたときのことを考えてください。一人でいたときにはどんな気持ちになりましたか。何年間も一人でいる状況を想像してください。

モルモン7章と8章の前書きに書かれている年代に注意してください。モルモンが7章で最後の言葉を書いたときと8章でモロナイが金版に書き始めたときを比べて、どれくらいの年月が経過していますか。 _____





モルモン8:1-2を読み、クモラで大規模な戦いが終わった後何が起こったか、探してください。次にモルモン8:3-9を読み、自分の民が滅ぼされた後にモロナイがどのような状況に置かれていたか、それが描かれている場面に印を付けてください。あなたが同じような状況に置かれたらどんな気持ちになるか、深く考えてみましょう。

自分の信仰や標準を守るときに一人だと感じたときがあったら、そのときのことを考えてください。そのとき、救い主に従いその戒めを守ろうというあなたの決意は、強まりましたか、同じでしたか、あるいは弱まりましたか。その理由を答えてください。

もう一度モルモン8:1, 3を読み、モロナイが自分の置かれている状況にもかかわらずどのようなことを決意したか、探してください。モロナイの模範は、「たとえ一人であっても、忠実であり続けるという選択をすることができる」ということを示しています。自分の聖典にこの真理を書いておくのもよいでしょう。

モルモン書には、ほかにもモロナイのように一人になっても忠実であり続けた人々の例があります。アビナダイは一人になっても、ノア王や祭司たちの前に立って証をしました（モーサヤ12-17章参照）。アルマは、アビダナイの言葉を信じ彼を守ろうとしたただ一人の祭司でしたモーサヤ17:1-4参照）。

リチャード・G・スコット長老は、たとえ一人になっても忠実に生きる道を選んだ一人の青年の話を、次のように紹介しています。



「〔この〕青年の例を考えてみましょう。わたしはこの青年を幼いときから知っています。両親が彼に神の戒めをきちんと守るように教える様子を長年にわたって見てきました。両親は模範と訓戒によって、この青年やほかの子どもたちを真理の中で養いました。価値ある目標を達成するために、規律や犠牲という特質を伸ばすよう奨励しました。この青年はこれらの特質を身に付けるために水泳を始めました。早朝練習を続けるには規律と犠牲が求められます。練習を続け、彼はめきめきと上達しました。

行く手には幾つものチャレンジが待ちっていました。例えば、日曜日に開かれる水泳競技会がありました。彼は出場したでしょうか。チームの優勝に貢献するためだからと正当化して、自分で決めた日曜日に泳がないというルールに例外を作ったでしょうか。いいえ、仲間からのきついプレッシャーがあっても彼は譲りませんでした。ののしられ、暴力さえ受けました。けれども彼は決して譲歩しませんでした。仲間外れにされ、孤立し、プレッシャーをかけられ、悲しい思いをし、涙を流しました。それでも妥協しませんでした。彼はパウロがテモテに与えた勧告を身をもって学んでいました。それはわたしたち一人一人がいつかは理解しなければならないことです。『キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は、みな、迫害を受ける。』（2テモテ3:12）彼は何年にもわたって一貫して義にかなった生活を続けました。その間、時には大きなチャレンジに直面しながらも、何百回となく正しい決断を下しました。そうすることにより彼の中に、堅固で不屈の人格が築き上げられました。現在、宣教師として働く彼の能力、真理の知識、揺るぎない献身、福音を分かち合う決意は、同僚たちから高く評価されています。かつてはつまはじきにされていた若者が、今や仲間から尊敬される指導者になっています。」（「第一のものを第一に」『リアホナ』2001年7月号、8）

モルモン8:10-11を読み、困難に直面している状況の中で主がモロナイと（亡くなる前の）モルモンを支えた方法の一つ探し出してください。トーマス・S・モンソン大管長は次のような励ましの言葉を与えていますが、この言葉は、たとえ一人になっても忠実であり続けようという決意を後押ししてくれることでしょう。



「日々の生活で信仰の試しを逃れることはまずできません。何が良く何が悪いのかといったことに関して、時に多くの人の中でほんの少数のグループに入ることもあれば、たった一人になることすらあります。たとえ孤立することになったとしても、信仰を曲げずに道徳的な価値観を貫く勇気があるでしょうか。……

……わたしたちが勇敢であり、信じることを擁護する備えができますように。独りで立たなければならないときは、天の御父とともに立つならば決して独りではないという

真実に励まされ、勇気をもってそうすることができますように。」(「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号、60、67)



4. 聖典学習帳に、次の質問に対する答えを書きましょう。

- a. 一人になっても忠実であり続ける人の例をほかに知っていますか。
- b. モンソン大管長の言葉は、たとえ一人になっても忠実であり続けようと決意するためにどんな助けになりますか。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン7:1-8:11を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

したいかなる発明品よりもずっと重要なものです。人類にとって、現代医学に見られる多くの躍進よりもずっと偉大な価値があり、飛行機の発達や宇宙旅行よりも、人類にとってずっと意義のある賜物です。わたしが話している賜物とは

のことです。」

ベンソン大管長がここで言おうとしている賜物とは何だと思いますか。

モロナイはこの賜物についてモルモン8章で教えています。モルモン8:12-14を読んで、その賜物は何であるか見つけてください。「この記録」という言葉はモルモン書を指しています。モルモン書こそ、ここでベンソン大管長が語った賜物のことなのです(「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」『リアホナ』2011年10月号、53参照)。ベンソン大管長の言葉の最後の空欄の部分に「モルモン書」と書きましょう。



もう一度モルモン8:12-14を見て、モルモン書の価値についてモロナイは何と教えているか、探し出してください。金版の金銭上の価値についてモロナイは何と教えていますか。モロナイは、金版を金銭上の利益を得るために利用することを主はお許しにならないが、金版に記された記録には非常に価値がある、と説明しています。

モルモン書がどう世に出されるのかを知ると、この書物の重要性も理解できるようになります。モルモン8:15-16を読み、モルモン書がどう世に出されるのかについて、モロナイが教えていることを探し出してください。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. モルモン書は「神の栄光にひたすら目を向け[る]」人によってのみ世に出されるという言葉は、どういう意味でしょうか(モルモン8:15)。

b. モルモン書は「神の力によって」明るみに出る、とはどういう意味でしょうか(モルモン8:16)。モルモン8:16にあるモロナイの言葉を読んで、あなたはモルモン書についてどのような気持ちを持ちますか。」

単元29—第1日

モルモン

8:12-41

はじめに

自分の民の滅亡と父親の死について書いた後で、モロナイはモルモン書が明るみに出ることについて預言し、モルモン書を非難する人々に警告します。モロナイは、多くの人が神よりもこの世の所有物を愛する邪悪な時代に、ニューファイ人の記録が明るみに出ることを理解していました。また、モロナイは、終わりの日の霊的に危険な状況の中で出現するモルモン書には「非常に価値がある」(モルモン8:14)ことを証しました。

モルモン8:12-32

モロナイ、モルモン書が明るみに出ることについて預言する

自分がこれまで受けたものの中でも偉大な賜物の一つだと考えるものを、幾つか書き出してください。

しばらく時間をとって、そういう賜物がどうして自分にとって祝福となってきたのか、その理由を考えてみましょう。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読んでみましょう。「今日わたしは、現代のわたしたちに与えられている中で最も大切な賜物について話したいと思います。わたしが考えている賜物とは、産業革命や技術革命が生み出

「モロナイはモルモン書を非難したり、モルモン書に反対する人に警告を与えています。モルモン 8：17－22 を読むときには、この警告を探しながら読んでください。あなたにとって、『主のすべての約束が果たされるまで、主の永遠の目的は続く』ということを知るのには、なぜ大切ですか（モルモン 8：22）。」

主は「わたしよりも前に世を去った聖徒たち」（モルモン 8：23）と聖約を交わされたとモロナイは説明しています。その中には、ニーファイ、ヤコブ、エノス、アルマといった預言者も含まれています。主は、末日にこうした預言者たちの言葉を明るみに出すと聖約されたのです。モルモン 8：23－25 について学習するとき、その預言者たちがだれのために祈ったのか、明確にしたうえで読んでください。

この預言者たちは「同胞」（モルモン 8：24）のために祈りました。つまり、レーマン人とその子孫のために祈ったのです。彼らはまた、末日に「これらのものを世に出す」人のためにも祈りました（モルモン 8：25；モルモン 8：16 も参照）。つまり、預言者ジョセフ・スミスのためにも祈ったのです。ジョセフはこの末日にモルモン書を世に出すために選ばれた者でした（教義と聖約 3：5－10 参照）。古代の預言者の多くはジョセフ・スミスの存在を認識していて、モルモン書の翻訳と出版が成功するよう祈りました。このようにして、神の目的は果たされるのです（モルモン 8：22，24－25；教義と聖約 10：46 参照）。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、モルモン書を世に出すためにジョセフ・スミスが果たした役割について、次のように話しています。



「〔ジョセフ・スミスが〕何の助けも受けず、神の導きなしに〔モルモン書を〕創作したと考えることは、不合理なことです。

事実は明瞭です。それはジョセフ・スミスが神の預言者であり、それ以上の者でも以下の者でもないということです。

聖典はジョセフ・スミスから与えられたというよりはむしろ彼を通してもたらされたものです。彼は啓示が与えられる仲立ちとなりました。それ以外の点では、古代の預言者たちや近代の預言者たちと同様に、彼も並の人間です。……

預言者ジョセフ・スミスは、学問のない、一介の農家の息子でした。彼が若いころに書いた手紙を読むと、つづりも文法も、また語法もあまり洗練されていないことがうかがえます。

そのような彼を通して、文学的にも味わいのある形で啓示がもたらされたということは、まったくの奇跡です。」「〔われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしことを信ず〕『聖徒の道』1974 年 12 月号，562－563）

自分がモロナイだと想像してみましょう。およそ 1,600 年前に生活し、神の力によってわたしたちの時代を先見することを許されています。モルモン 8：35 を読み、わたしたちの時代の霊的な状態についてどう思うか、考えてみましょう。

次にモルモン 8：26－32 を読みましょう。ここには、モルモン書が世に出る時代、つまりわたしたちの時代の様子をモロナイが預言的に書いています。



2. 自分の聖典学習帳に、モロナイがわたしたちの時代について書いたことを二つ以上選び出して書いてください。また、あなたの選び出した様子がなぜ興味を引いたのか、またわたしたちの時代になぜ当てはまると考えたのか、その理由を書いてください。

モルモン書に関して、エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように教えています。



「さて、モルモン書をわたしたちの研究の中心としなければならない……理由は、このモルモン書がわたしたちのために書かれたものだからです。ニーファイ人にも、古代のレーマン人にもモルモン書はありませんでした。まさにわたしたちのためのものなのです。

……

モルモン書の記録者は口をそろえて、後世の人々のために記したことを証しています。……

彼らがわたしたちの時代を見、わたしたちのためになることを選んでくれたとしたならば、なおさらモルモン書を研究する必要があるのではないのでしょうか。『これを記録するように主がモルモン（モロナイあるいはアルマ）に靈感をお与えになったのはなぜだろうか、現代の生活への教訓として何を学べるのだろうか』と絶えず自問する必要があります。』（「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」55－56 参照）



3. 個人的にモルモン書がどれほどの価値を持っているかを考えるに当たり、聖典学習帳に次の質問の答えを書きましょう。

a. わたしたちの時代の状況について記述したモロナイの預言がいかに正確だったか、考えてみましょう（モルモン 8：26－32 参照）。これらの預言は、わたしたちの時代のために書かれたモルモン書の価値について、どのようなことを教えていますか。

b. エズラ・タフト・ベンソン大管長が教えたように、モルモン書が『現代のわたしたちに与えられている中で最も大切な賜物』であるのはなぜだと思いますか（「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」53）。

c. 「友人から、モルモン書はあなたにとってどうして大切なのかと尋ねられたら、どう答えますか。」

モルモン 8：33－41

モロナイは終わりの時代を見て、わたしたちの時代が霊的に邪悪な状態にあることを非難している

「物質的、情緒的、社会的あるいは霊的に助けを必要としている人に気づいたときのことについて考えてください。その人を助けるために何をしたか、あるいは、何をすべきだったのか考えてみましょう。どうしてその人を助けるという選択をしたのか、あるいはしなかったのか、深く考えてみ

ましょう。助けの必要な人を助けない人々がいるのはなぜだと思いますか。」

モルモン 8：36－41 を読み、終わりの時代に一部の人が助けを必要としている人を助けない理由をモロナイがどう説明しているか、見つけてください。自分の聖典のその理由の部分に印を付けるのもよいでしょう。「飾る」という語は、「美しく見せる」あるいは「見栄え良くする」という意味だということを理解していたら、参考になるかもしれません。

「現代の青少年は、イエス・キリストの真の弟子である前に、金銭で買えるものを愛し、物質的なものを追い求める傾向がありますが、その例としてどのようなことがありますか。」モルモン 8：38, 41 を研究し、人々が高慢になり、邪悪になり、貧しい人や乏しい人を無視するようになると、どのような結果に直面することになるか、それを指摘してください。

 4. モルモン 8：36－41 から学んだことを一つの文章に要約して自分の聖典学習帳に書き出しましょう。

この部分から学べる原則の一つの例は、こうです。「神は、貧しい人や助けの必要な人にどのように接するかについて、わたしたちに責任を問われる。」

 5. 自分の聖典学習帳に、以下の質問の答えを書いてください。「自分の学校や地域社会にいる青少年の中で、物質的にも、社会的にも、情緒的にも、霊的にも、最もよく見られる助けの必要な事柄にはどのようなものがありますか。」次に、来週、助けの必要な人に手を差し伸べるために自分は何ができるか、考えてください。この目標を自分の聖典学習帳に書き留めましょう。

自分の学んだことを実践するために目標を設定する

自分の学んだことを実践するために目標を設定すると、それに助けられて、信仰をもって行動し、自分の学習からさらに深く学び、霊的に進歩することができるようになります。目標を設定するときには、聖霊の導きを求めてください。目標の達成には努力は必要ですが、目標は現実的で、達成可能なものにする必要があります。自分が何をするつもりなのか、いつ実行するつもりなのか、また、どのように実行するつもりなのかということを書き出しましょう。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン 8：12－41 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 29 — 第 2 日

モルモン 9 章

はじめに

モロナイは父の記録を終えるに当たり、イエス・キリストを信じない人々に、悔い改めて、主に立ち返るよう呼びかけました。神は奇跡の神であり、変わられることなく、不信仰以外の理由で奇跡がやむことはないと教えました。モロナイは人々に、イエス・キリストを信じ、必要なものを得るために、イエス・キリストの御名によって誠心誠意で御父に祈るよう勧めました。

モルモン 9：1－6

モロナイ、イエス・キリストを信じない人々に、悔い改めるよう呼びかける

今日、神のもとへ行くことになったとしたら、どんなことを考え、どんな気持ちになるか、想像してみてください。悪人たちは神の前でどんな気持ちになると思いますか。モルモン 9：1－5 を読み、イエス・キリストを信じないことを選んだ人々が最終的に神の前に連れ出されたとき、結果的にどのようなことが起こるのか、それをモロナイが書き記していることに注意してください。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、たとえ自分の罪を悔い改めなくとも、神の前では気持ちよく過ごせると誤って信じている人が大勢いるとして、次のように説明しています。



「悔い改めを抜きにして救いはあり得ません。人は罪を負ったまま神の王国に入ることはできません。人が罪を負ったまま御父の前に来てそこに住むことはきわめて矛盾したことです。……」

この人生は気ままに過ごせばよい、主の戒めを破ってもいずれは主の前に戻るができる、と考えている人が非常にたくさんいると思います。恐らくそのうちの多く、あるいは少なくとも幾人かは、教会の中にいます。彼らは恐らく霊界で悔い改めようと思っているのでしょう。

彼らはモロナイの次の言葉を読むべきです。『あなたがたは、自分に罪の意識のあるままで、〔キリスト〕とともに住めると思うか。あなたがたは、〔キリスト〕の律法を踏みじったという罪の意識に苦しんでいながら、あの聖なる御方とともに幸せに暮らせると思うのか。』

見よ、あなたがたに言うが、聖なる公正な神の前に自分は汚れているという意識のあるままで、神とともに住むときの悲惨は、地獄で罰の定めを受けている者たちとともに住むときの悲惨よりもひどいであろう。見よ、あなたがたが、自分が神の前で裸であるのを見せられ、また神の栄光とイエス・キリストの神聖さを見せられるとき、あなたがたのうえに消すことのできない火の炎が燃え盛ることであろう。』

〔モルモン 9:3－5〕〕(Doctrines of Salvation, ブルース・R・マッコンキー編, 全 3 巻〔1954－1956 年〕, 第 2 巻, 195－196)

 1. 自分の聖典学習帳に次の質問の答えを書いてください。「この世で悔い改めをせずに、次の世で悔い改めができると信じることは、なぜ間違っていると思いますか。」(答えを書くときには、モルモン 9:1－5; アルマ 12:14; アルマ 34:32－34 で学んできたことを活用するとよいでしょう。)

モルモン 9:6 を読み、「信仰のない者たち」がモロナイの言う苦しみを受けないようにするためには何をしなければならぬのか、探し出してください。モルモン 9:6 には、神に立ち返り、神の赦しを求める人々の状態について書かれていますが、その部分に印を付けるのもよいでしょう。この聖句から、次のことが学べます。「わたしたちが悔い改め、神を呼び求めるなら、神にまみえるときに潔白と認められる。」この原則を自分の聖典や聖典学習帳に書いておくとういでしょう。

 2. 自分の聖典学習帳に、救い主の贖罪によって自分が汚れもなく、染みもない状態になったと分かったとき、神の前にあってどのように感じるか、その状態を想像して、そのときの気持ちを幾つか書き出してください。

悔い改めて、義にかなった生活をするにより、神の前で居心地がよいと感じる準備ができます。神に会う備えをするために、今、あなたができる最も大切なことは何だと思いますか。それについて深く考えてみてください。

モルモン 9:7－20

モロナイ、神は奇跡を行い、忠実な者の祈りにこたえられると宣言する

これまで奇跡を見たり経験したりしたことはありますか。「奇跡」という言葉の定義を書いてください。 _____

聖句ガイドで「奇跡」という言葉を調べて、自分の書いた定義を書き換えたり、書き加えたりしてください。現在、奇跡を信じない人がいるのはなぜだと思いますか。

モルモン 9:7－8 に記録されているように、モロナイは、神が生きておられることを否定し、神が啓示を与えられることを否定し、信仰深い者たちに賜物を注がれることを否定する、終わりの日の人々に対して書いています。モロナイは、神が存在すること、そして神が「昨日も、今日も、とこしえに」(モルモン 9:9) 同じであることを力強く教えます。神は、あらゆる時代の信仰ある人々の間で今でも奇跡を行い続けておられます。モルモン 9:9－11, 15－19 を読み、神の性質についてモロナイがどのように教えているか、探し出してください。それがあからさまな奇跡を行っておられることを人々が信じることでできるとモロナイは考えたのです。



 3. 自分の聖典学習帳にモルモン 9:9－11, 15－19 を読んで、神の性質について学んだことを書き出してください。また、以下の質問の答えを書いてください。「神が現在の人々の生活の中でも奇跡を起こしたいと考えておられ、またその力もお持ちであるということについて、この聖句からどのようなことを学べますか。」

モルモン 9:20 を読み、奇跡を経験できない人がいるのはなぜなのか、その理由を探してください。

モルモン 9:9－19 に記録されているモロナイの言葉は、次のような原則を教えています。「神は変わることはない御方なので、その子供たちの信仰に応じて奇跡を行ってください。」この原則を自分の聖典のモルモン 9:19－20 の近くに書いておくとういでしょう。

わたしたちは生活の中で、様々な方法で、神の奇跡的な力を経験することができます。中央初等協会会長会の一員として奉仕をしたシドニー・S・レイノルズ姉妹は、聖典の中に書かれている偉大な奇跡の例を幾つか挙げた後で、次のように教えています。

「これらの『偉大な奇跡』と同じように大切なのが、小さな『個人的な奇跡』であり、それらはわたしたち一人一人に主への信仰を持つように教えてくれます。小さな奇跡は、わたしたちが生活の中で御霊の促しに気づき、聞き従うときにもたらされます。……

わたしたちは皆これらの小さな奇跡について証できると、わたしは信じています。わたしたちは、なくしたものを見つけようと助けを求めて祈り、それを見つけた子供たちを

知っています。また、神の証人になろうとして勇気を振り絞り、主の助けの御手を感じた若人を知っています。なければ、お金の什分の一に納めた後で、奇跡によって学費や家賃を払ったり、家族のための食物を手に入れたりすることができた友人についても知っています。わたしたちは祈りがこたえられた経験、神権の祝福によって勇気や慰めを与えられ、あるいは健康が回復した経験を分かち合うことができます。これら日々の奇跡は、わたしたちの生活の中に主の御手があることを教えてくれます。」(「奇跡の神」『リアホナ』2001年7月号, 12-13)

 4. 自分の聖典学習帳に、神が現在も奇跡の神であることを確信させてくれた経験の中から一つ、あるいはそのような経験をした人の話の中から一つ、書いてください。

モルモン 9:21-37

モロナイ、祈りについて、またニーファイ人の記録の目的について教える

自分が祈ったために天父から必要な助けが与えられたと感じたときがありましたか。モルモン 9:21 を読み、助けを求めて天父に祈ることについてモロナイが教えたことは何か、探し出してください。

次の文を読み、キリストの名によって祈るとはどういう意味か、探し出してください。「わたしたちはキリストの名によって御父に祈る。自分の望みとキリストが望んでおられることが一致するときに、わたしたちは真の意味でキリストの名により祈ることができる(ヨハネ 15:7)。そうするときに、わたしたちは、正当であって神が与えるのをよしとされることを願い求めるのである。祈りによっては、キリストが望んでおられることではなく、人間の利己心から出たものであるために、聞き届けられないものもある。」(聖句ガイド「祈り」の項)

今読んだばかりのことを基にして、自分自身の祈りについて考えてみましょう。もっと完全な意味でイエス・キリストの名によって祈るために、あなたはどんなことができますか。

モロナイは、救い主を信じて、奇跡を行うことができた人々の例について紹介するために、イエス・キリストがニーファイ人の弟子たちに教えられた内容を引用しています。モルモン 9:22-25 に記録されているように、救い主はその弟子たちに、全世界に出て行って、福音を宣べ伝えるようにお命じになり、「信じる者には」奇跡的な「しるしが伴う」と約束されました(モルモン 9:24)。モロナイは、さらに祈りについて教える続けています。

 5. モルモン 9:27-29 を読み、信仰をもって祈る方法についてモロナイが教えている部分を探し出してください。気づいたところを聖典学習帳に書いてください。次に、自分自身の祈りを改善するためにモロナイの教えの中の一つをどう活用できるか、短い文で説明してください。

自分の聖典のモルモン 9:27 の近くに、次の原則を書いておくといよいでしょう。「信仰をもってイエス・キリストの名によって天父に祈るなら、天父はわたしたちに祝福をくださり、その祝福によってわたしたちの救いの業が進められる。」

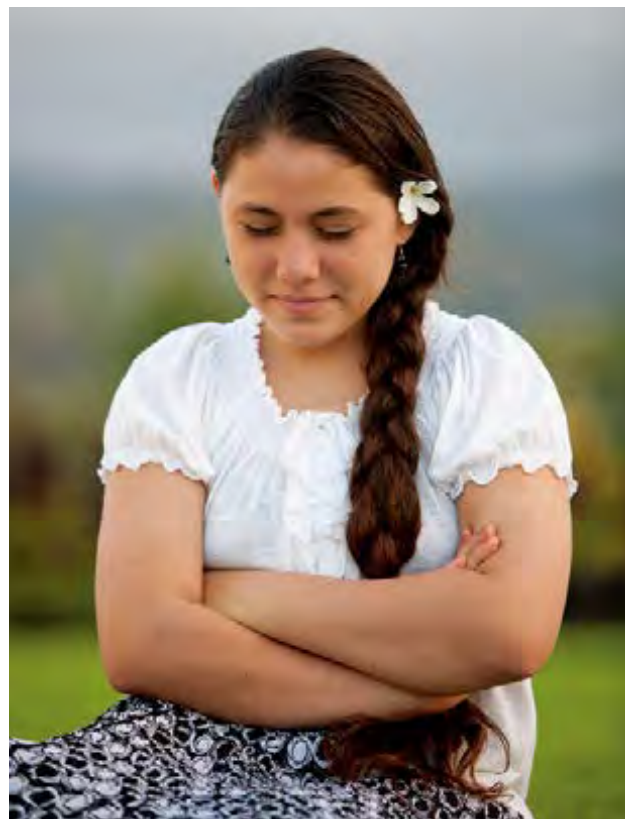
モロナイは、最後の言葉を書くに当たって、終わりの時代の人々の中に、モルモン書を書いた人々に不完全なところがあるということで、モルモン書を拒む人々がいることを心配していた(モルモン 9:30-34 参照)。モルモン 9:35-37 を読み、モロナイがモルモン書の目的について、何と宣言しているか、探し出してください。

どうしてモルモン書の出現は、神が奇跡の神であり、祈りにこたえられることのもう一つの証だと言えるのでしょうか。考えてみてください。

 6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モルモン 9 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。



エテル書

なぜこの書を研究するのか

エテル書を研究する中で、ヤレド人について学びます。ヤレド人は、リーハイの民がやって来る何世紀も前に西半球を旅してその地に住んだ民です。この書を通じて、あなたは、祈りや啓示、そしてイエス・キリストを信じる信仰を働かせることと霊的な知識を得ることの関係について、重要な原則を学ぶこととなります。また、人々に悔い改めを説き勧める預言者の役割や、イエス・キリストと主の預言者を拒む人々に起こる結果について理解できるようになります。

だれがこの書を書いたのか

この書はエテルの版と呼ばれる 24 枚の金の版をモロナイが短くまとめたものです。この書の名前は、ヤレド人の最後の預言者であり、彼らの歴史の記録を作成した預言者エテルに由来しています（エテル 15：33－34 参照）。モーサヤ王の時代に、リムハイの民の一部の者たちが、ゼラヘムラの地を探していたときにエテルの版を発見しました（モーサヤ 8：7－11；エテル 1：2 参照）。エテルの版はニーファイ人の預言者や記録者たちによって受け継がれ、モロナイの手に渡りました。モロナイは、自分が短くまとめたものにはその記録の「百分の一」も載せていないと述べています（エテル 15：33）。

いつ、どこで書かれたか

エテル書を作成する原典となる文書は、モロナイが短くまとめた記録を作成する何世紀も前に書かれたものです。ヤレド人の最初の記録は、ヤレドの兄弟が、その民と大海を渡る前に自分が受けた示現を記録したときに作成されました（エテル 4：1 参照）。ヤレド人の中にほかにも歴史保管者がいたかどうかは、エテルのときまで何も述べられていません（エテル 13：3；15：33 参照）。エテル書を短くまとめたのはモロナイです（モルモン 8：3－6；モロナイ 10：1 参照）。モロナイは、自分が短くまとめた記録を作成したとき、自分がどこにいたかについては述べていませんが、ヤレド人が「この北の地」で滅んだと書いていることから、彼らの滅亡した地にいたとも考えられます（エテル 1：1）。

エテル 1－2 章

はじめに

エテル書は、ヤレド人の歴史をモロナイが短くまとめたものです。ヤレド人とはリーハイの民の何世紀も前に西半球にやって来た民のことです。ノアの時代の大洪水の後、命を救われた人々の子孫の多くが邪悪になりました。その中には「その頂を天に届かせよう」と塔を建てた人々もいました（創世 11：4）。ヤレド人国家の記録はバベルの塔の建設とともに始まっています。主ははびこる悪に対処するために、共通の言語を乱され、民を地の面に散らされました（創世 11：5－8；エテル 1：33 参照）。エテル書にあるこの記録は、バベルの塔の時代に主が民の言語を混乱されたときに、主に助けを求めたヤレドとその兄弟の物語で始まります。主はヤレドとその兄弟、そして彼らの家族と友人の言語を保たれ、彼らを荒れ野を抜けて約束の地へと導かれます。さらに主は、ヤレドの兄弟に、大海を越えてその民を連れて行くために 8 隻の船を建造するよう、指示を与えられました。



エテル 1：1－33

モロナイ、エテルからバベルの塔のヤレドに至る系図を記録する

エテル書がどこから出てきたか理解できるよう、単元 12—第 1 日のレッスン（116 ページ）の「モーサヤ 7－24 章の概要」を確認してください。第 4 の旅に注目し、この旅でリムハイの民が何を見つけたかに注意してください。

エテル書の最初の部分には、書名の後にこの書の短い説明があります。そこには、ヤレド人の記録はリムハイの民が発見した 24 枚の金の版から取った記録であると記されています。

モロナイは父の記録を完成させた後、ヤレド人の記録を取り、それを短くまとめたものを作成し、それをモルモン書に含めました。エテル 1:1 - 4 を読み、モロナイがヤレド人の記録をまとめたときに含めなかったと言っている事柄を探し出してください。次にエテル 1:5 を読み、モロナイが自分の記録の中にどのような内容を含めたのか、探し出してください。エテル 1:5 に記されている塔とはバベルの塔のことです。エテル 1:33 で説明されているように、主は塔を建てようとしている人々の言語を「乱し」（混乱させる、あるいは混ぜ合わせる）、互いに理解し合えないようにされました。そして、主は民を地の全面に散らされたのです。

エテル 1:6 - 33 に記録されているように、エテルという名前の人物がヤレド人の記録を書きつづけていました。モロナイはエテルの先祖を、バベルの塔の時代に生きていたヤレドという人物に至るまで記しました。

エテル 1:33 - 43

ヤレドの兄弟、助けを求めて祈り、ヤレドの家族と友人は憐れみと導きを受ける

これまで自分の理解できない言語を話す国や地域に行ったことがありますか。周囲の人たちが話している言語が理解できなかったら、どのような気持ちになると思いますか。そのような状況の中でほんのわずかの人とだけコミュニケーションが取れるとしたら、どのような人を選びますか。そのような状況がヤレドという名前の人物とその兄弟、そして彼らの家族に存在したのです。バベルの塔の時代に生きていた人たちです。エテル 1:33 - 37 を読み、ヤレドがどのような人々とコミュニケーションが取れることを望んだのか、探し出してください。ヤレドの兄弟は、彼らの言語が乱されることはないという約束を主から受けた後（エテル 1:34 - 35 参照）、友人たちのために祈りました（エテル 1:36 - 37 参照）。ヤレドの兄弟の例に見られるように、信仰深い人々の特徴の一つは、主の祝福を受けられるよう友のために祈ることです。

主はヤレドとその兄弟の家族およびその友人たちを祝福し、彼らの言語が乱されないようにしてくださいました。さらに、ヤレドはその兄弟に対して、神に祈り、家族がどこへ行くべきか、神に尋ねてほしいと頼みました（エテル 1:38 - 40 参照）。

エテル 1:40 - 43 を読み、主がヤレド人の旅を導くに当たって、どのような指示を与えられたか、具体的に書き出し

てください。ヤレドとその兄弟が主から与えられた指示に従うことは、どうして大切なことだったと思いますか。

エテル 2:1 - 12

ヤレド人、約束の地に向かう旅を始める

エテル 2:1 - 3 を読み、ヤレド人が、約束の地へ旅する準備について主から与えられた指示に、よくこたえたことを読み取ってください（エテル 1:41 - 42 参照）。次にエテル 2:4 - 6 を読み、その後どんなことが起きたか、探し出してください。ヤレド人が主の指示に従ったために、主がさらに導きを与えられたことに注目してください。ヤレド人が主の指示に従ったために受けた祝福や導きについて、深く考えてみましょう。

ヤレド人の経験からわたしたちは次の原則を学びます。「主から与えられた指示を信仰をもって実行するとき、主からさらに導きを受けることができる。」自分の聖典のエテル 2:6 の近くにこの原則を書いておくといよいでしょう。

祈ったり、聖文を研究したり、教会の集会に出席したりしているときに、主から受けた印象や促しがあれば、それについて考えてください。その印象や促しを心に留めながら、人がどのようにして頻繁に祈りの答えを受けるかについて、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読んでください。「答えを全部すぐに与えられることはめったにありません。わたしたちが成長して力を増し加えられるよう、一度に少しずつ与えられるのです。一つ一つの答えも信仰があってこそ得られるもので、少しずつ導かれて、ついには、全部の答えを得るに至るのです。この手順を踏むには、御父がこたえてくださるという信仰を働かせることが求められます。この手順がとても難しいときもありますが、結果として大きく成長することができるのです。」（「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007 年 5 月号、9）



1. 自分の聖典学習帳に、以前に自分が感じた霊的な促しに対してどう反応したか（あるいは反応することができるか）、書いてください。また、その促しに従って行動したことを受けた（あるいは、受けることのできる）祝福も書くといよいでしょう。

エテル 2:7 - 12 に記録されているように、ヤレドの兄弟に対して、彼とその民が約束の地に着いたときに、主は「まことの唯一の神に仕えなければならず、さもなければ……彼らは一掃される」と言われました（エテル 2:8）。

エテル 2 : 13 – 15

祈りによって主を呼び求めなかったことについて、
主がヤレドの兄弟を懲らしめられる

エテル 2 : 13 – 15 を読み、ヤレド人が陸地と陸地を分けている大海まで来たときに、どのようなことが起きたか、探し出してください。彼らは主の言われることに耳を傾け、主の戒めに従ってきたために、主の導きを受けて荒野を進んで来ました。しかしながら、彼らが 4 年にわたって大海の近くの天幕で暮らした後、主はヤレドの兄弟を訪れ、彼が祈らなかったことで懲らしめられました。

エテル 2 : 14 – 15 を読むと、以下の原則が分かるようになります。「人が祈りによって主を呼び求めないとき、主は喜ばれない。主は人が定期的に祈りによって主を呼び求めることを望んでおられる。」

かつて七十人の一人として奉仕をしたドナルド・L・ステリー長老の次の話を読み、わたしたちがどれほど頻繁に祈っているか、考えてみましょう。「赦しや特別な助け、導きを求めて日々熱烈に祈ることは、生活に必要不可欠で、証を育ててくれます。慌ただしい祈りや判で押したような祈り、またうわべだけで祈ったり、祈りを怠ったりすると、日々の問題に賢明に対処できるよう導きを与える御霊との、非常に大切な、親しい交わりを失うことになりかねません。」（「確固とした証をはぐくむ」『リアホナ』2004 年 11 月号、39）

個人の日記か、別紙に、以下の質問に対する答えを書いてください。

- 自分の個人の祈りの頻度について、どのように感じますか。
- 自分が個人の祈りをささげるときの誠意の度合いについて、どのように感じますか。
- 個人の祈りの中で、自分はほんとうに天の御父と交わっていると感じますか。なぜそう思いますか。
- 自分の個人の祈りを改善するために一つ変えることができるとするなら、何でしょうか。

エテル 2 : 15 に記録されているように、ヤレドの兄弟は自分の罪を悔い改め、自分の家族や友人のために主に祈りました。主は、ヤレドの兄弟に、罪は赦されたが、約束の地に導かれるためには引き続き義にかなった生活をしなければならぬと言われました。

エテル 2 : 16 – 25

ヤレド人、海を渡って約束の地に行くための船を造る

現在自分が直面している、あるいは将来直面しそうな、重要な個人的な決断のことを考えてください。例えば、家族や社会の問題にどう対応するか、学校で成績を伸ばすに



は、結婚の相手は、どういう仕事に就くか、などです。そのような状況で、主がどのようにして自分に指示や助けを与えてくださるかについて考えたことがありますか。エテル 2 章の残りの部分を研究しながら、自分が採り上げた決断について深く考え、主の助けを受けるうえで助けとなる原則を見つけてください。

エテル 2 : 16 – 17 を読み、約束の地に向かって進むために行うよう主がヤレド人に命じられたことを見つけてください。ヤレドの兄弟は、船の構造を考えた末、3 つの問題に直面します。エテル 2 : 18 – 19 を読み、ヤレドの兄弟が主に伝えた 3 つの問題に印を付けてください。



2. これまでエテル 2 : 16 – 19 で読んだことを具体的に思い描くことができるように、自分の聖典学習帳にヤレド人の船の形を想像して描いてください。

以下の表は、船に関する問題に対して主がどのようにヤレドの兄弟を助けたかを見つける助けとなります。表にある聖句を研究し、次に、その情報を使って、表の「問題の解決法」の欄を埋めてください。

視覚化する

聖文の中で起きている事柄を視覚化し、心の中で思い描くことができると、それらの出来事をより鮮明に、実際のこととして感じる助けとなります。視覚化によって、聖文の中の人々や状況に親しみを感じ、結果として、起きている事柄をさらに効果的に分析し、理解させてくれます。

聖句	船に関する問題	問題の解決法
エテル 2 : 20 - 21	空気がない	
エテル 6 : 4 - 9	舵がない	
エテル 2 : 22 - 3 : 6	光がない	

主が行われたことと主がヤレドの兄弟に行くよう求めたことは、それぞれの問題ごとに異なっていました。それぞれの問題とその解決法から、わたしたちが助けを必要としているときに、主がわたしたちを助ける方法はそれぞれ異なるという真理を学ぶことができます。表の中にあなたが書いた解決法と、次のリストに書かれた解決法とを比較してください。

空気がない (エテル 2 : 20 - 21)。この問題を解決するために、主はヤレドの兄弟に、何をしなければならないか教えました。そのとき、ヤレドの兄弟は信仰をもって主の指示に従いました。

舵がない (エテル 6 : 4 - 9)。この問題を解決するために、主は御自身でこの問題に対する解決法を用意されました。

光がない (エテル 2 : 22 - 3 : 6)。この問題を解決するために、主はヤレドの兄弟にある指示を出されました。これを聞いたヤレドの兄弟はその問題に対する解決法を自分が受けた情報を基に考え、それを実行するために主の承認と助けを求める必要がありました。

ヤレドの兄弟の経験から、わたしたちは次の原則を学びます。「わたしたちは、問題の解決に当たって自分の役割を果たそうと努めるならば、主の助けを受けることができます。」このレッスンの最初に考えた個人的な決断について、この原則を知っていたら、その決断に関する助けや導きを受ける際に、どのような助けになりますか。決断を下すときに、主はあなたにどのようなことを実行するよう期待しておられると思いますか。

 3. 自分の聖典学習帳にヤレドの兄弟の経験から学んだことを説明する文を書いてください。特に祈りについて、また生活の中で主の助けや導きを受けることについて書いてください。

 4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 1 - 2 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

単元 29 — 第 4 日

エテル 3 章

はじめに

主はヤレドの兄弟にこうお尋ねになりました。「あなたがたは、船の中に光があるようにするために、わたしに何をしてもらいたいのか。」(エテル 2 : 23) ヤレドの兄弟は、これにこたえて、慎重に 16 個の石を用意し、「これらの石が暗闇の中で光を放つものとなるように」主にその石に触れていただきたいと謙遜に祈り求めます (エテル 3 : 4)。ヤレドの兄弟は、その大いなる信仰のゆえに、救い主がその石に触れられるときに、救い主の指を見ました。その後、主はヤレドの兄弟に御自身を現し、彼が見聞きしたことを書き記すようお命じになりました。

エテル 3 : 1 - 20

主、ヤレド人の船に光を用意するため石に触れ、ヤレドの兄弟に御自身を現される

あなたやほかの青少年が心から祈り求めるものの中には、どのようなものがありますか。その中から一つの例を選び、それをここに書いてください。

エテル 3 章に記されているヤレドの兄弟の模範を研究し、あなたや友人が主から助けを受ける際に役立つ事柄を見つけてください。

ヤレドの兄弟は船に光があるようにするために主に祈りましたが、その祈りと、その祈りに対するの主の答えについて考えてみましょう。エテル 2 : 22 - 3 : 1 を読み直し、次の絵のそれぞれに見出しをつけてください。この絵は、ヤレドの兄弟が光がないという問題を解決するために彼自身の取った行動を描いたものです。





を打つ何かを感じておられます。『まことに、おお、主よ、あなたにはこれがおできになります。』〔エテル 3:5〕人が聖文の中で信仰について語った言葉の中で、これほど力強い一文は恐らくないでしょう。……この預言者は、自分自身の能力についてはどれほど不確かであろうと、神の力については疑念をまったく抱いていないのです。〕(“Rending the Veil of Unbelief,” in *Nurturing Faith through the Book of Mormon: The 24th Annual Sidney B. Sperry Symposium* [1995 年], 12)

エテル 3:6 を読み、この節に書かれているような場面に遭遇したらどうなるか、想像してみてください。

エテル 3:9 を読み、主が喜んで石に触れてくださった理由と、ヤレドの兄弟が主の指を見ることができた理由を探し出してください。

エテル 3 章でこれまで研究したことに従って、次の原則に書き加えて完成させてください。「へりくだって主を呼び求めるとき、主は人の _____ に応じて御心のままに人にこたえてくださる。」



1. 船の中に光を持ち込むという問題を解決するためにヤレドの兄弟が行った努力について、あなたが感銘を受けたのはどのようなことですか。それを自分の聖典学習帳に書き出してください。ヤレドの兄弟が大変な努力をしたとしても、もし主の助けがなかったなら、光があるようにするために溶かし出した石がどれほど役立っていたと思われるかについて考えてみましょう。

エテル 3:2-5 を読み、以下の活動を行ってください。

- ヤレドの兄弟が謙遜であって、神に依存していることを理解していたことを示している言葉を探し出し、それに印を付けてください。「わたしたちの性質は絶えず悪くなっています」という聖句は、現世におけるわたしたちの罪深い状態を指しているということが分かったら助けとなるでしょう。アダムの墮落のゆえに、わたしたちは物理的に神から離れた状態にあります。わたしたちは罪を犯しやすい状態にもあります。神からの助けがなければ、神のもとに帰ることは決してできないのです。
- ヤレドの兄弟はどのようなことを主にしてくださるよう、お願いしましたか。それを探し出してください。
- ヤレドの兄弟は、神についてどのようなことを知っているか、と証していますか、それを探し出し、印を付けてください。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. エテル 3:1-5 の中で、自分が問題を解決できるように主が助けてくださるという信仰をヤレドの兄弟が持っていたことを示す証拠として、どのようなものがあるでしょうか。

b. 彼の模範はどのようにして、主に助けを求めるとき、自分が主に依存していることを認める助けとなりますか。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を読んでください。ここではヤレドの兄弟の信仰に焦点が当てられています。「確かに神は、読者と同様、この人物が持つ子供のように純真で熱烈な信仰に、非常に心



3. 次の質問から一つまたは二つを選び、聖典学習帳に答えを書きましょう。

a. このレッスンの初めに、あなたやほかの青少年が祈り求めるものの中には、どのようなものがあるかという質問に対する答えを書きました。その答えを参考にして、次の質問に答えてください。「そのような状況において主の助けや導き



を祈り求めるとき、どのようにして主を信じる信仰を表すことができますか。]

b. へりくだって主を呼び求めるとき、主は人の信仰に応じて御心のままに答えを与えてくださるという原則が真実であることが分かったという経験がこれまでの人生の中でありますか。それはどのような経験ですか。

しばらく時間を取って、自分がどの程度主を信頼しているか、静かに考えてみてください。エテル 3:9 - 12 を読み、ヤレドの兄弟が主を信じる信仰を持っていた証拠となる部分を探し出し、印を付けてください。

エテル 3:11 を読み直し、主を信じる自分の信仰が、主が啓示される前であったとしても、これから啓示されることを信じ、それに従う決意ができていほど深いものとなっているかどうか、考えてみてください。



ジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を読み、ヤレドの兄弟のような信仰を働かせるためにわたしたちが行わなければならないことに、下線を引いてください。「過去の経験によって、すなわち既知のものによって、備えの信仰が形作られ、それが信じることの土台となります。しかし、将来経験する、未知のものに対しては、^{あがな}贖いの信仰を働かさなければなりません。その信仰は、奇跡を経験する機会となります。……ヤレドの兄弟のような信仰が、奇跡や知識に先立つのです。ヤレドの兄弟は、神が語る前に信じなければなりませんでした。指示された行動を果たす能力が明らかになる前に行動を起こさなければなりませんでした。実現することのほんの最初の部分しかあらかじめ見ていないとしても、その経験を完遂させるという決意をしなければなりませんでした。信仰とは、神が近い将来や遠い将来に要求されるどのような条件にも、無条件に、そして事前に同意することなのです。」(Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon [1997 年], 18 - 19)

バベルの塔の時代以降、ヤレドの兄弟が経験してきたことについて考えてみましょう。彼の信仰を増したと考えられる経験としてどのようなものがあるでしょうか。それらの経験は、あの場面でヤレドの兄弟が「深い信仰」(エテル 3:9)を働かせるために、どのような備えになったと思いますか。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. これまでの人生で、あなたはどのような経験を通して主を信じる信仰を増してきたでしょうか。

b. その経験は、将来に向かってさらに深い信仰を働かせるために、どのような備えとなったでしょうか。

エテル 3:13 - 20 を読み、ヤレドの兄弟がその信仰のゆえに受けた祝福を見つけてください。ヤレドの兄弟は、この驚くべき経験から救い主についてどのようなことを学びましたか。エテル 3 章から学ぶことのできるもう一つの重要な原則はこうです。「主を信じる信仰を働かせるとき、主に近づく。」この原則を自分の聖典のエテル 3:11 - 20 の近くに書いておくとよいでしょう。

ジェフリー・R・ホランド長老は、エテル 3:15 - 16 と、その経験から生じるかもしれない混乱の可能性について次のように注釈を加えています。

「ここで短い注解を要する問題が、主の言われた次の言葉から生まれています。『これまでにあなたのような深い信仰をもって、わたしの前に来た者は一人もない。もしそうでなければ、あなたはわたしの指を見ることができなかったであろう。』さらに、『わたしは、これまでわたしの造った者に一度もわたし自身を現したことはない。あなたほど深くわたしを信じた者がいなかったからである』と言われています [エテル 3:9, 15]。

ここで混乱が生じるとすれば、それは、ヤレドの兄弟の前に生きていた多くの(恐らくすべての)預言者が神を見ていたはずだという認識からきます。それでは、この主の言葉をどう説明したらよいのでしょうか。

この問題は、末日聖徒の著述家からもかなり議論されてきた問題であって、幾つかの説明が行われています。どの説明も、この聖句の真実を知るために光を投げかけているかもしれませんが、しかしながら、この件に関してはさらなる啓示や注解が加えられないかぎり、いかなる推測も推測でしかなく、またそれに類するものも、不十分で不完全なものに過ぎないのです。……

主がここで言おうとしておられたのは、それまでにこれほどはっきりと御自身を現されたことはなかったという意味だと信じている人もいます。つまり、それまでの預言者たちに対する神の現れは、これほどまでに『完全な』ものではなかった、キリストの性質と存在についてこれほど完全な啓示がもたらされるほど幕が取り去られたことは一度もなかったという解釈です。……

ヤレドの兄弟の信仰を考えたときに最も説得力がある解釈は次のものです。キリストはヤレドの兄弟に次のように言っておられたのです。『わたしは、これまでわたしの造った者に一度もこのような方法で、わたしの意思とはかわりなく、人の信仰のみによってわたし自身を現したことはない。』一般に、預言者たちが主の前に招かれる、つまり御前に来るように命じられるのは、主を通してだけ、つまり主の承認があるときだけです。これに対してヤレドの兄弟は、恐らく厳密な意味からすれば歓迎されていなかったわけではないにしろ、招かれていなかったにもかかわらず、幕を押し分けて入って行ったように思えます。エホバは次のように言われました。『これまでにあなたのような深い信仰をもって、わたしの前に来た者は一人もない。もしそうでなければ、あなたはわたしの指を見ることができなかったであろう。……あなたほど深くわたしを信じた者[は]いなかった……。』明らかに主は、この前例のない示現とこの前例のない信仰を結びつけておられました。もしこの示現自体が独特なものではないとすれば、独特なのは信仰の方であり、示現が与えられたいきさつの方であるはずで、驚くべき信仰であったからこそ、この預言者は、招かれていなかったにもかかわらず、ほかの預言者たちが神の命令がなければ行くことができないところへ行くことができたのでした。』(Christ and the New Covenant, 20 - 23)

エテル 3:21-28

主、ヤレドの兄弟に、見たことを書き記し、記録を封じられるように命じられる

エテル 3:25-26 を読み、主がほかにヤレドの兄弟に示されたものを見つけてください。エテル 3:21-24, 27-28 に記録されているように、主はヤレドの兄弟に示現で示されたものを書き記し、それを封じられるように命じられました。主はまた、一つの方法を用意して、将来ヤレドの兄弟の書いたものが翻訳されるようにすると説明されました。この預言の成就の一つは、預言者ジョセフ・スミスがモルモン書の一部として金版からエテル書を翻訳したときです。これによって、ヤレド人の記録をあらゆる人々が読めるようになったのです。

今日学んだことをどのように応用することができるか、また主を信じる信仰を具体的に表すためにどのようなことができるか、深く考えてみてください。人がイエス・キリストを信じる信仰を働かせるとき、神はヤレドの兄弟を祝福したように人に祝福を注いでくださいます。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 3 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 30 — 第 1 日

エテル 4-5 章

はじめに

主はモロナイにヤレドの兄弟が受けた示現の記録を書き残し、それを封じられるようにお命じになりました。モロナイは、これらの記録は、人々がヤレドの兄弟のような深い信仰を持つときに明らかにされると説明します。さらに、モロナイは、末日に 3 人の証人がモルモン書の真実性について証することを預言します。

エテル 4:1-7

モロナイ、ヤレドの兄弟が受けた示現の詳細を記録して封じる

自分や家族にとって特別な価値があり、小さな子供の手の届かないところに置いておきたいと思う品を思い浮かべてください。その品を子供に預けるとしたら、その子供に事前にどのようなことを学んでほしいですか。

同じように、主は人に与えることを望んでおられる価値のある真理をお持ちですが、それと同時に、人が受ける準備ができるのを待っておられます。エテル 4 章を研究しながら、

主からさらに偉大な真理や導きを授かる備えをするのに役立つことを、モロナイの教えの中から探し出してください。

エテル 3 章を読んで分かるように、主はヤレドの兄弟に、過去、現在、将来にわたって地に住むすべての者について、また地上に関するすべての事柄について、示現をお見せになりました。そのうえで、ヤレドの兄弟は、自分が見たことを書き記し、その記録を封じられるように命じられました。エテル 4:4-5 を読み、ヤレドの兄弟に示されたことについてのモロナイの記述を探し出してください。モロナイは、ヤレドの兄弟が見たことを書き記し、同じように、その示現を封じられるように主から命じられました。それは、主の時にかなってその示現が世に出されるようにするためです。ここの聖句で述べられている示現については、モルモン書の封じられた部分と一般的に呼ばれる部分に含まれています。

モロナイは、ヤレドの兄弟に与えられた啓示が明らかにされる前に必要となる条件について預言しました。エテル 4:6-7 に書かれているこうした条件に印を付けるとよいでしょう。



1. 「ヤレドの兄弟のように〔主を〕信じる」(エテル 4:7) とはどういう意味かを深く考えましょう。その参考のために、エテル 1-3 章を復習し、自分の聖典学習帳に、主を信じる信仰と主に対する信頼を示すためにヤレドの兄弟が行ったことを書き出しましょう。また、その例の中から、最も印象に残ったものを一つ選び、それを述べてください。また、なぜそれが印象深かったかを説明してください。

あなたが、限定された条件の下でのみ、大切な物を子供に託してもよいと考えると同様に、わたしたちが霊的な備えを具体的に行い、主がすでに啓示された大切な真理を信じ、主を信じる信仰を働かせて初めて、主はさらに多くの真理をその子供たちと分かち合われます。

エテル 4:8-19

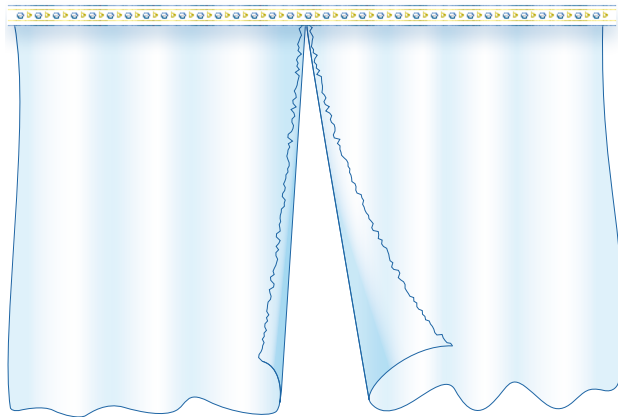
モロナイ、さらなる啓示を受けるためになすべきことを教える

自分のいる部屋の雨戸（窓ガラスのカーテン）を見てください。雨戸（カーテン）がどれくらい視界を妨げているか考えてみましょう。

モロナイは、わたしたち一人一人が啓示を受けるために従わなければならない原則を教えるために、幕という象徴を使っていますが、これは雨戸（カーテン）とよく似ています。エテル 4:15 を読み、幕という語を含んだ表現を見つけてください。モロナイが不信仰を幕にたとえていることに注意してください。不信仰はどのような点で幕と似ているでしょうか。

エテル 4:15 の裂くという言葉は力を加えて何かを引きちぎるという意味だと理解しておくともよいでしょう。あなた

と主の知識との間にある幕を裂くことができたなら、どのような状態になるか、想像してみてください。



モロナイは、「不信仰の幕を……裂く」ため、またさらに啓示を受けられるようになるための助けとなる事柄を書き残しています。彼は、人が啓示を受けるのを妨げる態度についての警告から始めました。エテル 4:8 を読み、主が啓示を下されなくなったり、「これ以上大いなることを示」さなくなる原因が書かれている部分に印を付けてください。



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 「主の言葉に逆らう」(エテル 4:8) とはどのような意味だと思いますか。

b. 現在の若人が「主の言葉に逆らう」としたら、それはどのような方法を採用しますか。

モロナイは主御自身の言葉を使って、主からさらなる啓示を受けるにはどうしたらよいか、説明しています。エテル 4:11, 13-15 を深く読んで、主の啓示を受けるためにしなければならない事柄、そしてわたしたちがそれを実践したら主はどのようにこたえてくださるのか教えている部分に印を付けてください。

啓示について、また啓示を自分の生活の中に取り込む方法について、これらの聖句からどのような原則を学べますか。これらの聖句から学べる原則の一つを選び、それを自分の聖典のエテル 4:11 の近くを書いておくとよいでしょう。

主の勧告から学ぶことのできる重要な原則の一つは、次のとおりです。「人が主の言葉を信じる深い信仰を働かせるときに、主の時と方法にかなって、主がさらなる啓示をもって祝福してくださる。」



3. 聖典学習帳の中に、主からさらに啓示を頂くために、すでに受けている神の言葉を信じる信仰を示す必要があるのはなぜか、説明してください。次に、以下の分野で主の言葉を求めたり従ったりすることで、主を信じる信仰をどの程度働かせていると考えているか、自分自身を 10 段階で評価してください (10 が「非常に効果的」)。

a. 日々の祈り

b. 聖霊を通じて受ける促しに従うこと

c. 支部、ワード、地方部、ステークの指導者を支持し、従うこと

d. 教会やセミナリーで神の言葉を研究すること

e. 個人の聖文学習

f. 預言者の言葉に従い、戒めに従って生活すること



4. 聖典学習帳に、上記の分野の一つで、神に従うことによって主からさらに啓示を受けることができた状況を書いてください。

主からさらなる啓示や導きを受けようと努力するときに、どのように主の言葉を信じる信仰を働かせるという原則を取り入れるか、深く考えてみましょう。

エテル 5 章

モロナイ、三人の証人が将来、版を見て版について証すると宣言する

エテル 5:1-3 を読んでください。いつの日か版に書かれている記録を翻訳する人物だとして、預言者ジョセフ・スミスを直接指すこれらの節で、モロナイは何と書いていますか。モルモン書を翻訳しているジョセフ・スミスがこの聖句に出会ったとき、どのように感じたと思うか想像してみてください。





大管長会のヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を読み、三人の証人の証についてあなたの心に残る言葉を探し出してください。「三人の証人はモルモン書の証を決して否定しませんでした。真実であると知っていたからです。想像を絶するような犠牲を払い、困難な目に遭いました。オリバー・カウドリは死の床に伏しているときでさえも、モルモン書の神聖な起源について揺るがぬ証を述べました。……教会やジョセフから離れていた長い年月の間も、直接目にし、耳にしたあの驚嘆すべき経験を証し続けました。そのためいっそう、彼らの証は力強いのです。」（「預言者ジョセフの使命への不朽の証」『リアホナ』2003年11月号、90）

エテル5:2-3によると、預言者ジョセフ・スミスが版に関して特別に許されることになることは何でしょうか。



5. 金版が実際に存在したことを証をする特権に恵まれた3人と同様に、あなたもモルモン書の真実性を証することができます。聖典学習帳に、自分もモルモン書の証人となることのできる方法をいくつか記録してください。加えて、モルモン書についてのあなたの証が、人々にどのような影響を及ぼす可能性があるか、書き出してください。

今週、モルモン書についてのあなたの証をだれかと分かち合う機会を祈り求めてください。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル4-5章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元30—第2日

エテル6章

はじめに

主の命令に従って準備を整えた後、ヤレド人は船に乗り込みました。彼らは約束の地への困難な旅を安全に遂げられるように主が救ってくださると信じていました。主が風を送られたので、船は波にもまれ、何度も海中に沈みながらも、その風によって約束の地に向かって進んで行きました。

新しい地に落ち着いてから、民はヤレドの兄弟から警告を受けたにもかかわらず、王を選びました。

エテル6:1-12

主、風を送ってヤレド人の船を約束の地へと運ばれる

主から求められたことを行うのが難しいと感じるときがあります。例えば、友達に福音を紹介する、道徳的な清さを保つ、高い標準を持つ友達を選ぶ、生活において正しい優先順位を決める、などです。これ以外にも、主から求められたことを行うのが難しいと思われる例を考えることができますか。

ヤレド人の約束の地への旅についての話には、人が主から命じられたことを行うのが難しいと思うときに導きとなる原則が教えられています。エテル2:24-25を読み、ヤレド人の約束の地への旅が困難になるだろうと主が警告した事柄を探し出してください。

こうした問題に耐えるために、主はヤレド人に「皿のように透き間がな[い]」（エテル2:17）船を造り、屋根と船底には、栓を抜いて空気を入れる穴を用意するようにとお命じになりました。エテル6:1-4を読み、ヤレド人が困難な航海に向けてほかにどのような準備をするよう主に命じられたか、探し出してください。

「主なる神に身を託して」（エテル6:4）とは、ヤレド人は神の助けと保護に身をゆだねた、という意味だということを理解したら参考になるかもしれません。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- この状況において、ヤレド人が主を信頼することは容易でなかったと推測できる理由として、どのようなことが挙げられるでしょうか。
- なぜ備えをし、主にその身を託することは、ともに非常に重要なことだと思いますか。

エテル6:5-11を読み、ヤレド人の造った船での旅がどのようなものであったか想像してみてください。



2. この記録から学べる福音の原則をはっきりと理解できるよう、次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- ヤレド人は困難を伴う旅をしている間、どのようにして主への信頼を示したでしょうか（エテル6:7、9参照）。
- 旅の間、神はどのようにヤレド人を祝福してくださいましたか。

エテル 7 – 11 章

はじめに

ヤレドの兄弟は、もしヤレド人の王を持ったら囚われの身に陥ると預言しましたが、その言葉はすぐに成就したわけではありませんでした。ヤレド人の最初の王のオライハは義をもって治めました。しかしながら、2 世代後に、ヤレドという名前の人物が、秘密結社を結成して、王になります。ヤレド人の王が統治した時代に、ヤレド人は預言者に聞き従って義にかなった生活を送る時期と、預言者を拒み邪悪な生活を送る時期のサイクルを、幾度か繰り返しました。

エテル 7 章

コリホル、父から王国を奪い、弟のシュールが王国を取り戻す。預言者たちが民の悪事を非難する

囚われの身にある人はどのように感じると思いますか。同じように、自分が間違った選択をしたために、制限が加えられていると感じたことがありますか。エテル 7 – 11 章を研究しながら、物質的にも霊的にも囚われの身になることを防ぐことができる方法についての考え方を探し出してください。



ヤレドとヤレドの兄弟が年老いたとき、ヤレド人は王を求めました。ヤレドの兄弟は、王を持つならば囚われの状態を招くと民に警告します（エテル 6：19 – 23 参照）。預言者たちはずっとこれまで、わたしたちが物質的にも霊的にも

海上に 1 年近くいた後、ヤレド人の旅はようやく終わりを告げました。エテル 6：12 を読み、約束の地に到着したとき彼らがどのように感じたか、探し出してください。これまでこのレッスンで学んだことを要約し、以下の原則を完成させてください。「主を信頼して主の御心を行うとき、主は

この文章を完成させる一つの方法は、「人生の旅を導いてくださる」という言葉を使うことです。この原則を深く理解するためには、このレッスンの最初に書き出した、主から求められたことを行うのが難しいと感じる状況を参照してください。ヤレド人と同じようにわたしたちも、祈ること、預言者に従うこと、そして戒めを守ることを通して、人生で直面する困難を克服できるように、主によって備えられます。

3. 聖典学習帳に、主に対する信頼を示しただれかの例を書き出してください。「ヤレド人の模範を基に、主からの難しい戒めに直面したとき、わたしたちはどうすべきでしょうか。」

4. 次の原則についてよく考えてください。「主を信頼するならば人は逆境や苦難を通して進歩して、約束された祝福を得ることができるようになる。」（この原則を自分の聖典のエテル 6：5 – 10 の近くを書いておくとういでしょう。）聖典学習帳に、以下の質問の答えを書きましょう。

a. 自分の人生で、これまで直面してきた、あるいは現在直面している困難な問題を信仰深く堪え忍ぶことによって、どのように進歩して、祝福を得ることができたと感じていますか。

b. 直面している困難な状況において、どうすればもっと主を信頼し、主の導きに従うことができるでしょうか。

エテル 6：13 – 18

ヤレド人、主の前をへりくだって歩むよう子供たちに教える

ヤレド人のように、あなたがちょうど大海を渡り、自分にとってまったく新しい地に到着した場面を想像してください。エテル 6：13 – 18 を読み、次の質問の答えを考えてみましょう。「主の前をへりくだって歩むとはどういう意味ですか。それを表す例は何かありますか。」「あなたが主の前をへりくだって歩めるように、親やそのほかの人々はどのような方法で励ましてきてくれたでしょうか。」「へりくだって歩むことと天から教えるを受けることにはどのような関係があると思いますか。」「『天からも教えるを受けた』と感じたのはいつですか。」（エテル 6：17）

5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 6 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

囚われの身に陥るような行動を取ってはならないと預言しています。



1. 現代の預言者たちは物質的、霊的な囚われの身に陥るような行動を取ってはならないと警告し、それがなぜ囚われの身に陥ることに通じるのか教えています。聖典学習帳に、そのような行動の例を一つか二つ、書き出してください。

ヤレドの兄弟が警告したにもかかわらず、民は王を持つことを選びました。エテル7:1-2を読み、ヤレドの兄弟の預言がヤレドの息子であったオライハの時代に成就したかどうかを調べてください。ヤレドの兄弟の預言が成就すると信じていなかったオライハ王の時代の人に話す機会があったとしたら、あなたは何と言うと思いますか。

2 世代しか経過しないうちに、ヤレドの兄弟の警告の預言が成就します。エテル7:3-7を読み、キブとその民がコリホルのもとで囚われの身になっていた部分を見つけ出してください。コリホルは、王になりたいという利己的な欲望のために父に逆らいました。この囚われは、利己心と反逆の結果でした。



2. 聖典学習帳に、あなたなら、預言者の勧告に従わず、それでも自分が霊的に囚われの身に陥っていると感じていない現代の人々に、どんな言葉をかけるか、書き出してください。(答えの中に、霊的に囚われの身に陥っている人々に限ってそれに気づかないことが多いという見方も含めるとよいかもしれません。現代の状況の中で、人を霊的に囚われの身にしているものの例を書いてください。)

ヤレド人の歴史のこの部分が示している原則は、「預言者の言葉を拒むと囚われの身に陥る」ということです。戒めや預言者の勧告に従わなかったことが原因で霊的に囚われの身になったという経験があったら、それがどのようなものであったか、深く考えてみてください。

コリホルは父のキブに背いたために、絶えず争いと戦争を続けることになります。キブは年を取ってからもう一人の息子のシュールをもうけました。シュールは成長して、反抗的な兄のコリホルと戦います。



3. 自分は新聞記者であると想像して、シュールの物語を取材することになったと仮定しましょう。エテル7:8-13を読み、シュールの生涯の取材の中で強調したい点を、聖典学習帳に、短い文で書いてみましょう。

シュールの統治の時代には、多くの預言者が民の中に入って行って、その悪事について警告しました。エテル7:23-25を読み、預言者たちの教えた内容と、民の反応を探し出してください。シュールの反応はどうでしたか。シュールが預言者たちを保護したことで、民はどのような祝福を受けたのでしょうか。

エテル7:26-27を読み、民が預言者たちの言葉に従ったときにどのようなことが起こったかを見つけてみましょう。シュールは「主が自分の先祖のために数々の偉大なことを行って……くださったことを思い起こし[た。]」(エテル7:

27) 主があなたのためにしてくださった偉大なことを思い起こすと、主に対する感謝の気持ちも義にかなった生活をしようという思いも深まります。

これらの一連の出来事は次の重要な原則を証しています。「人は自分の罪惡を悔い改めるときに榮え始める。」榮えるという語は「希望を持つ」また「成功する」という意味です。この語は「多くの場合、物質的な成功という意味で使われています。[しかし]この語は必ずしも現世にかかわるものを豊かに所有しているという意味でも、比較的平穩で、問題のない生活を送るという意味でもありません。……

真に義にかなった人々は、信頼を得ているという意味では榮えていると言えます。そのような人々は、信仰を直ちに行動に移し、恵まれない環境から恵まれた環境を作り出します。また、主が報いを下さったり、差し控えられたりするまで待つのではなく、むしろ、物質的にも霊的にも、自分たちにとって最も有益なことは何かということについて、主に導きを呼び求めます。そのような導きによって、仕事を变えたり、ほかの地域に引っ越ししたり、訓練を受けたり、新しい技術を身に付けたり、物事があるがままに受け入れて、自分自身の限界の範囲内で働き、それ以外の面では御霊の導きに従ったりすることもあります。」(Alan Webster, “I Have a Question,” *Ensign*, 1990 年 4 月号, 52 - 53)



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 預言者の言葉を心に留めることによってこれまでどのような祝福を受けてきましたか。

b. これまで以上に預言者の言葉を心に留め、主の祝福にふさわしくなるために、あなたができることを一つ挙げてください。

エテル8:1-9:12

ヤレド、エーキシ、秘密結社によってヤレド人の王となる

次のリストに目を通してください。自分の聴いている音楽、自分が楽しく感じる思い、学校での行動、自分の見る映画、デートのときの振る舞い、友人と一緒にいる活動、周囲にだれもいないときに取る行動。悪いことを行っている人が、こうした活動の一つ、あるいは幾つかを行っているところを友人や両親、指導者の目から隠したいと思うのはなぜでしょうか。義にかなっていないことを秘密のうちにやることには、どんな危険が潜んでいますか。

エテル8章によると、シュールの死後、オメルが王になりますが、オメルの息子ヤレドは「父に背き」(エテル8:2)、「王国と世の譽れに執着していた」(エテル8:7)とあります。ヤレドの娘は、父親に王国を取り戻させようとして一つの計画を立案します。彼女は美しい女性であったため、エーキシという男の前で踊り、エーキシは彼女を妻にしたいと願います。ヤレドは、「王であるわたしの父の首をわたしのところに持って来れば」(エテル8:12)という条件を満たしたときだけ、娘を与えるとエーキシに告げます。エーキシはオメル王を殺すために友人たちと秘密結社を作ります。秘密結社というのは、二人以上の人々が自分たちの行

動の結果を隠すために、義にかなわない行いを秘密にする誓いを結ぶものです。

エテル 8:15 - 18 を読み、秘密結社を受け入れる人々の背後にある動機や方法が書かれている言葉や表現を指摘してください。

 5. 聖典学習帳に以下の質問の答えを二つ以上書きましょう。

- a. 秘密結社に参加する人々がいるのはなぜですか。
- b. 結果のことは何も考えずに、「あらゆる悪事」(エテル 8:16) や「自分の求めることを何事でも」(エテル 8:17) 行えると考えるのは、なぜ霊的に有害だと思いますか。
- c. エテル 8:18 の中で、秘密結社に対する主の思いが表れている言葉はどれでしょうか。なぜそのような結社は「どのようなものにも増して…… 邪悪なもの」だと考えられると思いますか。

エテル 8:20 - 22, 25 およびエテル 9:5 - 6, 11 - 12 を読み、秘密結社を支援したらどのような結果を招くか、探し出してください。学んだことを要約しましょう。 _____

この箇所から確認できる真理の一つは以下のとおりです。
「秘密結社を支えることは個人と社会の滅亡を招く。」

モロナイは、ここでヤレド人の戦争について記録することを一度止めて、わたしたちに向かって語りかけます。エテル 8:23 - 24, 26 を読み、秘密結社についての自分の警告を取り入れるよう、モロナイがどのように現代の人々に勧めているのか、探し出してください。

以下の質問に対する答えを考えてください。「内部に秘密結社を抱える国や社会や団体は『ひどい状態』(エテル 8:24) にあるというのはなぜだと思いますか。」「秘密を守らせることでこうした結社はどのような力を持ちますか。」「秘密結社に関する真理を知ること、どのようにしてこうした悪を退けることができますか。」

 6. このレッスンの初めに書いた行動のリストをもう一度見直してください。自分の生活のこうした分野で義にかなわない選択をすることは、必ずしも秘密結社と同一視する必要はありませんが、ほかの人に秘密にしておかないといけないと思うような活動にかかわる選択をする場合は、危険を伴います。どんな危険が伴いますか。聖典学習帳に書いてください。

エテル 9:13 - 11:23

王位が次々に移る。義にかなった王もいれば、邪悪な王もいる

エテル 9 - 11 章に記録されているように、数多くの王がヤレド人を治めました。義にかなって治めた王もいれば、悪をもって治めた王もありました。エテル 9:26 - 35 (ヘテの時代) とエテル 11:1 - 8 (コムとシプロムの時代) を読み、次の原則が真実であることを示している証拠を見つけてください。「預言者の言葉を拒むと囚われの身に陥る。」この点については、このレッスンの最初の部分で話し合いました。



これまで以上に預言者の言葉を心に留める方法について考えたことを思い起こしてください。今日からこの目標に従って、預言者の言葉に従うことの大切さについて証を伝える機会を求めましょう。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 7 - 11 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

エテル 12 章

はじめに

長年に及ぶヤレド人の歴史を述べた後、モロナイは預言者エテルの務めについて書き始めました。その後、モロナイは歴史についての話を中断し、イエス・キリストを信じる信仰を働かせる人が受ける祝福について記します。また、不安を抱いていると告白します。モロナイは、末日にモルモン書を読む人々が、自分やほかの記録者たちの書く能力が弱いために、モルモン書を受け入れないのではないかと心配しました。それに対して主は、主の前に自らへりくだり、信仰を持つ者は、すべてその弱さを強くされると、モロナイに約束されます。

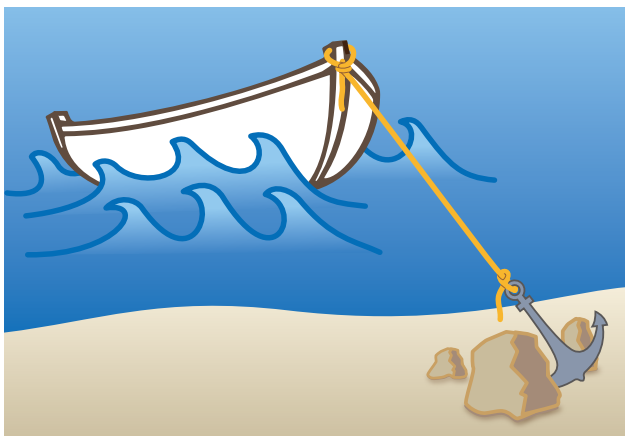
エテル 12：1－4

エテル、ヤレド人に悔い改めを説く

船に錨いかりがあることが大切なのはなぜでしょうか。錨がなければ、船はどのような危険や困難に遭遇するでしょうか。絵の中の船に「わたしの人生」と書いてください。次の質問の答えを考えてみましょう。

- 船が人生を表すとすれば、波は何を表すでしょうか。
- 波を問題点や悪にたとえることができるとしたら、錨のない人の人生はどのような可能性がありますか（モルモン 5：18 参照）。
- 錨と同様、あなたを安全な場所につなぎとめておくために、主はどのような助けをあなたに下さいましたか。

エテル 12 章を研究して、錨の備えられている船のようになるためには、つまり、大波や問題に直面しても揺るがず、確固としているためには、何をしなければならないか、探し出してください。エテル 12 章は、モロナイが預言者エテルを紹介する場面から始まります。エテルは、民が預言者を拒



み、悪事にふけて生活していた時代に生きていた人物です。エテル 12：1－3 を読み、こうした困難な環境の時代にあったエテルの印象的な行いを見つけてください。

エテルは、出て行って民に悔い改めを熱心に勧める中で、困難や悪事に取り囲まれたときに神を信じる者が望むことのできるものについて教えました。エテル 12：4 を読み、その望むことのできるものに印を付けてください。（読み進めて行くときに、「神の右に一つの場所」というのは、神のもとに帰って永遠の命にあずかるという意味であることが分かっていたら、参考になるかもしれません。）



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 「確かに」望むことは、単に願うことと、どのように違うと思いますか。
- b. イエス・キリストを信じる信仰を持つことで、人はどのようにして、神の右に一つの場所を「確かに」望めるようになるのでしょうか。
- c. エテル 12：4 の中で、どの部分が望みとイエス・キリストを信じる信仰を持っている人の行動を描いた部分ですか。

このレッスンの初めに見た船の絵の錨に「信仰」と「望み」と書いてください。

エテル 12：4 では、「望みとイエス・キリストを信じる信仰を持つときに、確固とした多くの善い行いをする強さを授かる」という原則を教えています。

確固として（揺るがずに）多くの善い行いをするのが難しいと感じるときのことを深く考えてみてください。このような状況のとき、あるいは生涯を通じて、助けを受けるために、エテル 12 章の研究を続けながら、主イエス・キリストを信じる信仰を深めていけるような方法を探し出してください。

エテル 12：5－22

モロナイ、信仰によってもたらされた奇跡や力ある業について述べる



2. 聖典学習帳に、あなたが霊的な証を求めている福音の真理を書いて次の文を完成させてください。わたしは__について霊的な証を得たいと思います。

まず真理の証拠を見て、それが証明されなければ、その真理に従って生活することはできないと感じている人がいます。モロナイはそのような態度についてエテル 12：5－6 で論じています。これらの節を読み、あなたの心に響く勧告の部分に印を付けてください。（エテル 12：6 はマスター聖句です。）

エテル 12：6 によれば、主から証を得る前に、わたしたちは何をしなければならないですか。「信仰が試される」ことについて考えるとき、何が思い浮かびますか。



「信仰が試される」というのは常につらいことを指しているのだと誤って解釈している人がいます。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、「信仰が試される」の意味について、次の洞察を与えています。「モロナイが教えた次の原則を応用することによって、もっと効果的に信仰を使えるようになります。『……信仰が試されてからでなければ、証は得られないからである。』〔エテル 12:6 強調付加〕ですから、**信仰を試す度**に、つまり何らかの印象に従ってふさわしい行動をする度に、御霊による確認の証を受けるのです。そしてこうした気持ちは信仰を強めてくれます。この経験を繰り返すにつれて、信仰はさらに強くなります。」「〔不確かで困難な時代に支えとなる信仰の力〕『リアホナ』2003 年 5 月号, 76)

次の聖句を読み、人々が信仰を働かせた後でもたらされた祝福を探し出してください。

- エテル 12:11。どんな祝福がありましたか。 _____
- エテル 12:12 – 13。アルマとアミュレクにはどんな祝福がもたらされましたか。 _____
- エテル 12:19 – 22, 30 – 31。信仰によってヤレドの兄弟にはどんな祝福がもたらされましたか。 _____

「……からでなければ」という言葉がエテル 12:7, 12, 17, 18, 31 で使われていることに注目すると理解しやすくなります。



3. これまでエテル 12 章で研究してきたことを基に、主から霊的な証を得ることについてのモロナイの教えをどう思うか、自分自身の言葉で、聖典学習帳に書きましょう。

モロナイが教えた原則の一つは、次のとおりです。「証を得たいと望むならば、まずイエス・キリストを信じる信仰を働かせなければならない。」



4. 次に設定された場面を読み、その中から二つ以上を選んで、主を信じる信仰をどのようにして示すことができるか、聖典学習帳に書き出してください。

- a. ある若い女性が、モルモン書が真実であることについての証を得たいと思っています。
- b. ある若い男性が、愛する人たちが福音を受け入れるように助けたいと強く望んでいます。
- c. ある若い女性が、病気の父を祝福してほしいと主に願い求めています。



5. あなたやあなたの知っている人が、信仰を具体的に表した後で証や奇跡を受けたときのことについて聖典学習帳に書いてください。

霊的な証を得たいと望むときに、その根拠となる原則や教義を再度思い起こしてください（このレッスンの課題 2 を

参照）。証を得るに先立って自分の信仰を具体的に表すために、どのようなことができますか。

📖 マスター聖句—エテル 12:6



6. エテル 12:6 を暗唱するためには、まず何度か読み通してください。次に自分の聖典学習帳に覚えている部分をできるだけたくさん書き出します。その後、自分の書いたものと実際の聖句とを比較します。この節をもう一度研究し、聖典学習帳にもう一度書き出します。

エテル 12:23 – 41

モロナイ、異邦人が将来モルモン書にどのような反応を示すかについて不安を表す

エテル 12:23 – 41 に記録されているように、モロナイは、自分やほかの記録者の書く能力の弱さのために末日にモルモン書を受け取る人々がそれを受け入れてくれないのではないかという不安を口にしています。エテル 12:26 – 27 で主がモロナイの不安に対して述べておられることを読み、どのようにしたら、弱いものが強くなると主が言っておられるか、探し出してください。（エテル 12:27 はマスター聖句です。）

時々、聖文では福音の原則を述べる際に「もし……ならば」「そのとき」という表現が用いられます。「もし……ならば」という言葉を使って、わたしたちが行わなければならないことが述べられ、「そのとき」という言葉に続けて、わたしたちの行動の結果どのようなことが起こるかが説明されます。エテル 12:27 を読み、この条件と結果の原則を見つけ、それを書き出してください。

もしわたしたちが _____ ならば、そのとき主は _____。

今週教師からレッスンを受けるときに、ここの聖句についてもっと深い話し合いを持ちます。また、エテル 12:28 – 41 に書かれている、信仰、希望、慈愛に関するモロナイの提言についてさらに研究し、学ぶことになります。

📖 マスター聖句—エテル 12:27

エテル 12:27 に書かれている考え方を覚えられようように、次の語を紙に書き出してください。

もし……来る……弱さ……示そう。……^{ひん じん}謙遜……弱さ……与える。……へりくだる……すべての者……恵み……。もし……へりくだり……信じる……弱さ……強さ……。

これらの言葉に注目しながらエテル 12:27 をもう一度読んでください。紙に書かれている言葉だけを見て、できるかぎりこの聖句を言い直してください。紙を今日もしくは明日見るであろう場所（ポケットや聖典の中など）に入れておいてください。聖句を暗記するまで、紙を見たときにはいつでもエテル 12:27 を復習してください。



7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 12 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 31 — 第 1 日

エテル 13 – 15 章

はじめに

預言者エテルは新エルサレムについて預言します。また、ヤレド人の王コリアンタマーに、悪事のために王の民は滅びると警告し、コリアンタマーとその家の者に対して悔い改めるよう勧めます。コリアンタマーとその民が悔い改めを拒んだとき、戦争と悪事は激しさを増して長年に及び、ついにヤレド人の国家全体が滅びます。ただエテルとコリアンタマーだけが生き残り、エテルの預言が成就するのを目にします。



エテル 13：1 – 12

モロナイ、
新エルサレムと昔のエルサレムについてのエテルの預言を記録する

現在の都市の中で、その町の重要な特徴を示す別名を持つ都市のことを考えてみましょう。例えば、フランスのパリは、「光の都」としても有名です。始めるに当たり、以下の都市を正しい別名と組み合わせてみましょう。（解答は、このレッスンの最後にあります。）

エジプト, カイロ	風の街
フィリピン, マニラ	ミナレットの都
アメリカ合衆国, シカゴ	永遠の都
メキシコ, メキシコシティ	東洋の真珠
イタリア, ローマ	宮殿の都市

今日のレッスンでは、終わりの時における二つの重要な都に焦点を当てます。（1）エルサレムと（2）新エルサレムです。末日にこの二つの都市はその義のゆえに知られることになります。エテルはヤレド人に、彼らが住んでいる地は将来新エルサレムと呼ばれる都が置かれる場所であると教えました。

エテル 13：2 – 8 を読んでください。主は預言者ジョセフ・スミスに、エテル 13：6 で特定されている新エルサレムはアメリカ合衆国ミズーリ州ジャクソン郡に築かれることを明らかにされました（教義と聖約 57：1 – 4；84：1 – 4 参照）。「エテル 13：3, 5 でエテルはこの二つの都市について何と言っていますか。」「そのような都での生活はどのようなものだと思いますか。」深く考えてみてください。エテル 13：10 – 11 を研究し、新エルサレムや昔のエルサレムといった聖なる都に住むためには、どんなことを経験しなければならないのか、学んでください（昔のエルサレムも、主のために聖なる都として再び築かれます。エテル 13：5 参照）。

新エルサレムのもう一つの名前はシオンです（モーセ 7：62；信仰箇条 1：10 参照）。わたしたちはエルサレムにも新エルサレムにも住んではないかもしれませんが、すべての教会員はシオンを築くように努め続けることができます。わたしたちは、神の日の栄えの王国を含む、聖なる場所に住む備えをすることができます。それは、わたしたちがイエス・キリストの贖罪によって清くなることができるからです。

エテル 13：13 – 15：34

ヤレド人、エテルを拒み、悪事と戦争を続けて、ついに滅びる

エテル 13：13 – 19 を読み、エテルの時代のヤレド人社会の状況を述べている箇所を探してください。エテル 13：20 – 22 を研究し、エテルがコリアンタマーに伝えたメッセージの部分と、コリアンタマーとその民はどのように応じたかが書かれた部分を見つけてください。



1. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 現代の人々が、その心をかたくなして、主の僕たちを拒む様子をどのような場面で見えましたか。

b. 信仰を固く守り、預言者の言葉に聞き従うために、どのようなことをしたいと思いますか。

エテル 13:23 - 14:20 に記録されているように、コリアンタマーは、彼から王国を奪おうとする数人の者たちと戦います。その中には、シェレド、ギレアデ、リブといった人物がいます。やがて、ヤレドの国民全体が戦争に巻き込まれます。コリアンタマーの最後の敵となったのは、シズという名前の男でした。これらの戦争によってどのくらいの規模の滅亡がヤレド人に起こったか、その詳細がエテル 14:21 - 25 とエテル 15:1 - 2 に記されています。

エテル 15:3 - 6 を読み、残りの民を滅亡から救うためにコリアンタマーが行おうとしたことを見つけてください。シズがなぜコリアンタマーの提案を拒んだのか、また、なぜ両軍の民が降伏を拒んだのか、その理由を考えてみてください（エテル 14:24 も参照）。

エテル 15:12 - 17 を読み、ヤレド人の状況の詳細が書かれている部分を探してください。彼らの状況の中で、特に悲劇的あるいは悲しいと思われる部分はどのような場面ですか。エテルは長年にわたって民に悔い改めるよう警告していた、ということを出して教えてください（エテル 12:2 - 3:13:20 参照）。エテル 15:18 - 19 を読み、悔い改めるようにとの主の警告を拒んだためにどのような結果になったか、探し出してください。これまで読んだことを基に、次の言葉を完成させてください。悔い改めるようにとの主の警告を拒むならば、そのときには、

上のスペースには、次のような原則を書いたかもしれません。「悔い改めるようにとの主の警告を拒むならば、主の御霊は退き去り、サタンに心を支配される。」



2. エテル 15:19 とこの聖句から学ぶことのできる原則を利用して、悔い改めを拒む現代の人々が使う次の正当化の言葉が間違っている理由を説明してください。

- a. 自分が教会の標準と一致していない映画をよく見ているのは分かっているけど、それが自分に悪い影響を与えているとは思えないな。
- b. 友達と酒を飲むのはそんなに悪いことではないよ。楽しい時間を過ごしているだけだよ。
- c. たいしたパルノグラフィーじゃないよ。家の外で不道德なことをするわけじゃないし。それに、やめたいときにいつでもやめられるから。
- d. 今悔い改める必要はないでしょう。伝道に出るか、神殿で結婚するときまで待ってもいいでしょう。

エテル 15:20 - 32 には、ヤレド人の二つの軍隊が互いに戦い続け、ついにその指導者であるコリアンタマーとシズだけが残り、その後、コリアンタマーがシズを殺した様子が描かれています。

ヤレド人の歴史は、悔い改めるようにと神が繰り返し説得する努力をされたにもかかわらず民全体で拒んだ人々が刈り取る結果の生々しい例です。わたしたちは、悔い改めを拒んだとしても直ちに肉体的に破滅を迎えるわけではありませんが、悔い改めるようにとの主の警告を拒むならば、罪悪感を経験することになります。



十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の次の言葉について考えてみてください。「救い主がわたしたちの罪をお赦しになれること、そしてぜひとも赦そうとしておられることを証します。完全な福音を知った後で滅びを選んだごく少数の人の罪を除き、赦されない罪はないのです。わたしたちのだれもが罪に背を向けて、キリストのみもとに来ることができるとは何とすばらしい特権でしょう。心の中から罪の意識と痛みを取り去り、代わりに喜びと良心の安らぎを与えてくれる神の赦しは、福音の最も甘い実の一つです。」（『わたしがあなたがたを癒すことができるように、……悔い改めなさい』『リアホナ』2009年11月号、40 - 41）

自分の生活の中で聖霊の影響力を妨げていると思われるようなことをしていないかどうか、検討してみましょう。御霊を受け、サタンの力に抵抗できるように、イエス・キリストの贖罪の力に頼って、必要な変化をどのように起こせばよいのか、考えてみてください。

エテル 13 - 15 章からは、「怒りと復讐心を抱くと、人は自分自身とほかの人々を傷つける選択をすることになる」ということを学びました。以下の聖句を読むか読み返し、この真理を教えている言葉や表現に印を付けてください。エテル 13:27; 14:24; 15:6, 22 - 28。

怒りをコントロールできずにいると家族やほかの人間関係にどのような結果を及ぼすことになるか、深く考えてみてください。自分の生活の中で、怒りや復讐心を捨てなければならないような場面がないかどうか、考えてみてください。

名誉七十人のデビッド・E・ソレンセン長老の次の言葉を読み、怒りの感情や復讐を求める欲望をどのように克服することができるのか、探してみてください。「自分や自分の気にかけている人々が傷つけられたとき、その痛みは計り知れないものであることがあります。まるでその痛みあるいは不当な行為こそ、世の中で最も重要なことであって、復讐を企てる以外に選択肢がないかのように感じられることがあります。しかし平和の君であるキリストは、より良い方法を教えてください。自分に加えられた危害についてだれかを赦すことは非常に難しいことがあります、そうす

るときに、わたしたちにはもっとすばらしい未来が開かれるのです。もうほかのだれかの不当な行いに自分の進路を左右されることはありません。人を赦すことによって、わたしたちは自分自身の人生の生き方を自由に選べるようになるのです。赦しとは、もう過去の問題に自分の行く末を決定されることなく、心に神の愛を抱きながら未来に焦点を合わせることができるという意味なのです。」（「赦しは苦しみを愛に変えるであろう」『リアホナ』2003年5月号, 12）



3. 聖典学習帳に次の質問の答えを書いてください。
「あなたやあなたの知人が、赦すことを選んだために癒しや自由を経験したという出来事がありますか。」

もしイエス・キリストに立ち返り、主の贖罪によって赦しと慰めを受けるならば、怒りや復讐心に打ち勝つことができます。そのような状況にあったら、必要な助けを主に祈り求めることを忘れないでください。



4. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、エテル 13 – 15 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

このレッスンの最初にした組み合わせ活動の答え——エジプト、カイロ（ミナレットの都）；フィリピン、マニラ（東洋の真珠）；アメリカ合衆国、シカゴ（風の街）；メキシコ、メキシコシティ（宮殿の都市）；イタリア、ローマ（永遠の都）

はじめに

モロナイ書

なぜこの書を研究するのか

モロナイ書を研究することにより、モロナイの力強い模範と証から力を得ることができる。さらに、モロナイとその父のモルモンの教えから、イエス・キリスト教会の基本的な儀式と実践、真心から義にかなった働きをなすことの大切さ、善悪の判断、信仰と希望と慈愛の関係について学ぶことができます。また、モロナイが与えた二つの勧告を読みます。一つは、自分自身でモルモン書が真実かどうかを知ることができるよう祈るようという勧告であり、もう一つは「キリストのもとに来て、キリストによって完全なものと^{あかし}なる」ようにという勧告です（モロナイ 10：32）。

だれがこの書を書いたのか

この書を書いたのはモロナイです。この書の中には、モロナイ自身の言葉、イエス・キリストがニーファイ人の十二人の弟子たちに語られた言葉（モロナイ 2 章参照）、そして父のモルモンの言葉（モロナイ 7－9 章参照）が含まれます。ニーファイの民が滅ぼされる前、モロナイは民の中で軍の指導者、また教会の指導者として仕えました（モルモン 6：12；モロナイ 8：1 参照）。モルモン書の他の主要な著者や編者と同様に、モロナイは救い主を目にしました。モロナイは次のように証しています。「わたし〔は〕イエスにまみえた……、イエス〔は〕顔と顔を合わせてわたしと話をされた……。」（エテル 12：39）モロナイは自分の証に忠実であり、キリストを否定するよりも、むしろ喜んで殺される方を選ぶと強く主張しました（モロナイ 1：1－3 参照）

モルモン書の記録を終えたときから約 1,400 年後の 1823 年、復活したモロナイは預言者ジョセフ・スミスに現れ、その記録がジョセフ・スミスの家の近くの丘に埋められていることを告げました。そのときと、それに続く数年間、モロナイは定期的にジョセフ・スミスに「主が何を行おうとしておられるか、また終わりの時に主の王国がどのように指導されるべきかに関して」も指示を与えました（ジョセフ・スミス—歴史 1：54）。

いつ、どこで書かれたか

モロナイは恐らく、紀元 401 年から紀元 421 年の間にモロナイ書を書き、編さんしたと思われます（モルモン 8：4－6；モロナイ 10：1 参照）。この間、モロナイは命の安全を得られる場所を求めてさまよっていました（モロナイ 1：1－3 参照）。

単元 31—第 2 日

モロナイ 1－5 章

はじめに

エテルの版を短くまとめ終えた後、モロナイは「もうこれ以上は書き記さないと考えた」（モロナイ 1：1）と説明しています。しかし、生き延びたモロナイは、終わりの時の人々のために「価値をもたらすと思われることを、もう少し書き記すことに」します（モロナイ 1：4）。モロナイ 1－5 章から、モロナイがいかにイエス・キリストに対して忠実だったかがうかがわれます。この部分はまた、聖餐の執行方法を含む、福音の重要な儀式に対する指示についても概要を述べています。

モロナイ 1 章

モロナイ、命の安全を得るためにさまよいながら、記録を続ける

七十人名誉会員のデビッド・E・ソレンセン長老は、自分の信仰を守るために勇気をもって立ち上がった一人の若い女性の話を紹介しています。

「最近、孫娘のジェニファーが、数人の友達から食事と映画に誘われました。少女たちは皆、これから見に行く映画に賛成で、ジェニファーも楽しみにしていました。ところが、食事の席を立ってチケットを求めに行った女の子が買ってきたのは、計画とは違う映画のものでした。彼女は『R 指定の映画（訳注—アメリカ映画協会によって、未成年の鑑賞が規制されている映画）だけど、すてきな映画よ』と言いました。

驚いたジェニファーは、あっという間に状況が変わったことが信じられませんでした。でも幸いなことに、彼女はこのような状況に立たされる前から、『R 指定の映画は見ない』という決意を、既にしていました。彼女は、強く立って、友達にこのように言うことができたのです。『わたしは R 指定の映画は見ないわ。両親も許してくれないし。』すると、友達が言いました。『どうして。親に分かりっこないわ。』それでもジェニファーは言いました。『親に分かるかどうかは問題じゃないの。わたしはそんな映画に行きたくないだけ。』

友達は怒って、何とか彼女を連れて行こうとして、『あなたはすべてを台なしにするつもり?』と言いました。それでも断ると、チケットとお釣りを投げつけ、彼女を残して R 指定の映画を見に行っていました。友達から完全に見捨てられ、寂しい夜になりました。しかし、ジェニファーとわたしたち家族にとってはすばらしい夜でした。（ジェニファーは、自信と自尊心と霊的な力を得たのです。）」（「毒蛇と戯れてはならない」『リアホナ』2001 年 7 月号, 49）

モロナイ1:1-3を読み、モロナイはどのようにして、自分の信じることに對してたった一人で忠実でいられたのかを探してみましょう。モロナイとソレンセン長老の孫娘の話とともに、自分が正しいと信じるもののために堅く立つという選択をするとき、どうしたらよいのか、その模範を示しています。あなたもまた、日々のささやかと思えるような決断によって、信仰や従順、またキリストに従うという願いを表すことができます。



1. 聖典学習帳に、自分の信じることのために堅く立つことを選んだときの話や、従順によって自分の信仰を表したときの話を書き出してください。

イエス・キリストを信じる信仰のためにどうしたらもっと堅く立つことができるか、考えてみましょう。モロナイ1:4を読み、なぜモロナイがもう少し書くことにしたのか、その理由を探し出しましょう。モロナイは自分の命をつけねらう人々の子孫のためにもう少し書くことにしましたが、その模範と動機から、わたしたちはどんなことを学ぶことができますか。あなたなら自分自身の子孫に対して、どんなことを書き残して、彼らに祝福をもたらしたいと思いますか。モロナイ2-5章を研究するとき、モロナイが書こうとしたことがあなたにとってどのように「価値をもたらし」ことになるのか、考えてみましょう(モロナイ1:4)。

モロナイ2章

モロナイ、聖霊の賜物^{たまもの}を授けることに関する指示を記録する

教会員として確認され、聖霊の賜物を受けられるように頭に手を置かれたときの経験について考えてください。「この儀式についてどんなことを覚えていますか。」モロナイ2:1-3を読み、自分の生活の中で聖霊の賜物があることがどのような祝福になってきたか、考えてみましょう。

この部分で教えられている福音の原則の一つは、次のとおりです。「適切な神権の権能を持つふさわしい会員は、バプテスマを受けた会員に、^{あんじょう}按手により聖霊の賜物を授けることができる。」

モロナイ3章

モロナイ、人を神権の職に聖任することに関する教えを記録する

だれかの神権の系譜の記録を見たことがありますか。この記録は、だれがその人を神権に聖任し、さらにその聖任をした人がだれから聖任を受けたか、といったことがイエス・キリストまでさかのぼることのできる記録です。多分、自分自身の神権の系譜をもう持っているか、あるいはお兄さんやお父さんの系譜を見たことがあるかもしれません。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を読んで、この神権の系譜が直接イエス・キリストまでさかのぼることができるということの重さを考えてみましょう。



「神の権能をもって行動するには、単なる社会契約以上のものが要求されるのは明らかです。それは宗教教育や会衆の委託によって生じるものではありません。神の承認された業においては、人が教会や街角や神学校で得た既存の力よりも大きな力がなくてはなりません。事実、宗教を求める多くの誠実な人々は、回復へと至った時代について知り、そのような時代があったことを公に認めています。……

……回復されたイエス・キリストの教会では、ワードの新しい執事や彼を管理するビショップ、また教会全体を管理する預言者がそれぞれ行使する権能について、神権の系譜をたどることができます。その系譜は途切れることなく続き、この天からの比類ない賜物を携えて神の御子から遣わされた天使にまでさかのぼるのです。」(「最も際立った特性」『リアホナ』2005年5月号、44)

アロン神権あるいはメルキゼデク神権を受ける人は皆、同時に、神権の職の一つに聖任され、それにある義務が伴います。モロナイ3:1-4を読み、祭司、あるいは教師の職も含めて、人が神権の職に聖任される方法を探してみましょう。

自分の聖典のこの節の近くに、次の真理を書いておくといよいでしょう。「人は、権能を持つ人の按手によって、神権の職に聖任される。」



2. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- 人が神権の職に聖任されるとき、すでに神権を持つ人から聖任を受ける必要があるのはなぜだと思いますか。
- 教会において、あるいは家庭において、神権の権能を持つということがあなたにとってどのような価値をもたらしていますか。



モロナイ 4－5 章

モロナイ、聖餐を執行する方法を説明する



3. 聖餐の象徴について考え、聖餐を取ったときの自分の経験について考えてみましょう。次に、聖典学習帳で、以下の活動を行いましょう。

a. パンか水か、聖餐の祈りのどちらかを、何も見ずにできるかぎり書いてください。

b. 二つの聖餐の祈り（モロナイ 4：3；5：2 参照）を読み直してから、この割り当ての最初の部分で書いたものを確認してください。次に、聖餐の祈りから一つ選んで、その祈りのどの部分が自分の心に響くか、書いてください。なぜ祈りのその部分が自分にとって深い意味があるのか、説明してください。

モロナイは、自分の記録の中に聖餐を執行するための祈りも含めました。それは、モロナイが、自分の記録は「将来いつか」人々に「価値をもたらす」と感じたためです（モロナイ 1：4）。モロナイ 4：1－3 と 5：1－2 を読み、聖餐のパンと水がそれぞれ何を表しているかと書かれているかを確認してください。ここを読む際、今日の教会では、ジョセフ・スミスに与えられた啓示の結果として、聖餐でぶどう酒の代わりに水を使うことが許されていることを思い起こすと参考になるかもしれません（教義と聖約 27：2 参照）。

次の文を完成させて、聖餐の目的を要約してください。
聖餐の象徴によって、わたしたちは_____

を思い出すことができます。

救い主の体と血が、わたしたちにとって重要なのはなぜか、よく考えてみましょう。

肉体の苦しみ、死、救い主の肉体と激しい霊的な苦しみからの復活は、救い主が血を流されたことから明らかに証明されていますが、それがあったために、救い主を信じる信仰を働かせて悔い改める人には皆、罪の赦しが与えられるようになりました。「聖餐の象徴によって、わたしたちはイエス・キリストの贖いを思い出すことができる。」



4. 次の質問から一つを選び、聖典学習帳に答えを書きましょう。

a. 聖餐の間に救い主の贖いについて真心から深く考えることにより、霊的にどのように助けられたり、強められたりしますか。

b. 聖餐の間に、救い主の贖い覚えることにもっと集中するために、どんなことができるでしょうか。

聖餐を受けるときに自分が何を行うことを約束するのか理解できるよう、モロナイ 4：3 を読み直し、以下の表を完成させてください。

わたしが行うと聖約すること	わたしが聖約のこの部分を守る意味	聖約のこの部分をさらに守るために、わたしにできること
1.		
2.		
3.		

モロナイ 4：3 からは、それぞれの聖餐の聖約を誠実に守るならば、いつも主の御霊を受けることができるということも学べます。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の次の話を読み、長老が言うように聖霊の賜物を経験しているかどうか、考えてみましょう。「主の御霊は現世の旅においてわたしたちの導き手となって、導きと教えと霊的な守りを与えてくださいます。」（「いつも主の御霊を受けられるように」『リアホナ』2006 年 5 月号, 31）

日曜日に聖餐を受けるときに、救い主の贖いについて深く考えてみましょう。いつも主の御霊を受けることができるよう、上の表で明確にしたそれぞれの聖約を守るよう努力しましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 1－5 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

モロナイ 6 章

はじめに

モロナイは、版に記録する業が終わりに近づいたとき、人がバプテスマを受けて教会に入る備えをするための資格について説明しました。その後、教会員がほかの会員を助けなければならないという責任について述べました。モロナイはまた、教会の集会の目的を説明し、教会の集会が聖霊の力によって導かれる必要性を強調しました。

モロナイ 6：1－3

モロナイ、バプテスマを受けるための条件を示す

自分には弟か妹がいて、その子が数か月後に 8 歳になると想像してください。両親から家庭の夕べでバプテスマにどのように備えるかについてレッスンしてほしいと頼まれました。



1. 今そのレッスンを教えるとしたら、弟か妹がバプテスマに備えられるように助けるために、何について教えますか。聖典学習帳に、あなたの考えを書いてください。



い。

聖餐の祈りを記録の中に含めた後（モロナイ 4－5 章）、モロナイはバプテスマの儀式に関する指示を加えました。モロナイ 6：1－3 をよく読み、バプテスマの条件を探してください。自分の聖典に見つけた条件の部分に印を付けるとよいでしょう。

バプテスマを受けたいと願っている人は、「バプテスマを受けるに値するふさわしい実を」結ばなければならないというのはどういう意味だと思いますか（モロナイ 6：1）。

バプテスマを受ける前に「打ち砕かれた心と悔いる霊」（モロナイ 6：2）を持つとはどういう意味を持つのか、深く考えてみてください。モロナイ 6：1－3 に記録されているように、モロナイは「バプテスマを通して、イエス・キリストの御名を受け、最後まで主に仕えることを聖約する」とことだと説明しています。「イエス・キリストに仕えるという決心を維持し、強めるために、どのようなことをしていますか。」



2. 聖典学習帳に、バプテスマを受けてから今まで、イエス・キリストに仕えるという決心を維持し、強めるために、どんな努力をしてきたか、幾つか書き出してください。

モロナイ 6：4

モロナイ、教会員をどのように助け、気遣い、霊的に養うべきかについて説明する

バプテスマを受ける前に満たさなければならない条件について説明した後で、モロナイは、新しくバプテスマを受けた人々がどうしたら聖約に忠実であり続けることができるか、説明しました。モロナイ 6：4 を読み、新会員が忠実であり続けられるよう、どんな助けが与えられたか、探し出してください。

モロナイ 6：4 から学べる、ほかの教会員に対する責任を要約してください。

モロナイ 6：4 には、神の言葉によって養われることで、どのような祝福が得られると書かれていますか。

モロナイ 6：4 で教えられている一つの大切な真理は、「ほかの教会員を覚え、霊的に養う責任がある」ということです。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、神の言葉によって養い合うことの大切さについて、次のように証しています。「福音の知識を新たに幾つか学び、友人に会うことは大切な要素ですが、単にそれだけを目的に教会に来る会員はほとんど存在しません。会員が教会に集うのは、霊的な経験を求め、平安を感じ、信仰を強め、新たに希望を得たいと望んでいるからです。つまり、神の善い言葉で養われ、天の力により強められるよう望んでいるのです。

話の責任や、教え、あるいは指導する責任を受ける人は最善を尽くし、教会に集う目的を満たせるようにする義務があります。」(『神からこられた教師』『聖徒の道』1998年7月号, 29)

自分のために祈ってくれた人、レッスンを準備してくれた人、教会に活発であるように励ましてくれた人、試練を乗り越えられるように助けてくれた人、そのような多くの人々のことを考えたことがありますか。



3. 聖典学習帳に、何か心に残る方法で自分を覚え、あるいは霊的に養ってくれた人の名前を2、3人書いてください。

いつか近いうちに、自分を覚え、神の言葉によって養ってくれた人々のおかげで自分がどれだけ祝福を受けてきたかを家族や友人と話し合ってください。

大管長会のヘンリー・B・アイリング管長は、自分のワードのある執事の話を紹介しています。その執事は自分の定員会のほかの会員に対する責任を果たす必要があることをよく理解していました。



「その定員会のある会員は、わたしの家の近所に住んでいました。その近所の少年はそれまで一度も定員会の集会に参加したこともなければ、会員たちと何かをした経験もありませんでした。彼の養父は教会員ではなく、母親は教会に出席していませんでした。

ある日曜日の朝、その少年が所属する定員会の会長が評議会で話し合いを持ちました。……会長会の集会で13歳の牧者たちは、まだ一度も出席していないこの少年を思い起こしました。そして自分たちが受けているものをどれほどこの少年が必要としているかについて話し合いました。会長は顧問の一人にこの迷える羊の近況について調べるよう割り当てました。

わたしはこの顧問と面識があり、彼が恥ずかしがり屋であることも知っていました。そして、この割り当てが難しいものであったことも分かっていました。この顧問が重い足取りで我が家の前を通り、一度も教会に来たことのない少年の家に向かうのを、わたしは家の窓から不安な思いで見守っていました。この牧者はポケットに手を入れ、うつむいていました。目的地にたどり着きたいのかどうか分からないうちに、足取りはゆっくりとしたものでした。およそ20分後、彼は行方知れずだった執事と並んで戻って来ました。この光景はそれから何回か、日曜日ごとに繰り返されました。そして群れから離れた後に見つけられた少年は引越して行ったのです。

……何年もたって、あるステーキ大会に出席したときのことです。評議会であの会長が座った部屋から大陸を隔てた地での大会でした。白髪交じりの男性がわたしに近づき、静かに語りかけました。『わたしの孫が何年も前、長老のワードに住んでいました。』そして優しく、その少年の人

生について話してくれました。そして何年も前に、あの道を重い足取りで歩いてくれた執事を探してもらえないかとわたしに尋ねました。そして感謝を述べ、孫が今では成人していて、そのことをまだ覚えていと伝えてほしいと語ったのです。』(『わたしと一緒に目をさましていなさい』『リアホナ』2001年7月号, 45)

特にだれのことを「覚え」「養う」ように主から期待されているか考えてください。その人々を霊的に養う助けとなる方法を計画してください。紙にその人たちの名前を書き出し、いつも覚えていられる場所にはり出してください。

モロナイ 6:5-9

モロナイ、教会の集会の目的と、集会の開き方について説明する

自分は十代の子供の親であると想像してみましょう。その子供はこの数週間、教会は無意味でつまらないから行きたくないと言っています。自分なら教会に出席するように勧めるために何を言うか、また定期的に通う正しい理由を理解できるように、どのように助けるかを考えてみてください。

その記録の中で、モロナイは靈感を受けて、当時、教会員が一緒に集った理由を書き記しています。モロナイ 6:5-6を研究し、次の文をどのように完成させるか、探し出してください。わたしたちは教会員として、ために、しばしば集まる必要がある。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、教会に出席するときの態度の変化について述べた、ある友人からの手紙の一部を紹介しています。



「別の賢い友人はこう書いています。

『何年も前に、わたしは教会へ行くときの自分の態度を変えました。自分のために教会へ行くことはやめ、人のことを考えるようになりました。一人で座っている人にあいさつをし、訪問者を歓迎し、……割り当てを進んで引き受けるように努めました。……

やがて、毎週、受け身ではなく積極的にになり、人々の生活に良い影響を与えることを目的に教会へ出席するようになりました。その結果、教会の集会に出席することが、以前よりよりはるかに楽しく、充実したものとなりました。』

これらはすべて、何かを得るためではなく、与えるために行動し、奉仕するときに、わたしたちの幸福と充実感は増し加わるという永遠の原則を示しています。』(『無私の奉仕』『リアホナ』2009年5月号, 96)

上の文を完成させるとき、以下に紹介する考え方を幾つか取り入れてもよいでしょう。

わたしたちが教会員として、しばしば集まる必要があるのは――

- 断食し、祈るため。
- 互いに霊的に強め合うため。
- 主イエス・キリストを覚えて聖餐を頂くため。

ワードや支部の会員と一緒に祈ったり断食したりすることの重要性を覚えてくれた経験について考えてみてください。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. もしわたしたちが人々を霊的に強めたいという望みを持って教会に出席するなら、教会で経験することはどのように変わってきますか。

b. イエス・キリストを覚えて聖餐をしばしば頂くことは、なぜ価値のあることですか。

c. 目的を持って教会に行くことについて、上に挙げたことは、どのように「〔あなた〕を正しい道にとどめる」助けとなるでしょうか（モロナイ 6：4）。

モロナイ 6：7－8を読み、モロナイの時代の教会員が「厳密に守った」事柄を見つけてください。これはつまり、何に特別な注意を払っていたかということです。罪を避け、罪を悔い改めるために、互いに教え合い、励まし合うことがなぜ大切なのだと思いますか。

モロナイは、できるだけ頻繁に悔い改めて心から赦しを求めるなら、わたしたちは赦されると証しました。モロナイ 6：8 に書かれているこの真理に印を付けるとよいでしょう。

モロナイはこの章を閉じるに当たり、教会の集會をどのように導くべきかについて教えています。モロナイ 6：9 を読み、教会の集會はだれが導くべきだと言っているか、確認してください。教会の集會中、聖霊の影響に特別に気づいたときのことを考えてください。

教会の集會は聖霊の力によって導かれるという原則は、あなたにどのように当てはまりますか。教会の集會で話をしたりレッスンを教えたりするよう依頼されたら、あなたの語る言葉がその集會の間、聖霊の導きと影響を受ける助けになるようにするために、どのようなことができますか。



5. 聖典学習帳に、次の日曜日にはどんな気持ちで教会の集會に向かうか、その計画を書いてください。礼拝の中に聖霊を招き入れるための方法や、あなたの出席によってほかの人をどう覚え、どう養うことができるのか、その方法について含めるとよいでしょう。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 6 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。

単元 31 — 第 4 日

モロナイ 7：1－19

はじめに

モロナイは父モルモンが何年も前に「愛する同胞」に話した説教を記録しました（モロナイ 7：2）。このレッスンではモロナイ 7 章に記録されているモルモンの説教の最初の部分を取り上げます。ここでは、真心から義にかなった働きをすることについて教えられ、また、善悪を識別する方法が説明されます。次のレッスンでは、モロナイ 7 章にあるモルモンの説教の残りの部分を研究します。

モロナイ 7：1－10

モルモン、イエス・キリストに従う者たちに、御業と目的について教える

見た目がおいしそうでも、中身はそれほどおいしくなかったという経験がありますか。そのような例を一つ挙げれば、酸っぱかったり熟しすぎているりんごのような果物の場合があります。ほかの例を 2 つか 3 つ、思いつくままに挙げてください。



今挙げた例の中から、見た目は良くても現実はそのようではないという物を、外見は立派に見えるけれども心の中の思いは異なっているという人と比較して、考えてみましょう。モロナイは、父モルモンが義になかった行いをするときの心の状態について述べた言葉を記録しています。モロナイ7:2-3を読み、モルモンはどのような聴衆に対して語っていたかを見つけてください。

モルモンは自分の語りかける同胞について「キリストに穏やかに従」っている者であると言っています（モロナイ7:3）。モロナイ7:4-5を研究し、モルモンはこのニーファイ人たちが救い主の真の弟子であることをどのように知ったかを見つけてください。

ただ単に義になかったことを行っているふりをしているだけの人のことを考えてください。なぜそうだと思いますか。あるいはなぜ思いませんか。

モルモンはこの問題をモロナイ7:6で扱っています。この節を研究すると、「真心から」という表現に印を付けたいと思うかもしれません。十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老の次の説明を読むと、真心を持つことの意味について、理解できるようになります。この説明の中から特に心に残った部分に下線を引いてください。

「わたしたちは正しいことを行うだけでなく、正しい理由で行動しなければなりません。現代風の言葉で言えば、善い動機が必要なのです。聖文では、しばしばこの適切な心の状態を十分に固い決意をもってあるいは真心からと表現しています。

聖文から明らかになることは、神はわたしたちの動機を御存じであり、それによってわたしたちの行動を裁かれるということです。」（*Pure in Heart* [1988年], 15）

モルモンは、真心からでなく善い行いをする人の結末について書いています。モロナイ7:7-10をよく読み、真心からでなく義になかったことを行ったらどのようなことが起きるか、探し出してください。ここの聖句から、学ぶことができるのは、「義の行いについて祝福を受けるには、真心から行わなければならない」ということです。真心とは、神や人に対する愛の思いから善い行いをすることも含まれています。

 1. 聖典学習帳に以下の質問に対する答えを書いてください。「真心から善い行いをしたときと、反対に、利己的な目的で善いことを行ったときに、どんな違いがあるか、気づきましたか。」

 2. 善い業を行って祝福を受けるためには、真心から行わなければならないという原則をより深く理解するために、以下の場面を考えてみてください。モルモン書をずっと読んできた友人が、モロナイ7:9が理解できるよう助けを求め、こう言います。「人が真心の伴わない祈りをするならば、『それはその人にとって何に役にも立たない。神はそのような祈りを受け入れられないからである』と書いてあるけれど、わたしは真心から祈っていないと感じることがよくあるんだ。祈りをやめた方がいいんだろうか。」自分の

聖典学習帳に、この質問に対してどのように答えるかを書き、そのように答える理由も説明してください。

ブリガム・ヤング大管長は、真心から祈りたいという望みを得るにはどうしたらよいか、次のような役に立つ勧告をしています。「あなたやわたしが祈りをささげたいかどうかにかかわらず、祈るべき時が来たら、祈りなさい。もし祈る気分でなければ、そうなるまで祈りなさい。」（『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』47）

ヤング大管長の勧告は、祈り以外の戒めにどのように当てはまるか、考えてみましょう。正しいことを行っていると、正しい理由からその戒めに続けて従おうという望みをもたすことがよくあります。

 3. 真心から善い行いをするに関するモルモンの教えを応用できるように、次の戒めの中から一つ選んでください—断食、什分の一、人々への奉仕、聖文研究、両親を敬うこと、道徳的に清く過すこと。（道徳的に清く過すことの中には、インターネットやソーシャルメディアを利用しているときも徳高い状態であることを含みます。また性的な背きに導く恐れがあるいかなることも含みません。）次に、以下の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

- a. 真心からその戒めに従おうとしたときに、どのように祝福を受けてきましたか。
- b. 同年齢の仲間に対して、真心からその戒めに従う方法について、どんなアドバイスをしますか。

モロナイ7:11-19

モルモン、善悪を判断する方法について教える

実際に試してみなくても、悪は悪であることは、どのようにして分かりますか。モルモンは、わたしたちがそのような状況に直面したときに助けとなる勧告を与えています。

 4. モロナイ7:11-13を読み、善悪を判断する方法を探し出してください。特に心に残った言葉があれば、そこに印を付けるとよいでしょう。自分の聖典学習帳に以下の文を完成させることによって、これらの聖句から学んだ事柄を要約してください。

- a. 神から出ているものは……
- b. 悪魔から出ているものは……

モルモンは、神はわたしたちに常に善を行うように勧め、導いてくださると断言しました。モロナイ7:12によれば、悪魔もわたしたちを誘い、そそのかしていることにも注意しましょう。悪魔はどのような方法でわたしたちに罪を犯すように勧め、誘惑するか、考えてみましょう。



十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、絶えずわたしたちを悪事に誘おうとしているサタン（悪魔）の動機について、次のように説明しています。「『ルシフェル』とか『偽りの父』とも呼ばれるサタンは、どのように呼ばれようとも悪の化身として実在するということです。いかなる場合もサタンの動機は悪意に満ちています。

……サタンは神の愛やイエス・キリストの贖罪^{しうぐい}、平和と救いの業に対して永遠に敵対するということです。サタンはこれらに反対して、時と場所を問わず力の限り戦います。自分が最後には敗北して追放されることを知っていますが、できるかぎり多くの人を道連れにする覚悟でいます。」(「戦い止むまで」『リアホナ』2011年11月号, 44)



5. 善悪の判断についてのモルモンの教えを生活に生かせるように、自分の好きなテレビ番組、映画、歌、音楽グループ、インターネットサイト、アプリ、テレビゲーム、または持ち物のリストを聖典学習帳に書いてください。(自分の必要や関心に合わせて、この内容を変えてもかまいません。)このレッスンの終わりには、再度この学習帳に書いたリストに戻ります。

モロナイ7:15-17を読み、神から出たものか、悪魔から出たものかを判断するための方法について知るために役立つ真理を探してください。

キリストの御霊は「キリストの光」とも呼ばれています(モロナイ7:18参照)。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、キリストの光についてわたしたちがもっと深く理解できるよう、次のような説明をしています。



「聖霊とキリストの光は違います。聖文の中では同じ言葉で表されることもあります、それぞれ異なる別個のもので〔す〕。

キリストの光について知れば知るほど、人生に対する理解が増し、すべての人に対する愛が深まります。……

キリストの光、道徳観念、良心など、呼び方はどうあれ、この内なる光、つまり、善悪を区別する知識には、自分で弱めたり無視したりしないかぎり、自分の行動を支配し、変える力があります。……

あらゆる男性、女性、子供は、国、信条、肌の色を問わずどこに住んでいようと、何を信じていようと、どんな職業に就いていようと一だれでもその内に不滅のキリストの光を持っています。」(「キリストの光」『リアホナ』2005年4月号, 8-10)

バプテスマを受けて教会員となった人は、善悪を見分けることができるようになるために聖霊の賜物も授かります。パッカー会長は次のように教えました。「聖霊〔は〕キリストの光を通して働きかけることがおできにな〔ります〕。」(「キリストの光」10)

モロナイ7:18-19をよく読んで、自分の内にあるキリストの光に従って行動する方法についてモルモンはどのように勧告しているかを見つけてください。この聖句の中から、「キリストの光に従うことを熱心に求めるとき、わたしたちは善悪を見分けることができる」ということが書かれている言葉や表現に印を付けるとよいでしょう。

課題5で聖典学習帳に書いたリストを見てください。自分のリストに挙げたものについて慎重に深く考えて、「キリストの光の中で熱心に求め」(モロナイ7:19)、リストに挙げた項目が神からのものなのかどうか決めてください。以下の質問は、判断する際の参考になります。

- このリストの中にあるものは、どの程度あなたに善いことをするように、イエス・キリストを信じるように、神を愛し、神に仕えるように促してくれるでしょうか。
- このリストの中には、「悪を行うように、キリストを信じないように、キリストを否定するように、神に仕えないように」説き勧めるものはありますか(モロナイ7:17)。
- このリストの中で、自分の生活から取り除く必要があると感じるものはありますか。もしそうだとしたら、どのようにして取り除きますか。

モルモンはここで一つの約束をしています。それは、自分の生活の中から良くないものを取り除くことを選び、「善いものをことごとく手にし〔よう〕」とするならば、「キリストの子」となるといふ約束です(モロナイ7:19)。



6. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

___月___日、モロナイ7:1-19を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。

単元 32 — 第 1 日

モロナイ

7:20-48

はじめに

モロナイ7:20-48に記録されているように、モルモンは会堂で説教を続け、人々に「善いものをことごとく手に〔する〕」方法について教えます(モロナイ7:20-21, 25)。また、信仰、希望、慈愛の重要性について説明しました。モルモンは最後に、モルモンが「キリストの純粋な愛」と定義している慈愛を持てるように、熱意を込めて御父に祈るようにと民に勧めました(モロナイ7:47)。

モロナイ 7:20 – 39

モルモン、イエス・キリストへの信仰について教える

モロナイ 7:12 – 13 を読み直し、善悪を区別する方法についてこれまでのレッスンで何を学んだか、考えてください。下の空欄に、善いもの（神からもたらされるもの、キリストを信じるよう説き勧めもの）と悪いもの（キリストを信じないよう、神に仕えないよう説き勧めもの）の例を挙げてください。

善いもの	悪いもの

モルモンが「善いものをことごとく手に〔する〕」よう勧めていることに注意してください（モロナイ 7:19）。善いものをことごとく手にするとはどういう意味だと思いますか、深く考えてください。

モルモンは人々に向かって大切な質問をします。その後、彼自身が答えを出します。モロナイ 7:20 を読み、モルモンがしようとしていた質問を探し出してください。次に、モロナイ 7:21 – 26 をよく読んで、この質問に対する答えを探し出してください。

モロナイ 7:21, 25 を見て、次の原則を教えている言葉や表現に印を付けましょう。「イエス・キリストに対して信仰を働かせるとき、善いものをことごとく手にすることができる。」



1. 聖典学習帳に、次の質問の答えを書きましょう。

a. モロナイ 7:22 – 26 によれば、天の御父は、イエス・キリストを信じる信仰を築こうとするわたしたちを、どのように助けようとしておられますか。

b. イエス・キリストを信じる自分の信仰によって、善いものをことごとく手にすることができた、あるいは悪いものを取り除けるようになったということがあれば、それはどのような場面でしたか。

モルモンは、続けて、イエス・キリストを信じる信仰を働かせる人々にもたらされる善いものを幾つか書き出しています。モロナイ 7:32 – 34 を読み、イエス・キリストを信じる信仰を持つことによってもたらされる祝福を少なくとも各節から一つ選び出し、印を付けてください。



2. イエス・キリストに対してさらに強い信仰を働かせるために、どんなことができますか。それについて考え、祈ってください。心の中に何か目標があったら、それを自分の聖典学習帳に書いてください。この目標は、具体的に何かを実行するという目標で、それによって預言者の言葉に従い（モロナイ 7:23 参照）、さらに信仰をもって祈り（モロナイ 7:26 参照）、罪を悔い改める（モロナイ 7:34

参照）ことができるようになるものです。自分の目標を書くときには、それを達成する方法も詳細に書いてください。また、その目標が自分の生活にどのようにして善いものをもたらしてくれるのか、ということも書いてください。

モロナイ 7:40 – 43

モルモン、希望について教える

モロナイ 7 章に記録されている説教の中で、モルモンは、永遠の命に必要な 3 つの神聖な原則について、細かく教えています。十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、この「神聖な 3 つの原則がわたしたちの生活の基盤となる」と教えました。また、この 3 つの原則は「三脚いすの脚のように……わたしたちを支える土台とな〔る〕」と語っています（「希望のかなった喜び」『聖徒の道』1993 年 1 月号, 39）。



次の教材を研究すると、モルモンの言った 3 つの原則がどこに書かれているか、分かります。第 1 の原則は信仰です。これは、モロナイ 7:20 – 39 で研究したばかりです。上のいすの脚の一つにイエス・キリストを信じる信仰と書いた紙をはってください。モロナイ 7:40 を読んで、2 本目の脚は何を表すか、探し出してください。その原則を 2 本目の脚の近くに書いてください。

モロナイ 7:41 – 42 を読み、わたしたちは何を望むべきかについてモルモンが教えたことを探してください。（モロナイ 7:41 はマスター聖句です。）ここで 2 本目の脚にはった紙に、「永遠の命」と書き加えるのもよいかもしれません。そうすると紙は、「永遠の命への希望」ということになります。

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長は、モルモンの言っている希望について、次のように語っています。



「希望は御霊の賜物です。それはキリストの贖いと復活の力を通して、また救い主を信じる信仰により、わたしたちが永遠の命へ引き上げられるという希望です。……」

希望は知識ではありません。希望は、主がわたしたちへの約束を果たしてくださるという、変ることのない信頼です。神の律法と預言者の言葉に従って今行動すれば、望んでいる祝福を将来受けられるという確信です。祈りはこたえられると信じて待ち望むことです。希望は、自信、楽観、熱意、粘り強く忍耐するといった特質に表れます。（「希望という無限の力」『リアホナ』2008 年 11 月号, 21 – 22）

モロナイ 7:40 - 42 で学ぶ一つの原則は以下のとおりです。「イエス・キリストを信じる信仰を働かせるなら、贖罪を通して永遠の命によりがえる希望を持つことができる。」

モロナイ 7:34 を読み、モルモンが語った信仰や希望を人が持つために必要な性質を見つけてください。

「柔和で心〔が〕へりくだっ〔ている〕」とは、心から謙遜で、穏やかで、主の御心に喜んで従うことを意味します。「イエス・キリストの贖罪に信仰と希望を持つために、柔和で心がへりくだっている必要があるのはなぜだと思いますか。」



3. 聖典学習帳に、イエス・キリストと主の贖いに対する信仰を持つことで、どのように希望が与えられるか、書き出してください。

モロナイ 7:44 - 48

モルモン、慈愛について教える

このレッスンの最初のいすの絵に戻ってみましょう。モロナイ 7:44 を読み、モルモンが教える 3 番目の原則を探し出してください。この最後の原則をいすの最後の脚にはってください。

モロナイ 7:44 - 48 に記録されているように、モルモンは慈愛について力強く説明しています。モロナイ 7:45 - 47 を読み、モルモンが慈愛を定義するために使った言葉や表現に印を付けてください。(モロナイ 7:45, 47 - 48 はマスター聖句です。)モルモンの教えたことをさらに理解するために、自分の聖典に以下の定義を書いておくのもよいでしょう。「長く堪え忍〔ぶ〕」とは忍耐強く堪え忍ぶという意味であり、「ねたま〔ない〕」とは、うらやましく思わないという意味です。「誇ら〔ない〕」とは謙遜で柔和だということであり、「自分の利益を求め〔ない〕」とは自分のことよりも神やほかの人々のことをまず優先するという意味で、「容易に怒ら〔ない〕」とは簡単に怒らないということであって、「すべてを信じ〔る〕」とはすべての真理を受け入れるということです。



4. 聖典学習帳に、以下の質問の中からいくつか選んで答えを書いてください。

- モロナイ 7:45 - 47 の定義に基づいて、なぜあなたは、わたしたちが受けることのできる賜物の中で慈愛が最高の霊的賜物なのだと思いますか。
- 慈愛はいつまでも絶えることがないとはどのような意味だと思いますか。
- 慈愛がなければ、なぜその人は何の価値もないのでしょうか。

1 コリント 13 章にある使徒パウロの慈愛に関する教えを語ってから、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老は次のように説明しています。「慈愛がいつまでも絶えること

がなく、慈愛がパウロが挙げたいかなる善行よりも大切であるのは、慈愛、すなわち『キリストの純粋な愛』が(モロナイ 7:47)、人の行動ではなく、人の状態だからです。慈愛を身に付けるには改心へとつながる行動が常に必要とされます。こうして人は慈愛を身に付けた者となるのです。このため、モロナイが宣言したように、『人は慈愛を持たなければ、あなたが御父の住まいに用意してくださった場所を受け継ぐことができません。』(エテル 12:34, 強調付加)」「(主の望まれた者となるというチャレンジ)」「(リアホナ 2001 年 1 月号, 42)」

次の状況を読み、慈愛の賜物が欠けていればどのような対応をすると思うか、また慈愛に満ちているなら、どのような対応をすると思うか、考えてみましょう。

- 学校ではかの生徒が、あなたやほかの人のことをばかにしている。
- あなたのきょうだいが、いつもあなたをいらだたせる。
- 定員会あるいはクラスのアドバイザーとして新しい人が召されたが、以前のアドバイザーの方が好きだった。

自分たちの生活の中で慈愛をはぐくむことがいかに大切か説明した後に、モルモンはこのきわめて重要な特質を獲得する方法を説明します。モロナイ 7:48 を読み、以下の原則を教えている言葉や表現に印を付けてください。「熱意を込めて祈り、イエス・キリストに真に従う者として生きるなら、慈愛に満たされる。」熱意を込めて慈愛の賜物を求めて祈ることは、この賜物を求めて何気なく祈ることよりも大切なのはなぜか、深く考えてみてください。



5. あなたはこれまでどのようなときに、あなたが慈愛に満たされるよう主が助けてくださるのを感じてきたでしょうか。聖典学習帳に、そのときのことについて書いてください。あるいは、あなたはこれまでどのようなときに、だれかが慈愛に満たされている様子を見てきたでしょうか。そのときのことを書いてください。加えて、モロナイ 7:45 に挙げられている慈愛の特質の一つをどのように改善していくのか、その具体的な目標を設定してください。その目標を達成しようとするときに、慈愛の賜物を求めて祈りましょう。

マスター聖句—モロナイ 7:41

この節全体を紙に書き写してください。この節を何度か繰り返して言うてみてください。節全体を暗唱できるようになるまで、一部の言葉や表現を消しておいてください(または線を引いて見えなくしておいてください)。

マスター聖句—モロナイ 7:45, 47 - 48

紙を 1 枚用意して、この 3 つの節から、文節の最初の文字を書き出します。この紙を参考にしながら、この 3 つの節の暗唱に努めます。何回か暗唱してみたら、文字を少し

ずつ消し、完全に暗唱できるようにします。次に挙げる以下の人々の中から、あなたがもっと慈愛を持ちたいと思う人々を一つ選びます。「家族、教会の定員会やクラスの仲間、学校のクラスメート、友人、隣人。」モロナイ 7:45 を読みながら、自分が選んだ人々のことを考えます。そして、この人々にもっとキリストのような愛を示す方法を考えてみましょう。

 6. 聖典学習帳に、この人々にもっと深い慈愛を示すための方法を幾つか書き出してください。来週 1 週間、この人々たちに対する慈愛をもっとはぐくめるよう、主の助けを求めて祈ってください。週の終わりには、自分の経験を友人か家族と分かち合ってください。

 7. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 7:20 - 48 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

単元 32 — 第 2 日

モロナイ 8 - 9 章

はじめに

モロナイ 8 章は、幼い子供にバプテスマが必要でない理由について、モルモンが息子モロナイにあてて書いた書簡 (手紙) です。この手紙の中で、モルモンはまた、神とともに住む備えをする方法についても教えています。モルモンは手紙の最後に、ニーファイの民の邪悪と彼らの滅亡が迫っていることについての懸念を記しています。モロナイ 9 章には、モルモンが息子にあてて書いた最後の手紙が記録されています。モルモンはニーファイ人の邪悪な状態について嘆き、ニーファイ人の悔い改めを助けるために熱心に働くよう、モロナイに促しています。民の腐敗にもかかわらず、モルモンは息子に対してキリストに忠実であるように、また永遠の命を受けるという約束に希望を抱くようにと励ましました。自分の民が堕落した状態にあったにもかかわらず、モルモンは息子に対して、キリストに忠実であるように、そして永遠の命の約束をとこしえにその心に持ち続けるようにと励ましました。

モロナイ 8:1 - 24

モルモン、バプテスマが必要な人々について息子のモロナイにあてて書く

これまで末日聖徒イエス・キリスト教会の子供たちが 8 歳になるまでなぜバプテスマを受けないのか、疑問に思ったことはありますか。モルモンは息子モロナイにあてた手紙の中で、幼い子供たちの救いとバプテスマについての重要な真理を幾つか教えています。その中には、子供たちが 8 歳になるまでバプテスマを受けない理由も含まれています。モルモンはモロナイへの手紙の冒頭で、ニーファイ人の間で起きている論争 (不一致) について採り上げます。モロナイ 8:4 - 6 を読み、ニーファイ人が論争している教義とは何か、探し出してください。

モロナイ 8:7 を読み、モルモンがこの問題について知った後で何をしたかを見つけてください。救い主はモルモンの祈りにこたえて、責任を負うことができない年齢の子供がバプテスマを受ける必要はない理由を説明されました。モロナイ 8:8 - 9 を読み、幼児や幼い子供がバプテスマを受けない理由について救い主が何と言っておられるか、探し出してください。

モロナイ 8:8 にある「アダムののろい」とは、堕落の結果、アダムが神の前から離されることです。ニーファイ人の中には、バプテスマの教義について理解していない者がいたことは明らかです。そのため、バプテスマの儀式を受けていない幼い子供たちは神の前にふさわしくないと過って信じていました。そして、子供たちがまだ幼いうちにバプテスマを施したいと考えていたのです。この節を理解するために、罪とは「神の戒めに故意に従わないこと」(『聖句ガイド』「罪」scriptures.lds.org) だということに注意しておくといよいでしょう。この節の教義をもっと深く理解するために、モロナイ 8:8 と信仰簡条第 2 条とを照らし合わせてもよいでしょう。

モロナイ 8:10 を読み、以下の真理を完成させる言葉を探してください。「悔い改めとバプテスマが必要である人とは、_____。」

責任を負うことができ、罪を犯す可能性のある人にだけ、悔い改めとバプテスマが必要であるので、モルモンは、責任を負うことができない年齢の子供にバプテスマを施すのは間違っていると教えました。モロナイ 8:11 - 13, 18 - 22 を読み、幼い子供たちのバプテスマが間違っている理由を説明しているモルモンの言葉を探してください。この節では次の教義を教えています。「幼い子供たちはイエス・キリストの贖いによって救われている。」

主は責任を負うようになる年齢は8歳であると定められました(教義と聖約 68:25 - 27; ジョセフ・スミス訳, 創世 17:11 [聖句ガイド] 参照)。子供たちが8歳になる前は、彼らは罪を犯すことができません。サタンには幼い子供たちを誘惑する力が与えられていないからです(教義と聖約 29:46 - 47 参照)。8歳に達する前に子供たちが犯す過ちは、罪とはみなされません。



十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、幼い子供たちが罪を犯すことができない理由を次のように説明しています。「教義により、わたしたちは、責任を負うことができない年齢の子供は『罪を犯すことができない』(モロナイ 8:8) ことを理解しています。その期間に、子供は非常に深刻な罪、正さなければならない重大な罪でさえ犯す可能性があります、その行為は罪とされず、責任を問われることはありません。」(“Sins and Mistakes,” *Ensign*, 1996 年 10 月号, 65)

その手紙の中で、モルモンは、幼い子供たちは「キリストによって生きている」のであって、たとえ8歳になる前に亡くなったとしても、イエス・キリストの贖いによって贖われているとも証しました(モロナイ 8:12 - 15, 22 参照)。

モルモンは、幼児や幼い子供たちにバプテスマが必要ない理由を説明するとともに、以下の真理を証しました。「神

はその子供たちの扱いにおいて完全に公正な御方である。」これは、神はすべての人が救いにあずかることができるよう、公正で公平な機会を保証しておられるという意味です。



1. 次の活動を行うと、モロナイ 8 章の前半の部分で教えられている教義を上手に説明できるようになります。下に書かれている場面から一つ(あるいは両方)を選び、聖典学習帳に、モロナイ 8:8 - 24 の中から、それぞれの場面で疑問を持った人に答えるときに参考になる節を一つか二つ選び出します。次に、その場面の答えとなる短い文章を一つか二つ書きます。答えの中に、聖文から採った節を使ってください。

a. 宣教師であるあなたは、真心から真理を求めている人に会います。この人の説明では、幼い子供たちはアダムの背きによって罪を負って生まれて来ると生涯教えられてきたそうです。そのため、幼児がバプテスマを受けずに亡くなったときには、彼らは罪を負ったままで救われることはないと思うています。

b. 最近の改宗者ですが、子供が8歳になったらバプテスマを受けるとするのは良い考え方と同調してくれます。しかし、こうも尋ねます。「人が8か月でバプテスマを受けようと、8歳で受けようと、実際大して重要なことではないんじゃないですか。」

モロナイ 8:25 - 30

モルモン、神とともに住むためにしなければならないことについて教える

モルモンは、幼い子供たちにバプテスマが必要ない理由を教えた後、責任を負うことができる年齢に達した人はバプテスマを受けなければならないと教えます。また、わたしたちがバプテスマを受けた後に、神とともに住むためにしなければならないことを説明します。

モロナイ 8:25 - 26 を読み、神とともに住むためにしなければならないこと、またどんな特質を伸ばさなければならないか、探し出してください。自分の聖典で見つけた事柄に印を付けるとよいでしょう。「柔和」とは神の御心に従順であるということであり、「心のへりくだった」というのは、真心から謙遜であるということが分かりますと理解しやすいかもしれません。

モロナイ 8:25 - 26 で教えられている次の原則を、自分の聖典に書き留めておくといよいでしょう。「戒めを忠実に守るとき、わたしたちは聖霊を受け、神とともに住む備えをすることができる。」



2. 以下の質問をすることで、モロナイ 8:25 - 26 をさらに理解できるようになります。質問事項をすべてよく考えて、その中から二つ以上の質問を選び、その答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 罪の赦しを受けることによって、柔和で心のへりくだった状態が生じるのはなぜだと思いますか。

b. 心が柔和でへりくだっていると、どのように生活の中に聖霊が招かれるのでしょうか。

c. 聖霊を受けることで、どのように神とともに住む備えをする助けとなるのでしょうか。

d. モルモンは、もしわたしたちが永続する愛で満たされたいと思うなら、熱心に祈らなければならないと教えました。わたしたちが愛で満たされたいと願うなら、熱心に祈ることが必要なのはなぜだと思いますか。

モロナイ 8:27 に記録されているように、モルモンはニーファイ人の中に見られる高慢の罪について責めます。モロナイ 8:27 を読み、ニーファイ人の高慢がもたらした結果を探してください。その後、モロナイ 8:26 に書かれている柔和と謙遜がもたらす結果と、高慢がもたらす結果を比較してください。

モルモンは、モロナイにニーファイ人の民のために祈るように勧めます。それは、彼らが悔い改め、手紙の中に書いたような祝福にあずかることができるかもしれないと考えたからでした (モロナイ 8:28 - 30 参照)。モルモンが息子にあてた勧告を利用して、あなたの知り合いで、福音の祝福を必要とする特定の人のために祈ることを考えてください。そして、そういう人を助けるための方法を探してみましょう。

モロナイ 9:1 - 20

モルモン、ニーファイ人とレーマン人の罪悪について記す

だれかを助けようとして拒絶されたときのことを思い出してみましょう。良い動機でだれかを助けようとしたときに、繰り返し拒まれたら、人はどのように反応するのでしょうか。モロナイ 9 章に記された、モルモンが息子モロナイにあてた 2 通目の手紙について研究しながら、息子モロナイにニーファイ人を見捨てないように励ますモルモンの言葉を探し出してください。

モロナイ 9:1 を読み、モルモンが手紙の中でこれから触れようとしている状態をどのような言葉で表現したかを探してみましょう。ここで使われている「悲しい」という言葉 (英語では *grievous*) は、ひどく心をかき乱す状態を表します。モロナイ 9:2 - 19 に記録されているように、モルモンは民の中に心をかき乱す事柄が起きていることを記録し、民がひどく邪悪になっている状況について書いています。ヤレドの民の中で預言者として仕えたエテルのように、モルモンは人々が怒りと邪悪に負け、墮落して行くのを目にしました。モルモンは、主の御霊がすでに彼らを励ますのをやめているのではないかと恐れていました (モロナイ 9:4 参照)。

ニーファイ人が神の言葉に対して心をかたくなにし、預言者たちが民を救おうとする努力を拒んだにもかかわらず、モルモンは彼らの中で働き続けます。それはなぜか、深く考えてみましょう。

モルモンはモロナイに対して、心を開いていない人々にどのように仕え、教え、導くべきか、力強い勧告を幾つか与えています。モロナイ 9:3 - 6 を読み、以下の原則を教えている言葉や表現に印を付けましょう。「たとえわたしたちの仕える相手が肯定的に反応しなくても、わたしたちは神の務めに熱心に働く必要がある。」6 節は、この原則を教えるときに特に参考になります。

モロナイ 9:21 - 26

モルモン、モロナイに忠実であるように励ます

最近、近隣地域や日本、あるいは世界で起こった、人々を落胆させるような出来事について考えてみてください。モロナイ 9:25 - 26 を読み、落胆するような状況において何をすべきかについて、モルモンがモロナイに与えた勧告を探してください。



3. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。「モルモンはモロナイに、何を『とこしえにあなたの心の中にとどまるよう』にしなければならないと語りましたか (モロナイ 9:25)。」「救い主や主の贖いを覚えることは、わたしたちが困難に陥ったり、邪悪に取り囲まれたりしたとき、どのように助けになるのでしょうか。」

モルモンがモロナイに与えた勧告から、わたしたちは以下の原則を学ぶことができます。「イエス・キリストに忠実であるなら、困難や邪悪に取り囲まれていても、主はわたしたちを助け、高めてくださる。」「キリストに忠実である」ということは、どんなときでも救い主の真の弟子として行動しようと努め、救い主とその贖いを常に忘れず、その戒めを忠実に守るということです。



4. 自分や身近にいる人は先に挙げた原則が真実であることを示す経験をしたことがあるでしょうか。それはどのような経験ですか。聖典学習帳に書いてください。

たとえ邪悪や困難な状況に囲まれたりしても、キリストに もっと忠実な者となるための方法を一つ考えてください。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 8 - 9 章を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと (質問、思ったことや分かったこと)。

モロナイ 10 : 1 – 7, 27 – 29

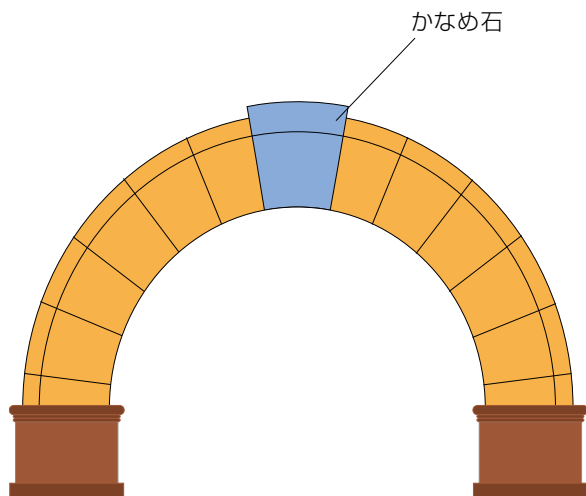
はじめに

モロナイは将来彼の証を読むことになるレーマン人とかのすべての人々に、彼の言葉が真実かどうかを知るために神に願ひ求めるように勧めました。モロナイは、モルモン書とイエス・キリストの証は聖霊の力によってもたらされると教えました。モロナイは、神の法廷の前で彼の記録を読む人々に会うこと、そのとき、神がモロナイの言葉が真実であることを確認してくださることを大胆に宣言しました。

モロナイ 10 : 1 – 7

モロナイ、モルモン書とイエス・キリストについての証を得るように勧める

この手引きの単元 1 にある、モルモン書を紹介するレッスンを見直してください。アーチのかなめ石の目的と、かなめ石がモルモン書とどのような関係があるか、覚えていますか。モルモン書の序文（モルモン書の最初にあります）を開き、第 6 段落にある預言者ジョセフ・スミスの言葉を読んでください。



預言者ジョセフ・スミスは、モルモン書はわたしたちの宗教の「かなめ石」であると説明しています。つまり、モルモン書に関するわたしたちの証は、回復された福音のあらゆる真理に関するわたしたちの証を支え、強めるものであるということです。モルモン書の序文の最後の段落を読み、モルモン書の証を得ることによって知ることができる真

理を探してください。かなめ石がアーチ全体を支えているのと同様に、あなたの証はモルモン書によってどのように支えられ、強められているでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスが金版を受け取る 1400 年前に、モロナイは父親の記録の最後の部分に、終わりの時代にモルモン書を手にする人々に対する最後の勧めを書きました（モロナイ 10 : 1 – 2 参照）。「勧める」という意味の英語「exhort」には、「強く励ます」という意味があります。モロナイは、モルモン書の最後の章の中でこの言葉を 8 回（日本語では 9 回）使っています。モロナイは、モルモン書を手にするすべての人に、それが真実で神聖な書物であるという証を求めるように勧めました。

モロナイ 10 : 3 – 4 を読み、モルモン書の証を得るためにわたしたちは何をしなければならないとモロナイが言っているか、探し出してください。自分の聖典のその部分に印を付けるとよいでしょう。モロナイはわたしたちのしなければならないことについて言及していますが、次の情報を読み、それを一つずつ研究していきましょう。

「この記録を読む」

モルモン書が真実であるという証を得るための最初のステップは、まずそれを読むことです。七十人会長会のタッド・R・カリスター長老は次の話を紹介しています。これは、モルモン書を読んで祝福を受けた若い女性の経験です。

「14 歳の少女が……学校で友達の一人と宗教について話し合ったことを話しました。友達は彼女に、『あなたの宗教は何?』と尋ねました。

彼女は『末日聖徒イエス・キリスト教会、モルモンよ』と答えました。

友達は、『わたしその教会を知っているわ。ほんとうじゃないって知っている』と言いました。

『どうして分かるの?』と彼女は聞きました。

友達は、『調べたから』と答えました。

『モルモン書を読んだことがあるの?』

答えは、『いいえ、ないわ』でした。

そこで、このすてきな若い女性はこう言いました。『それじゃあ、わたしの教会について調べたことにはならないわ。わたしはモルモン書のすべてのページを読んだので、それがほんとうだと知っているのよ。』（「モルモン書—神からの書物」『リアホナ』2011 年 11 月号, 76）

モルモン書が真実であるという証を得るために、なぜモルモン書を読むことが必要なのだと思いますか。 _____

「主が……^{あわ}どれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こ〔す〕」

次のステップは、「主が……どれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こ〔す〕」ことです。わたしたちの生活の中にある主の憐れみを覚えることによって、心が和らげられ、聖霊を受ける備えができます。自分の生活の中で主の憐れみを感じたときのことを深く考えてみましょう。

モルモン書の最初のところで、ニーファイは、自分の記録によって主の深い憐れみの数々の例を示そう、と宣言しています（1 ニーファイ 1：20 参照）。モルモン書の最後の部分で、モロナイは主の憐れみを思い起こすようにとわたしたちに求めています（モロナイ 10：3 参照）。参照聖句としてモロナイ 10：3 の近くに 1 ニーファイ 1：20 と書いておくといでしょう。

 1. 聖典学習帳に、以下の質問の答えを書きましょう。

- a. あなたの生活の中で主の憐れみが示された証拠として、どんな出来事を目にしてきましたか。
- b. 主の憐れみを思い起こすことが、どのように人がモルモン書についての証を得る助けとなると思いますか。

人や自分自身に対する主の憐れみを思い起こすことにより、わたしたちのために与えられたモルモン書のメッセージについて深く考える備えをすることができます。

「心の中で深く考え〔る〕」

モロナイが教えた次のステップは、「心の中で深く考え〔る〕」ことです。十二使徒定員会のマービン・J・アシュトン長老は、深く考えることが生活の中で聖霊を受ける助けとなると説明しています。



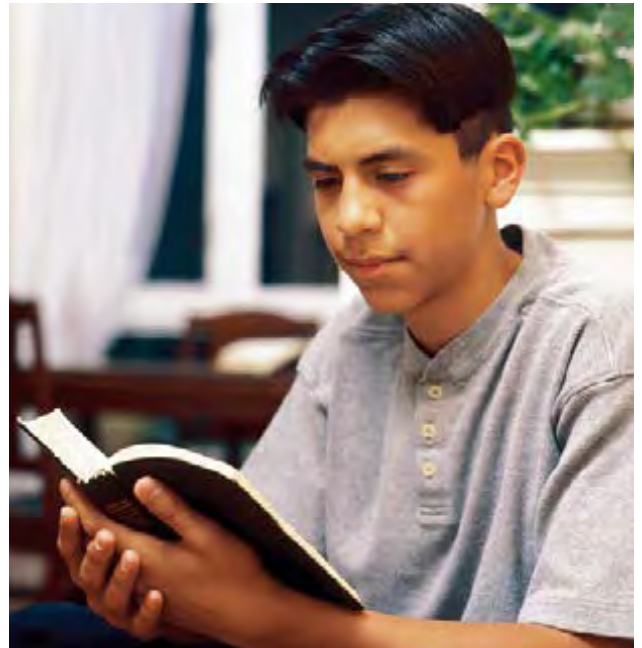
「わたしは聖文を読む度に、モルモン書に頻繁に出てくる『ponder』（深く考える）という言葉に目が留まり、心を動かされます。辞典を見ると『ponder』には『考える』『深く考える』『じっくり考える』という意味があります。……モロナイも、自分の記録の最後でこの言葉を使っています〔モロナイ 10：3 参照〕。

わたしたちは深く考えることによって、御霊の導きを受ける機会を得ることができます。物事を深く考えることは、思いと心を結びつける強力な環となります。聖典を読むと、その中に書かれた言葉はわたしたちの思いと心に訴えかけてきます。この深く考える賜物を用いる人は、永遠の真理を受け入れ、それを日々の行動の中に取り入れる方法を理解できるようになります。……

物事を深く考えることは、進歩の機会になるだけでなく偉大な賜物ともなります。その賜物を用いる人は理解力、洞察力を深め、知識を応用する力を高めていくことができます。」「（『多くの賜』『聖徒の道』1988年1月号、20－21 参照）

 2. 聖典学習帳に、以下の質問から一つまたは両方に答えてください。

- a. モルモン書の研究において、あなたはこれまでどのように、深く考えることによって聖霊の導きを感じる経験をしてきたでしょうか。
- b. 聖文を研究するときに、深く考えることをもっと頻繁に、効果的に行うために、何ができるでしょうか。



「キリストを信じながら、誠心誠意問う」

「誠心誠意祈る」とは、「神から受ける答えに従って行動する意思がある」という意味です（『わたしの福音を宣べ伝えなさい』111）。

ロドルフォ・アーマンド・ペレス・ボニーヤという人物は、誠心誠意祈ることの重要性を知りました。彼は9歳でバプテスマを受けましたが、家族は活発な教会員ではありませんでした。彼は10代になったとき、福音について考え始め、次のような経験をします。

「時折、何が正しいかを知らうとして祈ったことはありました。でも、それは心から尋ねるというよりも、ふと考えたというものでした。それから、ある晩、『誠心誠意』祈らうと決心しました。

わたしは天の御父に、御父を知りたいこと、主の真実の教会の一員になりたいことをお話しました。そして、このように約束しました。『もしわたしに、ジョセフ・スミスが真実の預言者であり、モルモン書が真実であると知らせてくださるなら、主がわたしに望んでおられることは何でも行います。末日聖徒イエス・キリスト教会が真実の教会なら、わたしはそれに従い、決してやめません』と。

強烈な示現は何もありませんでしたが、わたしは平安を感じて床に入りました。数時間後に目を覚ましたとき、わたしにははっきりと分かりました。『ジョセフ・スミスは真の預言者である。モルモン書は真実だ』という思いです。そして信じられないほどの平安を感じました。そしてまた眠りに就きました。その後目覚めたときにも、まったく同じ思いがあり、同じ気持ちを感じました。

その時以来、ジョセフ・スミスが真の預言者であることを疑ったことはありません。この業が救い主の業であり、天の御父がわたしたちの心からの祈りにこたえてくださるということを、わたしは知っています。(ロドルフォ・アーモンド・ペレス・ボニーヤ, “How I Know,” *Ensign*, 2011 年 10 月号, 64)

 **3.** あなたがどれほどモルモン書は真実であるという強い証を持ちたいと心から願っているか考えてください。自分の聖典学習帳に、モルモン書の証を得るためにこれまであなたがしてきたことを、幾つか書き出してください。次に、モルモン書に対してもっと強い証を得るためにどんなことができるか、書いてください。

モロナイ 10:4 をよく読み、思い起こし、深く考え、問うという方法に従う人々に神が約束しておられるとモロナイが証していることを見つけてください。自分の聖典でこの約束

に印を付けるとよいでしょう。(モロナイ 10:4-5 はマスター聖句です。)

モロナイ 10:5-7 を読み、聖霊を通してさらに何を知ることができるかと約束されているかを見つけてください。

モロナイ 10:3-7 からわたしたちが学ぶことのできる原則は、以下のとおりです。「**信仰をもって求めるなら、聖霊を通してモルモン書とイエス・キリストについての証を受けることができる。**」この原則を、聖典のこの聖句の近くに書いておくとよいでしょう。



4. 次の質問の答えを聖典学習帳に書きましょう。

a. 今年、読み、思い起こし、深く考え、祈ることによって、モルモン書とモルモン書が教える真理に関する証がどのように強められたか、あるいはその証を得る助けになったか、記録してください。

b. 聖霊がモルモン書が真実であることやほかの福音の真理を証してくれたと感じたときのことを考えてください。ほとんどの場合、啓示は驚くような方法では与えられないことを覚えておくのは大切なことです。ほとんどの人は、温かく、平安な気持ちを感じる、または、真理の確信を得るなど、聖霊からの静かで目立たない促しを感じます。御霊はまた、少しずつ福音の真理を証し、徐々に時間をかけて真理を知ることができるよう助けてくれます。聖霊による確認の証を感じたときのことを書いてください。

モロナイ 10:27-29

モロナイ、自分が、将来神の法廷でわたしたちに会うことを証する

モロナイ 10:27-29 を読み、この部分がどのように以下の原則を教えているか、考えてください。「**モルモン書を手にした人は、それをどのように扱うかについて、神に責任を問われる。**」神の法廷でモロナイと会う機会があると想像してください。モルモン書について、またモルモン書から自分の生活にどのような影響を受けたかについて、あなたはモロナイに何と言おうと思いますか。深く考えてください。

マスター聖句—モロナイ 10:4-5

モロナイ 10:4-5 を暗唱することは、あなたにとってモルモン書のメッセージをほかの人と分かち合う大きな助けとなります。今、少し時間を取って、この部分を 1 語ずつ暗唱することを考えてください。そのための一つの方法は、まずこの部分を声に出して何度も読むことです。次に、この部分を 1 語ずつ 3 回、紙や聖典学習帳に書き出します。そこまで終わったら、ちゃんと暗唱できるかどうか、確認しましょう。



5. 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 10:1-7, 27-29 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと(質問、思ったことや分かったこと)。



モロナイ 10:8 – 26, 30 – 34

はじめに

聖霊によってすべてのことの真理の証を得る方法を教えた後で、モロナイは、彼の言葉を読む人々に御霊の賜物を受け、認識するように勧めました。モロナイはモルモン書の記録を終えるに当たり、すべての人にイエス・キリストのもとに来て、キリストが与えようとされるあらゆる善い賜物を受けて、キリストを通して完全な者となるように勧めています。

モロナイ 10:8 – 26

モロナイ、御霊の賜物と、主の業における御霊の賜物の目的について教える

天の御父の助けによって、自分の力ではできなかったことができたときのことを考えてみましょう。モロナイは最後の章の中で、主はわたしたちに助けや強さを受けることがおできになると証しています。モロナイ 10:8 を読み、忠実な子供たちに与えられる霊的な力や天の御父の祝福を表す言葉を探してください。

モロナイが、モロナイ 10:8 で言っている「神の賜物」という言葉は、「御霊の賜物」あるいは「霊的な賜物」と呼ばれることもあります。自分の聖典で「神の賜物」という表現に印を付けておくとよいでしょう。自分の聖典のモロナイ 10:8 の近くに、以下の真理を書いておいてください。「神はその子供たちを益するために御霊の賜物をお与えになる。」「人を益する」とは、神の子供たちの益になる、あるいは役に立つということです。

モロナイ 10:9 – 16 を読み、モロナイの挙げた霊的な賜物に一つずつ印を付けてください。大切なことは、モロナイがここで採り上げた霊的な賜物が、現存する数多くの霊的な賜物のほんの一部の例でしかないことを知ることです。十二使徒定員会のマービン・J・アシュトン長老は「神はすべての人に、少なくとも一つ以上の特別な才能を与えておられるのです」と教えています。



「自分には何の才能も賜物も与えられていないと決めつけるのは、人生で最も悲しむべきことではないでしょうか。……背の高さ、教養、学校の成績、経済力、権力、容貌などを見て、自分には何の賜物も与えられていないなどと思いつくのは、不当であるばかりか、道理にかかったことでもありません。……

……必ずしも目立つものではありませんが、非常に大切な賜物を幾つか採り上げてお話してみたいと思います。その中には皆さんが持っている賜物もあるでしょう。目立った賜物ではないかもしれませんが、現実に存在し、価値のある賜物です。

このあまり目立たない賜物とは、実際どのようなものがあるのでしょうか。人に質問をする、人の話を聞く、静かな細い声に聞き従う、人のために嘆き悲しむ、争いを避ける、人当たりがよい、むなしい言葉を繰り返さない、義を追い求める、批判的にならない、神に導きを求める、キリストの弟子としてふさわしい生活をする、人々に関心を向ける、物事を深く考える、祈りをする、力強い証を述べる、聖霊を受ける、など様々な賜物があります。

人は皆、神の御霊によって何か賜物を与えられているということを忘れてはなりません〔教義と聖約 46:11 – 12 参照〕。自分に与えられた賜物を受け入れ、分かち合うことは、わたしたちの権利であり、義務でもあります。神の賜物と力は、すべての人に開かれているのです。」「〔多くの賜物〕」〔聖徒の道〕1988 年 1 月号, 20 参照)

モロナイ 10:17 を読み、忠実な教会員ならだれでも少なくとも一つの霊的な賜物を授かるとモロナイが教えていることに注目してください(教義と聖約 46:11 も参照)。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、次のように教えています。「御霊の賜物は……わたしたち一人一人が永遠の命という目標に到達できるよう助けてくれます。



こうした御霊の賜物は聖霊の賜物によって包まれています。聖霊は永遠の神会の第三の御方であって、聖き御霊として認識されています。この聖き御霊は神からの賜物の一つであって、わたしたちが使命を見つけ、果たせるよう、わたしたちの決断を助けてくれます。

……

この末日において、御霊の賜物についての理解は、教義と聖約第 46 章に記録されている啓示によって明らかになっています。第 46 章には、御霊の特別な賜物について、次のように紹介されています。

『すべての人があらゆる賜物を与えられるわけではない。賜物は多くあり、各人に神の御霊によって一つの賜物を与えられるのである。』(11 節)

明確に教えられていることは、わたしたち一人一人に、一つまたは複数の賜物を与えられているということです。わたしたちは自分にどのような賜物を与えられているか、知っているでしょうか。わたしたちは自分に与えられた賜物を見つけ出そうと努力しているでしょうか。」「(“Gifts of the Spirit,” *Ensign*, 2002 年 2 月号, 12)



1. 神からこれまでに受けた霊的な賜物について考えてみてください。それから、聖典学習帳に、次の質問の中から二つまたはすべてに答えてください。

- a. 御霊の賜物からどのような益を受けてきましたか。
- b. 霊的な賜物は、教会でどのようなときに見られますか。
- c. 自分の霊的な賜物を用いてほかの人々の生活を祝福するにはどうしたらよいでしょうか。あなたの生活はほかの人の賜物によってどのような祝福を受けてきましたか。

モルモン書の出現に際して、どのように霊的な賜物がだれの目にも明らかになったのか考えてください。それぞれの絵を見て、ジョセフ・スミスの生涯でどんな霊的な賜物が明らかになったか、下のスペースに書き出してください。



モロナイ 10 : 11 _____



モロナイ 10 : 14 _____



モロナイ 10 : 16 _____

モロナイは、わたしたちが霊的な賜物を受けるためには信仰がなければならないと証しています。また、神は「今日も、明日も、とこしえに同じ御方で、人の子らの信仰に応じて力をもって働かれる」と教えています（モロナイ 10：7）。モロナイ 10：19、24 を読み、霊的な賜物を受けたり、認識したりするのを妨げるものとして、どんなものがあるか、探してください。

 2. 不信仰の状態にある人々は、神の力や賜物に気づいたり、それらを受けたりすることができないのはなぜだと思いますか。聖典学習帳にその理由を書いてください。

モロナイ 10：20－23 を読み、信仰、希望、慈愛という大切な霊的な賜物についてモロナイがどう教えているか、探してください。モロナイは、信仰という霊的な賜物はすばらしい祝福へとつながると証しています。23 節を見て、その祝福を探してください。次の原則を教えているモロナイ 10：23 の文に印を付けるとよいでしょう。「信仰があれば、わたしたちは天の御父がわたしたちに望んでおられることを行うことができる。」

 3. 自分の生活の中でこの原則が成就したことが、あるいは成就するということが認識できるよう、以下の文から一つか二つ選んで、その答えを幾つかの文にして聖典学習帳に書いてください。

- a. モロナイ 10：23 の約束が成就するのをわたしが経験したのは、__ときでした。
- b. モロナイ 10：23 の約束は、__ときに、わたしを助けてくれるでしょう。

 4. モロナイ 10：8－26 で学んだ二つの原則について考えてみましょう。「神はその子供たちを益するために御霊の賜物をお与えになる。」「信仰があれば、わたしたちは天の御父がわたしたちに望んでおられることを行うことができる。」聖典学習帳に、次の質問の答えを書いてください。

- a. この二つの原則を知っていることは、現在の生活において、どのように役立つでしょうか。
- b. この二つの原則は、将来訪れるかもしれない機会のために、どのような助けになりますか。

モロナイ 10：30－34

モロナイ、すべての人にキリストのもとにきて、キリストによって完全になるように勧め、その記録を終える



あなたは、この世で完全になることは可能だと思いますか。大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長は、完全になるという戒めについて、次のように説明しています。「完全は永遠の目標です。わたしたちはこの世で完全になることはできませんが、戒めに従って努力し、ついには贖いを通して完全になれるのです。」（「わたしたちの時代」『リアホナ』1999 年 7 月号, 21）

ファウスト管長が教えるように、完全というのは、現在はそれに向かって努力し、救い主の助けを受けることで、来世で到達することができる目標です。モロナイは自分の証を閉じるに当たって、救い主の清めの力を自分の生活の中に招き入れるために今できることと、最終的には贖いによって完全になることができることを教えました。

 5. 聖典学習帳に、次のような表を描いてください。

わたしができること	神が約束してくださっていること

モロナイ 10：30－33 をよく読み、(a) 清く、最終的に完全になるために、わたしたちがなすべきことと、(b) わたしたちを助けるために神が約束してくださっていることを探し出してください。探し出したものを、表の適当な欄に書き込んでください。

自分の聖典学習帳の表の下か、自分の聖典のモロナイ 10：32－33 の近くに、次の言葉を書いてください。「イエス・キリストのもとに来るとき、わたしたちはキリストの贖いによって聖められ、完全になることができる。」

キリストのもとに来るというのは生涯にわたって続く過程ですが、その初めはキリストを信じることで、次に自分の生活の中にキリストの影響力が及ぶよう謙遜に求めることです。この過程は、さらに、キリストの福音を受け入れ、キリストを救い主として受け入れ、悔い改め、福音の儀式によってキリストと聖約を結び、生涯を通じてキリストの戒めに従順に従って忠実に堪え忍ぶことと続きます。最終的には、わたしたちがキリストのような者となったときに、キリストのもとに来たと言えるようになるわけです。そして、わたしたちは主と永遠にわたって住むことができるのです。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、モロナイ 10：30－33 に記されている、キリストのもとに来るようというモロナイの最後の招きについて、次のように要約しています。



「モロナイの〔最後の証が強調しているのは〕キリストを信じる信仰、キリストを待ち望む希望、そしてキリストの持つ慈愛です。そして、この 3 つの偉大なクリスチャンの美德、この 3 つの最高のクリスチャンの原則、これらによってわたしたちが汚れのない状態へ導かれるようにと祈っています。……」

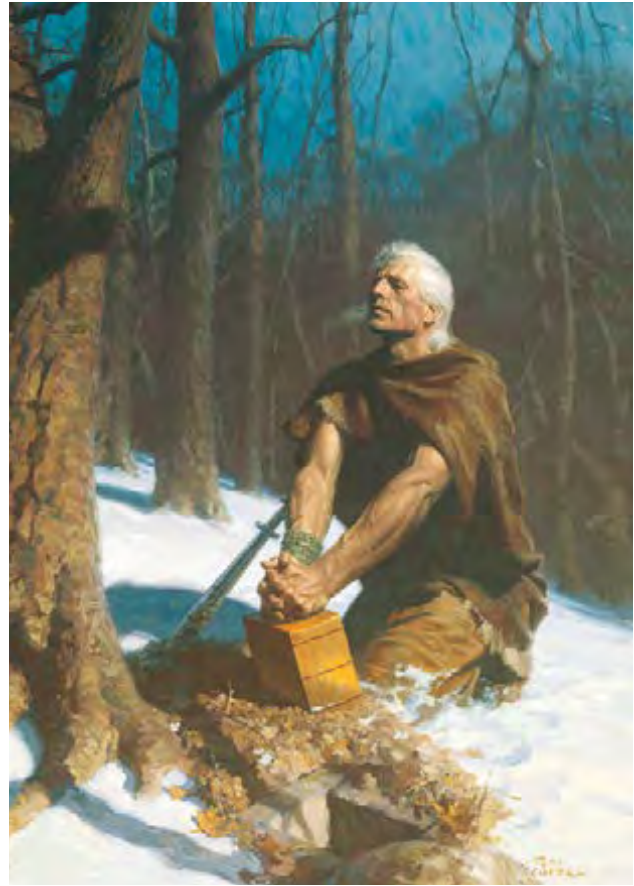
わたしたちの宗教のかなめ石であり、これまでに書かれた中で最も正確な書物の最後の、孤独な呼びかけは、清くないものに触れないように、染みのない清い者となるように、聖い者となるようにという言葉です。この聖めは、小羊の血によってのみ、もたらされます。この小羊とは、わたしたちの悲哀を負い、わたしたちの悲しみを担い、わたしたちの背きのために刺し貫かれ、わたしたちの罪のために傷つけられ、虐げられ、苦しめられたのに、わたしたちが尊ばなかった御方です（モーサヤ 14 章参照）。……

小羊の血によって清められること。これこそ、〔モルモン書〕が懇願していることなのです。〕（“A Standard unto My People”〔CES symposium on the Book of Mormon, 1994 年 8 月 9 日〕, 15, si.lds.org）

モロナイ 10：32－33 を読み直し、わたしたちが完全になれる唯一の方法は「キリストによって」完全になることであると強調する表現に印を付けてください。これは、わたしたちの力だけでは完全に到達することはできず、救い主の贖いの力と恵みに頼らなければならないという意味です。清められ、完全になるためには、なぜイエス・キリストの贖いが必要なのでしょう。深く考えてください。10：32－33 の中から、清められ、完全になるという永遠の目標を目指して努力するうえで、励ましを受ける言葉に印を付けるとよいでしょう。

聖典学習帳の中で「わたしができること」の表に書いたものを見直してください。その中に書かれている行動の中から一つを選び、自分の生活のその分野で、どうしたらもっと熱心になることができるか、深く考えてみましょう。

モロナイ 10：34 を読み、モロナイがイエス・キリストに対する信仰と、永遠の命を受ける希望を抱いていたことの証拠を探してください。わたしたちもまた、モルモン書の研究を一生続けていき、その中で教えられて真理を生活に取り入れるとき、信仰と希望を持つことができます。



 **6.** モルモン書のこのコースを終えるに当たり、次の質問の答えを聖典学習帳に書き、皆さんの教師にそれを伝える準備をしましょう。

- a. モルモン書を研究することで、今年、自分の生活にどのような違いが生まれましたか。
- b. どのレッスンあるいは原則が、あなたが「キリストのもとに来る」ための助けになりましたか。また、救い主を信じる信仰を強めてくれましたか。
- c. あなたには、モルモン書についてどんな証がありますか。

 **7.** 聖典学習帳の今日の課題の下に、次のように書いてください。

__月__日、モロナイ 10：8－26, 30－34 を研究し、このレッスンを終了しました。

教師に伝えたいこと（質問、思ったことや分かったこと）。



宗教教育
セミナー・インスティテュート

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE

